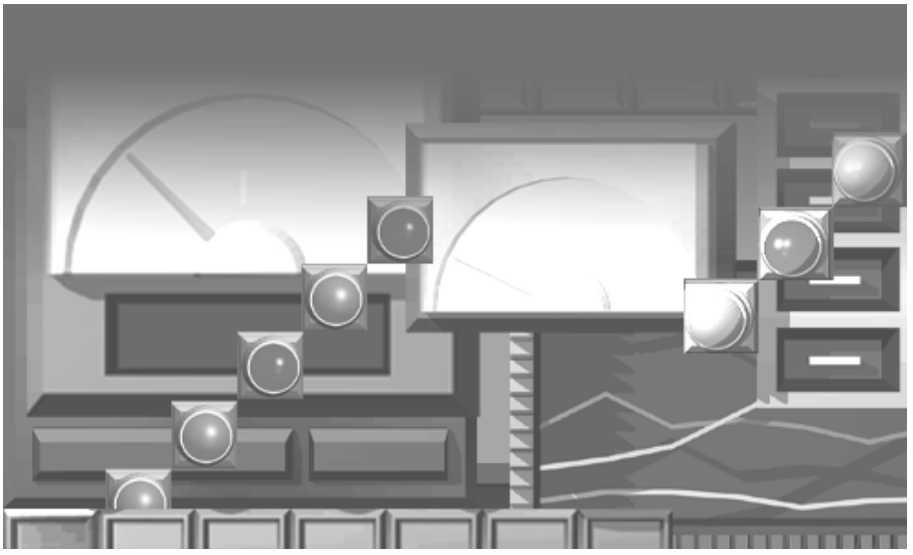
MITSUBISHI

GOT-A900シリーズオペレーティングマニュアル

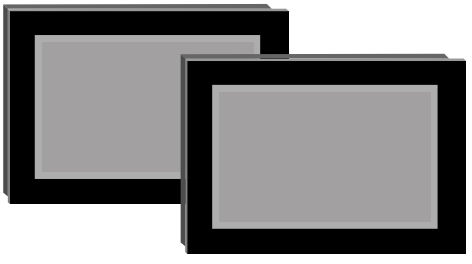
(GT Works2 Version2/GT Designer2 Version2 対応 拡張機能・オプション機能編)



Graphic Operation Terminal

900

series



三菱グラフィックオペレーションターミナル

● 安全上のご注意 ●

（ご使用前に必ずお読みください）

本製品のご使用に際しては，本マニュアルおよび本マニュアルで紹介している関連マニュアルをよくお読みいただくと共に，安全に対して十分に注意を払って，正しい取扱いをしていただくようお願いいたします。

本マニュアルで示す注意事項は，本製品に関するもののみについて記載したものです。

この●安全上のご注意●では，安全注意事項のランクを「危険」,「注意」として区分してあります。

⚠危険	**取扱いを誤った場合に，危険な状況が起こりえて，死亡または重傷を受ける可能性が想定される場合。**
⚠注意	**取扱いを誤った場合に，危険な状況が起こりえて，中程度の傷害や軽傷を受ける可能性が想定される場合および物的損害だけの発生が想定される場合。**

なお,⚠注意に記載した事項でも，状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。

いずれも重要な内容を記載していますので必ず守ってください。

本マニュアルは必要なときに読めるよう大切に保管すると共に，必ず最終ユーザまでお届けいただくようお願いいたします。

【テスト操作時の注意事項】

⚠注意

● システムモニタ，特殊ユニットモニタ，回路モニタ時のテスト操作（ビットデバイスの ON/OFF，ワードデバイスの現在値変更，タイマ／カウンタの設定値・現在値変更，バッファメモリの現在値変更）の操作はマニュアルを熟読し，操作方法を十分理解した上で行ってください。
また，システムに対する重大な動作を行うデバイスに対しては絶対にテスト操作でデータ変更を行わないでください。
誤出力，誤動作により事故の原因になります。

改 定 履 歴

※取扱説明書番号は，本説明書の裏表紙の左下に記載してあります。

印刷日付	※取扱説明書番号	改 定 内 容
2004 年 7 月	SH(名)-080516-A	初版印刷
2004 年 10 月	SH(名)-080516-B	一部修正 4.4 節 一部追加 6.3.2 項
2005 年 1 月	SH(名)-080516-C	一部修正 12.23 節，12.28 節，12.29 節，12.31 節，12.32 節
2005 年 11 月	SH(名)-080516-D	一部修正 2.2 節，9.1.2 項，32.2.1 項，32.2.2 項→ 32.2.3 項，32.3 節 一部追加 3.10.3 項，6.3.2 項 追加 1.1.12 項，3.11 節，32.2.2 項，第 33 章
2006 年 5 月	SH(名)-080516-E	一部修正 6.3.3 項，6.3.4 項→ 6.3.5 項，6.3.5 項→ 6.3.6 項，12.31 節，12.32 節 追加 6.3.4 項
2006 年 8 月	SH(名)-080516-F	一部修正 3.2.4 項
2006 年 11 月	SH(名)-080516-G	一部修正 レイアウトを見直した。 章，節，項タイトルを見直した。

本書によって，工業所有権その他の権利の実施に対する保証，または実施権を許諾するものではありません。また本書の掲載内容の使用により起因する工業所有権上の諸問題については，当社は一切その責任を負うことができません。

© 2004 MITSUBISHI ELECTRIC CORPORATION

はじめに

このたびは，三菱グラフィックオペレーションターミナルをお買いあげいただきましてまことにありがとうございました。

ご使用前に本書をよくお読みいただき，グラフィックオペレーションターミナルの機能・性能を十分ご理解の上，正しくご使用くださるようお願い致します。

目　次

安全上のご注意 ····· A - 1
改　定　履　歴 ····· A - 2
はじめに ····· A - 3
目　次 ····· A - 3
マニュアルについて ····· A - 12
本マニュアルで使用する略称，総称 ····· A - 13

1章　概　　要　　1 - 1 ～ 1 - 18

1.1　特　　長　　1 - 1
1.1.1　ユーティリティ機能の特長 ····· 1 - 1
1.1.2　回路モニタ機能の特長 ····· 1 - 3
1.1.3　システムモニタ機能の特長 ····· 1 - 5
1.1.4　特殊ユニットモニタ機能の特長 ····· 1 - 7
1.1.5　ネットワークモニタ機能の特長 ····· 1 - 9
1.1.6　リスト編集機能の特長 ····· 1 - 11
1.1.7　モーションモニタ機能の特長 ····· 1 - 12
1.1.8　サーボアンプモニタ機能の特長 ····· 1 - 14
1.1.9　CNC モニタ機能の特長 ····· 1 - 16
1.1.10　かな漢字変換機能の特長 ····· 1 - 17
1.1.11　文字フォント切換え機能の特長 ····· 1 - 17
1.1.12　システムダイアログ言語切換え機能の特長 ····· 1 - 18

2章　操作を行う前に　　2 - 1 ～ 2 - 17

2.1　各機能を行うための前準備　　2 - 1
2.2　使用上の注意事項　　2 - 1

3章　仕　　様　　3 - 1 ～ 3 - 34

3.1　回路モニタ機能の仕様　　3 - 1
3.1.1　モニタできるシーケンサ CPU ····· 3 - 1
3.1.2　モニタできるアクセス範囲 ····· 3 - 1
3.1.3　回路モニタ機能の使用上の注意事項 ····· 3 - 1
3.2　システムモニタ機能の仕様　　3 - 2
3.2.1　モニタできるシーケンサ CPU ····· 3 - 2
3.2.2　モニタできるアクセス範囲 ····· 3 - 2
3.2.3　モニタできるデバイス名 ····· 3 - 2
3.2.4　システムモニタ機能の使用上の注意事項 ····· 3 - 2

3.3 特殊ユニットモニタ機能の仕様 3 - 4
3.3.1 モニタできるアクセス範囲 ····· 3 - 4
3.3.2 モニタできる特殊機能ユニット ····· 3 - 5
3.3.3 必要メモリ容量 ····· 3 - 6
3.3.4 特殊ユニットモニタ機能の使用上の注意事項 ····· 3 - 7
3.4 ネットワークモニタ機能の仕様 3 - 10
3.4.1 モニタできるネットワーク情報 ····· 3 - 10
3.4.2 モニタできるアクセス範囲 ····· 3 - 12
3.4.3 ネットワークモニタ機能の使用上の注意事項 ····· 3 - 12
3.5 リスト編集機能の仕様 3 - 13
3.5.1 リスト編集できるシーケンサ CPU ····· 3 - 13
3.5.2 リスト編集できるアクセス範囲 ····· 3 - 13
3.5.3 リスト編集機能の使用上の注意事項 ····· 3 - 13
3.5.4 キー配列とキー機能一覧 ····· 3 - 14
3.5.5 表示部の表示形式 ····· 3 - 17
3.5.6 リスト編集機能一覧 ····· 3 - 20
3.6 モーションモニタ機能の仕様 3 - 22
3.6.1 モニタできるシーケンサ CPU ····· 3 - 22
3.6.2 モニタできるアクセス範囲 ····· 3 - 22
3.6.3 モーションモニタ機能の使用上の注意事項 ····· 3 - 22
3.6.4 モーションモニタ機能を使用するための必要メモリ容量 ····· 3 - 22
3.7 サーボアンプモニタ機能の仕様 3 - 23
3.7.1 モニタできるサーボアンプ機種と機能一覧 ····· 3 - 23
3.7.2 モニタできるアクセス範囲 ····· 3 - 23
3.7.3 サーボアンプモニタ機能の使用上の注意事項 ····· 3 - 24
3.7.4 サーボアンプ接続時のシステム構成 ····· 3 - 24
3.7.5 必要な画面とメモリ容量 ····· 3 - 25
3.8 CNC モニタ機能の仕様 3 - 28
3.8.1 モニタできる CNC の機種 ····· 3 - 28
3.8.2 モニタできる CNC の機能 ····· 3 - 28
3.8.3 モニタできるアクセス範囲 ····· 3 - 28
3.8.4 CNC モニタ機能の使用上の注意事項 ····· 3 - 28
3.9 かな漢字変換機能の仕様 3 - 29
3.9.1 かな漢字変換機能の仕様一覧 ····· 3 - 29
3.9.2 操作スイッチ仕様 ····· 3 - 30
3.10 文字フォント切換え機能の仕様 3 - 32
3.10.1 切換えできる文字フォント ····· 3 - 32
3.10.2 文字フォントの適用範囲 ····· 3 - 32
3.10.3 文字フォント切換え機能の使用上の注意事項 ····· 3 - 33
3.11 システムダイアログ言語切換え機能の仕様 3 - 34
3.11.1 切換えできる言語 ····· 3 - 34
3.11.2 システムダイアログ言語切換え機能の使用上の注意事項 ····· 3 - 34

4 章 ユーティリティ機能の操作 4 - 1 ～ 4 - 22

4.1 ユーティリティ機能一覧 4 - 1
4.2 各機能の実行までの概略手順 4 - 3
4.3 ユーティリティメニュー画面 4 - 4

4.4 画面 &OS コピー 4 - 6
4.5 セットアップ 4 - 8
4.6 自己診断 4 - 15
4.7 メモリ情報 4 - 16
4.8 時計設定 4 - 17
4.9 画面掃除 4 - 18
4.10 セキュリティパスワード 4 - 19
4.11 パスワード 4 - 20
4.12 輝度調整／コントラスト調整 4 - 21

回路モニタ機能

5 章 回路モニタ機能の操作手順 5 - 1 ～ 5 - 2

5.1 回路モニタを開始するまでの操作手順 5 - 1
5.2 ユーザ作成モニタ画面表示から回路モニタ開始までの操作手順 5 - 2

6 章 各回路モニタ画面の操作 6 - 1 ～ 6 - 30

6.1 表示画面 6 - 1
6.2 モニタ時の画面操作と画面遷移について 6 - 3
6.2.1 PC 読出しの操作 ····· 6 - 3
6.2.2 回路読出しの操作 ····· 6 - 9
6.2.3 要因検索の操作 ····· 6 - 12
6.2.4 タッチ検索の操作 ····· 6 - 16
6.2.5 画面遷移 ····· 6 - 18
6.3 回路モニタ 6 - 19
6.3.1 回路モニタ画面の表示内容とキー機能 ····· 6 - 19
6.3.2 回路モニタ時の注意事項 ····· 6 - 22
6.3.3 表示の切換え ····· 6 - 24
6.3.4 言語切換え（Q 回路モニタ）····· 6 - 26
6.3.5 デバイス値の変更 ····· 6 - 29
6.3.6 ハードコピー出力について ····· 6 - 30

7 章 回路モニタのエラーメッセージ 7 - 1 ～ 7 - 2

システムモニタ機能

8 章 システムモニタ機能の操作手順 8 - 1 ～ 8 - 2

8.1 システムモニタを開始するまでの操作手順 8 - 1
8.2 ユーザ作成モニタ画面表示からシステムモニタ開始までの操作手順 8 - 2

9 章 各システムモニタ画面の操作 9 - 1 ～ 9 - 21

9.1 モニタ時の画面構成，共通操作と画面遷移について 9 - 1
9.1.1 基本画面の構成とキー機能（メニュー）····· 9 - 1

9.1.2 表示の切換え ····· 9 - 2
9.1.3 モニタ局，デバイスの指定操作（設定） ····· 9 - 4
9.1.4 画面遷移 ····· 9 - 6
9.2 登録モニタ 9 - 7
9.2.1 基本操作 ····· 9 - 7
9.2.2 登録モニタ画面の表示内容とキー機能 ····· 9 - 8
9.2.3 登録デバイスの削除 ····· 9 - 9
9.3 一括モニタ 9 - 10
9.3.1 基本操作 ····· 9 - 10
9.3.2 一括モニタ画面の表示内容とキー機能 ····· 9 - 11
9.4 TC モニタ（タイマ，カウンタのモニタ） 9 - 12
9.4.1 基本操作 ····· 9 - 12
9.4.2 TC モニタ画面の表示内容とキー機能 ····· 9 - 13
9.5 BM モニタ（バッファメモリのモニタ） 9 - 14
9.5.1 基本操作 ····· 9 - 14
9.5.2 BM モニタ画面の表示内容とキー機能 ····· 9 - 15
9.6 テスト 9 - 16
9.6.1 基本操作 ····· 9 - 16
9.6.2 クイックテスト機能について ····· 9 - 19

10 章 システムモニタのエラーメッセージ 10 - 1 ～ 10 - 2

特殊ユニットモニタ機能

11 章 特殊ユニットモニタ機能の操作手順 11 - 1 ～ 11 - 2

11.1 特殊ユニットモニタを開始するまでの操作手順 11 - 1
11.2 ユーザ作成モニタ画面表示から特殊ユニットモニタ開始までの操作手順 11 - 2

12 章 特殊ユニットモニタ画面の操作 12 - 1 ～ 12 - 76

12.1 モニタ時の画面構成，共通操作と画面遷移について 12 - 1
12.1.1 システム構成画面の構成とキー機能 ····· 12 - 1
12.1.2 他局モニタの設定方法 ····· 12 - 3
12.1.3 PC 診断モニタ画面の構成とキー機能（QCPU（Q モード）使用時のみ） ····· 12 - 4
12.1.4 ユニット詳細情報画面の構成とキー機能（QCPU（Q モード）使用時のみ） ····· 12 - 5
12.1.5 特殊ユニットモニタ画面の構成とキー機能 ····· 12 - 6
12.1.6 モニタユニットの指定，モニタメニュー選択の操作 ····· 12 - 7
12.1.7 特殊機能ユニットに対するテスト ····· 12 - 8
12.1.8 画面遷移 ····· 12 - 10
12.2 A61LS ユニットのモニタ 12 - 11
12.3 AD61 ユニットのモニタ 12 - 11
12.4 A1SD61 ユニットのモニタ 12 - 12
12.5 A62DA-S1 ユニットのモニタ 12 - 13
12.6 A1S62DA ユニットのモニタ 12 - 13
12.7 A62LS ユニットのモニタ 12 - 14

12.8 A1S62RD ユニットのモニタ 12 - 15
12.9 A1S63ADA ユニットのモニタ 12 - 16
12.10 A1S64AD ユニットのモニタ 12 - 17
12.11 A68AD ユニットのモニタ 12 - 18
12.12 A1S68AD ユニットのモニタ 12 - 19
12.13 A68ADN ユニットのモニタ 12 - 20
12.14 A68RD ユニットのモニタ 12 - 21
12.15 A1S68DAI,A1S68DAV ユニットのモニタ 12 - 22
12.16 A616AD ユニットのモニタ 12 - 23
12.17 A616DAI,A616DAV ユニットのモニタ 12 - 25
12.18 A616TD ユニットのモニタ 12 - 26
12.19 AD70,A1SD70 ユニットのモニタ 12 - 29
12.20 AD70D ユニットのモニタ 12 - 31
12.21 AD71 ユニットのモニタ 12 - 33
12.22 AD72,A1SD71 ユニットのモニタ 12 - 36
12.23 AD75，A1SD75 ユニットのモニタ 12 - 39
12.24 AJ71PT32-S3,A1SJ71PT32-S3 ユニットのモニタ 12 - 45
12.25 AJ71ID1(ID2)-R4,A1SJ71ID1(ID2)-R4 ユニットのモニタ 12 - 47
12.26 A84AD ユニットのモニタ 12 - 48
12.27 A1S64TCTT(BW),A1S64TCRT(BW)-S1 のモニタ 12 - 49
12.28 Q64AD,Q68ADV,Q68ADI ユニットのモニタ 12 - 51
12.29 Q62DA,Q64DA ユニットのモニタ 12 - 52
12.30 QD62,QD62D ユニットのモニタ 12 - 53
12.31 QD75P,QD75D ユニットのモニタ 12 - 54
12.32 QD75M ユニットのモニタ 12 - 64

13 章 入出力ユニットモニタ画面の操作 13 - 1 ～ 13 - 2

13.1 モニタユニットの指定操作 13 - 1
13.2 モニタ画面の構成とキー機能 13 - 2

14 章 特殊ユニットモニタのエラーメッセージ 14 - 1 ～ 14 - 2

ネットワークモニタ機能

15 章 ネットワークモニタ機能の操作手順 15 - 1 ～ 15 - 2

15.1 ネットワークモニタを開始するまでの操作手順 15 - 1
15.2 ユーザ作成モニタ画面表示からネットワークモニタ開始までの操作手順 15 - 2

16 章　ネットワークモニタ画面の画面遷移　16 - 1 ～ 16 - 2

17 章　各ネットワークモニタ画面の操作　17 - 1 ～ 17 - 15

17.1　自局回線モニタ　17 - 1
17.1.1　モニタ画面の表示内容とキー機能 ····· 17 - 1
17.2　自局詳細モニタ　17 - 3
17.2.1　MELSECNET/B，MELSECNET(II) マスタ局時 ····· 17 - 3
17.2.2　MELSECNET/B，MELSECNET(II) ローカル局時 ····· 17 - 4
17.2.3　MELSECNET/10，MELSECNET/H 管理局／通常局時 ····· 17 - 5
17.2.4　MELSECNET/10，MELSECNET/H リモートマスタ局時 ····· 17 - 7
17.3　他局モニタ　17 - 9
17.3.1　他局モニタメニュー ····· 17 - 9
17.3.2　各局交信状態モニタ ····· 17 - 10
17.3.3　各局データリンク状態モニタ ····· 17 - 11
17.3.4　各局パラメータ状態モニタ ····· 17 - 12
17.3.5　各局 CPU 動作状態モニタ ····· 17 - 13
17.3.6　各局 CPU RUN 状態モニタ ····· 17 - 14
17.3.7　局ループ状態モニタ ····· 17 - 15

18 章　ネットワークモニタのエラーメッセージ　18 - 1 ～ 18 - 2

リスト編集機能

19 章　リスト編集機能の操作手順　19 - 1 ～ 19 - 5

19.1　リスト編集を開始するまでの操作手順　19 - 1
19.2　ユーザ作成モニタ画面表示からリスト編集開始までの操作手順　19 - 2
19.2.1　キーワード入力の操作 ····· 19 - 3
19.2.2　モードの選択と操作 ····· 19 - 5

20 章　各リスト編集画面の操作　20 - 1 ～ 20 - 16

20.1　キー入力の基本操作　20 - 1
20.1.1　有効キー（上段／下段）の切換え ····· 20 - 1
20.1.2　命令の入力方法 ····· 20 - 2
20.1.3　キー操作をまちがえたときの処置方法 ····· 20 - 6
20.2　リスト編集の基本操作　20 - 7
20.2.1　シーケンスプログラムを読み出す ····· 20 - 7
20.2.2　命令を変更（上書き）する ····· 20 - 8
20.2.3　命令を追加（挿入）する ····· 20 - 9
20.2.4　命令を削除する ····· 20 - 10
20.2.5　ヘルプ機能を使用する ····· 20 - 11
20.3　リスト編集の操作方法一覧　20 - 13
20.3.1　共通操作 ····· 20 - 13
20.3.2　書込みモード (W) での操作 ····· 20 - 13
20.3.3　読出しモード (R) での操作 ····· 20 - 14
20.3.4　挿入モード (I) での操作 ····· 20 - 14
20.3.5　削除モード (D) での操作 ····· 20 - 14

20.3.6　パラメータモード (P) での操作 ····· 20 - 15
20.3.7　その他のモード (O) での操作 ····· 20 - 16

21 章　リスト編集のエラーメッセージ　21 - 1 ～ 21 - 6

21.1　リスト編集機能が検出するエラー　21 - 1
21.2　シーケンサ CPU のエラー　21 - 4
21.3　リンクシステム上でリスト編集機能を使用した際のエラー　21 - 5

モーションモニタ機能

22 章　モーションモニタ機能の操作手順　22 - 1 ～ 22 - 4

22.1　モーションモニタを開始するまでの操作手順　22 - 1
22.2　ユーザ作成モニタ画面表示からモーションモニタ開始までの操作手順　22 - 2
22.2.1　パスワード入力の操作手順 ····· 22 - 4

23 章　各モーションモニタ画面の操作　23 - 1 ～ 23 - 14

23.1　モニタ時の画面構成，共通操作と画面遷移について　23 - 1
23.1.1　システム構成画面の構成とキー機能 ····· 23 - 1
23.2　画面遷移　23 - 2
23.3　モーションモニタ　23 - 3
23.3.1　現在値モニタ画面の表示内容とキー機能 ····· 23 - 4
23.3.2　SFC エラー履歴画面の表示内容とキー機能 ····· 23 - 5
23.3.3　エラーリスト画面の表示内容とキー機能 ····· 23 - 6
23.3.4　エラーリスト軸指定画面の表示内容とキー機能 ····· 23 - 7
23.3.5　位置決めモニタ画面の表示内容とキー機能 ····· 23 - 8
23.3.6　サーボモニタ画面の表示内容とキー機能 ····· 23 - 9
23.3.7　現在値履歴モニタ画面の表示内容とキー機能 ····· 23 - 10
23.4　パラメータ設定　23 - 12
23.4.1　パラメータ設定画面の表示内容とキー機能 ····· 23 - 12
23.4.2　パラメータ設定操作 ····· 23 - 13
23.5　ハードコピー出力について　23 - 14

24 章　モーションモニタのエラーメッセージ　24 - 1 ～ 24 - 2

サーボアンプモニタ機能

25 章　サーボアンプモニタ機能の操作手順　25 - 1 ～ 25 - 2

25.1　サーボアンプモニタ機能のインストール　25 - 1
25.2　サーボアンプモニタ開始までの操作　25 - 2

26 章　各サーボアンプモニタ画面の操作　26 - 1 ～ 26 - 30

26.1　画面遷移　26 - 1
26.2　サーボアンプモニタ機能について　26 - 2

26.3 セットアップ 26 - 3
26.3.1 セットアップ画面 ····· 26 - 3
26.4 モニタ機能 26 - 4
26.4.1 モニタ画面 ····· 26 - 4
26.5 アラーム機能 26 - 6
26.5.1 アラーム表示画面 ····· 26 - 7
26.5.2 アラーム履歴画面 ····· 26 - 8
26.6 診断機能 26 - 9
26.6.1 DI/DO 表示画面 ····· 26 - 11
26.6.2 機能デバイス表示画面 ····· 26 - 12
26.6.3 アンプ情報表示画面 ····· 26 - 13
26.6.4 ABS データ表示画面 ····· 26 - 14
26.6.5 ユニット構成一覧表示面 ····· 26 - 15
26.7 パラメータ設定 26 - 16
26.7.1 パスワード入力の操作手順 ····· 26 - 17
26.7.2 パラメータ設定画面 ····· 26 - 18
26.7.3 パラメータ設定操作 ····· 26 - 19
26.8 テスト運転 26 - 22
26.8.1 テスト運転における注意事項 ····· 26 - 24
26.8.2 テスト運転を行う前の準備 ····· 26 - 25
26.8.3 JOG 運転画面 ····· 26 - 26
26.8.4 位置決め運転画面 ····· 26 - 27
26.8.5 モータなし運転画面 ····· 26 - 28
26.8.6 DO 強制出力画面 ····· 26 - 29
26.9 ハードコピー出力について 26 - 30

27 章 サーボアンプモニタのエラーメッセージ 27 - 1 ～ 27 - 2

CNC モニタ機能

28 章 CNC モニタ機能の操作手順 28 - 1 ～ 28 - 2
28.1 CNC モニタを開始するまでの操作手順 28 - 1

29 章 CNC モニタ画面の操作 29 - 1 ～ 29 - 4
29.1 画面遷移 29 - 1
29.2 CNC モニタ機能について 29 - 2

30 章 CNC モニタのエラーメッセージ 30 - 1 ～ 30 - 2

その他の拡張機能・オプション機能

31 章 かな漢字変換機能 31 - 1 ～ 31 - 10
31.1 かな漢字変換機能を使用する前に 31 - 1
31.1.1 必要な機器の確認 ····· 31 - 1
31.1.2 ROM_BIOS の確認 ····· 31 - 1

31.1.3 OS の確認 ····· 31 - 2
31.1.4 GOT の設定の確認 ····· 31 - 2
31.2 かな漢字変換機能の操作 31 - 3
31.2.1 変換に使用する操作スイッチの動作 ····· 31 - 3
31.2.2 かな漢字変換機能の操作手順 ····· 31 - 4

32 章 文字フォント切換え機能 32 - 1 ～ 32 - 9

32.1 文字フォント切換え機能を使用する前に 32 - 1
32.1.1 必要な機器の確認 ····· 32 - 1
32.1.2 ROM_BIOS の確認 ····· 32 - 1
32.1.3 OS の確認 ····· 32 - 2
32.2 文字フォント切換え機能の操作 32 - 3
32.2.1 文字フォント切換えデバイスの設定 ····· 32 - 3
32.2.2 GT Designer2 のプレビューで中国語（簡体字）フォントを表示する場合 ····· 32 - 4
32.2.3 フォントデータのインストール ····· 32 - 8
32.3 フォント切換えできない場合の対処方法 32 - 10

33 章 システムダイアログ言語切換え機能 33 - 1 ～ 33 - 4

33.1 システムダイアログ言語切換え機能を使用する前に 33 - 1
33.1.1 必要な機器の確認 ····· 33 - 1
33.1.2 ROM_BIOS の確認 ····· 33 - 1
33.1.3 OS の確認 ····· 33 - 1
33.2 システムダイアログ言語切換え機能の操作 33 - 2
33.2.1 システムダイアログ言語切換えデバイスの設定 ····· 33 - 2
33.3 システムダイアログ言語の表示例 33 - 3

索 引 索引 - 1 ～ 索引 - 3

マニュアルについて

本製品に関連するマニュアルには，下記のものがあります。
必要に応じて本表を参考にしてご依頼ください。

関連マニュアル

マニュアル名称	マニュアル番号 (形名コード)	標準価格
GT Works2 Version2/GT Designer2 Version2 オペレーティングマニュアル（スタートアップ・入門編） GT Designer2 のインストール方法，初めて GOT を使用する向けの作画方法について説明 （別売）	SH-080513 (1D7M17)	￥1500
GT Designer2 Version2 オペレーティングマニュアル GT Designer2 の操作方法，GOT へのデータ転送方法などについて説明 （別売）	SH-080514 (1D7M18)	￥3000
GT Designer2 Version2 リファレンスマニュアル GT Designer2 で使用する各オブジェクト機能の仕様，設定内容などについて説明 （別売）	SH-080515 (1D7M19)	￥4000
GOT-A900 シリーズユーザーズマニュアル （GT Works2 Version2/GT Designer2 Version2 対応　接続編） GOT-A900 シリーズで使用できる接続形態のシステム構成，ケーブルの作成方法などを説明 （別売）	SH-080517 (1D7M21)	￥3000
GOT-A900 シリーズオペレーティングマニュアル （GT Works2 Version2/GT Designer2 Version2 対応　ゲートウェイ機能編） GOT-A900 シリーズで行えるゲートウェイ機能の仕様，システム構成，設定方法などについて説明 （別売）	SH-080518 (1D7M22)	￥1500
GT Simulator2 Version1 オペレーティングマニュアル GT Simulator2 の画面構成，使用方法について説明 （別売）	SH-080353 (1DM201)	￥1500
GT SoftGOT2 Version1 オペレーティングマニュアル GT SoftGOT2 の画面構成，使用方法について説明 （別売）	SH-080354 (1DM202)	￥3000
A985GOT/A975GOT/A970GOT/A960GOT ユーザーズマニュアル（詳細編） A985/97*/960GOT 本体の仕様，概略システム構成，構成機器，各部の名称，ユニットの装着方法，設置・配線方法，保守・点検方法，エラーコードについて説明 （別売）	SH-3311 (1DM098)	￥1300
A950GOT/A951GOT/A953GOT/A956GOT ユーザーズマニュアル（詳細編） A95*GOT 本体の仕様，概略システム構成，構成機器，各部の名称，ユニットの装着方法，設置・配線方法，保守・点検方法，エラーコードについて説明 （別売）	SH-080011 (1DM102)	￥600
A950 ハンディ GOT ハードウェアマニュアル A950 ハンディ GOT 本体の仕様，システム構成，各部の名称，設置・接続方法について説明 （A950 ハンディ GOT 本体に同梱）	JY992D90501	*
A953 ハンディ GOT ハードウェアマニュアル A953 ハンディ GOT 本体の仕様，システム構成，各部の名称，設置・接続方法について説明 （A953 ハンディ GOT 本体に同梱）	JY992D88401	*

* ご希望のお客様は，支社，代理店までご相談ください。

本マニュアルで使用する略称，総称

本マニュアルの説明で使用している略称，総称について下記に示します。

略称／総称		内　容
GOT	A985GOT-V	A985GOT-TBA-V，A985GOT-TBD-V の総称
	A985GOT	A985GOT-TBA，A985GOT-TBD，A985GOT-TBA-EU の総称
	A975GOT	A975GOT-TBA-B，A975GOT-TBD-B，A975GOT-TBA，A975GOT-TBD，A975GOT-TBA-EU の総称
	A970GOT	A970GOT-TBA-B，A970GOT-TBD-B，A970GOT-TBA，A970GOT-TBD，A970GOT-SBA，A970GOT-SBD， A970GOT-LBA，A970GOT-LBD，A970GOT-TBA-EU，A970GOT-SBA-EU の総称
	A97*GOT	A975GOT，A970GOT の総称
	A960GOT	A960GOT-EBA，A960GOT-EBD，A960GOT-EBA-EU の総称
	A956GOT	A956GOT-TBD，A956GOT-SBD，A956GOT-LBD，A956GOT-TBD-M3，A956GOT-SBD-M3，A956GOT-LBD-M3 の総称
	A956WGOT	A956WGOT-TBD の総称
	A953GOT	A953GOT-TBD，A953GOT-SBD，A953GOT-LBD，A953GOT-TBD-M3，A953GOT-SBD-M3，A953GOT-LBD-M3 の総称
	A951GOT	A951GOT-TBD，A951GOT-SBD，A951GOT-LBD，A951GOT-TBD-M3，A951GOT-SBD-M3，A951GOT-LBD-M3 の総称
	A951GOT-Q	A951GOT-QTBD，A951GOT-QSBD，A951GOT-QLBD，A951GOT-QTBD-M3， A951GOT-QSBD-M3，A951GOT-QLBD-M3 の総称
	A950GOT	A950GOT-TBD，A950GOT-SBD，A950GOT-LBD，A950GOT-TBD-M3，A950GOT-SBD-M3，A950GOT-LBD-M3 の総称
	A950 ハンディ GOT	A950GOT-SBD-M3-H，A950GOT-LBD-M3-H，A953GOT-SBD-M3-H，A953GOT-LBD-M3-H の総称
	A95*GOT	A956GOT，A953GOT，A951GOT，A951GOT-Q，A950GOT，A950 ハンディ GOT
通信ボード	バス接続ボード	A9GT-QBUSS，A9GT-QBUS2S，A9GT-BUSS，A9GT-BUS2S の総称
	シリアル通信ボード	A9GT-RS4，A9GT-RS2，A9GT-RS2T の総称
通信 ユニット	バス接続ユニット	A9GT-QBUS2SU，A9GT-BUSSU，A9GT-BUS2SU，A7GT-BUSS，A7GT-BUS2S の総称
	データリンクユニット	A7GT-J71AP23，A7GT-J71AR23，A7GT-J71AT23B の総称
	ネットワークユニット	A9GT-QJ71LP23，A9GT-QJ71BR13，A7GT-J71LP23，A7GT-J71BR13 の総称
	CC-Link 通信ユニット	A8GT-J61BT13，A8GT-J61BT15 の総称
	Ethernet ユニット	A9GT-J71E71-T の略称
オプション ユニット	外部入出力ユニット	A9GT-70KBF，A8GT-50KBF の略称
	プリンタインタ フェースユニット	A9GT-50PRF 形プリンタインタフェースユニットの略称
	メモリカードインタ フェースユニット	A1SD59J-MIF メモリカードインタフェースユニットの略称
	ビデオ／ RGB 混合入力 インタフェースユニット	A9GT-80V4R1 形ビデオ／ RGB 混合入力インタフェースユニットの略称
	ビデオ入力インタ フェースユニット	A9GT-80V4 形ビデオ入力インタフェースユニットの略称
	RGB 入力インタ フェースユニット	A9GT-80R1 形 RGB 入力インタフェースユニットの略称

略称／総称		内　容
オプション	バックライト	A9GT-80LTT，A9GT-70LTTB，A9GT-70LTT，A9GT-70LTS，A9GT-70LTTBW，A9GT-50LT の総称
	デバッグスタンド	A9GT-80STAND，A9GT-70STAND，A9GT-50STAND の総称
	メモリボード	A9GT-FNB，A9GT-FNB1M，A9GT-FNB2M，A9GT-FNB4M，A9GT-FNB8M，A9GT-QFNB，A9GT-QFNB4M，A9GT-QFNB8M の総称
	テンキーパネル	A8GT-TK 形テンキーパネルの略称
	A7GT-CNB	A7GT-CNB 形バスコネクタ変換ボックスの略称
	A9GT-QCNB	A9GT-QCNB 形バス延長コネクタボックスの略称
	保護シート	A9GT-80PSC，A9GT-70PSC，A9GT-60PSC，A9GT-50PSC の総称
	アタッチメント	A77GT-96ATT，A85GT-95ATT，A87GT-96ATT，A87GT-97ATT の総称
	メモリカード	フラッシュ PC カード，市販品フラッシュ PC カード，SRAM タイプ PC カードの総称
	フラッシュ PC カード	A9GTMEM-10MF，A9GTMEM-20MF，A9GTMEM-40MF の総称
	コンパクトフラッシュ PC カード	市販品コンパクトフラッシュ PC カードの略称
ソフトウェア	GT Works2 Version2	SW2D5C-GTWK2-J 形ソフトウェアパッケージの総称
	GT Designer2 Version2	SW2D5C-GTD2-J 形ソフトウェアパッケージの総称
	GT Designer2	GOT900 用画面作成ソフト GT Designer2 の略称
	GT Simulator2	GOT900 用スクリーンシミュレータ GT Simulator2 の略称
	GT Converter	GOT900 用データ変換ソフト GT Converter の略称
	GT SoftGOT2	モニタリングソフト GT SoftGOT2 の略称
	GX Developer	SW □ D5C-GPPW(-V)/SW □ D5F-GPPW(-V) 形ソフトウェアパッケージの総称
	GX Simulator	SW □ D5C-LLT(-V) 形ラダーロジックテストツール機能ソフトウェアパッケージの総称（SW5D5C-LLT(-V) 以降）
	Acrobat Reader	Adobe Acrobat Reader の略称
CPU	QCPU（Q モード）	Q00JCPU，Q00CPU，Q01CPU，Q02CPU，Q02HCPU，Q06HCPU，Q12HCPU，Q25HCPU，Q12PHCPU，Q25PHCPU，Q12PRHCPU，Q25PRHCPU の総称
	QCPU（A モード）	Q02CPU-A，Q02HCPU-A，Q06HCPU-A の総称
	リモート I/O 局	MELSECNET/H ネットワークシステム　リモート I/O 局用ネットワークユニット（QJ72LP25-25，QJ72LP25G，QJ72BR15）
	QCPU	QCPU（Q モード），QCPU（A モード），リモート I/O 局の総称
	QnACPU タイプ	Q2ACPU，Q2ACPU-S1，Q2AHCPU，Q2AHCPU-S1，Q3ACPU，Q4ACPU，Q4ARCPU の総称
	QnASCPU タイプ	Q2ASCPU，Q2ASCPU-S1，Q2ASHCPU，Q2ASHCPU-S1 の総称
	QnACPU	QnACPU タイプ，QnASCPU タイプの総称
	AnUCPU	A2UCPU，A2UCPU-S1，A3UCPU，A4UCPU の総称
	AnACPU	A2ACPU，A2ACPU-S1，A3ACPU の総称
	AnNCPU	A1NCPU，A2NCPU，A2NCPU-S1，A3NCPU の総称
	AnCPU タイプ	AnUCPU，AnACPU，AnNCPU の総称
	AnUS(H)CPU	A2USCPU，A2USCPU-S1，A2USHCPU-S1 の総称
	AnS(H)CPU	A1SCPU，A1SCPUC24-R2，A2SCPU，A2SCPU-S1，A1SHCPU，A2SHCPU，A2SHCPU-S1 の総称
	A1SJ(H)CPU	A1SJCPU，A1SJCPU-S3，A1SJHCPU の総称
	AnSCPU タイプ	AnUS(H)CPU，AnS(H)CPU，A1SJ(H)CPU の総称
	ACPU	AnCPU タイプ，AnSCPU タイプ，A1FXCPU，A0J2HCPU，A2CCPU，A2CCPUC24，A2CJCPU の総称
	FXCPU	FX_0 シリーズ，FX_{0N} シリーズ，FX_{0S} シリーズ，FX_1 シリーズ，FX_{1N} シリーズ，FX_{1NC} シリーズ，FX_{1S} シリーズ，FX_2 シリーズ，FX_{2C} シリーズ，FX_{2N} シリーズ，FX_{2NC} シリーズ，FX_{3UC} シリーズの総称
	モーション コントローラ CPU	A273UCPU，A273UHCPU，A273UHCPU-S3，A373CPU，A373UCPU，A373UCPU-S3，A171SCPU，A171SCPU-S3，A171SCPU-S3N，A171SHCPU，A171SHCPUN，A172SHCPU，A172SHCPUN，A173UHCPU，A173UHCPU-S1，Q172CPU，Q173CPU，Q172CPUW，Q173CPUN の総称
	FA コントローラ	LM610，LM7600，LM8000 の総称

略称／総称		内　容
周辺機器接続ユニット	G4	AJ65BT-G4-S3 の略称
Ethernetユニット	E71	AJ71E71-S3, AJ71E71N-B2, AJ71E71N-B5, AJ71E71N-T, AJ71E71N-B5T, A1SJ71E71-B2-S3, A1SJ71E71-B5-S3, A1SJ71E71N-B2, A1SJ71E71N-B5, A1SJ71E71N-T, A1SJ71E71N-B5T の総称
	QE71	AJ71QE71, AJ71QE71-B5, AJ71QE71N-B2, AJ71QE71N-B5, AJ71QE71N-T, AJ71QE71N-B5T, A1SJ71QE71-B2, A1SJ71QE71-B5, A1SJ71QE71N-B2, A1SJ71QE71N-B5, A1SJ71QE71N-T, A1SJ71QE71N-B5T の総称
	Q シリーズ対応 E71	QJ71E71, QJ71E71-B2, QJ71E71-B5, QJ71E71-100 の総称
他社シーケンサ	オムロン社製シーケンサ	C200HS，C200H，C200Hα シリーズ（C200HX, C200HG, C200HE），CQM1，C1000H, C2000H，CV500，CV1000，CV2000，CVM1-CPU01，CVM1-CPU11，CVM1-CPU21，CS1, CS1D，CJ1M，CPM1，CPM1A，CPM2A，CPM2C の総称
	安川電機社製シーケンサ	GL60S，GL60H，GL70H，GL120，GL130，CP-9200SH，CP-9300MS，MP-920，MP-930, MP-940，MP-9200(H)，PROGIC-8 の総称
	SLC500 シリーズ	SLC500-20，SLC500-30，SLC500-40，SLC5/01，SLC5/02，SLC5/03，SLC5/04，SLC5/05 の総称
	MicroLogix1000 シリーズ	1761-L10BWA，1761-L10BWB，1761-L16AWA，1761-L16BWA，1761-L16BWB, 1761-L16BBB，1761-L32AWA，1761-L32BWA，1761-L32BWB，1761-L32BBB, 1761-L32AAA，1761-L20AWA-5A，1761-L20BWA-5A，1761-L20BWB-5A の総称
	MicroLogix1500 シリーズ	1764-LSP の略称
	Allen-Bradley 社製シーケンサ	SLC500 シリーズ，MicroLogix1000 シリーズ，MicroLogix1500 シリーズの総称
	シャープ社製シーケンサ	JW-21CU，JW-22CU，JW-31CUH，JW-32CUH，JW-33CUH，JW-50CUH，JW-70CUH, JW-100CUH，JW-100CU，Z-512J の総称
	PROSEC T シリーズ	T2（PU224 タイプ），T2E，T2N，T3，T3H の総称
	PROSEC V シリーズ	Model3000(S3)，S2T の総称
	東芝社製シーケンサ	PROSEC T シリーズ，PROSEC V シリーズの総称
	SIEMENS 社製シーケンサ	SIMATIC S7-300 シリーズ，SIMATIC S7-400 シリーズの総称
	大型 H シリーズ	H-302(CPU2-03H)，H-702(CPU2-07H)，H-1002(CPU2-10H)，H-2002(CPU2-20H), H-4010(CPU3-40H)，H-300(CPU-03Ha)，H-700(CPU-07Ha)，H-2000(CPU-20Ha) の総称
	H-200 ～ 252 シリーズ	H-200(CPU-02H，CPE-02H)，H-250(CPU21-02H)，H-252(CPU22-02H), H-252B(CPU22-02HB), H-252C(CPU22-02HC，CPE22-02HC) の総称
	H シリーズボードタイプ	H-20DR，H-28DR，H-40DR，H-64DR，H-20DT，H-28DT，H-40DT，H-64DT，HL-40DR, HL-64DR の総称
	EH-150 シリーズ	EH-CPU104，EH-CPU208，EH-CPU308，EH-CPU316 の総称
	日立製作所製シーケンサ（HIDEC H シリーズ）	大型 H シリーズ，H-200 ～ 252 シリーズ，H シリーズボードタイプ，EH-150 シリーズの総称
	松下電工社製シーケンサ	FP0-C16CT，FP0-C32CT，FP1-C24C，FP1-C40C，FP2，FP2SH，FP3，FP5，FP10(S), FP10SH，FP-M(C20TC)，FP-M(C32TC) の総称
その他	内蔵メモリ	GOT に内蔵されているメモリ（フラッシュ ROM）の略称
	OS	GOT システムソフトウェアの略称
	オブジェクト	動画となる設定データ
	パソコン	各ソフトウェアパッケージをインストールするパーソナルコンピュータ
	サーボアンプ	MR-J2S-□A，MR-J2S-□CP，MR-J2M　A シリーズの総称
	MELDAS C6/C64	FCA C6，FCA C64 の総称

＊ 本マニュアルでは，下記の製品を新しい名称で記載しています。

旧名称	新名称	備　考
GPPW	GX Developer	SW□D5C-GPPW(-V)/SW□D5F-GPPW(-V) 形ソフトウェアパッケージの略称

1章 概　　要

本マニュアルはオペレーティングシステム（以下，OS と略します。）がインストールされている GOT で行えるユーティリティ機能，回路モニタ機能，システムモニタ機能，特殊ユニットモニタ機能，ネットワークモニタ機能，リスト編集機能，モーションモニタ機能，サーボアンプモニタ機能，CNC モニタ機能について説明したものです。

Point

使用する GOT や，接続先 CPU ／接続形態によって，行うことができない機能がありますので注意してください。
各 GOT で使用できる機能や，接続 CPU および接続形態ごとの制約事項についての詳細は第 2 章を参照してください。

1.1 特　　長

本マニュアルの対象モニタ機能は，シーケンサシステムのトラブル対策，メンテナンスを行うための保全作業の効率化を図るための機能です。
以下に，各モニタ機能の特長を示します。

1.1.1 ユーティリティ機能の特長

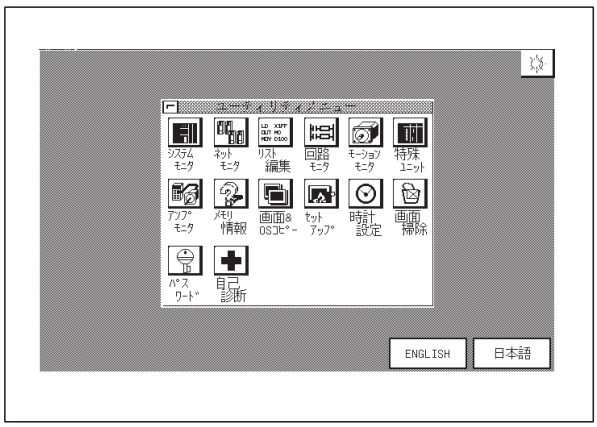
GT Designer2 でユーティリティ機能の OS を GOT の内蔵メモリへインストールすることにより，GOT のセットアップ，自己診断などを行うことができます。
以下に，ユーティリティ機能の特長を示します。

Point

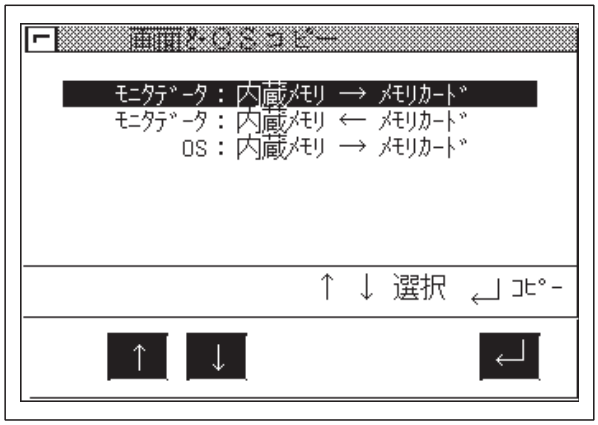
GT SoftGOT2 でユーティリティ機能を使用する場合，一部使用できない機能があります。

GT SoftGOT2 で使用できるユーティリティ機能については GT SoftGOT2 Version1 オペレーティングマニュアルを参照してください。

(1) モニタ画面の輝度／コントラストの調整が可能（詳細説明　4.3 節）

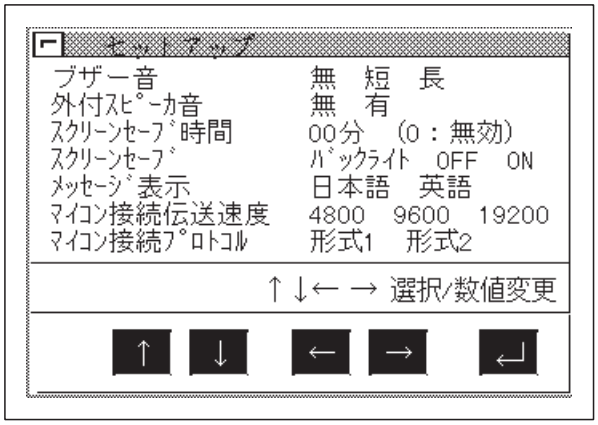


(2) 内蔵メモリとメモリカードの間で画面および OS のデータをコピー可能
（詳細説明　4.4 節）



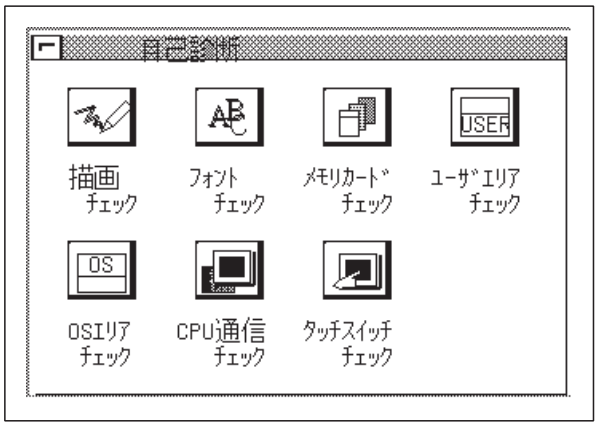
GOT の内蔵メモリと GOT に装着したメモリカード間で相互に画面データをコピーすることができます。
OS データは，GOT からメモリカードへのコピーのみ行えます。

(3) GOT の使用環境が設定可能（詳細説明　4.5 節）



GOT を使用するときのブザー音，メッセージ表示言語，スクリーンセーブ時間などの環境を設定できます。また，A985GOT 使用時は，人感センサに関する設定も行えます。

(4) GOT 本体のハードウェア診断が可能（詳細説明　4.6 節）



GOT 本体の描画チェック，フォントチェック，メモリカードチェックなどのハードウェア診断が行えます。

(5) その他に下記の機能があります。(詳細説明　4.7 節以降）

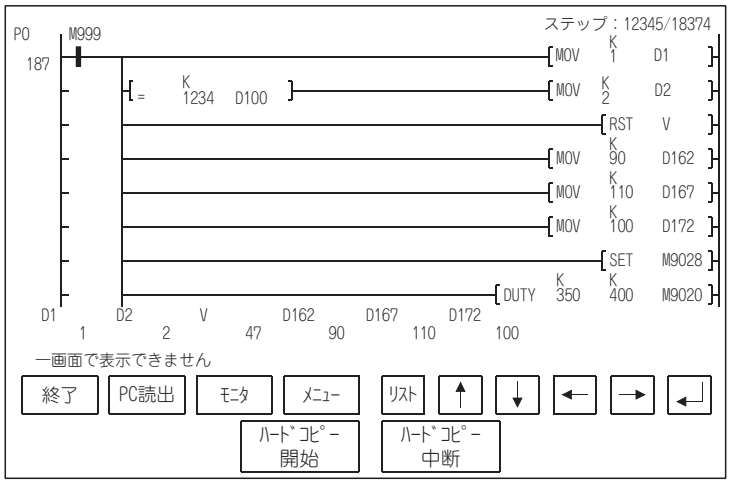
・GOT の各種メモリを表示
・シーケンサ CPU の時計データを設定可能
・表示部を掃除するための画面を表示
・セキュリティレベルを変更可能
・ユーティリティメニュー画面へのアクセスを制限可能

1.1.2　回路モニタ機能の特長

GT Designer2 により回路モニタ機能の OS を GOT の内蔵メモリへインストールすることにより，シーケンサ CPU のプログラムをラダー図形式でモニタすることができます。
以下に，回路モニタ機能の特長を示します。

(1) 回路記号によるモニタを実現（詳細説明　6.3 節）

（表示例）　　回路モニタ画面



備　考

A956WGOT，または表示画面タイプが EL の GOT では，ハードコピー開始，ハードコピー中断は，表示されません。

❶ 回路モニタ画面
1 画面上に，最大 8 行（1 行：最大 11 接点（12 接点以上は，折返し表示））分のシーケンスプログラムを表示します。
また，最大 8 デバイス（9 デバイス以上は，矢印キーで切換え表示）分のワードデバイスの現在値などを表示します。

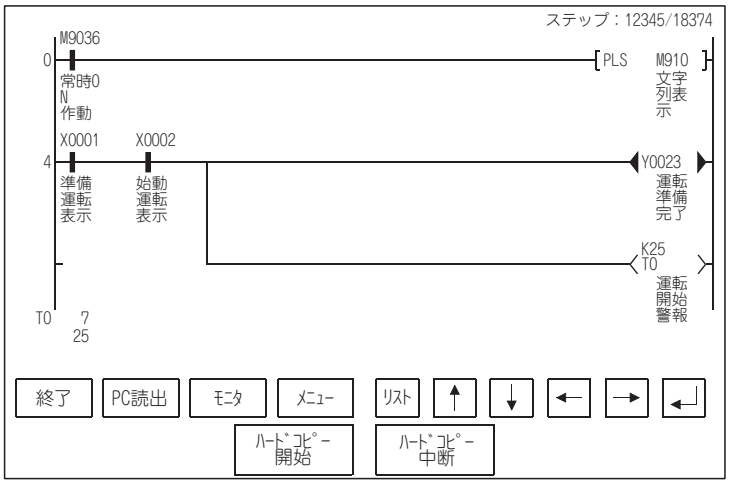
備　考

GOT 機種により，MELSEC-Q 回路モニタのモニタ画面では，以下のように表示します。

・ A985GOT(-V)：最大 15 行表示（1 行：最大 11 接点）
・ A956WGOT　：最大 5 行表示（1 行：最大 7 接点）

(2) 表示形式の切換え，デバイスコメント表示が可能（詳細説明　6.3.3 項）

（表示例）　　回路モニタ画面



❶ 表示形式の切換え
画面下部でのワードデバイスの現在値モニタを，10 進数／ 16 進数で行います。

❷ デバイスコメント表示
シーケンサプログラムで使用しているデバイスのコメント（シーケンサ CPU に書き込まれているコメント）を表示します。

(3) 他局モニタが可能

GOT（または GOT 接続局）が含まれるデータリンクシステム，ネットワークシステム，CC-Link システム上の他局に対して回路モニタすることが可能です。

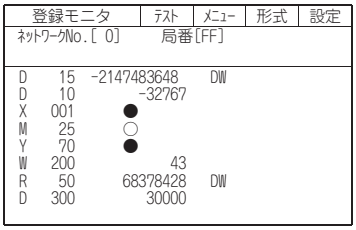
1.1.3　システムモニタ機能の特長

GT Designer2 によりシステムモニタ機能の OS を GOT の内蔵メモリへインストールすることにより，シーケンサ CPU のデバイス，特殊機能ユニットのバッファメモリをモニタ・テストすることができます。以下に，システムモニタ機能の特長を示します。

(1) 4 つの専用画面で，任意のデバイスをモニタ可能

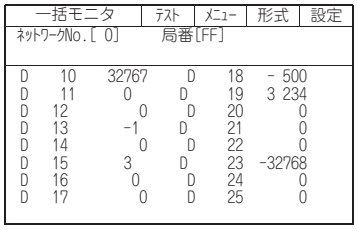
システムモニタ機能には，登録モニタ，一括モニタ，T/C モニタ，バッファメモリモニタがあり，用途に合わせて任意のデバイスをモニタすることができます。

登録モニタ



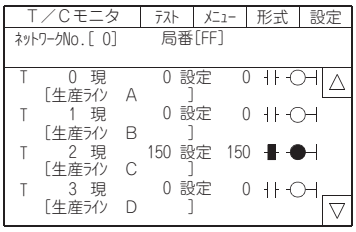
・ユーザが登録したシーケンサ CPU のデバイスを，1 ウィンドウに最大 8 点分モニタします。(9.2 節参照)

一括モニタ



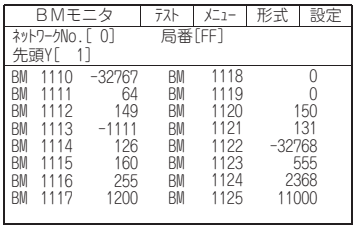
・ユーザが指定したシーケンサ CPU のデバイス以降を，1 ウィンドウに最大 16 点分モニタします。(9.3 節参照)

T/C モニタ



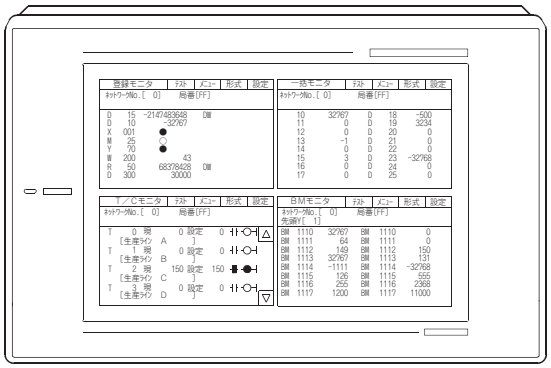
・ユーザが指定したシーケンサ CPU のタイマ (T) ／カウンタ (C) 以降の現在値，設定値，接点，コイルを 1 ウィンドウに最大 8 点分モニタします。(9.4 節参照)

バッファメモリモニタ



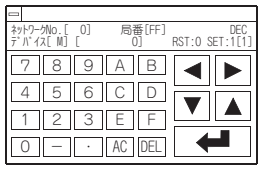
・ユーザが指定した特殊機能ユニットのバッファメモリ以降を 1 ウィンドウに最大 16 点分モニタします。(9.5 節参照)

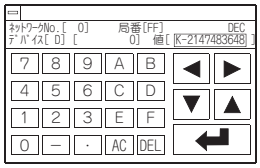
・GOT はフルスクリーンで 4 つのウィンドウに分割してそれぞれ異なるモニタを同時にモニタできます。



(2) テスト操作によるデータ変更が可能（詳細説明　9.6 節）

（テスト例）　　M0 を ON する場合　　D0 現在値を変更する場合





❶ ビットデバイスに対するテスト
ユーザ指定のデバイスを ON/OFF します。

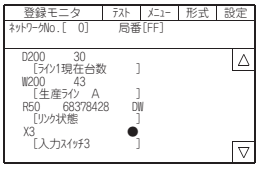
❷ ワードデバイスに対するテスト
ユーザ指定のデバイスに指定値を書き込みます。

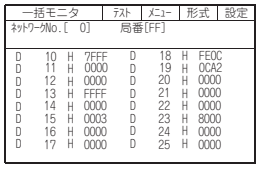
❸ タイマ／カウンタに対するテスト
ユーザ指定のデバイスの現在値／設定値として指定値を書き込みます。

❹ バッファメモリに対するテスト
ユーザ指定のバッファメモリに指定値を書き込みます。

(3) 表示形式の切換え，デバイスコメント表示が可能（詳細説明　9.1.2 項）

（表示例）　　登録モニタの場合（コメント表示）　　一括モニタ場合（16 進数表示）





❶ 表示形式の切換え
登録モニタ，一括モニタ，T/C モニタ，バッファメモリモニタにおいて，ワードデバイスの値を 10 進数／ 16 進数でモニタします。

❷ デバイスコメント表示
シーケンサ CPU のデバイスをモニタしている場合，シーケンサ CPU に書き込まれているコメントを表示します。

(4) 他局モニタが可能
GOT（または GOT 接続局）が含まれるデータリンクシステム，ネットワークシステム，CC-Link システム上の他局に対してシステムモニタすることが可能です。

1.1.4　特殊ユニットモニタ機能の特長

GT Designer2 により特殊ユニットモニタ機能の OS，特殊ユニットモニタデータを GOT の内蔵メモリへインストール（またはダウンロード）することにより，特殊機能ユニットのバッファメモリを専用画面でモニタ・データ変更することができます。
また，入出力ユニットの信号状態をモニタすることができます。
以下に，特殊ユニットモニタ機能の特長を示します。

(1)　専用画面によるモニタを実現（詳細説明　12.2 節以降）
特殊機能ユニット，入出力ユニット対応のメーカ供給の専用画面によりモニタします。
ユーザがモニタ画面を作成する必要はありません。

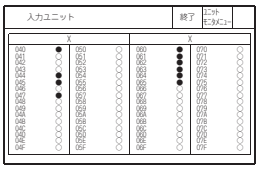
（表示例 1　特殊機能ユニットの場合）

ユニット選択後のメニュー画面　　**メニュー選択後のモニタ画面**



（表示例 2　入力ユニットの場合）

モニタ画面



❶ メニュー画面
特殊機能ユニットのみ，モニタ項目別のメニューを表示します。
メニュー選択により該当モニタ画面が表示されます。

❷ モニタ画面
特殊機能ユニットの場合，バッファメモリの内容，シーケンサ CPU との入出力信号の状態を文字，数値，グラフでモニタします。
入出力ユニットの場合，外部との入出力信号の状態をモニタします。

(2) 書込み操作によるデータ変更が可能（詳細説明　12.1.7 項）

（書込み例）　　モニタ画面　　変更許可チャンネルを変更する場合



1. モニタからの書込み操作により，ユーザ指定バッファメモリに指定値を書き込みます。
2. バッファメモリのデータを変更するとき，自動表示のキーウィンドウを使って数値を入力し，バッファメモリへ書き込みます。

(3) 特殊機能ユニットモニタデータはユーザモニタ画面データとして流用が可能

パソコンにインストールした特殊ユニットモニタデータは，ユーザモニタ画面データとして流用することができます。
流用する場合は，下記操作が必要となります。

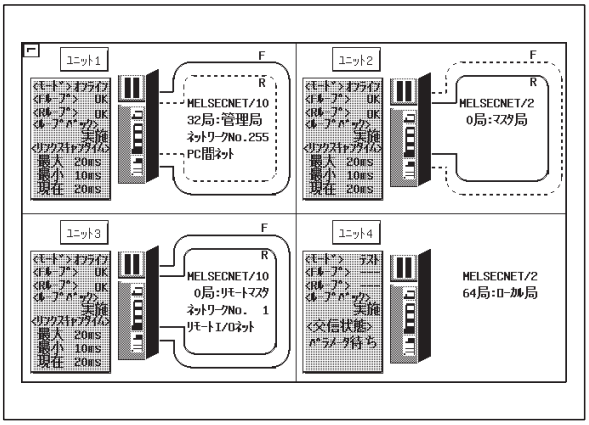
1. 特殊ユニットモニタデータを他プロジェクトからコピー機能により，ユーザモニタデータに流用してください。
2. 設定しているオブジェクト機能の BM 先頭番号を使用するシステムに合わせて修正してください。

1.1.5　ネットワークモニタ機能の特長

GT Designer2 によりネットワークモニタ機能の OS を内蔵メモリへインストールすることにより，MELSECNET/B,MELSECNET(II),MELSECNET/10,MELSECNET/H のネットワーク状態をモニタすることができます。
以下に，ネットワークモニタ機能の特長を示します。

(1)　自局回線モニタ画面で任意のネットワークの詳細モニタ，他局モニタを選択可能

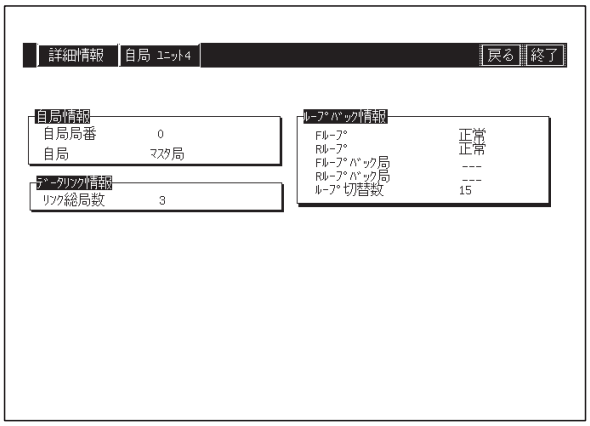
自局回線モニタ画面は，自局に接続されているすべてのネットワーク回線の状態をモニタできます。
また，モニタ画面をタッチ入力することにより，任意のネットワークの詳細モニタや他局モニタを行うことができます。



(2)　自局詳細モニタ画面でネットワークの詳細なネットワーク情報をモニタ可能

接続した自局のネットワーク種別により，専用のモニタ画面を表示します。
ネットワーク種別：MELSECNET/B,MELSECNET(II) マスタ局時
MELSECNET/B,MELSECNET(II) ローカル局時
MELSECNET/10,MELSECNET/H 管理局／通常局時
MELSECNET/10,MELSECNET/H リモートマスタ局時

（表示例）MELSECNET/B,MELSECNET(II) マスタ局時

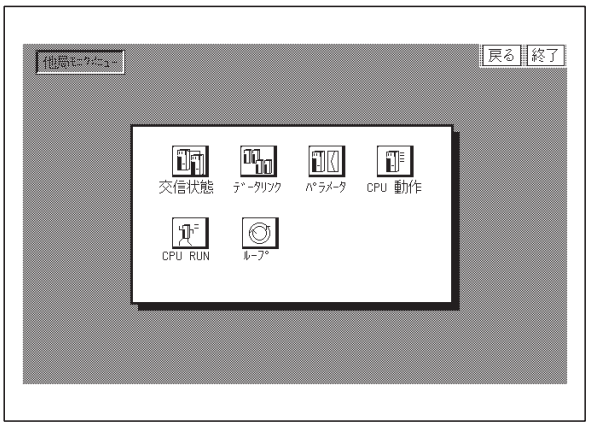


(3) 他局モニタ画面で他局の状態をモニタ可能

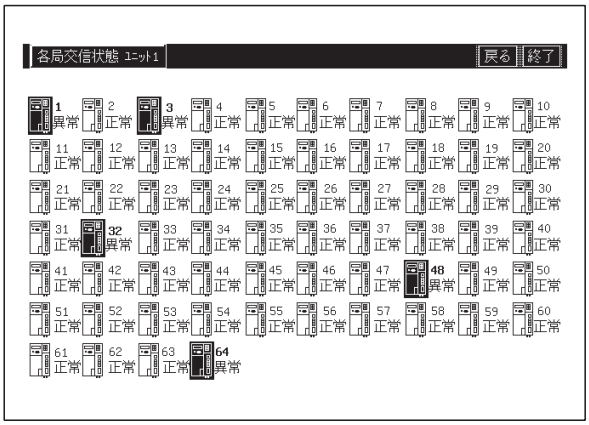
ネットワークに接続されている他局の下記の状態をモニタできます。

・各局交信状態
・各局データリンク状態
・各局パラメータ状態
・各局 CPU 動作状態
・各局 CPU RUN 状態
・各局ループ状態

(表示例) 他局モニタメニュー画面



各局交信状態モニタ画面



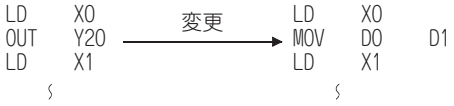
1.1.6　リスト編集機能の特長

GT Designer2 でリスト編集機能の OS を内蔵メモリにインストールすることによって ACPU のシーケンスプログラムをリスト編集することができます。
以下に，リスト編集機能の特長を示します。

(1) パラメータ・シーケンスプログラムなどのメンテナンスが容易

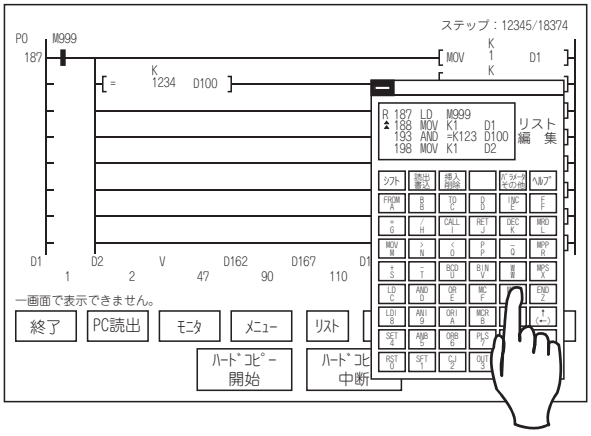
簡単なキー操作でシーケンサ CPU のパラメータおよびシーケンスプログラムをチェックしたり，部分修正／変更／追加が行えます。
GOT 以外の周辺機器を用意しなくても，簡単なシーケンスプログラムの編集ができます。

シーケンスプログラムの命令変更例



(2) 回路モニタ機能との連携（A985/97 ＊ /960GOT 使用時のみ）

回路モニタ画面からリスト編集ウィンドウをワンタッチで起動することができますので，ラダーを確認しながらリスト編集することが可能です。
また，回路モニタで表示しているステップ行からリスト表示することができます。



(3) リスト編集画面を履歴として残すことが可能

ハードコピー機能を利用することにより，リストプログラムの編集画面を履歴として残すことができます。

(4) 他局へのアクセスが可能

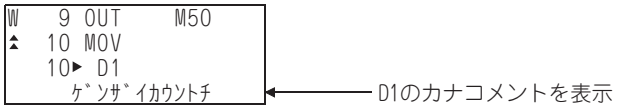
他局シーケンサ CPU のシーケンスプログラムをリスト編集することができます。

(5) ヘルプ機能の充実

対話によるメニュー選択形式で読出し／書込み／挿入／削除の操作ができるヘルプ機能をサポートしているため，より簡単な操作が可能です。

(6) 各デバイスのカナコメント表示が可能

カーソル位置のデバイスのコメントを表示することができます。



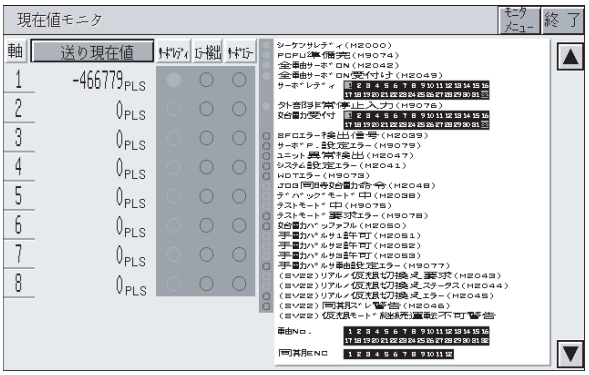
1.1.7　モーションモニタ機能の特長

GT Designer2 により GOT の内蔵メモリへのモーションモニタ機能の OS のインストール，モーションモニタデータのダウンロードにより，モーションコントローラ CPU（Q172CPU,Q173CPU）のサーボモニタとパラメータ設定を行うことができます。
以下に，モーションモニタ機能の特長を示します。

(1)　複数のモニタ画面によって各種のサーボモニタが可能（詳細説明　23.3 節）
モーションモニタ機能には複数のモニタ画面があり，様々なパターンでサーボモニタを行うことが可能です。

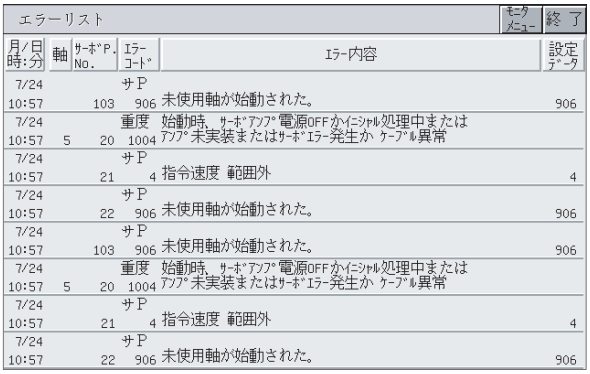
（表示例）

現在値モニタ



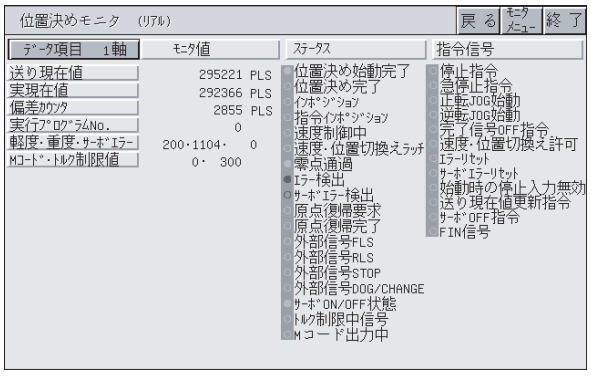
・すべての運転軸に対する送り現在値，実現在値をモニタ表示します。(23.3.1 項参照)

エラーリスト



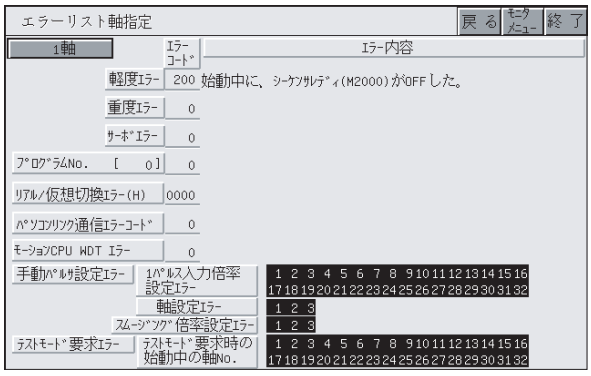
・シーケンサレディ (M2000) の立ち上がりから発生したエラーの履歴（最新 8 個) を表示します。(23.3.3 項参照)

位置決めモニタ



・任意の軸に設定されている位置決めデータを詳細にモニタします。(23.3.5 項参照)

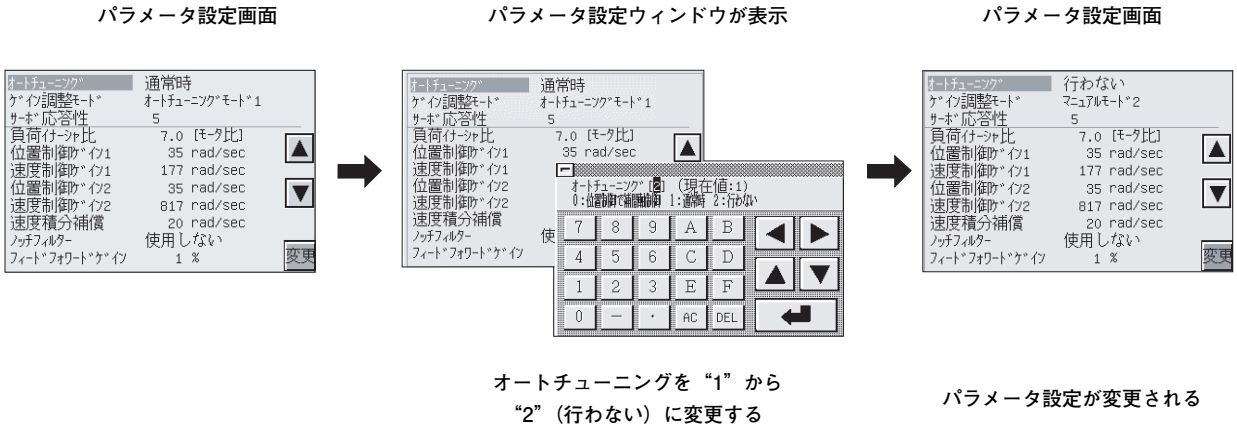
エラーリスト軸指定



・指定した軸に発生している最新のエラーを表示します。(23.3.4 項参照)

(2) 書込み操作によるサーボパラメータ設定が可能（詳細説明 23.4 節）

（書込み例：オートチューニング機能を無効にする）



1. パラメータ設定画面からの書込み操作により，モーションコントローラ CPU にサーボパラメータ設定（基本パラメータ／調整パラメータ）を書き込みます。
2. サーボパラメータ設定を変更するとき，自動表示のキーウィンドウにより数値や選択項目番号を入力してサーボパラメータ設定を変更し，モーションコントローラ CPU へ書き込みます。

1.1.8　サーボアンプモニタ機能の特長

GOT が接続したサーボアンプに対して各種のモニタ機能・パラメータ変更・テスト運転などを行うことができます。
以下に，サーボアンプモニタ機能の特長を示します。

(1)　サーボアンプの状態をリアルタイムで表示（詳細説明　26.4 節，26.5 節）
GOT と接続したサーボアンプの状態や，アラーム内容をリアルタイムに一覧表示します。

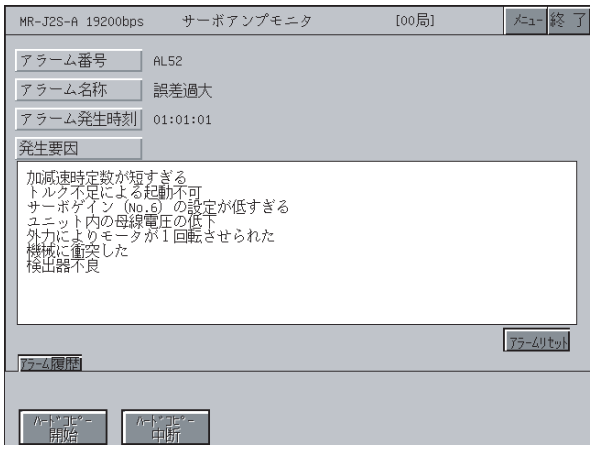
（表示例：A975GOT の場合）

モニタ



・サーボアンプのモニタデータを一覧表示します。(26.4.1 項参照)

アラーム表示



・サーボアンプで現在発生しているアラーム内容（番号，名称，発生時刻，発生要因）を表示します。また，アラームのリセットも可能です。(26.5.1 項参照)

(2)　サーボアンプについての各種診断が可能（詳細説明　26.6 節）
複数の診断機能があり，接続したサーボアンプについてさまざまな診断を行うことができます。

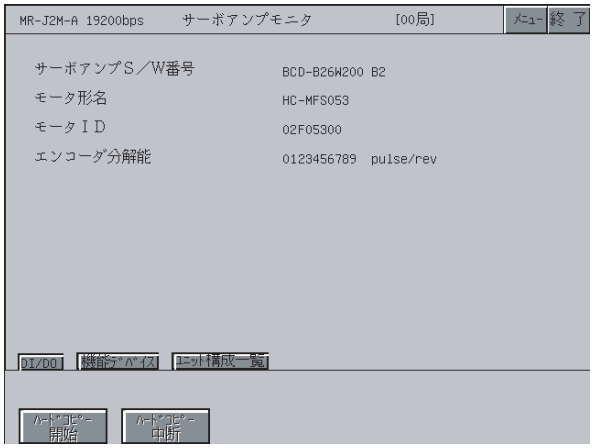
（表示例）

DI/DO 表示



・サーボアンプの外部入出力信号の ON/OFF 状態を一覧表示します。(26.6.1 項参照)

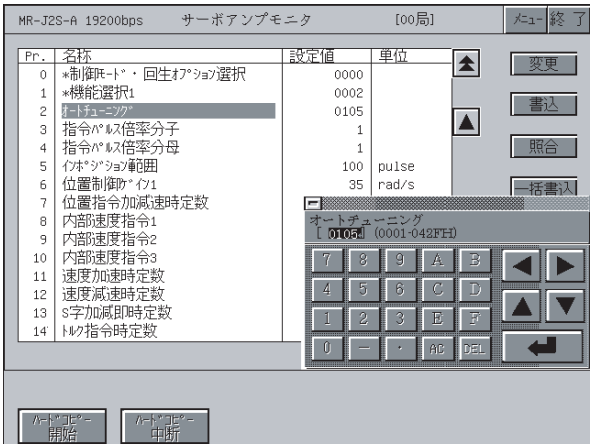
アンプ情報表示



・サーボアンプのソフトウェア番号，サーボモータの情報（形名，ID，エンコーダの分解能）が表示されます。(26.6.3 項参照)

(3) サーボパラメータの書き込みが可能（詳細説明　26.7 節）

サーボアンプのパラメータ内容を読出し，変更してサーボアンプに書込みができます。

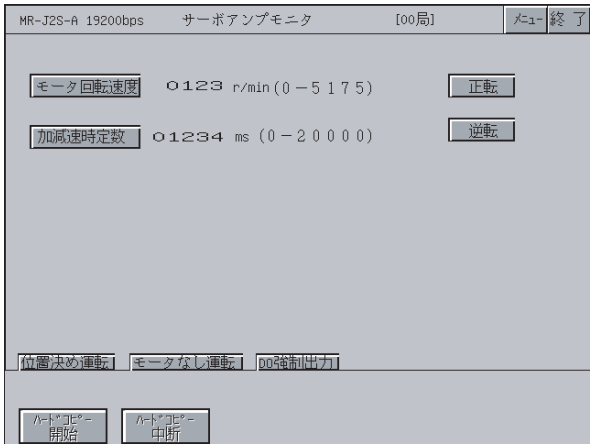


(4) 各種テスト運転が可能（詳細説明　26.8 節）

接続したサーボアンプに対して各種テスト運転ができます。

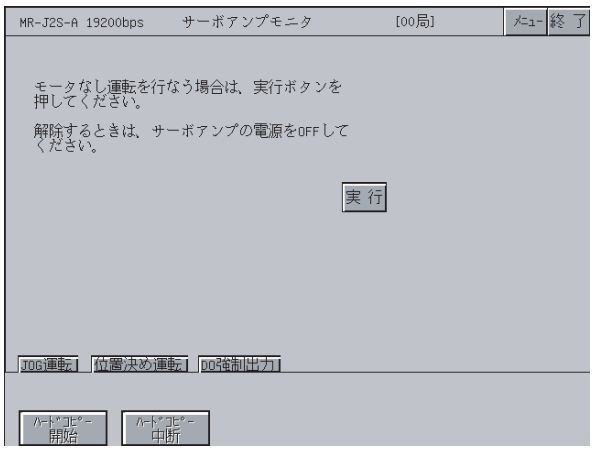
（表示例）

JOG 運転



・正転／逆転キーをタッチしている間，サーボアンプが回転します。(26.8.3 項参照)

モータなし運転



・サーボモータを接続していなくても，サーボアンプ内部でサーボモータの動きをシミュレーションします。(26.8.5 項参照)

1.1.9　CNC モニタ機能の特長

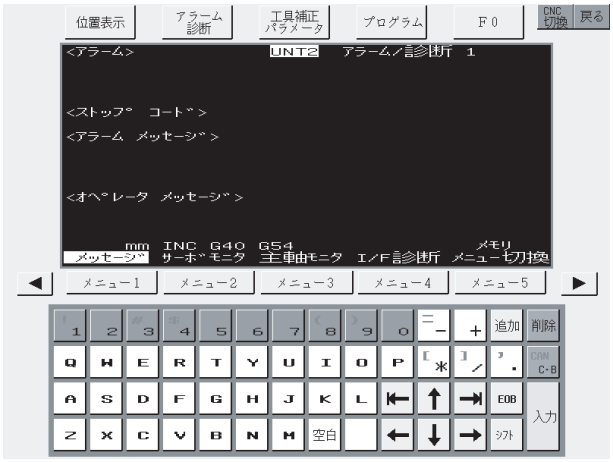
GOT と接続した MELDAS に対して，MELDAS 専用表示器と同等の位置表示モニタ，アラーム診断モニタ，工具補正パラメータ，プログラムモニタ，F0 機能が行えます。

（詳細説明　29.2 節）

位置表示モニタ



アラーム診断モニタ



工具補正パラメータ



プログラムモニタ



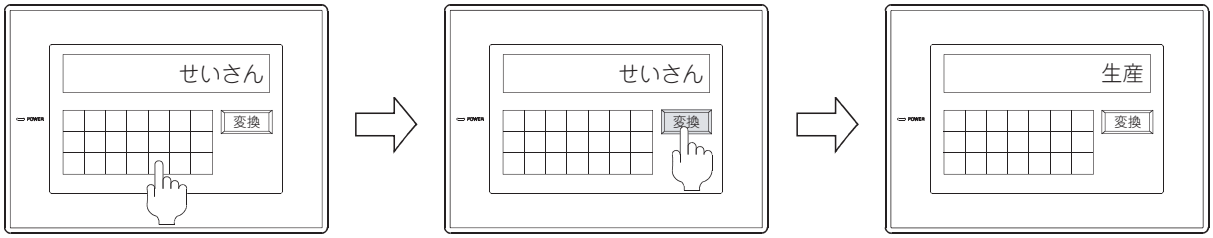
F0 機能



1.1.10 かな漢字変換機能の特長

アスキー入力で入力したひらがなを漢字に変換できます。
ひらがなから漢字への変換は，かな漢字変換用のキーコードを設定したタッチスイッチをタッチして行います。

（詳細説明　31 章）



アスキー入力でひらがなを入力　　変換 スイッチをタッチ　　ひらがなを漢字に変換

1.1.11 文字フォント切換え機能の特長

GOT のモニタ画面，ユーティリティ，拡張機能で表示する文字のフォントを切り換えることができます。

（詳細説明　32 章）

標準フォント

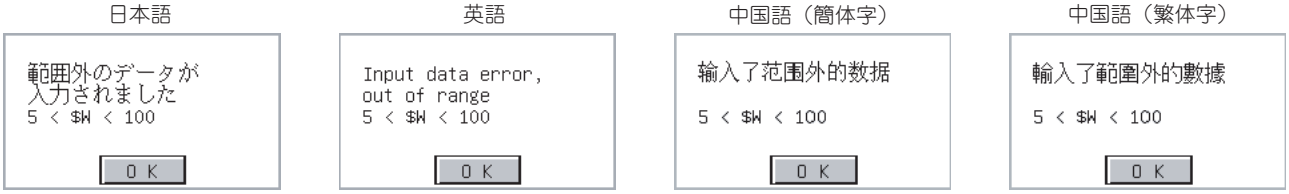


中国語（簡体字）フォント



1.1.12 システムダイアログ言語切換え機能の特長

GOT のモニタ画面で表示するシステムダイアログの言語を切り換えることができます。(詳細説明　33 章)
システムダイアログ言語切換え機能では，GOT にインストールが必要な拡張機能 OS はありません。



(1) 言語切換えができるシステムダイアログは，下記の①，②です。

① モニタ機能で表示するシステムダイアログ

② ユーティリティメニューから拡張機能を起動時，対象の拡張機能 OS がインストールされていない場合に表示するシステムダイアログ

(2) システムダイアログ言語として「中国語（簡体字)」を使用する場合，文字フォント切換え機能で，文字フォントを「中国語（簡体字）フォント」に設定することをお奨めします。

2章　操作を行う前に

本マニュアルの対象モニタ機能を使用するための必要事項について説明します。

2.1　各機能を行うための前準備

本マニュアルで説明している機能を行うためには，GT Designer2 より各機能の OS を GOT にインストールする必要があります。
GT Designer2 Version2 オペレーティングマニュアルを参照して，行う機能の OS を必ず GOT にインストールしてください。

2.2　使用上の注意事項

（1）GOT により，使用できる機能が異なります。
また，機能によっては，機種毎にメモリボードまたは対応 GOT が必要になります。
以下に，各 GOT で使用できる機能と，メモリボードまたは対応 GOT の要否を示します。

○：必要　－：不要　×：機能なし

機　種	A985GOT(-V)	A97*GOT	A960GOT	A956WGOT	A95*GOT	GT SoftGOT2
必要機器	メモリボード*1				-M3 タイプの GOT (A95*GOT-*BD-M3)	なし
ユーティリティ機能	－	－	－	－	－	－
システムモニタ機能	－	－	－	－	－	×*4
回路モニタ機能	○	○	○	○*2	×	×*4
特殊ユニットモニタ機能	○	○	○	×	×	×*4
ネットワークモニタ機能	○	○	○	○	○	×*4
リスト編集機能	○	○	○	○	○	×*4
モーションモニタ機能	○	○	○	○	○*3	×*4
サーボアンプモニタ機能	○	○	○	○	○	×*4
CNC モニタ機能	○	×	×	×	×	×*4
かな漢字変換機能	○	○	○	○	○	○
文字フォント切換え機能*6	○*5	○*5	○*5	○*5	×	×
システムダイアログ言語切換え機能	－	－	－	－	－	×

＊1 オプション機能を行うためのメモリボードには，下記の種類があります。
また，回路モニタ機能使用時はモニタ先のシーケンサ CPU に対応したメモリボードが必要となります。

品　名	形　名	内　容
オプション機能用メモリボード	A9GT-FNB	オプション機能用（MELSEC-A/FX 回路モニタ対応）
	A9GT-QFNB	オプション機能用（MELSEC-Q/QnA/A/FX 回路モニタ対応）
オプション機能用増設メモリボード	A9GT-FNB1M	オプション機能（MELSEC-A/FX 回路モニタ対応）＋内蔵メモリ拡張 1MB
	A9GT-FNB2M	オプション機能（MELSEC-A/FX 回路モニタ対応）＋内蔵メモリ拡張 2MB
	A9GT-FNB4M	オプション機能（MELSEC-A/FX 回路モニタ対応）＋内蔵メモリ拡張 4MB
	A9GT-FNB8M	オプション機能（MELSEC-A/FX 回路モニタ対応）＋内蔵メモリ拡張 8MB
	A9GT-QFNB4M	オプション機能（MELSEC-Q/QnA/A/FX 回路モニタ対応）＋内蔵メモリ拡張 4MB
	A9GT-QFNB8M	オプション機能（MELSEC-Q/QnA/A/FX 回路モニタ対応）＋内蔵メモリ拡張 8MB

＊2 MELSEC-Q 回路モニタのみ使用できます。
＊3 現在値履歴モニタは使用できません。
＊4 専用ソフトウェアを使用することで，同等の機能が可能です。
＊5 メモリボードは，A9GT-QFNB(□M) を使用してください。（A9GT-FNB(□M) では文字フォント切換え機能は使用できません。）
＊6 文字フォント切換え機能を使用する場合，メモリカード（4M バイト以上）が必要になります。

(2) 接続先 CPU，接続形態により行えない機能がありますので注意してください。
接続先 CPU，接続形態による機能ごとの制約を下記に示します。
接続できる CPU の形名および接続形態ごとのモニタ可能アクセス範囲については GOT-A900 シリーズユーザーズマニュアル（接続編）2 章を参照してください。

(a) QCPU（Q モード）と接続時

BT13:A8GT-J61BT13 使用時（インテリジェントデバイス局時）を示す。
BT15:A8GT-J61BT15 使用時（リモートデバイス局時）を示す。
G4:A9GT-RS4,A9GT-50WRS4 使用時（G4 経由時）を示す。

○：使用可能　△：一部制約あり　×：使用不可

機能			参照項	QCPU（Q モード）									
				バス接続	CPU 直接接続	計算機リンク接続	Ethernet 接続	MELSECNET 接続			CC-Link 接続		
								H	B, Ⅱ	10	BT13	BT15	G4
ユーティリティ機能			第 4 章	○			○	×	×	△*1	○	△*2	○
回路モニタ機能	回路モニタ	回路記号によるシーケンスプログラムのモニタ。	6.3.1 項	○			○	×	×	△*10	△*6	×	○
	表示切換え	ワードデバイス値の 10 進，16 進表示。	6.3.3 項										
		デバイスコメントの表示。											
	デバイス変更	デバイス値の変更。	6.3.5 項	○			○	×	×	△*10	△*6	×	○
	プリントアウト	回路の印刷。	6.3.6 項										
システムモニタ機能	登録モニタ	モニタデバイスの事前登録による現在値のモニタ。	9.2 節	○			○	×	×	△*10	○	△*3	○
	一括モニタ	指定デバイス以降 n 点分の現在値のモニタ。	9.3 節										
	T/C モニタ	指定デバイス以降 m 点分の現在値，設定値，接点，コイルのモニタ。	9.4 節	△*9			○	×	×	△*10	△*4	×	○
	BM モニタ	指定特殊機能ユニットの指定バッファメモリ以降 x 点分の現在値のモニタ。	9.5 節	△*9			○	×	×	△*10	○	×	○
	テスト操作によるデータ変更	ビットデバイスの SET/RESET。	9.6 節	○			○	×	×	△*10	○	×	○
		ワードデバイス，バッファメモリの現在値変更。		○		△*5	○	×	×	△*10	○	×	○
		T/C の現在値変更。(T/C モニタの中で操作可)		○			○	×	×	△*10	○	×	○
		T/C の設定値変更。(T/C モニタの中で操作可)		○			○	×	×	△*10	△*6	×	○
	クイックテスト	クイックテストによるデバイス値変更。	9.6.2 項	○			○	×	×	△*10	○		
	表示切換え	デバイスコメントの表示。	9.1.2 項	○			○	×	×	△*10	△*6	×	○
		ワードデバイス値，バッファメモリ値の 10 進，16 進表示。		○			○	×	×	△*10	○		
特殊ユニットモニタ機能		特殊ユニットのバッファメモリを専用画面でモニタ。	第 11 章	○			△*11	×	×	△*10 *11	△*11	×	△*11

機能			参照項	QCPU（Q モード）									
				バス接続	CPU 直接接続	計算機リンク接続	Ethernet 接続	MELSECNET 接続			CC-Link 接続		
								H	B, Ⅱ	10	BT13	BT15	G4
ネットワークモニタ機能		MELSECNET/B,(II),/10 のネットワーク状態をモニタ。	第 15 章	○			○	×	×	△*10	○	×	○
リスト編集機能		シーケンスプログラムをリスト編集。	第 19 章	×									
モーションモニタ機能	サーボモニタ	現在値，位置決めエラーなどのサーボ関連項目を各種モニタ画面でモニタ。	第 22 章	△*8			×						
	パラメータ設定	サーボパラメータの設定値変更。											
サーボアンプモニタ機能		サーボアンプのモニタ，サーボパラメータ設定の変更，テスト運転。	第 25 章	GOT の RS-232C インタフェースを使用するため，接続形態に関係なく使用できます。（サーボアンプモニタ機能の注意事項については，3.7.3 項を参照してください。）									
CNC モニタ機能		MELDAS C6/C64 のモニタ，パラメータ変更	第 28 章	×									
かな漢字変換機能		アスキー入力したひらがなを漢字に変換。	第 31 章	接続形態に関係なく使用できます。									
文字フォント切換え機能		GOT に表示する文字フォントを切り換える。	第 32 章	接続形態に関係なく使用できます。									
システムダイアログ言語切換え機能		GOT のシステムダイアログに表示する言語を切り換える。	第 33 章	接続形態に関係なく使用できます。									

＊ 1 A7GT-J71LP23，A7GT-J71BR13 使用時，接続先 CPU が Q00JCPU，Q00CPU，Q01CPU の場合，時計設定は使用できません。
＊ 2 A8GT-J61BT15 使用時（リモートデバイス局時），時計設定は使用できません。
＊ 3 A8GT-J61BT15 使用時（リモートデバイス局時）は，GOT に割り付けられたリンクデバイスのみモニタ可能です。
＊ 4 A8GT-J61BT13 のソフトウェアバージョン W 版以前を使用した場合は，T/C の設定値はモニタできません。
＊ 5 V,Z の現在値は変更できません。
＊ 6 A8GT-J61BT13 のソフトウェアバージョン W 版以前を使用した場合はモニタできません。
＊ 7 回路モニタのテスト機能で T/C の設定値を変更時は，変更した内容が表示に反映されませんので，再度 PC 読出しを行ってください。
＊ 8 モーションモニタ機能の対象 CPU は，Q172CPU，Q173CPU のみとなります。
＊ 9 Q172CPU，Q173CPU モニタ時は，モニタできません。
＊ 10MELSECNET/10 接続時のモニタは，下記の使用条件を満たした場合のみモニタ可能になります。
(1) GOT
通信ユニット：A9GT-QJ71LP23，A9GT-QJ71BR13
通信ドライバ：MNET/10(A/QnA/Q)
(2) モニタする QCPU，ネットワークユニット（QJ71LP21,QJ71LP21-25,QJ71LP21S-25,QJ71LP21G,QJ71BR11）
機能バージョン B 以降を使用してください。
＊ 11Q12PRHCPU，Q25PRHCPU モニタ時は，モニタできません。

(b) QnACPU と接続時

BT13:A8GT-J61BT13 使用時（インテリジェントデバイス局時）を示す。
BT15:A8GT-J61BT15 使用時（リモートデバイス局時）を示す。
G4:A9GT-RS4,A9GT-50WRS4 使用時（G4 経由時）を示す。

○：使用可能　△：一部制約あり　×：使用不可

機能			参照項	QCPU（Q モード）									
				バス接続	CPU 直接接続	計算機リンク接続	Ethernet 接続	MELSECNET 接続			CC-Link 接続		
								H	B, Ⅱ	10	BT13	BT15	G4
ユーティリティ機能			第 4 章	○			○	×	○			△*1	○
回路モニタ機能	回路モニタ	回路記号によるシーケンスプログラムのモニタ。	6.3.1 項	○			○	×	×	△*6	○	×	○
	表示切換え	ワードデバイス値の 10 進，16 進表示。	6.3.3 項										
		デバイスコメントの表示。											
	デバイス変更	デバイス値の変更。	6.3.5 項	○			○	×	×	△*6	○	×	○
	プリントアウト	回路の印刷。	6.3.6 項										
システムモニタ機能	登録モニタ	モニタデバイスの事前登録による現在値のモニタ。	9.2 節	○			○	×	×	△*6	○	△*2	○
	一括モニタ	指定デバイス以降 n 点分の現在値のモニタ。	9.3 節										
	T/C モニタ	指定デバイス以降 m 点分の現在値，設定値，接点，コイルのモニタ。	9.4 節	○			○	×	×	△*6	○	×	○
	BM モニタ	指定特殊機能ユニットの指定バッファメモリ以降 x 点分の現在値のモニタ。	9.5 節										
	テスト操作によるデータ変更	ビットデバイスの SET/RESET。	9.6 節										
		ワードデバイス，バッファメモリの現在値変更。		○		△*4	○	×	×	△*6	○	×	○
		T/C の現在値変更。(T/C モニタの中で操作可)		○			○	×	×	△*6	○	×	○
		T/C の設定値変更。(T/C モニタの中で操作可)		○			○	×	×	△*6	○	×	○
	クイックテスト	クイックテストによるデバイス値変更。	9.6.2 項	○			○	×	×	△*6	○	○	○
	表示切換え	デバイスコメントの表示。	9.1.2 項	○			○	×	×	△*6	○	×	○
		ワードデバイス値，バッファメモリ値の 10 進，16 進表示。		○			○	×	×	△*6	○	○	○
特殊ユニットモニタ機能		特殊ユニットのバッファメモリを専用画面でモニタ。	第 11 章	○			○	×	×	△*6	○	×	○
ネットワークモニタ機能		MELSECNET/B,(II),/10 のネットワーク状態をモニタ。	第 15 章	○			○	×	×	△*6	○	×	○
リスト編集機能		シーケンスプログラムをリスト編集。	第 19 章	×									

機能			参照項	QCPU（Q モード）									
				バス接続	CPU 直接接続	計算機リンク接続	Ethernet 接続	MELSECNET 接続			CC-Link 接続		
								H	B, Ⅱ	10	BT13	BT15	G4
モーションモニタ機能	サーボモニタ	現在値，位置決めエラーなどのサーボ関連項目を各種モニタ画面でモニタ。	第 22 章	×									
	パラメータ設定	サーボパラメータの設定値変更。											
サーボアンプモニタ機能		サーボアンプのモニタ，サーボパラメータ設定の変更，テスト運転。	第 25 章	GOT の RS-232C インタフェースを使用するため，接続形態に関係なく使用できます。 （サーボアンプモニタ機能の注意事項については，3.7.3 項を参照してください。）									
CNC モニタ機能		MELDAS C6/C64 のモニタ，パラメータ変更。	第 28 章	×									
かな漢字変換機能		アスキー入力したひらがなを漢字に変換。	第 31 章	接続形態に関係なく使用できます。									
文字フォント切換え機能		GOT に表示する文字フォントを切り換える。	第 32 章	接続形態に関係なく使用できます。									
システムダイアログ言語切換え機能		GOT のシステムダイアログに表示する言語を切り換える。	第 33 章	接続形態に関係なく使用できます。									

＊1 A8GT-J61BT15 使用時（リモートデバイス局時）は，時計設定は使用できません。
＊2 A8GT-J61BT15 使用時（リモートデバイス局時）は，GOT に割り付けられたリンクデバイスのみモニタ可能です。
＊3 T/C の設定値はモニタできません。
＊4 V,Z の現在値は変更できません。
＊5 回路モニタのテスト機能で T/C の設定値を変更時は，変更した内容が表示に反映されませんので，再度 PC 読出しを行ってください。
＊6 MELSECNET/10 接続時のモニタは，下記の使用条件を満たした場合のみモニタ可能になります。
(1) GOT
通信ユニット：A9GT-QJ71LP23，A9GT-QJ71BR13
通信ドライバ：MNET/10(A/QnA/Q)
(2) モニタする QCPU，ネットワークユニット（QJ71LP21,QJ71LP21-25,QJ71LP21S-25,QJ71LP21G,QJ71BR11）
機能バージョン B 以降を使用してください。

(c) ACPU/QCPU（A モード）と接続時

BT13:A8GT-J61BT13 使用時（インテリジェントデバイス局時）を示す。
BT15:A8GT-J61BT15 使用時（リモートデバイス局時）を示す。
G4:A9GT-RS4,A9GT-50WRS4 使用時（G4 経由時）を示す。

○：使用可能　△：一部制約あり　×：使用不可

機能			参照項	QCPU（Q モード）									
				バス接続	CPU 直接接続	計算機リンク接続	Ethernet 接続	MELSECNET 接続			CC-Link 接続		
								H	B, Ⅱ	10	BT13	BT15	G4
ユーティリティ機能			第 4 章	○			○	×	○			△*2	○
回路モニタ機能	回路モニタ	回路記号によるシーケンスプログラムのモニタ。	6.3.1 項	○		△*1	○	×	○		○	×	○
	表示切換え	ワードデバイス値の 10 進，16 進表示。	6.3.3 項										
		デバイスコメントの表示。											
	デバイス変更	デバイス値の変更。	6.3.5 項	○			○		○		○	×	○
	プリントアウト	回路の印刷。	6.3.6 項										
システムモニタ機能	登録モニタ	モニタデバイスの事前登録による現在値のモニタ。	9.2 節	○			○	×	○		○	△*3	○
	一括モニタ	指定デバイス以降 n 点分の現在値のモニタ。	9.3 節										
	T/C モニタ	指定デバイス以降 m 点分の現在値，設定値，接点，コイルのモニタ。	9.4 節	○			○		○		○	×	○
	BM モニタ	指定特殊機能ユニットの指定バッファメモリ以降 x 点分の現在値のモニタ。	9.5 節										
	テスト操作によるデータ変更	ビットデバイスの SET/RESET。	9.6 節										
		ワードデバイス，バッファメモリの現在値変更。		○		△*5	○		○		○	×	○
		T/C の現在値変更。(T/C モニタの中で操作可)		○			○		○		○	×	○
		T/C の設定値変更。(T/C モニタの中で操作可)		○		×	○		○		○	×	○
	クイックテスト	クイックテストによるデバイス値変更。	9.6.2 項	○			○		○		○	○	○
	表示切換え	デバイスコメントの表示。	9.1.2 項	○			○		○		○	×	○
		ワードデバイス値，バッファメモリ値の 10 進，16 進表示。		○			○		○		○	○	○
特殊ユニットモニタ機能		特殊ユニットのバッファメモリを専用画面でモニタ。	第 11 章	○		×	○	×	○		○	×	○
ネットワークモニタ機能		MELSECNET/B,(II),/10 のネットワーク状態をモニタ。	第 15 章	○		△*7	○	×	○		○	×	○
リスト編集機能		シーケンスプログラムをリスト編集。	第 19 章	△*8	○	×	△*8	×	△*8		△*8	×	△*8

機能			参照項	QCPU（Q モード）									
				バス接続	CPU 直接接続	計算機リンク接続	Ethernet 接続	MELSECNET 接続			CC-Link 接続		
								H	B, Ⅱ	10	BT13	BT15	G4
モーションモニタ機能	サーボモニタ	現在値，位置決めエラーなどのサーボ関連項目を各種モニタ画面でモニタ。	第 22 章	×									
	パラメータ設定	サーボパラメータの設定値変更。											
サーボアンプモニタ機能		サーボアンプのモニタ，サーボパラメータ設定の変更，テスト運転。	第 25 章	GOT の RS-232C インタフェースを使用するため，接続形態に関係なく使用できます。 （サーボアンプモニタ機能の注意事項については，3.7.3 項を参照してください。）									
CNC モニタ機能		MELDAS C6/C64 のモニタ，パラメータ変更。	第 28 章	×									
かな漢字変換機能		アスキー入力したひらがなを漢字に変換。	第 31 章	接続形態に関係なく使用できます。									
文字フォント切換え機能		GOT に表示する文字フォントを切り換える。	第 32 章	接続形態に関係なく使用できます。									
システムダイアログ言語切換え機能		GOT のシステムダイアログに表示する言語を切り換える。	第 33 章	接続形態に関係なく使用できます。									

＊ 1 A4UCPU（計算機リンク接続時）のサブプログラム 2,3 はモニタできません。
＊ 2 A8GT-J61BT15 使用時（リモートデバイス局時），時計設定は使用できません。
＊ 3 A8GT-J61BT15 使用時（リモートデバイス局時）は，GOT に割り付けられたリンクデバイスのみモニタ可能です。
＊ 4 T/C の設定値はモニタできません。
＊ 5 V,Z の現在値は変更できません。
＊ 6 回路モニタのテスト機能で T/C の設定値を変更時は，変更した内容が表示に反映されませんので，再度 PC 読出しを行ってください。
＊ 7 接続先 CPU が AnU タイプ（MELSECNET/10 ネットワークカード装着時）の場合はモニタできません。
＊ 8 接続先 CPU が ACPU で E^2PROM 運転中の場合，プログラムの書込みはできません。

(d) FXCPU，他社製シーケンサ，マイコンと接続時

○：使用可能　△：一部制約あり　×：使用不可

機能			参照項	FXCPU *5 CPU 直接接続	他社製シーケンサ接続	マイコン接続
ユーティリティ機能			第4章	△*1	△*2	△*3
回路モニタ機能	回路モニタ	回路記号によるシーケンスプログラムのモニタ。	6.3.1 項	○	×	×
	表示切換え	ワードデバイス値の 10 進，16 進表示。	6.3.3 項			
		デバイスコメントの表示。				
	デバイス変更	デバイス値の変更。	6.3.5 項			
	プリントアウト	回路の印刷。	6.3.6 項			
システムモニタ機能	登録モニタ	モニタデバイスの事前登録による現在値のモニタ。	9.2 節	○	×	×
	一括モニタ	指定デバイス以降 n 点分の現在値のモニタ。	9.3 節			
	T/C モニタ	指定デバイス以降 m 点分の現在値，設定値，接点，コイルのモニタ。	9.4 節	△*4	×	×
	BM モニタ	指定特殊機能ユニットの指定バッファメモリ以降 x 点分の現在値のモニタ。	9.5 節	×	×	×
	テスト操作によるデータ変更	ビットデバイスの SET/RESET。	9.6 節	○	×	×
		ワードデバイス，バッファメモリの現在値変更。				
		T/C の現在値変更。(T/C モニタの中で操作可)				
		T/C の設定値変更。(T/C モニタの中で操作可)		×	×	×
	クイックテスト	クイックテストによるデバイス値変更。	9.6.2 項	○	×	×
	表示切換え	デバイスコメントの表示。	9.1.2 項	×	×	×
		ワードデバイス値，バッファメモリ値の 10 進，16 進表示。		○	×	×
特殊ユニットモニタ機能		特殊ユニットのバッファメモリを専用画面でモニタ。	第11章	×	×	×
ネットワークモニタ機能		MELSECNET/B,(II),/10 のネットワーク状態をモニタ。	第15章	×	×	×
リスト編集機能		シーケンスプログラムをリスト編集。	第19章	×	×	×
モーションモニタ機能	サーボモニタ	現在値，位置決めエラーなどのサーボ関連項目を各種モニタ画面でモニタ。	第22章	×	×	×
	パラメータ設定	サーボパラメータの設定値変更。				

機　能		参照項	FXCPU *5	他社製シーケンサ接続	マイコン接続
			CPU 直接接続		
サーボアンプ モニタ機能	サーボアンプのモニタ，サーボパラメータ設定の変更，テスト運転。	第 25 章	GOT の RS-232C インタフェースを使用するため，接続形態に関係なく使用できます。 （サーボアンプモニタ機能の注意事項については，3.7.3 項を参照してください。）		
CNC モニタ機能	MELDAS C6/C64 のモニタ，パラメータ変更。	第 28 章	×		
かな漢字変換機能	アスキー入力したひらがなを漢字に変換。	第 31 章	接続形態に関係なく使用できます。		
文字フォント切換え機能	GOT に表示する文字フォントを切り換える。	第 32 章	接続形態に関係なく使用できます。		
システムダイアログ言語切換え機能	GOT のシステムダイアログに表示する言語を切り換える。	第 33 章	接続形態に関係なく使用できます。		

＊ 1 時計機能のないシーケンサ CPU(FX_0,FX_{0N},FX_1,FX_{2NC},FX_{0S}) と接続時は，時計設定は設定できません。
また，FX_2,FX_{2C} は，リアルタイムクロック用カセット使用時のみ時計設定が可能です。

＊ 2 時計機能のないシーケンサ CPU と接続時は，時計設定は設定できません。

＊ 3 時計素子を内蔵した A9GT-RS2T 使用時のみ時計設定が可能です。

＊ 4 T/C の設定値とコイルはモニタできません。

＊ 5 FX_{3UC} シリーズは，FX_{2N} シリーズのデバイス範囲のみモニタ可能です。

(e) MELDAS C6/C64 と接続時

BT13:A8GT-J61BT13 使用時（インテリジェントデバイス局時）を示す。
BT15:A8GT-J61BT15 使用時（リモートデバイス局時）を示す。
G4:A9GT-RS4,A9GT-50WRS4 使用時（G4 経由時）を示す。

○：使用可能　△：一部制約あり　×：使用不可

機能			参照項	MELDAS C6/C64									
				バス接続	CPU直接接続	計算機リンク接続	Ethernet接続	MELSECNET 接続			CC-Link 接続		
								H	B, Ⅱ	10	BT13	BT15	G4
ユーティリティ機能			第 4 章	×	○	×	○	○	×	×	○	△*1	×
回路モニタ機能	回路モニタ	回路記号によるシーケンスプログラムのモニタ。	6.3.1 項	×	○	×	○	×	×	×	○	×	×
	表示切換え	ワードデバイス値の 10 進，16 進表示。	6.3.3 項	×	○	×	○	×	×	×	○	×	×
		デバイスコメントの表示。		×									
	デバイス変更	デバイス値の変更。	6.3.5 項	×	○	×	○	×	×	×	○	×	×
	プリントアウト	回路の印刷。	6.3.6 項	×	○	×	○	×	×	×	○	×	×
システムモニタ機能	登録モニタ	モニタデバイスの事前登録による現在値のモニタ。	9.2 節	×	○	×	○	×	×	×	○	△*2	×
	一括モニタ	指定デバイス以降 n 点分の現在値のモニタ。	9.3 節	×	○	×	○	×	×	×	○	△*2	×
	T/C モニタ	指定デバイス以降 m 点分の現在値，設定値，接点，コイルのモニタ。	9.4 節	×									
	BM モニタ	指定特殊機能ユニットの指定バッファメモリ以降 x 点分の現在値のモニタ。	9.5 節	×	○	×	○	×	×	×	○	×	×
	テスト操作によるデータ変更	ビットデバイスの SET/RESET。	9.6 節	×	○	×	○	×	×	×	○	×	×
		ワードデバイス，バッファメモリの現在値変更。		×	○	×	○	×	×	×	○	×	×
		T/C の現在値変更。(T/C モニタの中で操作可)		×	○	×	○	×	×	×	○	×	×
		T/C の設定値変更。(T/C モニタの中で操作可)		×									
	クイックテスト	クイックテストによるデバイス値変更。	9.6.2 項	×	○	×	○	×	×	×	○	○	×
	表示切換え	デバイスコメントの表示。	9.1.2 項	×	○	×	○	×	×	×	○	×	×
		ワードデバイス値，バッファメモリ値の 10 進，16 進表示。		×	○	×	○	×	×	×	○	○	×
特殊ユニットモニタ機能		特殊ユニットのバッファメモリを専用画面でモニタ。	第 11 章	×									
ネットワークモニタ機能		MELSECNET/B,(II),/10 のネットワーク状態をモニタ。	第 15 章	×									
リスト編集機能		シーケンスプログラムをリスト編集。	第 19 章	×									

機能			参照項	MELDAS C6/C64									
				バス接続	CPU直接接続	計算機リンク接続	Ethernet接続	MELSECNET 接続			CC-Link 接続		
								H	B, Ⅱ	10	BT13	BT15	G4
モーションモニタ機能	サーボモニタ	現在値，位置決めエラーなどのサーボ関連項目を各種モニタ画面でモニタ。	第22章	×									
	パラメータ設定	サーボパラメータの設定値変更。											
サーボアンプモニタ機能		サーボアンプのモニタ，サーボパラメータ設定の変更，テスト運転。	第25章	GOTのRS-232Cインタフェースを使用するため，接続形態に関係なく使用できます。 （サーボアンプモニタ機能の注意事項については，3.7.3項を参照してください。）									
CNCモニタ機能		MELDAS C6/C64とのモニタ，パラメータ変更。	第28章	×			×	△ ＊3		×		○	
かな漢字変換機能		アスキー入力したひらがなを漢字に変換。	第31章	接続形態に関係なく使用できます。									
文字フォント切換え機能		GOTに表示する文字フォントを切り換える。	第32章	接続形態に関係なく使用できます。									
システムダイアログ言語切換え機能		GOTのシステムダイアログに表示する言語を切り換える。	第33章	接続形態に関係なく使用できます。									

＊1 時計設定は使用できません。

＊2 GOTに割り付けられたリンクデバイスのみモニタ可能です。

＊3 MELSECNET/10接続時のモニタは，下記の使用条件を満たした場合のみモニタ可能になります。

(1) GOT

通信ユニット：A9GT-QJ71LP23，A9GT-QJ71BR13

通信ドライバ：MNET/10(A/QnA/Q)

(2) モニタするQCPU，ネットワークユニット（QJ71LP21,QJ71LP21-25,QJ71LP21S-25,QJ71LP21G,QJ71BR11）

機能バージョンB以降を使用してください。

(f) MELSECNET/H システムのリモート I/O 局と接続時

BT13:A8GT-J61BT13 使用時（インテリジェントデバイス局時）を示す。
BT15:A8GT-J61BT15 使用時（リモートデバイス局時）を示す。
G4:A9GT-RS4,A9GT-50WRS4 使用時（G4 経由時）を示す。

○：使用可能　△：一部制約あり　×：使用不可

機能			参照項	MELDAS C6/C64									
				バス接続	CPU直接接続	計算機リンク接続	Ethernet接続	MELSECNET 接続			CC-Link 接続		
								H	B, Ⅱ	10	BT13	BT15	G4
ユーティリティ機能			第 4 章	×	△*1	△*1	×	×	×	×	×	×	×
回路モニタ機能	回路モニタ	回路記号によるシーケンスプログラムのモニタ。	6.3.1 項	×									
	表示切換え	ワードデバイス値の 10 進，16 進表示。	6.3.3 項	×									
		デバイスコメントの表示。		×									
	デバイス変更	デバイス値の変更。	6.3.5 項	×									
	プリントアウト	回路の印刷。	6.3.6 項	×									
システムモニタ機能	登録モニタ	モニタデバイスの事前登録による現在値のモニタ。	9.2 節	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×
	一括モニタ	指定デバイス以降 n 点分の現在値のモニタ。	9.3 節	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×
	T/C モニタ	指定デバイス以降 m 点分の現在値，設定値，接点，コイルのモニタ。	9.4 節	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×
	BM モニタ	指定特殊機能ユニットの指定バッファメモリ以降 x 点分の現在値のモニタ。	9.5 節	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×
	テスト操作によるデータ変更	ビットデバイスの SET/RESET。	9.6 節	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×
		ワードデバイス，バッファメモリの現在値変更。		×	○	△*2	×	×	×	×	×	×	×
		T/C の現在値変更。(T/C モニタの中で操作可)		×	○	○	×	×	×	×	×	×	×
		T/C の設定値変更。(T/C モニタの中で操作可)		×	○	○	×	×	×	×	×	×	×
	クイックテスト	クイックテストによるデバイス値変更。	9.6.2 項	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×
	表示切換え	デバイスコメントの表示。	9.1.2 項	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×
		ワードデバイス値，バッファメモリ値の 10 進，16 進表示。		×	○	○	×	×	×	×	×	×	×
特殊ユニットモニタ機能		特殊ユニットのバッファメモリを専用画面でモニタ。	第 11 章	×									
ネットワークモニタ機能		MELSECNET/B,(II),/10 のネットワーク状態をモニタ。	第 15 章	×									
リスト編集機能		シーケンスプログラムをリスト編集。	第 19 章	×									

機能			参照項	MELDAS C6/C64									
				バス接続	CPU直接接続	計算機リンク接続	Ethernet接続	MELSECNET 接続			CC-Link 接続		
								H	B, Ⅱ	10	BT13	BT15	G4
モーションモニタ機能	サーボモニタ	現在値，位置決めエラーなどのサーボ関連項目を各種モニタ画面でモニタ。	第22章	×									
	パラメータ設定	サーボパラメータの設定値変更。											
サーボアンプモニタ機能		サーボアンプのモニタ，サーボパラメータ設定の変更，テスト運転。	第25章	GOT の RS-232C インタフェースを使用するため，接続形態に関係なく使用できます。 （サーボアンプモニタ機能の注意事項については，3.7.3 項を参照してください。）									
CNC モニタ機能		MELDAS C6/C64 とのモニタ，パラメータ変更。	第28章	×									
かな漢字変換機能		アスキー入力したひらがなを漢字に変換。	第31章	接続形態に関係なく使用できます。									
文字フォント切換え機能		GOT に表示する文字フォントを切り換える。	第32章	接続形態に関係なく使用できます。									
システムダイアログ言語切換え機能		GOT のシステムダイアログに表示する言語を切り換える。	第33章	接続形態に関係なく使用できます。									

＊1 時計設定画面は表示されますが，日時の設定はできません。日時を設定したい場合は，マスタ局のシーケンサCPU に対して，GX Developer で時計を設定してください。

＊2 V,Z の現在値は変更できません。

(3) 拡張機能，オプション機能の OS は，ユーザ作成のモニタ画面データを格納できる GOT 内蔵メモリにインストールされます。
そのため，GOT に拡張機能 OS をインストールすると，ユーザで使用できるメモリ容量（モニタ画面データ格納用）が減少します。
空き容量が足りない場合は，GOT に増設メモリボードを装着して，メモリ容量を増やしてください。

(a) インストールする拡張機能，オプション機能の OS 一覧

拡張機能 OS 名		インストール時の必要メモリ相当数	備考
システムモニタ		1	—
回路モニタ	MELSEC-A 回路モニタ	1	1 つのみ選択可能
	MELSEC-QnA 回路モニタ* 1	2	
	MELSEC-Q 回路モニタ* 1	2	
	MELSEC-FX 回路モニタ	1	
モーションモニタ* 1		2	1 つのみインストール可能
CNC モニタ* 1		2	
サーボアンプモニタ* 1		2	—
特殊ユニット，レシピ，音声		1	—
ネットワークモニタ		1	—
リスト編集（MELSEC-A）* 1		2	—
ゲートウェイ* 1		2	—
かな漢字変換* 1		2	—
その他* 2	ESC プリンタ，バーコード，レポート，CSV ファイル，外付けキー入力	1	1 つのみ選択可能
	PCL プリンタ，バーコード，レポート，CSV ファイル，外付けキー入力	1	
	ESC プリンタ，バーコード，レポート，CSV ファイル，近接 I/O	1	
	PCL プリンタ，バーコード，レポート，CSV ファイル，近接 I/O	1	
	ESC プリンタ，バーコード，レポート，CSV ファイル，ビデオ /RGB 入力	1	
	PCL プリンタ，バーコード，レポート，CSV ファイル，ビデオ /RGB 入力	1	
	中国語 (Big5) プリンタ，バーコード，レポート，CSV ファイル，外付けキー入力	1	
	中国語 (Big5) プリンタ，バーコード，レポート，CSV ファイル，近接 I/O	1	
	中国語 (Big5) プリンタ，バーコード，レポート，CSV ファイル，ビデオ /RGB 入力	1	
	中国語 (GB) プリンタ，バーコード，レポート，CSV ファイル，外付けキー入力	1	
	中国語 (GB) プリンタ，バーコード，レポート，CSV ファイル，近接 I/O	1	
	中国語 (GB) プリンタ，バーコード，レポート，CSV ファイル，ビデオ /RGB 入力	1	

＊1 GOT にインストールした場合，他の拡張機能 OS の 2 個分のメモリを使用します。
＊2 “その他”の拡張機能 OS は下記の機能を使用する場合にインストールしてください。
・レポート機能　・操作パネル機能　・プリンタ機能
・バーコード機能　・ビデオ表示機能　・RGB 表示
・外部入出力機能　・オブジェクト機能で CSV 形式のファイル作成時

本拡張機能 OS は以下の①，②を参考に，プリンタや CSV ファイルへ出力する言語や，使用するオプション機器にあった OS を選択してください。

① GOT に接続したプリンタや CSV ファイル（アラーム履歴表示機能，レシピ機能）で出力する言語

ESC プリンタ	：日本語で出力
PCL プリンタ	：英語で出力
中国語 (Big5) プリンタ	：中国語（繁体語）で出力
中国語 (GB) プリンタ	：中国語（簡体語）で出力

② 使用するオプション機器

外付けキー入力	：操作パネル，テンキーパネル（操作パネル機能）
近接 I/O	：外部入出力機器（外部入出力機）
ビデオ／ RGB 入力	：ビデオカメラ（ビデオ表示機能），パソコン（RGB 表示機能）

（b）拡張機能 OS のインストール数と，GOT の内蔵メモリの空き容量について

拡張機能 OS のインストール数	使用するメモリ容量 [k バイト]	空き容量（ユーザエリア）[k バイト] *1
0	0	1152
1	256	896
2	384	768
3	640	512
4	768	384
5	1024	128
6	1152	0

＊1 A95 ＊ GOT- ＊ BD-M3 使用時は，内蔵メモリが 3200k バイトあるので，空き容量は上記に 2048k バイト足した値になります。

Point

特殊ユニットモニタ／モーションモニタ／サーボアンプモニタ機能を使用する場合は，内蔵メモリに格納する特殊ユニットモニタデータ／モーションモニタ／サーボアンプモニタ画面分の空き容量が必要となります。（3.3.3 項，3.6.4 項，3.7.5 項参照）

3章　仕　　様

回路モニタ機能，システムモニタ機能，特殊ユニットモニタ機能，リスト編集機能，モーションモニタ機能，サーボアンプモニタ機能，CNC モニタ機能の仕様を，モニタ機能別に示します。

3.1　回路モニタ機能の仕様

Point 回路モニタ機能についての制約事項については，2.2 節を参照ください。

3.1.1　モニタできるシーケンサ CPU

回路モニタが行えるシーケンサ CPU は，QCPU，QnACPU，ACPU，FXCPU，モーションコントローラ CPU（Q172CPU，Q173CPU を除く），MELDAS C6/C64 です。
詳細については，2.2 節 (2) を参照してください。

3.1.2　モニタできるアクセス範囲

回路モニタが行えるアクセス範囲は，GOT-A900 シリーズユーザーズマニュアル（接続編）2 章を参照ください。

Point

- ACPU でパラメータ，シーケンスプログラム，TC 設定値，コメント，拡張コメントの容量の合計が 144k バイト以上のとき，コメントは正しく表示できません。
- QCPU（Q モード），QnACPU でローカルデバイスのモニタはできません。

3.1.3　回路モニタ機能の使用上の注意事項

(1) MELDAS C6/C64 とモニタ時に回路モニタ機能を使用する場合，MELSEC-QnA 回路モニタ用の OS を GOT にインストールしてください。

(2) 文字フォント切換え機能で中国語（簡体字）フォントを使用する場合，MELSEC-Q/QnA 回路モニタ機能は使用できません。
文字フォント切換え機能の仕様については，3.10 節を参照してください。

3.2 システムモニタ機能の仕様

Point システムモニタ機能についての制約事項については，2.2 節を参照ください。

3.2.1 モニタできるシーケンサ CPU

システムモニタが行えるシーケンサ CPU は，QCPU,QnACPU,ACPU,FXCPU，モーションコントローラ CPU，MELDAS C6/C64 です。
詳細については，2.2 節 (2) を参照してください。

3.2.2 モニタできるアクセス範囲

システムモニタが行えるアクセス範囲は，GOT-A900 シリーズユーザーズマニュアル（接続編）2 章を参照ください。

3.2.3 モニタできるデバイス名

システムモニタが行えるデバイス名は，GT Designer2 Version2 リファレンスマニュアルを参照ください。

3.2.4 システムモニタ機能の使用上の注意事項

システムモニタ機能を使用するときの注意事項を示します。

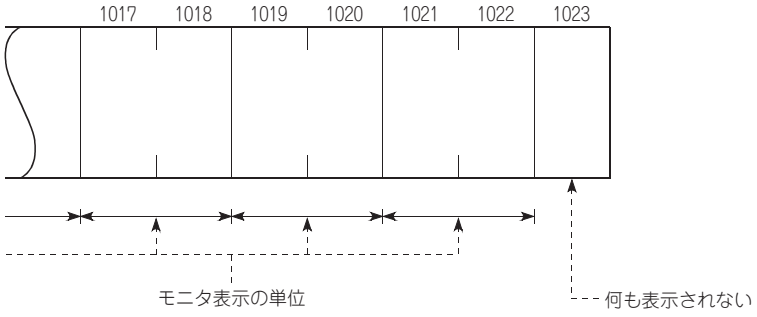
(1) 実数データのモニタ・テスト

実数データのモニタ・テストはできません。
実数データを格納しているワードデバイスに対するモニタは，すべて整数データ（バイナリデータ）で行われます。

(2) 32 ビット単位のモニタ

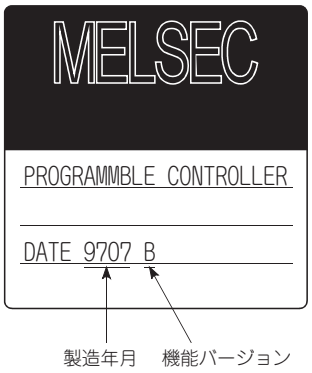
ワードデバイス（T,C,D,W など）を 32 ビット（2 ワード）単位でモニタする場合，モニタ処理の残りが 32 ビット存在するところまでモニタします。
残りが 16 ビット（1 ワード）分になったところは，モニタされません。
この状態は，モニタデバイスの先頭番号として奇数番号を指定したとき発生します。

(例) A2NCPU のデータレジスタを奇数番号 (D1,D3…) から 32 ビット単位でモニタした場合



(3) 大形 QnACPU，小形 QnACPU でタイマ／カウンタの設定値変更，デバイスコメント表示を行えるのは，定格銘板の DATE 欄の記載が [9707 B] 以降の CPU です。
タイマ／カウンタの設定値変更，デバイスコメント表示を行う場合は，上記の CPU をご使用ください。

＜定格銘板の見方＞



(4) AnNCPU，AnACPU，AnUCPU でタイマ／カウンタの設定値変更を行えるのはメインプログラムのみです。

(5) QCPU（Q モード），QnACPU で複数プログラム実行時，タイマ／カウンタの設定値変更は，T/C モニタ画面で表示されているファイル名のプログラム（GX Developer のパラメータ設定で，1 番上の番号に設定しているスキャン実行タイププログラム）に対してのみできます。
なお，表示するファイルを GOT で変更することはできません。
詳細については 9.4.2 項を参照してください。

3.3 特殊ユニットモニタ機能の仕様

Point 特殊ユニットモニタ機能についての制約事項については，2.2 節を参照ください。

3.3.1 モニタできるアクセス範囲

(1) バス接続／ CPU 直接接続／計算機リンク接続時

・接続局および他局のベース上にある特殊機能ユニットのモニタが行えます。

・計算機リンク接続時の特殊ユニットモニタは，下記組み合わせのシステムのみモニタできます。

使用するシーケンサ CPU	使用する計算機リンク／シリアルコミュニケーションユニット＊1
QCPU（Q モード） （二重システム以外）	QJ71C24
QCPU（A モード）	A1SJ71UC24
QnACPU	AJ71QC24，A1SJ71QC24
ACPU	AJ71UC24，A1SJ71UC24

＊1 ユニット名称の詳細は，GOT-A900 シリーズユーザーズマニュアル（接続編）を参照してください。

(2) MELSECNET(II) 接続／ MELSECNET/B 接続時

・マスタ局のベース上にある特殊機能ユニットのモニタが行えます。
（マスタ局が QCPU（Q モード），QnACPU 時はモニタできません。）

・ローカル局／リモート I/O 局のベース上にある特殊機能ユニットのモニタは行えません。

(3) MELSECNET/10 接続時

・管理局，通常局のベース上にある特殊機能ユニットのモニタが行えます。
管理局，通常局の CPU が，QCPU（Q モード），QnACPU の場合，使用する通信ユニットによってはモニタできません。

使用する通信ユニット	対応している管理局，通常局の CPU
A7GT-J71LP23，A7GT-J71BR13	ACPU，QCPU（A モード）
A9GT-QJ71LP23，A9GT-QJ71BR13	ACPU，QCPU（A モード），QnACPU，QCPU（Q モード）

・リモート I/O 局のベース上にある特殊機能ユニットのモニタは行えません。

(4) CC-Link 接続（リモートデバイス局）時

・特殊機能ユニットのモニタは行えません。

(5) CC-Link 接続（インテリジェントデバイス局／ G4 経由）時

・マスタ局／ローカル局のベース上にある特殊機能ユニットのモニタが行えます。

・リモート I/O 局のベース上にある特殊機能ユニットのモニタは行えません。

(6) Ethernet 接続時

・IP アドレスが振られたシーケンサ CPU のベース上にある特殊機能ユニットのモニタが行えます。（GT Designer2 の Ethernet 設定で割り付けた局をモニタできます。）

3.3.2　モニタできる特殊機能ユニット

特殊ユニットモニタが可能な特殊機能ユニットは，3.3.3 項に示す形名のユニットです。
それ以外の特殊機能ユニットのモニタは，システムモニタ機能の「BM モニタ」でモニタすることができます。

3.3.3 必要メモリ容量

特殊ユニットモニタデータのメモリ容量を下記に示します。
GOT の内蔵メモリに格納するときの必要メモリ容量とパソコンのハードディスクに格納する場合に必要なメモリ容量は同様です。

QCPU（A モード），QnACPU，ACPU 用		QCPU（Q モード）用	
格納するデータ	メモリ容量 [k バイト]	格納するデータ	メモリ容量 [k バイト]
特殊ユニットモニタデータ共通情報	13.4	特殊ユニットモニタデータ共通情報	13.4
A61LS	14.5	Q64AD	18.2
AD61	8.14	Q68ADV	
A62DA-S1	6.91	Q68ADI	
A62LS	69.8	Q62DA	12.9
A68AD(S2)	9.97	Q64DA	
A68ADN	15	QD62	16.2
A68RD3	17.8	QD62E	
A68RD4		QD62D	
A616AD	123	QD75P	313.5
A616DAI	33.5 * 3	QD75D	
A616DAV		QD75M	473.8
A616TD	230	入力ユニット	0.0
AD70	20.5	出力ユニット	0.0
AD70D	29.3	—	—
AD71(S1/S2/S7)	546	—	—
AD72	562	—	—
A1SD71-S2(S7)		—	—
AD75P1(P2/P3) * 1	520 * 3	—	—
A1SD75P1(P2/P3) * 2		—	—
AJ71PT32-S3	43.5	—	—
AJ71ID1(ID2)-R4	40.5	—	—
A1SJ71ID1(ID2)-R4		—	—
A84AD	20.2	—	—
A1SD61	36.9	—	—
A1S62DA	5.12	—	—
A1S62RD	12.5	—	—
A1S63ADA	16.4	—	—
A1S64AD	12.3	—	—
A1S68AD	9.75	—	—
A1S68DAI	25.8 * 3	—	—
A1S68DAV		—	—
A1SD70	21.1	—	—
A1SJ71JP132-S3	43.2	—	—
A1S64TCTT/RT-S1	45.7	—	—
入力ユニット	0.0	—	—
出力ユニット	0.0	—	—

＊ 1:AD75M1(M2/M3) は，AD75P1(P2/P3) の範囲内でモニタできます。
＊ 2:A1SD75M1(M2/M3) は，A1SD75P1(P2/P3) の範囲内でモニタできます。
＊ 3: いずれかのダウンロードで双方の特殊機能ユニットがモニタできます。

3.3.4 特殊ユニットモニタ機能の使用上の注意事項

特殊ユニットモニタ機能を使用するときの注意事項を示します。

(1) モニタできない特殊機能ユニット

システム構成画面に“特殊”と表示されるユニットは，特殊ユニットモニタ機能でモニタできません。

モニタするときは，システムモニタ機能の「BM モニタ」で行ってください。

(2) 小形ビルディングブロックタイプ CPU 接続時の表示

GOT 接続局の小形ビルディングブロックタイプ CPU（A1SCPU など）に大形ビルディングブロックタイプ用の増設ベースユニットが接続されている場合の注意事項です。

この場合，システム構成画面には大形増設ベースユニット上の特殊機能ユニットが同種の小形ビルディングブロックタイプの特殊機能ユニットの形名で表示されます。

小形ビルディングブロックタイプの特殊機能ユニットがない場合は“特殊”と表示され，該当ユニットのモニタはできません。

（例）

［装着ユニット］		［表示形名］
AD72	→	A1SD71
AJ71ID	→	A1SJ71ID
AJ71PT32-S3	→	A1SJ71PT32-S3
AD75P	→	A1SD75P
A68ADN[CH1～CH8]	→	A1S64AD[CH1～CH4]
A68RD[CH1～CH8]	→	A1S62RD[CH1～CH4]

(3) 制約付き特殊機能ユニットのモニタ

(a) AD71(S1,S2,S7) をモニタする場合

AD71 装着の前スロットが空きスロットのときは，次のようにモニタされます。

① AD71 は AD72 とみなされ，システム構成画面には“AD72”と表示されます。
この場合，AD71 をモニタするときは対象表示位置の AD72 を選択してください。

② 上記①により表示するモニタ画面は，AD72 用です。
表示中の入出力信号の番号から 10H 分を引いた番号が AD71 を 0 スロットへ装着したときの番号になります。

＊ AD71 を AD72 にみなされないようにするときは，“AD71 の装着位置を前詰めにする”，または“I/O 割付けで AD71 の前の空きスロットを X・Y16 点に割り付ける”を行ってください。

(b) 小形ビルディングブロックタイプシーケンサ CPU に装着時の A68AD,A68ADN, A68RD をモニタする場合

GOT は，小形ビルディングブロックタイプシーケンサ CPU（A1SCPU など）に接続の，大形ビルディングブロックタイプ用増設ベースユニットに装着されている特殊機能ユニットを小形ビルディングブロックタイプの特殊機能ユニットとして認識し，モニタ処理します。
そのため，A68AD,A68ADN,A68RD を使用する場合は下記のような注意事項があります。

特殊機能ユニット	注意事項
A68AD	A68AD と A1S68AD ではバッファメモリの構成が異なるため，A68AD は正しく表示できない。
A68ADN	A68ADN は CH1 から CH8 まであるが，A1S64AD は CH1 ～ CH4 までしかないため，CH5 ～ CH8 は表示できない。
A68RD	A68RD は CH1 ～ CH8 であるが，A1S62RD は CH1 ～ CH2 であるため，CH3 ～ CH8 は表示できない。

大形ビルディングブロックタイプシーケンサ CPU（AnUCPU など）の，ベースユニットに装着されている場合は正常にモニタできます。

(c) A1SD75M,AD75M をモニタする場合

A1SD75M ／ AD75M が装着時は，A1SD75P ／ AD75P と表示されます。
モニタ範囲は，すべて A1SD75P ／ AD75P の範囲内です。

(d) A81CPU をモニタする場合

A81CPU のモニタは，次のように行われます。

項目	前半 64 点分	後半 64 点分
A81CPU の扱い	モニタ不可のユニットとみなす。	入力ユニットとみなす。
システム構成画面の表示	“特殊 X,Y[ ]”を表示。	“入力 64X[ ]”を表示。
モニタの可否	不可	入力としてモニタ可

(e) 入出力混合ユニットをモニタする場合

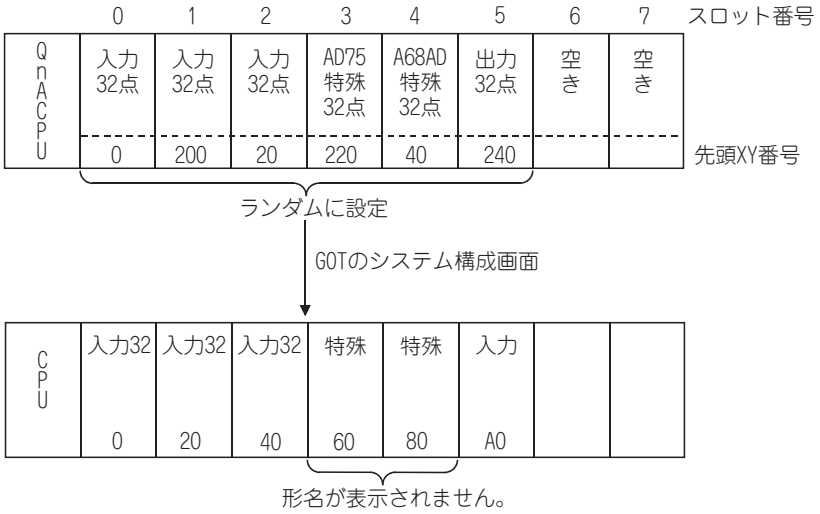
① システム構成画面に“出力[ ]”を表示している入出力混合ユニットは，出力信号のみモニタできます。
入力信号は，システムモニタ機能でシーケンサ CPU デバイスの X をモニタしてください。

(4) 特殊ユニットモニタデータの修正，流用

特殊ユニットモニタ機能のモニタ画面データは，オブジェクトの新規追加や修正はできません。
ただし，ユーザ作成のモニタ画面への流用は可能です。

(5) I/O 割付け設定の注意事項

(a) QnACPU 接続時，I/O 割付けを下図のようにランダムに設定している場合でも，特殊ユニットモニタのシステム構成画面の先頭 XY 番号は，順番の表示になります。
特殊ユニットモニタを行う場合は，必ず I/O 割付けを 0 スロットから順番に行ってください。



(b) I/O 割付けを出力で割付けた箇所がユニット未装着である場合，GOT の表示は入力の表示になります。(ACPU,QnACPU 共通)

(6) QCPU（Q モード）に QA1S6 □形増設ベースユニットを使用時の表示

GOT 接続局の QCPU（Q モード）に QA1S6 □形増設ベースユニットが接続されている場合の注意事項です。
この場合，下記に示す特殊機能ユニットはシステム構成画面に略式形名が表示されます。
略式形名が表示されたユニットの正式形名は，ユニット詳細情報で確認することができます。
また，サポートされていない特殊機能ユニットは“特殊”と表示され該当ユニットのモニタはできません。

装着ユニット	表示形名
A1S63ADA	63ADA
A1SJ71PT32-S3	J71PT32-
A1SJ71ID1-R4	J71ID
A1SJ71ID2-R4-S1	
A1S64TCTT(BW)-S1	64TCTT/R
A1S64TCRT(BW)-S1	

3.4 ネットワークモニタ機能の仕様

Point ネットワークモニタ機能についての制約事項については，2.2 節を参照ください。

3.4.1 モニタできるネットワーク情報

ネットワークモニタでモニタできるネットワーク情報およびリンク種別は，下記の項目です。

表 3.1 モニタできるネットワーク情報

機能区分	ネットワーク情報	MELSECNET(II)/B マスタ局	MELSECNET(II)/B ローカル局	MELSECNET/10 MELSECNET/H 管理局	MELSECNET/10 MELSECNET/H 通常局	MELSECNET/10 MELSECNET/H リモートマスタ局
自局回線モニタ	ネットワーク種別表示	○	○	○	○	○
	ネットワーク No. 表示	×	×	○	○	○
	局番の表示	○	○	○	○	○
	自局の動作モード	○	○	○	○	○
	自局のループ回線状態	○	○	○	○	○
	ループバック実施状態	○	○	○	○	○
	リンクスキャンタイム表示	○	×	○	○	○
	データリンクシステムのループ状態	○	×	○	○	○
	自局の交信状態	×	○*1	×	×	×

表 3.1　モニタできるネットワーク情報

機能区分		ネットワーク情報	MELSECNET(II)/B マスタ局	MELSECNET(II)/B ローカル局	MELSECNET/10 MELSECNET/H 管理局	MELSECNET/10 MELSECNET/H 通常局	MELSECNET/10 MELSECNET/H リモートマスタ局
回線詳細モニタ	自局情報	自局局番	○	○	○	○	○
		自局	○	○	×	×	×
		ネットワーク No.	×	×	○	○	○
		グループ No.	×	×	○	○	×
	管理局情報	指定管理局	×	×	○	○	×
		現在管理局	×	×	○	○	×
		交信情報	×	×	○	○	×
		サブ管理局リンク	×	×	○	○	×
		リモート I/O マスタ局番	×	×	○	○	×
	データリンク情報	リンク総局数	○	○	○	○	○
		最大正常交信局	×	×	○	○	○
		最大データリンク局	×	×	○	○	○
		交信状態	×	○	○	○	○
		交信中断原因	×	×	○	○	○
		データリンク停止原因	×	×	○	○	○
	コンスタントスキャン	コンスタントスキャン	×	×	○	○	○
	BWY の受信	マスタ局からの BWY	×	○	×	×	×
	BW の受信	上位ループのマスタ局からの BW	×	○	×	×	×
	ループバック	F ループの状態	○	○	○*2	○*2	○*2
		R ループの状態	○	○	○*2	○*2	○*2
		F ループバック局	○	×	○*2	○*2	○*2
		R ループバック局	○	×	○*2	○*2	○*2
		ループ切換え回数	○	×	○*2	○*2	○*2
	自局状態	パラメータ設定	×	×	○	○	×
		予約局指定	×	×	○	○	○
		交信モード	×	×	○	○	○
		伝送指定	×	×	○*2	○*2	○*2
		伝送状態	×	×	○*2	○*2	○*2
他局モニタ		各局交信状態	○	×	○	○	○
		各局データリンク状態	○	×	○	○	○
		各局パラメータ状態	○	×	○	○	○
		各局 CPU 動作状態	○	○	○	○	×
		各局 CPU RUN 状態	○	○	○	○	×
		各局ループ状態	○	×	○*2	○*2	○*2

＊ 1 MELSECNET(II) ローカル局に接続時のみ機能あり。

＊ 2 MELSECNET/10,MELSECNET/H のループシステム時のみ機能あり。

○：機能あり×：機能なし

3.4.2　モニタできるアクセス範囲

ネットワークモニタが行えるアクセス範囲は，GOT-A900 シリーズユーザーズマニュアル（接続編）2 章を参照ください。

3.4.3　ネットワークモニタ機能の使用上の注意事項

ネットワークモニタ機能を使用するときの注意事項を示します。

(1) GOT 接続先の CPU タイプが AnNCPU,AnACPU の場合，MELSECNET/10 のネットワークユニットを使用していても，モニタできるネットワーク情報は MELSECNET(II)/B ローカル局の内容になります。

(2) 接続先 CPU，接続形態によりネットワークモニタ機能が使用できない場合がありますので，注意してください。

接続先 CPU	接続形態	ネットワークモニタ機能		
		自局回線モニタ	自局詳細モニタ	他局モニタ
QCPU,QnACPU,ACPU モーション コントローラ CPU ＊3	バス接続	○	○	○
	CPU 直接接続			
	MELSECNET 接続 ＊1			
	計算機リンク接続 ＊2			
	CC-Link 接続			
	Ethernet 接続			
FXCPU	CPU 直接接続	×	×	×
他社製シーケンサ				

＊1 MELSECNET/B，MELSECNET(Ⅱ) 接続時，マスタ局が Q/QnACPU の場合はモニタできません。
MELSECNET/10 接続時，管理局が Q/QnACPU の場合，使用する条件によっては QCPU(Q モード)，QnACPU がモニタできません。

対応している管理局，通常局の CPU	使用する通信ユニット	GOT の通信ドライバ	モニタする CPU，ネットワークユニットのハードウェアバージョン
ACPU，QCPU（A モード ）	A7GT-J71LP23，A7GT-J71BR13	MNET10(A)	−
ACPU，QCPU（A モード)，QnACPU，QCPU（Q モード ）	A9GT-QJ71LP23，A9GT-QJ71BR13	MNET10(A/QnA/Q)	バージョン B 以降

＊2 接続先 CPU が AnUCPU で，MELSECNET/10 のネットワークユニットを使用している場合はモニタできません。

＊3 接続先 CPU が Q172CPU，Q173CPU の場合はモニタできません。

(3) 接続先 CPU が QnACPU の場合で，MELSECNET(Ⅱ) のマスタ時にキーワードが設定されているときはモニタできません。

(4) MELSECNET/H のネットワークユニットをモニタしている場合でも，下記の場合は MELSECNET/10 の表示となります。
・交信異常（ケーブル抜けなど）で起動した通常局の場合
・モニタ先がリモートマスタ局の場合

3.5 リスト編集機能の仕様

Point リスト編集機能についての制約事項については，2.2 節を参照ください。

3.5.1 リスト編集できるシーケンサ CPU

リスト編集が行えるシーケンサ CPU は，QCPU（A モード），ACPU のみです。
詳細については，2.2 節 (2) を参照してください。

Point A2USH-S1/A2SH-S1/A2SH/A1SH/A1SJHCPU を使用時は，リスト編集できる範囲に下記のような制限があります。

A2USHCPU-S1 使用時 ：A3UCPU の範囲内
A2SH-S1/A2SH/A1SH/A1SJHCPU 使用時 ：A3NCPU の範囲内

3.5.2 リスト編集できるアクセス範囲

リスト編集が行えるアクセス範囲は，GOT-A900 シリーズユーザーズマニュアル（接続編）2 章を参照ください。

3.5.3 リスト編集機能の使用上の注意事項

リスト編集機能の使用時の注意事項を示します。

(1) 命令指定による読出し時の注意
専用命令を指定して回路読出しを行うことができません。

(2) 回路モニタ機能と併用時の注意事項
回路モニタ機能起動時にリスト編集を行っても，回路モニタ画面に編集内容が反映されません。
表示に反映させるためには，再度回路モニタの PC 読出しを行う必要があります。

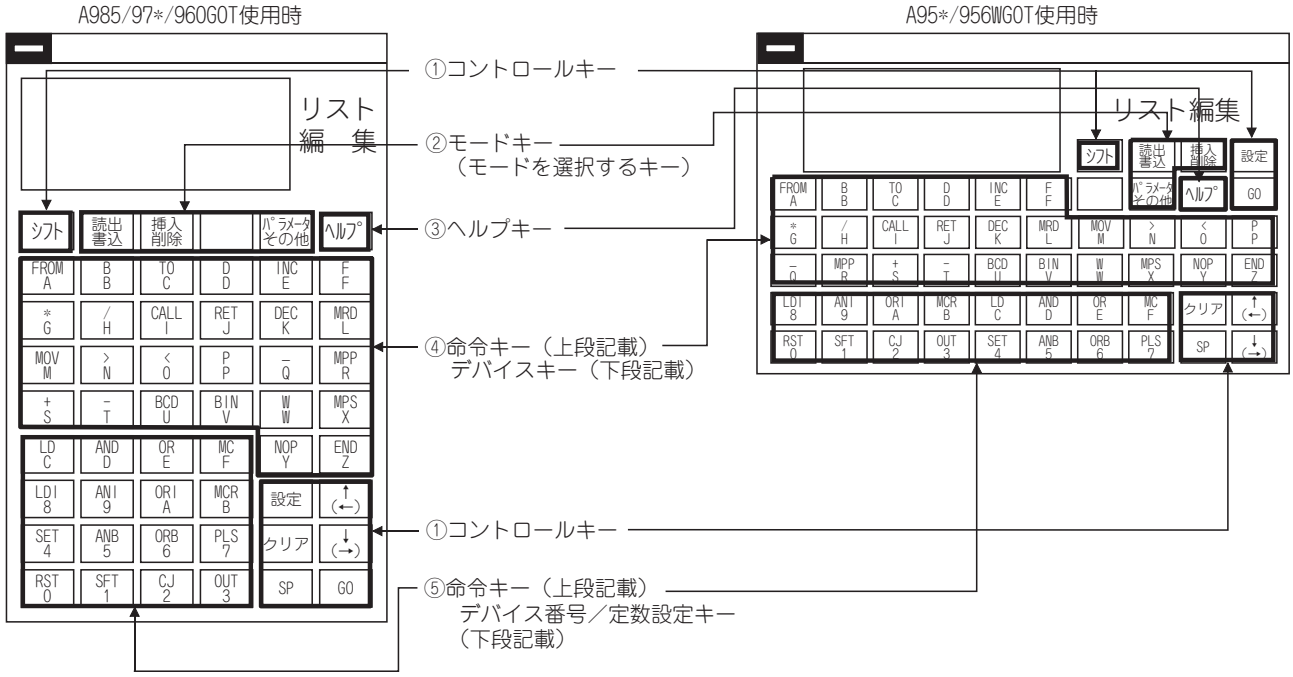
(3) リスト編集時の注意事項
対象シーケンサが STOP 時にリスト編集を行ってください。
RUN 中にリスト編集することはできません。

(4) 他の周辺機器でパラメータ変更時の注意事項
リスト編集機能を使用時に他の周辺機器でパラメータを変更した場合は，リスト編集機能が内部に持っているパラメータと一致しなくなります。
そのため，GOT 本体をリセットするか，PC No. 設定を再度行うことによりパラメータを読み出してください。

(5) Ethernet 接続時の注意事項
Ethernet 接続時にリスト編集機能を使用するには，あらかじめ GT Designer2 での自局設定を，ACPU か QCPU(A モード) に設定する必要があります。

3.5.4　キー配列とキー機能一覧

リスト編集ウィンドウのキー配列と機能を示します。



No.	名　称	キー	機能概要
①	コントロールキー	設定	ステップ番号の入力開始または自動スクロール開始などを宣言するキー。 2 つの目的で使用できる各キーの，下段を有効キーに切り換えるキー。 上段と下段のどちらが有効かは，表示部の表示で確認可能。
		シフト	2 つの目的で使用できる各キーの，上段を有効キーに切り換えるキー。 上段と下段のどちらが有効かは，表示部の表示で確認可能。
		クリア	パラメータ，その他モード，ヘルプ機能以外のとき クリアキーが入力されると，モード選択が行われた状態に戻る。 （モードを除いて，入力されていた命令やデバイス番号などがクリアされる。） キー操作をまちがえた場合の操作のやり直し時に使用する。
			パラメータモードのとき 処理を中断する。再開時は，そのまま操作を続行すること。
			その他モードのとき一つ前の表示に戻る。
			ヘルプ機能使用時 ヘルプキー入力時の表示に戻る。
		SP	命令部とデバイス名間など，空白を入力するキー。
		(←)・(→)	表示部のカーソル（▶，■）移動，またはスクロール表示のスクロール方向指示を行うキー。＊
		GO	一連のキー操作の最後に押し，それまでのキー操作の実行を行わせるキー。 一連のキー操作の内容を表示部で確認してから，キー入力すること。
②	モードキー	読出書込 ～ パラメータその他	リスト編集機能の各モードを選択するキー。 上段のモードと下段のモードは，シフトキーの入力で切り換える。
③	ヘルプキー	ヘルプ	ヘルプ機能をサポートしているモードでのヘルプ機能を選択するキー。

No.	名　称	キー	機能概要
④	命令キー デバイスキー	FROM A ～ END Z	命令，デバイス名，定数入力時の K/H を入力するキー。 上段と下段の有効キーの切換えを必要とする場合のみ，シフト，設定 キーの入力で切換えが可能となる。
⑤	命令キー デバイス番号／ 定数設定キー	RST 0 ～ MC F	命令，デバイス番号，定数を入力するキー。 上段と下段の有効キーの切換えを必要とする場合のみ，シフト，設定 キーの入力で切換えが可能となる。

＊　カーソルキーのステップ間の移動，メニュー項目間の移動および，入力エリア内の移動について下記に示します。

(1) カーソルキーは，押し続けると指定キー方向への移動を繰り返します。

(2) ステップ間，メニュー項目間の移動

現在表示されているステップ番号の命令の，直前／直後のプログラムを表示させるときは

↑／↓のいずれかをキー入力してください。

↑: 直前のプログラム（0 ステップの次は，変化しません。）

↓: 直後のプログラム（最終ステップの次は，変化しません。）

```
R       0   L D          X 0 0 0 5
▲       1    A N D       M 2
        2 ▶ 0 U T        T 0
        3     K 1 2 3
```

“▶”は，↑または↓キーで指定方向（上下）に移動できます。

(3) 入力エリア内の移動

命令名，ソース，ディスティネーション間のカーソル移動は(←) ／(←) のいずれかをキー入力してください。

```
W    1 1 5      M 5
▼    1 2 0    L D          M 3
     1 2 1 ▶ N 0 P
P    K 2 1 4 7 4 8 3 6 4 7    D 1 0 0 0 ■
```

入力エリア

DMOVP K2147483647 D1000入力時の表示例です。

“■”は，(←) または (←) キーで指定方向（左右）に移動できます。

本オペレーティングマニュアルの本文中では，リスト編集機能のキーを次のように省略して表現します。

(1) [キー1]→[キー2]→…… [キーn] の表現は，[キー1] から [キーn] を順番に入力することを示します。

(2) [キー1] ＋ [キー2] の表現は，[キー1] と [キー2] を同時に入力することを示します。

(3) [RST 0] [MOV M] キーのように，命令またはデバイス／定数などの入力用として 2 つの目的で使用できるキー，リスト編集機能の動作を制御するコントロールキーの表記は，以下とします。

(a) 操作内容に合わせて，モード命令，または英数字のみを表記します。

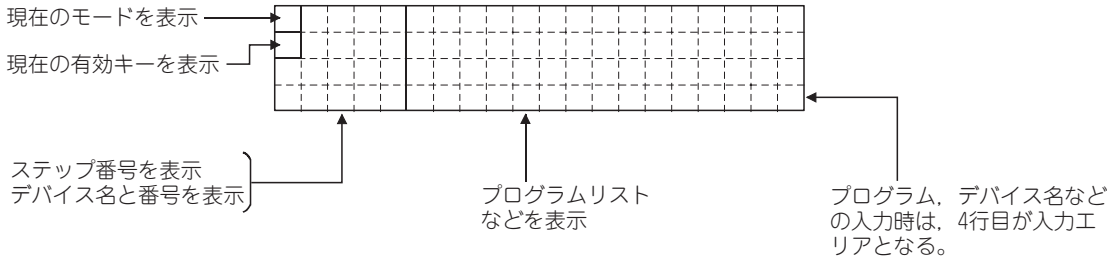
例
[RST 0] → [RST] または [0]，[MOV M] → [MOV] または [M]

(b) 命令を入力するときの説明では，命令のみを示します。(英数字部の表現を省略します。)
英数字を入力するときの説明では，英数字のみを示します。(命令部の表現を省略します。)

例 [MOV M] キーを表現する場合
命令の入力を説明するとき……[MOV]
英数字の入力を説明するとき……[M]

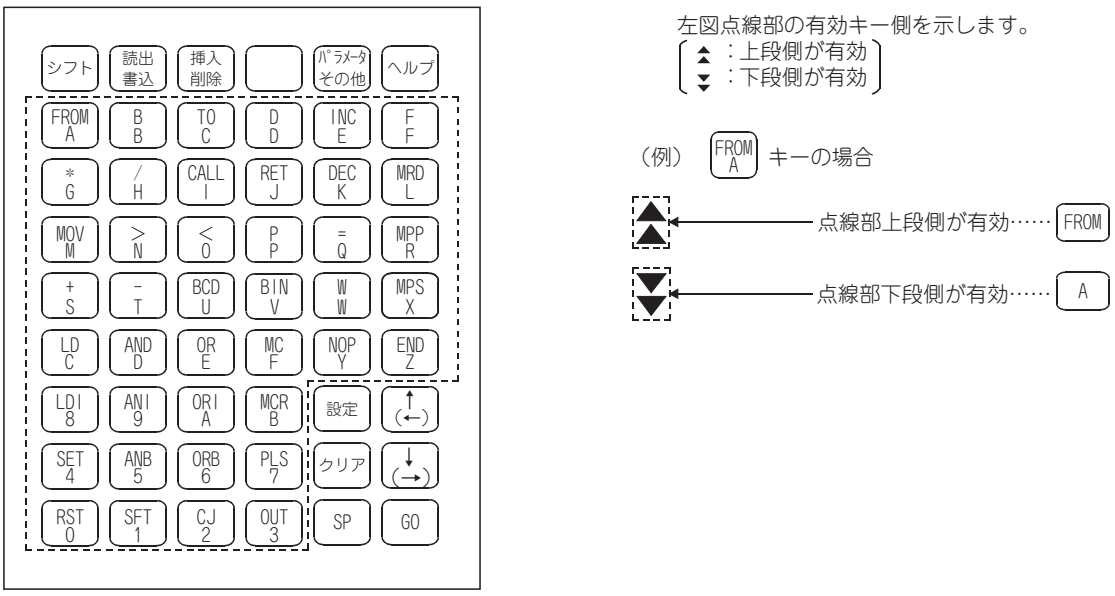
3.5.5 表示部の表示形式

リスト編集機能の表示部への，各データの表示位置と表示内容を示します。



(1) モードおよび有効キーの表示

リスト編集機能のモード選択後のモード表示と，2 つの目的で使用できる各キーの上段と下段のどちらが有効になっているかを示す有効キーの表示について示します。



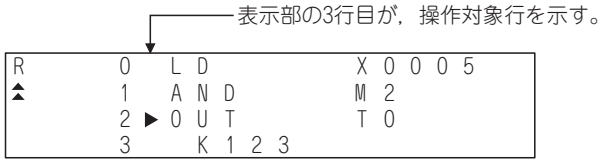
Point 有効キーの切換え（上段 ⇔ 下段）は，シフト 設定 キーで行えます。
20.1.1 項を参照してください。

(2) カーソル表示方法

データ入力時のカーソル表示は GOT がコントロールし，カーソル位置に“■”を表示します。
(6) を参照してください。
ただし，表示文字上にカーソルを移動したときは，表示文字と“■”の交互表示となります。

(3) 操作対象行の表示

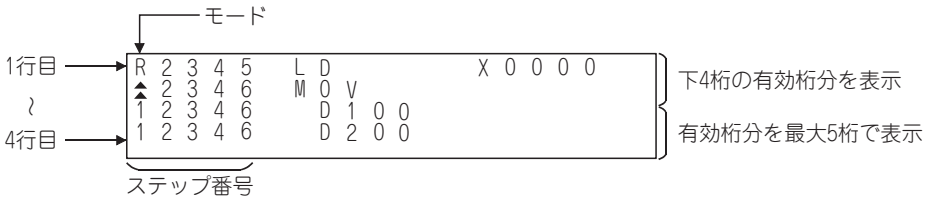
プログラムリストを表示しているとき，操作の対象行をステップ番号の直後に“▶”で表示します。



“▶”は，↑または↓キーで指定方向（上下）に移動できます。

(4) ステップ番号表示

ステップ番号は 10 進数で表示します。
表示部の 1 行目～ 2 行目は，ステップ番号の下 4 桁の有効桁分だけ表示します。
表示部の 3 行目～ 4 行目は，ステップ番号の有効桁分を最大 5 桁で表示します。



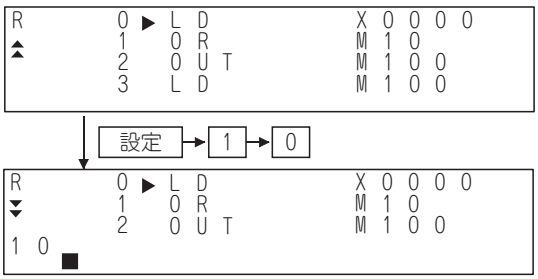
(5) デバイスの表示

基本命令，応用命令でデバイス部が 2 個以上のものについては，同じステップ番号で表示します。
(4) を参照してください。

(6) キー入力データの表示

キー入力データはカーソル表示位置に順次表示し，カーソルは順次右へ移動します。
カーソル部は，“■”表示となります。

（例）設定 → 1 → 0 を入力した場合



(7) プログラム入力時の左シフト表示

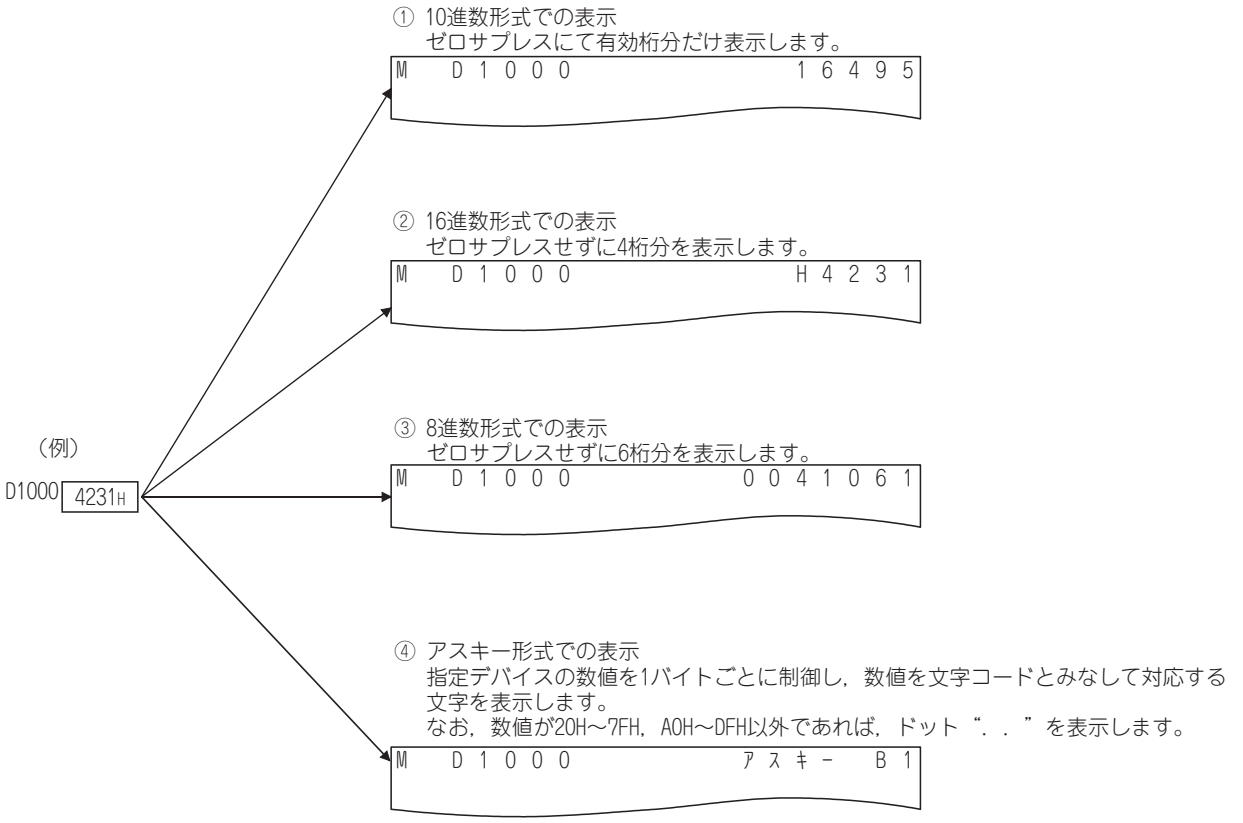
プログラム入力時は，GO キー入力までのプログラムを表示部の 4 行目（最下行）に表示します。
1 行で表示しきれないときは，キー入力ごとに 4 行目の表示内容のみ，順次左へシフトします。
（入力内容は，内部に記憶されています。）

```
W   1 1 5     M 5          X 0 0 0 5
▲   1 2 0   L D            M 3
    1 2 1 ▶ N O P
P   K 2 1 4 7 4 8 3 6 4 7   D 1 0 0 0 ■
```

DMOVP K2147483647 D1000入力時の表示例です。

(8) 数値表示

各デバイスの数値表示，プログラム入力時の定数の表示は，次のとおりです。
いずれも表示例ですので，詳細は 20 章を参照してください。



(9) エラーメッセージの表示

エラーメッセージは，表示部の 4 行目に表示します。
エラーメッセージを表示したときは，第 21 章により対応してください。
表示しているエラーメッセージは，いずれかのキー入力で消去でき，エラーメッセージ表示前の状態に戻ります。

3.5.6 リスト編集機能一覧

モード (モード表示)	機　能				操作目的
書込み (W)	プログラムの書込み				プログラムを書き込む／追加・変更する。
	デバイス変更				プログラム中の指定ステップで使用しているデバイスを変更する。
	ヘルプ	書込み	命令ヘルプ	命令表示／選択	指定文字で始まる命令の表示／選択
				ステップ読出し	ステップ番号を指定してプログラムを読み出す。
			NOP 連続		プログラム中の指定範囲を NOP にする。
		カナコメント表示			指定デバイスのカナコメントを表示する。
読出し (R)	プログラムの読出し				ステップ番号を指定してプログラムを読み出す。
					使用している命令を指定してプログラムを読み出す。
					使用しているデバイスを指定してプログラムを読み出す。
	自動スクロール				指定ステップまで読み出したプログラムを自動スクロールしながら表示する。
	ヘルプ	読出し	ステップ		各々，上記プログラムの読出し機能，自動スクロール機能と同じ。
			命令		
			デバイス		
			自動スクロール		
		カナコメント表示			指定デバイスのカナコメントを表示する。
挿入 (I)	プログラムの挿入				既存のプログラムに，新たなプログラムを挿入する。
	ヘルプ	挿入	命令ヘルプ	命令表示／選択	指定文字で始まる命令の表示／選択
				ステップ読出し	ステップ番号を指定してプログラムを読み出す。
			移動		プログラム中の指定範囲を，指定位置へ移動する。
			コピー		プログラム中の指定範囲を，指定位置へコピーする。
		カナコメント表示			指定デバイスのカナコメントを表示する。
削除 (D)	プログラムの削除				指定ステップのプログラムを削除する。
	ヘルプ	削除	範囲指定		プログラム中の指定範囲を削除する。
			NOP 一括		END 命令までのプログラム中に含まれる NOP 命令を一括削除する。(NOPLF 命令は削除しない。)
		カナコメント表示			指定デバイスのカナコメントを表示する。
パラメータ (P)	パラメータのオールクリア				ACPU 内のパラメータのみをオールクリアする。
	パラメータの設定				メモリ容量，タイマ・カウンタ，ラッチ範囲など各種パラメータを設定する。または設定値を変更する。
					キーワードを設定する。またはキーワードを変更する。

モード (モード表示)	機　能			操作目的
その他 (O)	T・C 設定値の変更			指定デバイス (T・C) の設定値を変更する。
	PC チェック	エラーステップ読出し		ACPU で発生しているエラー内容，エラーが発生したステップ番号を表示する。
		プログラムチェック		プログラム中の 2 重コイル／命令コードなどを確認する。
	PC システム	モニタ	バッファメモリ 一括モニタ	指定入出力番号の特殊機能ユニットに対し，指定アドレスのバッファメモリ内容をモニタする。
			時計モニタ	ACPU の時計 (D9025 ～ D9027) をモニタする。
		オール クリア	PC メモリ	ACPU のメモリをオールクリアし，初期状態にする。
			プログラム	現在選択（メイン／サブ）しているプログラムをクリアする。
			デバイスメモリ	特 D，特 M，R を除く全デバイスメモリをクリアする。
		切換え	PC NO. 設定	各モード操作の対象 ACPU を切り換える。
			メイン／サブ切換え	各モード操作の対象プログラム（メイン／サブ）を切り換える。
		その他	リモート RUN/STOP	ACPU の実行状態を強制的に切り換える。(RUN/STOP)
			マシン語読書き	ACPU のメモリに対して，マシン語で読み書きする。

3.6 モーションモニタ機能の仕様

Point モーションモニタ機能についての制約事項については，2.2 節を参照ください。

3.6.1 モニタできるシーケンサ CPU

モーションモニタ機能が行えるモーションコントローラ CPU は，Q172CPU，Q173CPU のみです。
詳細については，2.2 節 (2) を参照ください。

3.6.2 モニタできるアクセス範囲

モーションモニタ機能が行えるアクセス範囲は，GOT-A900 シリーズユーザーズマニュアル（接続編）2 章を参照ください。

3.6.3 モーションモニタ機能の使用上の注意事項

(1) モーションモニタ機能を使用するモーションコントローラ CPU（Q172CPU,Q173CPU）には以下の条件のものを使用してください。
・インストールされているモーション本体 OS バージョン：“00E”以降
・シリアル No. ：“K******”以降（Q172CPU）
“J******”以降（Q173CPU）

(2) CNC モニタ機能使用時は，モーションモニタ機能は使用できません。

3.6.4 モーションモニタ機能を使用するための必要メモリ容量

モーションモニタデータのメモリ容量を下記に示します。
GOT の内蔵メモリに格納するときの必要メモリ容量とパソコンのハードディスクに格納する場合に必要なメモリ容量は同様です。

格納するデータ		メモリ容量 [k バイト]
モーションモニタデータ共通情報		13.4
	A985GOT	200
	A97*GOT	200
	A960GOT	200
	A956WGOT	115
	A95*GOT	110

3.7 サーボアンプモニタ機能の仕様

Point サーボアンプモニタ機能の制約事項は，2.2 節を参照してください。

3.7.1 モニタできるサーボアンプ機種と機能一覧

サーボアンプモニタ機能が行えるサーボアンプの機種と機能一覧を下記に示します。

○：機能あり　－：機能なし

機能 ＼ サーボアンプ		MR-J2S-□A	MR-J2S-□CP	MR-J2M A シリーズ	
				MR-J2M-P8A	MR-J2M-□DU
セットアップ	機種選択	○	○	○	○
	ボーレート	○	○	○	○
	局番選択	○	○	－	－
	局番設定	○	○	○	○
	IFU 局番	－	－	○	○
モニタ	一括表示	○	○	○	○
アラーム	アラーム表示	○	○	○	○
	アラーム履歴	○	○	○	○
診断	DI/DO 表示	○	○	○	－
	機能デバイス表示	－	○	○	○
	アンプ情報表示	○	○	○	○
	ABS データ表示	○	○	－	○
	ユニット構成一覧表示	－	－	○	○
パラメータ	パラメータ設定	○	○	－	－
	パラメータ（IFU）	－	－	○	○
	パラメータ（DRU）	－	－	○	○
テスト運転	JOG 運転	○	○	－	○
	位置決め運転	○	○	－	○
	モータなし運転	○	○	－	○
	DO 強制出力	○	○	○	－

3.7.2 モニタできるアクセス範囲

サーボアンプモニタ機能が行えるアクセス範囲は下記のとおりです。

(1) **RS-232C 通信機能使用時**
接続先のサーボアンプのみモニタできます。

(2) **RS-422 通信機能使用時（マルチドロップ通信）**
接続先のサーボアンプと同一バス上にある 0 局～ 31 局までの最大 32 軸のサーボアンプの中からモニタできます。

3.7.3　サーボアンプモニタ機能の使用上の注意事項

(1) テスト運転を行うときは，必ず 26.8.1 項の注意事項をお読みください。

(2) GOT とサーボアンプ間の通信速度は，最高で 38400bps になります。
サーボ側の通信速度の設定は 38400bps 以下で設定してください。

(3) GOT が接続しているシーケンサ CPU に時計データがない場合，サーボアンプモニタ機能で表示される時刻は正確に表示されません。

(4) GOT 側のサーボアンプモニタ機能の設定内容（セットアップ画面（26.3.1 項参照））と，サーボアンプ側の設定内容は同じ内容にしてください。
設定内容が異なる場合，正常に通信できない場合があります。

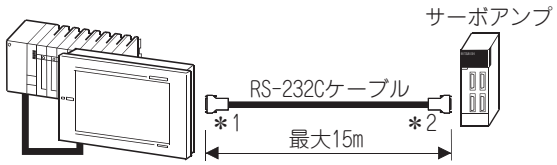
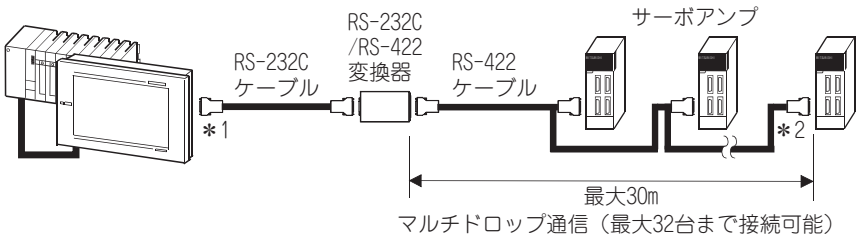
(5) サーボアンプモニタ機能使用時は，GT Designer2 からの通信（OS のインストール／モニタ画面データのダウンロード）はできません。
GT Designer2 との通信を行う場合，サーボアンプモニタ機能を終了させた後，行ってください。

(6) サーボアンプ接続時は，バーコード機能を使用することはできません。

(7) サーボアンプモニタ機能のオペーレティングシステム（OS）がインストールされている GOT では，トランスペアレント機能は使用できません。

3.7.4　サーボアンプ接続時のシステム構成

サーボアンプを接続する場合のシステム構成を示します。

接続条件	システム構成
サーボアンプを 1 台のみ接続する場合	
サーボアンプを複数台＊3（2 ～ 32）接続する場合	

＊ 1 GOT 側のコネクタは，モニタ画面データのダウンロード時に使用する GOT 下部の RS-232C インタフェースに接続してください。

＊ 2 サーボアンプ側のコネクタは，CN3 に接続してください。

＊ 3 モニタするサーボアンプは，32 台中のうち 1 台を選択してモニタします。

3.7.5　必要な画面とメモリ容量

サーボアンプモニタ機能で使用するモニタ画面は，GOT 機種とモニタするサーボアンプ機種により異なります。
サーボアンプモニタ機能使用時に必要なモニタ画面種類と必要なメモリ容量を下記に示します。

(1)　A985GOT 使用時

機能内容		格納する画面データ	メモリ容量 [バイト]			
			MR-J2S-□A モニタ用	MR-J2S-□CP モニタ用	MR-J2M-P8A モニタ用	MR-J2M-□DU モニタ用
サーボアンプモニタデータ共通情報			18416			
モニタ		600「サーボ (A985) モニタ 全機種」	4132			
アラーム	アラーム表示	613「サーボ (A985) アラーム 全機種」	2268			
	アラーム履歴	615「サーボ (A985) アラーム履歴 全機種」	3020			
診断機能	DI/DO 表示	617「サーボ (A985)DI/DO 表示 :S-A」	2436	−	−	−
		618「サーボ (A985)DI/DO 表示 :S-CP」	−	2608	−	−
		619「サーボ (A985)DI/DO 表示 :M-A IFU」	−	−	4522	−
		620「サーボ (A985)DI/DO 表示 :M-A D01」	−	−	−	3488
	機能デバイス表示	624「サーボ (A985) 機能デバイス表示 :S-CP」	−	2948	−	−
		625「サーボ (A985) 機能デバイス表示 :M-A IFU」	−	−	4808	−
		626「サーボ (A985) 機能デバイス表示 :M-A DRU」	−	−	−	4744
	アンプ情報表示	628「サーボ (A985) アンプ情報 :S-A」	2112	−	−	−
		629「サーボ (A985) アンプ情報 :S-CP」	−	2188	−	−
		630「サーボ (A985) アンプ情報 :M-A IFU」	−	−	2012	−
		631「サーボ (A985) アンプ情報 :M-A DRU」	−	−	−	2204
	ABS データ表示	635「サーボ (A985)ABS データ :S-A」	2700	−	−	−
		636「サーボ (A985)ABS データ :S-CP」	−	2916	−	−
		637「サーボ (A985)ABS データ :M-A DRU」	−	−	−	2928
	ユニット構成一覧表示	639「サーボ (A985) ユニット構成一覧 :M-A IFU」	−	−	3444	−
		640「サーボ (A985) ユニット構成一覧 :M-A DRU」	−	−	−	3432
パラメータ設定		643「サーボ (A985) パラメータ :S- ＊」	3656		−	−
		644「サーボ (A985) パラメータ :M-A IFU」	−	−	3872	3872
		645「サーボ (A985) パラメータ :M-A DRU」	−	−	−	4452
テスト運転	JOG 運転	678「サーボ (A985)JOG 運転 :S- ＊」	2672		−	−
		679「サーボ (A985)JOG 運転 :M-A DRU」	−	−	−	2476
	位置決め運転	682「サーボ (A985) 位置決め運転 :S- ＊」	3056		−	−
		683「サーボ (A985) 位置決め運転 :M-A DRU」	−	−	−	2860
	モータなし運転	685「サーボ (A985) モータなし運転 :S- ＊」	2300		−	−
		686「サーボ (A985) モータなし運転 :M-A DRU」	−	−	−	2140
	DO 強制出力	688「サーボ (A985)DO 強制出力 :S-A」	2844	−	−	−
		689「サーボ (A985)DO 強制出力 :S-CP」	−	2724	−	−
		690「サーボ (A985)DO 強制出力 :M-A IFU」	−	−	4692	−
		691「サーボ (A985)DO 強制出力 :M-A D01」	−	−	2540	−

(2) A97*GOT/A960GOT 使用時

機能内容		格納する画面データ	メモリ容量 [バイト]			
			MR-J2S-□A モニタ用	MR-J2S-□CP モニタ用	MR-J2M-P8A モニタ用	MR-J2M-□DU モニタ用
サーボアンプモニタデータ共通情報			18416			
モニタ		700「サーボ (A97*) モニタ 全機種」	4132			
アラーム	アラーム表示	713「サーボ (A97*) アラーム 全機種」	2268			
	アラーム履歴	715「サーボ (A97*) アラーム履歴 全機種」	3020			
診断機能	DI/DO 表示	717「サーボ (A97*)DI/DO 表示 :S-A」	2436	–	–	–
		718「サーボ (A97*)DI/DO 表示 :S-CP」	–	2608	–	–
		719「サーボ (A97*)DI/DO 表示 :M-A IFU」	–	–	4452	–
		720「サーボ (A97*)DI/DO 表示 :M-A D01」	–	–	3488	–
	機能デバイス表示	724「サーボ (A97*) 機能デバイス表示 :S-CP」	–	2948	–	–
		725「サーボ (A97*) 機能デバイス表示 :M-A IFU」	–	–	4920	–
		726「サーボ (A97*) 機能デバイス表示 :M-A DRU」	–	–	–	4908
	アンプ情報表示	728「サーボ (A97*) アンプ情報 :S-A」	2112	–	–	–
		729「サーボ (A97*) アンプ情報 :S-CP」	–	2188	–	–
		730「サーボ (A97*) アンプ情報 :M-A IFU」	–	–	2012	–
		731「サーボ (A97*) アンプ情報 :M-A DRU」	–	–	–	2204
	ABS データ表示	735「サーボ (A97*)ABS データ :S-A」	2700	–	–	–
		736「サーボ (A97*)ABS データ :S-CP」	–	2916	–	–
		737「サーボ (A97*)ABS データ :M-A DRU」	–	–	–	2928
	ユニット構成一覧表示	739「サーボ (A97*) ユニット構成一覧 :M-A IFU」	–	–	3444	–
		740「サーボ (A97*) ユニット構成一覧 :M-A DRU」	–	–	–	3432
パラメータ設定		743「サーボ (A97*) パラメータ :S- ＊」	3656		–	–
		744「サーボ (A97*) パラメータ :M-A IFU」	–	–	3872	3872
		745「サーボ (A97*) パラメータ :M-A DRU」	–	–	–	4180
テスト運転	JOG 運転	778「サーボ (A97*)JOG 運転 :S- ＊」	2672		–	–
		779「サーボ (A97*)JOG 運転 :M-A DRU」	–	–	–	2476
	位置決め運転	782「サーボ (A97*) 位置決め運転 :S- ＊」	3056		–	–
		783「サーボ (A97*) 位置決め運転 :M-A DRU」	–	–	–	2860
	モータなし運転	785「サーボ (A97*) モータなし運転 :S- ＊」	2300		–	–
		786「サーボ (A97*) モータなし運転 :M-A DRU」	–	–	–	2140
	DO 強制出力	788「サーボ (A97*)DO 強制出力 :S-A」	2724	–	–	–
		789「サーボ (A97*)DO 強制出力 :S-CP」	–	2724	–	–
		790「サーボ (A97*)DO 強制出力 :M-A」	–	–	4692	–
		791「サーボ (A97*)DO 強制出力 :M-A D01」	–	–	2540	–

(3) A95*GOT/A956WGOT 使用時

機能内容		格納する画面データ	メモリ容量 [バイト]			
			MR-J2S-□A モニタ用	MR-J2S-□CP モニタ用	MR-J2M-P8A モニタ用	MR-J2M-□DU モニタ用
サーボアンプモニタデータ共通情報			18416			
モニタ		800「サーボ (A95*) モニタ 全機種」	2252			
アラーム	アラーム表示	822「サーボ (A95*) アラーム 全機種」	1612			
	アラーム履歴	824「サーボ (A95*) アラーム履歴 全機種」	2040			
診断機能	DI/DO 表示	826「サーボ (A95*)DI/DO 表示 :S-A」	1944	−	−	−
		827「サーボ (A95*)DI/DO 表示 :S-CP」	−	2124	−	−
		828「サーボ (A95*)DI/DO 表示 :M-A IFU」	−	−	3436	−
		829「サーボ (A95*)DI/DO 表示 :M-A D01」	−	−	−	2808
	機能デバイス表示	833「サーボ (A95*) 機能デバイス表示 :S-CP」	−	2188	−	−
		834「サーボ (A95*) 機能デバイス入力 1:M-A IFU」	−	−	2740	−
		835「サーボ (A95*) 機能デバイス入力 2:M-A IFU」	−	−	2696	−
		836「サーボ (A95*) 機能デバイス出力 1:M-A IFU」	−	−	2804	−
		837「サーボ (A95*) 機能デバイス出力 2:M-A IFU」	−	−	2848	−
		838「サーボ (A95*) 機能デバイス入力 1:M-A DRU」	−	−	−	2792
		839「サーボ (A95*) 機能デバイス入力 2:M-A DRU」	−	−	−	2684
		840「サーボ (A95*) 機能デバイス出力 1:M-A DRU」	−	−	−	2728
		841「サーボ (A95*) 機能デバイス出力 2:M-A DRU」	−	−	−	2336
	アンプ情報表示	843「サーボ (A95*) アンプ情報 :S-A」	1396	−	−	−
		844「サーボ (A95*) アンプ情報 :S-CP」	−	1472	−	−
		845「サーボ (A95*) アンプ情報 :M-A IFU」	−	−	1296	−
		846「サーボ (A95*) アンプ情報 :M-A DRU」	−	−	−	1488
	ABS データ表示	850「サーボ (A95*)ABS データ現在値 :S-A」	1744	−	−	−
		851「サーボ (A95*)ABS データ原点値 :S-A」	1816			
		852「サーボ (A95*)ABS データ現在値 :S-CP」	−	1960	−	−
		853「サーボ (A95*)ABS データ原点値 :S-CP」	−	2032	−	−
		854「サーボ (A95*)ABS データ現在値 :M-A DRU」	−	−	−	1972
		855「サーボ (A95*)ABS データ原点値 :M-A DRU」	−	−	−	2044
	ユニット構成一覧表示	857「サーボ (A95*) ユニット構成一覧 :M-A IFU」	−	−	2512	−
		858「サーボ (A95*) ユニット構成一覧 :M-A DRU」	−	−	−	2500
パラメータ設定		861「サーボ (A95*) パラメータ :S- ∗」	2860		−	−
		862「サーボ (A95*) パラメータ :M-A IFU」	−	−	3064	3064
		863「サーボ (A95*) パラメータ :M-A DRU」	−	−	−	3300
テスト運転	JOG 運転	906「サーボ (A95*)JOG 運転 :S- ∗」	1944		−	−
		907「サーボ (A95*)JOG 運転 :M-A DRU」	−	−	−	1752
	位置決め運転	910「サーボ (A95*) 位置決め運転 :S- ∗」	2328		−	−
		911「サーボ (A95*) 位置決め運転 :M-A DRU」	−	−	−	2136
	モータなし運転	913「サーボ (A95*) モータなし運転 :S- ∗」	1584		−	−
		914「サーボ (A95*) モータなし運転 :M-A DRU」	−	−	−	1388
	DO 強制出力	916「サーボ (A95*)DO 強制出力 :S-A」	2128	−	−	−
		917「サーボ (A95*)DO 強制出力 :S-CP」	−	2008	−	−
		918「サーボ (A95*)DO 強制出力 :M-A IFU」	−	−	3332	−
		919「サーボ (A95*)DO 強制出力 :M-A D01」	−	−	1728	−

3.8 CNC モニタ機能の仕様

Point CNC モニタ機能が使用できる GOT については，2.2 節を参照してください。

3.8.1 モニタできる CNC の機種

CNC モニタ機能が行える機種は，MELDAS C6/C64 のみです。

3.8.2 モニタできる CNC の機能

CNC モニタ機能では，下記の機能がモニタできます。
各機能の詳細については，MELDAS C6/C64 のマニュアルを参照してください。

・位置表示　　・アラーム診断　　・工具補正パラメータ
・プログラム　・F0

3.8.3 モニタできるアクセス範囲

CNC モニタ機能は MELSECNET/10 接続，Ethernet 接続時のみ可能です。
MELDAS C6/C64 との MELSECNET/10 接続，Ethernet 接続については，GOT-A900 シリーズユーザーズマニュアル（接続編）を参照してください。

(1) Ethernet 接続の場合

1 台の GOT で，MELDAS を最大 64 台まで切り換えてモニタできます。
また，1 台の MELDAS に対し，GOT は最大 8 台まで同時にモニタできます。

(2) MELSECNET/10 接続の場合

GOT は管理局のみモニタできます。

3.8.4 CNC モニタ機能の使用上の注意事項

（1）モーションモニタ機能使用時は，CNC モニタ機能は使用できません。

3.9 かな漢字変換機能の仕様

かな漢字変換機能の仕様を下記に示します。

3.9.1 かな漢字変換機能の仕様一覧

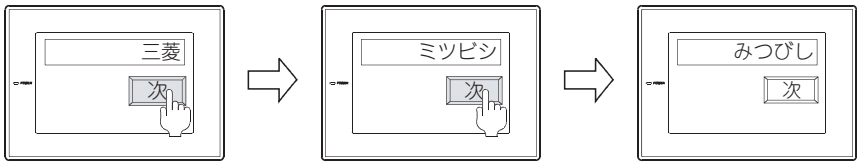
項　目	仕　様
入力モード	ひらがな入力＊1
文字の入力方法	タッチスイッチ（キーコードスイッチ）による直接入力
変換方式	単文節で入力した文字と辞書データの完全一致のみ変換可能＊2
変換候補の表示方法＊3	アスキー入力に 1 候補ずつ表示
文字	全角文字 2 バイト，半角文字 1 バイト
入力桁数	80 バイトまで可能（全角 40 文字）
変換可能文字数	24 バイトまで可能（全角 12 文字）
辞書データ	JIS 第 1 水準，JIS 第 2 水準対応
学習機能	無し

＊1 カタカナ入力，ローマ字入力は変換できません。

＊2 2 語以上の単語を組み合わせた熟語（連文節）は，変換できません。
また，辞書データに登録されていない単語も変換できません。

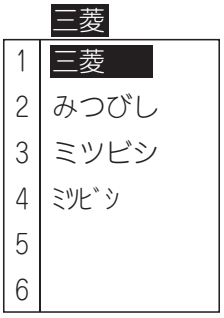
＊3 変換を行う場合に，変換候補を表示する方法です。
GOT と一般的なソフトウェアとの違いを以下に示します。

GOT の場合



次 スイッチを押すごとに 1 候補ずつ表示される。（候補一覧は表示されません）

一般的なソフトウェアの場合



候補一覧が表示される。

3.9.2 操作スイッチ仕様

(1) かな漢字変換機能で使うタッチスイッチについて

かな漢字変換機能で使用するタッチスイッチは，キーコードを割り付けることで動作します。
ユーザにてタッチスイッチを作成する場合は，下記のキーコードを参照して作成してください。

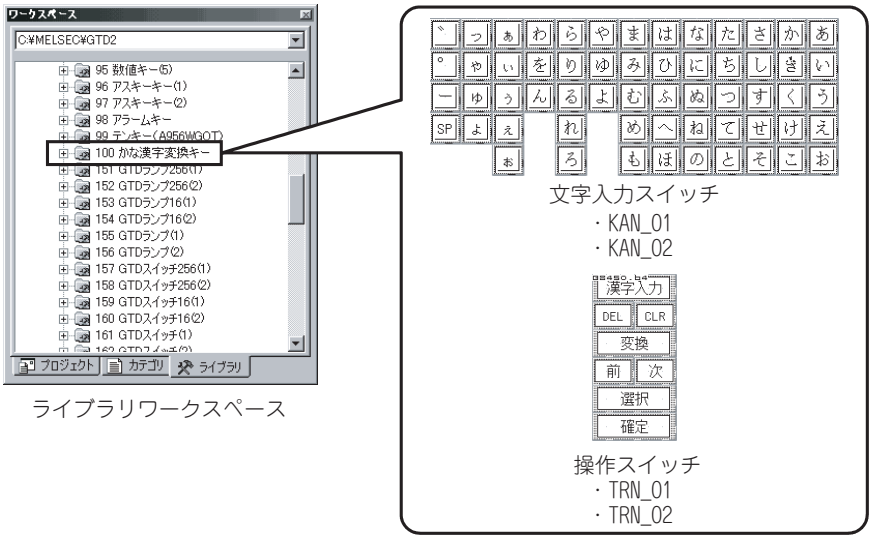
項　目	用　途	キーコード
ひらがな文字	文字の入力	シフト JIS コード
変換	ひらがな文字を漢字に変換	0084
前	前の変換候補の表示	0085
次	次の変換候補の表示	0086
選択	入力中の文字の決定	0087
確定	決定した文字をデバイスに書込み	000D
DEL	入力した文字列の最も右端の文字を消去し，全体を 1 文字分右にシフト	0008
CLR	入力中文字の消去	0088

(2) かな漢字変換機能の起動について

かな漢字変換機能を使用するには，GOT の内部デバイス（かな漢字変換起動デバイス：GS450.b4）を ON する必要があります。
かな漢字変換起動デバイスを ON する方法については，31.2.2 項を参照してください。

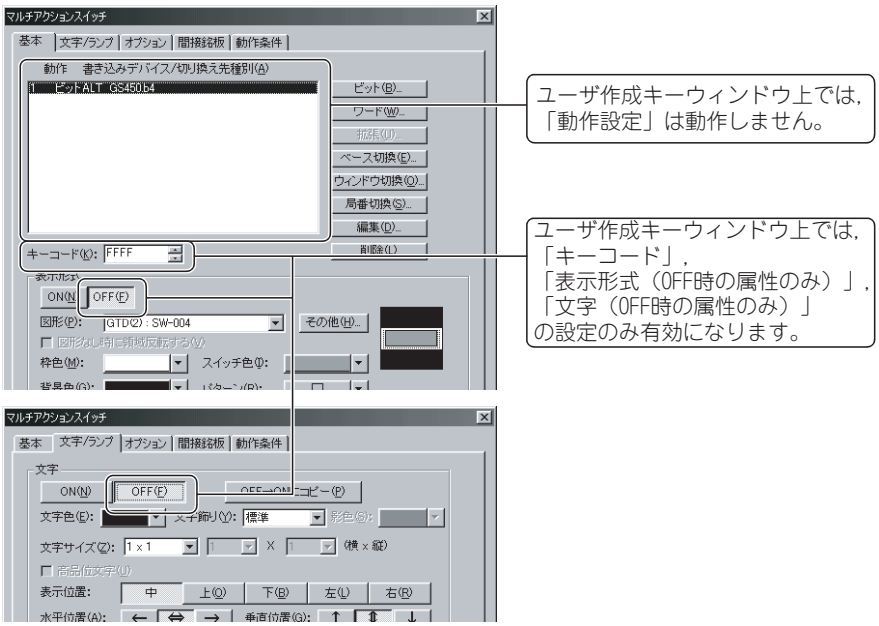
Point

・GT Designer2 のライブラリには，かな漢字変換機能用にキーコードを割り付けたタッチスイッチが登録されています。
本タッチスイッチを使用すれば簡単に，かな漢字変換用の画面が作成できます。



・ライブラリに登録されている漢字入力スイッチは，ベース画面／オーバーラップウィンドウ／スーパーインポーズウィンドウ上に設定してください。
ユーザ作成キーウィンドウ上に配置したタッチスイッチは，「キーコード」，「表示形式（OFF 時の属性のみ）」，「文字（OFF 時の属性のみ）」の設定のみ有効になります。

そのため，「動作設定（ビット ALT）」によりデバイスを ON させる漢字入力スイッチをユーザ作成キーウィンドウに設定しても動作しません。



ユーザ作成キーウィンドウについては，GT Designer2 Version2 リファレンスマニュアルを参照してください。

3.10 文字フォント切換え機能の仕様

Point 文字フォント切換え機能が使用できる GOT については，2.2 節を参照してください。

3.10.1 切換えできる文字フォント

文字フォント切換え機能では，以下の文字フォントの切換えができます。
・標準フォント　　・中国語（簡体字）フォント

3.10.2 文字フォントの適用範囲

文字フォントの適用範囲を下記に示します。

○：切換えた文字フォントで表示します。　×：切換えた文字フォントで表示しません。

項　目	内　容	標準フォント	中国語（簡体字）フォント
モニタ画面	GOT に表示されるモニタ画面の文字フォント	○	○＊1
ユーティリティ	ユーティリティで表示される文字フォント	○	○＊2
拡張機能	以下の機能の文字フォント ・ 回路モニタ　・システムモニタ ・ 特殊ユニットモニタ・ネットワークモニタ ・ リスト編集機能　・モーションモニタ ・ サーボアンプモニタ・CNC モニタ	○	○＊2＊3
オフライン画面	OS インストールやモニタデータダウンロード時に GOT に表示される文字フォント	○	×

＊1 アスキー表示／入力機能は，ASCII コード，シフト JIS コードの文字のみ対応のため，シフト JIS コードと同じ文字しかフォントの切換えができません。
すべての中国語文字を表示することはできないので，中国語文字を表示したい場合は，コメント表示や文字図形を使用してください。

＊2 メッセージ表示（ユーティリティのセットアップ（メッセージ表示））が日本語の場合のみ，フォントが切り換わります。

＊3 回路モニタ機能は，MELSEC-A/FX 回路モニタのみ対応しています。（MELSEC-Q/QnA 回路モニタは対応していません。）

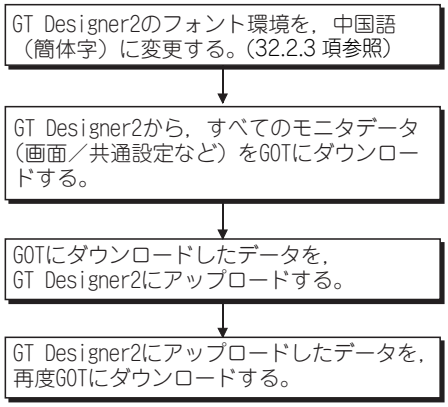
3.10.3 文字フォント切換え機能の使用上の注意事項

(1) 中国語（簡体字）フォントに切換える場合，MELSEC-Q/QnA 回路モニタ機能は使用できません。
使用する GOT に MELSEC-Q/QnA 回路モニタの拡張機能 OS をインストールしないようにしてください。
GOT で MELSEC-Q/QnA 回路モニタを起動した場合，GOT にインストールしたフォントデータは削除され，再度文字フォント切換え機能を使用するにはフォントデータの再インストールが必要になります。

(2) 中国語（簡体字）フォントで文字やコメントに高品位文字を使用したい場合，GT Designer2 のフォント環境を中国語（簡体字）に変更する必要があります。
GT Designer2 のフォント環境の変更方法については，“32.2.3 項 フォントデータのインストール”を参照してください。
フォント環境の変更を行わないと，高品位文字を設定した文字やコメントは，標準フォントで表示します。

(3) 中国語（簡体字）フォントでプレビューしたい場合，GT Designer2 のフォント環境を中国語（簡体字）に変更する必要があります。
GT Designer2 のフォント環境の変更方法については，“32.2.2 項 GT Designer2 のプレビューで中国語（簡体字）フォントを表示する場合”を参照してください。
フォント環境の変更を行わないと，標準フォントでプレビューします。

(4) 標準フォントの環境で作成したモニタデータを，中国語（簡体字）の環境に変更する場合，以下の手順でダウンロード・アップロードを実行すると，中国語（簡体字）フォントを表示できます。



標準フォントの環境で作成したモニタデータを，中国語（簡体字）の環境に変更した GT Designer2 で開き，そのままダウンロードすると ,GOT で標準フォントの高品位文字が表示される場合があります。

3.11 システムダイアログ言語切換え機能の仕様

システムダイアログ言語切換え機能の仕様を下記に示します。システムダイアログ言語切換え機能では，GOT にインストールが必要な拡張機能 OS はありません。

3.11.1 切換えできる言語

システムダイアログ言語切換え機能では，以下の言語の切換えができます。
・日本語　・英語　・中国語（簡体字）　・中国語（繁体字）

3.11.2 システムダイアログ言語切換え機能の使用上の注意事項

(1) システムダイアログ言語切換え機能では，一部のシステムダイアログのみ言語切換えが可能です。言語切換えができるシステムダイアログについては，33.3 節を参照してください。

(2) システムダイアログ言語に中国語（簡体字）を使用する場合は，文字フォントを「中国語（簡体字）フォント」に設定してください。

(3) システムダイアログ言語に中国語（繁体字）を使用する場合は，文字フォントを「標準文字フォント」に設定してください。

文字フォントの設定については，「第 32 章 文字フォント切換え機能」を参照してください。

4章　ユーティリティ機能の操作

4.1　ユーティリティ機能一覧

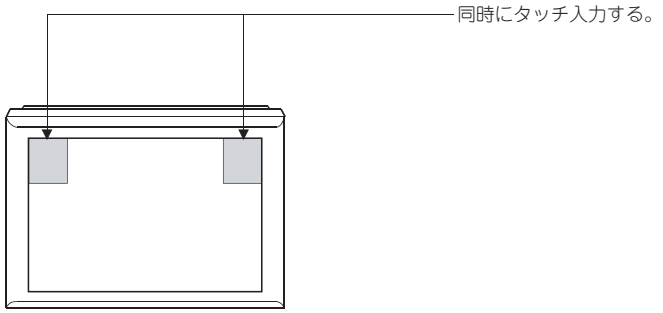
項　　目	内　　容	備　　考	参照項
輝度／コントラスト調整	モニタ画面の輝度／コントラストを調整	使用する GOT により行える機能が変化	4.3 節
システムモニタ	CPU のデバイスのモニタ・変更	GT Designer2 から GOT に OS，モニタデータをインストールしたときのみ実行可能	9 章
特殊ユニットモニタ	特殊機能ユニットのバッファメモリのモニタ・変更	GOT のメモリを増設し，GT Designer2 から GOT に OS をインストールしたときのみ実行可能	12 章
画面 &OS コピー	画面データの内蔵メモリ⇔メモリカード間でのコピー OS データの内蔵メモリ→メモリカード間でのコピー	OS のインストールは（メモリカード→内蔵メモリ）は，GT Designer2 Version2 オペレーティングマニュアルを参照して行ってください。	4.4 節
セットアップ	下記項目を設定 ・メッセージ表示選択（日本語／英語） ・ブザー音調整 ・外付スピーカ音 ・スクリーンセーブ時間設定 ・スクリーンセーブバックライト ・マイコン接続時の伝送速度とプロトコル ・白黒反転表示 ・QCPU とバス接続時の増設段数とスロット No. ・計算機リンク接続時の伝送速度 ・オムロン／安川電機／日立製作所／松下電工製シーケンサ接続時の伝送速度 ・安川電機／松下電工製シーケンサ接続時の立ち上がり時間，送信ディレイ，CCU モニタ登録（松下電工社製シーケンサのみ） ・SIEMENS ／ Allen-Bradley 社製シーケンサ接続時の伝送速度とアドレス指定 ・CC-Link(ID) ドライバインストール時の送信タイムアウト設定 ・スクリーンセーブ人感センサの無効・有効／検出感度／ OFF ディレイの設定 ・グリップスイッチ有効／無効設定 (A950 ハンディ GOT のみ) ・ビデオウィンドウの色調／コントラスト／輝度／色強度の調整 ・RGB 画面のクロックフェーズ，水平表示位置／垂直表示位置の調整とモニタ画面復帰へのタッチスイッチ位置を設定		4.5 節
自己診断	GOT 本体の下記のハードウェアを診断 ・描画チェック ・フォントチェック ・メモリカードチェック ・内蔵メモリのユーザエリアチェック ・内蔵メモリの OS エリアチェック ・CPU 通信チェック ・タッチスイッチチェック		4.6 節
メモリ情報	下記情報を表示 ・OS のバージョン ・シーケンサ CPU との通信形態 ・内蔵メモリの空き容量 ・メモリカードの有／無，メモリカードの空き容量 ・回路モニタ機能の有／無		4.7 節
回路モニタ	シーケンサ CPU のシーケンスプログラムのモニタ	GOT のメモリを増設し，GT Designer2 から GOT に OS をインストールしたときのみ実行可能	6 章
時計機能	日付・時計設定		4.8 節
画面掃除	表示部を掃除するための画面を表示		4.9 節

項　目	内　容	備　考	参照項
ネットワークモニタ	MELSECNET の回線状態のモニタ	GOT のメモリを増設し，GT Designer2 から GOT に OS をインストールしたときのみ実行可能	17 章
セキュリティパスワード	数値入力オブジェクトなどのセキュリティレベルを変更	GT Designer2 でセキュリティパスワードを設定したとき，セキュリティレベルの変更を行う。	4.10 節
パスワード	ユーティリティ画面の表示を制限するパスワードを設定		4.11 節
リスト編集	シーケンサ CPU のシーケンスプログラムのリスト編集	GOT のメモリを増設し，GT Designer2 から GOT に OS をインストールしたときのみ実行可能	19 章
モーション／CNC モニタ	モーションコントローラ CPU(Q172CPU/Q173CPU) のサーボモニタ，サーボパラメータ設定の変更	GOT のメモリを増設し，GT Designer2 から GOT に OS，モニタデータをインストールしたときのみ実行可能	22 章
	MELDAS C6/C64 のモニタ，パラメータ変更		28 章
サーボアンプモニタ	サーボアンプのモニタ，サーボパラメータ設定の変更，テスト運転		25 章

4.2 各機能の実行までの概略手順

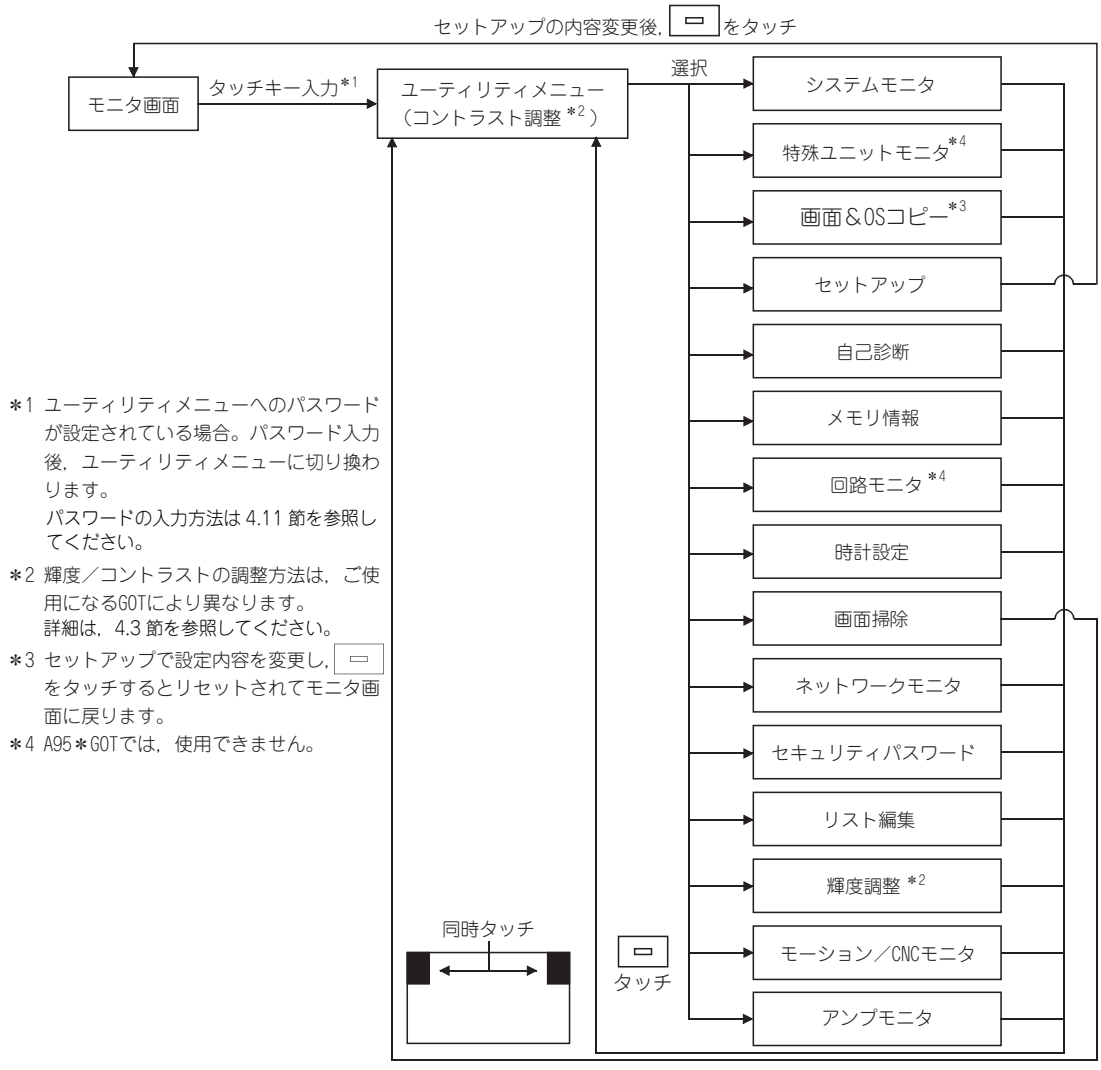
ユーティリティ機能の各機能を実行するまでの概略手順を説明します。
ユーティリティ機能は，すべてモニタ画面のタッチ入力により操作します。
ユーティリティ機能を立上げる場合，次の 2 通りの方法があります。

(1) モニタ画面の右上隅と左上隅を，同時にタッチ入力する。



(2) モニタ画面上にタッチスイッチ（拡張）機能を設定し，タッチキーからキー入力する。

ユーティリティ機能の概略手順は，次のようになります。



*1 ユーティリティメニューへのパスワードが設定されている場合。パスワード入力後，ユーティリティメニューに切り換わります。
パスワードの入力方法は 4.11 節を参照してください。

*2 輝度／コントラストの調整方法は，ご使用になるGOTにより異なります。
詳細は，4.3 節を参照してください。

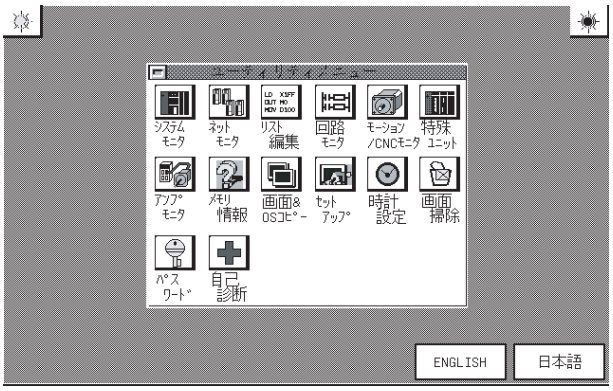
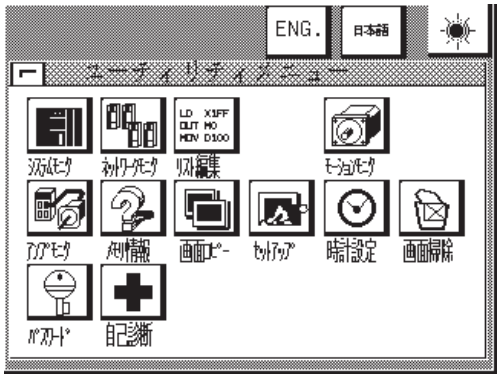
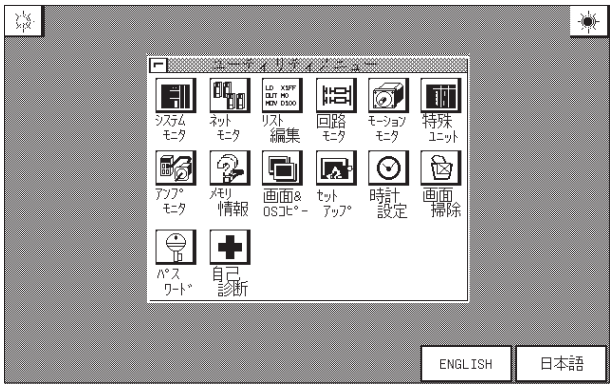
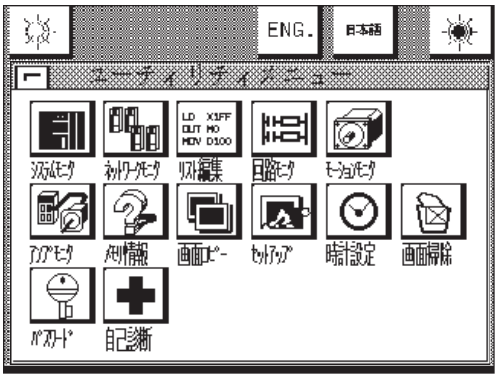
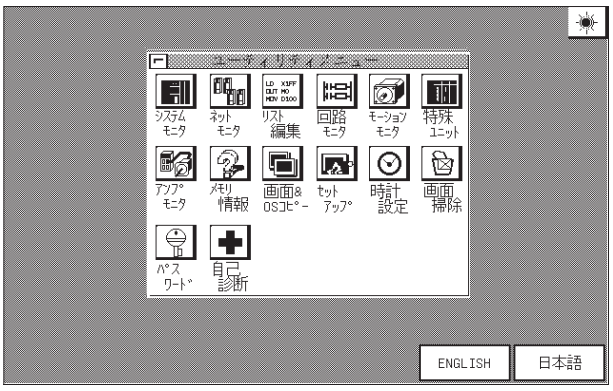
*3 セットアップで設定内容を変更し，をタッチするとリセットされてモニタ画面に戻ります。

*4 A95*GOTでは，使用できません。

4.3 ユーティリティメニュー画面

(1) 表示画面

表示画面は使用する GOT により異なります。

画面例	
A985GOT/97 ＊ GOT/960GOT	A95 ＊ /956WGOT
	
	
	

(2) 機能

・ユーティリティ機能の各機能を選択するメニュー画面です。

・モニタ画面の輝度／コントラストを調整します。

(3) 操作

(a) 基本操作

・選択する機能の表示部分を直接タッチします。

(b) モニタ画面への復帰

・ [▭] のタッチで，モニタ画面に復帰します。

(c) 輝度／コントラスト調整

・画面上部にある [☼] [☼] をタッチしてコントラスト調節します。

・コントラストは約 20 段階の調整ができます。

・画面右上部にある [☼] をタッチして輝度調整画面を表示します。
輝度調整画面での調整方法の詳細は，4.12 節を参照してください。

(d) メッセージ表示選択

[ENG.] [日本語]をタッチします。[ENG.]：英語，[日本語]：日本語）

Point

・システムモニタは，OS が GOT にインストールされていない場合，項目は表示されますが，選択することはできません。

・特殊ユニットモニタ，回路モニタ，ネットワークモニタ，モーションモニタ，サーボアンプモニタ，CNC モニタは，各機能を使用するための下記条件が揃っていないとユーティリティメニューに項目の表示はされますが選択することはできません。

(a) A985/97＊/960GOT/956WGOT

・GOT にメモリボードが装着されている
・拡張機能 OS が GOT にインストールされている

(b) A95＊GOT

・ 対応機種 (A95 ＊ GOT- ＊ BD-M3) を使用している
・ 拡張機能 OS が GOT にインストールされている
・ 時計設定は，時計機能のないシーケンサ CPU と GOT を接続した場合でも項目は表示されますが，選択することはできません。
・ メッセージ表示の言語としては，通常は日本語／英語の 2 言語となりますが，一部のシステムダイアログでは，日本語／英語／中国語（簡体字）／中国語（繁体字）の 4 言語への切換えができます。(3.11 節，第 33 章参照)

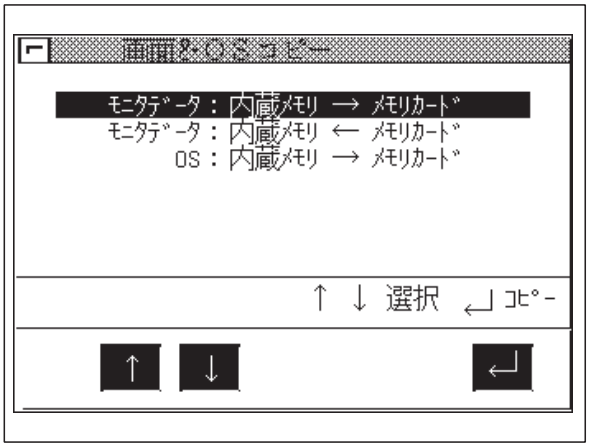
(4) 操作時に表示されるエラーメッセージ

メッセージ	原　因	対処方法
現在この機能は使えません。 〈システムモニタ・特殊ユニットモニタ・回路モニタ・ネットワークモニタ・モーション／CNC モニタ・サーボアンプモニタ・時計設定を選択時〉	・OS が GOT にインストールされていない。 ・メモリボードが A985/97 ＊ /960/A956WGOT に装着されていない。 ・A95 ＊ GOT- ＊ BD-M3 以外の A95 ＊ GOT を使用している。 ・時計機能のないシーケンサ CPU に接続されている。	・OS をインストールする。 ・A985/97 ＊ /960/A956W にメモリボードを装着する。 ・A95 ＊ GOT- ＊ BD-M3 を使用する。 ・時計機能のある CPU に交換するか，時計設定を使用しない。

4.4 画面 &OS コピー

(1) 表示画面

画面例



(2) 機能

・内蔵メモリからメモリカードへプロジェクトデータをバックアップできます。
・メモリカードから内蔵メモリへバックアップしたプロジェクトデータをコピーできます。
・内蔵メモリからメモリカードへ OS データをバックアップできます。

(3) 操作

(a) 基本操作

・ [↑] [↓]のタッチで項目を選択します。
・ [↵]のタッチで“実行しますか？”を表示します。
・ 実行するときは，もう一度タッチします。
・ 項目を変更したいときは，[↑] [↓]のタッチで行います。
・ 中断したいときは，[▭]のタッチで行います。ただし，画面はユーティリティメニュー画面に復帰します。

(b) ユーティリティメニュー画面への復帰

・ [▭]のタッチで，ユーティリティメニュー画面に復帰します。

(4) 操作時に表示されるエラーメッセージ

メッセージ	原　因	対象方法
ライトプロテクトを解除してください	メモリカードのライトプロテクトが設定されていた	メモリカードのライトプロテクトを解除する
メモリカードを装着してください	GOT にメモリカードが装着されていない	GOT にメモリカードを装着する
メモリカードをフォーマットしてください	装着したメモリカードが未フォーマット状態であった	メモリカードをフォーマットする
メモリカードへの書込みエラー（容量不足等） 転送処理に失敗しました	書き込む内容より少ないメモリ容量のメモリカードを装着していた	メモリ容量の多いメモリカードに交換する
メモリカードが異常です 転送処理に失敗しました	コピー中にメモリカードで書込みエラーが発生しました。または，空き容量がないメモリカードを使用した	メモリカードを交換する。または，メモリカードの空き容量を増やす
メモリカードが異常です	装着したメモリカードのハードウェアが異常であった	メモリカードを交換する

(5) メモリカード内のファイル構成

メモリカード内は，次のようなファイル構成になっています。

（ファイル構成）

```
¥──┬── ALARMHST・・・・・・・・・・アラーム履歴ファイル格納用
   ├── RECIPE・・・・・・・・・・・・レシピファイル格納用
   ├── REPORT・・・・・・・・・・・・レポートファイル格納用
   ├── SNAPSHOT・・・・・・・・・・画面イメージファイル格納用
   │     └SNAPHDCP.BMP・・・プリンタ印字用のワークファイル
   ├── USERDATA・・・・・・・・・・モニタ画面データ格納用（画面コピー用）
   ├── OS・・・・・・・・・・・・・・・OS格納用（OSコピー用）
   ├── SYSTEMD・・・・・・・・・・・OS用システム画面格納用（OSコピー用）
   └── SPCDATA・・・・・・・・・・・特殊ユニットモニタデータ格納用（画面コピー用）
                                    モーションモニタデータ格納用（画面コピー用）
                                    サーボアンプモニタデータ格納用(画面コピー用)
```

(a) 画面コピーをした画面データは，UserData フォルダの下に格納されます。
OS や画面データは，Dlist.ini ファイルおよび各フォルダ内にある Flist.ini ファイルによって管理されているため，必ず GT Designer2 の OS インストールまたはダウンロード（ダウンロード先はメモリカードを指定）によりメモリカードを作成してください。
パソコンのエクスプローラなどでコピーした場合，GOT はメモリカード内のデータを認識できません。

(b) GT Designer2 で直接メモリカード内の画面データを編集しないでください。
編集する場合は以下の方法で編集してください。
・ パソコンと GOT を RS-232C ケーブルで接続し，アップロードした画面データを編集する
・ パソコンにメモリカード内のデータをコピーして編集する

(c) メモリカード内のファイル（アラーム履歴データ，レシピデータ）をパソコンにコピーしたり，削除する場合は，パソコンにメモリカードを装着後，パソコンのエクスプローラなどでコピーまたは削除してください。

(d) SRAM タイプのメモリカードのフォーマットは GOT 本体で行えます。
ユーティリティ機能の自己診断でメモリカードチェックを行ってください。
メモリカードチェックを行うと，チェック後にメモリカードのフォーマットが実行されます。
コンパクトフラッシュメモリカードのフォーマットは GOT 本体で行えません。
パソコンでフォーマットしてください。
メモリカードのフォーマット方法については，GT Designer2 Version2 オペレーティングマニュアルを参照してください。

(e) dat 形式のファイルは，GOT のシステムで使用します。
そのため，ユーザで，拡張子が“dat”のファイルを作成しないようにしてください。

Point

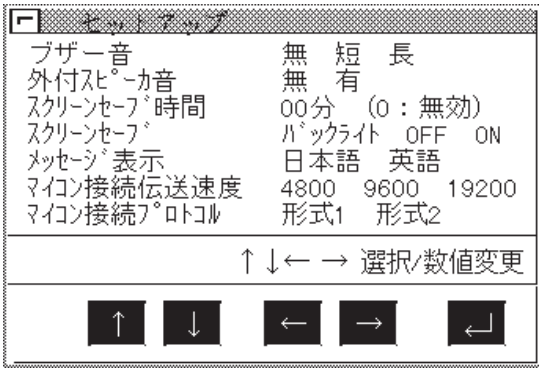
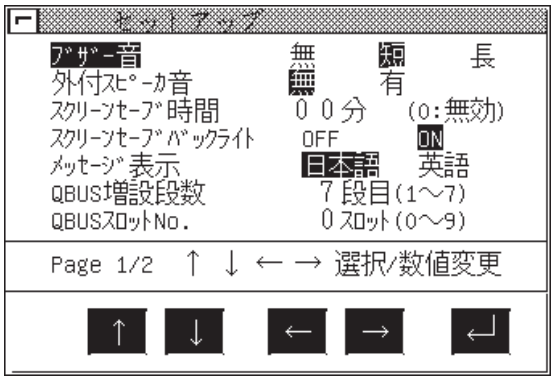
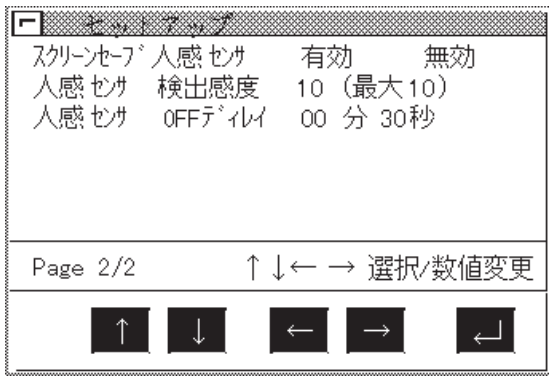
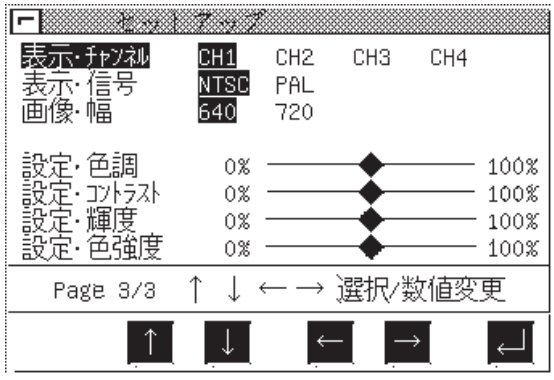
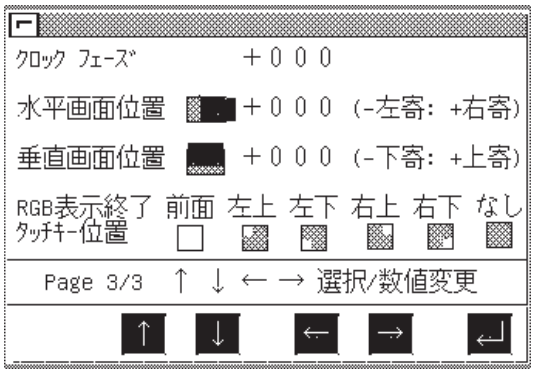
本機能を使用して OS のインストール（メモリカード→ GOT）はできません。
OS インストールの詳細は GT Designer2 Version2 オペレーティングマニュアルを参照してください。

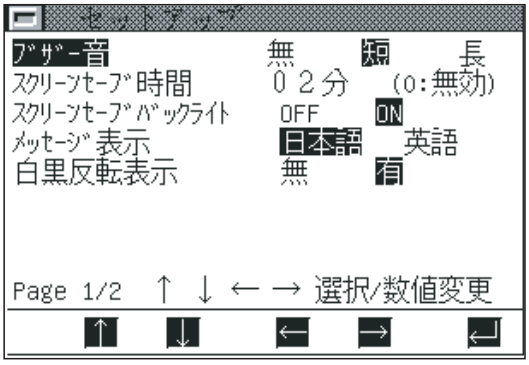
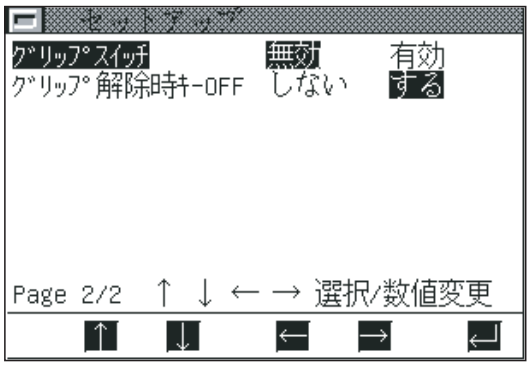
4.5 セットアップ

Point セットアップで項目のいずれかを変更した後, [ ]をタッチすると GOT は自動的にリセットされ，モニタ画面を表示します。

(1) 表示画面

表示画面は使用する GOT およびインストールする通信ドライバにより異なります。

使用する GOT	画面例
A97＊/ 960GOT	 通信ドライバ「マイコン接続」をインストールした場合の画面例です。
A985GOT(-V)	    通信ドライバ「バス接続 (Q)」をインストールした場合の画面例です。 ビデオウィンドウ（表示チャンネルなど），RGB 画面（水平画面位置など）の設定は A985GOT-V 使用時のみ可能です。

使用する GOT	画面例
A95 ＊ / A956WGOT	  通信ドライバ「バス接続(A,QnA)」をインストールした場合の画面例です。 グリップスイッチ，グリップスイッチ解除時キー OFF の設定は A950 ハンディ GOT 使用時のみ可能です。

(2) 機能

(a) すべての GOT で設定可能な内容

・ブザー音. . . . . ブザー音の長さを選択できます。
（工場出荷時，短に設定）

・外付スピーカ音. . . . . 外付スピーカからの音声出力（GT Designer2 でタッチ入力音に指定した音声のみ）の有無を選択できます。
（工場出荷時，無に設定）

・スクリーンセーブ時間 . . . . . スクリーンセーブ機能でモニタ画面の表示を OFF するまでの時間を設定します。
“00 分”から“60 分”の時間で設定できます。
“0”を設定すると，常時表示になります。
（工場出荷時，0 に設定）

・スクリーンセーブバックライト. . . . . OFF に設定時は，スクリーンセーブ機能で表示が消えると同時にバックライトを消灯させます。
ON に設定時は，表示は消えますが，バックライトは消えません。

・メッセージ表示 . . . . . 画面に表示されるメッセージの言語（日本語，英語）を選択できます。
（工場出荷時，日本語に設定）

Point

メッセージ表示の言語としては，通常は日本語／英語の 2 言語となりますが，一部のシステムダイアログでは，日本語／英語／中国語（簡体字）／中国語（繁体字）の 4 言語への切換えができます。(3.11 節，第 33 章参照)

(b) 各通信ドライバをインストールした場合に設定可能な内容

① バス接続（Q）用通信ドライバをインストールした場合

・QBUS 増設段数 . . . . . QCPU にバス接続時の GOT 用増設段数を設定します。
(工場出荷時，7 段目に設定)

・QBUS スロット No. . . . . QCPU にバス接続時の GOT を割り付けるスロット No. を設定します。
(工場出荷時，0 スロットに設定)

② マイコン接続用通信ドライバをインストールした場合

・マイコン接続伝送速度 . . . . . マイコン接続時の伝送速度を選択できます。
(工場出荷時，19200 に設定)

・マイコン接続プロトコル . . . . . マイコン接続時のプロトコルを選択できます。
(工場出荷時，形式 1 に設定)

③ 計算機リンク接続通信ドライバ（AJ71QC24）をインストールした場合

・QC24 接続伝送速度 . . . . . QC24N と接続時の伝送速度を選択します。
(工場出荷時 19200bps に設定)

④ オムロン／日立社製シーケンサ接続用通信ドライバをインストールした場合

・接続伝送速度 . . . . . 伝送速度（4800,9600,19200,38400）を選択します。
(工場出荷時 19200bps に設定)

⑤ 安川電機社製シーケンサ接続用通信ドライバをインストールした場合

・接続伝送速度 . . . . . 伝送速度（4800,9600,19200,38400）を選択します。
(工場出荷時 19200bps に設定)

・立ち上がり時間 . . . . . GOT の電源投入時後，何秒後にシーケンサ CPU との通信を開始するかを設定します。(工場出荷時 GL 系 :16 秒，GL 系以外 :1 秒に設定)

・送信ディレイ . . . . . シーケンサ CPU からのデータ受信後，GOT がシーケンサ CPU に次のデータを送信するまでの待ち時間を設定します。
(工場出荷時 0msec に設定)

⑥ SIEMENS 社製シーケンサ接続用通信ドライバをインストールした場合

・接続伝送速度 . . . . . 伝送速度（4800,9600,19200,38400）を選択します。
(工場出荷時 19200bps に設定)

・アダプタアドレス . . . . . GOT と接続する HMI Adapter に割り付けられたプロフィバス上の MPI アドレスを設定します。(工場出荷時 1 に設定)

・自局 (FF) アドレス . . . . . HMI Adapter が接続されたシーケンサ CPU のプロフィバス上の MPI アドレスを設定します。
設定したシーケンサ CPU が，GT Designer2 でモニタデバイスを設定時の“自局”になります。
モニタデバイス設定の詳細については，GT Designer2 Version2 リファレンスマニュアルを参照してください。(工場出荷時 2 に設定)

⑦ Allen-Bradley 社製シーケンサ接続用通信ドライバをインストールした場合

・接続伝送速度 . . . . . 伝送速度（4800,9600,19200,38400）を選択します。
（工場出荷時 19200bps に設定）

・アダプタアドレス . . . . . GOT と接続する Adapter に割り付けられた DH-485 ネットワーク上のアドレスを設定します。GOT に CPU を複数台接続する場合のみ設定が必要です。
Adapter で設定する DH-485 Node Address と同じアドレスを設定してください。
設定する DH-485 Node Address は，DH-485 ネットワーク上のシーケンサの Node Address と重ならないようにしてください。（工場出荷時 1 に設定）

・自局 (FF) アドレス . . . . . Adapter が接続されたシーケンサ CPU の DH-485 ネットワーク上のアドレスを設定します。
設定したシーケンサ CPU が，GT Designer2 でモニタデバイスを設定時の“自局”になります。
モニタデバイス設定の詳細については GT Designer2 Version2 リファレンスマニュアルを参照してください。（工場出荷時 1 に設定）

⑧ 松下電工社製シーケンサ接続用通信ドライバをインストールした場合

・接続伝送速度 . . . . . 伝送速度（4800,9600,19200,38400）を選択します。
（工場出荷時 19200bps に設定）

・立ち上がり時間 . . . . . GOT の電源投入時後，何秒後にシーケンサ CPU との通信を開始するかを設定します。（工場出荷時 0msec に設定）

・送信ディレイ . . . . . シーケンサ CPU からのデータ受信後，GOT がシーケンサ CPU にデータを送信するまでの時間。（工場出荷時 3 秒に設定）

・C.C.U モニタ登録 . . . . . CCU モニタ登録の有無を選択します。
1 台の CPU に対して C.C.U 経由で複数台の GOT ／周辺機器を接続する場合，C.C.U モニタを登録できるのは 1 台（CPU が FP10SH 時は 5 台まで可能）までになります。
GOT を 2 台以上使用する場合や周辺機器と同時に使用する場合は，C.C.U モニタを登録は「無」に設定してください。

⑨ Ethernet 接続用通信ドライバをインストールした場合

⑩ ゲートウェイ機能用拡張機能 OS をインストールした場合

⑪ A9GT-J71E71-T を装着した場合

・GOT NET No. . . . . GOT のネットワーク No. を設定します。
「 1 」～「 239 」（工場出荷時 1 に設定）

・GOT PC No. . . . . GOT の局番を設定します。
モニタする Ethernet ユニットの PC No. と重ならないようにしてください。「 1 」～「 64 」（工場出荷時 1 に設定）

・GOT IP アドレス . . . . . GOT の IP アドレスを設定します

・GOT ポート No. . . . . GOT のポート No. を設定します。「 1024 」～「 65535 」（工場出荷時 5001 に設定）

・ルータアドレス . . . . . ルータにより他ネットワークと接続されているネットワークの場合，GOT が接続されている側のネットワークのルータアドレスを設定します。
（工場出荷時 000.000.000.000 に設定）

・サブネットマスク . . . . . サブネットワークで管理されている Ethernet ネットワークに GOT を接続する場合，ネットワークで共通に設定されているサブネットマスクを設定します。
サブネットが使用されていない場合は，デフォルトの値のままで動作します。（工場出荷時 255.255.255.000 に設定）

・送信ウェイトタイム . . . . . ネットワーク，対象シーケンサの負荷軽減の為に，送信ウェイト時間を設定します。「 0 」～「 10000 」（× 10 msec）（工場出荷時 0 に設定）

・送信タイムアウト . . . . . タイムアウト時間を設定します。
「 3 」～「 90 」（秒）（工場出荷時 3 に設定）

・立ち上がり時間 . . . . . GOT の電源投入時後，何秒後に通信を開始するかを設定します。（工場出荷時 3msec に設定）

⑫ CC-Link 接続用通信ドライバ (CC-LINK(IDI)) をインストールした場合

・送信タイムアウト . . . . . タイムアウト時間を設定します。
「 3 」～「 90 」（秒）（工場出荷時 3 に設定）

(c) 特定の GOT を使用した場合に設定可能な内容

① 表示モードの設定（A95 ＊ GOT-LBD(-M3) のみ設定可）

・白黒反転表示 . . . . . 表示モード（正転表示（無）／反転表示（有））を選択できます。
(工場出荷時，正転表示に設定)

② 人感センサの設定（A985GOT(-V) のみ設定可）

・スクリーンセーブ人感センサ . . . . . 人感センサが人の動きを検出した場合に，スクリーンセーブ状態を解除する／しないを選択できます。
（工場出荷時有効に設定）

・人感センサ検出感度 . . . . . GOT の前を横切る程度の動きを検出しないため，人感センサの検出感度を 0 ～ 10 レベルの 11 段階で選択できます。
（工場出荷時 10 に設定）

検出感度設定値	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0
監視時間 [秒]	0	0.1	0.2	0.4	0.8	1	1.5	2	2.5	3	4

・人感センサ OFF ディレイ . . . . . 人感センサが ON 検出後，どのくらい人の動きを検出しないときに OFF するかを“00 分 10 秒”から“60 分 00 秒”の時間で設定できます。
（工場出荷時 00 分 10 秒に設定）

③ グリップスイッチの設定（A950 ハンディ GOT のみ設定可）

・グリップスイッチ . . . . . グリップスイッチを使用する（有効）／しない（無効）を設定できます。
有効に設定時は，グリップスイッチを押しながら操作してください。
セットアップ，自己診断は，グリップスイッチに関係なく操作できます。
(工場出荷時有効に設定)

・グリップスイッチ解除時キー OFF . . . グリップスイッチ解除時に GOT 表示部で押しているタッチスイッチを OFF する／しないを設定できます。
OFF しないに設定時は，押しているタッチスイッチを離したときに OFF します。（工場出荷時 OFF するに設定）

④ ビデオウィンドウの設定（A985GOT-V に A9GT-80V4 装着時のみ選択可）

・表示・チャンネル . . . . . ビデオウィンドウの各設定をするビデオチャンネルを選択できます。
各設定はビデオチャンネルごとに設定することができます。

・表示・信号 . . . . . ビデオ映像の入力方式（NTSC/PAL）を選択できます。

・画像・幅 . . . . . ビデオウィンドウの解像度（720 × 480 ドット／ 640 × 480 ドット）を選択できます。

・設定・色調／コントラスト／輝度／色強度 . . . . . GOT で表示するビデオ映像のコントラストや輝度などを調整できます
(A985GOT-V に A9GT-80V4 装着時のみ選択可，工場出荷時 50% に設定)

⑤ RGB 画面の設定（A985GOT-V に A9GT-80R1 装着時のみ選択可）

・クロックフェーズ . . . . . GOT で表示する RGB 画面のちらつきを調整できます。

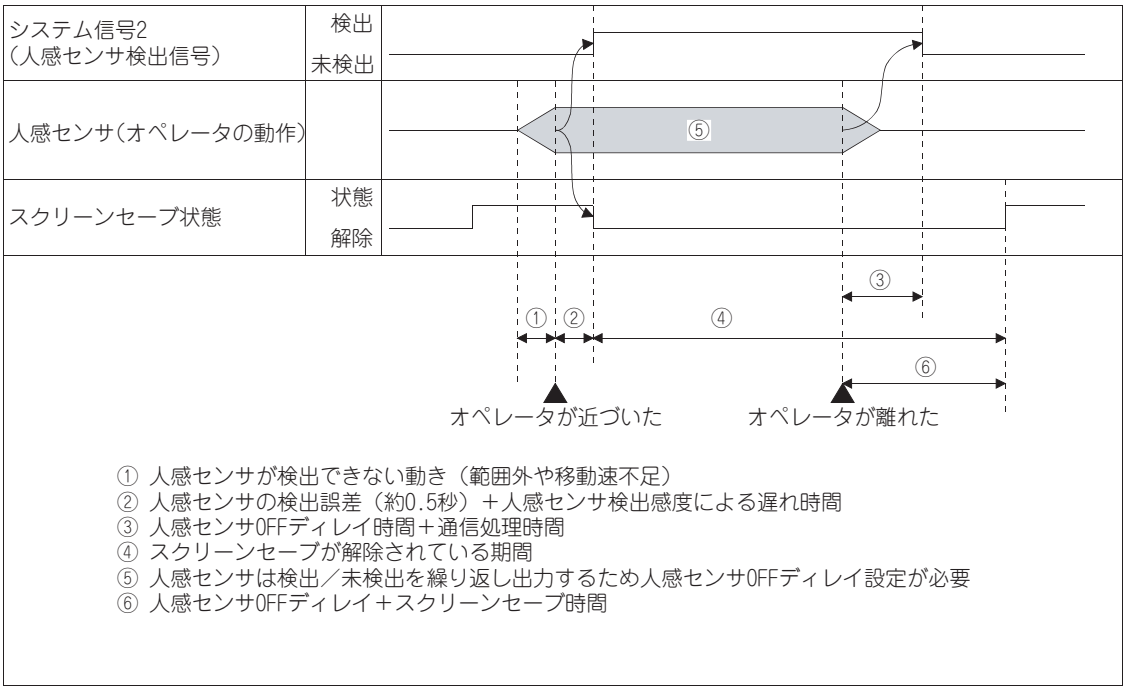
・水平画面位置／垂直画面位置 . . . . . GOT で表示する RGB 画面の位置を調整できます。

・RGB 表示終了タッチキー位置 . . . . . RGB 画面から GOT のモニタ画面に切り換える場合，画面のどの位置をタッチして切り換えるかを選択できます。
ビットデバイス（RGB 表示制御用ビット）を ON/OFF して画面を切り換えることもできます。
RGB 表示制御用ビットについては GT Designer2 Version2 リファレンスマニュアルを参照してください。（工場出荷時全面に設定）

Point

・スクリーンセーブ機能は，指定時間内にタッチがない場合，表示器の焼き付き防止のために表示を OFF する機能です。特に表示画面タイプが EL の場合はご使用をおすすめします。

・人感センサ機能は，人感センサで検出した信号により，タッチパネルに触ることなく自動的にスクリーンセーブを解除する A985GOT 専用の機能です。
人感センサで検出した信号を GOT のシステム情報機能を使用してシーケンサ CPU で制御することもできます。
システム情報機能の詳細は，GT Designer2 Version2 リファレンスマニュアルを参照してください。
信号検出のタイミングを下記に示します。



① 人感センサが検出できない動き（範囲外や移動速不足）
② 人感センサの検出誤差（約0.5秒）＋人感センサ検出感度による遅れ時間
③ 人感センサOFFディレイ時間＋通信処理時間
④ スクリーンセーブが解除されている期間
⑤ 人感センサは検出／未検出を繰り返し出力するため人感センサOFFディレイ設定が必要
⑥ 人感センサOFFディレイ＋スクリーンセーブ時間

(3) 操作

(a) 基本操作

・ [↑] [↓]のタッチで項目を選択します。

・ A985GOT，A950 ハンディ GOT 使用時は，Page1/2 の最終項目を選択して[↓]をタッチすることにより Page2/2 を表示します。

・ 数値を変更する設定項目は，[←] [→]タッチで設定する桁を反転させ，[↑] [↓]のタッチで数値を設定します。
（このあと，別の設定項目を選択する場合は，[←]のタッチで反転表示を設定項目まで戻し，[↑] [↓]のタッチで選択します。）

・ 設定後は，[↵]をタッチします。
[↵]のタッチ後，GOT は自動的にリセットされ，モニタ画面を表示します。

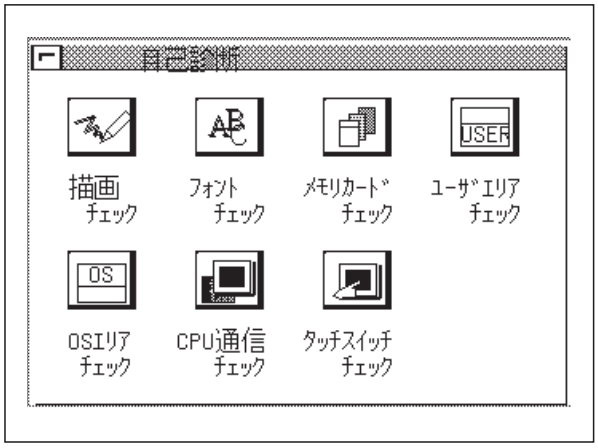
(b) 各画面への復帰

・ セットアップの設定内容に変更がない場合は，[▭]のタッチで，ユーティリティメニュー画面に復帰します。

・ セットアップの設定内容を変更した場合は，[▭]のタッチでリセットされ再起動します。
ユーティリティメニュー又は，モニタ画面に復帰します。

4.6 自己診断

(1) 表示画面



(2) 機能

GOT 本体の下記のハードウェアを診断します。

・描画チェック . . . . . 目視による表示器の色抜け・表示抜けをチェックします。

・フォントチェック . . . . . 目視による文字フォントの歪みをチェックします。
文字フォント切換え機能で切換えたフォントもチェックできます。
文字フォントの切換え方法については，32 章を参照してください。

・メモリカードチェック . . . . . メモリカードのハードウェアをチェックします。チェック後，メモリカードはフォーマットされます。

・内蔵メモリのユーザエリアチェック . . 内蔵メモリのユーザエリアをチェックします。
内蔵メモリのユーザエリアチェックを行う場合，パスワードを入力する必要があります。
パスワードは「1111」（固定）です。（入力したパスワードは，画面に“＊＊＊＊”で表示されます。）
チェック後，ユーザエリアはクリアされ，データが消去されます。

・内蔵メモリの OS エリアチェック . . . . 内蔵メモリの OS エリアをチェックします。

・CPU 通信チェック . . . . . GOT とシーケンサ CPU 間の通信状態をチェックします。

・タッチスイッチチェック. . . . . タッチスイッチをチェックします。

GOT がチェックします。

(3) 操作

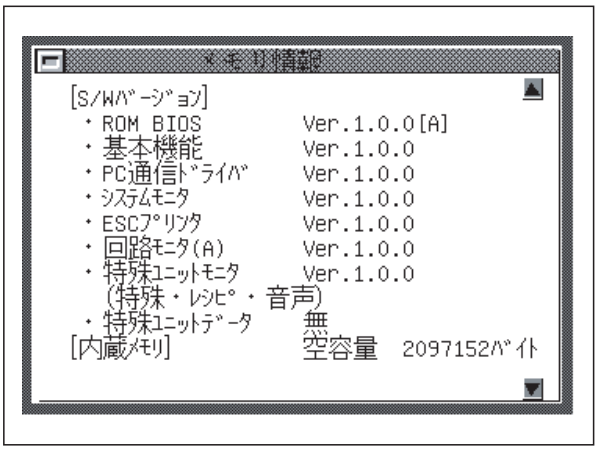
(a) 基本操作

・ 実施する項目の表示部分をタッチします。
・ 各項目の操作は，画面に表示されるメッセージに従ってください。
・ 正常完了したときは，正常に完了したメッセージを表示します。
・ 異常を検出したときは，検出した異常内容をメッセージ表示します。
・ 描画チェックで表示される画面は，次の 3 種類です。
① 画面全体が 1 色で表示されます。表示される色は，赤→緑→青の順です。
② 丸，四角などの基本図形が表示されます。
③ 楕円と市松模様が交互または重ね合わせて表示されます。

4.7 メモリ情報

(1) 表示画面

画面例



(2) 機能

次に示す GOT の各種メモリ情報を表示します。

・OS のバージョン
・シーケンサ CPU との通信形態
・内蔵メモリの空き容量
・メモリカードの有／無，メモリカードの空き容量
・回路モニタ機能の有／無

(3) 操作

(a) 基本操作

△ ▽ のタッチで，画面をスクロールさせます。

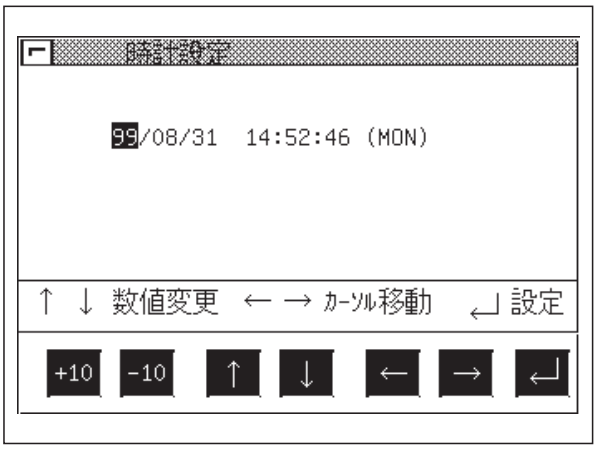
(b) ユーティリティメニュー画面への復帰

・ ▭ のタッチで，ユーティリティメニュー画面に復帰します。

4.8 時計設定

(1) 表示画面

画面例



＊ 設定ウィンドウ内は，時計設定画面表示時の時刻を表示します。
画面右上には，常時最新の時刻を表示します。設定完了後は，画面右上の時刻で確認してください。

(2) 機能

・シーケンサ CPU や A9GT-RS2T が管理している時計に日付・時刻・曜日が設定できます。

(3) 操作

(a) 基本操作

・ ← → のタッチで，項目を選択します。
・ ↑ ↓ のタッチで，数値を変更します。
・ +10 -10 のタッチで，数値を 10 単位で変更します。
・ ↵ のタッチで，シーケンサ CPU に時計データを設定します。

(b) ユーティリティメニュー画面への復帰

・ ▭ のタッチで，ユーティリティメニュー画面に復帰します。

Point

・時計設定は，システム立上げ時に行ってください。
・シーケンサ CPU 側のシーケンスプログラムなどで時計データの読出し／書込み処理を行っている場合（ACPU の場合，シーケンスプログラムで M9028 を ON しているとき），本機能での時計データの設定が正しく行われません。
・時計機能のないシーケンサ CPU を接続しているときは，ユーティリティメニューで時計設定（本画面）を選択しても，「現在この機能は使えません。」とメッセージが表示されます。
時計機能が使用できるシーケンサ CPU については，GT Designer2 Version2 リファレンスマニュアルを参照してください。

4.9 画面掃除

(1) 表示画面



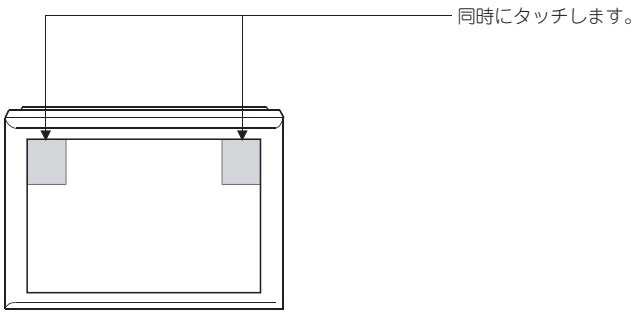
(2) 機能

・表示部を掃除するときに黒画面を表示して，表面を見やすくします。

(3) 操作

(a) 基本操作

・画面の右上隅と左上隅の同時タッチで，ユーティリティメニュー画面へ復帰します。



4.10 セキュリティパスワード

(1) 表示画面



(2) 機能

・GT Designer2 で各オブジェクト（数値入力，タッチスイッチなど）にセキュリティレベルを設定してある場合に，変更するセキュリティレベルのパスワードを入力します。

・パスワードが一致した場合は，正常完了メッセージを表示します。[ ]をタッチするとユーティリティメニュー画面に戻ります。

・パスワードが不一致の場合は，エラーメッセージを表示します。[ ]をタッチするとユーティリティメニュー画面に戻ります。

・パスワード設定で使用できる文字は，数字，A ～ F のみです。

・セキュリティ機能の詳細については，GT Designer2 Version2 リファレンスマニュアルを参照してください。

(3) 操作

(a) パスワードを入力する操作

[0]～[9], [A]～[F]をタッチして，パスワードを入力します。

入力後, [↵]をタッチして，パスワードを確定します。

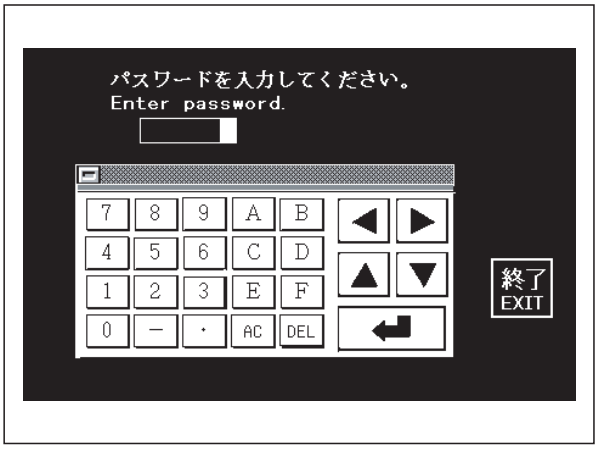
入力した文字を修正するときは, [DEL]をタッチして修正する文字を削除して，新しい文字を再入力します。

(b) パスワード入力を中断する操作

[ ]をタッチすると，モニタ画面に戻ります。

4.11 パスワード

(1) 表示画面



(2) 機能

・GT Designer2 で GOT にパスワード設定を書き込んである状態で，2 点押しまたは拡張キーにてユーティリティメニュー画面にアクセスしようとすると，パスワード入力画面を表示します。
（GT Designer2 のパスワード設定は，共通設定メニューの中にあります。）

・パスワードが一致した場合は，ユーティリティメニュー画面を表示します。

・パスワードが不一致の場合は，エラーメッセージを表示します。終了をタッチするとモニタ画面に戻ります。

・パスワード設定で使用できる文字は，数字，A ～ F のみです。

(3) 操作

(a) パスワードを入力する操作

0～9, A～Fをタッチして，パスワードを入力します。
入力後，↵をタッチして，パスワードを確定します。
入力した文字を修正するときは，DELをタッチして修正する文字を削除して，新しい文字を再入力します。

(b) パスワード入力を中断する操作

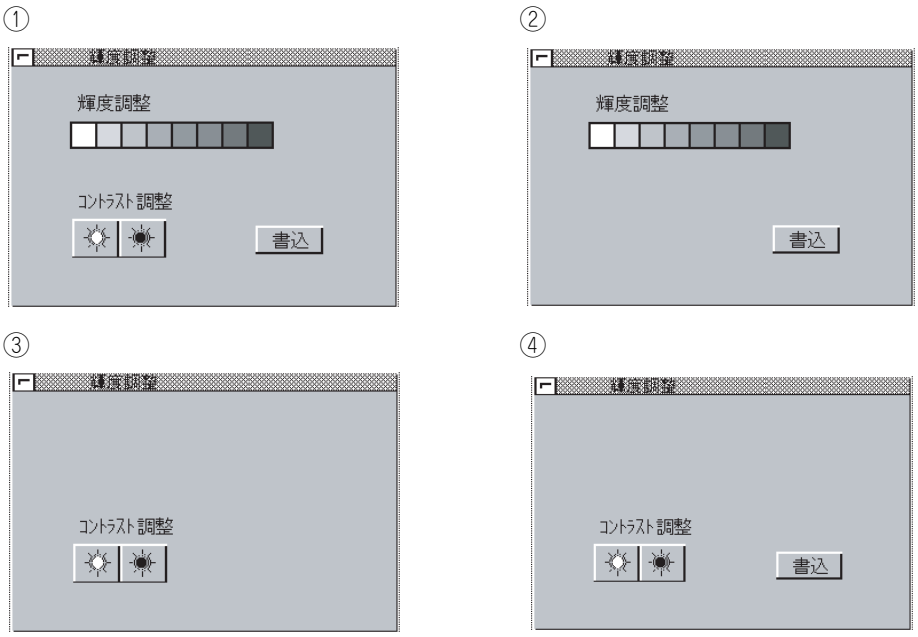
終了をタッチすると，モニタ画面に戻ります。

4.12 輝度調整／コントラスト調整

(1) 表示画面

表示画面は使用する GOT により異なります。

画面例



(2) 機能

・モニタ画面の輝度／コントラストを調整します。

(3) 操作

(a) 基本操作

基本操作は使用する GOT により異なります。

(b) 輝度／コントラスト調整

①の場合

・□□□□□□□■ をタッチして輝度を選択します。

・☼ ✹ をタッチしてコントラストを調節します。

・書込 をタッチして，設定内容を GOT に記憶させます。

②の場合

・□□□□□□□■ をタッチして輝度を選択します。

・書込 をタッチして，設定内容を GOT に記憶させます。

③の場合

・☼ ✹ をタッチしてコントラストを調節します。

タッチするごとに設定内容が GOT に記憶されます。

④の場合

・☼ ✹ をタッチしてコントラストを調節します。

・書込 をタッチして，設定内容を GOT に記憶させます。

(c) ユーティリティメニュー画面への復帰

・ [▭]のタッチで，ユーティリティメニュー画面に復帰します。
ただし以下の場合はモニタ画面に復帰します。
① モニタ画面より輝度調整画面を開いたとき
② [書込]を実行したとき

Point

一部の GOT では輝度調整機能が使用できないのに画面上に輝度調整スイッチが表示されます。

輝度調整スイッチは，以下の対処方法で非表示にできます。

(1) 該当する GOT

形名　　：A970GOT-TBA, A975GOT-TBA
製造番号：“9806AA”～“9807AA”のものになります。
製造番号は製品の定格銘板の DATE 欄で確認してください。

(2) 対処方法

GOT にシステムプログラムをインストールします。
インストールするシステムプログラムは，対象の GOT にインストールされているシステムプログラム（ROM_BIOS を除く）を全てインストールします。
GOT にインストールされているシステムプログラムは，下記方法により確認できます。

1. GOT 本体で確認する
ユーティリティ機能のメモリ情報で確認できます。

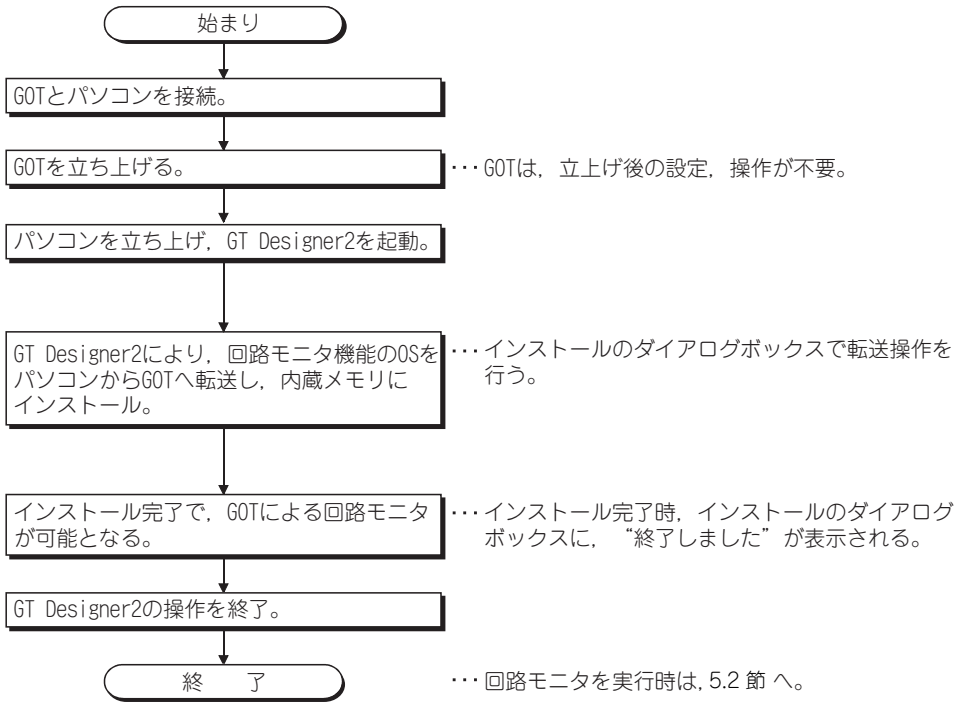
2. GT Designer2 から確認する
GT Designer2 の内蔵メモリ情報で確認できます。
内蔵メモリ情報の詳細は，GT Designer2 Version2 オペレーティングマニュアルを参照してください。

5章　回路モニタ機能の操作手順

回路モニタ機能を使用するときの操作手順について説明します。

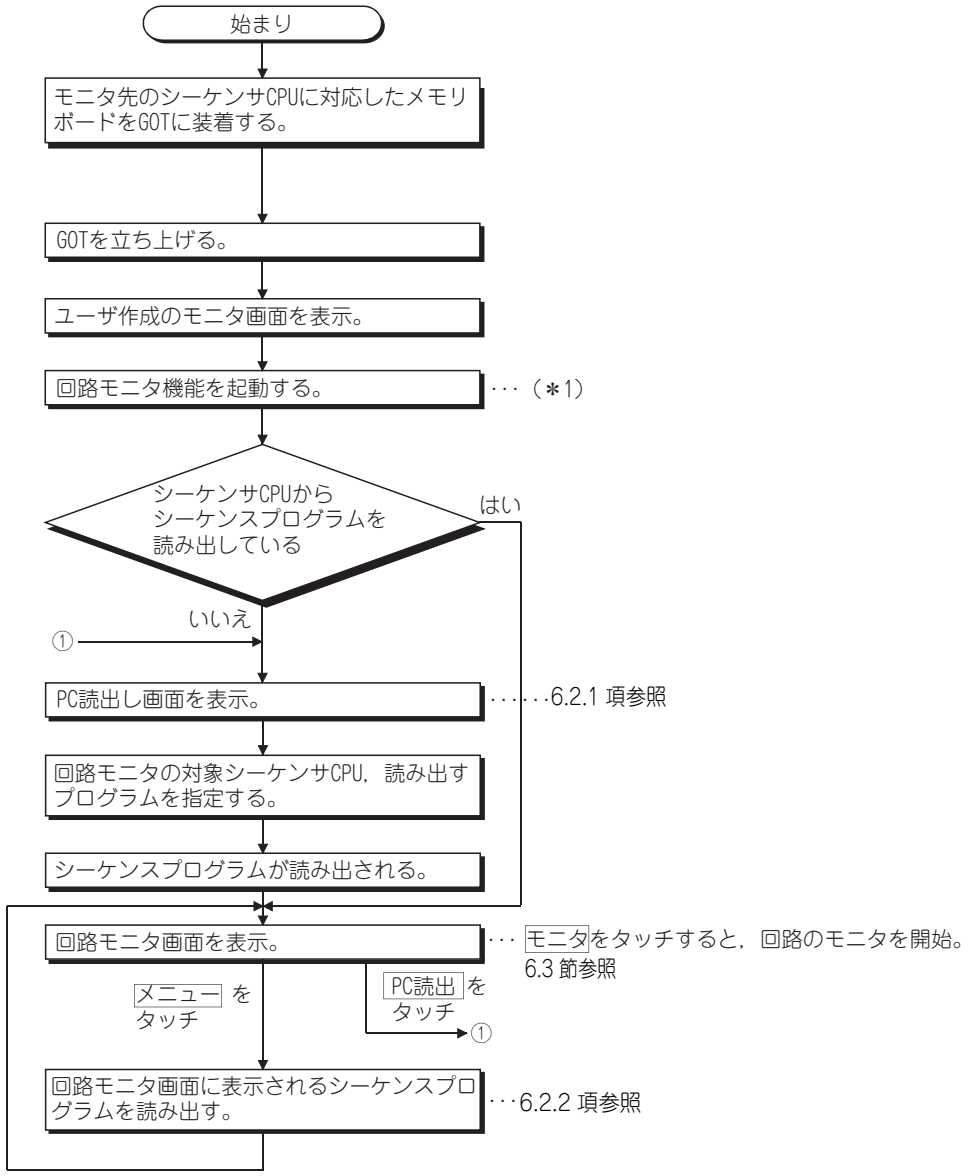
5.1　回路モニタを開始するまでの操作手順

回路モニタ機能のオペレーティングシステム (OS) をパソコンから GOT へ転送し，内蔵メモリにインストールするまでの概略手順を示します。
詳細は，GT Designer2 Version2 オペレーティングマニュアルを参照してください。画面表示，キー操作を含め，詳しく説明しています。



5.2 ユーザ作成モニタ画面表示から回路モニタ開始までの操作手順

GOT の内蔵メモリに回路モニタ機能のオペレーティングシステム (OS) をインストールしてから，回路モニタ機能の各操作を開始するときの，GOT の操作手順を示します。



*1 回路モニタ機能の起動方法は下記の2種類があります。
・タッチスイッチから起動する ・・・・・・・・・・拡張キー（回路モニタ）を設定したタッチスイッチをタッチします。
・GOTのユーティリティメニューから起動する・・・ユーティリティメニューの回路モニタをタッチします。

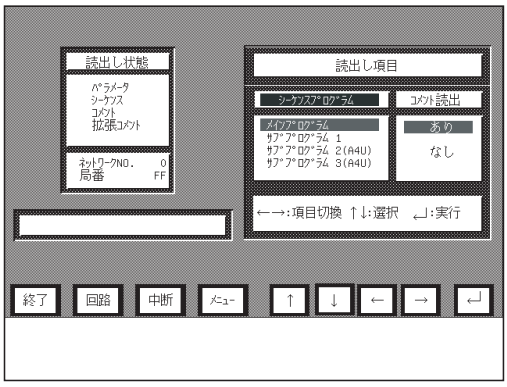
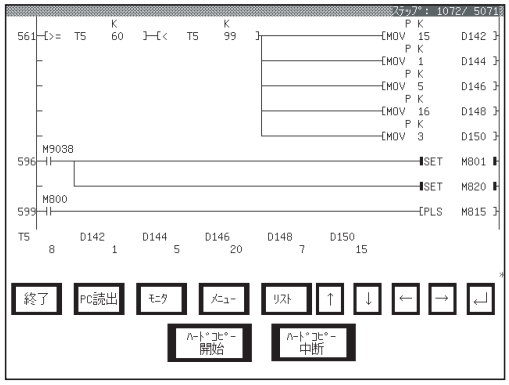
6章　各回路モニタ画面の操作

回路モニタ機能を使用するときの，各画面操作について説明します。
本章で説明に使用する画面は，主に A975GOT の画面を使用しています。
回路モニタの表示画面は使用する GOT により多少異なりますが，表示画面の違いについては 6.1 節を参照してください。

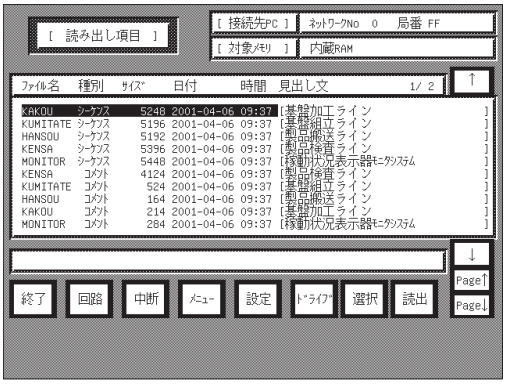
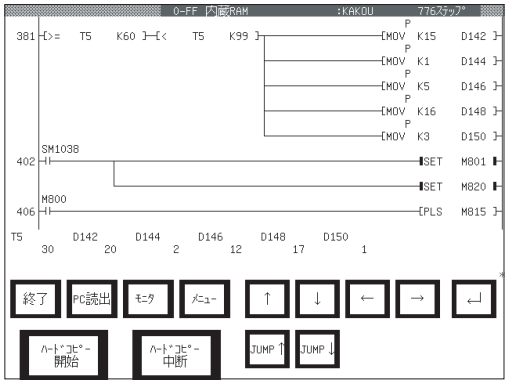
6.1　表示画面

回路モニタの表示画面は使用する GOT および対象シーケンサ CPU により異なります。

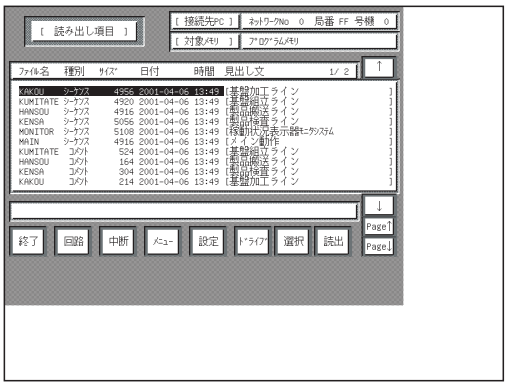
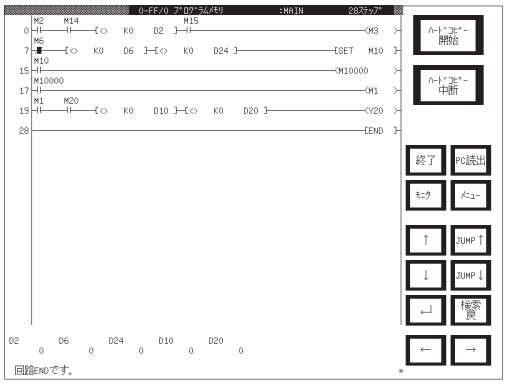
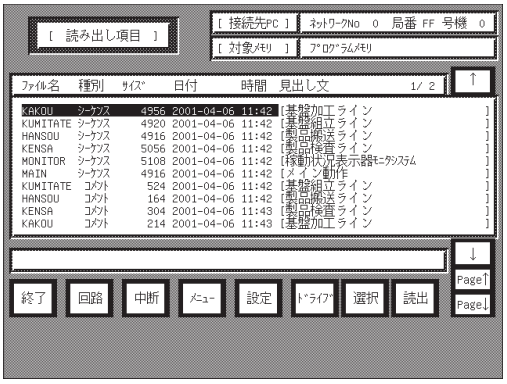
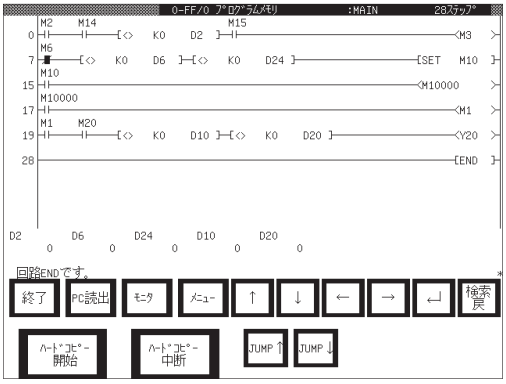
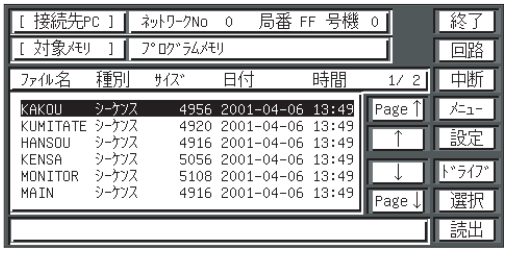
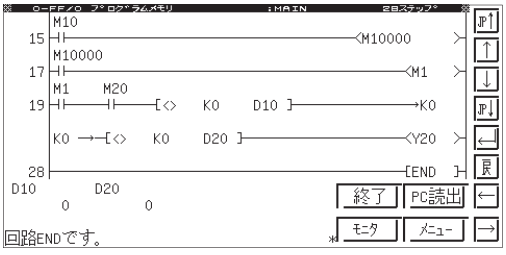
(1)　MELSEC-A/FX 回路モニタ

使用する GOT	PC 読出し画面	回路モニタ画面
A985/A97* /960GOT		 ・シーケンスプログラム ：最大 8 行（1 行：最大 11 接点）表示 ・表示画面タイプが EL の場合は，[ハードコピー開始]，[ハードコピー中断] キーは表示されません。

(2)　MELSEC-QnA 回路モニタ

使用する GOT	PC 読出し画面	回路モニタ画面
A985/A97* /960GOT		 ・シーケンスプログラム ：最大 8 行（1 行：最大 11 接点）表示 ・表示画面タイプが EL の場合は，[ハードコピー開始]，[ハードコピー中断]，[JUMP ↑]，[JUMP ↓] キーは表示されません。

(3) MELSEC-Q 回路モニタ

使用する GOT	PC 読出し画面	回路モニタ画面
A985GOT		 ・シーケンスプログラム ：最大 15 行（1 行：最大 11 接点）表示。
A97*/ 960GOT		 ・シーケンスプログラム ：最大 8 行（1 行：最大 11 接点）表示 ・表示画面タイプが EL の場合は，[ハードコピー開始]，[ハードコピー中断]，[JUMP ↑]，[JUMP ↓] キーは表示されません。
A956WGOT	 ・ファイル一覧で，見出し文は表示されません。	 ・シーケンスプログラム ：最大 5 行（1 行：最大 7 接点）表示 ・[ハードコピー開始]，[ハードコピー中断] キーは表示されません。

6.2 モニタ時の画面操作と画面遷移について

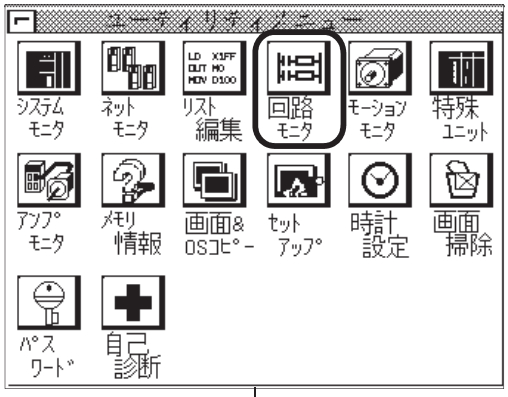
回路モニタ実行時に対象シーケンサ CPU からシーケンスプログラムを読み出す PC 読出し操作，回路モニタ画面に表示させるシーケンスプログラムを指定する回路読出し操作，回路モニタ実行時の画面遷移について説明します。

6.2.1 PC 読出しの操作

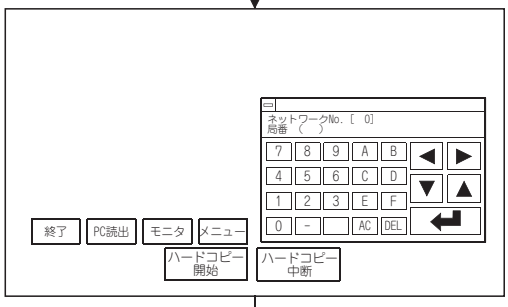
回路モニタの対象シーケンスプログラムを，シーケンサ CPU から読み出す操作について説明します。
操作手順はモニタするシーケンサ CPU の種類により異なります。
操作で使用するキーは，すべて画面上のタッチキーです。
該当キーの表示位置をタッチしてデータを入力します。

(1) MELSEC-A/FX 回路モニタ実行時

[操作手順]



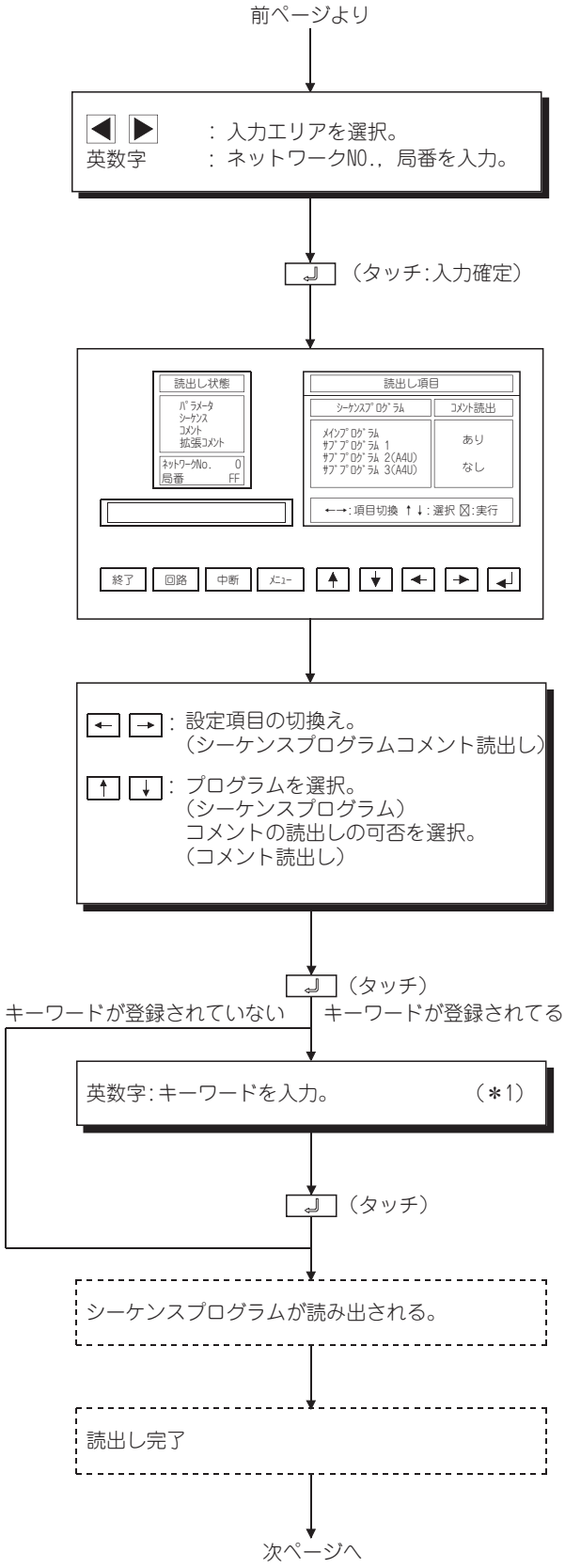
回路モニタ （タッチ）



次ページへ

① ユーザ作成のモニタ画面に設定してある回路モニタ起動用タッチスイッチにタッチするか，ユーティリティ画面の 回路モニタ をタッチして回路モニタ機能を起動する

② 対象シーケンサCPUのネットワークNo.，局番を指定する。
（データリンクシステム，CC-Linkシステムの場合）
ネットワークNo.： 0
局番 ： FF（自局）
0（マスタ局）
1～64（ローカル局）
（ネットワークシステムの場合）
ネットワークNo.：1～255（自ネット）
0（自局）
局番 ： FF（自局）
1～64（管理局）
1～64（通常局）

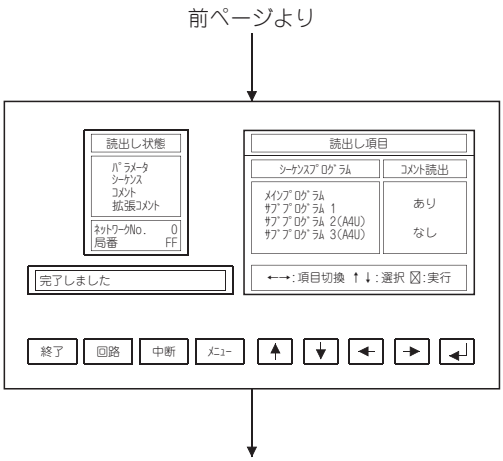


③　読出し項目で，対象局から読み出すシーケンスプログラムを指定する。
コメントの読出しを行うかどうかを指定する。

④　対象局に登録されているキーワードを入力する。
未登録のときはキーワードの入力は不要。

⑤　読出し処理の内容，容量が表示される。
中断 にタッチすると，読出し処理が中断する。
再度読み出すときは，最初から操作する。

⑥　“完了しました”が表示される。



画面を切り換える。

終了 ：回路モニタ機能起動時の画面へ遷移。
回路 ：回路モニタ画面へ遷移。
PC読出 ：PC読出し画面へ遷移。

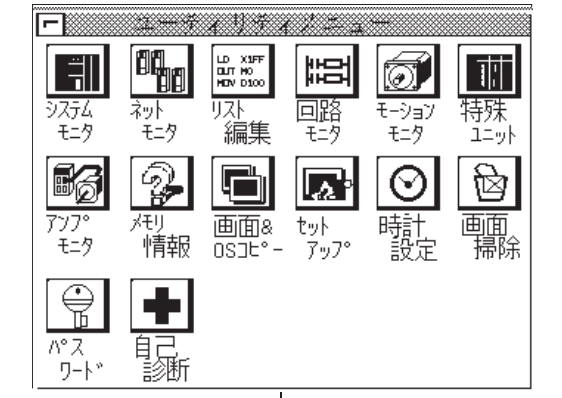
＊1 入力中のデータは，次のキーでクリアできます。
AC ：対象エリアへの入力中のデータをすべてクリア。
DEL ：カーソル位置の1文字分をクリア。

Point

一度 PC 読出しを行うと，次回から PC 読出しの操作は不要となります。
ただし，PC 読出しを行った後，パソコンからユーザ画面データのダウンロードを行った場合は PC 読出しの操作が再度必要となります。

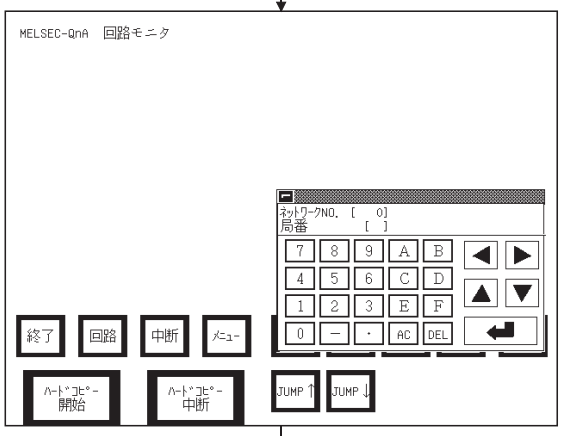
(2) MELSEC-Q/QnA 回路モニタ実行時

[操作手順]



① ユーザ作成のモニタ画面に設定してある回路モニタ起動用タッチスイッチにタッチするか，ユーティリティ画面の 回路モニタ をタッチして回路モニタ機能を起動します。

ポイント
ROM_BIOSが未対応の場合は，エラーメッセージを表示しますので，終了ボタンをタッチした後，対応ROM_BIOS（H版以降）のインストールを行ってください。

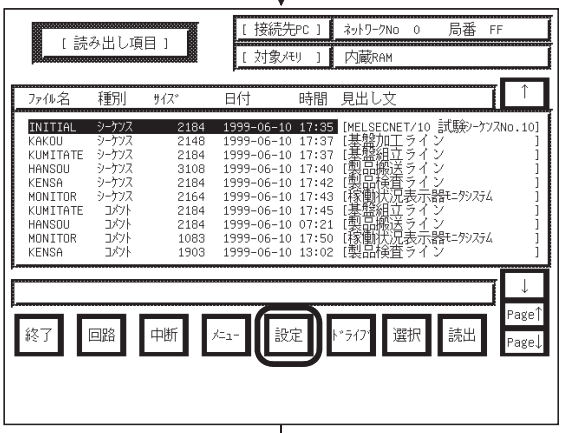


② キーウィンドウが表示されますので，対象シーケンサCPUのネットワークNo.／局番／CPU号機No.を，下記のキーを使用して設定します。

◀▶ ：入力エリアを選択。
英数字：ネットワークNo.，局番を入力。
AC ：対象エリアへの入力データをすべてクリア。
DEL ：カーソル位置の1文字分をクリア。
↵ ：入力を確定します。

ポイント
対象シーケンサCPUのネットワークNo.／局番／CPU号機No.を指定する。 （CC-Linkシステムの場合） ネットワークNo.： 0 局番 ： 0（マスタ局） （ネットワークシステムの場合） ネットワークNo.：1～255（自ループ） 局番 ： 1～64（管理局），1～64（通常局） （Ethernet接続の場合） ネットワークNo.：1～239 局番 ： 1～64 （マルチCPUシステムの場合） CPU No. ：0～4（CPU号機）

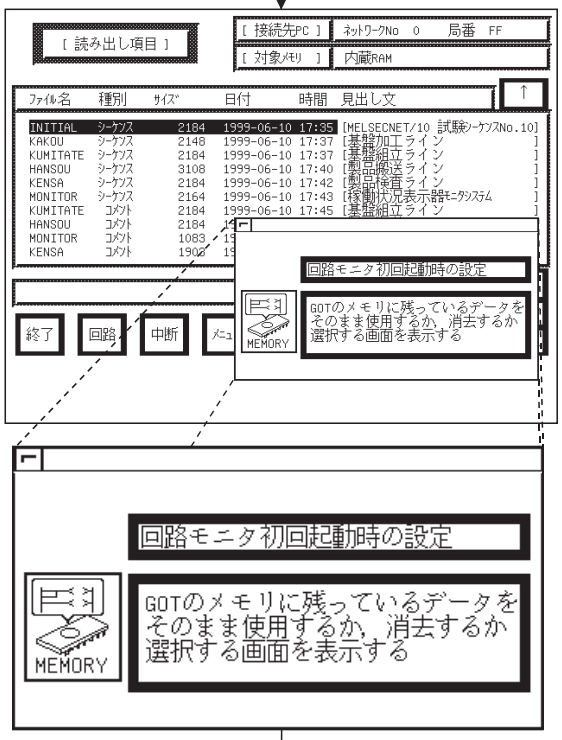
*1 MELSEC-Q回路モニタ時のみ表示されます。
*2 あらかじめGT Designer2でモニタ先を設定する必要があります。MELSEC-A回路モニタ時は，GT Designer2で設定したネットワークNo.／局番を指定します。
Ethernet接続時のモニタ先設定の詳細は，GOT-A900シリーズユーザーズマニュアル（接続編）を参照してください。



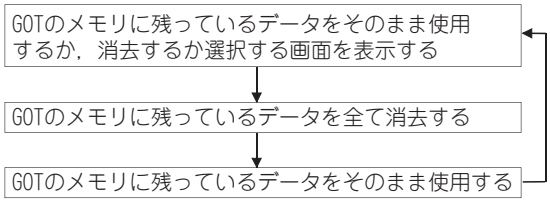
③ PC読出し画面が表示されます。
まず，設定 キーをタッチして，設定ウィンドウを表示させます。

次ページへ

前ページより



④ 設定ウィンドウが表示されますので，回路モニタ初回起動時の設定を行います。
MEMORY キーにタッチするたびに，下記のように設定内容が切り換わります。



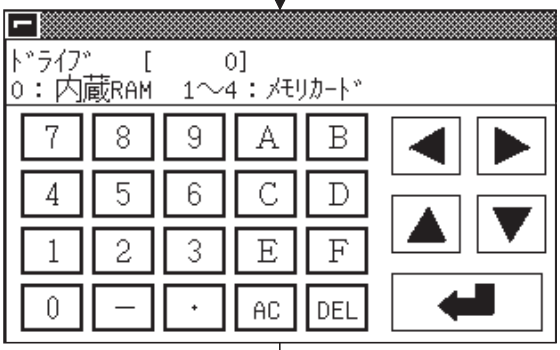
設定終了後，▭ ボタンをタッチします。



⑤ つぎに ドライブ キーをタッチして，モニタする対象回路データが格納されているドライブ（対象メモリ）を選択します。

次ページへ

前ページより



⑥ ドライブ選択ウィンドウが表示されますので，ドライブ（対象メモリ）を下記のキーを使用して選択します。

0 ～ 4 ：ドライブ番号を入力。
AC ：ドライブへの入力データをすべてクリア。
↵ ：入力を確定します。

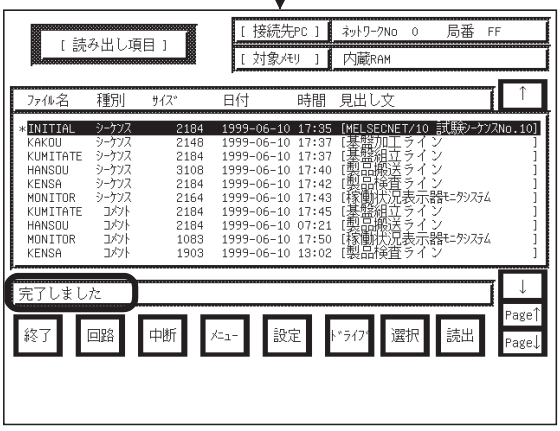


⑦ 選択したドライブのファイル一覧が表示されますので，下記のキーを使用して読み出す回路を選択します。

↑ ：カーソルを上へ移動。
↓ ：カーソルを下へ移動。
Page↑ ：前ページを表示。
Page↓ ：次ページを表示。
選択 ：カーソルを移動してタッチすると選択（＊）／解除を切り換える。
読出 ：選択した回路の読出し開始。

ポイント

・MELSEC-Q回路モニタ使用時
読出し選択したファイルにパスワードが登録されている場合，読出し開始時にファイルパスワードウィンドウが表示されますので，パスワードを入力してください。（未登録の場合は不要）
・MELSEC-QnA回路モニタ使用時
シーケンサCPUにキーワードが登録されている場合，読出し開始時にキーウィンドウが表示されますのでキーワードを入力してください。（未登録の場合は不要。MELDAS C6/C64にはキーワード機能なし。）



⑧ 読出処理の内容，容量が表示されます。
中断 にタッチすると読出し処理が中断します。
再読出し時は，最初から操作してください。

⑨ “完了しました”のメッセージが表示され，読出しが完了しますので，下記のキーを使用して画面を切り換えます。

終了 ：回路モニタ起動時の画面へ遷移。
回路 ：回路モニタ画面へ遷移。
メニュー ：ネットワークNo./局番の設定ウィンドウ（②）からやり直し

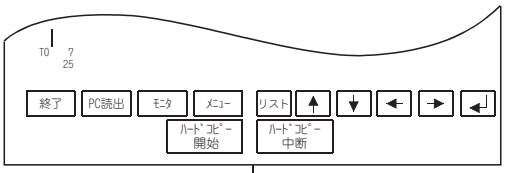
ポイント

一度PC読出しを行うと，次回からPC読出しの操作は不要となります。

6.2.2 回路読出しの操作

シーケンサ CPU から読み出した回路モニタの対象シーケンスプログラムを，回路モニタ画面に表示させる操作について説明します。

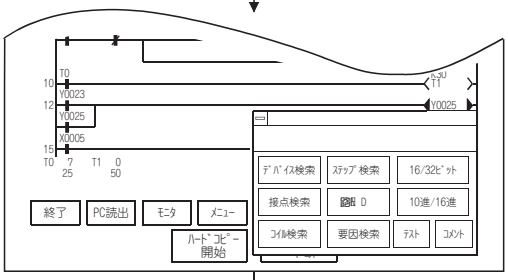
[操作手順]



＊ 各画面の左上に ▭ がある場合，▭ にタッチすると，その画面への遷移元へ戻ります。

メニュー（タッチ）

現在，下記画面を表示しているときはタッチ不要。



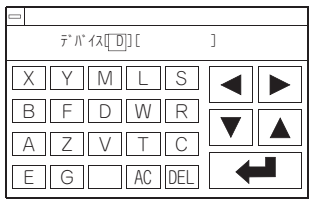
回路の読出し操作を行う。

プログラムで使用しているデバイス，接点またはコイルを指定して読み出す場合。 （＊4）

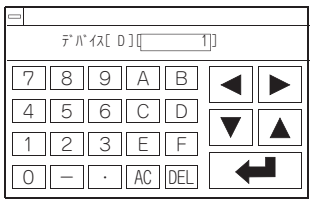
（いずれかにタッチ）

デバイス検索　接点検索　コイル検索

（デバイス名を入力時）



（デバイス番号を入力時）

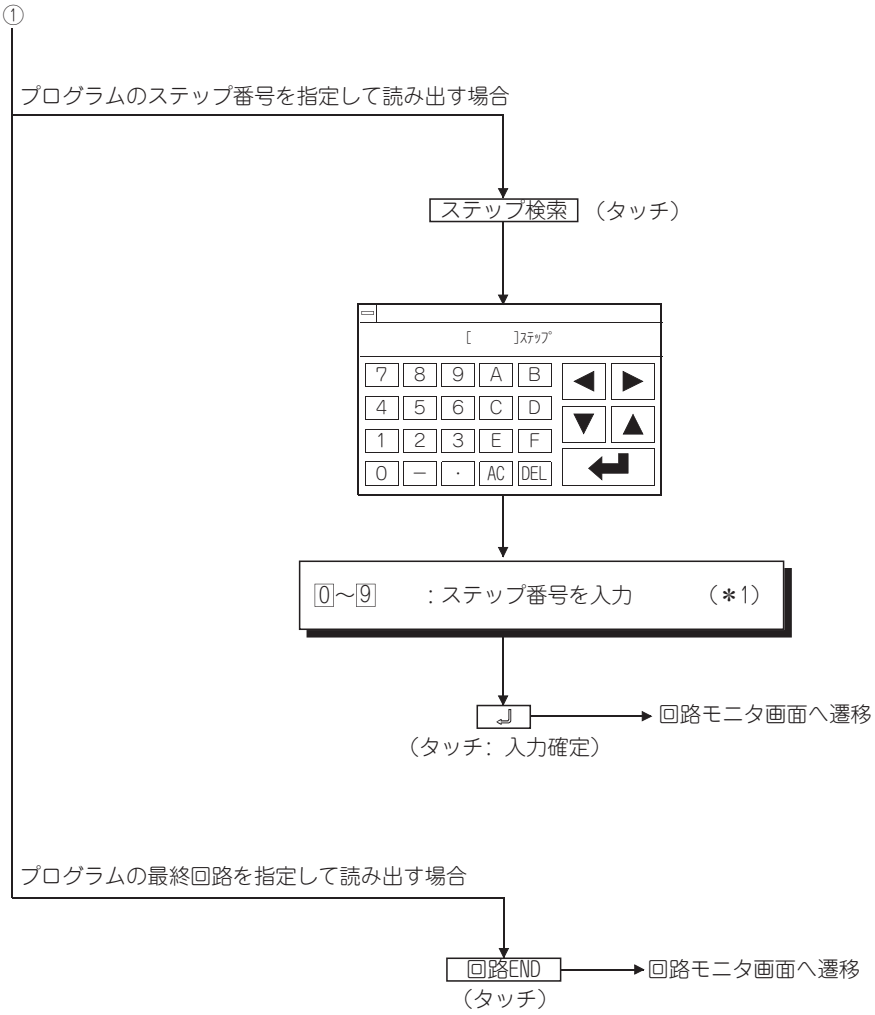


▶ ◀ ：入力エリアを選択。
英数字 ：デバイス名，デバイス番号を入力。（＊1）

↵ → 回路モニタ画面へ遷移 （＊2）

（タッチ：入力確定）

①



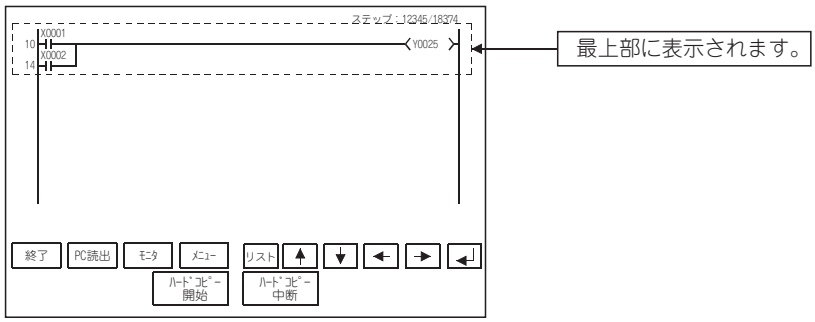
＊1 入力中のデータは，次のキーでクリアできます。
AC ：対象エリアへの入力中のデータをすべてクリア。
DEL ：カーソル位置の1文字分をクリア。

＊2 プログラムで使用しているデバイス，接点またはコイルを指定して読み出したときは，直前の回路モニタ画面に表示されていたステップNo.以降のプログラムから，表示されていた直前までのプログラムを対象に，検索と読出しが行われます。
回路モニタ画面へ遷移後は，画面上の ↵ をタッチすることにより，同一デバイスによる連続読出しが可能となります。
↵ 以外をタッチすると，連続読出しの機能はキャンセルされます。

＊3 回路モニタ時に，デバイス検索，接点検索，コイル検索を行った場合，読み出した検索デバイスを含む回路ブロックのみを表示します。

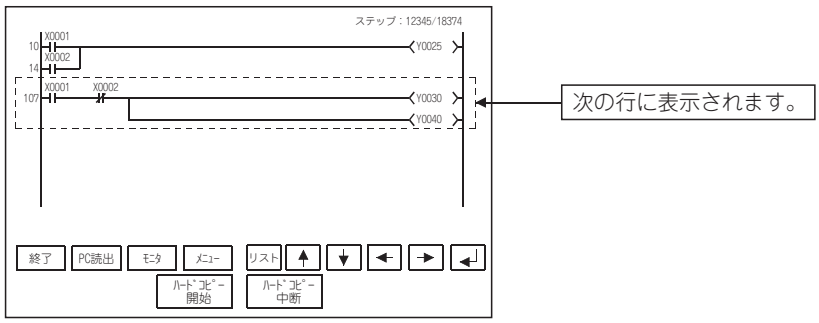
例）① 検索したいデバイス名を「X0001」と入力した場合

＜回路モニタ画面＞



② 同じ検索を続けて行った場合

＜回路モニタ画面＞



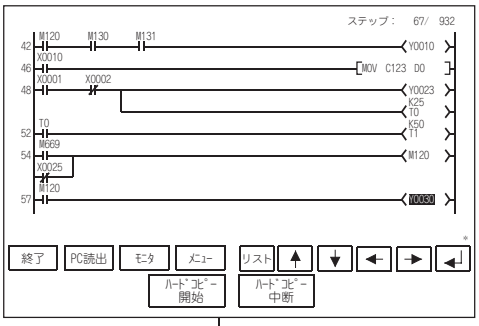
＊4 MELSEC-Q,QnA 回路モニタ実行時は，間接指定デバイス（インデックスレジスタ（Z））を指定して読み出すことはできませんのでご注意ください。

6.2.3　要因検索の操作

要因検索は，回路モニタ時にコイルがなぜ ON/OFF しているのか，その原因となる接点の導通／非導通の状態を，回路をさかのぼって検索していきます。

Point　MELSEC-QnA 回路モニタ実行時は，要因検索機能を使用できません。
（ 要因検索 のタッチキーは表示されません。）

[操作手順]

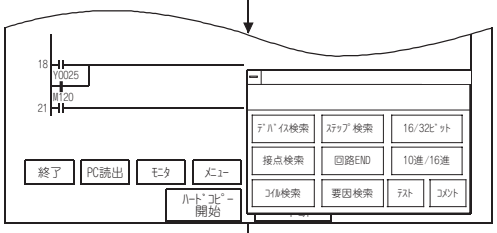


(1) 異常原因となっている回路ブロックを検索して回路表示します。
例：コイルY0030に接続されているバルブが動作しないときは，コイル検索でコイルY0030を検索して回路を表示させます。

モニタ

(2) 表示した回路画面で モニタ をタッチして，回路モニタを実行します。

メニュー

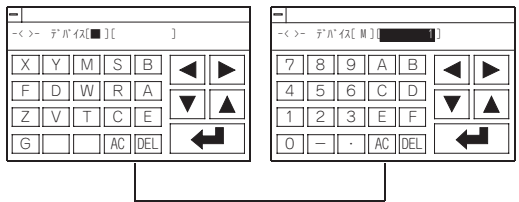


(3) メニュー をタッチして表示された画面から 要因検索 をタッチします。

回路モニタ未実施時に 要因検索 を選択した場合は，使用している回路モニタの種類で動作が異なります。
MELSEC-A回路モニタの場合：“モニタ機能が実行されていません”のメッセージが表示され，以下の操作が行えません。
（モニタ実行後に操作可能になります）
MELSEC-Q回路モニタの場合：自動的にモニタが実行され，以下の操作が可能になります。
要因検索終了後，検索結果を保持したまま自動的にモニタが停止します。

要因検索

（デバイス名を入力時）　（デバイス番号を入力時）

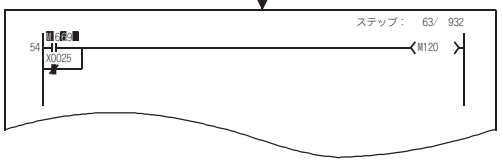


(4) デバイスを入力する画面が表示されますので，コイルがONしない原因となっている前条件の接点を検索デバイスとして入力します。
例：M120を指定します。

▶ ◀	：	入力エリアを選択。
英数字	：	デバイス名，デバイス番号を入力。*1
▭	：	検索の中断。回路モニタ画面に戻る。

*1　入力中のデータは，次のキーでクリアできます。
AC ：対象エリアへの入力中のデータをすべてクリア。
DEL ：カーソル位置の1文字分をクリア。

↵



(5) デバイスの検索を開始し，結果の回路画面を表示します。
検索は，表示している回路画面の最終ステップから実行します。

要因検索中は，検索終了まで ESC および 終了 以外のキー入力がすべて無効になりますので注意してください。

[検索結果]

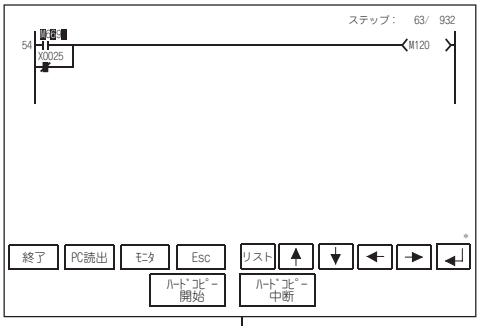
要因検索の結果として対象デバイスを検知し，要因となるデバイスの導通／非導通表示を行います。
検索した結果，要因となるデバイスが検知されなかった場合は，下記のメッセージを表示して検索を終了します。

・“該当プログラムがありません。”

(1) 検索した結果，該当する要因デバイスが 1 つの場合

要因デバイスが 1 つの場合は，検索した結果を基に次の要因検索を自動的に実行します。

例） OFF となっているデバイス M120 の検索を行った結果，要因となるデバイス M669 を表示します。

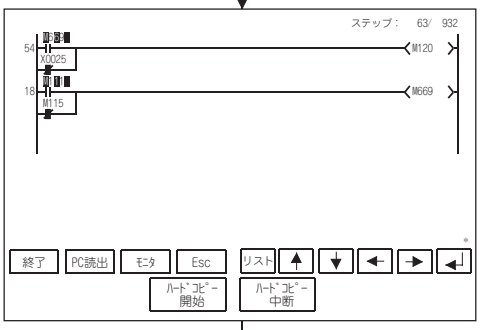


コイルM120のOFF要因を検索し，非導通しているM669を表示する

例：M669

＊ON要因検索の場合は，導通となっているデバイスを表示する。
表示は，デバイス全体を反転表示する。

例：M669



コイルM669のOFF要因を検索し，非導通しているM111を表示する。

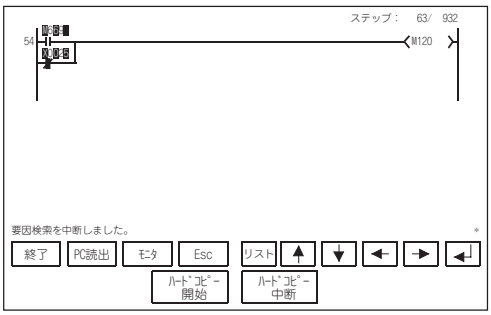
例：M111

次の要因が自動検索されます。

(2) 検索した結果，該当する要因デバイスが 2 つ以上ある場合

要因デバイスが 2 つ以上ある場合は，“要因検索を中断しました。”というメッセージを表示して要因検索を終了します。

例） OFF となっているデバイス M120 の検索を行った結果，要因となるデバイス M669,X0025 を表示します。



コイルM120のOFF要因を検索し，非導通しているM669,X0025を表示する。
例：M669 ,X0025

＊ON要因検索の場合は，導通となっているデバイスを表示する。
表示は，デバイス全体を反転表示する。
例：M669 ,X0025

要因検索を再開する場合，検索された接点 M669/X0025 のうち，いずれか 1 つを指定して要因検索を行います。

（ Esc をタッチして メニュー に変更後，要因検索を実行してください。）

(3) 要因検索を行う場合の注意事項

(a) 要因検索を実行した結果，検索された接点が B 接点だった場合は要因の ON/OFF 検索が自動的に切り換わります。

(b) GOT は要因検索終了後にモニタを停止し，検索結果を表示します。
そのため，GOT のモニタ画面は要因検索中に保持された結果が表示されます。

(c) 要因検索終了後の検索結果表示中に [↑] [↓](1 回路ブロックスクロール)，[JUMP↑]/[JUMP↓] （10 回路ブロックジャンプ (MELSEC-Q 回路モニタ機能のみ使用可能)）の入力で検索回路をさかのぼって表示できます。
ただし，表示できる回路は 100 回路までで，検索結果の先頭／最終で以下の案内メッセージを表示します。
・ 検索結果の先頭を表示した場合：「検索結果の先頭です」
・ 検索結果の最終を表示した場合：「検索結果の最終です」

(d) 接点およびコイルの ON/OFF 表示は以下のようになります。
① 自動検索実行中
・MELSEC-A 回路モニタ：画面に表示されている回路すべての ON/OFF を表示します。
・MELSEC-Q 回路モニタ：最後に表示された回路ブロックの ON/OFF を表示します。
② 検索結果表示中
最後に検索された回路ブロックの ON/OFF，ワードデバイスのモニタ結果を表示します。

(e) 要因検索を開始すると[メニュー]が[Esc]に切り換わります。
要因検索中に[Esc]をタッチすると要因検索を中止し，検索結果を表示します。
さらに[Esc]をタッチすると，[Esc]が[メニュー]に切り換わり，通常の回路表示になります。

(f) 要因検索中の画面の動きは以下のようになります。
① 要因検索中に表示データが 1 画面を越えた場合
自動的に画面スクロールして表示していきます。
② 要因検索中に検索された回路ステップが 1 画面を越えた場合
・ MELSEC-A 回路モニタ：回路ステップの最終行まで自動的に画面スクロールして表示していきます。
・ MELSEC-Q 回路モニタ：回路ステップの表示は自動的に画面スクロールしません。

(g) 要因検索中に[Esc]をタッチして要因検索を中止した場合は，[Esc]をタッチするまでに検索した結果を，要因検索結果として表示します。
最後に検索された回路ステップは以下のように表示されます。
・ MELSEC-A 回路モニタ：ON/OFF 表示されません。
・ MELSEC-Q 回路モニタ：ON/OFF 表示されます。

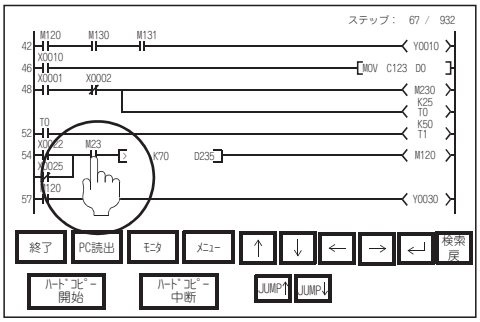
6.2.4　タッチ検索の操作

タッチ検索は，回路モニタに表示されている接点をタッチすると同じデバイスのコイルを検索し，コイルをタッチすると同じデバイスの接点を検索する機能です。
回路の先頭から最終ステップまで検索できます。
本機能は，通常の回路表示をしている場合，常に有効になります。

Point

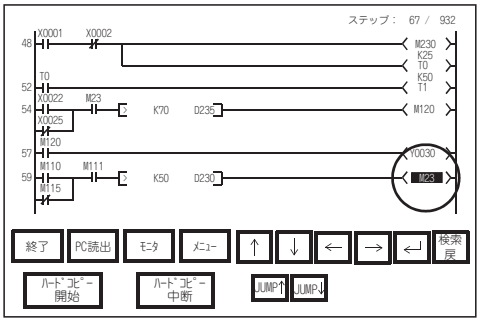
- MELSEC-A/FX/QnA 回路モニタ実行時は，タッチ検索機能は使用できません。
- 接点，コイル以外の命令や，ワードデバイスに対しては使用できません。
- 要因検索機能を使用している場合，タッチ検索機能は使用できません。
  （Esc をタッチして要因検索を終了してください。）

[操作手順（接点タッチ→コイル検索の場合）]



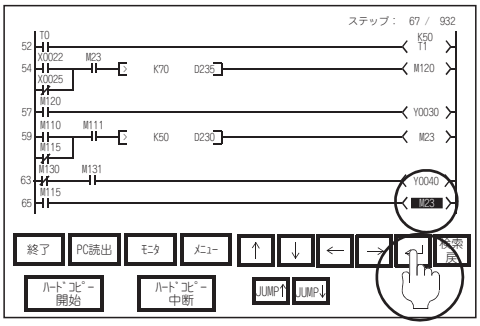
(1) 回路モニタ画面の接点をタッチします。

↓



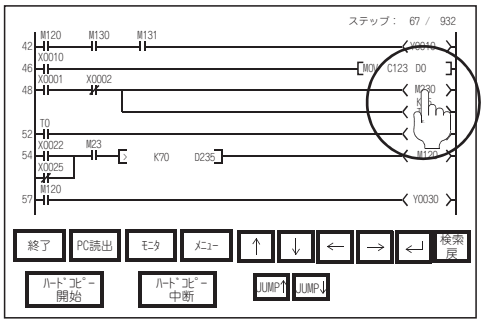
(2) 接点と同じデバイスのコイルが検索され，検索したコイルを含む 1 回路ブロックが表示に追加されます。（検索したデバイスは反転表示します。）

↓



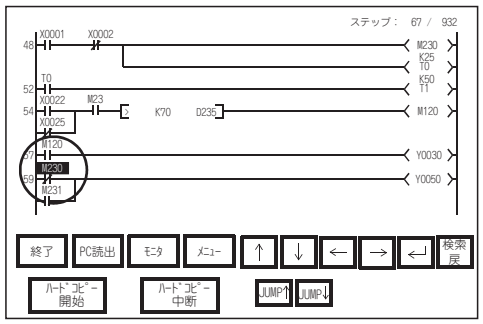
(3) ↵ をタッチすると回路を下方向に，連続で検索できます。

[操作手順（コイルタッチ→接点検索の場合）]



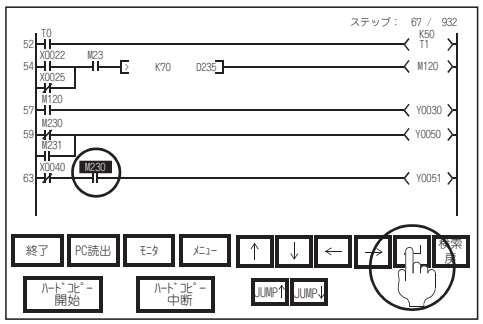
（1）回路モニタ画面のコイルをタッチします。

↓



（2）コイルと同じデバイスの接点が検索され，検索した接点を含む 1 回路ブロックが表示に追加されます。（検索したデバイスは反転表示します。）

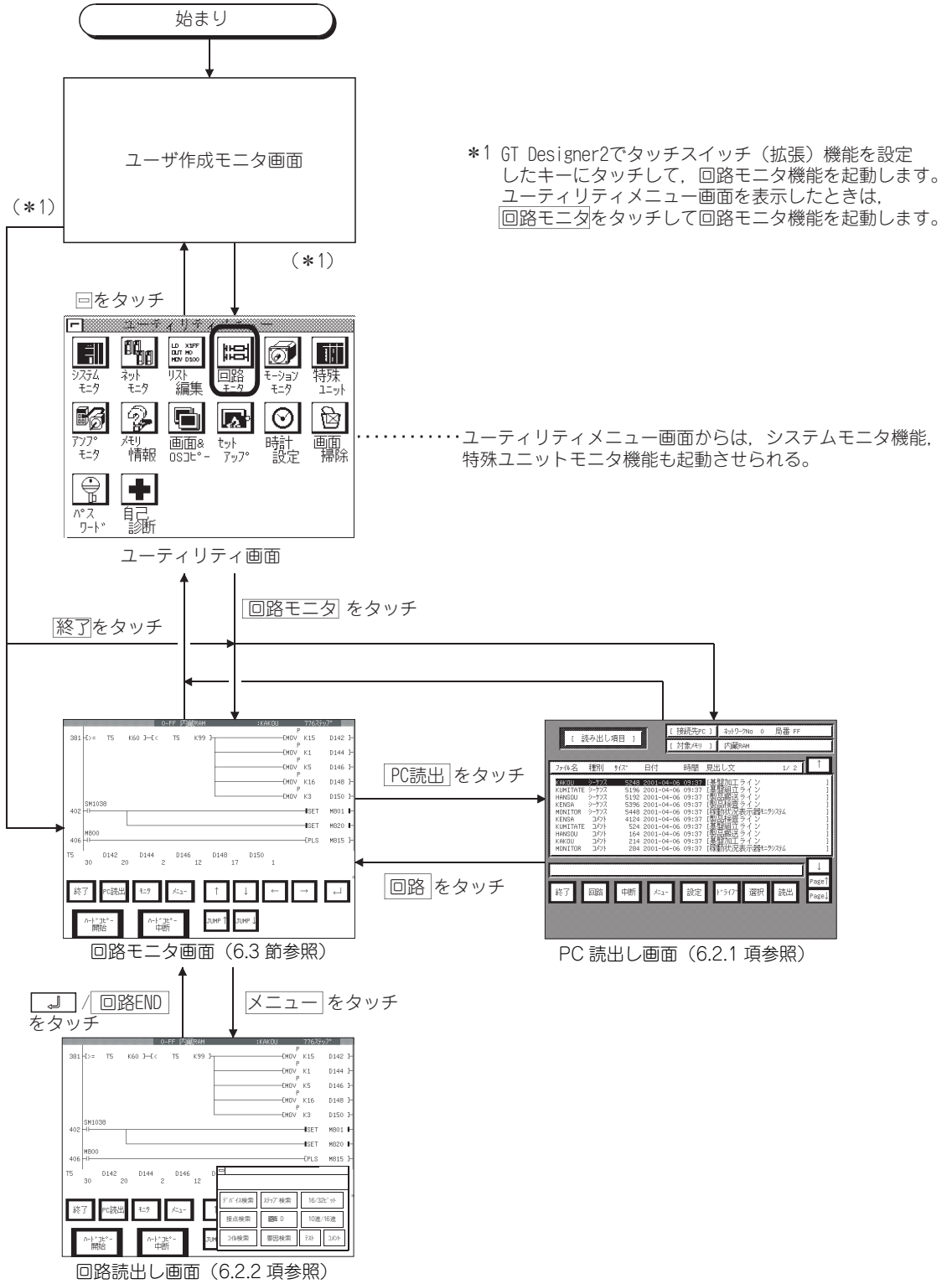
↓



（3）↵ をタッチすると回路を下方向に，連続で検索できます。

6.2.5　画面遷移

ユーザ作成のモニタ画面を表示している状態から，回路モニタを行うときの画面遷移を示します。



6.3 回路モニタ

回路モニタ画面の表示内容と画面上に表示しているキー機能について説明します。

6.3.1 回路モニタ画面の表示内容とキー機能

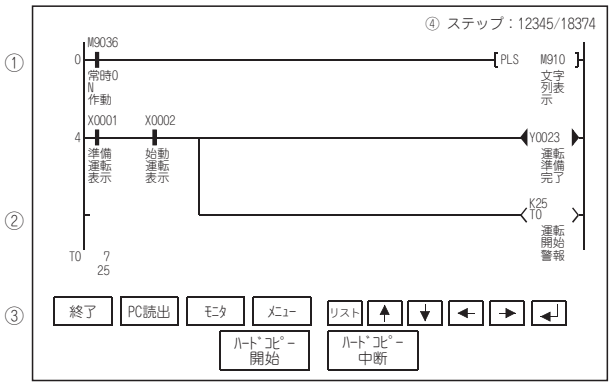
回路モニタ画面はモニタするシーケンサ CPU の種類により異なります。

Point

PC 読出し実行後，シーケンサ CPU のコメント，コメント容量を変更すると回路モニタ画面にコメントが正しく表示されないことがあります。
コメント，コメント容量を変更したときは，GOT の再立上げを行ってください。

(1) (1) MELSEC-A/FX 回路モニタ実行時

(a) 表示される内容について



コメントを表示しないとき：最大8行
コメントを表示するとき　：最大3行

回路モニタ時のON/OFF状態表示
・ON状態 ：
・OFF状態：

＊MCR命令は，常に で表示。

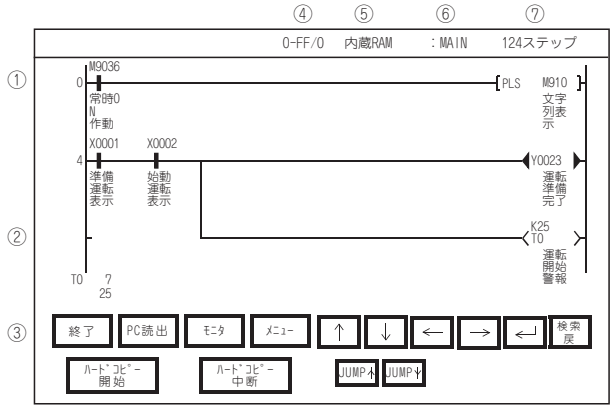
①	シーンケンスプログラムが表示される。 1 回路行の表示接点は最大 11 接点で，12 接点以上は折返し下行に移る。 コメント表示を指定時はコメントも表示され，拡張コメントが優先表示される。 (コメント表示方法は，6.3.3 項参照)
②	ワードデバイスの現在値，タイマ・カウンタの現在値（上段）と設定値（下段）が最大 8 デバイス分表示される。設定値が間接指定時は，間接指定デバイスの値を表示。 (表示している値の 10 進／ 16 進表示の切換え方法は，6.3.3 項参照)
③	(b) に示す回路モニタ画面での操作で使用するキーを表示する。(タッチ入力)
④	表示ステップ数（左）と残りステップ数（右）が表示される。

(b) キー機能について
回路モニタ画面での操作で使用するキーの機能を示します。

キー	機　能
終了	回路モニタ機能を起動したときの画面へ戻る。
PC読出	モニタするシーケンスプログラムをシーケンサ CPU から読み出すための，PC 読出し画面へ遷移する。(PC 読出し)
メニュー	回路モニタ画面に表示させるシーケンスプログラムを指定するための，回路モニタメニュー画面へ遷移する。(回路読出し)
モニタ	回路モニタ画面に表示しているシーケンスプログラムのモニタを開始させる。
リスト	リスト編集機能を起動する。(リスト編集機能の詳細は，19 章参照)
→ ←	現在値，設定値を表示するデバイスが 9 つ以上ある場合，表示対象デバイスを切り換える。
↑ ↓	1 回路分，上下スクロール表示させる。
↵	デバイス指定で回路を読み出しているとき，同一デバイス指定で次のプログラムを読み出す。(6.2.2 項＊ 2 参照)

(2) MELSEC-Q/QnA 回路モニタ実行時

(a) 表示される内容について



コメントを表示しないとき：最大8行
コメントを表示するとき　：最大3行

回路モニタ時のON/OFF状態表示
・ON状態 ：
・OFF状態：

＊MCR命令は，常に で表示。

①	シーンケンスプログラムが表示される。 1 回路行の表示接点は最大 11 接点で，12 接点以上は折返し下行に移る。*1 コメント表示を指定時はコメントも表示され，拡張コメントが優先表示される。 (コメント表示方法は，6.3.3 項参照)
②	ワードデバイスの現在値，タイマ・カウンタの現在値（上段）と設定値（下段）が最大 8 デバイス分表示される。設定値が間接指定時は，間接指定デバイスの値を表示。 (表示している値の 10 進／ 16 進表示の切換え方法は，6.3.3 項参照)
③	(b) に示す回路モニタ画面での操作で使用するキーを表示する。(タッチ入力) *2
④	ネットワーク No.，局番または CPU 号機 No. が表示される。
⑤	ドライブが表示される。
⑥	シーケンスプログラムのファイル名が表示される。
⑦	現在モニタ中のシーケンスプログラムの総ステップ数が表示される。

*1　GOT 機種により，MELSEC-Q 回路モニタのモニタ画面では以下のように表示されます。
・A985GOT：最大 15 行表示（1 行：最大 11 接点）・A956WGOT：最大 5 行表示（1 行：最大 7 接点）

*2　A985GOT，A956WGOT 使用時の MELSEC-Q 回路モニタ画面では，操作キーは画面の右側に表示されます。

(b) キー機能について

回路モニタ画面での操作で使用するキーの機能を示します。

キー	機　能
終了	回路モニタ機能を起動したときの画面へ戻る。
PC読出	モニタするシーケンスプログラムをシーケンサ CPU から読み出すための，PC 読出し画面へ遷移する。(PC 読出し)
メニュー	回路モニタ画面に表示させるシーケンスプログラムを指定するための，回路モニタメニュー画面へ遷移する。(回路読出し)
モニタ	回路モニタ画面に表示しているシーケンスプログラムのモニタを開始させる。
→ ←	現在値，設定値を表示するデバイスが 9 つ以上ある場合，表示対象デバイスを切り換える。
↑ ↓	1 回路分，上下スクロール表示させる。
↵	デバイス指定で回路を読み出しているとき，同一デバイス指定で次のプログラムを読み出す。(6.2.2 項＊ 2 参照)
検索戻	デバイス／接点／コイル検索，タッチ検索の検索履歴を，1 つ戻って表示する。
JUMP ↑ JUMP ↓	10 回路分，上下にジャンプして表示させる。

Point

検索戻キーについて

・ 検索戻キーで戻った直後は，⏎キーでの連続デバイス検索は実行できません。
・ 検索戻キーで戻ることのできる履歴は 100 回路までです。
・ 以下の操作をすると検索履歴がクリアされ，通常の回路表示に戻ります。
  1. ↑・↓キーをタッチした場合
     （1 回路ブロックが 1 画面以上ある場合，ブロック内でのスクロールは可能です。）
  2. JUMP↑/JUMP↓キーをタッチした場合
  3. ステップ検索，END 検索，要因検索を実行した場合
  4. コメント表示を切換えた場合
  5. PC読出で新たに回路を読み出した場合

6.3.2 回路モニタ時の注意事項

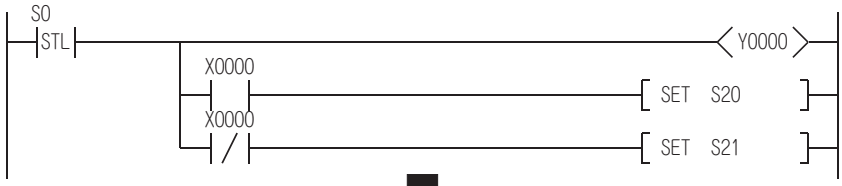
(1) FXCPU と接続する場合

(a) コメント表示は，カナコメント表示のみです。

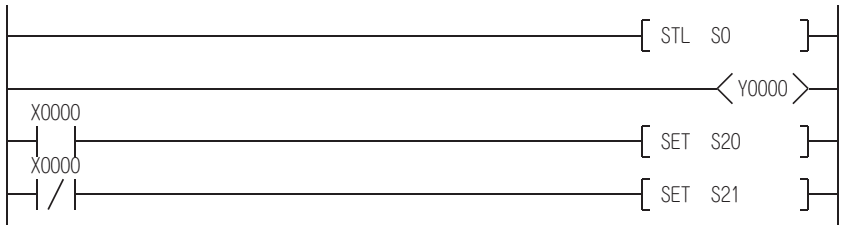
(b) PC 読出し操作時，PC 読出しの対象は自局のみです。

(c) FXCPU の専用命令である STL（ステップラダー）命令は接点ではなく，命令として扱われ下記のように表示されます。

FX用周辺機器でモニタ時



GOTで回路モニタ時



(d) STL 命令を検索する場合は，デバイス検索で“S(ステート)”を検索してください。

(e) 以下の命令が使用されている回路データは GOT で表示できません。
GOT で回路モニタを実行する場合は，以下の命令を使用しないようにしてください。

FNC No.	命令	FNC No.	命令	FNC No.	命令
外部機器 SER		時計演算		データテーブル処理	
87	RS2	164	HTOS	256	LIMIT
浮動小数点		165	STOH	257	BAND
112	EMOV	その他命令		258	ZONE
116	ESTR	184	RND	259	SCL
117	EVAL	188	CRC	外部機器通信（インバータ通信）	
124	EXP	189	HCMOV	270	IVCK
125	LOGE	文字列制御		271	IVDR
126	LOG10	202	$+	272	ICRD
128	ENEG	203	LEN	273	ICWR
133	ASIN	204	RIGHT	274	IVBWR
134	ACOS	205	LEFT	外部機器通信（インバータ通信）	
135	ATAN	206	MIDR	280	HSCT
136	RAD	207	MIDW	拡張ファイルレジスタ制御	
137	DEG	208	$MOV	290	LOADR
位置決め		データ処理 3		291	SAVER
150	DSZR	212	POP	292	INITR
151	DVIT	213	SFR	293	LOGR
−	−	214	SFL	−	−

(f) FX_{3UC} シリーズは，FX_{2N} シリーズのデバイス範囲しかモニタできません。
GOT で回路モニタを実行する場合は，FX_{2N} シリーズのデバイス範囲で回路データを作成してください。
FX_{2N} シリーズが対応していないデバイスがある回路データは，GOT で表示できません。

(g) GOT でモニタする回路データは，メモリ容量を 16000 以下にしてください。
メモリ容量が 32000 以上の回路データは，GOT で表示できません。

(2) モーションコントローラ CPU と接続する場合

(a) SVST 命令において，OS バージョンが“SV5**”の場合，MC のタグ名は，“J**”と表示します。

(3) QCPU（Q モード），QnACPU と接続する場合

1 コメント文字数は 16 文字以上に設定してください。
15 文字以下に設定すると，コメントは正しく表示されません。

1 コメント文字数の設定は，GX Developer の下記画面またはタブで行います。
・コメント範囲設定画面
・PC 書込画面のプログラム共通タブ



6.3.3 表示の切換え

回路モニタ画面上に表示しているワードデバイス値，タイマ・カウンタ値の表示形式（10 進数／ 16 進数）の切換え，対象デバイスのコメント表示有無切換え，言語の切換えができます。

(1) 表示形式（10 進／ 16 進）の切換え

モニタ時，ワードデバイスの現在値，タイマ・カウンタの現在値（上段）と設定値（下段）を 10 進数または 16 進数で表示。(10 進数で表示しているときは，16 進数表示に切り換わる。)

(2) コメント表示有無の切換え

対象シーケンサ CPU に書き込まれているコメントを対象に表示。(コメントを表示していないときは，コメント表示に切り換わる。コメント表示の優先順位：拡張コメント＞漢字コメントまたはカナコメント)

(3) 言語の切換え（Q 回路モニタのみ）

Q 回路モニタでは，シーケンスプログラムの以下の表示に対して，言語の切換え（日本語／韓国語）が行えます。

(言語を切り換えるには，以下の項目を GX Developer にて，PLC 読出しデータ表示設定に対応した言語（日本語／韓国語）で登録する必要があります。たとえば，韓国語で表示するには，以下の項目を GX Developer にて韓国語で登録する必要があります。)

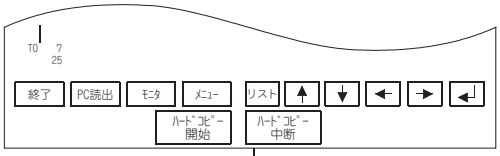
・ファイル名
・見出し文
・コメント

上記以外の表示（メニュー等）は，「GOT セットアップ」で設定した言語で表示されます。

詳細は，6.3.4 項 言語切換え（Q 回路モニタ）を参照してください。

以下に，表示の切換え操作について説明します。

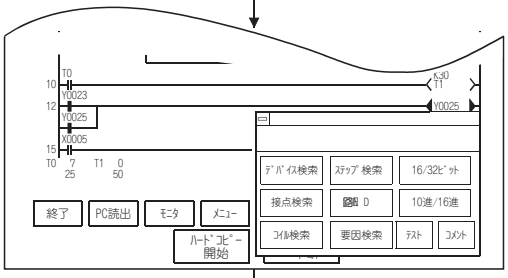
[操作手順]



＊各画面の左上に ▭ がある場合，▭ にタッチすると，その画面への遷移元へ戻ります。

▭メニュー▭ （タッチ）

現在，下記画面を表示しているときはタッチ不要。



回路モニタメニューの該当表示位置をタッチ。

（表示形式の切換え）

▭10進/16進▭ （タッチ）

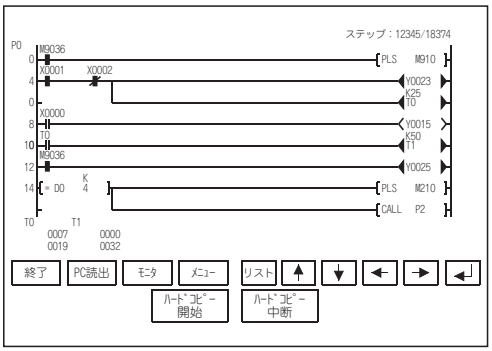
（コメント表示の切換え）

▭コメント▭ （タッチ）

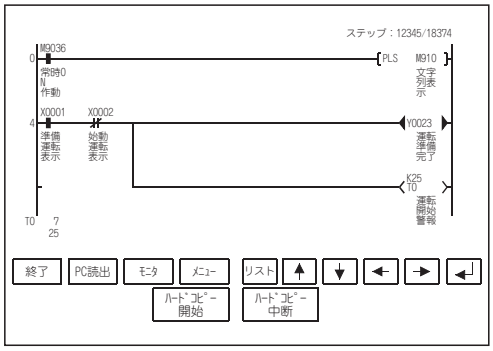
回路モニタ画面へ遷移

・・・・回路モニタ画面へ遷移後，▭モニタ▭ をタッチするとワードデバイスの値が ▭モニタ▭ される。

（16進表示に切り換えた場合）



（コメント表示ありに切り換えた場合）



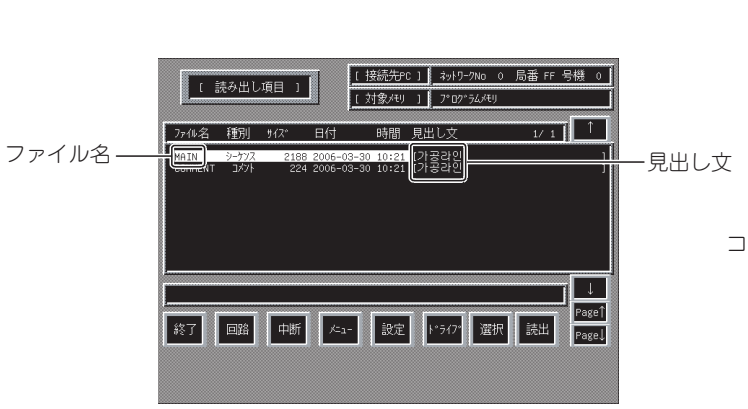
6.3.4　言語切換え（Q 回路モニタ）

Q 回路モニタでは，シーケンスプログラムの以下の表示に対して，言語の切換え（日本語／韓国語）が行えます。
（言語を切り換えるには，以下の項目を GX Developer にて，PLC 読出しデータ表示設定に対応した言語（日本語／韓国語）で登録する必要があります。たとえば，韓国語で表示するには，以下の項目を GX Developer にて韓国語で登録する必要があります。）

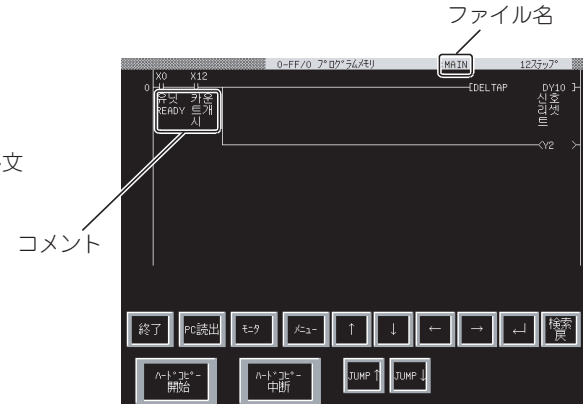
・ファイル名
・見出し文
・コメント

上記以外の表示（メニュー等）は，「GOT セットアップ」で設定した言語で表示されます。

(1)　切換え方法



例）PC読出し画面



例）回路モニタ画面

PC読出し画面の
表示手順
（6.2.1 項）

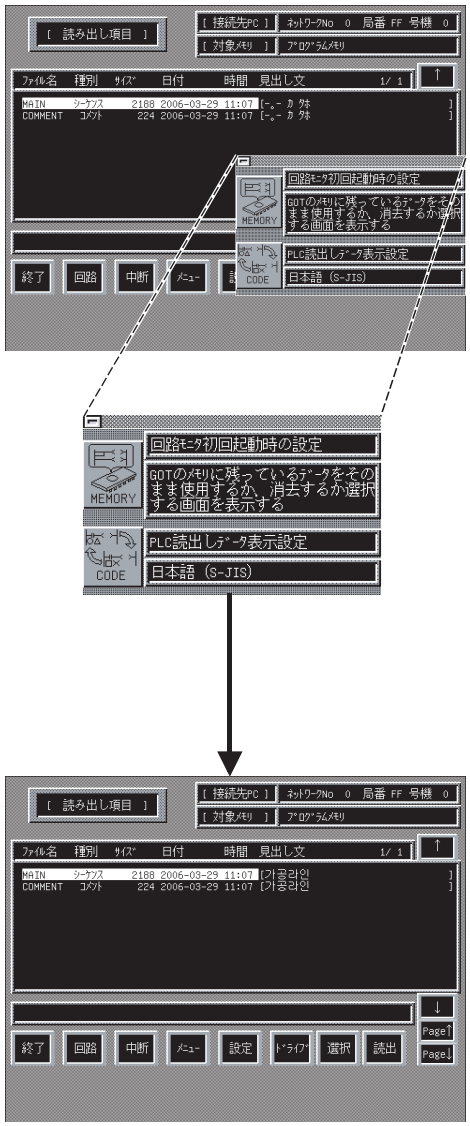
PC読出し画面



① 設定キーをタッチしてください。設定ウィンドウが表示されます。

次ページへ

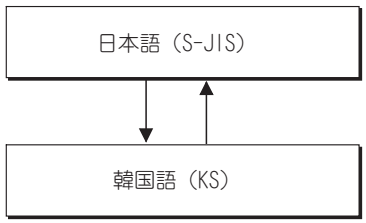
前ページより



② 設定ウィンドウが表示されます。PLC 読出しデータ表示設定を行ってください。



キーをタッチするたびに，下記のように設定内容が切り換わります。



③ 設定終了後，[×]をタッチして，設定ウィンドウを閉じてください。

④ 表示が切り換わります。

(2) 言語切換え時の注意事項

(a) 表示文字切換え時の注意事項

表示文字（日本語／韓国語）を切換える場合，コメントの折返し位置によっては，文字が正しく表示されない場合があります。

この場合，画面スクロールなどをして画面を再表示すると，正しい表示に戻ります。

(b) 韓国語表示時の注意事項

韓国語は，Unicode1.1 の一部の文字コードのみ表示できます。

以下に，表示できる韓国語の文字コードを示します。

KS 文字コード	表示可／不可	KS 文字コード	表示可／不可
8141H ～ A1A1H	不可	A8A6H	可
A1A2H ～ A1FEH	可	A8A7H	不可
A241H ～ A2A0H	不可	A8A8H ～ A8AFH	可
A2A1H ～ A2E5H	可	A8B0H	不可
A2E6H ～ A3A0H	不可	A8B1H ～ A8FEH	可
A3A1H ～ A3FEH	可	A941H ～ A9A0H	不可
A441H ～ A4A0H	不可	A9A1H ～ A9FEH	可
A4A1H ～ A4FEH	可	AA41H ～ AAA0H	不可
A541H ～ A5A0H	不可	AAA1H ～ AAF3H	可
A5A1H ～ A5AAH	可	AAF4H ～ ABA0H	不可
A5ABH ～ A5AFH	不可	ABA1H ～ ABF6H	可
A5B0H ～ A5B9H	可	ABF7H ～ ACA0H	不可
A5BAH ～ A5C0H	不可	ACA1H ～ ACC1H	可
A5C1H ～ A5D8H	可	ACC2H ～ ACD0H	不可
A5D9H ～ A5E0H	不可	ACD1H ～ ACF1H	可
A5E1H ～ A5F8H	可	ACF2H ～ B0A0H	不可
A5F9H ～ A6A0H	不可	B0A1H ～ B0FEH	可
A6A1H ～ A6E4H	可	B141H ～ C6FEH（下位 **41 ～ **A0）	不可
A6E5H ～ A7A0H	不可	B141H ～ C6FEH（下位 **A1 ～ **FE）	可
A7A1H ～ A7EFH	可	C7A1H ～ C8FEH	可
A7F0H ～ A8A0H	不可	C9A1H ～ C9FEH	不可
A8A1H ～ A8A4H	可	CAA1H ～ FDFEH	可
A8A5H	不可	FEA1H ～ FEFEH	不可

備　考

GOT で表示できる文字は GT Designer2 で表示できます。

そのため，GX Developer で表示している韓国語も，テキストデータを GT Designer2 へコピーすることで，GOT で表示できるか確認できます。



確認したいコメントなどを，GT Designer2の文字図形などにコピーすれば，GOTで表示できるか確認できます。

6.3.5　デバイス値の変更

危険

● 回路モニタ時のテスト操作（ビットデバイスの ON/OFF，ワードデバイスの現在値変更，タイマ／カウンタの設定値，現在値変更，バッファメモリの現在値変更）の操作はマニュアルを熟読し操作方法を十分理解した上で操作を行ってください。
また，システムに対する重大な動作を行うデバイスに対しては絶対にテスト操作でデータ変更を行わないでください。誤出力，誤動作により事故の原因になります。

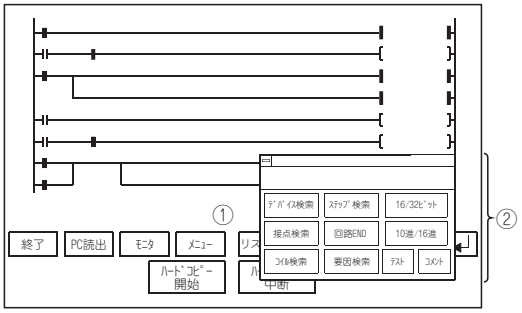
回路モニタ時に画面上でのデバイス値変更について説明します。タイマ・カウンタ値の表示形式（10 進数／16 進数）の切換え，対象デバイスのコメント表示有無切換えができます。

Point FXCPU，MELDAS C6/C64 モニタ時は，タイマ，カウンタの値は変更できません。

(1)　デバイス値の変更方法

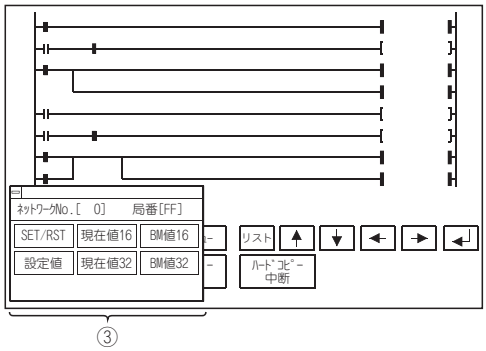
回路モニタ時でのデバイス値の変更方法を下記に示します。

＜回路モニタ画面＞



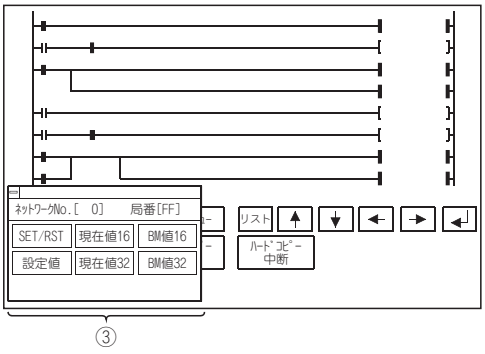
回路モニタ をタッチして回路モニタ画面を表示させます。
① メニュー をタッチして，②の画面を表示させます。
② テスト をタッチして，テストウィンドウを表示させます。

［A970GOT-STN TFT　使用時］



③ テストウィンドウが開きますので，9.6 節を参照して操作を行ってください。
デバイス変更完了後，変更内容は回路モニタにて確認できます。

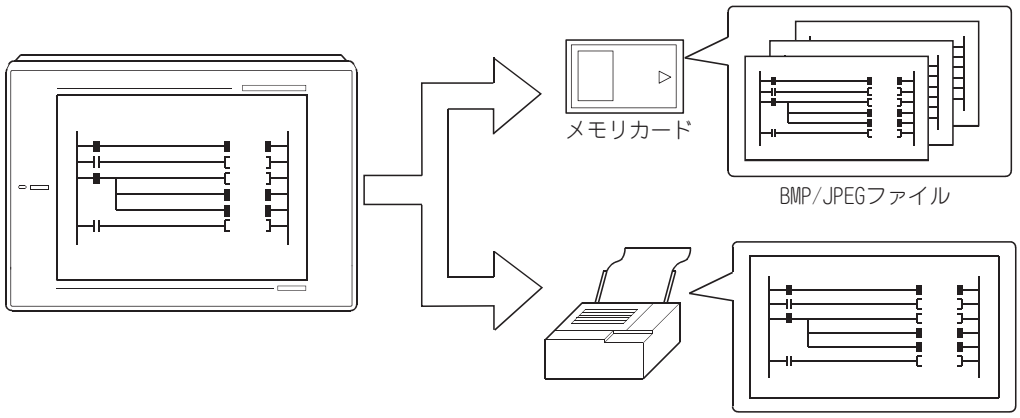
［A960GOT-EL　使用時］



注意してください
・テストウィンドウによりワードデバイスの現在値表示は隠れてしまいます。
→ ← キー入力により，隠れている現在値表示を右／左スクロールして表示させることができます。

6.3.6　ハードコピー出力について

回路モニタ時に回路モニタ画面をプリンタで印刷したり，BMP/JPEG ファイル形式にてメモリカードに保存する方法について説明します。



使用する GOT により，それぞれ以下の方法でハードコピー出力を行います。

(1)　A985GOT，A97*GOT 使用時

回路モニタ画面上に表示されている ハードコピー開始 ／ ハードコピー中断 キーにタッチしてハードコピー出力を行います。

(2)　A95*GOT，A956WGOT 使用時

GT Designer2 でハードコピー機能の開始／中断トリガ用のデバイスを設定し，その設定デバイスを ON/OFF することによりハードコピー出力を行います。

Point

- 回路モニタ画面のプリントアウトを行う場合は，必ず GOT にオプションドライバをインストールしてください。
- ハードコピーの出力先（メモリカード／プリンタ）は，GT Designer2 のハードコピー設定で設定します。
  ハードコピー設定の詳細は GT Designer2 Version2 リファレンスマニュアルを参照してください。

7章　回路モニタのエラーメッセージ

回路モニタの操作時に表示されるエラーメッセージと，その処置方法を示します。

エラーメッセージ	エラー内容	処置方法
キーワードが不一致です。	指定キーワードは，対象シーケンサ CPU に登録されているキーワードと異なる。	対象シーケンサ CPU に登録されているキーワードを確認し，再度指定する。
該当プログラムがありません。	(1) シーケンスプログラムが読み出されていないときに，回路モニタ画面へ切り換えようとした。 (2) ファイルを選択して 読出キーを押した時にシーケンサのドライブに選択したファイルが存在しない。	対象シーケンサ CPU に書き込まれているシーケンスプログラムを読み出す。 (例）サブシーケンスプログラムは，A3□CPU/A4UCPU のみ指定可能。
CPU と交信できません。	(1) 指定ネットワーク No.，局番のシーケンサ CPU と交信できない。 (2) 指定ドライブが存在しない。	次の内容について確認し，処置する。 (1) 指定シーケンサ CPU が存在するか。 (2) オンライン中か。(データ交信状態か) (3) エラーが発生していないか。 など
他機器でロック中です。 ロックを解除して下さい。	周辺機器 (GX Developer,GPPQ) によってファイルロックがかかっている。	周辺機器 (GX Developer,GPPQ) の読出し，書込みが完了してから，再度ファイル読出しをする。
対象ドライブが存在しない，または異常	(1) 指定ドライブが存在しない。 (2) 指定ドライブが異常である。	(1) 指定ドライブが存在するかどうか確認する。 (2) 指定ドライブが異常かどうか確認する。
ファイルパスワードが不一致です。	指定ファイルパスワードは対象シーケンサ CPU のファイルパスワードに登録されているパスワードと異なる。	対象シーケンサ CPU のドライブに登録されているファイルパスワードを確認し，再度指定する。
該当ファイルがありません。	ファイルを選択して 読出キーを押した時に，シーケンサ CPU のドライブに選択したファイルが存在しない。	(1) ネットワーク No. 局番入力画面にて ,PC 読出しを行いファイル一覧を更新する。 (2) 指定ドライブ（対象メモリ）を変更する。
他機器で使用中です。 再度 PC 読出ください。	周辺機器（GX Developer）でシーケンスまたはコメントを使用中である。	周辺機器（GX Developer）の読出し，書込みが完了してから，再度ファイル読出を行う。
コメントは 2M バイトを超えたので，2M 分読出しました。	コメントファイルのサイズが 2M バイトを超えているので，2M バイト分のみ読み出した。	―――――
CPU リセット／デバイス範囲外／特殊ユニット不正アクセス	アクセス先の特殊ユニットが異常，または存在しない。	システム構成を確認する。

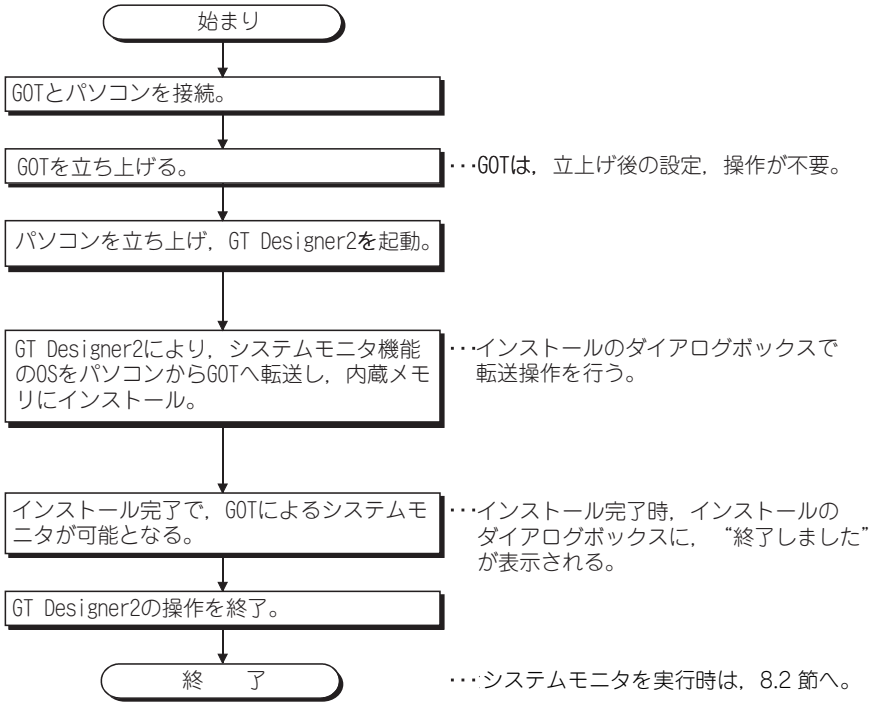
Memo

8章　システムモニタ機能の操作手順

システムモニタ機能を使用するときの操作手順について説明します。

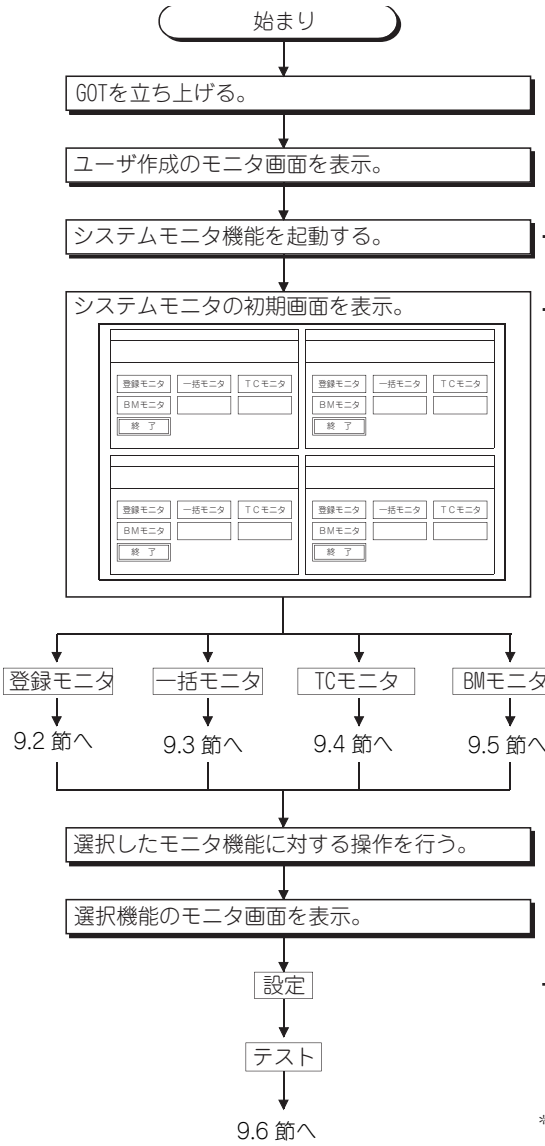
8.1　システムモニタを開始するまでの操作手順

システムモニタ機能のオペレーティングシステム (OS) をパソコンから GOT へ転送し，内蔵メモリにインストールするまでの概略手順を示します。
詳細は，GT Designer2 Version2 オペレーティングマニュアルを参照してください。画面表示，キー操作を含め，詳しく説明しています。



8.2 ユーザ作成モニタ画面表示からシステムモニタ開始までの操作手順

GOT の内蔵メモリにシステムモニタ機能のオペレーティングシステム (OS) をインストールしてから，システムモニタ機能の各操作を開始するときの，GOT の操作手順を示します。



＊1 GT Designer2でタッチスイッチ（拡張）機能を設定したキーにタッチしてシステムモニタ機能を起動します。
ユーティリティメニュー画面を表示したときは，システムモニタ をタッチしてシステムモニタ機能を起動します。

9章　各システムモニタ画面の操作

システムモニタ機能を使用するときの，各画面操作について説明します。

Point

4 分割したウィンドウのいずれかで，対象局／モニタデバイスの変更，テスト操作を行うときは，その一連の操作が終了するまで，ほかのウィンドウに対する操作はできません。

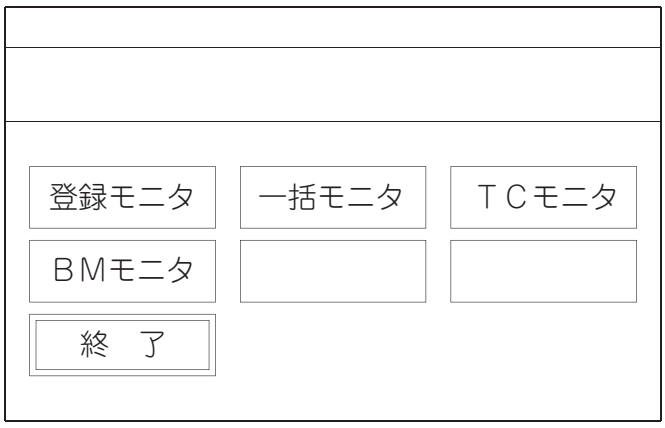
9.1　モニタ時の画面構成，共通操作と画面遷移について

システムモニタ実行時の画面構成，対象シーケンサ CPU 指定などの各モニタ機能の共通操作について説明します。

9.1.1　基本画面の構成とキー機能（メニュー）

ウィンドウに表示される基本画面の構成と，画面上に表示しているキー機能について説明します。

(1)　表示される内容について



(2)　キー機能について

基本画面の操作で使用するキーの機能を示します。

キー	機　能
登録モニタ	該当ウィンドウで，登録モニタを行う。(9.2 節参照)
一括モニタ	該当ウィンドウで，一括モニタを行う。(9.3 節参照)
TCモニタ	該当ウィンドウで，TC モニタを行う。(9.4 節参照)
BMモニタ	該当ウィンドウで，BM モニタ (バッファメモリのモニタ) を行う。(9.5 節参照)
終了	システムモニタを終了し，システムモニタ機能を起動したときの画面へ戻る。

9.1.2 表示の切換え

(1) 表示形式（10 進／ 16 進）の切換え

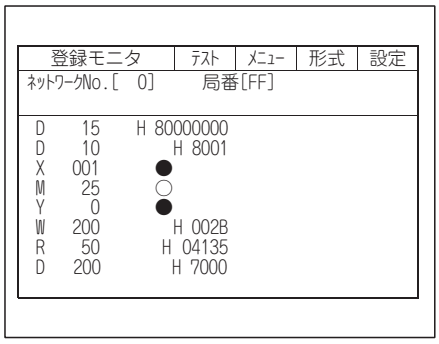
ワードデバイスの現在値，タイマ・カウンタの現在値と設定値を 10 進数または 16 進数で表示。

(2) コメント表示有無の切換え

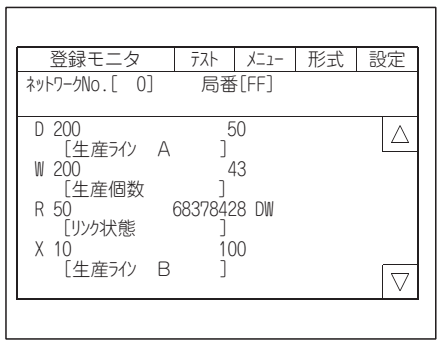
対象シーケンサ CPU に書き込まれているコメントを対象に表示。

（コメント表示の優先順位：拡張コメント＞漢字コメントまたはカナコメント）

（16 進表示に切り換えた場合）



（コメント表示ありに切り換えた場合）



(3) コメント表示時の注意事項

(a) 下記の CPU をモニタしている場合，コメントは表示されません。

① FXCPU

② モーションコントローラ CPU（Q172CPU，Q173CPU）

③ 定格銘板の DATE 欄が 9707B より前の QnACPU

④ MELDAS

(b) 下記のデバイスをモニタしている場合，コメントは表示されません。

① GOT の内部デバイス（GB,GD,GS）

② MELSECNET 接続時の自局デバイス（B,W,SB,SW）

③ CC-Link 接続時の自局デバイス（X,Y,WW,WR）

(c) QCPU（Q モード）または QnACPU をモニタ時，PC パラメータ（PC ファイル設定）で下記の設定をしている場合，コメントは表示されません。

① コメントファイルを「使用しない」に選択時

② コメントファイルを「プログラムと同一ファイル名を使用」に選択時

③ QCPU（Q モード）でコメントファイルにパスワードを設定時

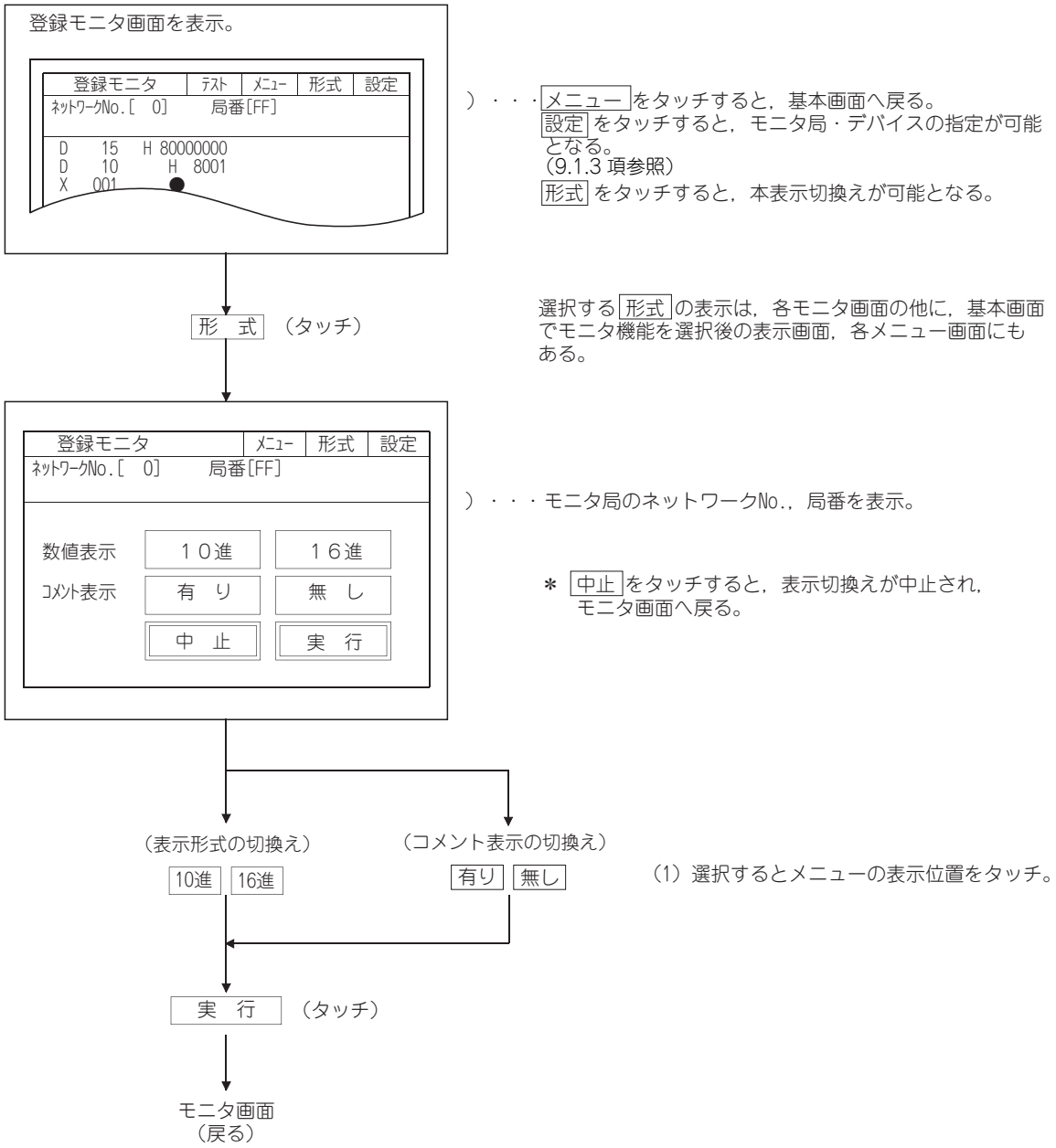
④ QnACPU でメモリごとのキーワードを登録時

＊：GX Developer などで設定を変更すれば，コメントが表示されます。

(d) Q00J/Q00/Q01CPU をモニタ時，コメントファイル“MAIN”がプログラムメモリに存在しない場合，コメントは表示されません。

以下に，表示切換えを行うときの操作について，登録モニタを選択したウィンドウを例として説明します。
登録モニタ以外を選択したときも，表示切換えを行うときの操作手順は同じです。

[操作手順]



Point

システムモニタを開始後，シーケンサ CPU のコメントまたはコメント容量を変更すると，各モニタ画面にコメントが正しく表示されないことがあります。

コメント，コメント容量を変更したときは，GOT の再立上げを行ってください。

9.1.3　モニタ局，デバイスの指定操作（設定）

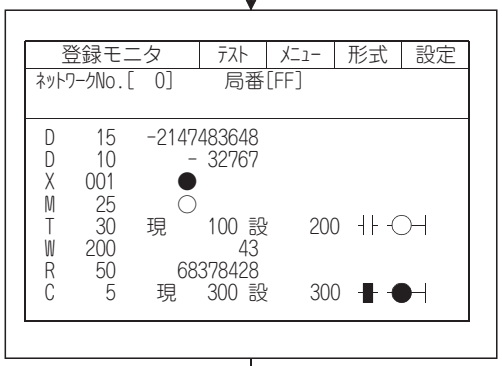
システムモニタ実行時に，モニタの対象局，対象デバイスを指定するときの操作について，登録モニタを選択したウィンドウを例として説明します。
「登録モニタ」以外を選択したときも，モニタ局，デバイスの指定操作手順は同じです。

[操作手順]

＊ [　] がある場合（キーウィンドウ），[　] にタッチするとモニタ画面へ遷移します。

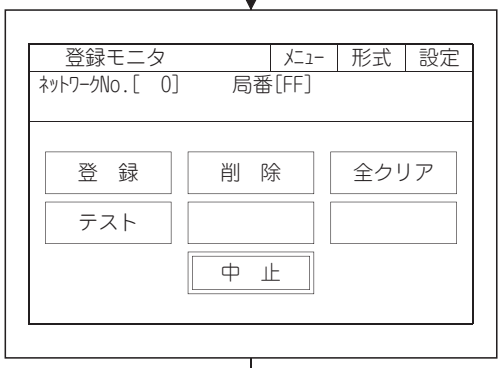
基本画面でモニタ機能を選択。
または，[　] モニタ画面／ [　] メニュー画面を表示。

···· 9.1.1 項参照
····各モニタ画面，メニュー画面の説明項を参照



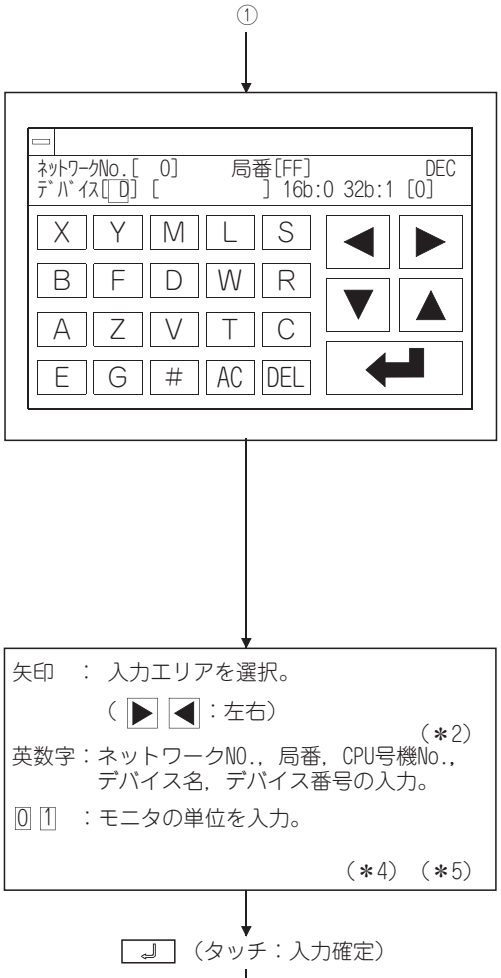
)···[メニュー]をタッチすると，基本画面へ戻る。
[形式]をタッチすると，表示切換えが可能となる。
（9.1.2 項参照）
[設定]をタッチすると，モニタ局・デバイス指定が可能となる。

[設定]（タッチ）



[登録]（タッチ）

①

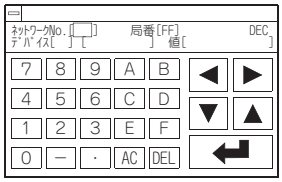


(1) 対象シーケンサCPUのネットワークNo.(＊1)，局番，CPU号機No.を指定する。
（データリンクシステムの場合）
ネットワークNo.： 0
局番 ： FF（自局）
0（マスタ局）
1～64（ローカル局）
（ネットワークシステムの場合）
ネットワークNo.： 0（自ループ）
1～255（指定ループ）
局番 ： FF（自局）
0（管理局）
1～64（通常局）
（Ethernet接続の場合）＊3
ネットワークNo.：1～239
局番 ： 1～64
（マルチCPUシステムの場合）
CPU No. ： 0～4（CPU号機）

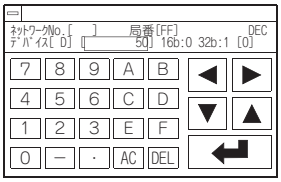
(2) モニタの対象デバイスを指定する。

(3) モニタデバイスとしてワードデバイス／バッファメモリを指定する場合，モニタの単位を指定する。
0：16ビット（1ワード）単位
1：32ビット（2ワード）単位

（例）
（ネットワークNo.を入力時）



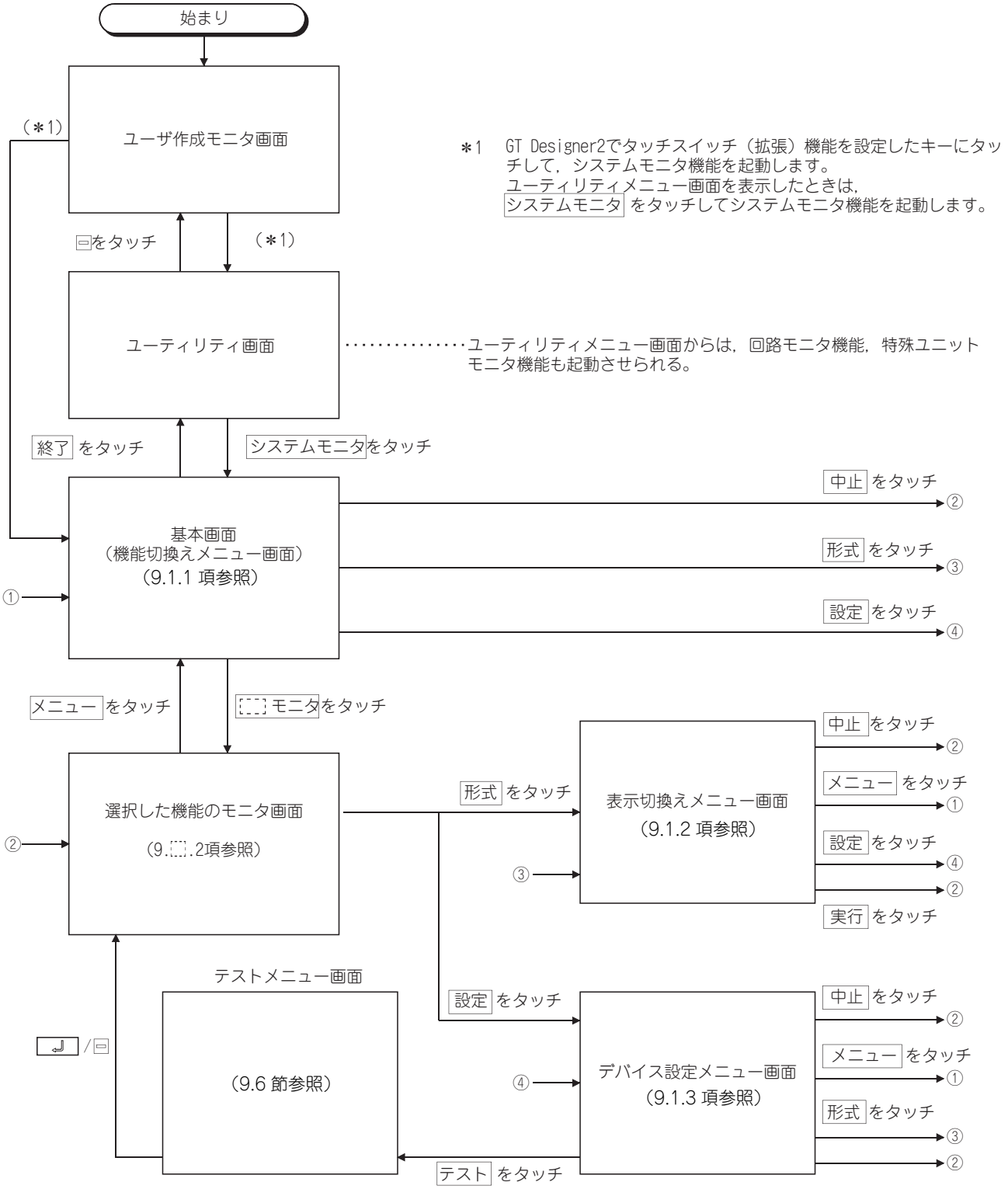
（デバイス番号を入力時）



＊1 局番は，いずれのシステムの場合もアクセス先のシーケンサCPUを示す「FF」または「0」～「64」で指定してください。
＊2 QCPUモニタ時のみ表示されます。
＊3 あらかじめGT Designer2でモニタ先を設定する必要があります。
ACPUモニタ時は，GT Designer2で設定したネットワークNo.／局番で指定します。
Ethernet接続時のモニタ先設定の詳細は，GOT-A900シリーズユーザーズマニュアル（接続編）を参照してください。
＊4 入力中のデータは，次のキーでクリアできます。
AC ：対象エリアへの入力中のデータをすべてクリア。
DEL ：カーソル位置の1文字分をクリア。
＊5 入力するデータの形式が画面の右側に表示されます。
DEC ：10進数で入力。
HEX ：16進数で入力。

9.1.4 画面遷移

ユーザ作成のモニタ画面を表示している状態から，システムモニタ機能の各モニタ操作を行うときの画面遷移を示します。



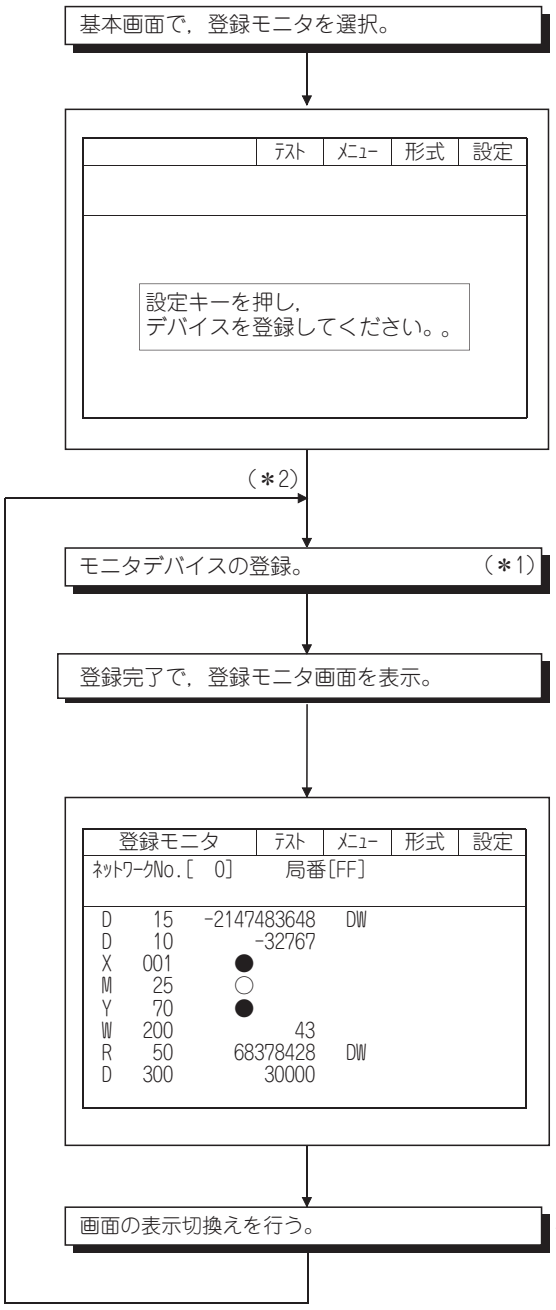
9.2 登録モニタ

モニタするデバイスを事前登録し，登録したデバイスのみをモニタする機能を登録モニタといいます。
システムモニタ実行時に，登録モニタを行うときの操作について説明します。

9.2.1 基本操作

登録モニタの操作手順を示します。

[操作手順]



…… 9.1.1 項参照
基本画面以外を表示しているときは，現在表示している画面上の［メニュー］にタッチして基本画面を表示させ，登録モニタを選択する。

)…… ［メニュー］ をタッチすると，基本画面へ戻る。
［形式］ をタッチすると，表示切換えが可能となる。
(9.1.2 項参照)
［設定］をタッチすると，モニタ局・デバイスの指定が可能となる。
(9.1.3 項参照)

……モニタする局とデバイスを指定する。
指定方法は 9.1.3 項参照

……必要に応じて行う。
表示の切換え方法は 9.1.2 項参照

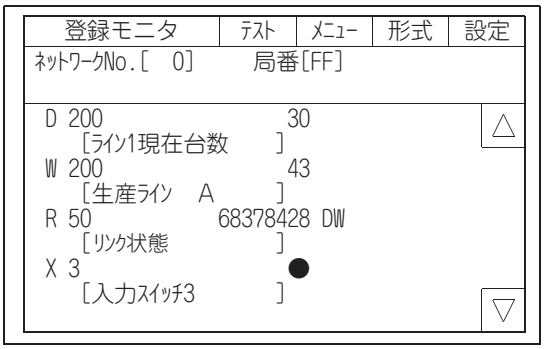
＊1 モニタデバイスの登録は局単位です。
モニタデバイスの対象局を変更すると，それまでに登録したモニタデバイスは無効となります。

＊2 モニタデバイスの登録は，最大8点です。
それ以上登録時は古い登録デバイスから順次削除され，最新の登録のデバイス8点分のモニタが行われます。
必要に応じて登録デバイスの削除を行ってから再登録してください。
(削除方法は 9.2.3 項参照)

9.2.2 登録モニタ画面の表示内容とキー機能

登録モニタ画面の表示内容と画面上に表示しているキー機能について説明します。

(1) 表示される内容について



①	(2) に示す登録モニタ画面での操作で使用するキーを表示する。(タッチ入力)
②	モニタ局のネットワーク No.，局番，CPU 号機 No.*1 を表示する。
③	登録デバイスの状態，現在値を表示する。

*1 QCPU モニタ時のみ表示されます。

(2) キー機能について

登録モニタ画面での操作で使用するキーの機能を示します。

キー	機　能
メニュー	他モニタ機能への切換え，システムモニタの終了を行うための，基本画面（機能切換えメニュー画面）へ遷移する。(9.1.1 項参照)
形式	登録モニタ画面上の数値表示の切換え（10 進／ 16 進)，コメント表示有無の切換えを行うための，表示切換えメニュー画面へ遷移する。(9.1.2 項参照)
設定	モニタデバイスの登録，登録デバイスの削除，テストを行うための，デバイス設定メニュー画面へ遷移する。 ・モニタデバイスの登録（9.1.3 項参照） ・登録デバイスの削除（9.2.3 項参照） ・テスト（9.6 節参照）
▲ ▼	表示内容を上／下方向へ 1 行分スクロールし，現在表示されていない直前／直後のモニタデバイスについて表示する。 5 点以上のモニタデバイスが登録されている場合，モニタデバイスのコメントを表示しているときに操作可能。 ▼: 1 行分，下方向へスクロール ▲: 1 行分，上方向へスクロール

9.2.3　登録デバイスの削除

登録モニタ画面でモニタしているデバイスの登録を削除（取消し）する操作について説明します。
登録デバイスの削除として，次の 2 つの方法があります。
・ランダム削除‥‥指定デバイス 1 点のみを削除する。
・一括削除‥‥‥‥‥現在登録されているデバイスをすべて削除する。

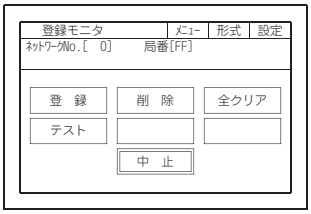
[操作手順]

＊各画面の左上に▭がある場合，▭にタッチすると，モニタ画面に戻ります。

登録モニタ画面を表示。 ‥‥‥‥9.2.2 項参照

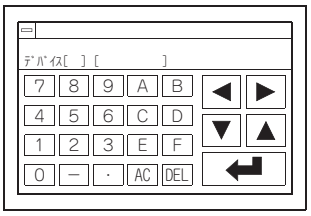
▭設定▭（タッチ）

デバイス設定メニュー画面を表示。



（一括削除）▭全クリア▭　（ランダム削除）▭削除▭（いずれかにタッチ）

デバイス削除画面を表示。



▶ ◀ ：入力エリアを選択。
英数字　：デバイス名，デバイス番号を入力（＊1）

▭ 登録モニタ画面へ遷移（戻る）

↵（タッチ：入力確定）

（1）削除の対象デバイスを指定する。
＊入力するデータに合わせて，画面下部のタッチキーの表示が変わる。

＊1　入力中のデータは，次のキーでクリアできます。
▭AC▭：対象エリアへの入力中のデータをすべてクリア。
▭DEL▭：カーソル位置の1文字分をクリア。

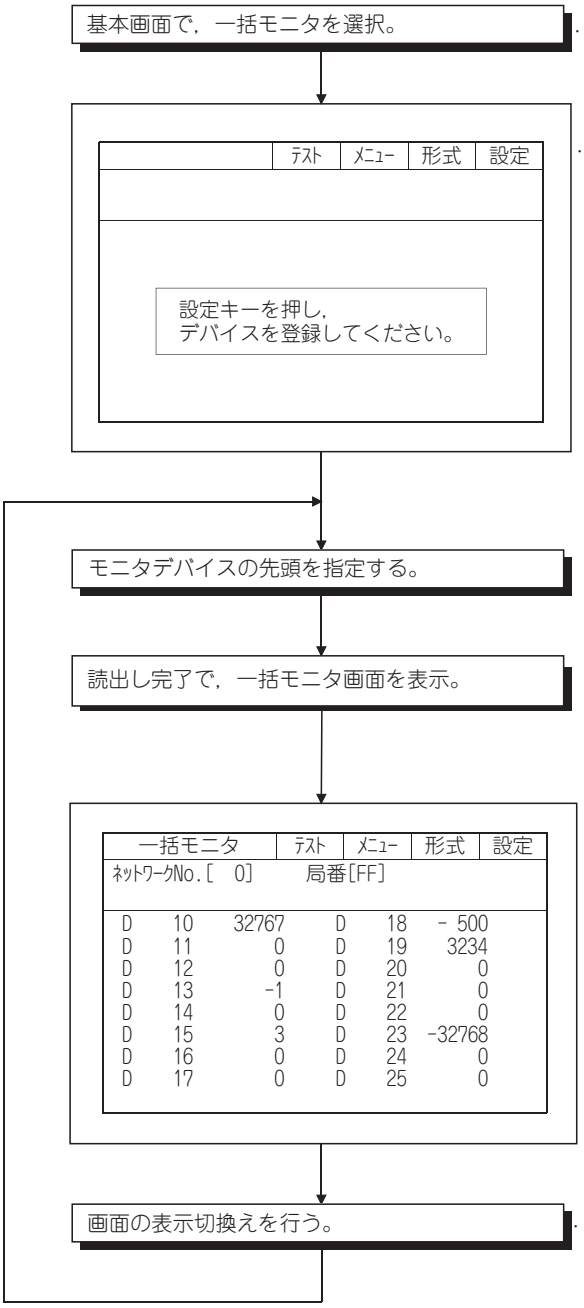
9.3 一括モニタ

モニタ時，任意のデバイス範囲の先頭デバイスを指定してモニタする機能を一括モニタといいます。
システムモニタ実行時に，一括モニタを行うときの操作について説明します。

9.3.1 基本操作

一括モニタの操作手順を示します。

[操作手順]



9.1.1 項参照
基本画面以外を表示しているときは，現在表示している画面上の メニュー にタッチして基本画面を表示させ，一括モニタを選択する。

メニュー をタッチすると，基本画面へ戻る。
形式 をタッチすると，表示切換えが可能となる。
（9.1.2 項参照）
設定 をタッチすると，モニタ局・デバイスの指定が可能となる。
（9.1.3 項参照）

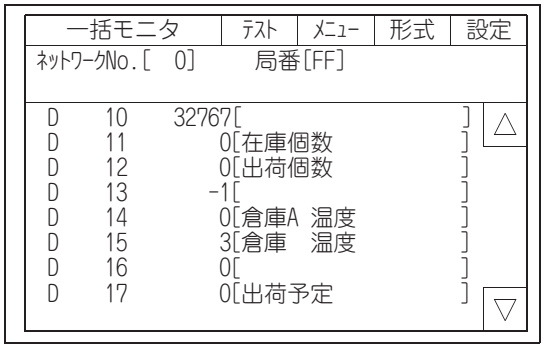
（1）モニタする局とデバイスを指定する。
指定方法は 9.1.3 項参照

必要に応じて行う。
表示の切換え方法は 9.1.2 項参照

9.3.2　一括モニタ画面の表示内容とキー機能

一括モニタ画面の表示内容と画面上に表示しているキー機能について説明します。

(1)　表示される内容について



①	(2) に示す一括モニタ画面での操作で使用するキーを表示する。(タッチ入力)
②	モニタ局のネットワーク No.，局番，CPU 号機 No.*1 を表示する。
③	モニタデバイスの状態，現在値を表示する。 (上図は，モニタの単位が 16 ビットの場合)

*1 QCPU モニタ時のみ表示されます。

(2)　キー機能について

一括モニタ画面での操作で使用するキーの機能を示します。

キー	機　能
メニュー	他モニタ機能への切換え，システムモニタの終了を行うための，基本画面（機能切換えメニュー画面）へ遷移する。 (9.1.1 項参照)
形式	一括モニタ画面上の数値表示の切換え（10 進／ 16 進），コメント表示有無の切換えを行うための，表示切換えメニュー画面へ遷移する。(9.1.2 項参照)
設定	モニタデバイスの変更，テストを行うためのデバイス設定メニュー画面へ遷移する。 ・モニタデバイスの変更（9.1.3 項参照） ・テスト（9.6 節参照）
▲ ▼	表示内容を上／下方向へ 1 行分スクロールし，現在表示されていない直前／直後のモニタデバイスについて表示する。 ▼：1 行分，下方向へスクロール ▲：1 行分，上方向へスクロール

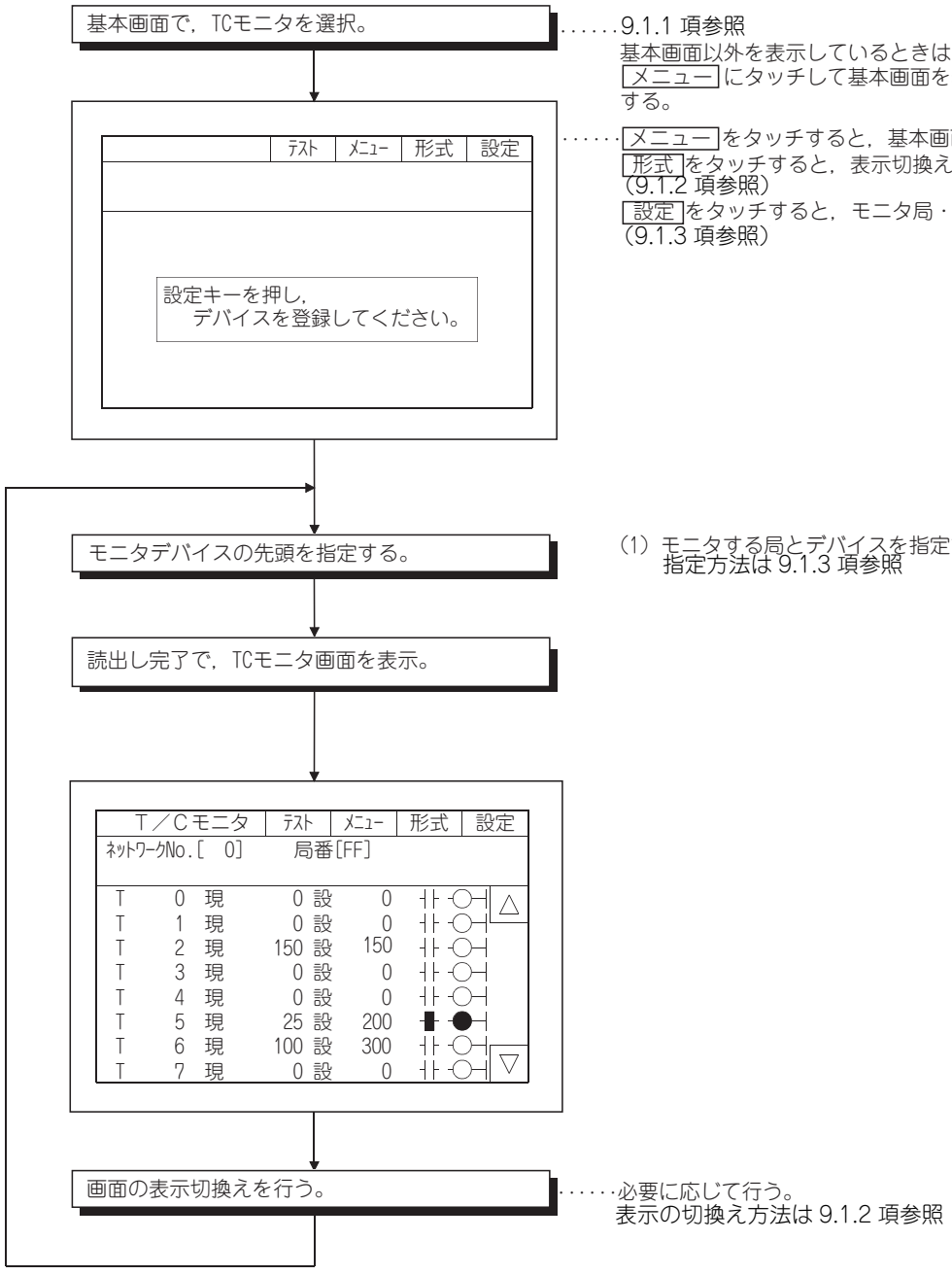
9.4 TC モニタ（タイマ，カウンタのモニタ）

モニタ時，タイマ (T) とカウンタ (C) のみを対象にしてモニタする機能を TC モニタといいます。
システムモニタ実行時に，TC モニタを行うときの操作について説明します。

9.4.1 基本操作

TC モニタの操作手順を示します。

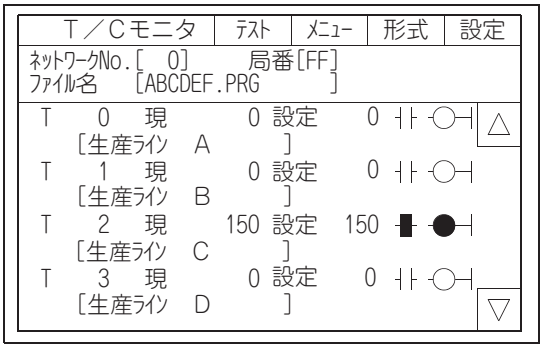
[操作手順]



9.4.2 TC モニタ画面の表示内容とキー機能

TC モニタ画面の表示内容と画面上に表示しているキー機能について説明します。

(1) 表示される内容について



コメントを表示しないとき：最大8デバイス
コメントを表示するとき　：最大4デバイス
システムモニタ時の表示
・T/C・・・・・・・・・設定値，現在値
（接点，コイル）　　：ON
　　：OFF

①	(2) に示す TC モニタ画面での操作で使用するキーを表示する。(タッチ入力)
②	モニタ局のネットワーク No.，局番，CPU 号機 No.*1 を表示する。 QCPU，QnACPU 接続時は，実行ファイル名を表示する。(複数の場合，先頭の実行ファイル名を表示。)
③	モニタデバイスの現在値，設定値，接点とコイルの状態を表示する。 (上図は，モニタの単位が 16 ビットの場合)

*1 QCPU モニタ時のみ表示されます。

(2) キー機能について

一括モニタ画面での操作で使用するキーの機能を示します。

キー	機　能
メニュー	他モニタ機能への切換え，システムモニタの終了を行うための，基本画面（機能切換えメニュー画面）へ遷移する。 (9.1.1 項参照)
形式	TC モニタ画面上の数値表示の切換え（10 進／ 16 進)，コメント表示有無の切換えを行うための，表示切換えメニュー画面へ遷移する。(9.1.2 項参照)
設定	モニタデバイスの変更，テストを行うためのデバイス設定メニュー画面へ遷移する。 ・モニタデバイスの変更（9.1.3 項参照） ・テスト（9.6 節参照）
▲ ▼	表示内容を上／下方向へ 1 行分スクロールし，現在表示されていない直前／直後のモニタデバイスについて表示する。 モニタデバイスのコメントを表示しているときに操作可能。 ▼: 1 行分，下方向へスクロール ▲: 1 行分，上方向へスクロール

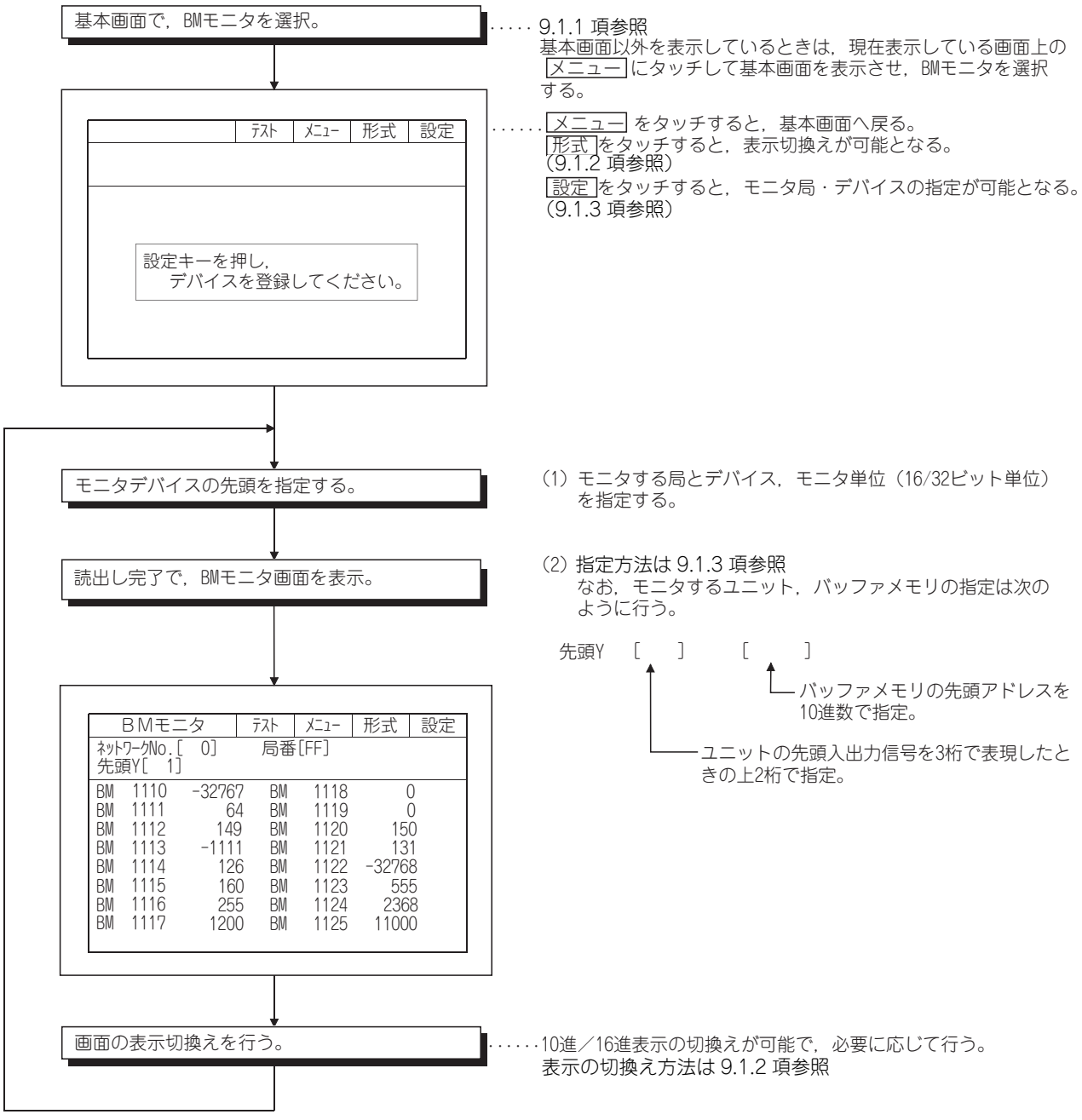
9.5 BM モニタ（バッファメモリのモニタ）

モニタ時，特殊機能ユニットのバッファメモリを対象にしてモニタする機能を BM モニタ（バッファメモリのモニタ）といいます。
システムモニタ実行時に，BM モニタを行うときの操作について説明します。

9.5.1 基本操作

BM モニタの操作手順を示します。

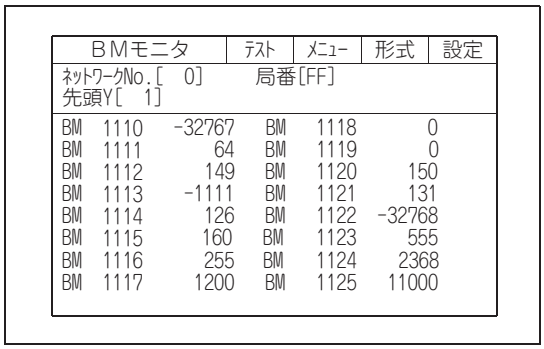
[操作手順]



9.5.2 BM モニタ画面の表示内容とキー機能

BM モニタ画面の表示内容と画面上に表示しているキー機能について説明します。

(1) (1) 表示される内容について



①	(2) に示す BM モニタ画面での操作で使用するキーを表示する。(タッチ入力)
②	モニタ局のネットワーク No.，局番，CPU 号機 No.*1，対象ユニットの入出力番号の上 2 桁を表示する。
③	バッファメモリの現在値を表示する。 (上図は，モニタの単位が 16 ビットの場合)

*1 QCPU モニタ時のみ表示されます。

(2) キー機能について

BM モニタ画面での操作で使用するキーの機能を示します。

キー	機　能
メニュー	他モニタ機能への切換え，システムモニタの終了を行うための，基本画面（機能切換えメニュー画面）へ遷移する。(9.1.1 項参照)
形式	BM モニタ画面上の数値表示の切換え（10 進／ 16 進）を行うための，表示切換えメニュー画面へ遷移する。(9.1.2 項参照)
設定	モニタデバイスの変更，テストを行うためのデバイス設定メニュー画面へ遷移する。 ・モニタデバイスの変更（9.1.3 項参照） ・テスト（9.6 節参照）

9.6 テスト

危険

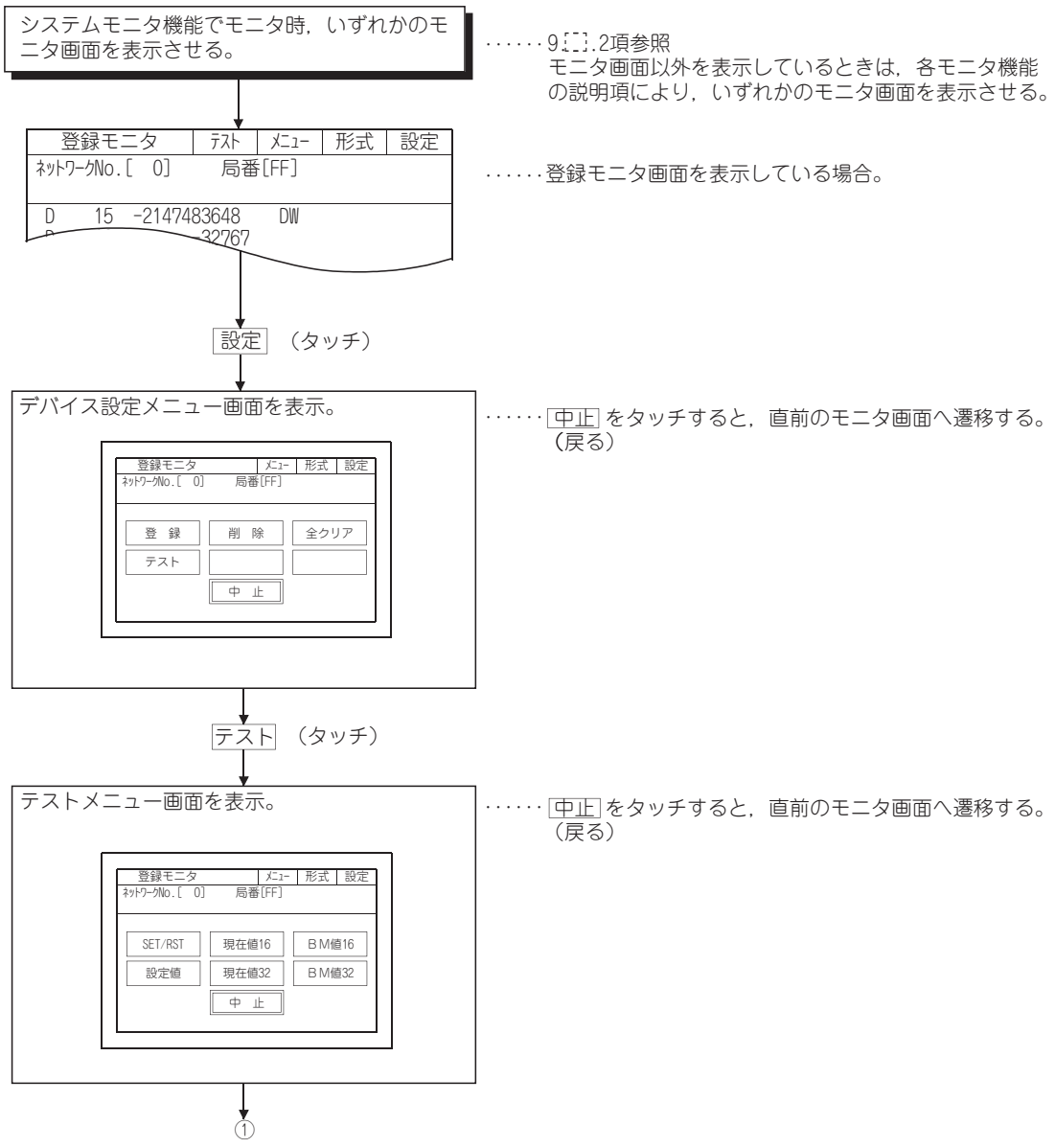
● システムモニタのテスト操作（ビットデバイスの ON/OFF，ワードデバイスの現在値変更，タイマ／カウンタの設定値，現在値変更，バッファメモリの現在値変更）の操作はマニュアルを熟読し操作方法を十分理解した上で操作を行ってください。
また，システムに対する重大な動作を行うデバイスに対しては絶対にテスト操作でデータ変更を行わないでください。誤出力，誤動作により事故の原因になります。

システムモニタ機能でモニタ時，モニタ可能な任意の局およびデバイスを指定してテストすることができます。
シーケンサ CPU のビットデバイス，ワードデバイスまたは特殊機能ユニットのバッファメモリに対してテストを行うときの操作について説明します。

9.6.1 基本操作

システムモニタ機能でモニタ時，テストを行うときの操作手順を示します。

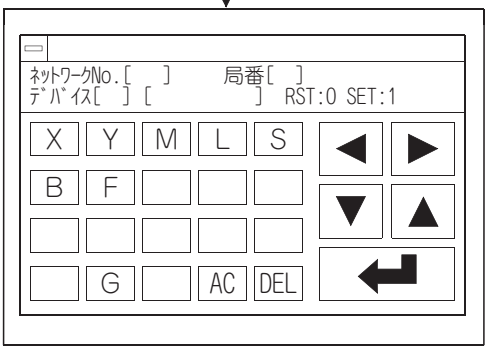
[操作手順]



①

テスト項目を選択する。

SET/RST 選択時



(1) テスト内容により，いずれかにタッチする。

SET/RST
ビットデバイスをSET/RST（セット／リセット）。

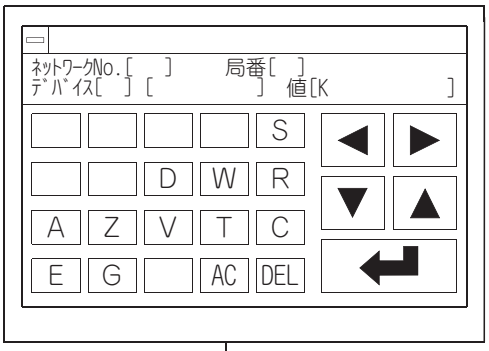
現在値16 または 現在値32
ワードデバイスの現在値を変更。

設定値
T,Cの設定値を変更。

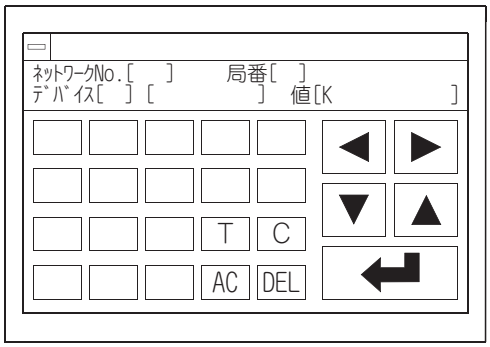
BM値16 または BM値32
バッファメモリの現在値を変更。

＊現在値16，BM値16は，16ビット分が対象。
現在値32，BM値32は，32ビット分が対象。

現在値16 , 現在値32 選択時



設定値 選択時



(2) 対象シーケンサCPUのネットワークNo.，局番，CPU号機No.を指定する。
(9.1.3 項＊1 参照)

（データリンクシステムの場合）
ネットワークNo.： 0
局番 ： FF（自局），0（マスタ局）
1～64（ローカル局）

（ネットワークシステムの場合）
ネットワークNo.： 0（自ループ）
1～255（指定ループ）
局番 ： FF（自局），0（管理局）
1～64（通常局）

（Ethernet接続の場合）
ネットワークNo.：1～239
局番 ： 1～64

（マルチCPUシステムの場合）
CPU No. ：0～4（CPU号機）
＊ MELSEC-Q回路モニタ時のみ表示されます。

矢印 ： 入力エリアを選択。
（▶ ◀：左右） （＊3）
英数字：ネットワークNo.，局番，CPU号機No.，デバイス名，デバイス番号，テスト値を入力。（＊1)(＊2)(＊5)

(3) 対象デバイスを指定する。

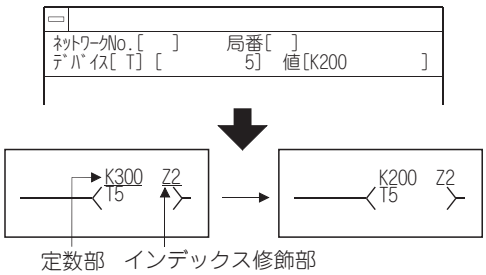
(4) テスト値を指定する。
・ビットデバイスのSET/RST（セット／リセット）時
0(RST)または1(SET)を指定。
・ワードデバイスの現在値変更時
T,Cの設定値変更時
または
バッファメモリの現在値変更時
現在の表示形式（10進／16進）に合わせて変更値を指定。
（＊4）

↵ （タッチ：入力確定）

設定 指定時の画面へ遷移（戻る）

＊1 入力中のデータは，次のキーでクリアできます。
AC ：対象エリアへの入力中のデータをすべてクリア。
DEL ：カーソル位置の1文字分をクリア。
＊2 入力するデータの形式が画面の右側に表示されます。
DEC ：10進数で入力。
HEX ：16進数で入力。
＊3 あらかじめGT Designer2でモニタ先を設定する必要があります。
ACPUモニタ時は，GT Designer2で設定したネットワークNo.／局番で指定します。
Ethernet接続時のモニタ先設定の詳細は，GOT-A900シリーズユーザーズマニュアル（接続編）を参照してください。
＊4 タイマ(T)がタイムアップ，またはカウンタ(C)がカウントアップ後に設定値／現在値を変更しても，タイムアップ状態／カウントアップ状態は変わりません。現在の状態が保持されます。
（設定値を大きな値に変更したとき／現在値を小さい値に変更したとき）
＊5 インデックス修飾付きのT/C設定値を変更する場合，変更されるのは定数部のみになります。
インデックス修飾部は変更されません。

例）T5の設定値を“300”から“200”に変更する

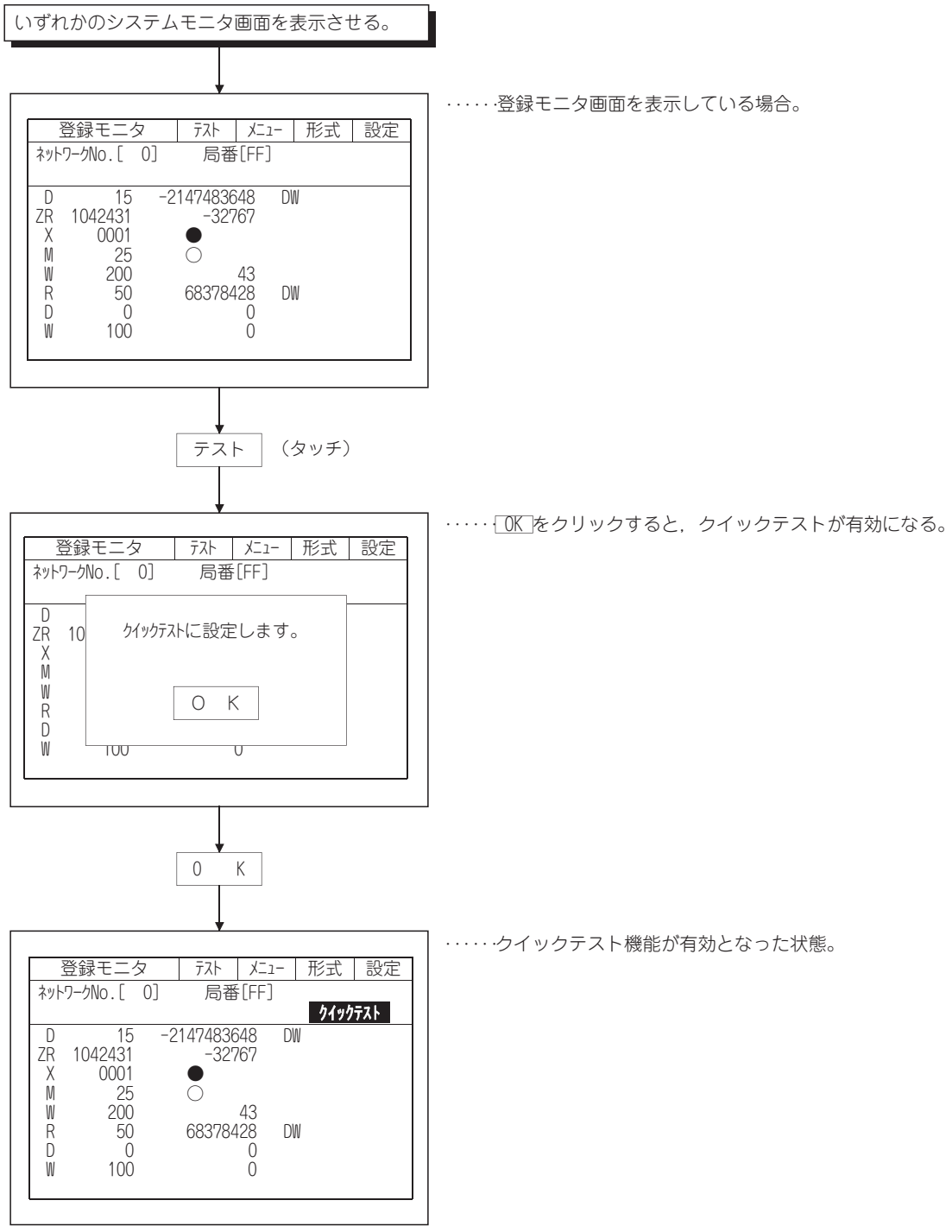


9.6.2　クイックテスト機能について

システムモニタ機能でモニタ時，デバイス，局番などを直接入力する従来のテストに加え，ワンタッチでビットデバイスの SET/RESET，ワードデバイス，バッファメモリのデータ変更が行える機能です。

① クイックテスト機能を有効にする操作
クイックテスト操作を行うためには，以下の操作を行ってください。

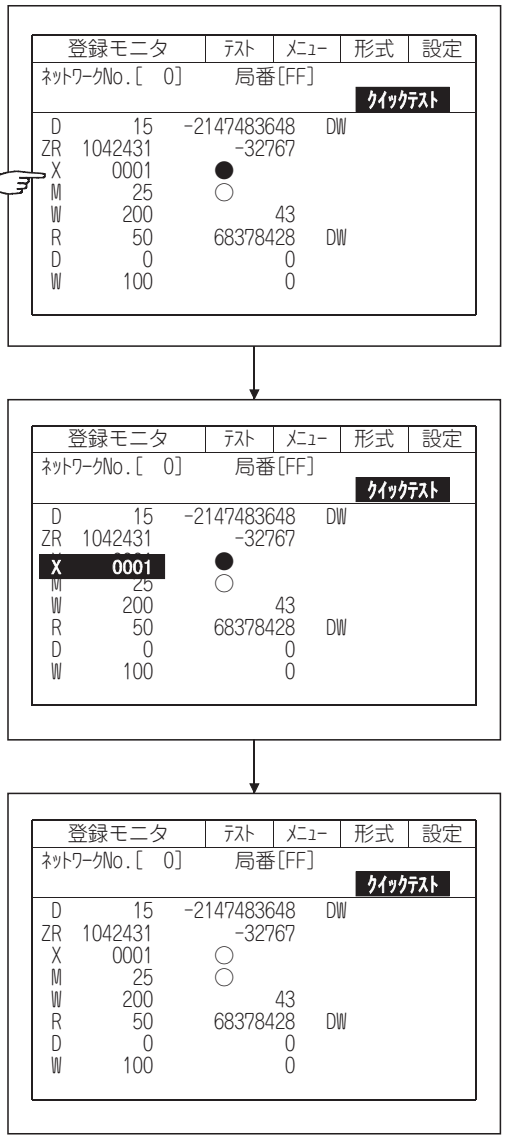
[操作手順]



② クイックテストを無効にする操作

クイックテスト機能が有効になっている状態で テスト をタッチすると，ダイアログボックスが表示されます。OK をタッチすると，クイックテストを解除できます。

③ ビットデバイスのクイックテスト

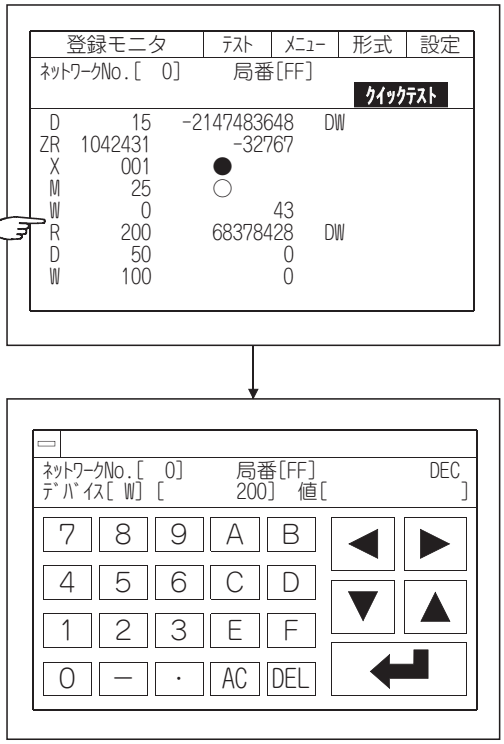


……登録モニタ画面を表示している場合。
ビットデバイスをSET/RESETするデバイス名または
デバイスNo.の表示位置をタッチする。

……タッチしたデバイス名，デバイスNo.が反転表示される。
反転表示されているデバイスのON/OFF表示（○，●）
をタッチすると，SET/RESETされる。
＊現在のビットデバイスが
ONであればOFF(RESET)される。
OFFであれば(SET)される。

……X0001デバイスのON/OFF表示部（○，●）が反転する。

④ ワードデバイス，T/C モニタ，バッファメモリのクイックテスト



·····登録モニタ画面を表示している場合。
変更するデバイスの表示位置をタッチする

·····変更値入力画面が表示される。
変更する現在値をキーウィンドウにて入力する。
キーウィンドウの操作については 9.1.3 項参照。

10章 システムモニタのエラーメッセージ

システムモニタ実行時に表示されるエラーメッセージと，その処置方法を示します。

エラーメッセージ	エラー内容	処置方法
交信エラー	モニタ先のシーケンサ CPU と交信できない。	・シーケンサ CPU と GOT の接続（コネクタ抜け，ケーブル断線）を確認してください。 ・シーケンサ CPU でエラーが発生していないか確認してください。

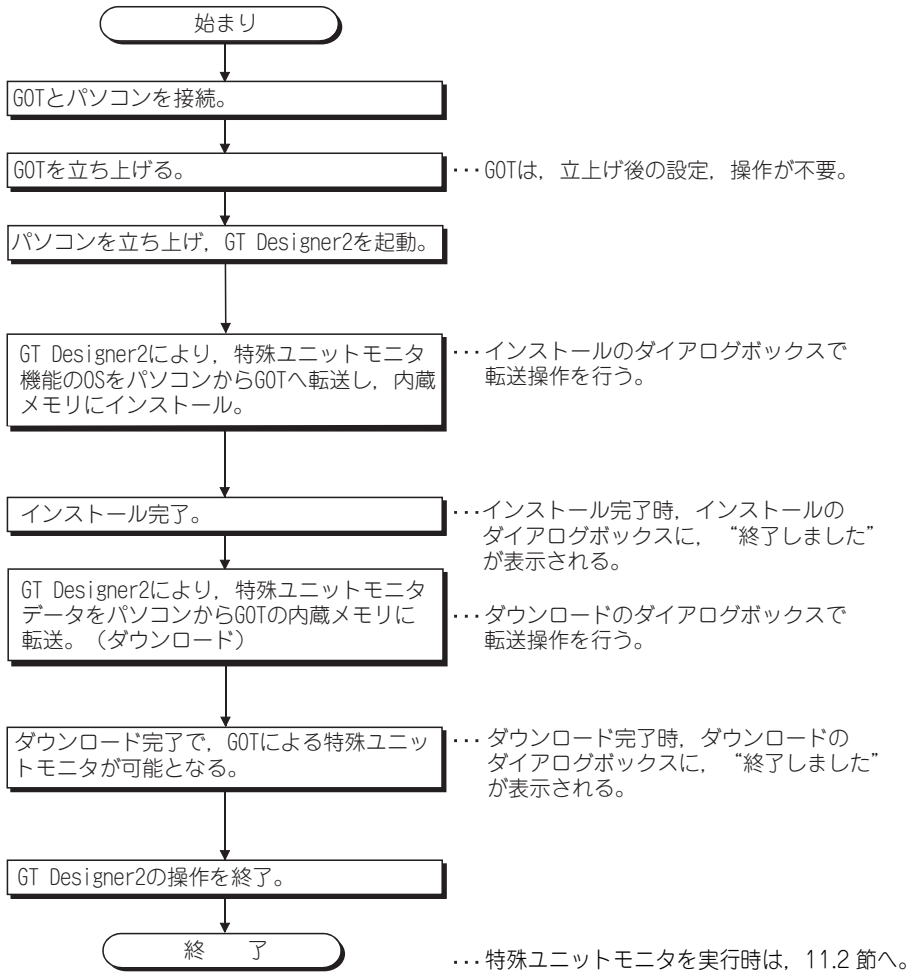
Memo

11章 特殊ユニットモニタ機能の操作手順

特殊ユニットモニタ機能を使用するときの操作手順について説明します。

11.1 特殊ユニットモニタを開始するまでの操作手順

特殊ユニットモニタ機能のオペレーティングシステム（OS）と特殊ユニットモニタデータをパソコンからGOTへ転送し，内蔵メモリにインストールするまでの概略手順を示します。
詳細は，GT Designer2 Version2 オペレーティングマニュアルを参照してください。画面表示，キー操作を含め，詳しく説明しています。



11.2 ユーザ作成モニタ画面表示から特殊ユニットモニタ開始までの操作手順

GOT の内蔵メモリに特殊ユニットモニタ機能のオペレーティングシステム (OS) のインストール，特殊ユニットモニタデータのダウンロードを完了してから，特殊ユニットモニタ機能の各操作を開始するときの，GOT の操作手順を示します。

始まり

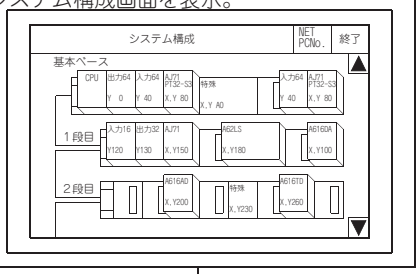
GOTにメモリボードを装着。

GOTを立ち上げる。

ユーザ作成のモニタ画面を表示。

特殊ユニットモニタ機能を起動する。 ･･･（＊1）

システム構成画面を表示。



･･･起動時，ユニット形名などは表示されない。
シーケンサCPUからユニット情報の読出し完了で，ユニット形名などが表示される。
QCPU（Qモード）を使用する場合は，シーケンサCPUの状態（PC診断）やユニットのエラー情報など（ユニット詳細情報）を確認することもできます。
12.1.1 項参照

終了 を選択すると特殊ユニットモニタが終了し，特殊ユニットモニタ機能の起動元画面へ遷移する。

モニタするユニットを指定する。 ･･･12.1.3 項，12.1.4 項参照

特殊ユニットモニタメニューを表示。 ･･･12.1.4 項参照

メニューを選択する。 ･･･メニュー選択により，特殊ユニットのモニタ画面が表示される。
12.1.4 項参照

特殊ユニットのモニタ画面を表示。
表示内容により，ユニットの情報を確認する。 ･･･12.1.2 項参照
12.2 節～ 12.27 節参照

データ変更 ･･･以下は，モニタ画面上に表示しているバッファメモリの現在値変更を行うときに操作する。
12.1.5 項参照

指定エリアの現在値を変更する。

＊1 GT Designer2でタッチスイッチ（拡張）機能を設定したキーにタッチして特殊ユニットモニタ機能を起動します。
ユーティリティメニュー画面を表示したときは，特殊モニタ をタッチして特殊ユニットモニタ機能を起動します。

12章 特殊ユニットモニタ画面の操作

特殊ユニットモニタ機能を使用するときの，各画面操作について説明します。

12.1 モニタ時の画面構成，共通操作と画面遷移について

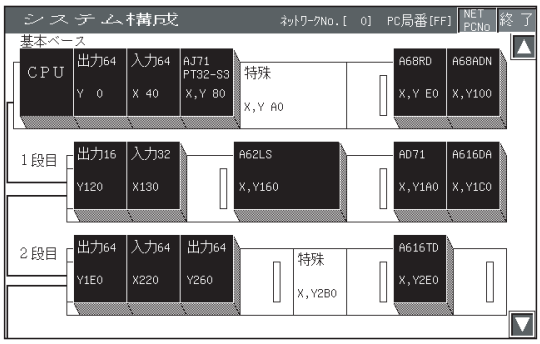
特殊ユニットモニタ実行時の画面構成，共通操作について説明します。

12.1.1 システム構成画面の構成とキー機能

特殊ユニットモニタ機能が起動後に表示されるシステム構成画面の構成と，画面上に表示しているキー機能について説明します。

(1) QCPU（A モード），QnACPU，ACPU 使用時

(a) 表示される内容について



ユニット形名などは，シーケンサCPU からのユニット情報の読出し完了で表示される。
(OSが自動的に行う。)
MELSECNET 接続時は，12.1.2 項の画面が表示される。

①	モニタ局のネットワーク No.，局番を表示する。
②	モニタ局に装着のユニットについて，特殊機能ユニットは形名とシーケンサ CPU との入出信号の先頭番号を，入出力ユニットは“入力”／“出力”と I/O 点数を表示する。 モニタできない特殊機能ユニットは，“特殊”と入出力信号の先頭番号を表示する。 ユニットの表示位置は，そのユニットの特殊機能ユニットモニタを行う画面へ遷移するためのキーとなる。(タッチ入力)
③	(b) に示すシステム構成画面での操作で使用するキーを表示する。(タッチ入力)

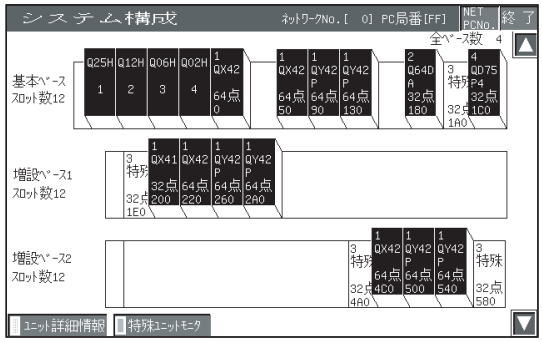
(b) キー機能について

システム構成画面での操作で使用するキーの機能を示します。

キー	機　能
終了	モニタを終了し，特殊ユニットモニタ機能を起動したときの画面へ戻る。
ユニット表示位置	そのユニットの特殊ユニットモニタを行う画面へ遷移する。
▲ ▼	表示内容を上／下方向へ 1 段分スクロールし，現在表示されていない直前／直後の段数のシステム構成について表示する。 システム構成が増設 3 段以上の場合，操作可能。 ▼: 1 段分，下方向へスクロール。 ▲: 1 段分，上方向へスクロール。

(2) QCPU（Q モード）使用時

(a) 表示される内容について



ユニット形名などは，シーケンサCPUからのユニット情報の読出し完了で表示される。
(OSが自動的に行う。)

①	モニタ局のネットワーク No.，局番を表示する。
②	モニタ局の装着ユニットについては，形名，入出力点数および先頭入出力番号を表示する。 モニタできない特殊機能ユニットは，形名が“特殊”と表示する。 ユニットの表示位置は，そのユニットのモニタを行う画面へ遷移するためのキーとなる。 (タッチ入力) マルチ CPU システムの場合，CPU には号機番号，装着ユニットには管理 CPU No. が表示されます。
③	(b) に示すシステム構成画面での操作で使用するキーを表示する。(タッチ入力)

(b) キー機能について

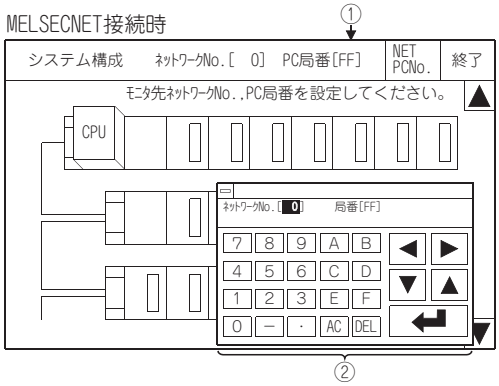
登録モニタ画面での操作で使用するキーの機能を示します。

キー	機　能
終了	モニタを終了し，特殊ユニットモニタ機能を起動したときの画面へ戻る。
QCPU	PC 診断モニタ画面へ遷移する。(12.1.3 項参照)
ユニット表示位置	特殊ユニットモニタモード時： そのユニットの特殊ユニットモニタを行う画面へ遷移する。 ユニット詳細情報モード時： 選択したユニットの詳細情報を表示する画面へ遷移する。
ユニット詳細情報	システム構成画面をユニット詳細情報モードに切り換える。(12.1.4 項参照)
特殊ユニットモニタ	システム構成画面を特殊ユニットモニタモードに切り換える。
▲ ▼	表示内容を上／下方向へ 1 段分スクロールし，現在表示されていない直前／直後の段数のシステム構成について表示する。 システム構成が増設 3 段以上の場合，操作可能。 ▲：1 段分，下方向へスクロール。 ▼：1 段分，上方向へスクロール。

12.1.2 他局モニタの設定方法

特殊ユニットモニタ時の他局モニタを行う設定方法を下記に示します。

＜特殊ユニットモニタ＞



特殊ユニット をタッチしてシステム構成画面を表示させます。
接続方法によって，最初に表示する画面が下記のように異なります。

バス接続，CPU 直接接続	接続局のベース上を表示します。
Ethernet 接続	自局設定の局のベース上を表示します。
CC-Link(G4 経由) 接続	マスタ局のベース上を表示します。
MELSECNET(II),/B 接続	システム構成の表示なし
MELSECNET/10 接続 CC-Link 接続 (インテリジェントデバイス局)	システム構成の表示なし

MELSECNET/CC-Link 接続時は必ず，下記の操作が必要になります。

① NETPCNo. をタッチして，②のウィンドウを表示させます。

② 英数字 をタッチして，ネットワーク No.,PC 局番を指定します。

英数字 ·····ネットワーク No.，PC 局番を入力。

◀▶ ·····入力エリアを選択します。

↵ ·····エリアの数値を確定します。

データリンクシステムの場合

ネットワークNo. ：0
局番 ：FF （自局）
：0 （マスタ局）
：1 ～64 （ローカル局）

ネットワークシステムの場合

ネットワークNo. ：0 （自ループ）
：1 ～255 （指定ループ）
局番 ：FF （自局）
：0 （管理局の局番）
：1 ～64 （管理局／通常局）

Ethernet接続の場合*1

ネットワークNo. ：1～239
局番 ：1～64

CC-Linkシステムの場合

ネットワークNo. ：0
局番 ：0 （マスタ局）

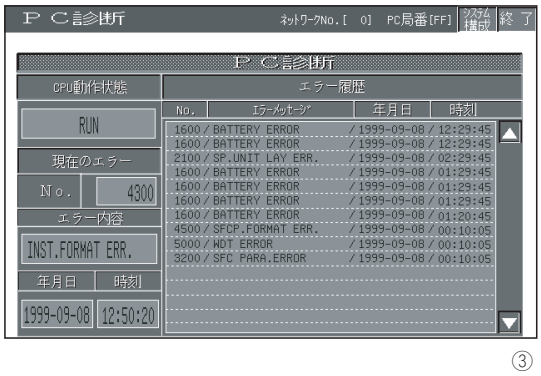
*1 あらかじめ GT Designer2 でモニタ先を設定する必要があります。
ACPU モニタ時は，GT Designer2 で設定したネットワーク No. ／局番を指定します。
Ethernet 接続時のモニタ先設定の詳細は，GOT-A900 シリーズユーザーズマニュアル（接続編) を参照してください。

設定を終了すると，指定した局のシステム構成が表示されます。
これ以降の操作は，12.1.6 項を参照してください。

12.1.3 PC 診断モニタ画面の構成とキー機能（QCPU（Q モード）使用時のみ）

システム構成画面で，QCPU（Q モード）を指定することにより表示される PC 診断モニタ画面の構成と，画面上に表示されるキー機能について説明します。

(1) 表示される内容について



①	モニタ局のネットワーク No.，局番を表示する。
②	対象シーケンサ CPU の動作状態やエラー情報などを表示する。
③	(2) に示すシステム構成画面での操作で使用するキーを表示する。（タッチ入力）

(2) キー機能について

システム構成画面の操作で使用するキーの機能を示します。

キー	機　能
終了	モニタを終了し，特殊ユニットモニタ機能を起動したときの画面に戻る。
システム構成	システム構成画面へ遷移する。（12.1.1 項参照 ）
▲ ▼	表示内容を上／下方向に 1 ページ分スクロール表示する。 ▲: 1 ページ分，下方向へスクロール。 ▼: 1 ページ分，上方向へスクロール。

12.1.4 ユニット詳細情報画面の構成とキー機能（QCPU（Q モード）使用時のみ）

システム構成画面がユニット詳細情報モード時に，ユニットを指定するにより表示されるユニット詳細情報画面の構成と，画面上に表示されるキー機能について説明します。

(1) 表示される内容について



①	モニタ局のネットワーク No.，局番を表示する。
②	対象ユニットのユニット情報やエラー情報などを表示する。
③	(2) に示すシステム構成画面での操作で使用するキーを表示する。（タッチ入力）

(2) キー機能について

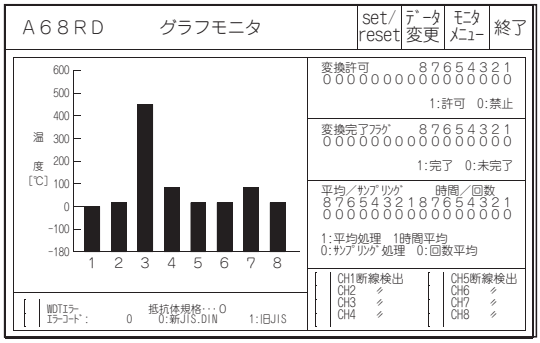
システム構成画面の操作で使用するキーの機能を示します。

キー	機　能
終了	モニタを終了し，特殊ユニットモニタ機能を起動したときの画面に戻る。
システム構成	システム構成画面へ遷移する。（12.1.1 項参照 ）

12.1.5 特殊ユニットモニタ画面の構成とキー機能

システム構成画面（QCPU（Q モード）を使用する場合は，特殊ユニットモニタモード時）でのユニット指定により表示されるモニタ画面の構成と，画面上に表示しているキー機能について説明します。

(1) 表示される内容について（A68RD の場合）



各種データは，特殊機能ユニットから読出し完了で表示される。
（OSが自動的に行う。）

①	モニタの対象ユニット形名を表示する。
②	対象ユニットのバッファメモリのデータを，そのまま，またはグラフで表示する。 シーケンサ CPU との入出力信号の状態を表示する。 テスト時は，対象データの表示位置へカーソルを移動後にテストする。
③	(2) に示すモニタ画面での操作で使用するキーを表示する。(タッチ入力)

(2) キー機能について

モニタ画面の操作で使用するキーの機能を示します。

キー	機　能
終了	モニタを終了し，特殊ユニットモニタ機能を起動したときの画面に戻る。
モニタメニュー	現在のモニタを終了し，モニタメニューを示す画面へ戻る。 モニタメニューがある特殊機能ユニットのみ操作可能。
データ変更	画面表示の特殊機能ユニットのバッファメモリに対する現在値変更（書込み）を開始する。
set/res	シーケンサ CPU と特殊機能ユニット間の入出力信号に対するテスト (SET/RST) を開始する。

12.1.6 モニタユニットの指定，モニタメニュー選択の操作

任意のユニットに対する特殊ユニットモニタを開始するときの操作について，位置決めユニット（AD71）を例に説明します。

[操作手順]

システム構成画面を表示。 … 12.1.1 項参照

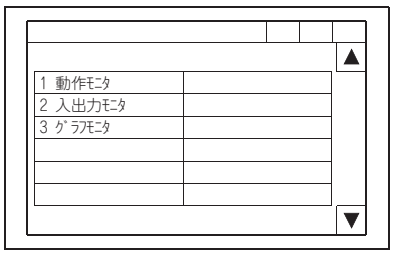
↓

モニタするユニットを指定 （ユニットの表示位置をタッチ）

(1) 各ベースユニットに装着のユニットの中で，形名を表示している特殊機能ユニットを指定する。
＊：形名を表示していないユニットについては，
システムモニタ機能でモニタする。(9.5 節参照)
入力ユニット，出力ユニットの指定は 13.1 節により行う。

↓

モニタメニューを示す画面を表示。



(2) モニタするデータの種類に対応するメニューを指定する。

(3) モニタメニューを1画面にすべて表示できないユニットの場合，画面右の ▲ ▼ をタッチすると，表示メニューがスクロールする。

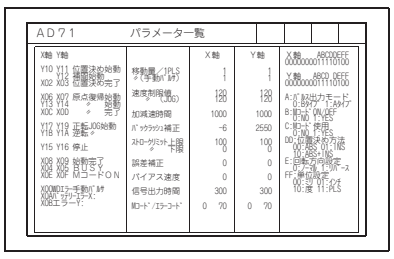
↓

モニタするメニューを指定 （メニューの表示位置をタッチ）

(4) 表示内容の確認，以後の操作については 12.2 節～ 12.31 節により行う。

↓

指定メニューのモニタ画面を表示。



(5) 表示しているデータに対するテストについては 12.1.7 項により行う。
・バッファメモリの現在値変更
・シーケンサCPUからの出力信号のON/OFF

↓

12.1.7 項 ,12.2 節～ 12.31 節へ

12.1.7 特殊機能ユニットに対するテスト

危険

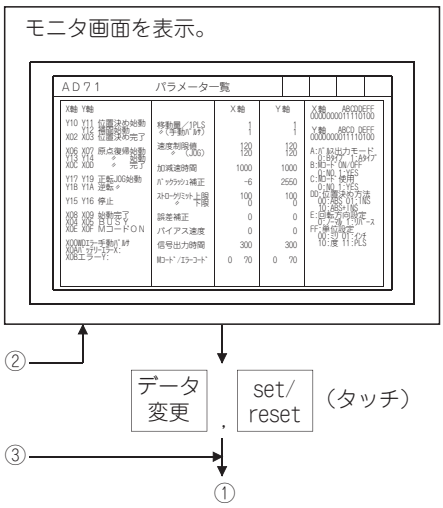
● 特殊ユニットモニタのテスト操作（バッファメモリの現在値変更）の操作はマニュアルを熟読し操作方法を十分理解した上で操作を行ってください。
また，システムに対する重大な動作を行うデバイスに対しては絶対にテスト操作でデータ変更を行わないでください。
誤出力，誤動作により事故の原因になります。

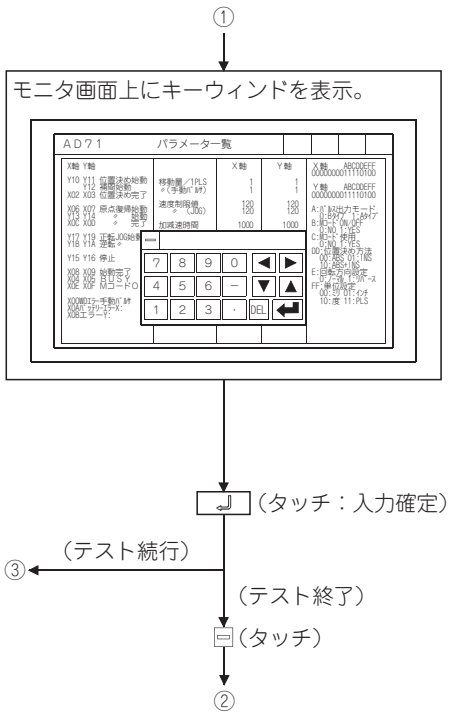
現在のモニタ画面上に表示しているすべてのバッファメモリのデータに対して，テストすることができます。
バッファメモリの現在値変更，シーケンサ CPU から特殊機能ユニットへの出力信号の ON/OFF を行うときの操作について説明します。

Point

(1) テストは，シーケンサ CPU から書込み可能なバッファメモリとシーケンサ CPU から出力する出力信号に対して行ってください。
(2) テスト操作は，シーケンサ CPU を「 STOP 」状態にして行われることをお奨めします。
シーケンサ CPU が「 RUN 」中にテストした場合は，シーケンスプログラムからの出力値・出力状態に戻されます。

[操作手順]





データ変更 タッチ時（バッファメモリの現在値変更）

・以下の操作はすべて表示されたキーウィンド中のキーにタッチして行う。
・キーウィンドの左上にある ▭ にタッチすると，キーウィンドがクローズしモニタ画面へ戻る。
(1) テストするデータの表示位置へカーソルを移動する。（＊1）
（▲ ▼：上下　◀ ▶：左右）
(2) 数字キーで変更値を指定する。（＊2）
入力中の1文字分は DEL キーでクリアできます。

set/reset タッチ時（入出力信号に対するテスト）

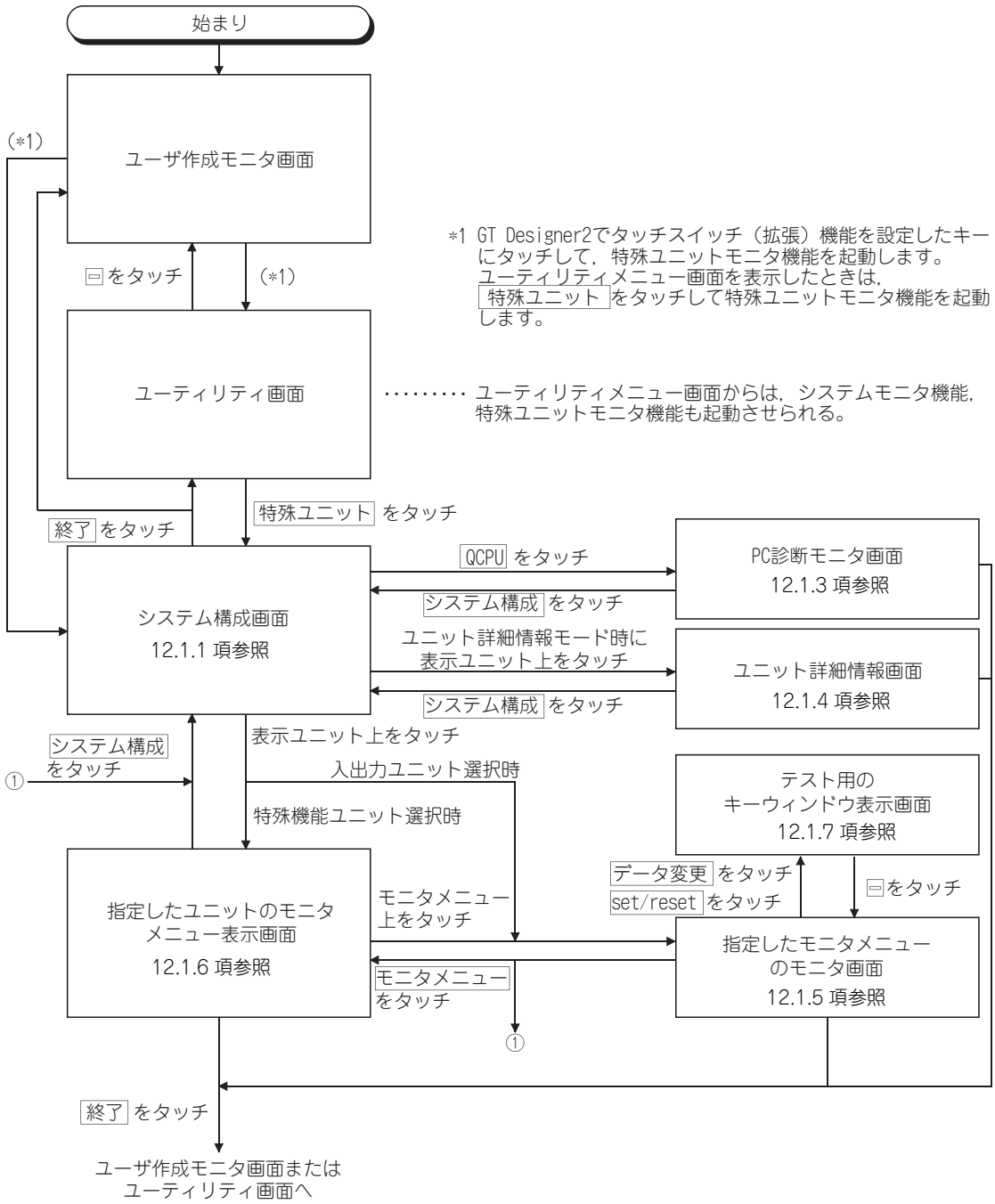
・以下の操作はすべて表示されたキーウィンド中のキーにタッチして行う。
・キーウィンドの左上にある ▭ にタッチすると，キーウィンドがクローズしモニタ画面へ戻る。
(1) 英字キーでテストするデバイス名を指定する。（＊1）
指定後，▶をタッチする。
(2) 数字キーでデバイス番号を指定する。
指定後，▶をタッチする。
(3) 数字キーでSET/RST を指定する。
0：OFF　1：ON

＊1 次のテストは行わないでください。
テストしたとき，そのユニットは正常に動作しなくなる場合があります。
または，そのバッファメモリ／入力信号は特殊機能ユニットからの出力値／出力状態に戻されます。
① シーケンサ CPU からの読出し専用のバッファメモリに対するテスト。
② 特殊機能ユニットからシーケンサ CPU への入力信号に対するテスト。

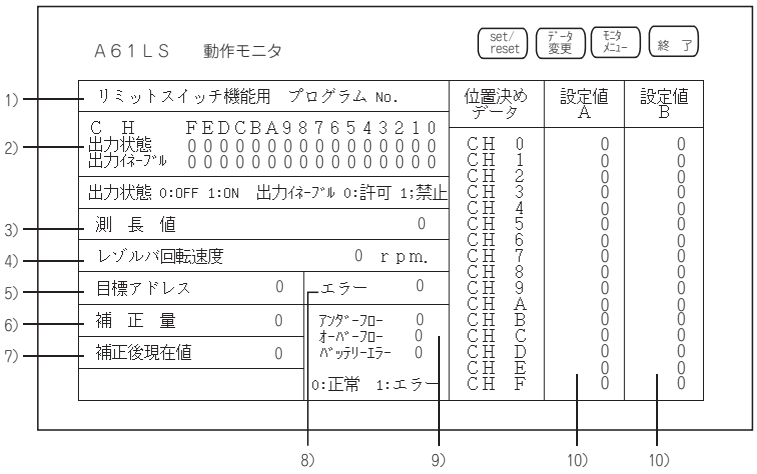
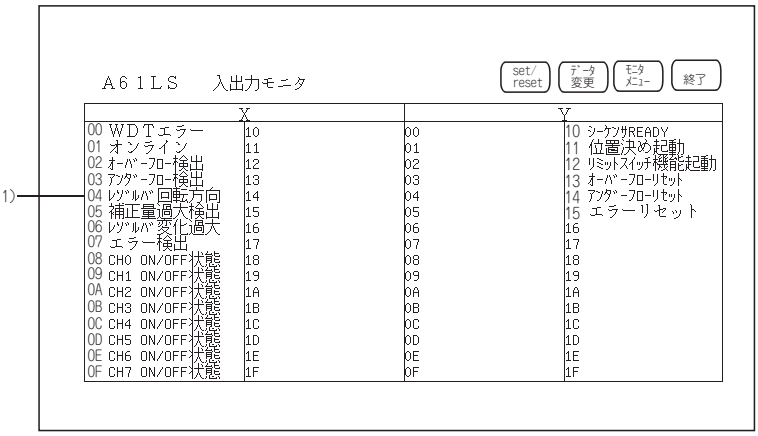
＊2 バッファメモリのデータに対してテストするときは，次のように変更値を指定します。
① 16/32 ビット分を 1 つの数値で表示しているデータに対しては，変更値を 10 進数で指定します。
② A/D 変換ユニットなど16/32 ビット分の 1 つの数値をパーセントで表示しているデータに対しては，パーセントに対応する変更値を 10 進数で指定します。
（例）
オフセット，ゲインの設定値が 0 ～ 2000 の場合，50%の変更値を指定するときは，1000 を入力します。
③ 16 ビット分を 1 ビット分ずつ“0”と“1”で表示しているデータに対しては，16 ビット分の変更値を 10 進数で指定します。

12.1.8 画面遷移

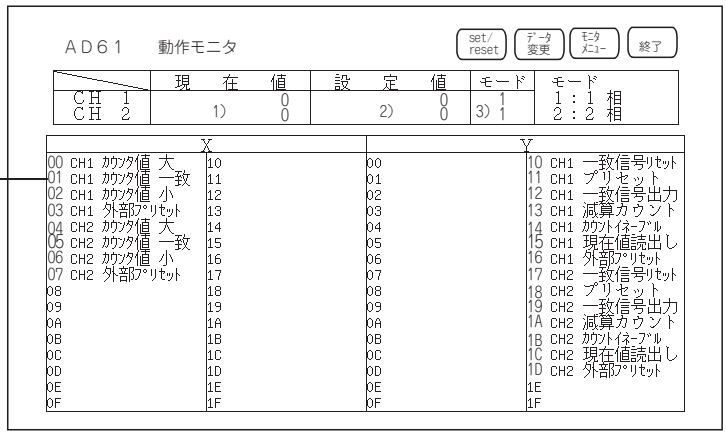
ユーザ作成のモニタ画面を表示している状態から，特殊ユニットモニタ機能の各モニタ操作を行うときの画面遷移を示します。



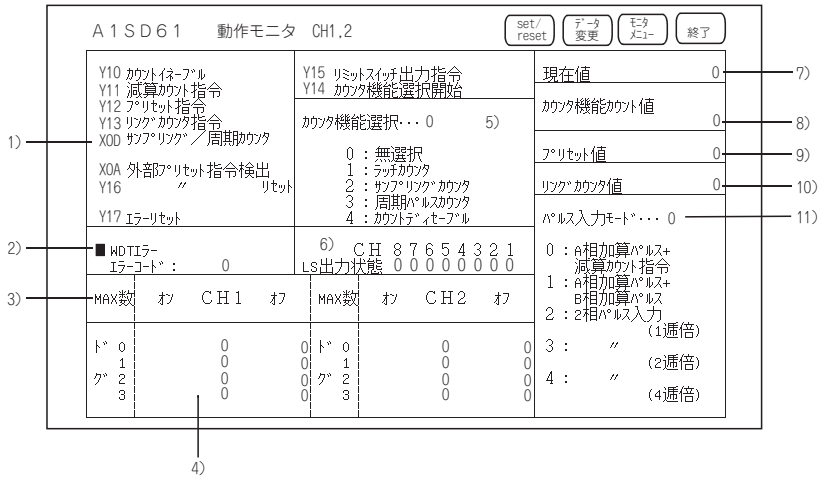
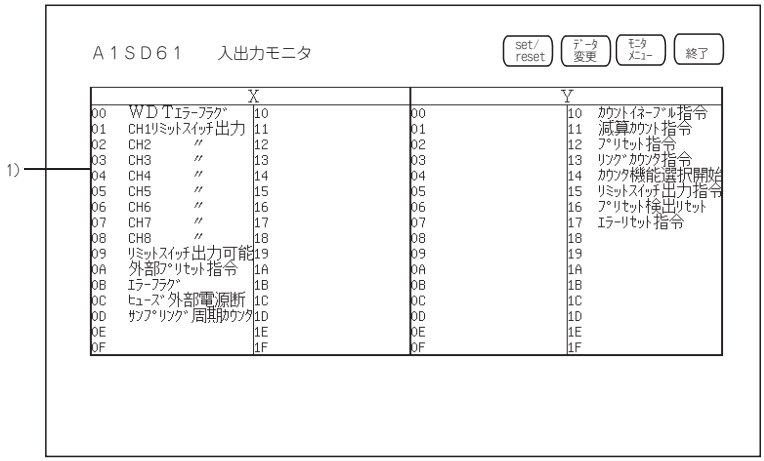
12.2 A61LS ユニットのモニタ

画面例	番号	バッファメモリアドレス	
		10 進数	16 進数
	1)	11	000B
	2)	4	0004
	3)	10	000A
	4)	5, 6	0005, 0006
	5)	3	0003
	6)	12	000C
	7)	7	0007
	8)	0	0000
	9)	8	0008
	10)	2	0002
	11)	1	0001
	12)	9	0009
	13)	13 ～ 44	000D ～ 002C
—	—	———	———
	1)	———	———
—	—	———	———

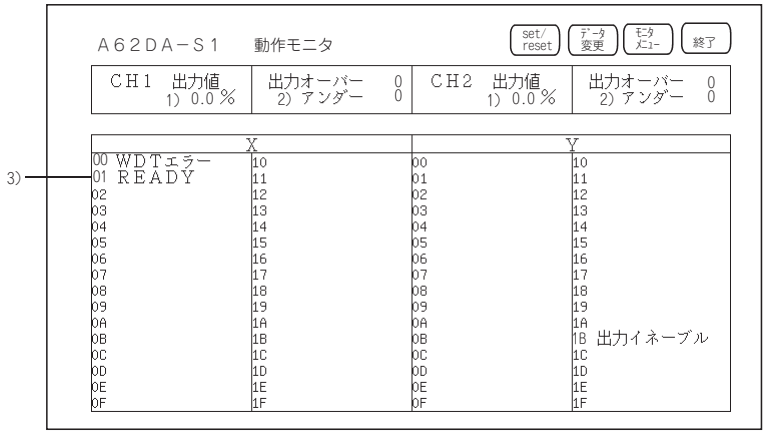
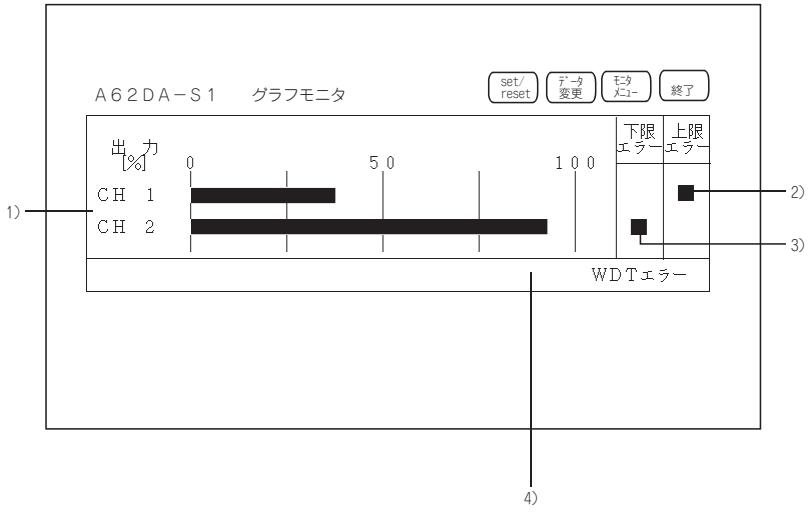
12.3 AD61 ユニットのモニタ

画面例	番号	バッファメモリアドレス	
		10 進数	16 進数
	1)	4, 5, 36, 37	0004, 0005, 0024, 0025
	2)	6, 7, 38, 39	0006, 0007, 0026, 0027
	3)	3, 35	0003, 0023
	4)	———	———
—	—	———	———

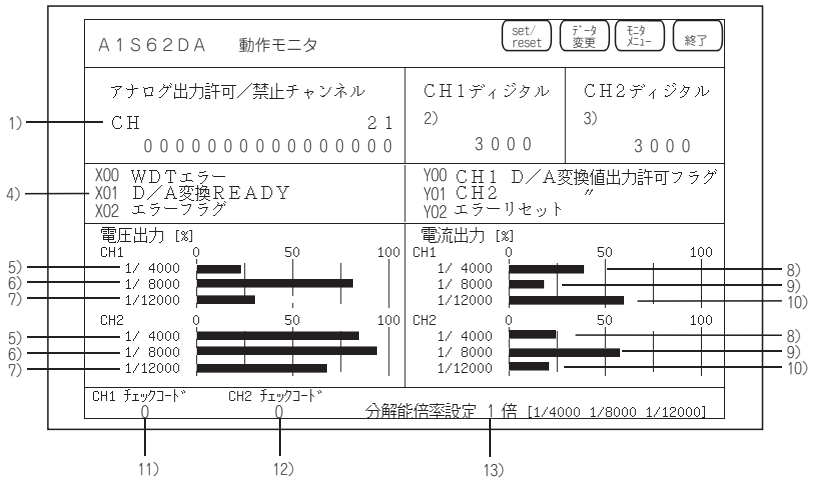
12.4 A1SD61 ユニットのモニタ

画面例	番号	バッファメモリアドレス	
		10 進数	16 進数
	1)	—	—
	2)	—	—
	3)	11	000B
	4)	12 ～ 147	000C ～ 0093
	5)	12 ～ 147	000C ～ 0093
	6)	5	0005
	7)	—	—
	8)	0, 1	0000, 0001
	9)	2, 3	0002, 0003
	10)	6, 7	0006, 0007
	11)	8, 9	0008, 0009
	12)	4	0004
	—	———	———
	1)	———	———
	—	———	———

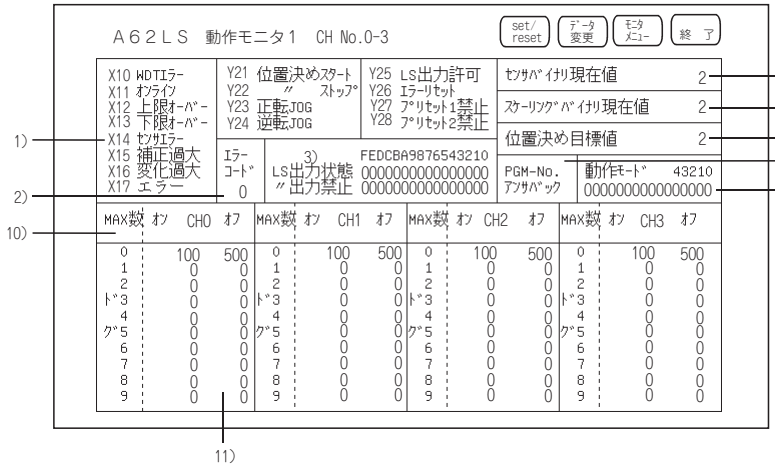
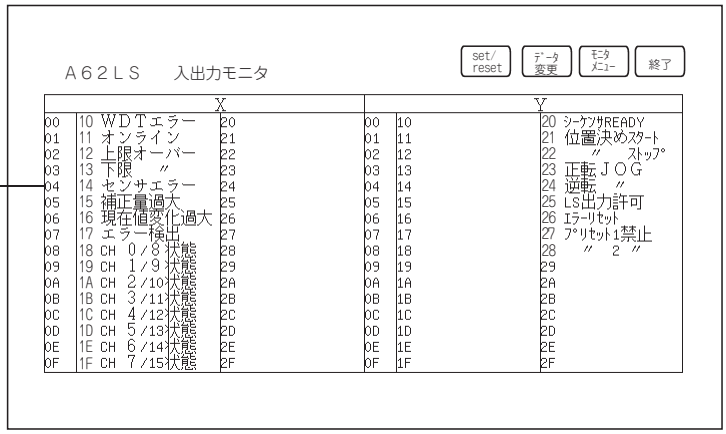
12.5 A62DA-S1 ユニットのモニタ

画面例	番号	バッファメモリアドレス	
		10 進数	16 進数
	1)	0, 1	0000, 0001
	2)	2 ～ 5	0002 ～ 0005
	3)	———	———
	—	———	———
	1)	0, 1	0000, 0001
	2)	2, 4	0002, 0004
	3)	3, 5	0003, 0005
	4)	———	———
	—	———	———

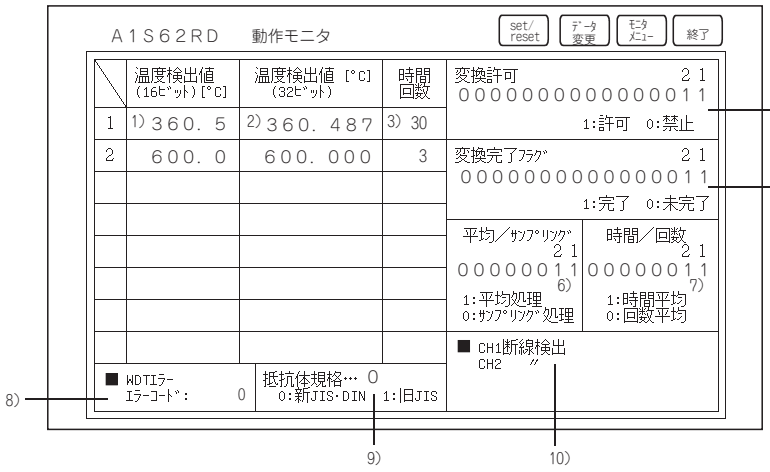
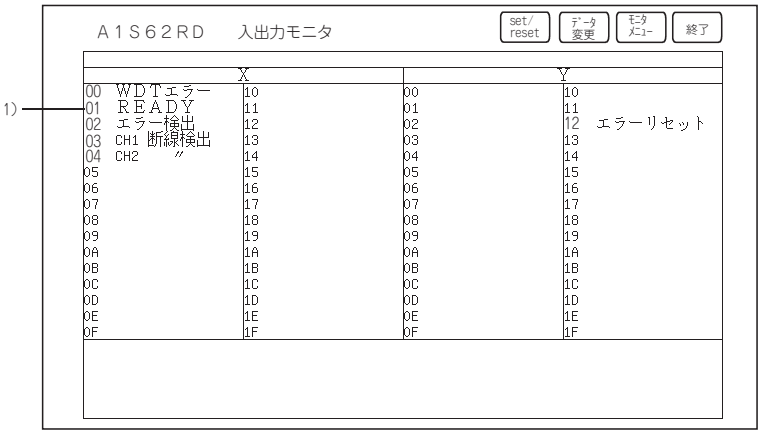
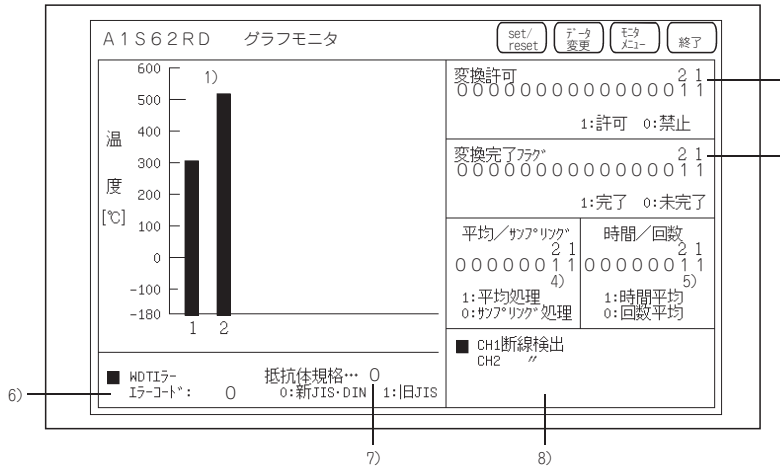
12.6 A1S62DA ユニットのモニタ

画面例	番号	バッファメモリアドレス	
		10 進数	16 進数
	1)	0	0000
	2)	1	0001
	3)	2	0002
	4)	—	—
	5)	1, 2	0001, 0002
	6)		
	7)		
	8)		
	9)		
	10)		
	11)	10	000A
	12)	11	000B
	13)	9	0009
	—	———	———

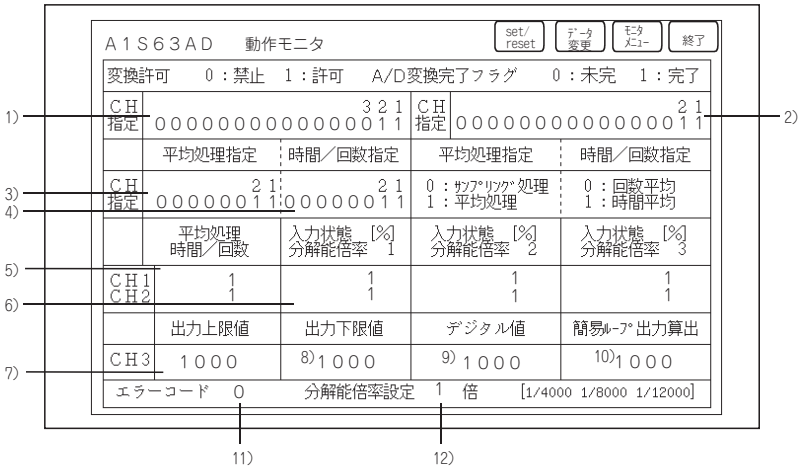
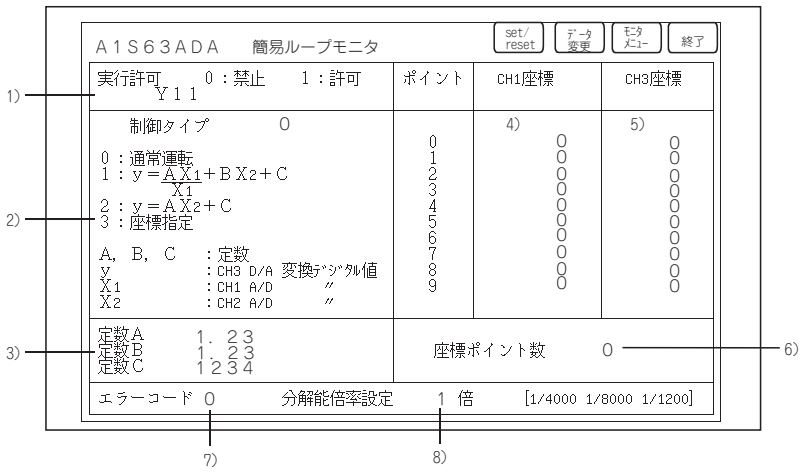
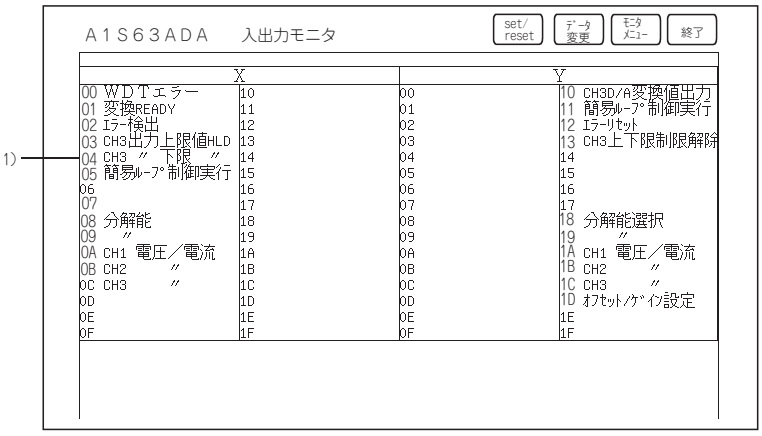
12.7 A62LS ユニットのモニタ

画面例	番号	バッファメモリアドレス	
		10 進数	16 進数
	1)	———	———
	2)	7	0007
	3)	4	0004
		8	0008
	4)	2, 3	0002, 0003
	5)	0, 1	0000, 0001
	6)	10, 11	000A, 000B
	7)	9	0009
	8)	5	0005
	9)	6	0006
	10)	12 ～ 226	000C ～ 00E2
	11)	12 ～ 226	000C ～ 00E2
	—	———	———
	1)	—	—
	—	———	———

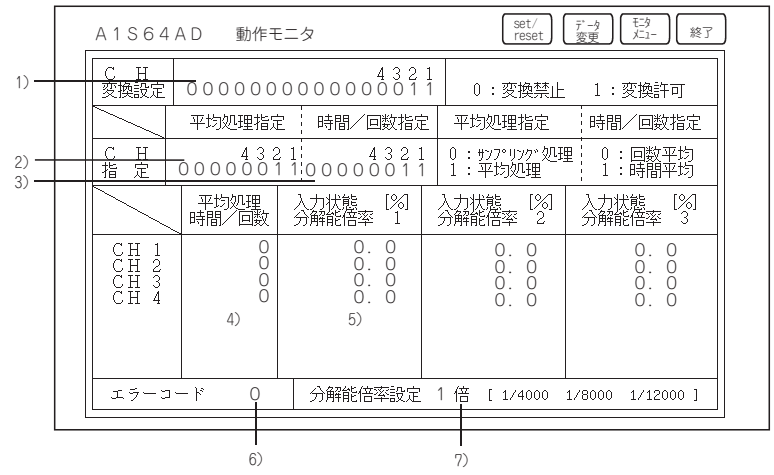
12.8 A1S62RD ユニットのモニタ

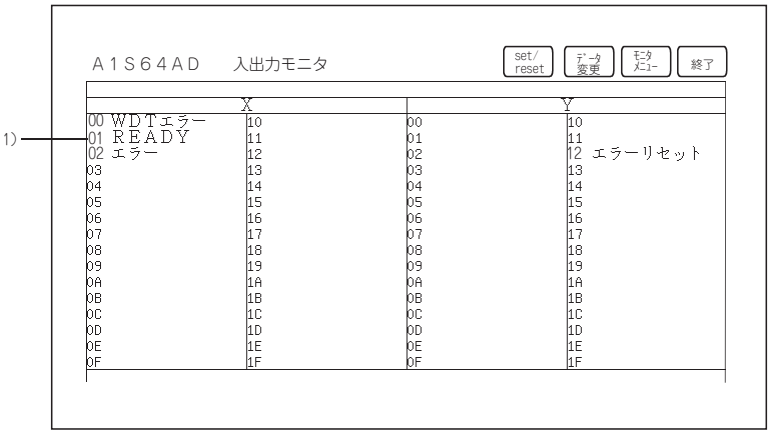
画面例	番号	バッファメモリアドレス	
		10 進数	16 進数
	1)	10, 11	000A, 000B
	2)	18 ～ 21	0012 ～ 0015
	3)	2, 3	0002, 0003
	4)	0	0000
	5)	35	0023
	6)	1	0001
	7)	1	0001
	8)	—	—
		34	0022
	9)	36	0024
	10)	—	—
	—	———	———
	1)	———	———
	—	———	———
	1)	10, 11	000A, 000B
	2)	0	0000
	3)	35	0023
	4)	1	0001
	5)	1	0001
	6)	———	———
		34	0022
	7)	36	0024
	8)	———	———
	—	———	———

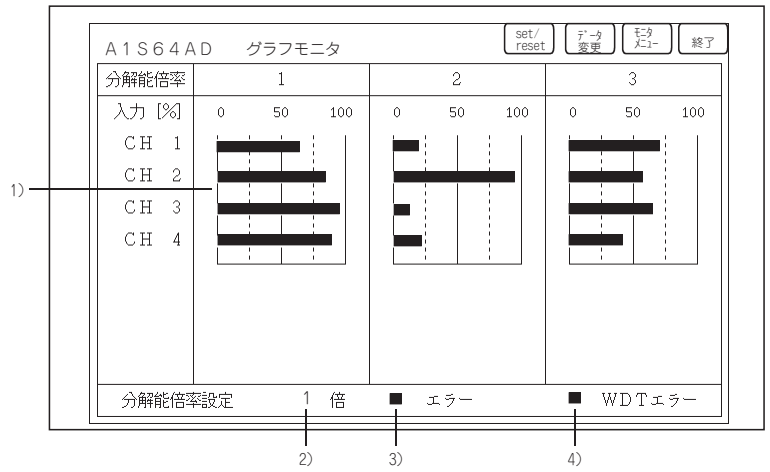
12.9 A1S63ADA ユニットのモニタ

画面例	番号	バッファメモリアドレス	
		10 進数	16 進数
	1)	0	0000
	2)	15	000F
	3)	1	0001
	4)		
	5)	2, 3	0002, 0003
	6)	11, 12	000B, 000C
	7)	4	0004
	8)	5	0005
	9)	10	000A
	10)	13	000D
	11)	16	0010
	12)	14	000E
	—	——	——
	1)	——	——
	2)	6	0006
	3)	7, 8, 9	0007, 0008, 0009
	4)	18 ～ 37	0012 ～ 0025
	5)		
	6)	17	0011
	7)	16	0010
	8)	14	000E
	—	——	——
	1)	——	——
	—	——	——

12.10 A1S64AD ユニットのモニタ

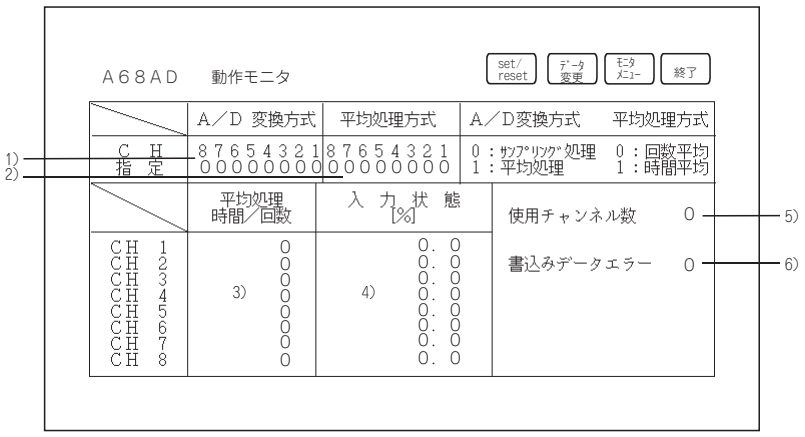




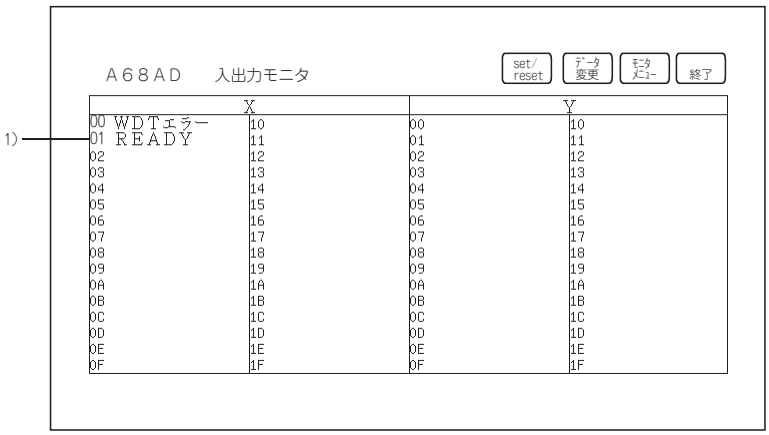


画面例	番号	バッファメモリアドレス	
		10 進数	16 進数
動作モニタ	1)	0	0000
	2)	1	0001
	3)	1	0001
	4)	2 ～ 5	0002 ～ 0005
	5)	10 ～ 13	000A ～ 000D
	6)	18	0012
	7)	20	0014
	—	———	———
入出力モニタ	1)	———	———
	—	———	———
グラフモニタ	1)	10 ～ 13	000A ～ 000D
	2)	20	0014
	3)	———	———
	4)	———	———
	—	———	———

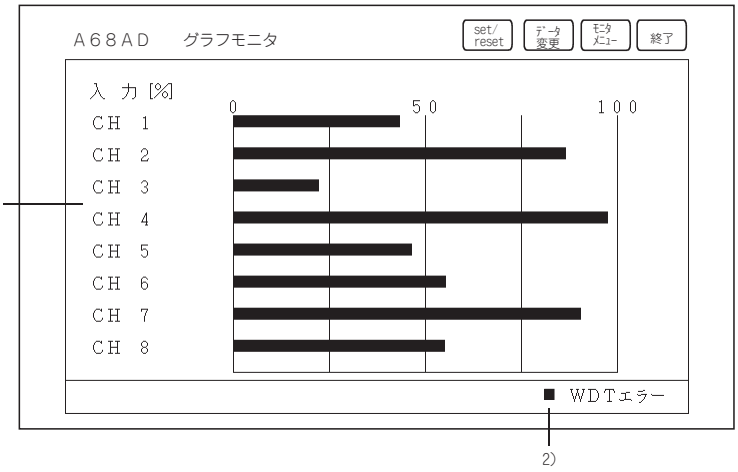
12.11 A68AD ユニットのモニタ



番号	バッファメモリアドレス	
	10 進数	16 進数
1)	1	0001
2)	1	0001
3)	2 ～ 9	0002 ～ 0009
4)	10 ～ 17	000A ～ 0011
5)	0	0000
6)	34	0022
—	———	———

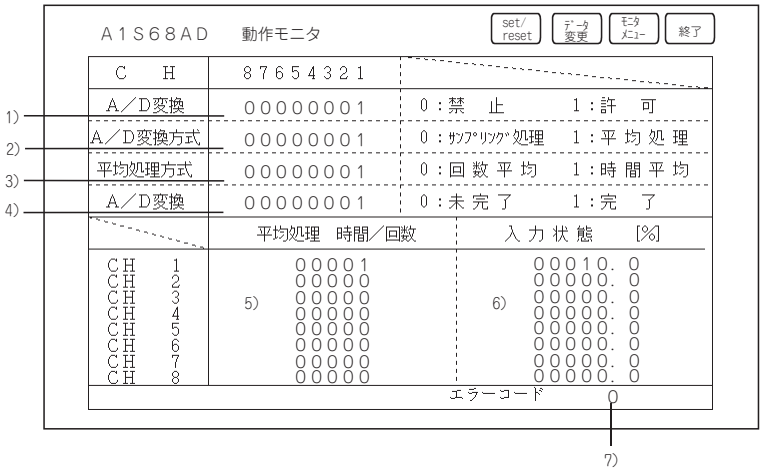


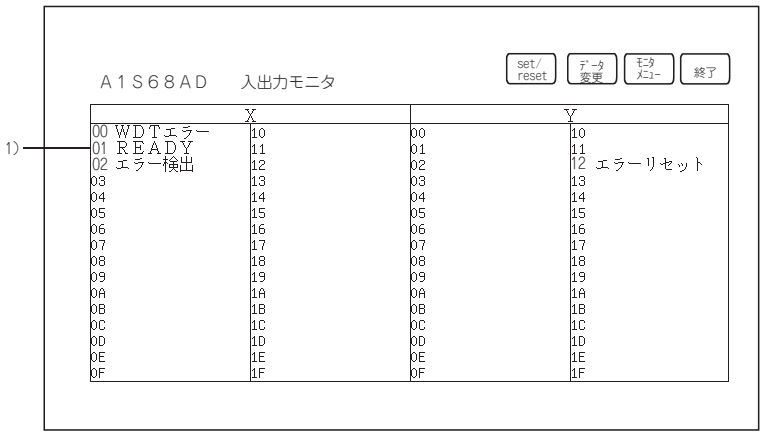
番号	バッファメモリアドレス	
	10 進数	16 進数
1)	———	———
—	———	———

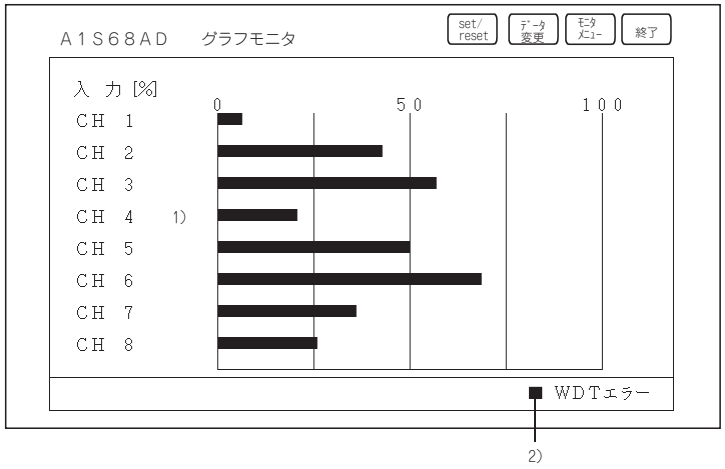


番号	バッファメモリアドレス	
	10 進数	16 進数
1)	10 ～ 17	000A ～ 0011
2)	—	—
—	———	———

12.12 A1S68AD ユニットのモニタ

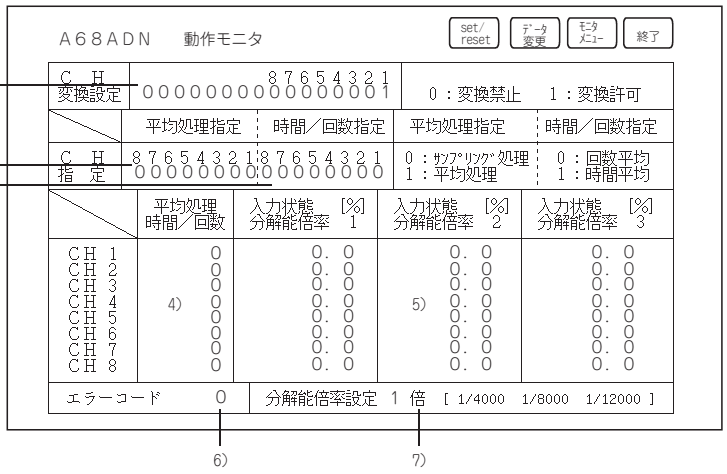
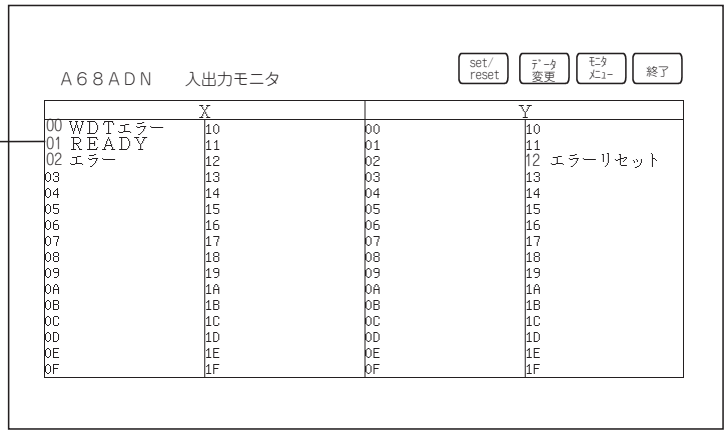
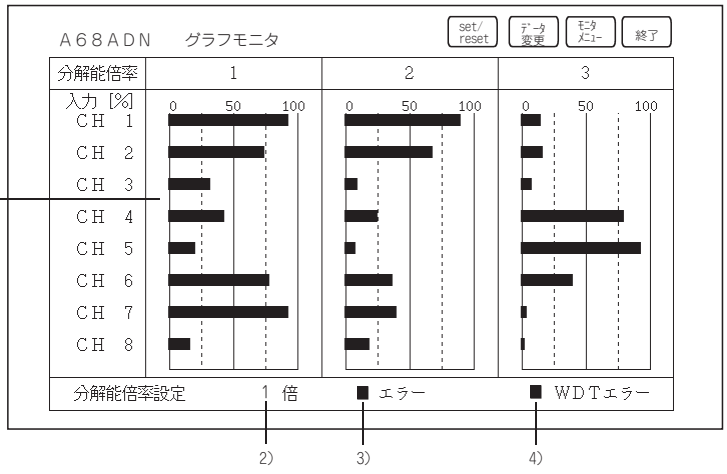




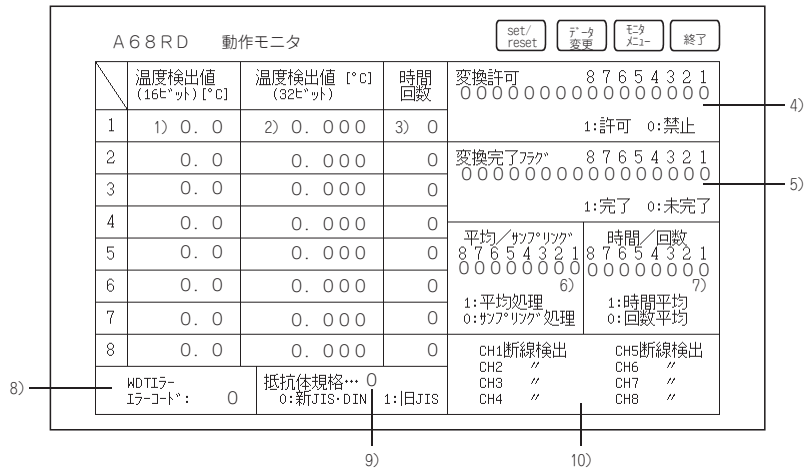
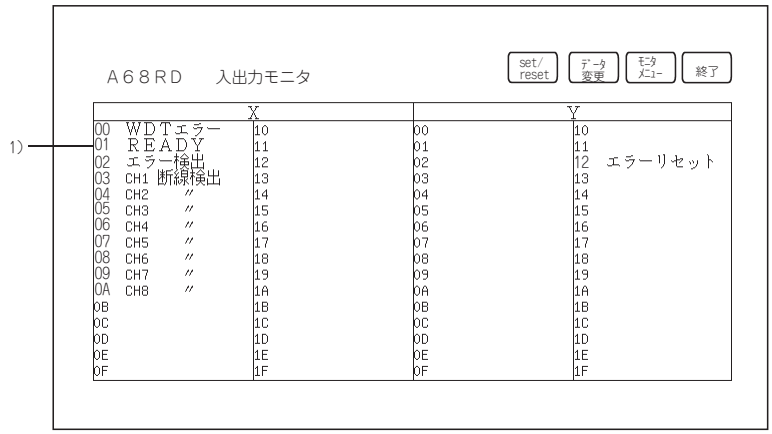
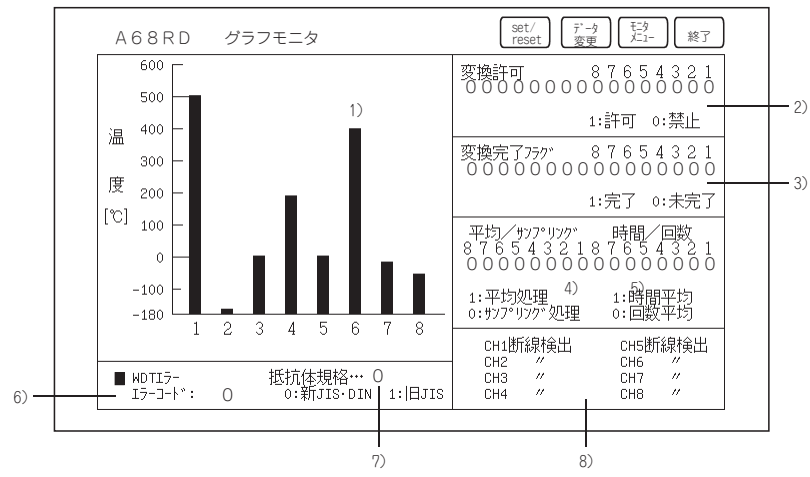


番号	バッファメモリアドレス	
	10 進数	16 進数
1)	0	0000
2)	2	0002
3)	2	0002
4)	28	001C
5)	10 ～ 17	000A ～ 0011
6)	20 ～ 27	0014 ～ 001B
7)	1	0001
—	———	———
1)	———	———
—	———	———
1)	20 ～ 27	0014 ～ 001B
2)	———	———
—	———	———

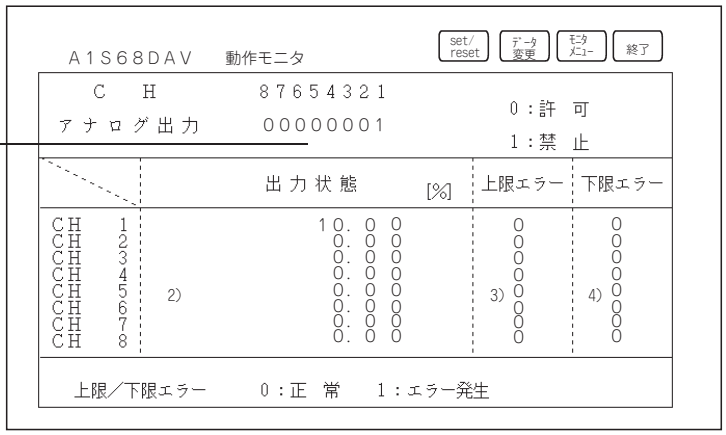
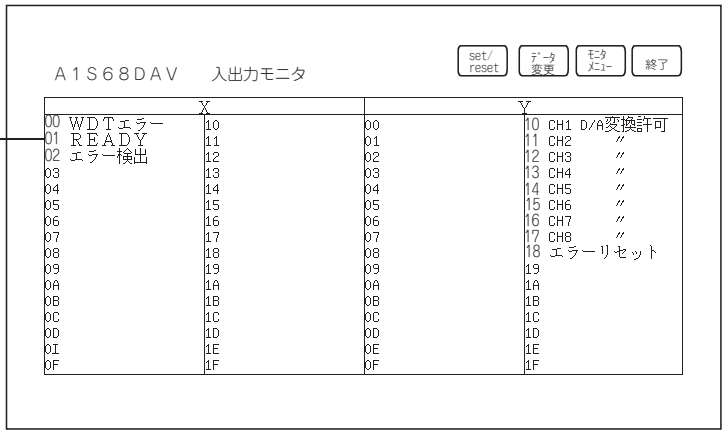
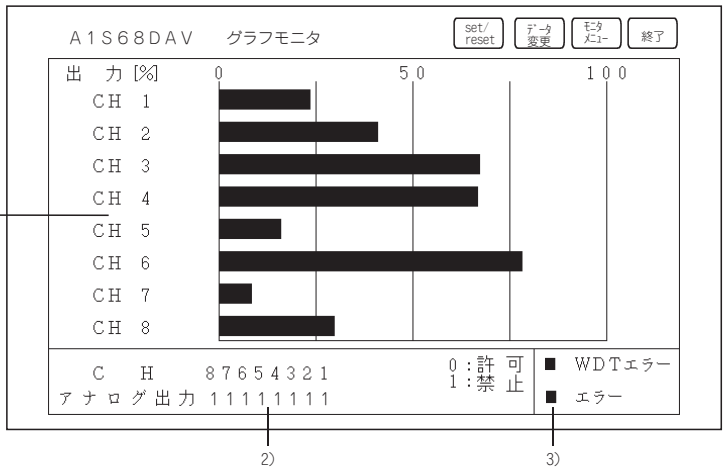
12.13 A68ADN ユニットのモニタ

画面例	番号	バッファメモリアドレス	
		10 進数	16 進数
	1)	0	0000
	2)	1	0001
	3)	1	0001
	4)	2 ～ 9	0002 ～ 0009
	5)	10 ～ 17	000A ～ 0011
	6)	18	0012
	7)	20	0014
	—	———	———
	1)	———	———
	—	———	———
	1)	10 ～ 17	000A ～ 0011
	2)	20	0014
	3)	———	———
	4)	———	———
	—	———	———

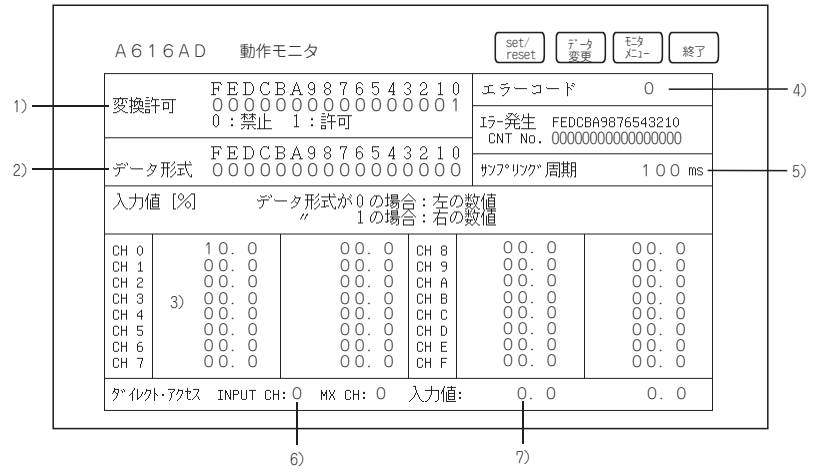
12.14 A68RD ユニットのモニタ

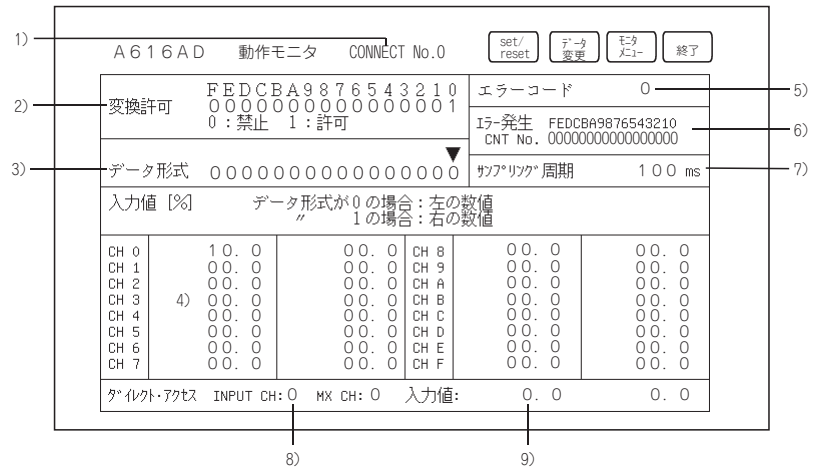
画面例	番号	バッファメモリアドレス	
		10 進数	16 進数
	1)	10 ～ 17	000A ～ 0011
	1)	18 ～ 33	0012 ～ 0021
	2)	2 ～ 9	0002 ～ 0009
	3)	0	0000
	4)	35	0023
	5)	1	0001
	6)	1	0001
	7)	———	———
	8)	34	0022
	9)	36	0024
	10)	———	———
	—	———	———
	1)	———	———
	—	———	———
	1)	10 ～ 17	000A ～ 0011
	2)	0	0000
	3)	35	0023
	4)	1	0001
	5)	1	0001
	6)	—	—
		34	0022
	7)	36	0024
	8)	—	—
	—	———	———

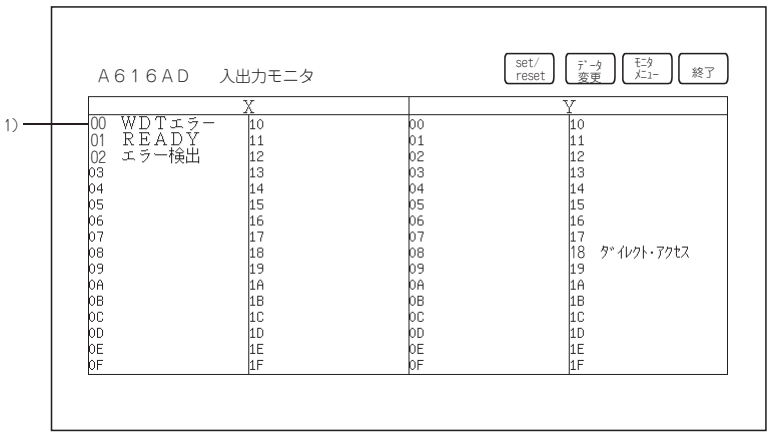
12.15 A1S68DAI,A1S68DAV ユニットのモニタ

画面例	番号	バッファメモリアドレス	
		10 進数	16 進数
	1)	0	0000
	2)	1 ～ 8	0001 ～ 0008
	3)	10 ～ 17	000A ～ 0011
	4)	10 ～ 17	000A ～ 0011
	—	———	———
	1)	———	———
	—	———	———
	1)	1 ～ 8	0001 ～ 0008
	2)	0	0000
	3)	—	—
	4)	10 ～ 17	000A ～ 0011
	—	———	———

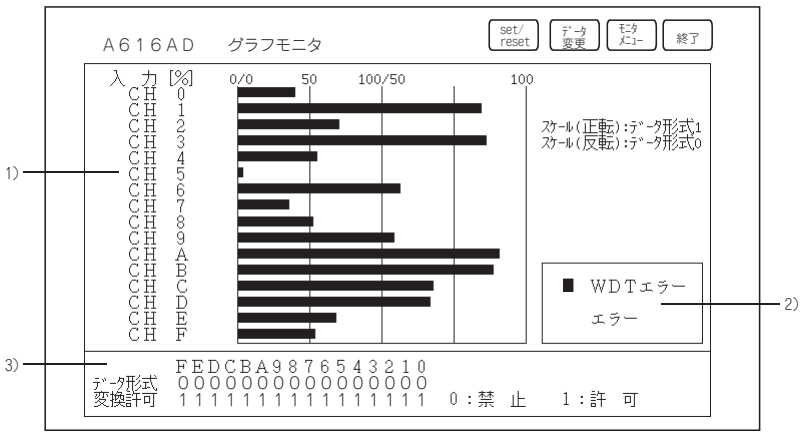
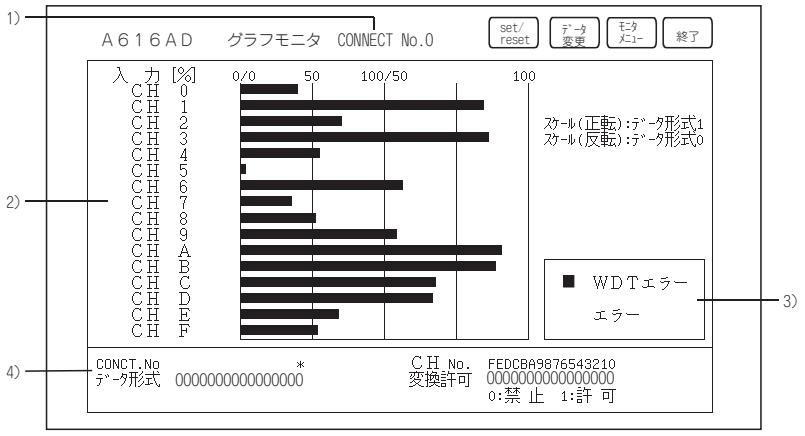
12.16 A616AD ユニットのモニタ



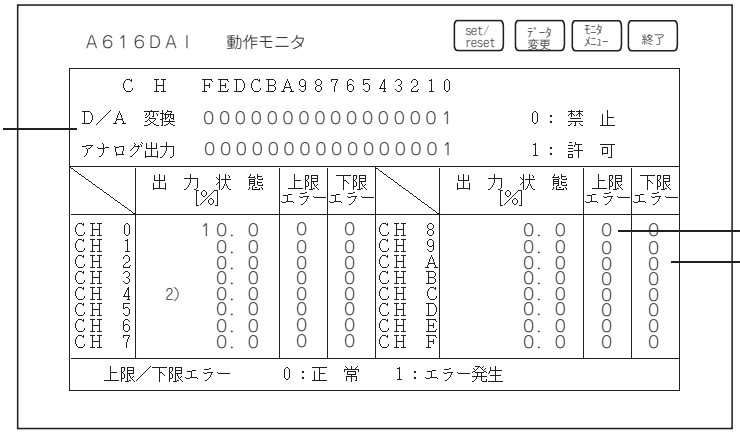
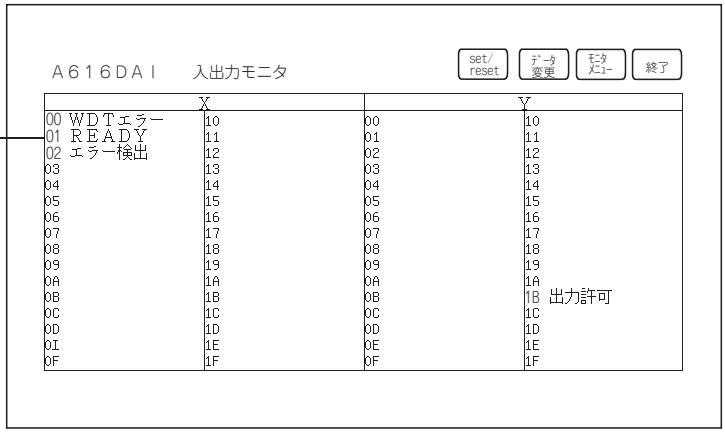
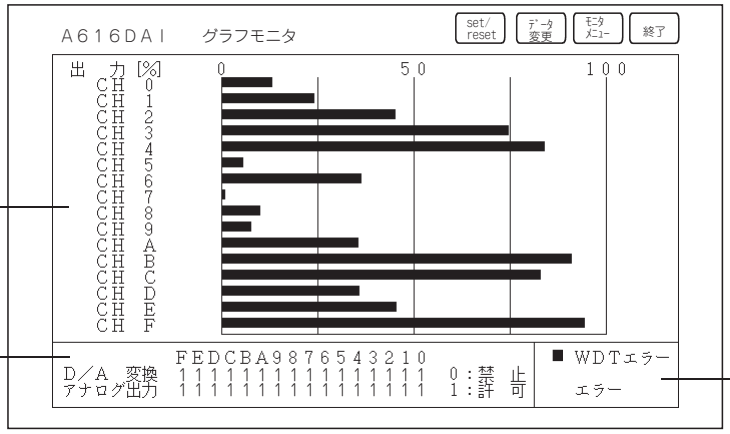




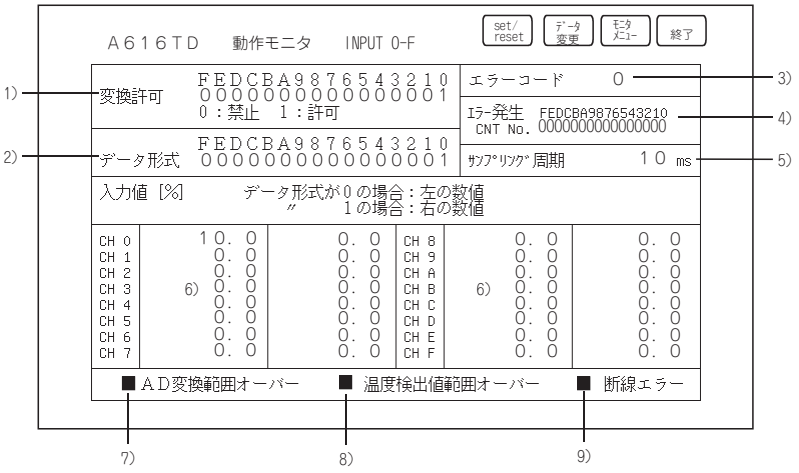
画面例	番号	バッファメモリアドレス	
		10 進数	16 進数
	1)	15	000F
	2)	4	0004
	3)	48 ～ 63	0030 ～ 003F
	4)	5	0005
	5)	3	0003
	6)	0	0000
	7)	2	0002
	—	———	———
	1)	—	—
	2)	16 ～ 23	0010 ～ 0017
	3)	4	0004
	4)	256 ～ 383	0100 ～ 017F
	5)	5	0005
	6)	6	0006
	7)	3	0003
	8)	1	0001
	9)	2	0002
	—	———	———
	1)	———	———
	—	———	———

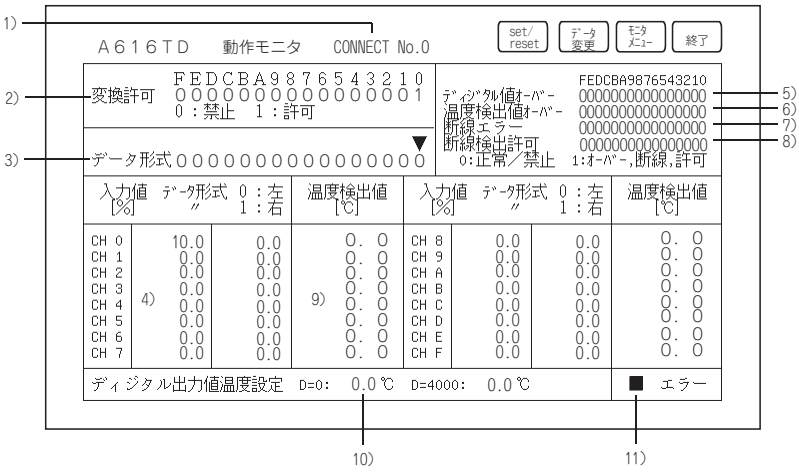
画面例	番号	バッファメモリアドレス	
		10 進数	16 進数
	1)	48 ～ 63	0030 ～ 003F
	2)	———	———
		———	———
	3)	4	0004
		15	000F
	—	———	———
	1)	———	———
	2)	256 ～ 383	0100 ～ 017F
	3)	—	—
		—	—
	4)	4	0004
		16 ～ 23	0010 ～ 0017
	—	———	———

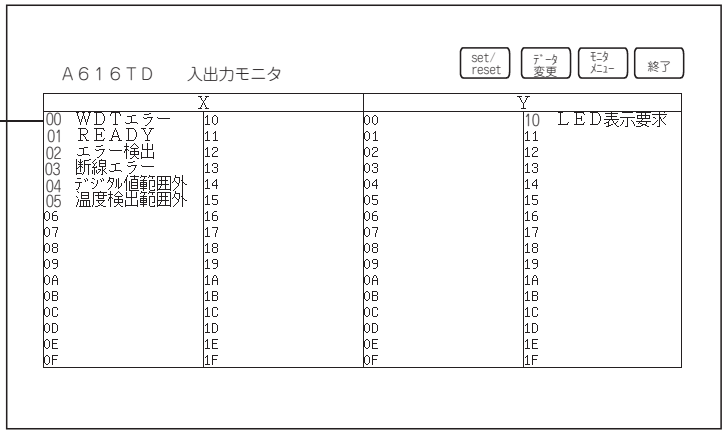
12.17 A616DAI,A616DAV ユニットのモニタ

画面例	番号	バッファメモリアドレス	
		10 進数	16 進数
	1)	0	0000
		1	0001
	2)	—	0010 ～ 001F
	3)	48 ～ 63	0030 ～ 003F
	4)	48 ～ 63	0030 ～ 003F
	—	———	———
	1)	———	———
	—	———	———
	1)	16 ～ 31	10 ～ 1F
	2)	0	0
		1	1
	3)	———	———
		———	———
	—	———	———

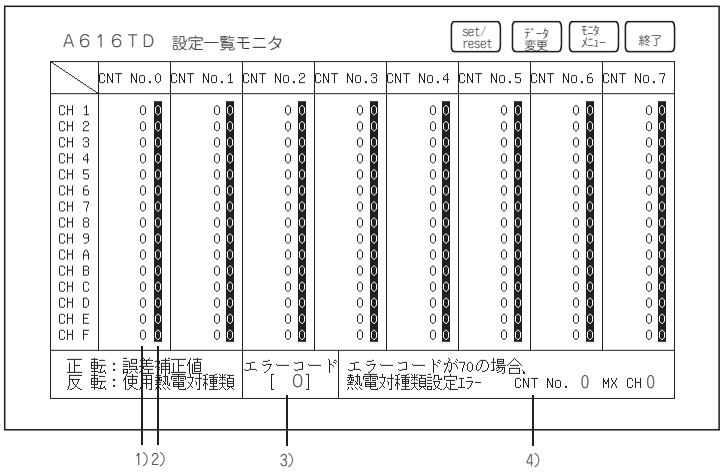
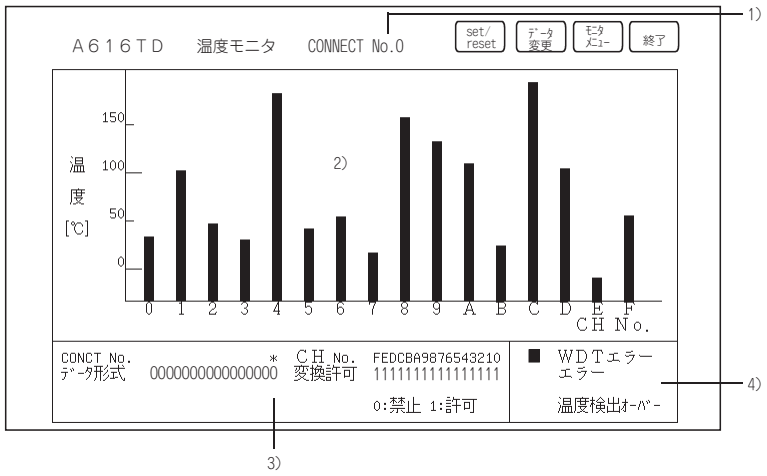
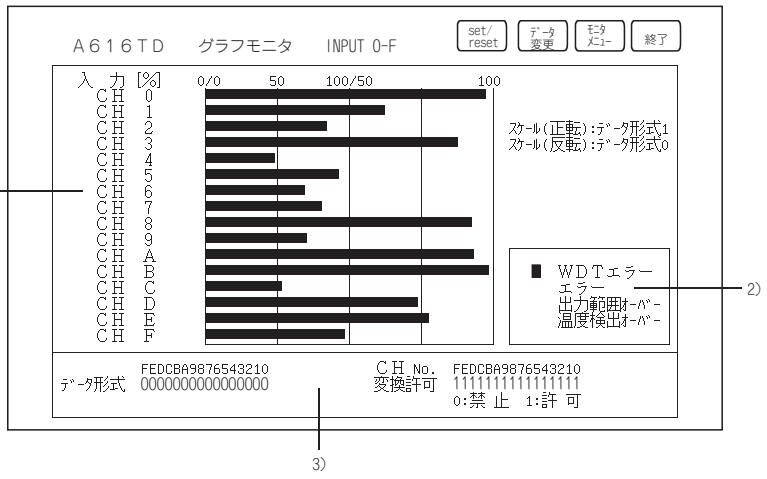
12.18 A616TD ユニットのモニタ

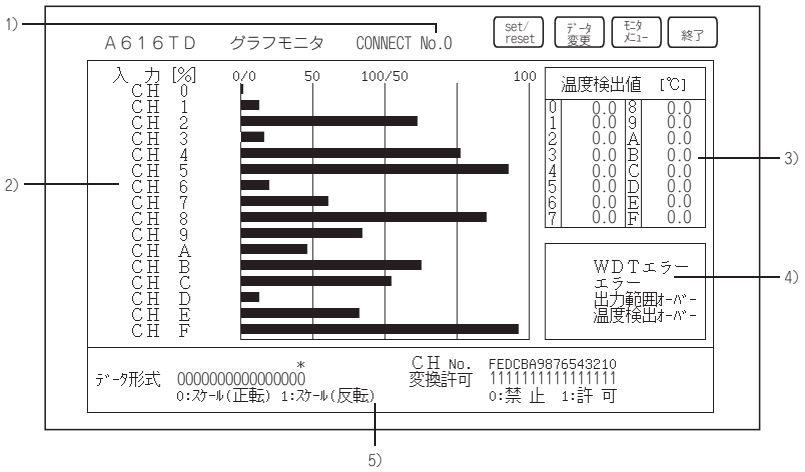




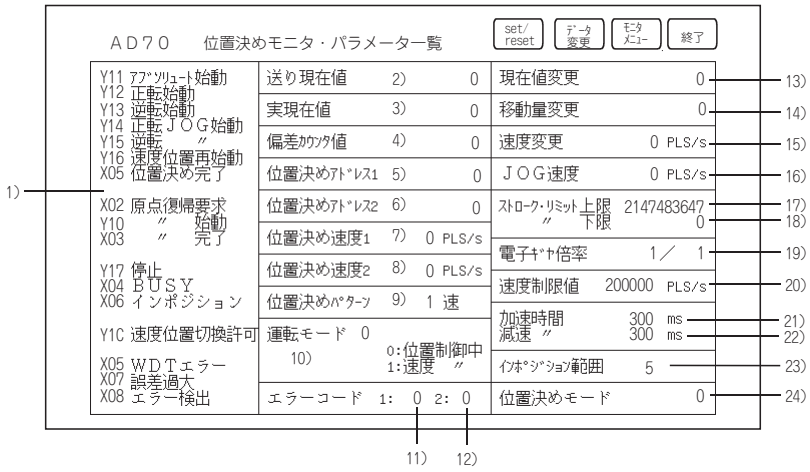


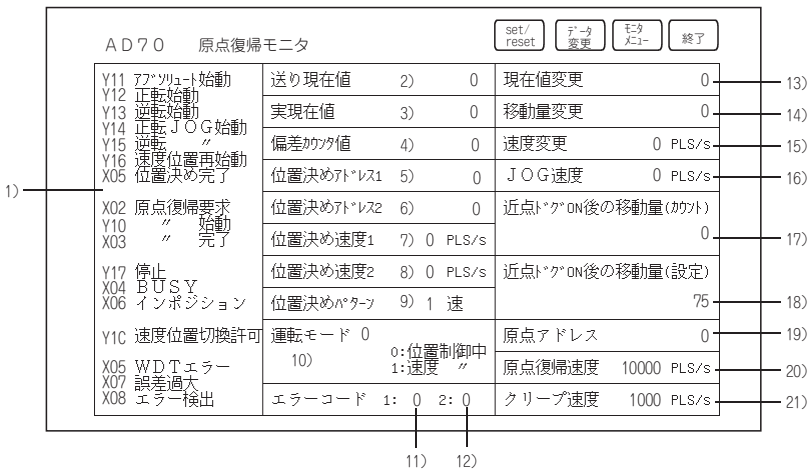
画面例	番号	バッファメモリアドレス	
		10 進数	16 進数
	1)	15	000F
	2)	0	0000
	3)	1	0001
	4)	2	0002
	5)	4	0004
	6)	112 ～ 127	0070 ～ 007F
	7)	———	———
	8)	———	———
	9)	———	———
	—	———	———
	1)	———	———
	2)	16 ～ 23	0010 ～ 0017
	3)	0	0000
	4)	384 ～ 511	0180 ～ 01FF
	5)	80 ～ 87	0050 ～ 0057
	6)	96 ～ 103	0060 ～ 0067
	7)	64 ～ 71	0040 ～ 0047
	8)	32 ～ 39	0020 ～ 0027
	9)	512 ～ 639	0200 ～ 027F
	10)	48 ～ 63	0030 ～ 003F
	11)	———	———
	—	———	———
	1)	———	———
	—	———	———

画面例	番号	バッファメモリアドレス	
		10 進数	16 進数
	1)	256 ～ 383	0100 ～ 017F
	2)	128 ～ 255	0080 ～ 00FF
	3)	1	0001
	4)	3	0003
	—	———	———
	1)	———	———
	2)	512 ～ 639	0200 ～ 027F
	3)	0	0000
		16 ～ 23	0010 ～ 0017
	4)	———	———
	—	———	———
	1)	16 ～ 23	0070 ～ 007F
	2)	———	———
	3)	0	0000
	4)	15	000F
	—	———	———

画面例	番号	バッファメモリアドレス	
		10 進数	16 進数
	1)	―――	―――
	2)	384 ～ 511	0180 ～ 01FF
	3)	512 ～ 639	0200 ～ 027F
	4)	―――	―――
	5)	0	0000
		16 ～ 23	0010 ～ 0017
	—	―――	―――

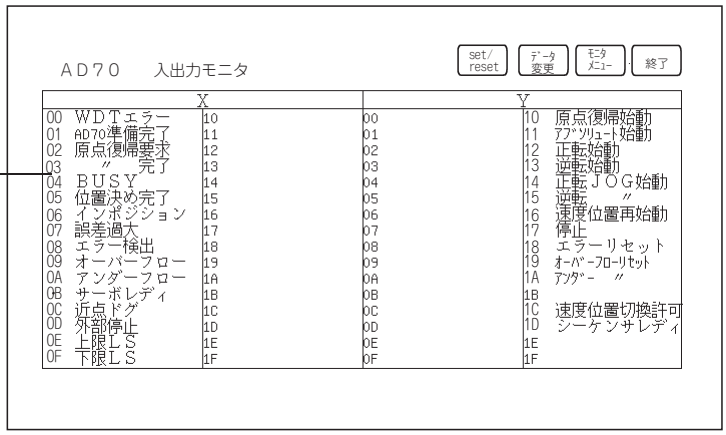
12.19 AD70,A1SD70 ユニットのモニタ





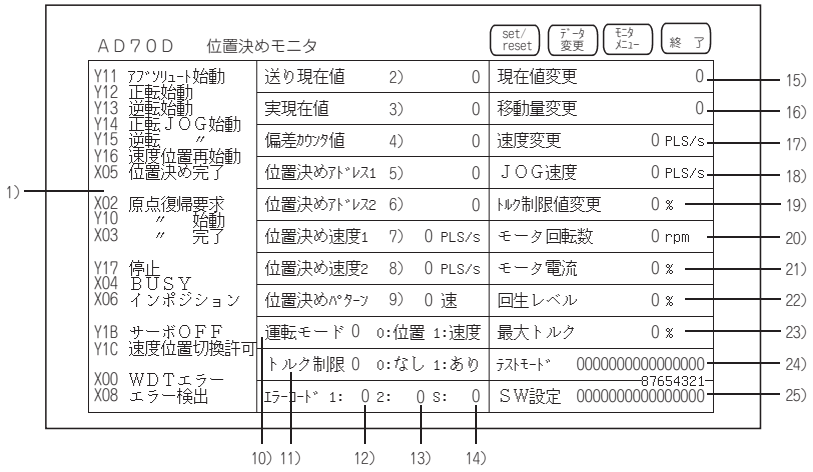
番号	バッファメモリアドレス	
	10 進数	16 進数
1)	―――	―――
2)	100, 101	0064, 0065
3)	102, 103	0066, 0067
4)	106, 107	006A, 006B
5)	61, 62	003D, 003E
6)	65, 66	0041, 0042
7)	63, 64	003F, 0040
8)	67, 68	0043, 0044
9)	60	003C
10)	111	006F
11)	104	0068
12)	105	0069
13)	80, 81	0050, 0051
14)	88, 89	0058, 0059
15)	82, 83	0052, 0053
16)	84, 85	0054, 0055
17)	0, 1	0000, 0001
18)	2, 3	0002, 0003
19)	4, 5	0004, 0005
20)	20, 21	0014, 0015
21)	22	0016
22)	23	0017
23)	24	0018
24)	25	0019

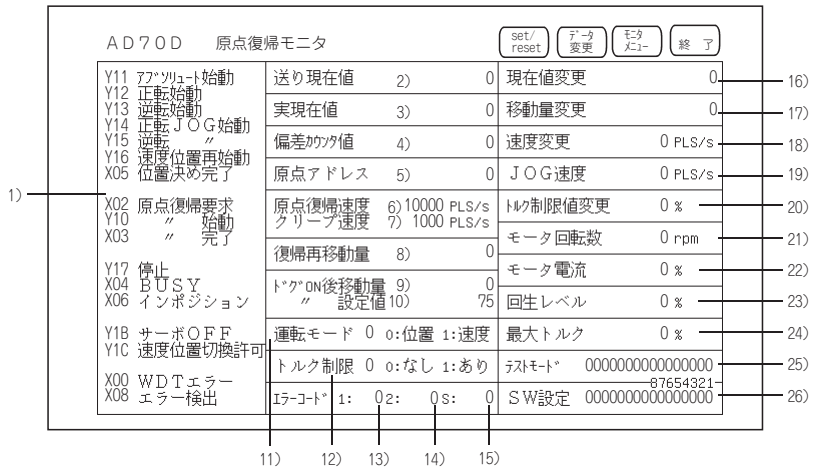
番号	バッファメモリアドレス	
	10 進数	16 進数
1)	―――	―――
2)	100, 101	0064, 0065
3)	102, 103	0066, 0067
4)	106, 107	006A, 006B
5)	61, 62	003D, 003E
6)	65, 66	0041, 0042
7)	63, 64	003F, 0040
8)	67, 68	0043, 0044
9)	60	003C
10)	111	006F
11)	104	0068
12)	105	0069
13)	80, 81	0050, 0051
14)	88, 89	0058, 0059
15)	82, 83	0052, 0053
16)	84, 85	0054, 0055
17)	108, 109	006C, 006D
18)	46, 47	002E, 002F
19)	40, 41	0028, 0029
20)	42, 43	002A, 002B
21)	44, 45	002C, 002D

画面例	番号	バッファメモリアドレス	
		10 進数	16 進数
	1)	―――	―――
	—	―――	―――

12.20 AD70D ユニットのモニタ

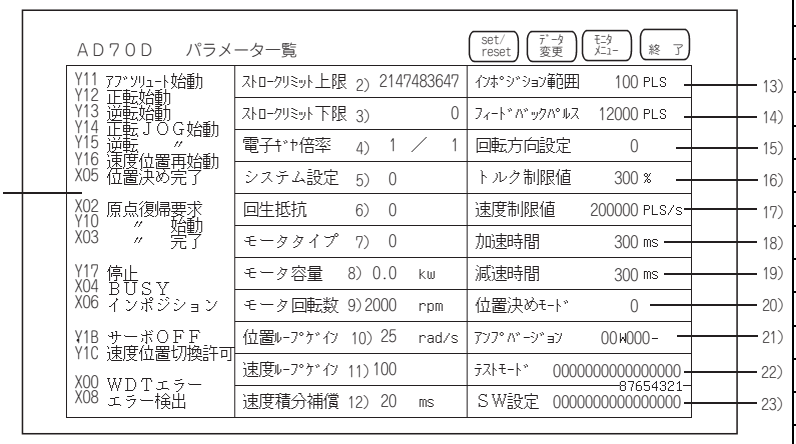
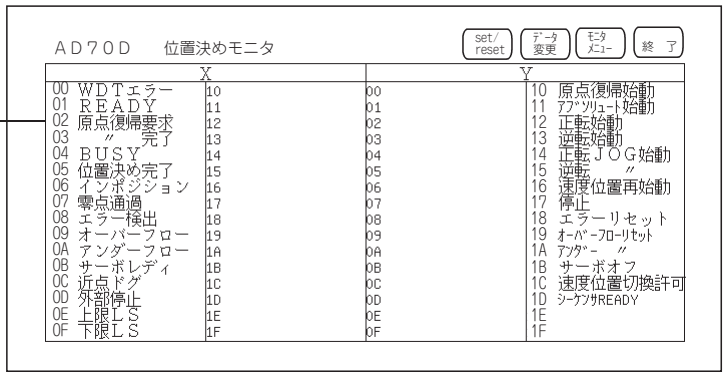
画面例



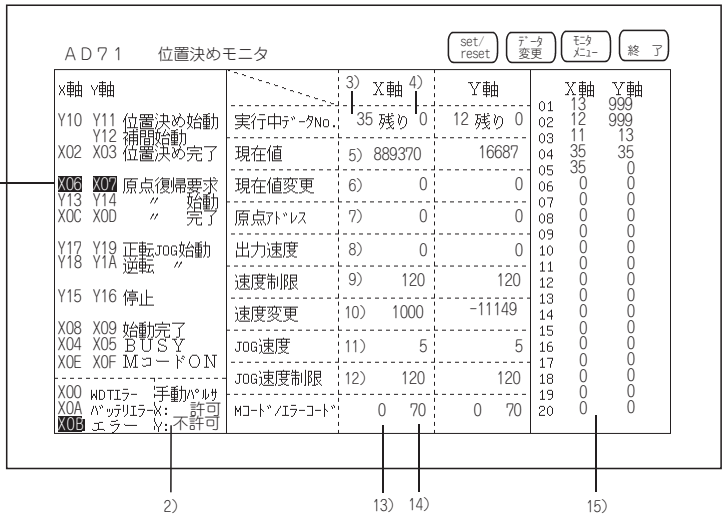


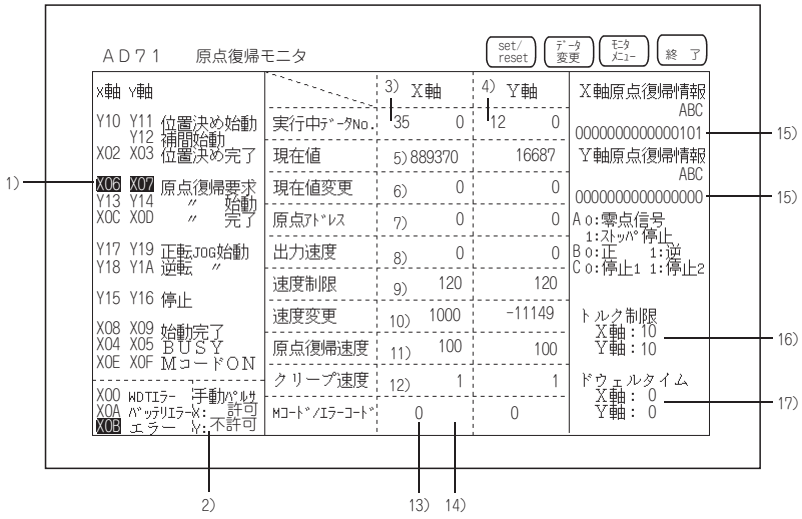
番号	バッファメモリアドレス	
	10 進数	16 進数
1)	———	———
2)	100, 101	0064, 0065
3)	102, 103	0066, 0067
4)	104, 105	0068, 0069
5)	61, 62	003D, 003E
6)	65, 66	0041, 0042
7)	63, 64	003F, 0040
8)	67, 68	0043, 0044
9)	60	003C
10)	119	0077
11)	120	0078
12)	121	0079
13)	122	007A
14)	123	007B
15)	80, 81	0050, 0051
16)	86, 87	0056, 0057
17)	82, 83	0052, 0053
18)	84, 85	0054, 0055
19)	89	0059
20)	110	006E
21)	111	006F
22)	112	0070
23)	113	0071
24)	125	007D
25)	126	007E

番号	バッファメモリアドレス	
	10 進数	16 進数
1)	———	———
2)	100, 101	0064, 0065
3)	102, 103	0066, 0067
4)	104, 105	0068, 0069
5)	30, 31	001E, 001F
6)	32, 33	0020, 0021
7)	34, 35	0022, 0023
8)	108, 109	006C, 006D
9)	106, 107	006A, 006B
10)	36, 37	0024, 0025
11)	119	0077
12)	120	0078
13)	121	0079
14)	122	007A
15)	123	007B
16)	80, 81	0050, 0051
17)	86, 87	0056, 0057
18)	82, 83	0052, 0053
19)	84, 85	0054, 0055
20)	89	0059
21)	110	006E
22)	111	006F
23)	112	0070
24)	113	0071
25)	125	007D
26)	126	007E

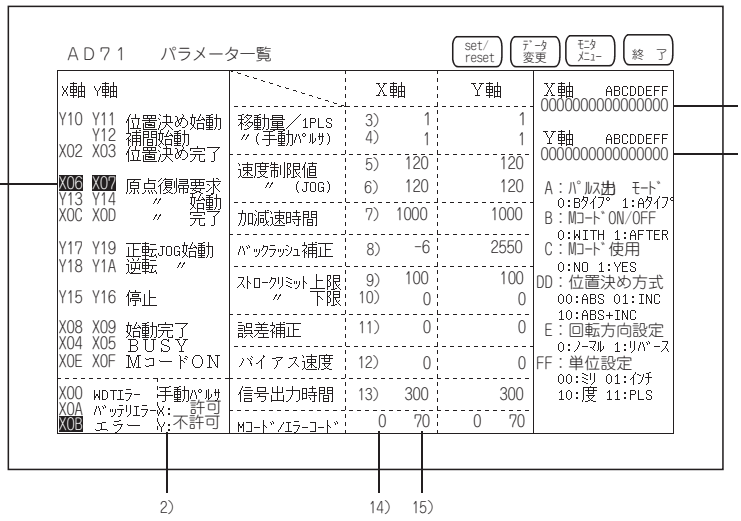
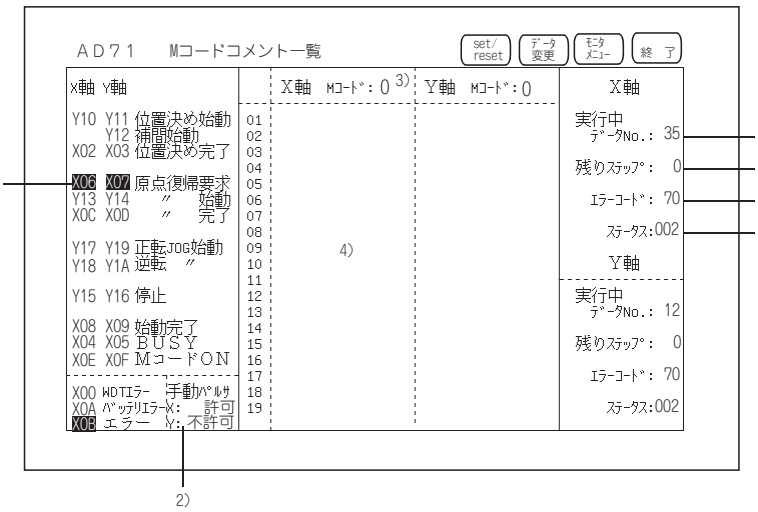
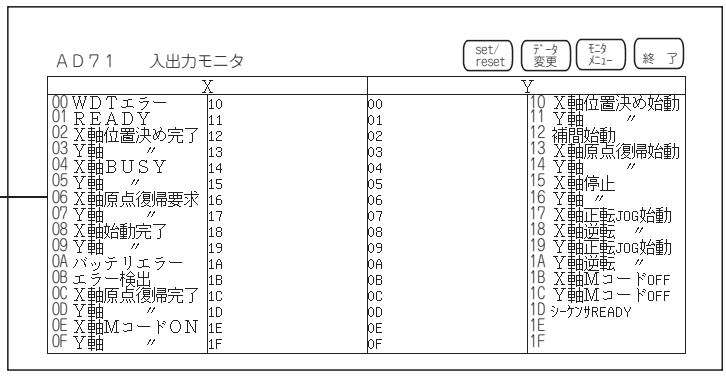
画面例	番号	バッファメモリアドレス	
		10 進数	16 進数
	1)	———	———
	2)	0, 1	0000, 0001
	3)	2, 3	0002, 0003
	4)	4, 5	0004, 0005
	5)	10	000A
	6)	11	000B
	7)	12	000C
	8)	13	000D
	9)	14	000E
	10)	15	000F
	11)	16	0010
	12)	17	0011
	13)	18	0012
	14)	19	0013
	15)	20	0014
	16)	21	0015
	17)	40, 41	0028, 0029
	18)	42	002A
	19)	43	002B
	20)	44	002C
	21)	114 ～ 117	0072 ～ 0075
	22)	125	007D
	23)	126	007E
	1)	———	———
	—	———	———

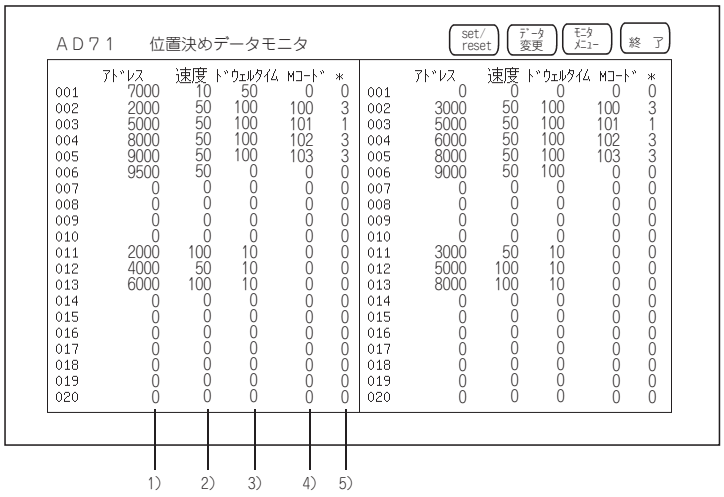
12.21 AD71 ユニットのモニタ



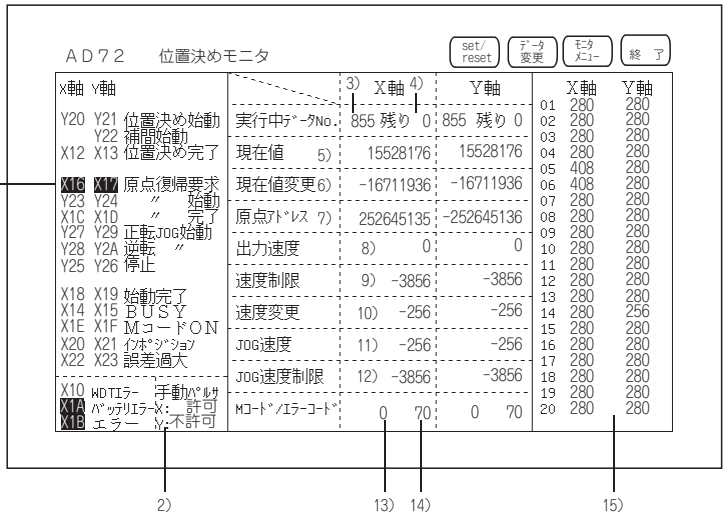


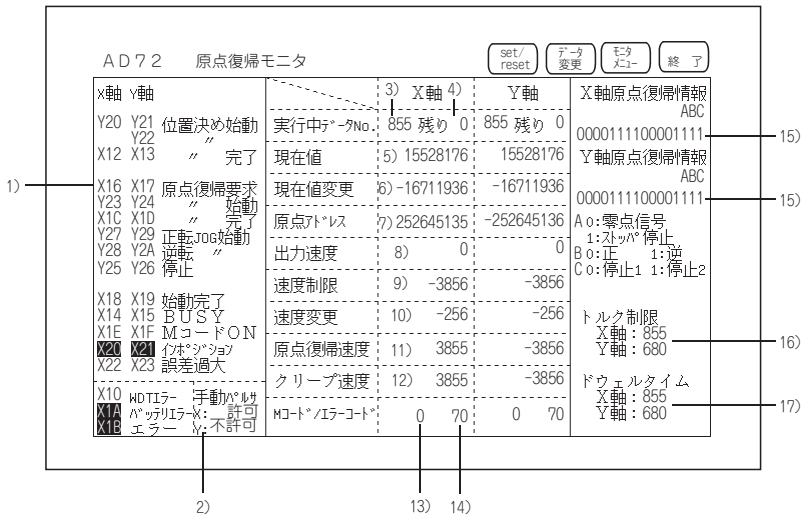
画面例	番号	バッファメモリアドレス			
		X 軸		Y 軸	
		10 進数	16 進数	10 進数	16 進数
	1)	——	——	——	——
	2)	47	002F	347	015B
	3)	48	0030	348	015C
	4)	39	0027	339	0153
	5)	602	025A	604	025C
		603	025B	605	025D
	6)	41	0029	341	0155
		42	002A	342	0156
	7)	7912	1EE8	7922	1EF2
		7913	1EE9	7923	1EF3
	8)	600	0258	601	0259
	9)	7874	1EC2	7894	1ED6
	10)	40	0028	340	0154
	11)	44	002C	344	0158
	12)	7875	1EC3	7895	1ED7
	13)	46	002E	346	015A
	14)	45	002D	345	0159
	15)	0 ～ 37	0000 ～ 0025	300 ～ 337	012C ～ 0151
	1)	——	——	——	——
	2)	47	002F	347	015B
	3)	48	0030	348	015C
	4)	39	0027	339	0153
	5)	602	025A	604	025C
		603	025B	605	025D
	6)	41	0029	341	0155
		42	002A	342	0156
	7)	7912	1EE8	7922	1EF2
		7913	1EE9	7923	1EF3
	8)	600	0258	601	0259
	9)	7874	1EC2	7894	1ED6
	10)	40	0028	340	0154
	11)	7914	1EEA	7924	1EF4
	12)	7915	1EEB	7925	1EF5
	13)	46	002E	346	015A
	14)	45	002D	345	0159
	15)	7918	1EEE	7928	1EF8
	16)	7917	1EED	7927	1EF7
	17)	7916	1EEC	7926	1EF6

画面例	番号	バッファメモリアドレス			
		X軸		Y軸	
		10進数	16進数	10進数	16進数
	1)	——	——	——	——
	2)	47	002F	347	015B
	3)	7873	1EC1	7893	1ED5
	4)	7884	1ECC	7904	1EE0
		7885	1ECD	7905	1EE1
	5)	7874	1EC2	7894	1ED6
	6)	7875	1EC3	7895	1ED7
	7)	7876	1EC4	7896	1ED8
	8)	7877	1EC5	7897	1ED9
	9)	7878	1EC6	7898	1EDA
		7879	1EC7	7899	1EDB
	10)	7880	1EC8	7900	1EDC
		7881	1EC9	7901	1EDD
	11)	7882	1ECA	7902	1EDE
		7883	1ECB	7903	1EDF
	12)	7886	1ECE	7906	1EE2
	13)	7887	1ECF	7907	1EE3
	14)	46	002E	346	015A
	15)	45	002D	345	0159
	16)	7872	1EC0	7892	1ED4
	1)	——	——	——	——
	2)	47	002F	347	015B
	3)	46	002E	346	015A
	4)	49 ～ 200	0031 ～ 00C8	349 ～ 500	015D ～ 01F4
	5)	48	0030	348	015C
	6)	39	0027	339	0153
	7)	45	002D	345	0159
	8)	43	002B	343	0157
—	—	——	——	——	——
	1)	——	——	——	——
—	—	——	——	——	——

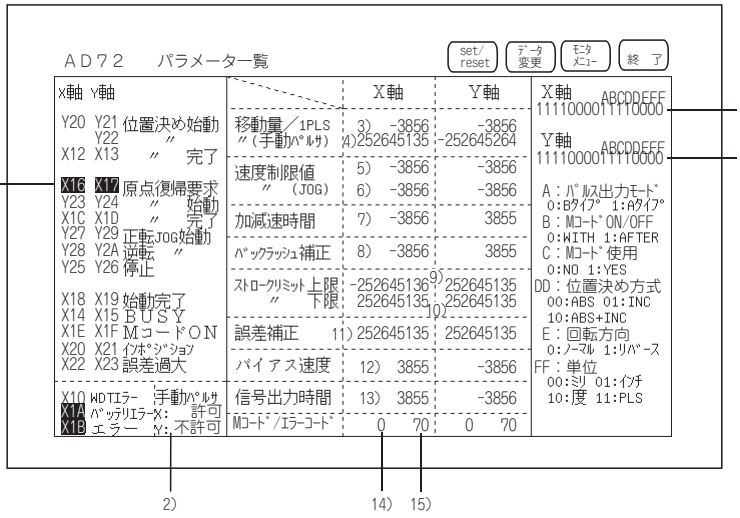
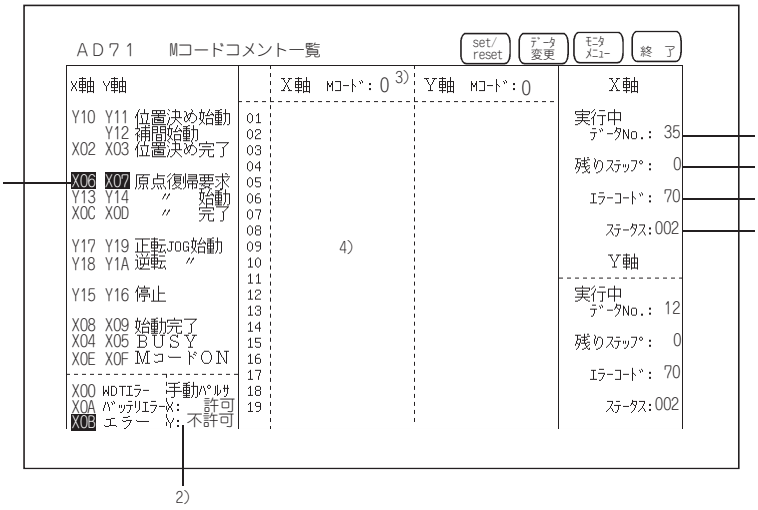
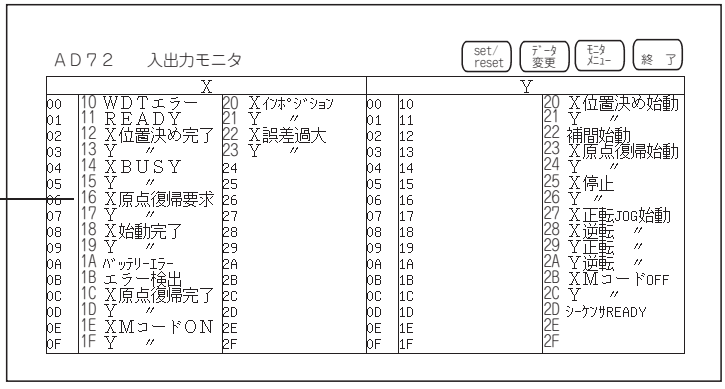
画面例	番号	バッファメモリアドレス			
		X 軸		Y 軸	
		10 進数	16 進数	10 進数	16 進数
	1)	5072 ～ 5111	13D0 ～ 13F7	7072 ～ 7111	1BA0 ～ 1BC7
	2)	4272 ～ 4291	10B0 ～ 10C3	6272 ～ 6291	1880 ～ 1893
	3)	4672 ～ 4691	1240 ～ 1253	6672 ～ 6691	1A10 ～ 1A23
	4)	3872 ～ 3891	0F20 ～ 0F33	5872 ～ 5891	16F0 ～ 1703
	5)	3872 ～ 3891	0F20 ～ 0F33	5872 ～ 5891	16F0 ～ 1703
	—	——	——	——	——

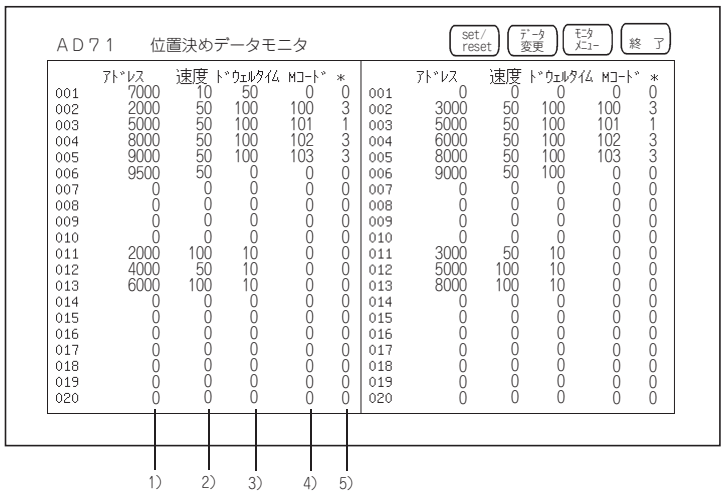
12.22 AD72,A1SD71 ユニットのモニタ



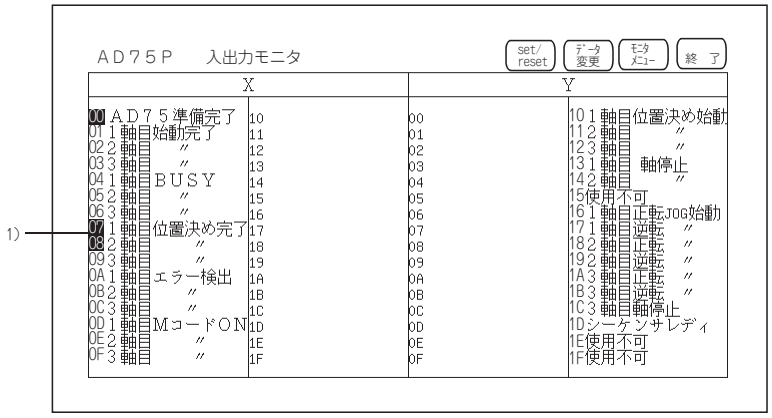


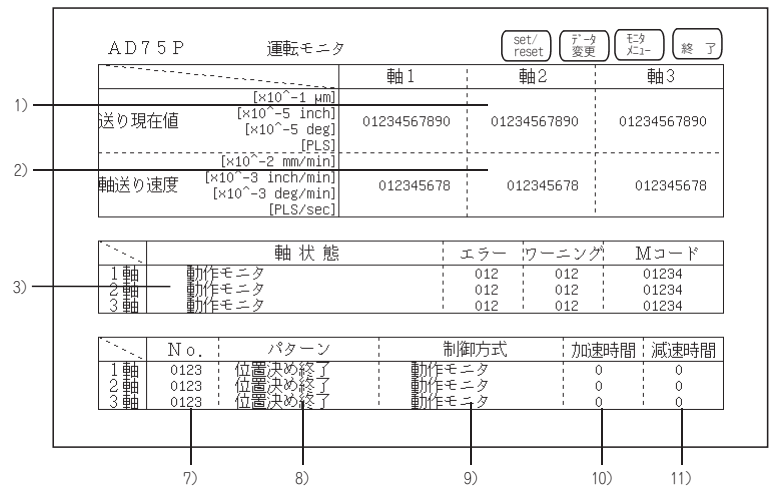
画面例	番号	バッファメモリアドレス			
		X 軸		Y 軸	
		10 進数	16 進数	10 進数	16 進数
	1)	——	——	——	——
	2)	47	002F	347	015B
	3)	48	0030	348	015C
	4)	39	0027	339	0153
	5)	602	025A	604	025C
		603	025B	605	025D
	6)	41	0029	341	0155
		42	002A	342	0156
	7)	7912	1EE8	7922	1EF2
		7913	1EE9	7923	1EF3
	8)	600	0258	601	0259
	9)	7874	1EC2	7894	1ED6
	10)	40	0028	340	0154
	11)	44	002C	344	0158
	12)	7875	1EC3	7895	1ED7
	13)	46	002E	346	015A
	14)	45	002D	345	0159
	15)	0 ～ 37	0000 ～ 0025	300 ～ 337	012C ～ 0151
	1)	——	——	——	——
	2)	47	002F	347	015B
	3)	48	0030	348	015C
	4)	39	0027	339	0153
	5)	602	025A	604	025C
		603	025B	605	025D
	6)	41	0029	341	0155
		42	002A	342	0156
	7)	7912	1EE8	7922	1EF2
		7913	1EE9	7923	1EF3
	8)	600	0258	601	0259
	9)	7874	1EC2	7894	1ED6
	10)	40	0028	340	0154
	11)	7914	1EEA	7924	1EF4
	12)	7915	1EEB	7925	1EF5
	13)	46	002E	346	015A
	14)	45	002D	345	0159
	15)	7918	1EEE	7928	1EF8
	16)	7917	1EED	7927	1EF7
	17)	7916	1EEC	7926	1EF6

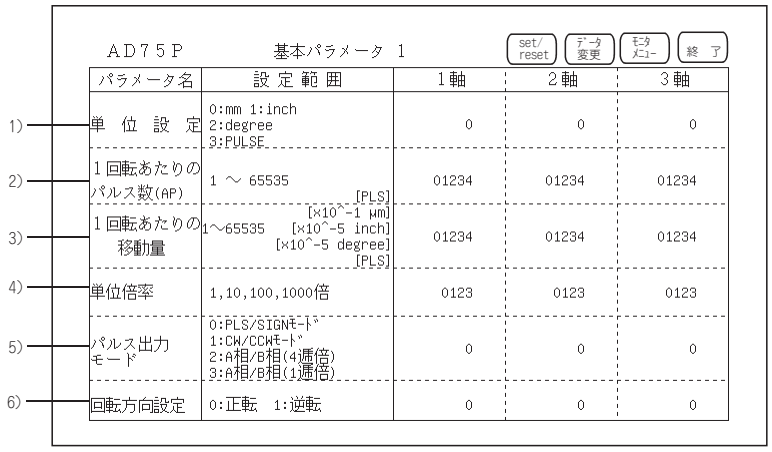
画面例	番号	バッファメモリアドレス			
		X 軸		Y 軸	
		10 進数	16 進数	10 進数	16 進数
	1)	——	——	——	——
	2)	47	002F	347	015B
	3)	7873	1EC1	7893	1ED5
	4)	7884	1ECC	7904	1EE0
		7885	1ECD	7905	1EE1
	5)	7874	1EC2	7894	1ED6
	6)	7875	1EC3	7895	1ED7
	7)	7876	1EC4	7896	1ED8
	8)	7877	1EC5	7897	1ED9
	9)	7878	1EC6	7898	1EDA
		7879	1EC7	7899	1EDB
	10)	7880	1EC8	7900	1EDC
		7881	1EC9	7901	1EDD
	11)	7882	1ECA	7902	1EDE
		7883	1ECB	7903	1EDF
	12)	7886	1ECE	7906	1EE2
	13)	7887	1ECF	7907	1EE3
	14)	46	002E	346	015A
	15)	45	002D	345	0159
	16)	7872	1EC0	7892	1ED4
	1)	——	——	——	——
	2)	47	002F	347	015B
	3)	46	002E	346	015A
	4)	49 ～ 200	0031 ～ 00C8	349 ～ 500	015D ～ 01F4
	5)	48	0030	348	015C
	6)	39	0027	339	0153
	7)	45	002D	345	0159
	8)	43	002B	343	0157
—	—	——	——	——	——
	1)	——	——	——	——
—	—	——	——	——	——

画面例	番号	バッファメモリアドレス			
		X 軸		Y 軸	
		10 進数	16 進数	10 進数	16 進数
	1)	5072 ～ 5111	13D0 ～ 13F7	7072 ～ 7111	1BA0 ～ 1BC7
	2)	4272 ～ 4291	10B0 ～ 10C3	6272 ～ 6291	1880 ～ 1893
	3)	4672 ～ 4691	1240 ～ 1253	6672 ～ 6691	1A10 ～ 1A23
	4)	3872 ～ 3891	0F20 ～ 0F33	5872 ～ 5891	16F0 ～ 1703
	5)	3872 ～ 3891	0F20 ～ 0F33	5872 ～ 5891	16F0 ～ 1703
	—	——	——	——	——

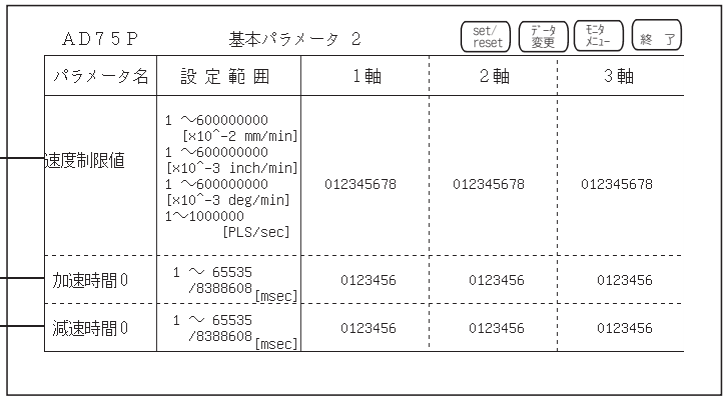
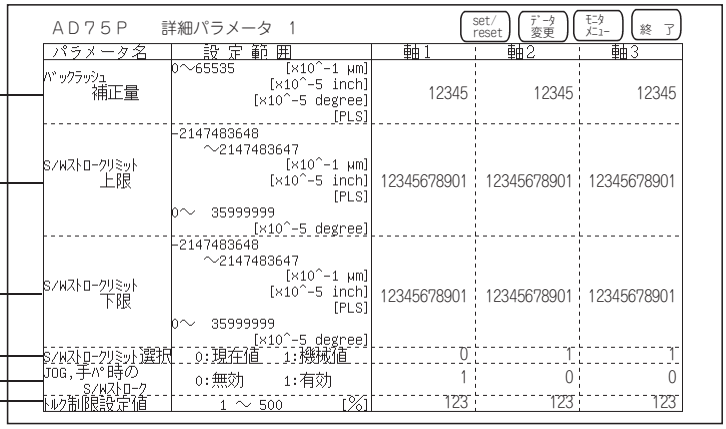
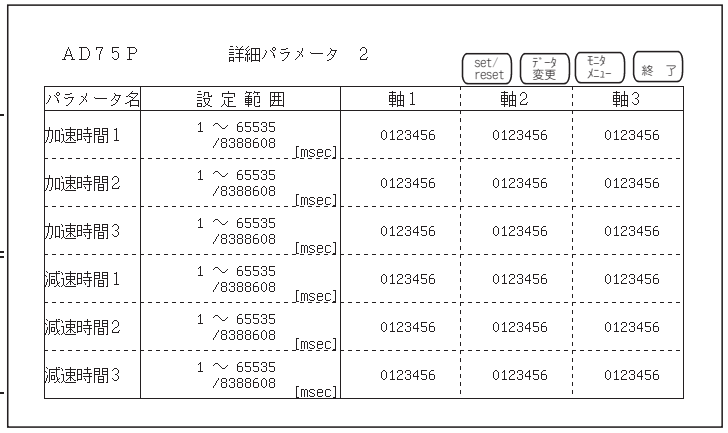
12.23 AD75，A1SD75 ユニットのモニタ

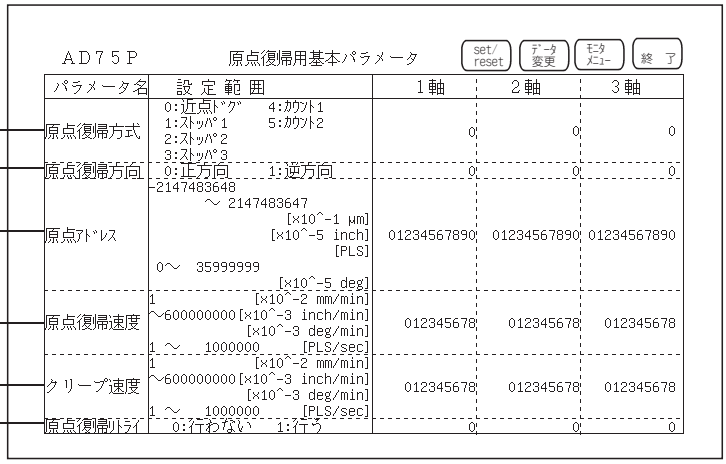
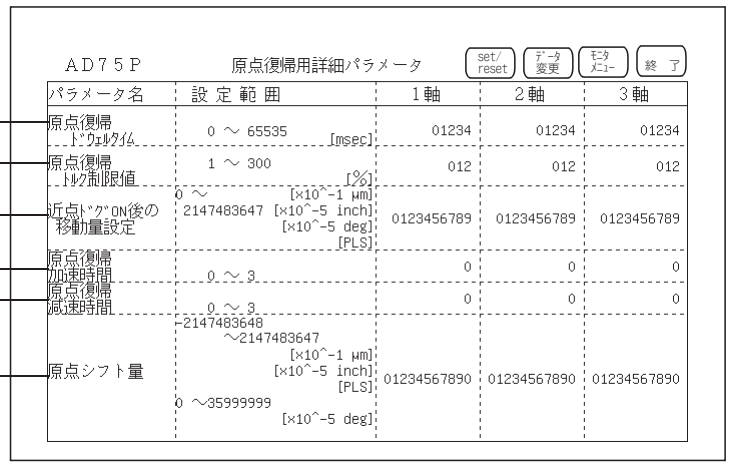
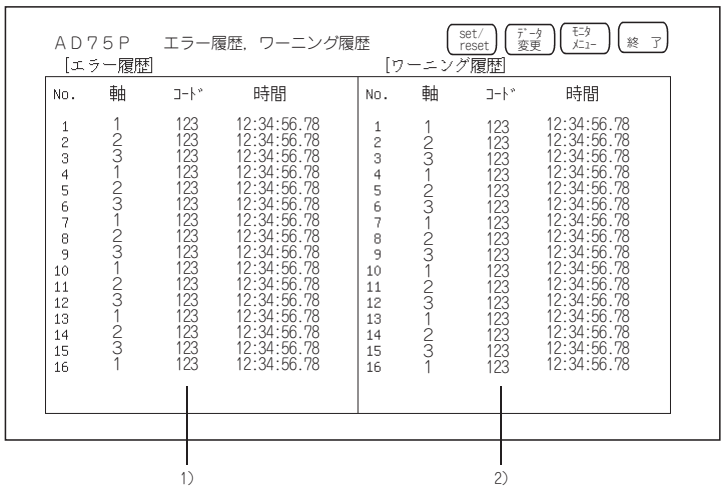


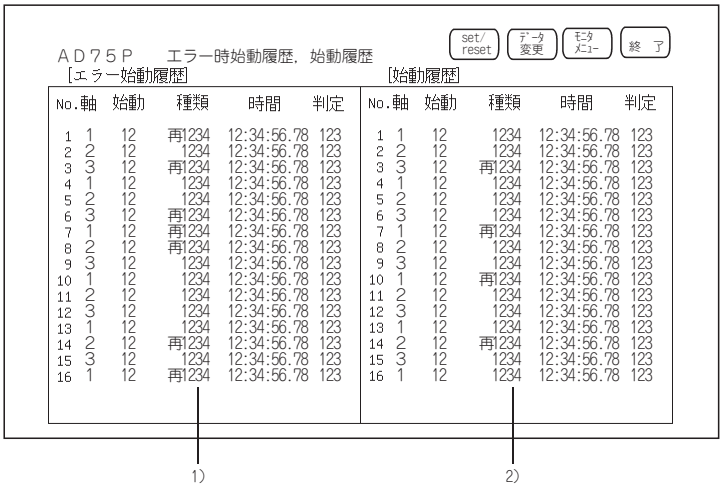
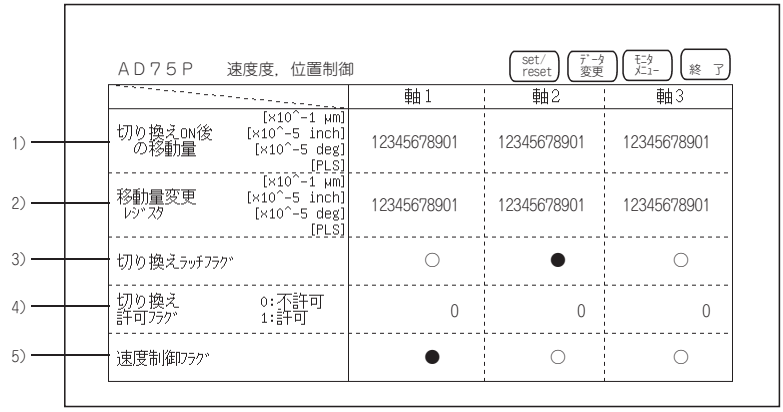
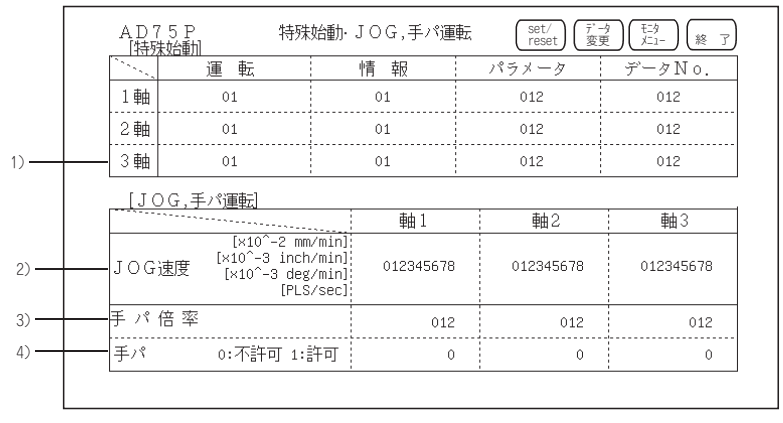


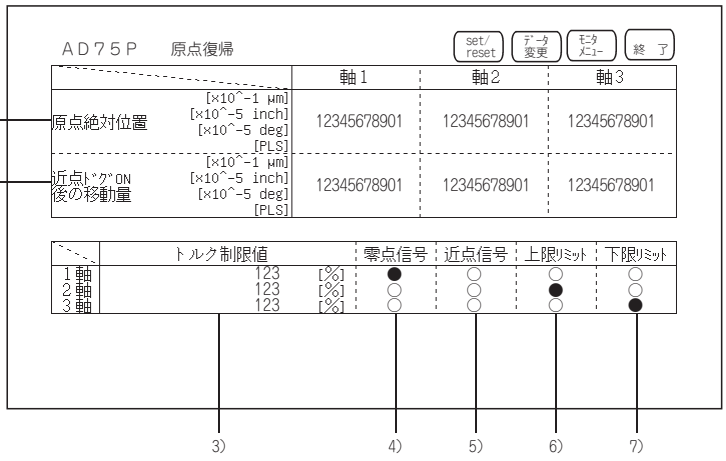
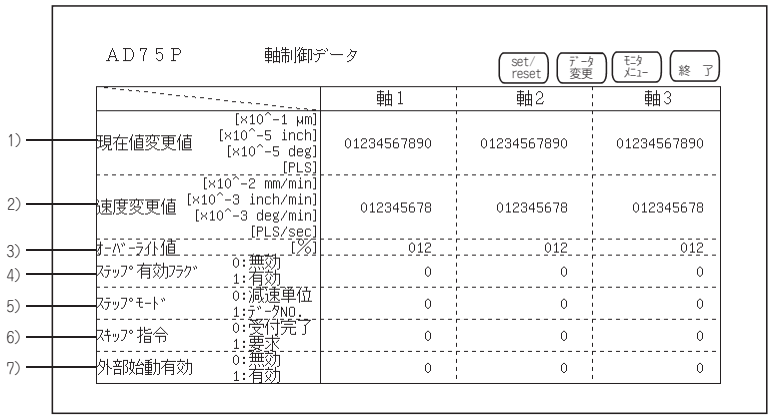
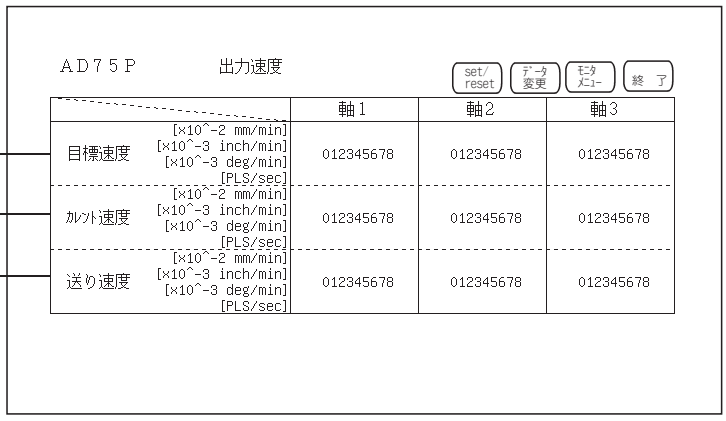


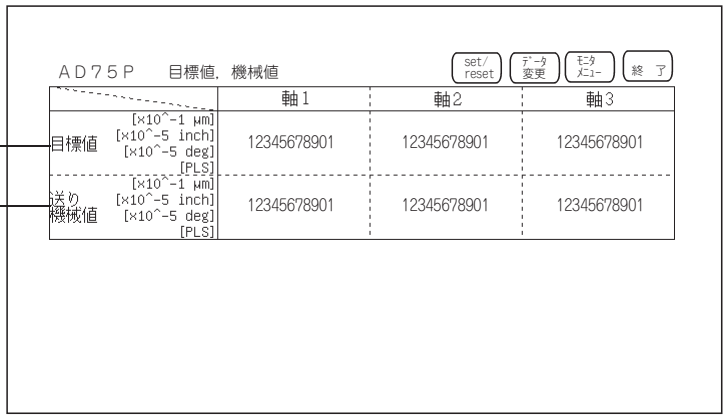
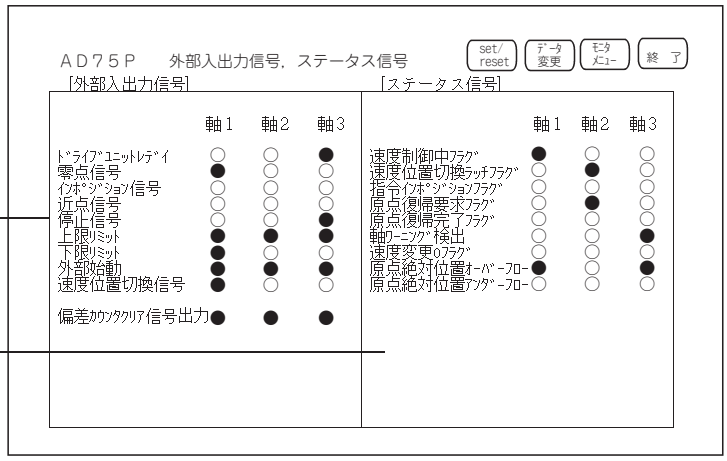
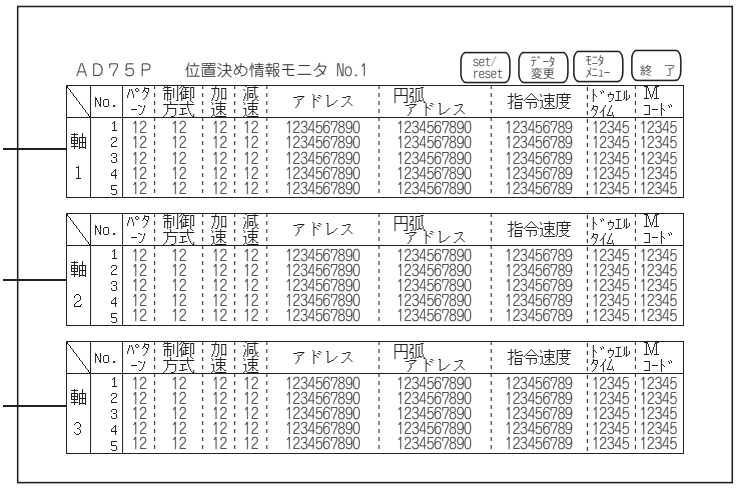
画面例	番号	バッファメモリアドレス					
		軸1		軸2		軸3	
		10進数	16進数	10進数	16進数	10進数	16進数
1)	1)	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—
1)	1)	800	0320	900	0384	1000	03E8
		801	0321	901	0385	1001	03E9
2)	2)	812	032C	912	0390	1012	03F4
		813	032D	913	0391	1013	03F5
3)	3)	809	0329	909	038D	1009	03F1
4)	4)	807	0327	907	038B	1007	03EF
5)	5)	808	0328	908	038C	1008	03F0
6)	6)	806	0326	906	038A	1006	03EE
7)	7)	835	0343	935	03A7	1035	040B
8) 9) 10) 11)	8) 9) 10) 11)	838	0346	938	03AA	1038	040E
—	—	—	—	—	—	—	—
1)	1)	0	0000	150	0096	300	012C
2)	2)	1	0001	151	0097	301	012D
3)	3)	2	0002	152	0098	302	012E
4)	4)	3	0003	153	0099	303	012F
5)	5)	4	0004	154	009A	304	0130
6)	6)	5	0005	155	009B	305	0131
—	—	—	—	—	—	—	—

画面例	番号	バッファメモリアドレス					
		軸1		軸2		軸3	
		10進数	16進数	10進数	16進数	10進数	16進数
	1)	6	0006	156	009C	306	0132
		7	0007	157	009D	307	0133
	2)	8	0008	158	009E	308	0134
		9	0009	159	009F	309	0135
	3)	10	000A	160	00A0	310	0136
		11	000B	161	00A1	311	0137
	—	——	——	——	——	——	——
	1)	15	000F	165	00A5	315	013B
	2)	16	0010	166	00A6	316	013C
		17	0011	167	00A7	317	013D
	3)	18	0012	168	00A8	318	013E
		19	0013	169	00A9	319	013F
	4)	20	0014	170	00AA	320	0140
	5)	21	0015	171	00AB	321	0141
	6)	24	0018	174	00AE	324	0144
	—	——	——	——	——	——	——
	1)	36 ～ 41	0024 ～ 0029	186 ～ 191	00BA ～ 00BF	336 ～ 341	0150 ～ 0155
	2)	42 ～ 47	002A ～ 002F	192 ～ 197	00C0 ～ 00C5	342 ～ 347	0156 ～ 015B
	—	——	——	——	——	——	——

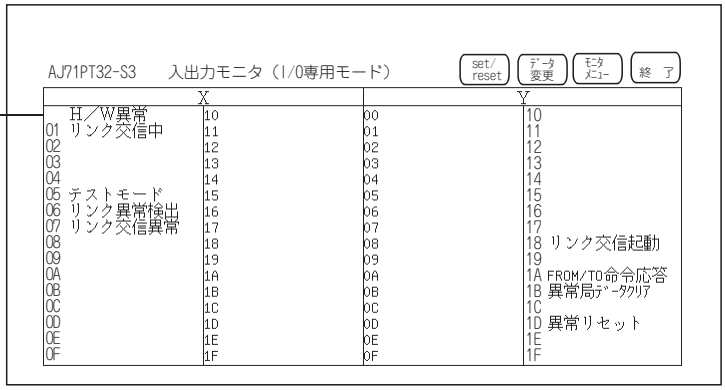
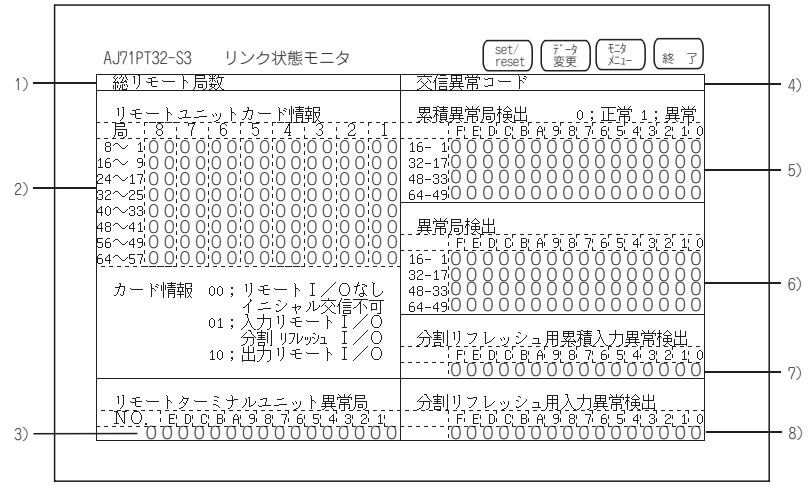
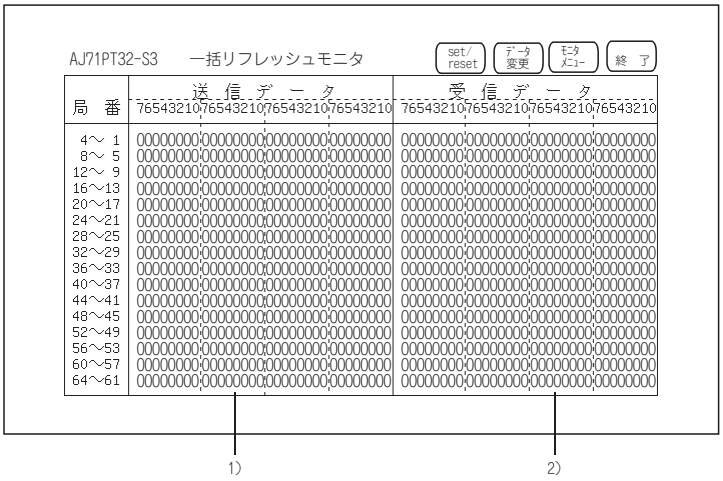
画面例	番号	バッファメモリアドレス					
		軸 1		軸 2		軸 3	
		10 進数	16 進数	10 進数	16 進数	10 進数	16 進数
	1)	70	0046	220	00DC	370	0172
	2)	71	0047	221	00DD	371	0173
	3)	72	0048	222	00DE	372	0174
		73	0049	223	00DF	373	0175
	4)	74	004A	224	00E0	374	0176
		75	004B	225	00E1	375	0177
	5)	76	004C	226	00E2	376	0178
		77	004D	227	00E3	377	0179
	6)	78	004E	228	00E4	378	017A
	—	—	—	—	—	—	—
	1)	79	004F	229	00E5	379	017B
	2)	86	0056	236	00EC	386	0182
	3)	80	0050	230	00E6	380	017C
		81	0051	231	00E7	381	017D
	4)	82	0052	232	00E8	382	017E
	5)	83	0053	233	00E9	383	017F
	6)	84	0054	234	00EA	384	0180
		85	0055	235	00EB	385	0181
	—	—	—	—	—	—	—
	1)	624 ～ 687	0270 ～ 02AF	624 ～ 687	0270 ～ 02AF	624 ～ 687	0270 ～ 02AF
	2)	689 ～ 752	02B1 ～ 02F0	689 ～ 752	02B1 ～ 02F0	689 ～ 752	02B1 ～ 02F0
	—	—	—	—	—	—	—

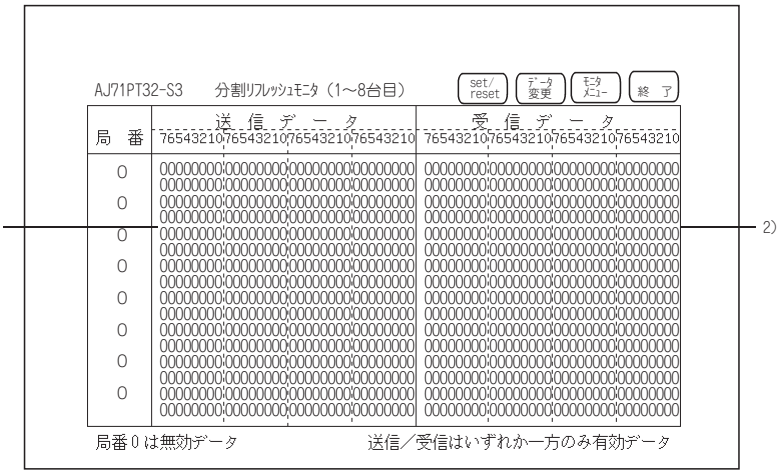
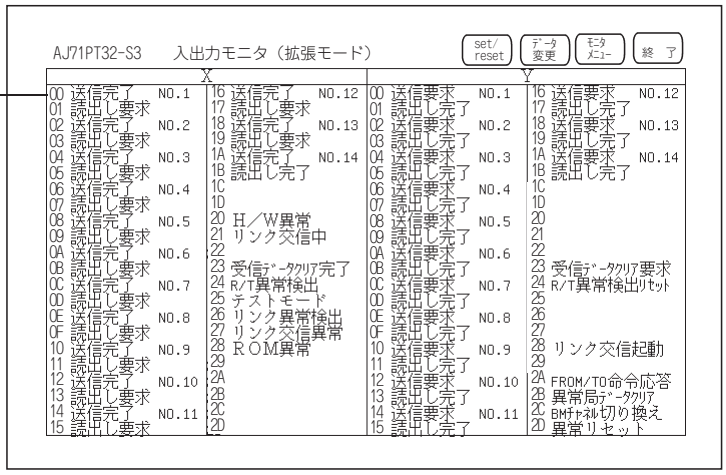
画面例	番号	バッファメモリアドレス					
		軸1		軸2		軸3	
		10進数	16進数	10進数	16進数	10進数	16進数
	1)	543～622	021F～026E	543～622	021F～026E	543～622	021F～026E
	2)	462～541	01CE～021D	462～541	01CE～021D	462～541	01CE～021D
	—	—	—	—	—	—	—
	1)	814	032E	914	0392	1014	03F6
		815	032F	915	0393	1015	03F7
	2)	1164	048C	1214	04BE	1264	04F0
		1165	048D	1215	04BF	1265	04F1
	3)	817	0331	917	0395	1017	03F9
	4)	1163	048B	1213	04BD	1263	04EF
	5)	817	0331	917	0395	1017	03F9
	—	—	—	—	—	—	—
	1)	832	0340	932	03A4	1032	0408
		827	033B	927	039F	1027	0403
		828	033C	928	03A0	1028	0404
		829	033D	929	03A1	1029	0405
	2)	1160	0488	1210	04BA	1260	04EC
		1161	0489	1211	04BB	1261	04ED
	3)	1168	0490	1218	04C2	1268	04F4
		1169	0491	1219	04C3	1269	04F5
	4)	1167	048F	1217	04C1	1267	04F3
	—	—	—	—	—	—	—

画面例	番号	バッファメモリアドレス					
		軸 1		軸 2		軸 3	
		10 進数	16 進数	10 進数	16 進数	10 進数	16 進数
	1)	822	0336	922	039A	1022	03FE
		823	0337	923	039B	1023	03FF
	2)	824	0338	924	039C	1024	0400
		825	0339	925	039D	1025	0401
	3)	826	033A	926	039E	1026	0402
	4) 5) 6) 7)	816	0330	916	0394	1016	03F8
	—	—	—	—	—	—	—
	1)	1154	0482	1204	04B4	1254	04E6
		1155	0483	1205	04B5	1255	04E7
	2)	1156	0484	1206	04B6	1256	04E8
		1157	0485	1207	04B7	1257	04E9
	3)	1159	0487	1209	04B9	1259	04EB
	4)	1172	0494	1222	04C6	1272	04F8
	5)	1173	0495	1223	04C7	1273	04F9
	6)	1175	0497	1225	04C9	1275	04FB
	7)	1171	0493	1221	04C5	1271	04F7
	—	—	—	—	—	—	—
	1)	820	0334	920	0398	1020	03FC
		821	0335	921	0399	1021	03FD
	2)	810	032A	910	038E	1010	03F2
		811	032B	911	038F	1011	03F3
	3)	812	032C	912	0390	1012	03F4
		813	032D	913	0391	1013	03F5
	—	—	—	—	—	—	—

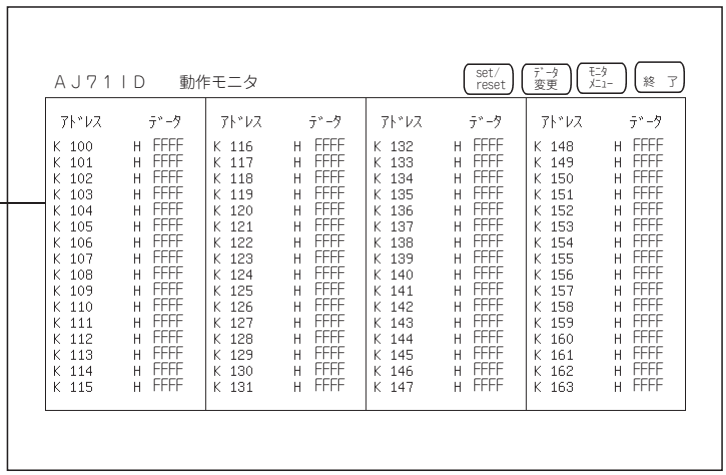
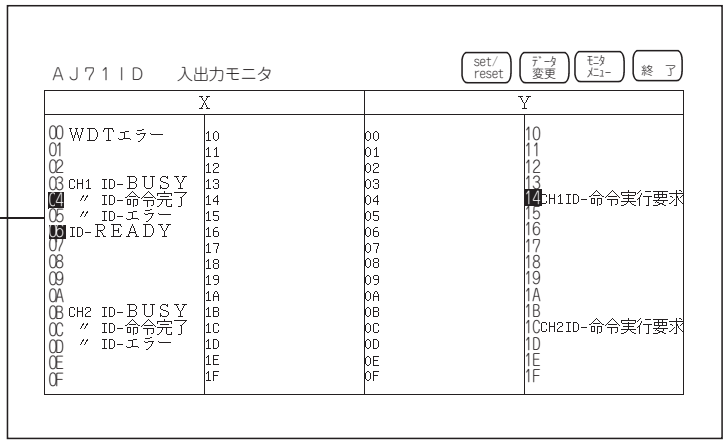
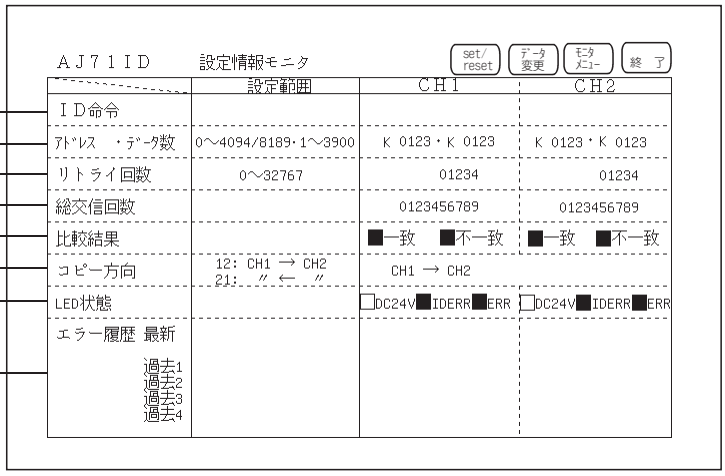
画面例	番号	バッファメモリアドレス					
		軸1		軸2		軸3	
		10進数	16進数	10進数	16進数	10進数	16進数
	1)	818	0332	918	0396	1018	03FA
		819	0333	919	0397	1019	03FB
	2)	802	0322	902	0386	1002	03EA
		803	0323	903	0387	1003	03EB
—	—	——	——	——	——	——	——
	1)	816	0330	916	0394	1016	03F8
	2)	817	0331	917	0395	1017	03F9
—	—	——	——	——	——	——	——
	1) 2) 3)	1300 ～ 2299	0514 ～ 08FB	2300 ～ 3299	08FC ～ 0CE3	3300 ～ 4299	0CE4 ～ 10CB
—	—	——	——	——	——	——	——

12.24 AJ71PT32-S3,A1SJ71PT32-S3 ユニットのモニタ

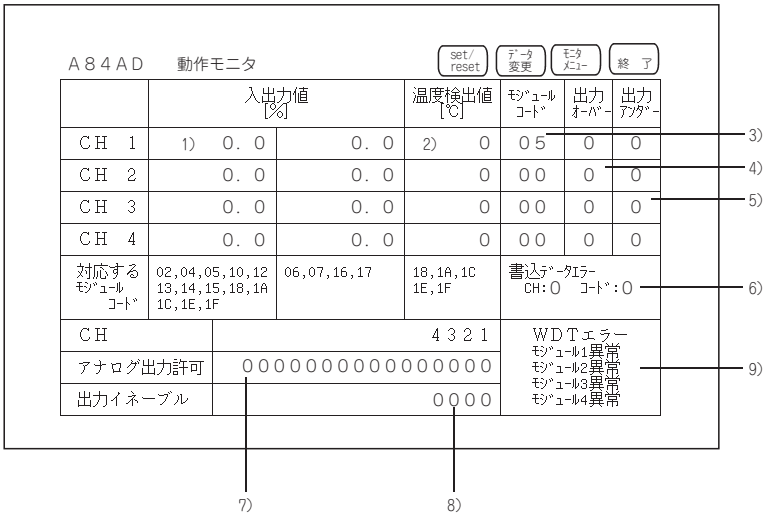
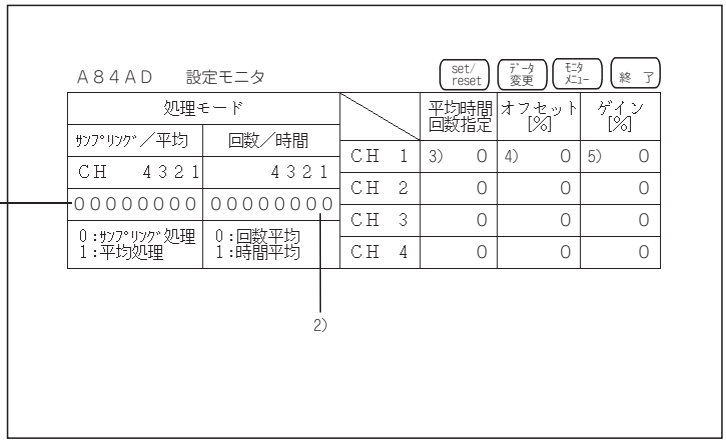
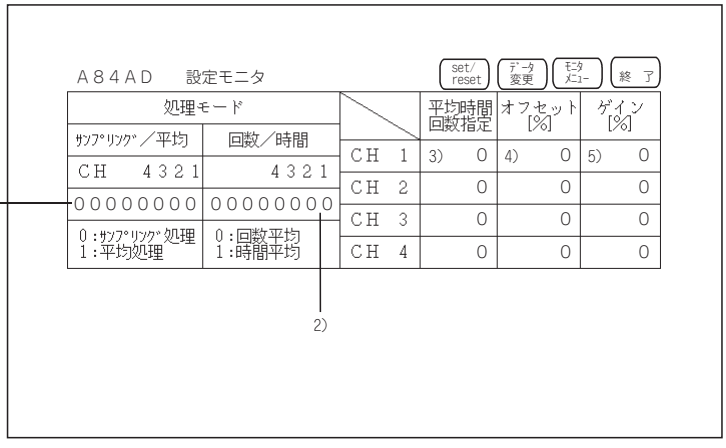
画面例	番号	バッファメモリアドレス	
		10 進数	16 進数
	1)	———	———
	—	———	———
	1)	0	0000
	2)	70 ～ 77	0046 ～ 004D
	3)	195	00C3
	4)	107	006B
	5)	90 ～ 93	005A ～ 005D
	6)	100 ～ 103	0064 ～ 0067
	7)	598	0256
	8)	599	0257
	—	———	———
	1)	10 ～ 41	000A ～ 0029
	2)	110 ～ 141	006E ～ 008D
	—	———	———

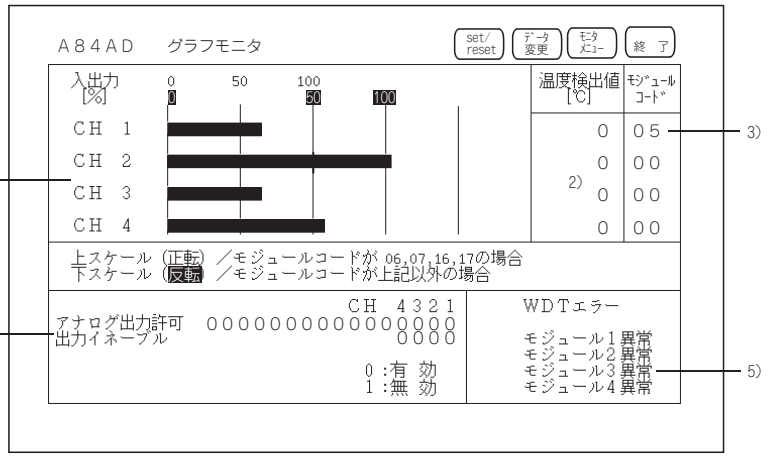
画面例	番号	バッファメモリアドレス	
		10 進数	16 進数
	1)	300 ～ 363	012C ～ 016B
	2)	600 ～ 663	0258 ～ 0297
	—	———	———
	1)	———	———
	—	———	———

12.25 AJ71ID1(ID2)-R4,A1SJ71ID1(ID2)-R4 ユニットのモニタ

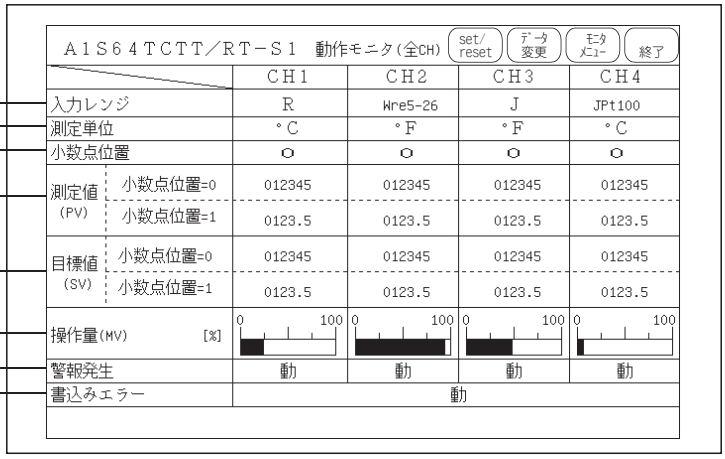
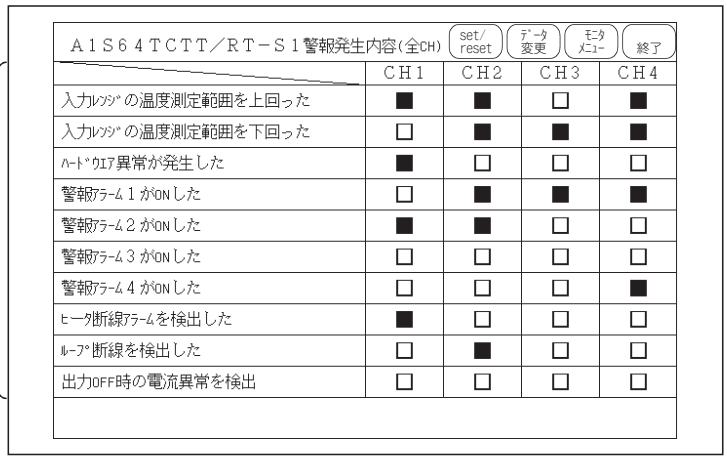
画面例	番号	バッファメモリアドレス			
		X 軸		Y 軸	
		10 進数	16 進数	10 進数	16 進数
	1)	100 ～ 163	0064 ～ 00A3	4100 ～ 4163	1004 ～ 1043
	—	——	——	——	——
	1)	——	——	——	——
	—	——	——	——	——
	1)	0	0000	4000	0FA0
	2)	1	0001	4001	0FA1
		2	0002	4002	0FA2
	3)	8	0008	4008	0FA8
	4)	22	0016	4022	0FB6
		23	0017	4023	0FB7
	5)	4	0004	4004	0FA4
		5	0005	4005	0FA5
	6)	—	—	4010	0FAA
	7)	12	000C	4012	0FAC
	8)	14 ～ 18	000E ～ 0012	4014 ～ 4018	0FAE ～ 0FB2
	—	——	——	——	——

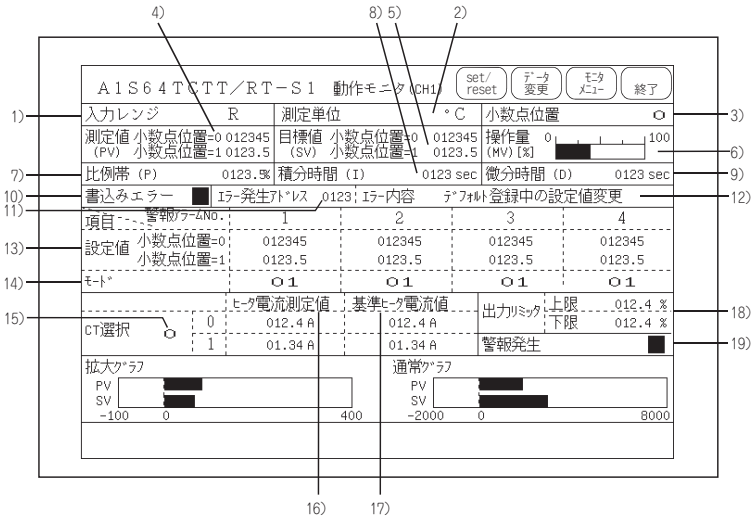
12.26 A84AD ユニットのモニタ

画面例	番号	バッファメモリアドレス	
		10 進数	16 進数
	1)	10 ～ 13	000A ～ 000D
	2)	18 ～ 21	0012 ～ 0015
	3)	28 ～ 31	001C ～ 001F
	4)	22 ～ 25	0016 ～ 0019
	5)	22 ～ 25	0016 ～ 0019
	6)	26	001A
	7)	27	001B
	8)	―――	―――
	9)	―――	―――
	―	―――	―――
	1)	1	0001
	2)	1	0001
	3)	2 ～ 5	0002 ～ 0005
	4)	32, 34, 36, 38	0020, 0022, 0024, 0026
	5)	33, 35, 37, 39	0021, 0023, 0025, 0027
	―	―――	―――
	1)	―――	―――
	―	―――	―――

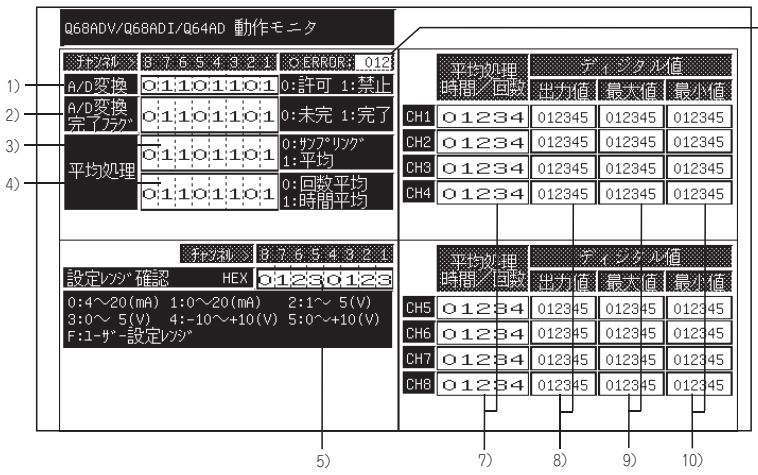
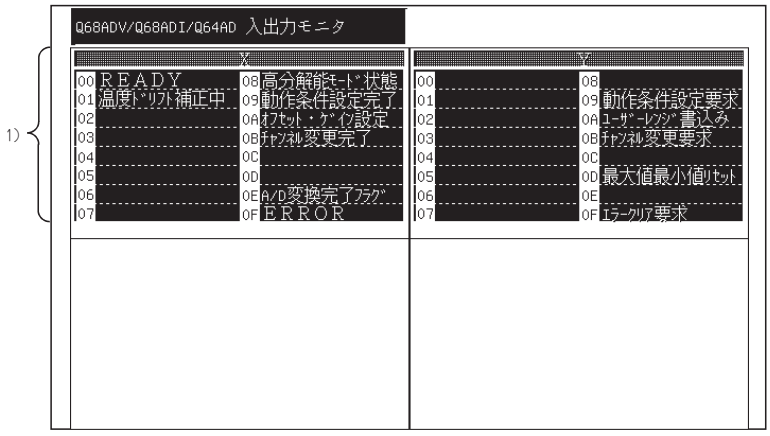
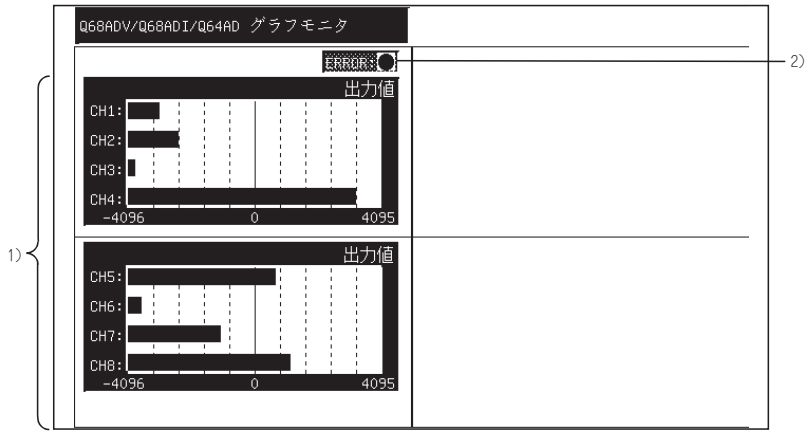
画面例	番号	バッファメモリアドレス	
		10 進数	16 進数
	1)	10 ～ 13	000A ～ 000D
	2)	18 ～ 21	0012 ～ 0015
	3)	28 ～ 31	001C ～ 001F
	4)	27	001B
		———	———
	5)	———	———
	—	———	———

12.27 A1S64TCTT(BW),A1S64TCRT(BW)-S1 のモニタ

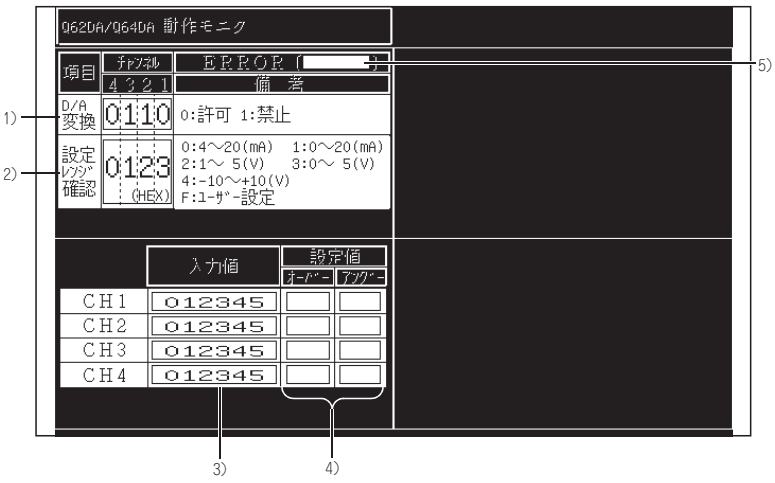
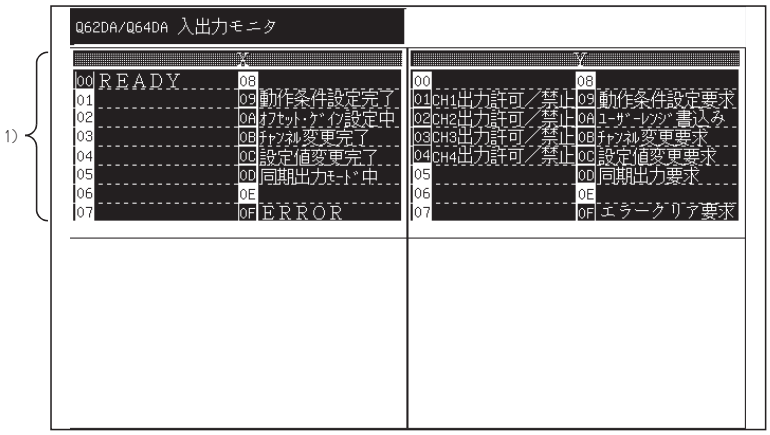
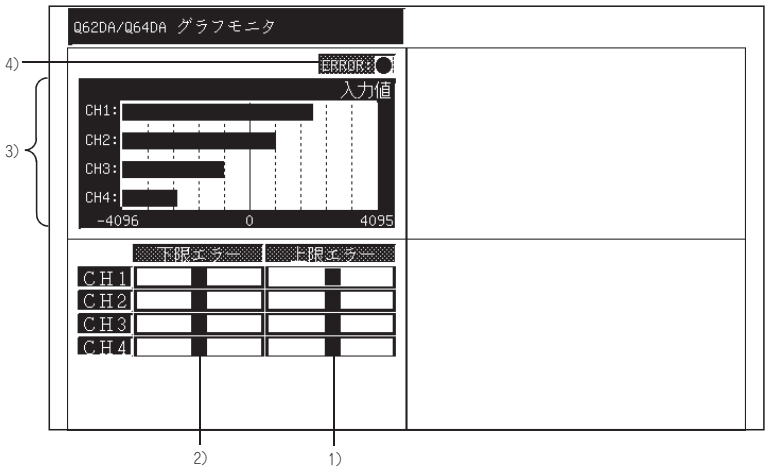
画面例	番号	バッファメモリアドレス							
		CH1		CH2		CH3		CH4	
		10 進数	16 進数	10 進数	16 進数	10 進数	16 進数	10 進数	16 進数
	1)	32	0020	64	0040	96	0060	128	0080
	2)	32	0020	64	0040	96	0060	128	0080
	3)	1	0001	2	0002	3	0003	4	0004
	4)	9	0009	10	000A	11	000B	12	000C
	5)	34	0022	66	0042	98	0062	130	0082
	6)	13	000D	14	000E	15	000F	16	0010
	7) 8)	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	1)	5	0005	6	0006	7	0007	8	0008
	—	—	—	—	—	—	—	—	—

画面例	番号	バッファメモリアドレス							
		CH1		CH2		CH3		CH4	
		10進数	16進数	10進数	16進数	10進数	16進数	10進数	16進数
	1)	32	0020	64	0040	96	0060	128	0080
	2)	32	0020	64	0040	96	0060	128	0080
	3)	1	0001	2	0002	3	0003	4	0004
	4)	9	0009	10	000A	11	000B	12	000C
	5)	34	0022	66	0042	98	0062	130	0082
	6)	13	000D	14	000E	15	000F	16	0010
	7)	35	0023	67	0043	99	0063	131	0083
	8)	36	0024	68	0044	100	0064	132	0084
	9)	37	0025	69	0045	101	0065	133	0085
	10)	—	—	—	—	—	—	—	—
	11)	0	0000	0	0000	0	0000	0	0000
	12)	0	0000	0	0000	0	0000	0	0000
	13)	38 ～ 41	0026 ～ 0029	70 ～ 73	0046 ～ 0049	102 ～ 105	0066 ～ 0069	134 ～ 137	0086 ～ 0089
	14)	160 ～ 163	00A0 ～ 00A3	160 ～ 163	00A0 ～ 00A3	160 ～ 163	00A0 ～ 00A3	160 ～ 163	00A0 ～ 00A3
	15)	57	0039	89	0059	121	0079	153	0099
	16)	25	0019	26	001A	27	001B	28	001C
	17)	171	00AB	172	00AC	173	00AD	174	00AE
	18)	42	002A	74	004A	106	006A	138	008A
		43	002B	75	004B	107	006B	139	008B
	19)	—	—	—	—	—	—	—	—

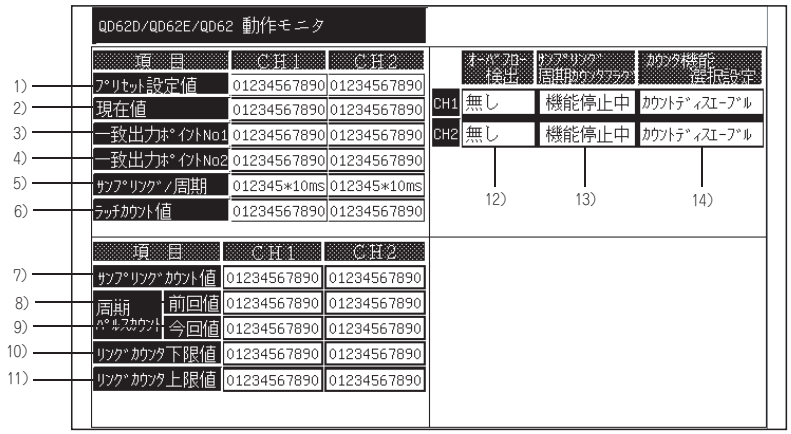
12.28 Q64AD,Q68ADV,Q68ADI ユニットのモニタ

画面例	番号	バッファメモリアドレス	
		10 進数	16 進数
	1)	0	0000
	2)	10	000A
	3)	9	0009
	4)	9	0009
	5)	20, 21	0014, 0015
	6)	19	0013
	7)	1 ～ 8	0001 ～ 0008
	8)	11 ～ 18	000B ～ 0012
	9)	30, 32, 34, 36, 38, 40, 42, 44	001E, 0020, 0022, 0024, 0026, 0028, 002A, 002C
	10)	31, 33, 35, 37, 39, 41, 43, 45	001F, 0021, 0023, 0025, 0027, 0029, 002B, 002D
	—	———	———
	1)	———	———
	—	———	———
	1)	11 ～ 18	000B ～ 0012
	2)	———	———
	—	———	———

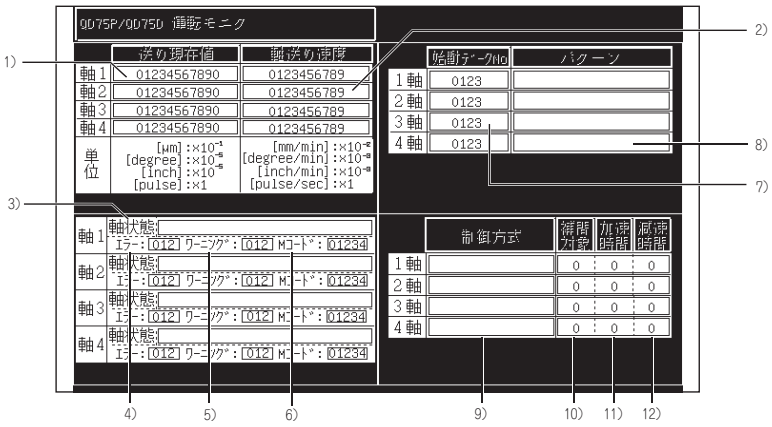
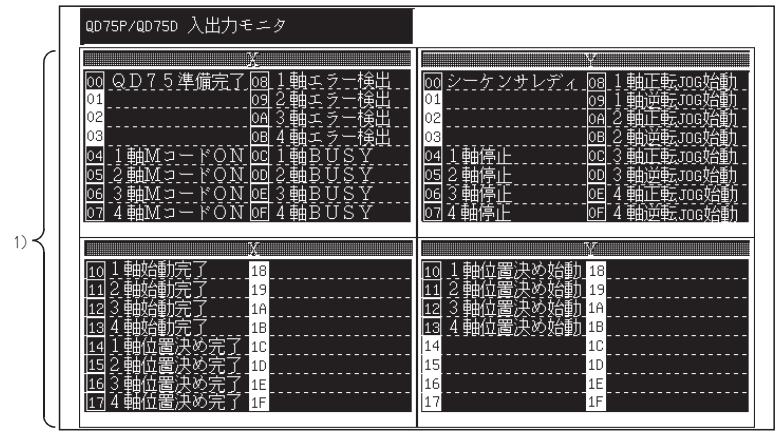
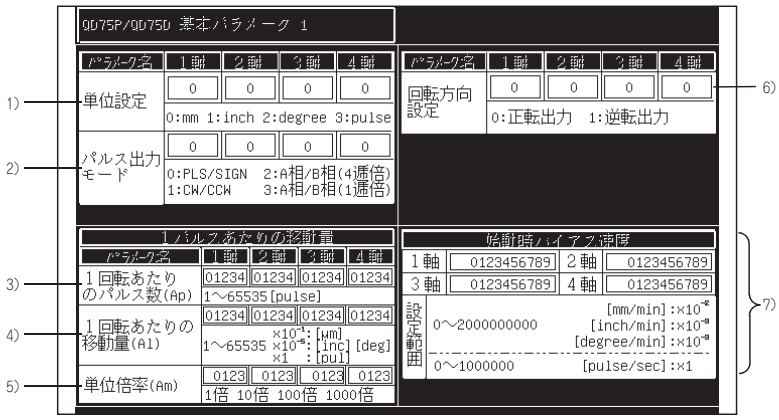
12.29 Q62DA,Q64DA ユニットのモニタ

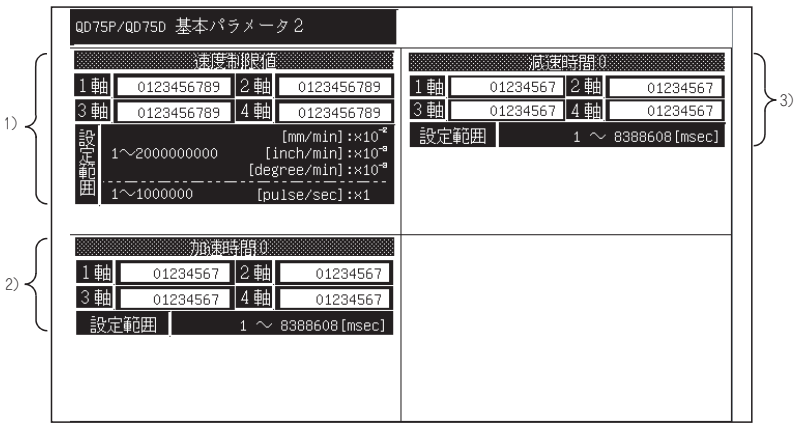
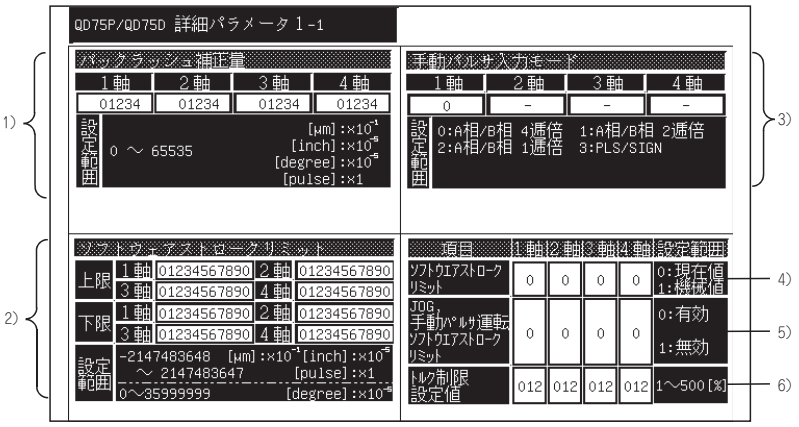
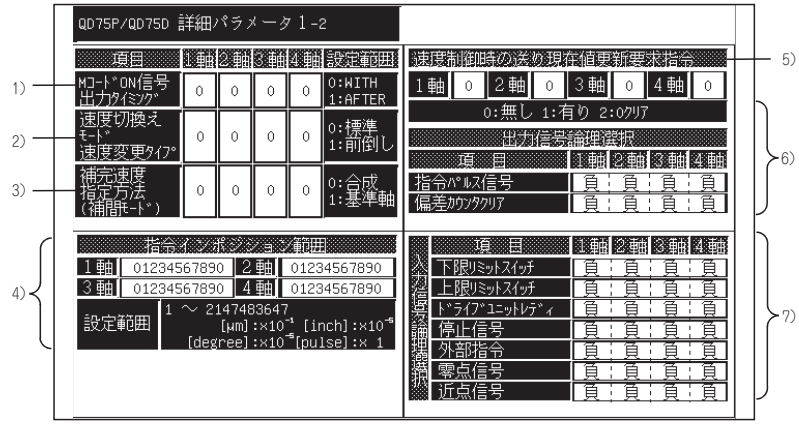
画面例	番号	バッファメモリアドレス	
		10 進数	16 進数
	1)	0	0000
	2)	20	0014
	3)	1 ～ 4	0001 ～ 0004
	4)	11 ～ 14	000B ～ 000E
	5)	19	0013
	—	———	———
	1)	———	———
	—	———	———
	1)	11 ～ 14	000B ～ 000E
	2)	11 ～ 14	000B ～ 000E
	3)	1 ～ 4	0001 ～ 0004
	4)	———	———
	—	———	———

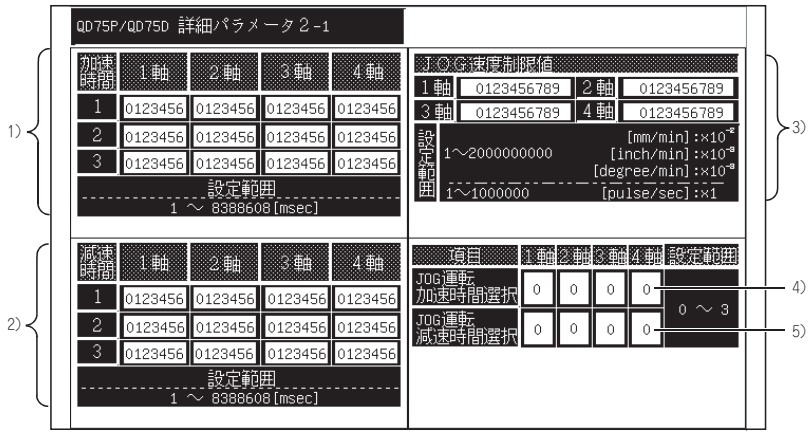
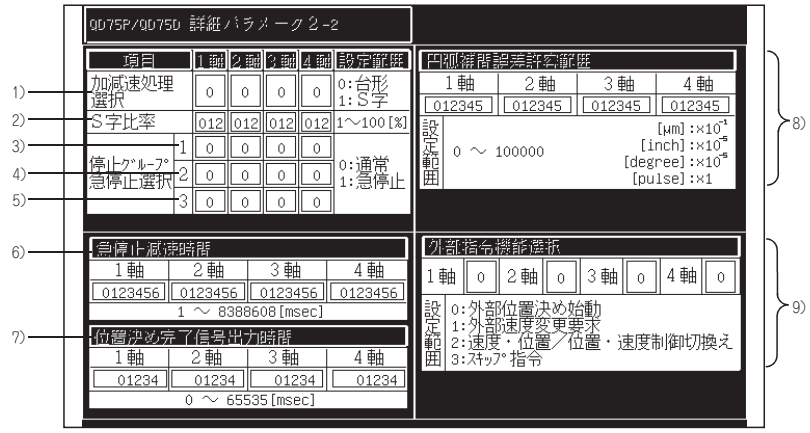
12.30 QD62,QD62D ユニットのモニタ

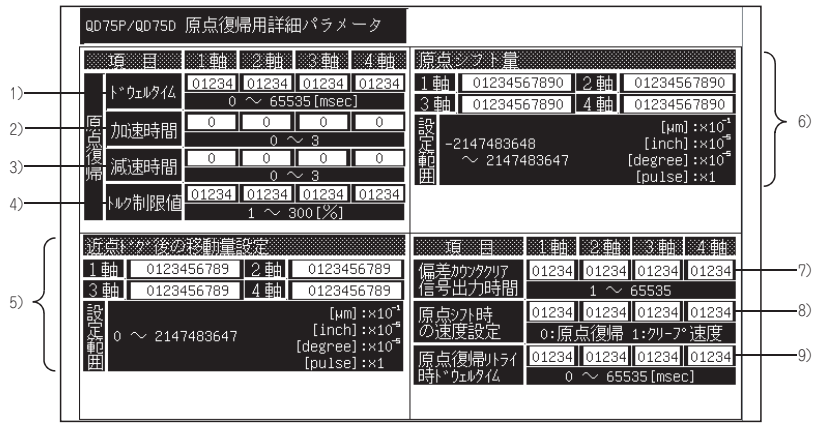
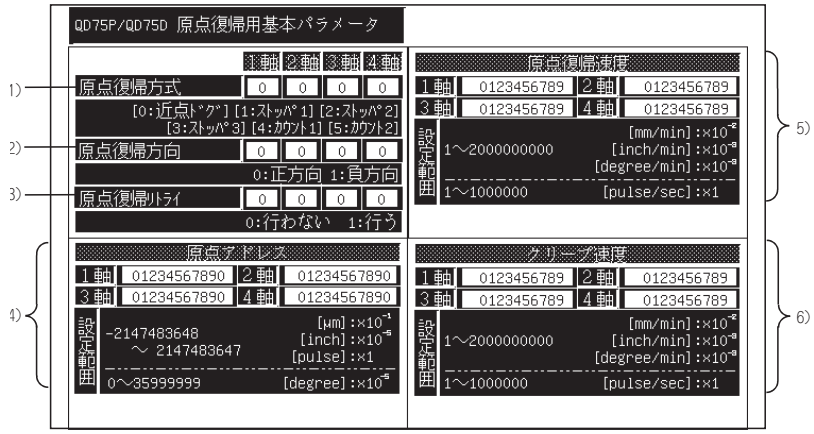
画面例	番号	バッファメモリアドレス	
		10 進数	16 進数
	1)	00 ～ 01	0000 ～ 0001
		32 ～ 33	0020 ～ 0021
	2)	02 ～ 03	0002 ～ 0003
		34 ～ 35	0022 ～ 0023
	3)	04 ～ 05	0004 ～ 0005
		36 ～ 37	0024 ～ 0025
	4)	06 ～ 07	0006 ～ 0007
		38 ～ 39	0026 ～ 0027
	5)	10, 42	000A, 002A
	6)	12 ～ 13	000C ～ 000D
		44 ～ 45	002C ～ 002D
	7)	14 ～ 15	000E ～ 000F
		46 ～ 47	002E ～ 002F
	8)	16 ～ 17	0010 ～ 0011
		48 ～ 49	0030 ～ 0031
	9)	18 ～ 19	0012 ～ 0013
		50 ～ 51	0032 ～ 0033
	10)	20 ～ 21	0014 ～ 0015
		52 ～ 53	0034 ～ 0035
	11)	22 ～ 23	0016 ～ 0017
		54 ～ 55	0036 ～ 0037
	12)	08, 40	0008, 0028
	13)	11, 43	000B, 002B
	14)	09, 41	0009, 0029
	1)	———	———
	—	———	———

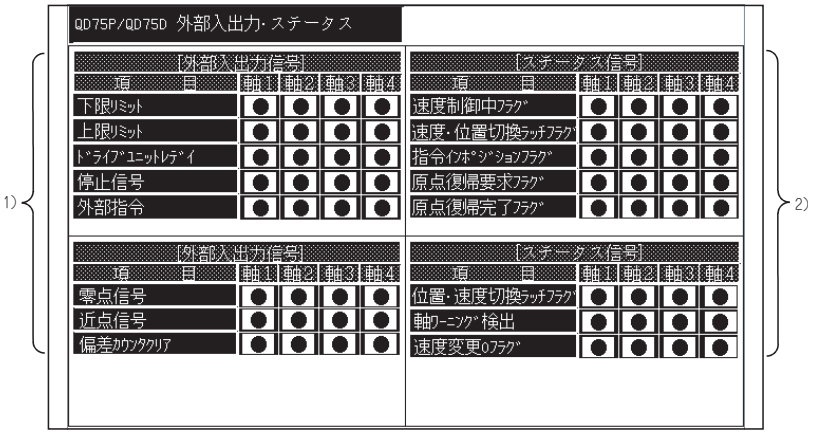
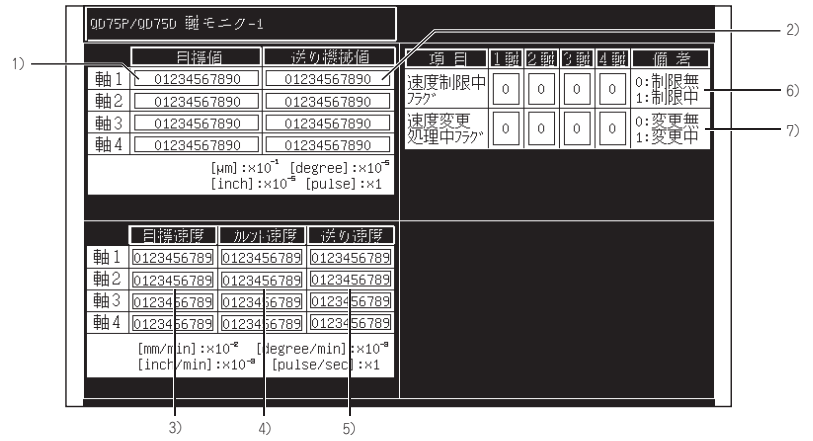
12.31 QD75P,QD75D ユニットのモニタ

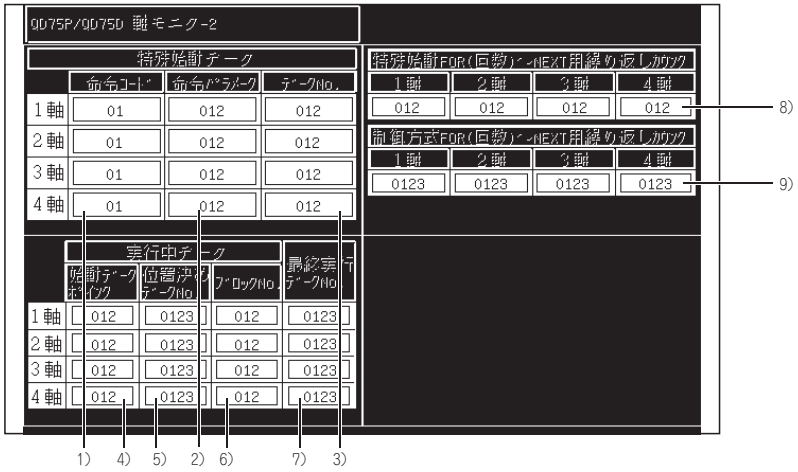
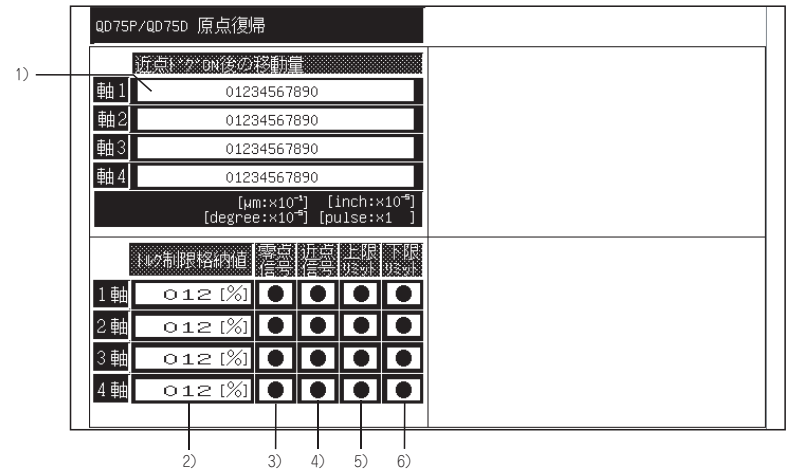
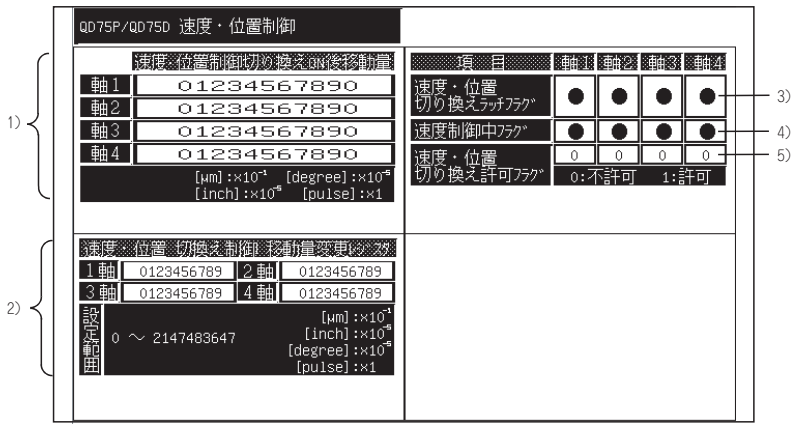
画面例	番号	バッファメモリアドレス	
		10 進数	16 進数
	1)	800 ～ 801	0320 ～ 0321
		900 ～ 901	0384 ～ 0385
		1000 ～ 1001	03E8 ～ 03E9
		1100 ～ 1101	044C ～ 044D
	2)	812 ～ 813	032C ～ 032D
		912 ～ 913	0390 ～ 0391
		1012 ～ 1013	03F4 ～ 03F5
		1112 ～ 1113	0458 ～ 0459
	3)	809, 909, 1009, 1109	0329, 038D, 03F1, 0455
	4)	806, 906, 1006, 1106	0326, 038A, 03EE, 0452
	5)	807, 907, 1007, 1107	0327, 038B, 03EF, 0453
	6)	808, 908, 1008, 1108	0328, 038C, 03F0, 0454
	7)	829, 929, 1029, 1129	033D, 03A1, 0405, 0469
	8) ～ 12)	838, 938, 1038, 1138	0346, 03AA, 040E, 0472
	1)	———	———
	—	———	———
	1)	0, 150, 300, 450	0000, 0096, 012C, 01C2
	2)	4, 154, 304, 454	0004, 009A, 0130, 01C6
	3)	1, 151, 301, 451	0001, 0097, 012D, 01C3
	4)	2, 152, 302, 452	0002, 0098, 012E, 01C4
	5)	3, 153, 303, 453	0003, 0099, 012F, 01C5
	6)	5, 155, 305, 455	0005, 009B, 0131, 01C7
	7)	6, 156, 306, 456	0006, 009C, 0132, 01C8

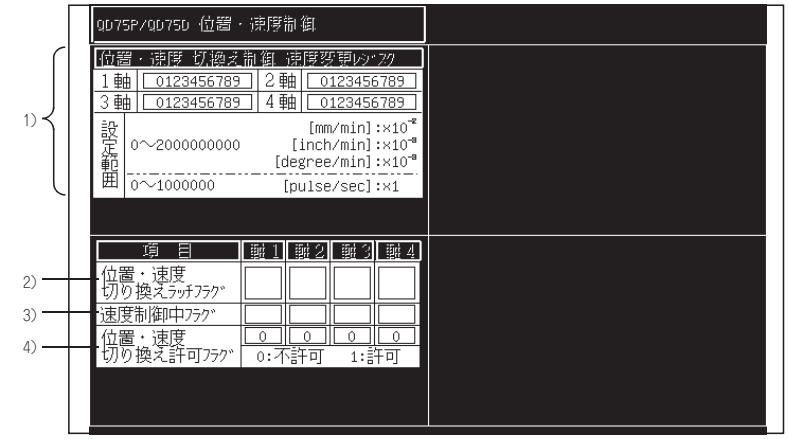
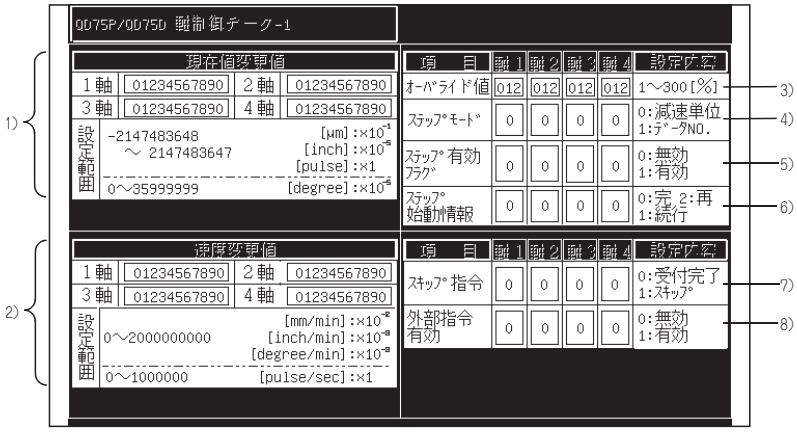
画面例	番号	バッファメモリアドレス	
		10 進数	16 進数
	1)	10～11	000A～000B
		160～161	00A0～00A1
		310～311	0136～0137
		460～461	01CC～01CD
	2)	12～13	000C～000D
		162～163	00A2～00A3
		312～313	0138～0139
		462～463	01CE～01CF
	3)	14～15	000E～000F
		164～165	00A4～00A5
		314～315	013A～013B
		464～465	01D0～01D1
	—	———	———
	1)	17, 167, 317, 467	0011, 00A7, 013D, 01D3
	2)	18～19	0012～0013
		168～169	00A8～00A9
		318～319	013E～013F
		468～469	01D4～01D5
		20～21	0014～0015
		170～171	00AA～00AB
		320～321	0140～0141
		470～471	01D6～01D7
	3)	33, 183, 333, 483	0021, 00B7, 014D, 01E3
	4)	22, 172, 322, 472	0016, 00AC, 0142, 01D8
	5)	23, 173, 323, 473	0017, 00AD, 0143, 01D9
	6)	26, 176, 326, 476	001A, 00B0, 0146, 01DC
	1)	27, 177, 327, 477	001B, 00B1, 0147, 01DD
	2)	28, 178, 328, 478	001C, 00B2, 0148, 01DE
	3)	29, 179, 329, 479	001D, 00B3, 0149, 01DF
	4)	24～25	0018～0019
		174～175	00AE～00AF
		324～325	0144～0145
		474～475	01DA～01DB
	5)	30, 180, 330, 480	001E, 00B4, 014A, 01E0
	6) 7)	32, 182, 332, 482	0020, 00B6, 014C, 01E2

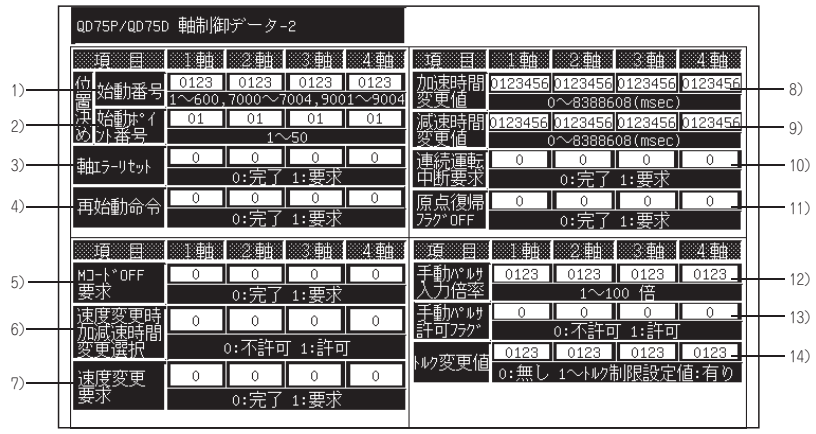
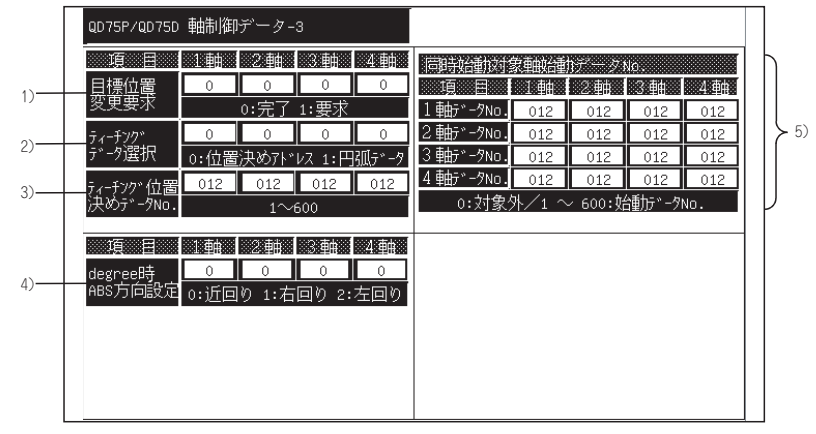
画面例	番号	バッファメモリアドレス	
		10 進数	16 進数
	1)	36 ～ 41	0024 ～ 0029
		186 ～ 191	00BA ～ 00BF
		336 ～ 341	0150 ～ 0155
		486 ～ 491	01E6 ～ 01EB
	2)	42 ～ 47	002A ～ 002F
		192 ～ 197	00C0 ～ 00C5
		342 ～ 347	0156 ～ 015B
		492 ～ 496	01EC ～ 01F0
	3)	48 ～ 49	0030 ～ 0031
		198 ～ 199	00C6 ～ 00C7
		348 ～ 349	015C ～ 015D
		498 ～ 499	01F2 ～ 01F3
	4)	50, 200, 350, 500	0032, 00C8, 015E, 01F4
	5)	51, 501, 351, 501	0033, 01F5, 015F, 01F5
	1)	52, 202, 352, 502	0034, 00CA, 0160, 01F6
	2)	53, 203, 353, 503	0035, 00CB, 0161, 01F7
	3)	56, 206, 356, 506	0038, 00CE, 0164, 01FA
	4)	57, 207, 357, 507	0039, 00CF, 0165, 01FB
	5)	58, 208, 358, 508	003A, 00D0, 0166, 01FC
	6)	54, 204, 354, 504	0036, 00CC, 0162, 01F8
	7)	59, 209, 359, 509	003B, 00D1, 0167, 01FD
	8)	60 ～ 61	003C ～ 003D
		210 ～ 211	00D2 ～ 00D3
		360 ～ 361	0168 ～ 0169
		510 ～ 511	01FE ～ 01FF
	9)	62, 212, 362, 512	003E, 00D4, 016A, 0200

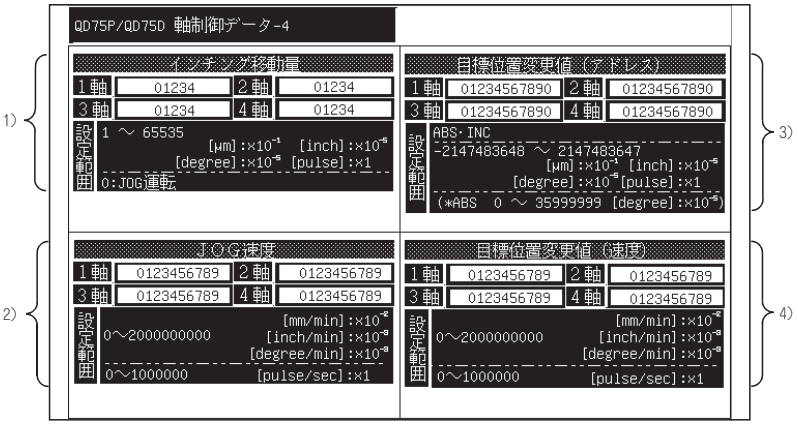
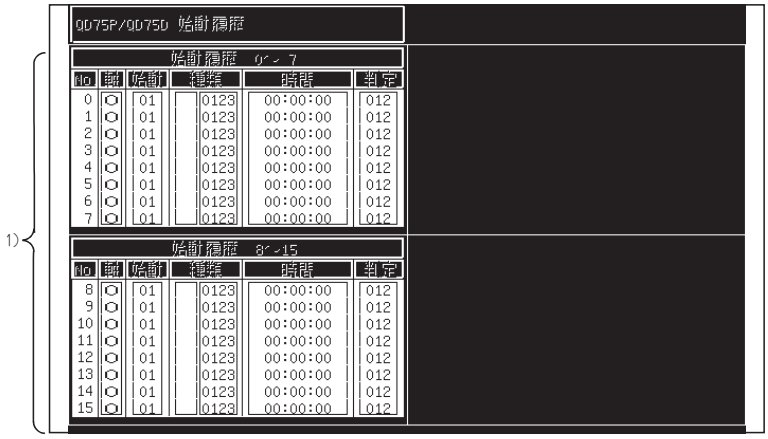
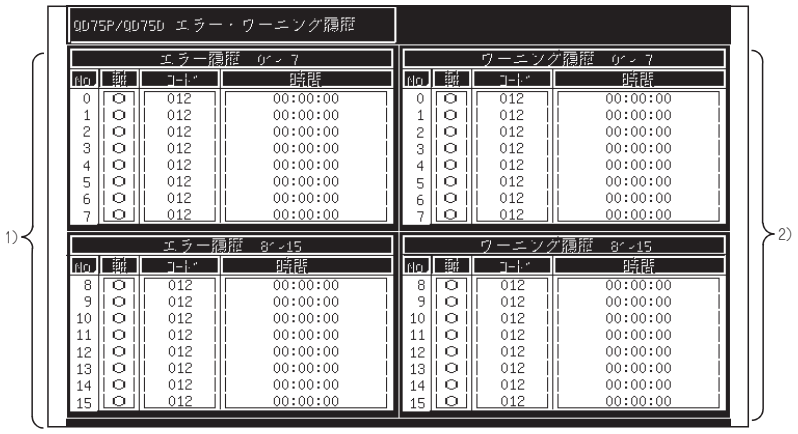
画面例	番号	バッファメモリアドレス	
		10 進数	16 進数
	1)	79, 229, 379, 529	004F, 00E5, 017B, 0211
	2)	82, 232, 382, 532	0052, 00E8, 017E, 0214
	3)	83, 233, 383, 533	0053, 00E9, 017F, 0215
	4)	86, 236, 386, 536	0056, 00EC, 0182, 0218
	5)	80～81	0050～0051
		230～231	00E6～00E7
		380～381	017C～017D
		530～531	0212～0213
	6)	84～85	0054～0055
		234～235	00EA～00EB
		384～385	0180～0181
		534～535	0216～0217
	7)	87, 237, 387, 537	0057, 00ED, 0183, 0219
	8)	88, 238, 388, 538	0058, 00EE, 0184, 021A
	9)	89, 239, 389, 539	0059, 00EF, 0185, 021B
	1)	70, 220, 370, 520	0046, 00DC, 0172, 0208
	2)	71, 221, 371, 521	0047, 00DD, 0173, 0209
	3)	78, 228, 378, 528	004E, 00E4, 017A, 0210
	4)	72～73	0048～0049
		222～223	00DE～00DF
		372～373	0174～0175
		522～523	020A～020B
	5)	74～75	004A～004B
		224～225	00E0～00E1
		374～375	0176～0177
		524～525	020C～020D
	6)	76～77	004C～004D
		226～227	00E2～00E3
		376～377	0178～0179
		526～527	020E～020F

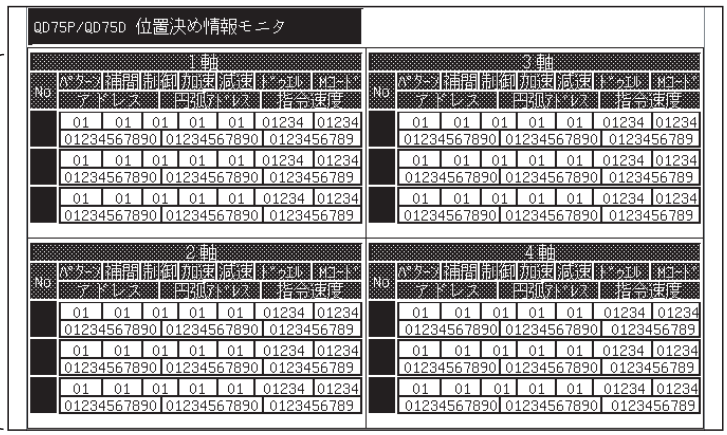
画面例	番号	バッファメモリアドレス	
		10 進数	16 進数
	1)	816, 916, 1016, 1116	0330, 0394, 03F8, 045C
	2)	817, 917, 1017, 1117	0331, 0395, 03F9, 045D
	—	———	———
	1)	818 ～ 819	0332 ～ 0333
		918 ～ 919	0396 ～ 0397
		1018 ～ 1019	03FA ～ 03FB
		1118 ～ 1119	045E ～ 045F
	2)	802 ～ 803	0322 ～ 0323
		902 ～ 903	0386 ～ 0387
		1002 ～ 1003	03EA ～ 03EB
		1102 ～ 1103	044E ～ 044F
	3)	820 ～ 821	0334 ～ 0335
		920 ～ 921	0398 ～ 0399
		1020 ～ 1021	03FC ～ 03FD
		1120 ～ 1121	0460 ～ 0461
	4)	810 ～ 811	032A ～ 032B
		910 ～ 911	038E ～ 038F
		1010 ～ 1011	03F2 ～ 03F3
		1110 ～ 1111	0456 ～ 0457
	5)	812 ～ 813	032C ～ 032D
		912 ～ 913	0390 ～ 0391
		1012 ～ 1013	03F4 ～ 03F5
		1112 ～ 1113	0458 ～ 0459
	6)	830, 930, 1030, 1130	033E, 03A2, 0406, 046A
	7)	831, 931, 1031, 1131	033F, 03A3, 0407, 046B

画面例	番号	バッファメモリアドレス	
		10 進数	16 進数
	1)	827, 927, 1027, 1127	033B, 039F, 0403, 0467
	2)	828, 928, 1028, 1128	033C, 03A0, 0404, 0468
	3)	829, 929, 1029, 1129	033D, 03A1, 0405, 0469
	4)	834, 934, 1034, 1134	0342, 03A6, 040A, 046E
	5)	835, 936, 1036, 1135	0343, 03A8, 040C, 046F
	6)	836, 936, 1036, 1136	0344, 03A8, 040C, 0470
	7)	837, 937, 1037, 1137	0345, 03A9, 040D, 0471
	8)	832, 932, 1032, 1132	0340, 03A4, 0408, 046C
	9)	833, 933, 1033, 1133	0341, 03A5, 0409, 046D
	—	———	———
	1)	824 ～ 825	0338 ～ 0339
		924 ～ 925	039C ～ 039D
		1024 ～ 1025	0400 ～ 0401
		1124 ～ 1125	0464 ～ 0465
	2)	826, 926, 1026, 1126	033A, 039E, 0402, 0466
	3) 4) 5) 6)	816, 916, 1016, 1116	0330, 0394, 03F8, 045C
	—	———	———
	1)	814 ～ 815	032E ～ 032F
		914 ～ 915	0392 ～ 0393
		1014 ～ 1015	03F6 ～ 03F7
		1114 ～ 1115	045A ～ 045B
	2)	1526 ～ 1527	05F6 ～ 05F7
		1626 ～ 1627	065A ～ 065B
		1726 ～ 1727	06BE ～ 06BF
		1826 ～ 1827	0722 ～ 0723
	3)	817, 917, 1017, 1117	0331, 0395, 03F9, 045D
	4)	817, 917, 1017, 1117	0331, 0395, 03F9, 045D
	5)	1528, 1628, 1728, 1828	05F8, 065C, 06C0, 0724

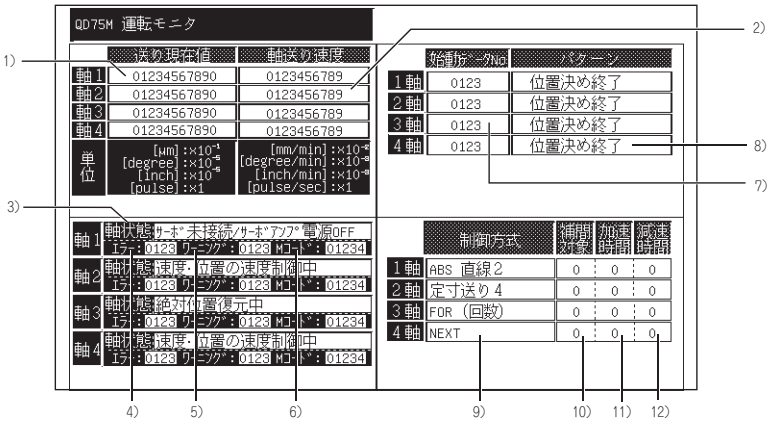
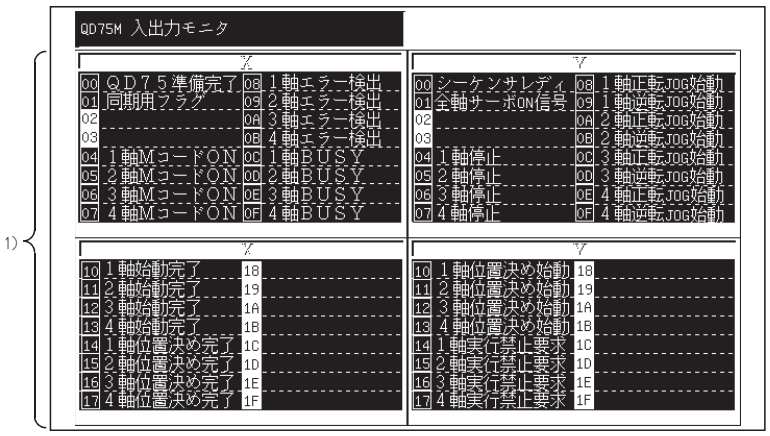
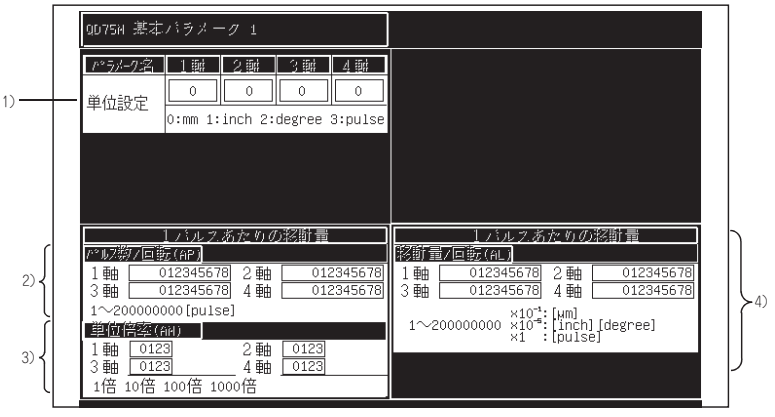
画面例	番号	バッファメモリアドレス	
		10 進数	16 進数
	1)	1530 ～ 1531	05FA ～ 05FB
		1630 ～ 1631	065E ～ 065F
		1730 ～ 1731	06C2 ～ 06C3
		1830 ～ 1831	0726 ～ 0727
	2)	817, 917, 1017, 1117	0331, 0395, 03F9, 045D
	3)	817, 917, 1017, 1117	0331, 0395, 03F9, 045D
	4)	1532, 1632, 1732, 1832	05FC, 0660, 06C4, 0728
	—	———	———
	1)	1506 ～ 1507	05E2 ～ 05E3
		1606 ～ 1607	0646 ～ 0647
		1706 ～ 1707	06AA ～ 06AB
		1806 ～ 1807	070E ～ 070F
	2)	1514 ～ 1515	05EA ～ 05EB
		1614 ～ 1615	064E ～ 064F
		1714 ～ 1715	06B2 ～ 06B3
		1814 ～ 1815	0716 ～ 0717
	3)	1513, 1613, 1713, 1813	05E9, 064D, 06B1, 0715
	4)	1544, 1644, 1744, 1844	0608, 066C, 06D0, 0734
	5)	1545, 1645, 1745, 1845	0609, 066D, 06D1, 0735
	6)	1546, 1646, 1746, 1846	060A, 066E, 06D2, 0736
	7)	1547, 1647, 1747, 1847	060B, 066F, 06D3, 0737
	8)	1505, 1605, 1705, 1805	05E1, 0645, 06A9, 070D

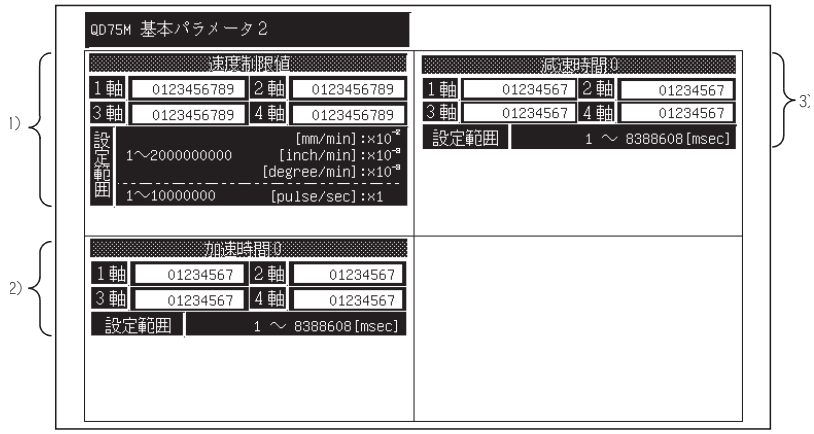
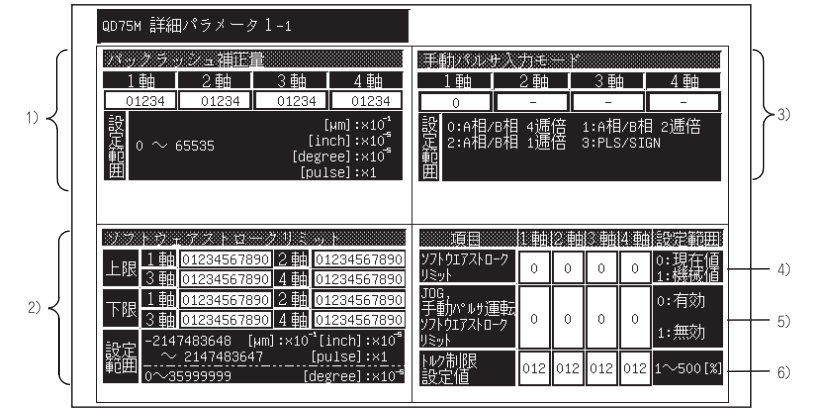
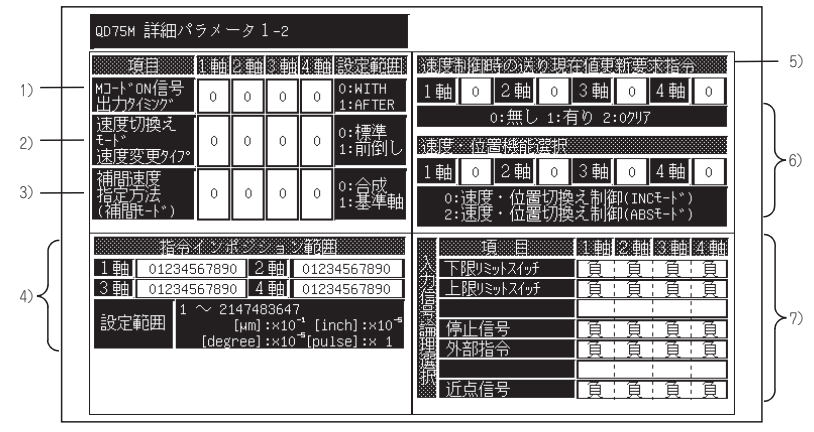
画面例	番号	バッファメモリアドレス	
		10 進数	16 進数
	1)	1500, 1600, 1700, 1800	05DC, 0640, 06A4, 0708
	2)	1501, 1601, 1701, 1801	05DD, 0641, 06A5, 0709
	3)	1502, 1602, 1702, 1802	05DE, 0642, 6A6, 070A
	4)	1503, 1603, 1703, 1803	05DF, 0643, 06A7, 070B
	5)	1504, 1604, 1704, 1804	05E0, 0644, 06A8, 070C
	6)	1512, 1612, 1712, 1812	05E8, 064C, 06B0, 0714
	7)	1516, 1616, 1716, 1816	05EC, 0650, 06B4, 0718
	8)	1508 ～ 1509	05E4 ～ 05E5
		1608 ～ 1609	0648 ～ 0649
		1708 ～ 1709	06AC ～ 06AD
		1808 ～ 1809	0710 ～ 0711
	9)	1510 ～ 1511	05E6 ～ 05E7
		1610 ～ 1611	064A ～ 064B
		1710 ～ 1711	06AE ～ 06AF
		1810 ～ 1811	0712 ～ 0713
	10)	1520, 1620, 1720, 1820	05F0, 0654, 06B8, 071C
	11)	1521, 1621, 1721, 1821	05F1, 0655, 06B9, 071D
	12)	1522 ～ 1523	05F2 ～ 05F3
		1622 ～ 1623	0656 ～ 0657
		1722 ～ 1723	06BA ～ 06BB
		1822 ～ 1823	071E ～ 071F
	13)	1524, 1624, 1724, 1824	05F4, 0658, 06BC, 0720
	14)	1525, 1625, 1725, 1825	05F5, 0659, 06BD, 0721
	1)	1538, 1638, 1738, 1838	0602, 0666, 06CA, 072E
	2)	1548, 1648, 1748, 1848	060C, 0670, 06D4, 0738
	3)	1549, 1649, 1749, 1849	060D, 0671, 06D5, 0739
	4)	1550, 1650, 1750, 1850	060E, 0672, 06D6, 073A
	5)	1540, 1640, 1740, 1840, 1541, 1641, 1741, 1841, 1542, 1642, 1742, 1842, 1543, 1643, 1743, 1843	0604, 0668, 06CC, 0730, 0605, 0669, 06CD, 0731, 0606, 066A, 06CE, 0732, 0607, 066B, 06CF, 0733

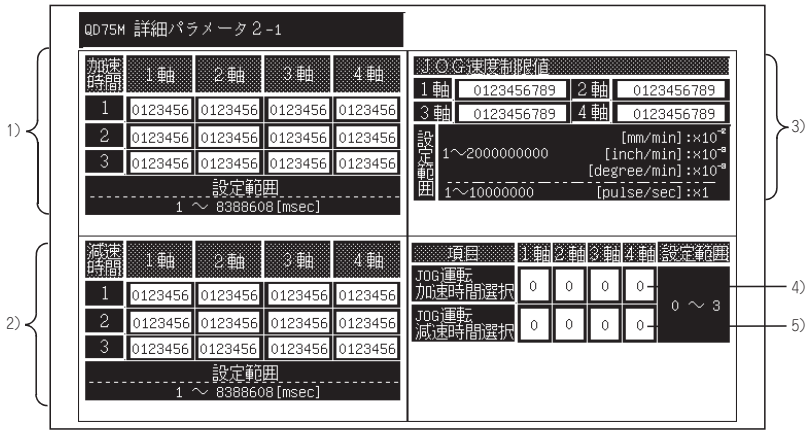
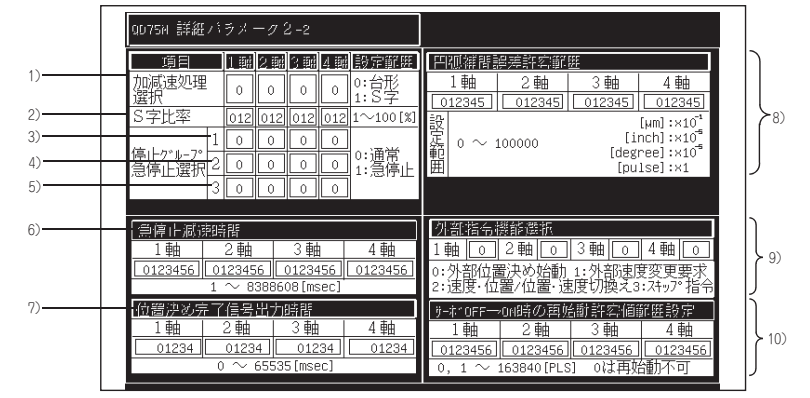
画面例	番号	バッファメモリアドレス	
		10 進数	16 進数
	1)	1517, 1617, 1717, 1817	05ED, 0651, 06B5, 0719
	2)	1518 ～ 1519	05EE ～ 05EF
		1618 ～ 1619	0652 ～ 0653
		1718 ～ 1719	06B6 ～ 06B7
		1818 ～ 1819	071A ～ 071B
	3)	1534 ～ 1535	05FE ～ 05FF
		1634 ～ 1635	0662 ～ 0663
		1734 ～ 1735	06C6 ～ 06C7
		1834 ～ 1835	072A ～ 072B
	4)	1536 ～ 1537	0600 ～ 0601
		1636 ～ 1637	0664 ～ 0665
		1736 ～ 1737	06C8 ～ 06C9
		1836 ～ 1837	072C ～ 072D
	1)	1212 ～ 1292	04BC ～ 050C
	—	———	———
	1)	1293 ～ 1356	050D ～ 054C
	2)	1358 ～ 1421	054E ～ 058D
	—	———	———

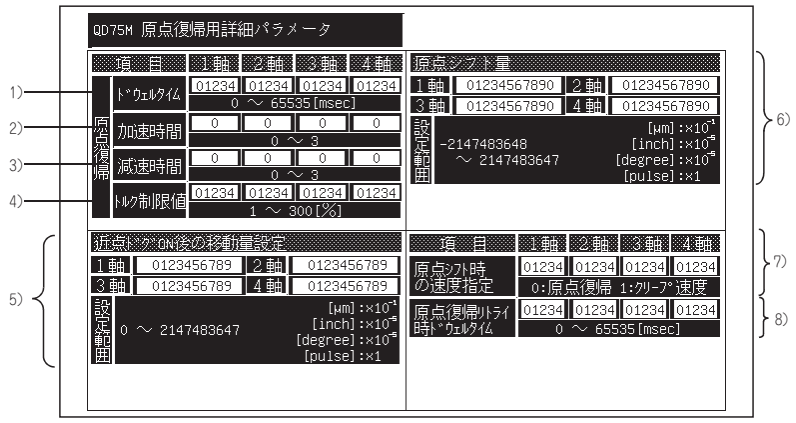
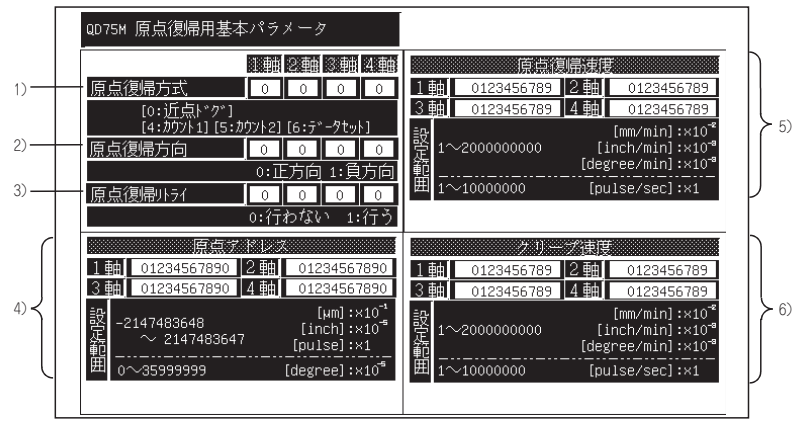
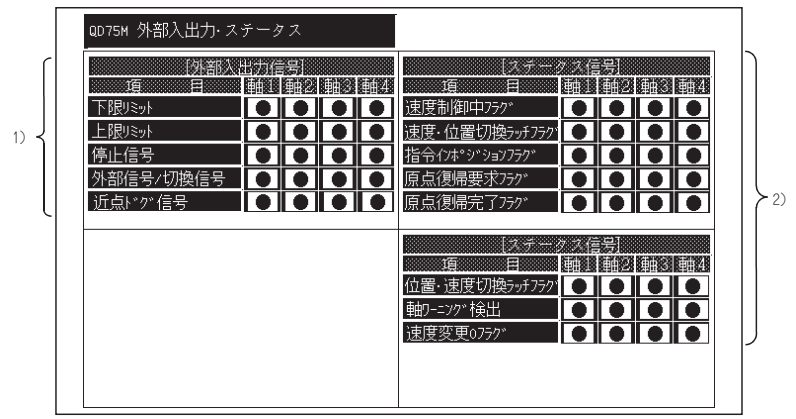
画面例	番号	バッファメモリアドレス	
		10 進数	16 進数
	1)	2000 ～ 25999	07D0 ～ 658F
	—	———	———

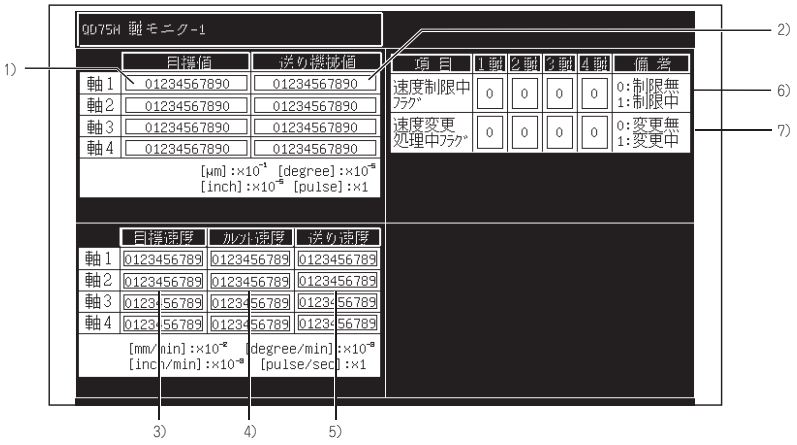
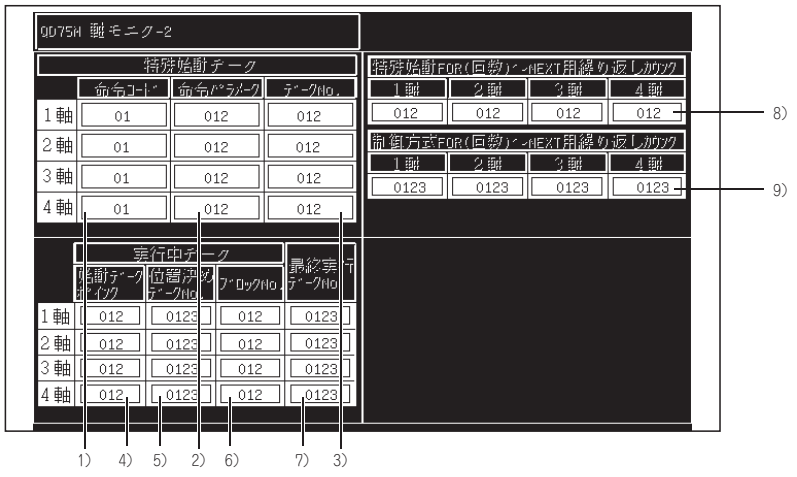
12.32 QD75M ユニットのモニタ

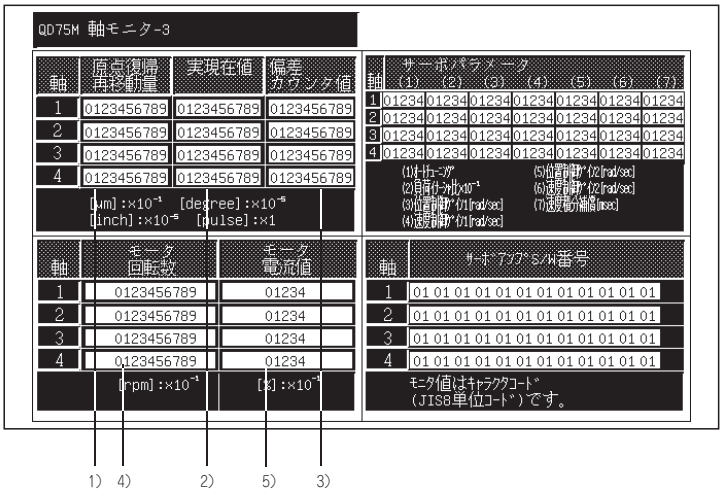
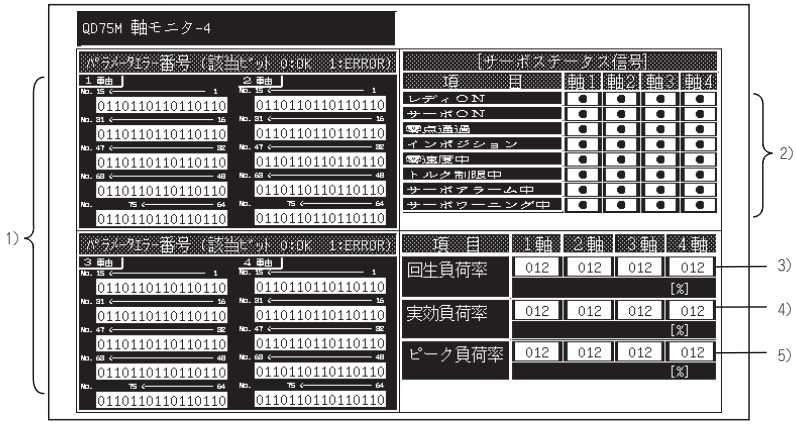
画面例	番号	バッファメモリアドレス	
		10 進数	16 進数
	1)	800 ～ 801	0320 ～ 0321
		900 ～ 901	0384 ～ 0385
		1000 ～ 1001	03E8 ～ 03E9
		1100 ～ 1101	044C ～ 044D
	2)	812 ～ 813	032C ～ 032D
		912 ～ 913	0390 ～ 0391
		1012 ～ 1013	03F4 ～ 03F5
		1112 ～ 1113	0458 ～ 0459
	3)	809, 909, 1009, 1109	0329, 038D, 03F1, 0455
	4)	806, 906, 1006, 1106	0326, 038A, 03EE, 0452
	5)	807, 907, 1007, 1107	0327, 038B, 03EF, 0453
	6)	808, 908, 1008, 1108	0328, 038C, 03F0, 0454
	7)	829, 929, 1029, 1129	033D, 03A1, 0405, 0469
	8) ～ 12)	838, 938, 1038, 1138	0346, 03AA, 040E, 0472
	1)	———	———
	—	———	———
	1)	0, 150, 300, 450	0000, 0096, 012C, 01C2
	2)	2 ～ 3, 152 ～ 153, 302 ～ 303, 452 ～ 453	0002 ～ 0003, 0098 ～ 0099, 012E ～ 012F, 01C4 ～ 01C7
	3)	1, 151, 301, 451	0001, 0097, 0012D, 01C3
	4)	4 ～ 5, 154 ～ 155, 304 ～ 305, 454 ～ 455	0004 ～ 0005, 009A ～ 009B, 0130 ～ 0131, 01C6 ～ 01C7

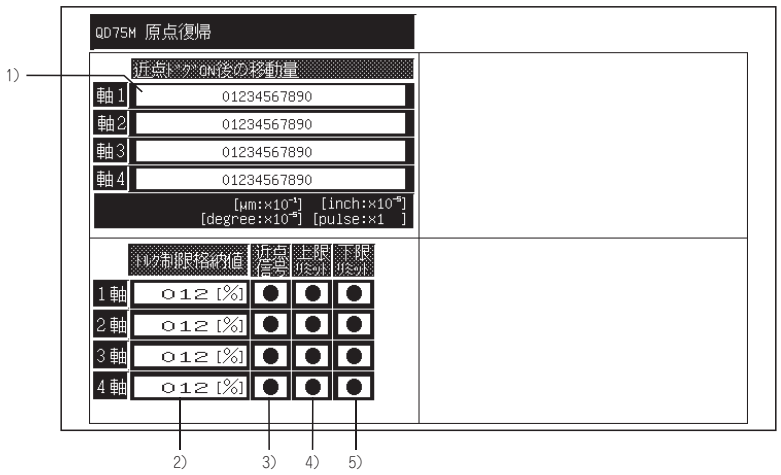
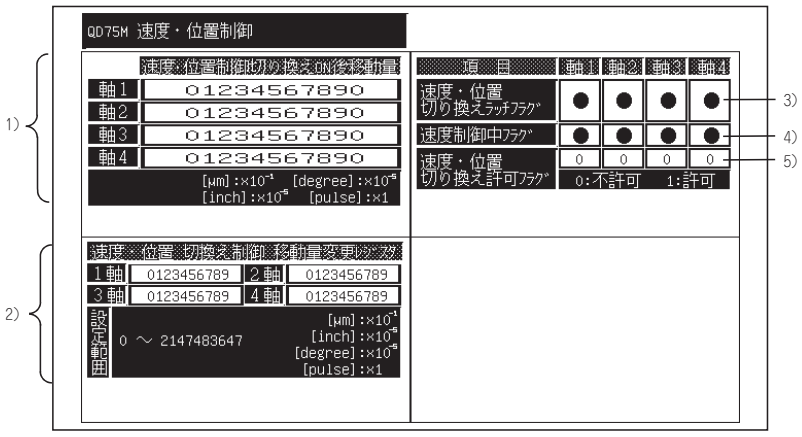
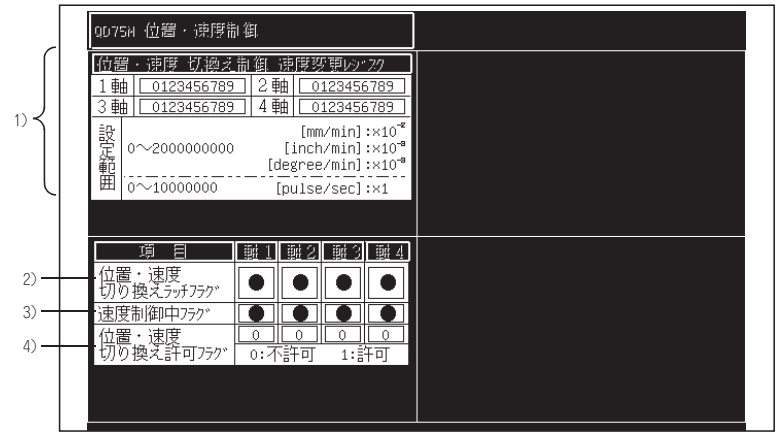
画面例	番号	バッファメモリアドレス	
		10 進数	16 進数
	1)	10 ～ 11	000A ～ 000B
		160 ～ 161	00A0 ～ 00A1
		310 ～ 311	0136 ～ 0137
		460 ～ 461	01CC ～ 01CD
	2)	12 ～ 13	000C ～ 000D
		162 ～ 163	00A2 ～ 00A3
		312 ～ 313	0138 ～ 0139
		462 ～ 463	01CE ～ 01CF
	3)	14 ～ 15	000E ～ 000F
		164 ～ 165	00A4 ～ 00A5
		314 ～ 315	013A ～ 013B
		464 ～ 465	01D0 ～ 01D1
	—	———	———
	1)	17, 167, 317, 467	0011, 00A7, 013D, 01D3
	2)	18 ～ 19	0012 ～ 0013
		168 ～ 169	00A8 ～ 00A9
		318 ～ 319	013E ～ 013F
		468 ～ 469	01D4 ～ 01D5
		20 ～ 21	0014 ～ 0015
		170 ～ 171	00AA ～ 00AB
		320 ～ 321	0140 ～ 0141
		470 ～ 471	01D6 ～ 01D7
	3)	33	0021
	4)	22, 172, 322, 472	0016, 00AC, 0142, 01D8
	5)	23, 173, 323, 473	0017, 00AD, 0143, 01D9
	6)	26, 176, 326, 476	001A, 00B0, 0146, 01DC
	1)	27, 177, 327, 477	001B, 00B1, 0147, 01DD
	2)	28, 178, 328, 478	001C, 00B2, 0148, 01DE
	3)	29, 179, 329, 479	001D, 00B3, 0149, 01DF
	4)	24 ～ 25	0018 ～ 0019
		174 ～ 175	00AE ～ 00AF
		324 ～ 325	0144 ～ 0145
		474 ～ 475	01DA ～ 01DB
	5)	30, 180, 330, 480	001E, 00B4, 014A, 01E0
	6)	34, 184, 334, 484	0022, 00B8, 014E, 01E4
	7)	31, 181, 331, 481	001F, 00B5, 014B, 01E1

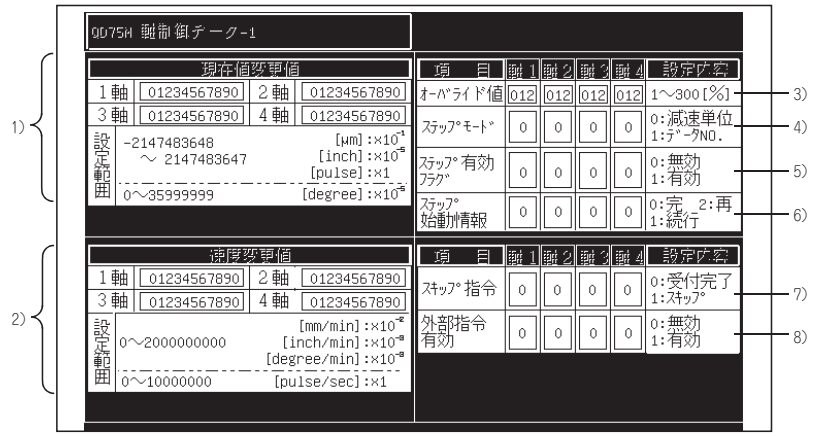
画面例	番号	バッファメモリアドレス	
		10 進数	16 進数
	1)	36 ～ 41	0024 ～ 0029
		186 ～ 191	00BA ～ 00BF
		336 ～ 341	0150 ～ 0155
		486 ～ 491	01E6 ～ 01EB
	2)	42 ～ 47	002A ～ 002F
		192 ～ 197	00C0 ～ 00C5
		342 ～ 347	0156 ～ 015B
		492 ～ 496	01EC ～ 01F0
	3)	48 ～ 49	0030 ～ 0031
		198 ～ 199	00C6 ～ 00C7
		348 ～ 349	015C ～ 015D
		498 ～ 499	01F2 ～ 01F3
	4)	50, 200, 350, 500	0032, 00C8, 015E, 01F4
	5)	51, 501, 351, 501	0033, 01F5, 015F, 01F5
	1)	52, 202, 352, 502	0034, 00CA, 0160, 01F6
	2)	53, 203, 353, 503	0035, 00CB, 0161, 01F7
	3)	56, 206, 356, 506	0038, 00CE, 0164, 01FA
	4)	57, 207, 357, 507	0039, 00CF, 0165, 01FB
	5)	58, 208, 358, 508	003A, 00D0, 0166, 01FC
	6)	54 ～ 55, 204 ～ 205, 354 ～ 355, 504 ～ 505	0036 ～ 0037, 00CC ～ 00CD, 0162 ～ 0163, 01F8 ～ 01F9
	7)	59, 209, 359, 509	003B, 00D1, 0167, 01FD
	8)	60 ～ 61	003C ～ 003D
		210 ～ 211	00D2 ～ 00D3
		360 ～ 361	0168 ～ 0169
		510 ～ 511	01FE ～ 01FF
	9)	62, 212, 362, 512	003E, 00D4, 016A, 0200
	10)	64 ～ 65, 214 ～ 215, 364 ～ 365, 514 ～ 515	0040 ～ 0041, 00D6 ～ 00D7, 016C ～ 016D, 0202 ～ 0203

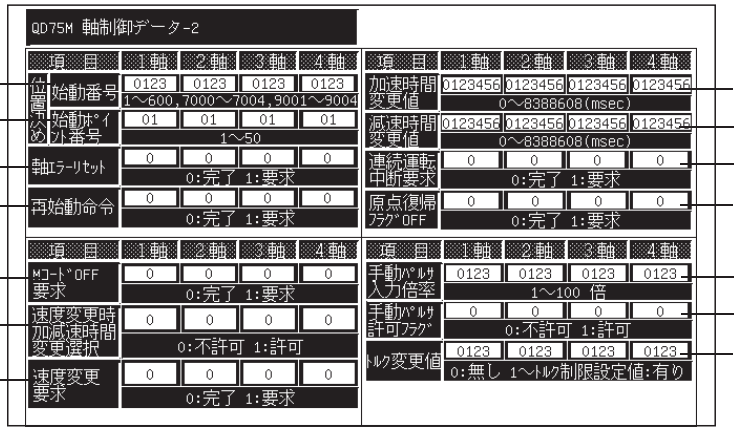
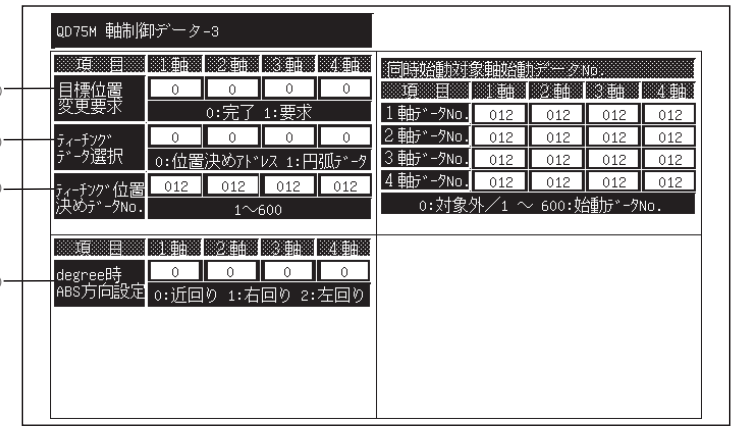
画面例	番号	バッファメモリアドレス	
		10 進数	16 進数
	1)	79, 229, 379, 529	004F, 00E5, 017B, 0211
	2)	82, 232, 382, 532	0052, 00E8, 017E, 0214
	3)	83, 233, 383, 533	0053, 00E9, 017F, 0215
	4)	86, 236, 386, 536	0056, 00EC, 0182, 0218
	5)	80 ～ 81	0050 ～ 0051
		230 ～ 231	00E6 ～ 00E7
		380 ～ 381	017C ～ 017D
		530 ～ 531	0212 ～ 0213
	6)	84 ～ 85	0054 ～ 0055
		234 ～ 235	00EA ～ 00EB
		384 ～ 385	0180 ～ 0181
		534 ～ 535	0216 ～ 0217
	7)	88, 238, 388, 538	0058, 00EE, 0184, 021A
	8)	89, 239, 389, 539	0059, 00EF, 0185, 021B
	1)	70, 220, 370, 520	0046, 00DC, 0172, 0208
	2)	71, 221, 371, 521	0047, 00DD, 0173, 0209
	3)	78, 228, 378, 528	004E, 00E4, 017A, 0210
	4)	72 ～ 73	0048 ～ 0049
		222 ～ 223	00DE ～ 00DF
		372 ～ 373	0174 ～ 0175
		522 ～ 523	020A ～ 020B
	5)	74 ～ 75	004A ～ 004B
		224 ～ 225	00E0 ～ 00E1
		374 ～ 375	0176 ～ 0177
		524 ～ 525	020C ～ 020D
	6)	76 ～ 77	004C ～ 004D
		226 ～ 227	00E2 ～ 00E3
		376 ～ 377	0178 ～ 0179
		526 ～ 527	020E ～ 020F
	1)	816, 916, 1016, 1116	0330, 0394, 03F8, 045C
	2)	817, 917, 1017, 1117	0331, 0395, 03F9, 045D
	—	———	———

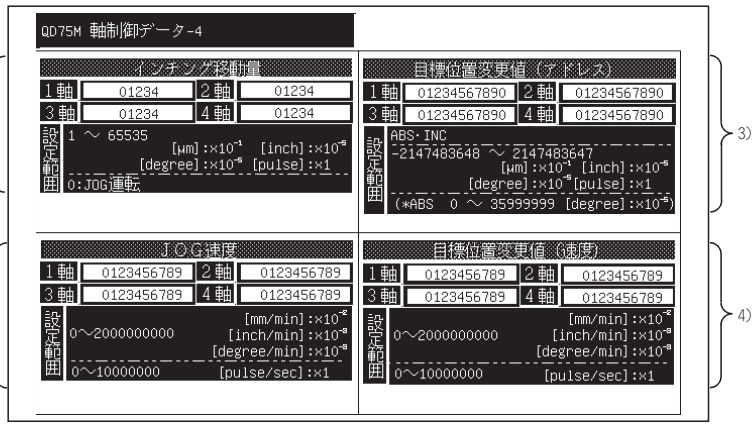
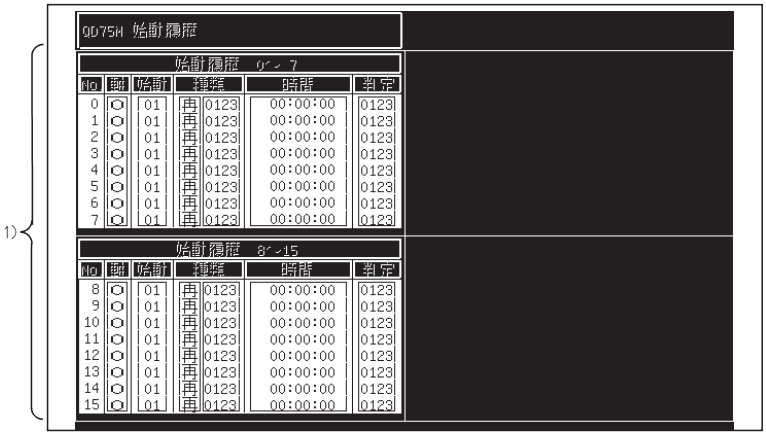
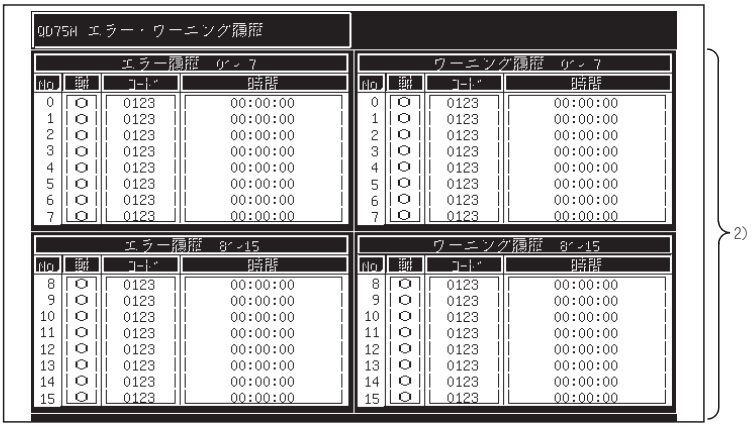
画面例	番号	バッファメモリアドレス	
		10 進数	16 進数
	1)	818 ～ 819	0332 ～ 0333
		918 ～ 919	0396 ～ 0397
		1018 ～ 1019	03FA ～ 03FB
		1118 ～ 1119	045E ～ 045F
	2)	802 ～ 803	0322 ～ 0323
		902 ～ 903	0386 ～ 0387
		1002 ～ 1003	03EA ～ 03EB
		1102 ～ 1103	044E ～ 044F
	3)	820 ～ 821	0334 ～ 0335
		920 ～ 921	0398 ～ 0399
		1020 ～ 1021	03FC ～ 03FD
		1120 ～ 1121	0460 ～ 0461
	4)	810 ～ 811	032A ～ 032B
		910 ～ 911	038E ～ 038F
		1010 ～ 1011	03F2 ～ 03F3
		1110 ～ 1111	0456 ～ 0457
	5)	812 ～ 813	032C ～ 032D
		912 ～ 913	0390 ～ 0391
		1012 ～ 1013	03F4 ～ 03F5
		1112 ～ 1113	0458 ～ 0459
	6)	830, 930, 1030, 1130	033E, 03A2, 0406, 046A
	7)	831, 931, 1031, 1131	033F, 03A3, 0407, 046B
	1)	827, 927, 1027, 1127	033B, 039F, 0403, 0467
	2)	828, 928, 1028, 1128	033C, 03A0, 0404, 0468
	3)	829, 929, 1029, 1129	033D, 03A1, 0405, 0469
	4)	834, 934, 1034, 1134	0342, 03A6, 040A, 046E
	5)	835, 936, 1036, 1135	0343, 03A8, 040C, 046F
	6)	836, 936, 1036, 1136	0344, 03A8, 040C, 0470
	7)	837, 937, 1037, 1137	0345, 03A9, 040D, 0471
	8)	832, 932, 1032, 1132	0340, 03A4, 0408, 046C
	9)	833, 933, 1033, 1133	0341, 03A5, 0409, 046D
	—	———	———

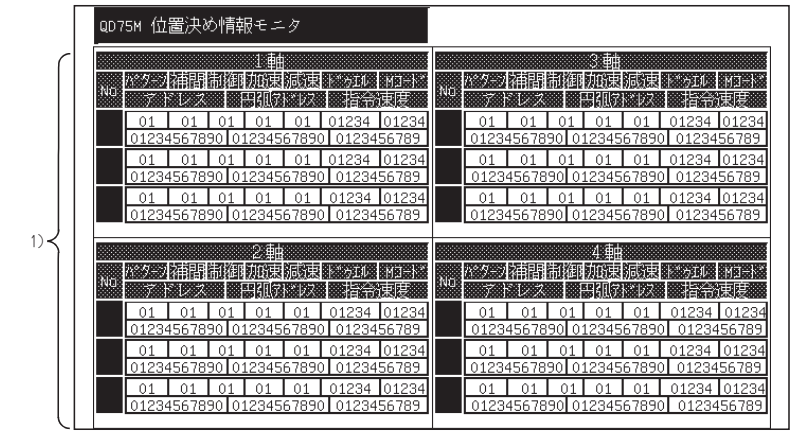
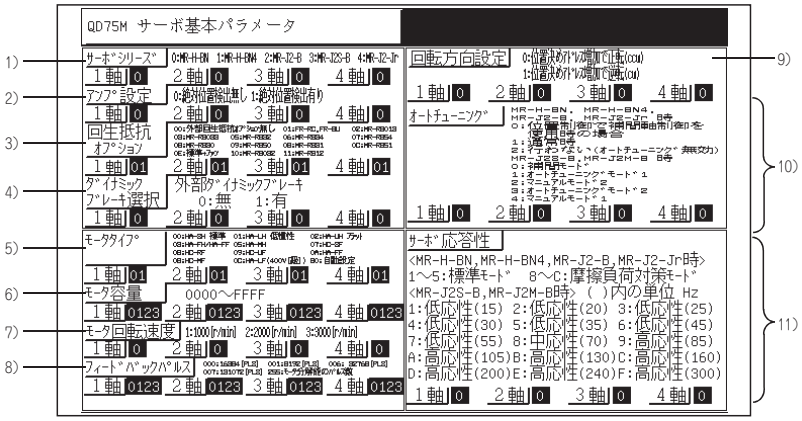
画面例	番号	バッファメモリアドレス	
		10 進数	16 進数
	1)	848 ～ 849, 948 ～ 949, 1048 ～ 1049, 1148 ～ 1149	0350 ～ 0351, 03B4 ～ 03B5, 0418 ～ 0419, 047C ～ 047D
	2)	850 ～ 851, 950 ～ 951, 1050 ～ 1051, 1150 ～ 1151	0352 ～ 0353, 03B6 ～ 03B7, 041A ～ 041B, 047E ～ 047F
	3)	852 ～ 853, 952 ～ 953, 1052 ～ 1053, 1152 ～ 1153	0354 ～ 0355, 03B8 ～ 03B9, 041C ～ 041D, 0480 ～ 0481
	4)	854 ～ 855, 954 ～ 955, 1054 ～ 1055, 1154 ～ 1155	0356 ～ 0357, 03BA ～ 03BB, 041E ～ 041F, 0482 ～ 0483
	5)	856, 956, 1056, 1156	0358, 03BC, 0420, 0484
	6)	857, 957, 1057, 1157	0359, 03BD, 0421, 0485
		858, 958, 1058, 1158	035A, 03BE, 0422, 0486
		859, 959, 1059, 1159	035B, 03BF, 0423, 0487
		860, 960, 1060, 1160	035C, 03C0, 0424, 0488
		861, 961, 1061, 1161	035D, 03C1, 0425, 0489
		862, 962, 1062, 1162	035E, 03C2, 0426, 048A
		863, 963, 1063, 1163	035F, 03C2, 0427, 048B
	7)	864 ～ 869, 964 ～ 969, 1064 ～ 1069, 1164 ～ 1169	0360 ～ 0365, 03C4 ～ 03C9, 0428 ～ 042D, 048C ～ 0491
	1)	870, 970, 1070, 1170	0366, 03CA, 042E, 0492
		871, 971, 1071, 1171	0367, 03CB, 042F, 0493
		872, 972, 1072, 1172	0368, 03CC, 0430, 0494
		873, 973, 1073, 1173	0369, 03CD, 0431, 0495
		874, 974, 1074, 1174	036A, 03CE, 0432, 0496
	2)	877, 977, 1077, 1177	036D, 03D1, 0435, 0499
	3)	878, 978, 1078, 1178	036E, 03D2, 0436, 049A
	4)	879, 979, 1079, 1179	036F, 03D3, 0437, 049B
	5)	880, 980, 1080, 1180	0370, 03D4, 0438, 049C

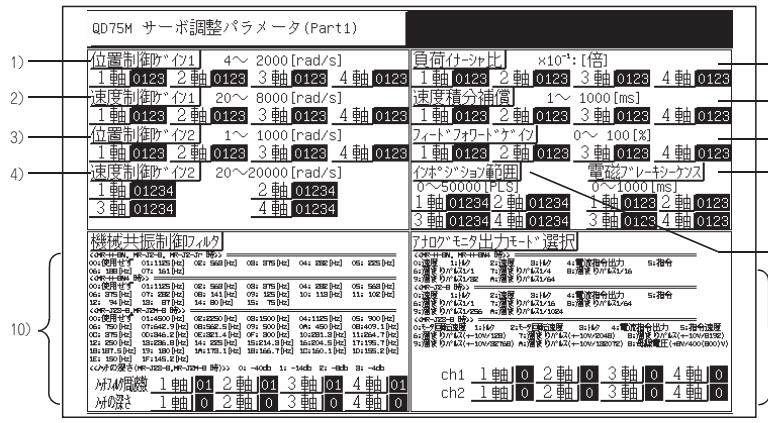
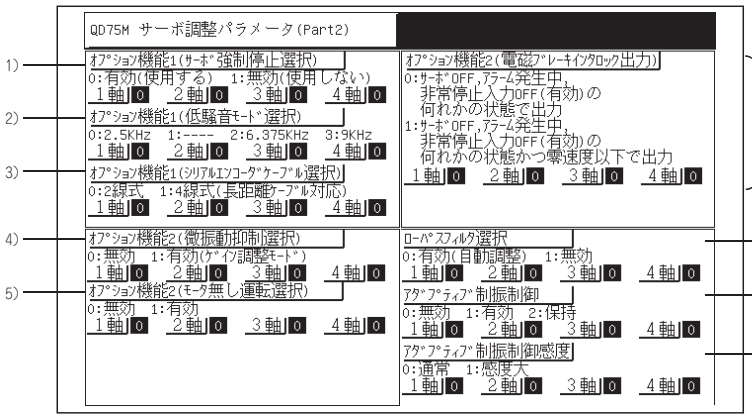
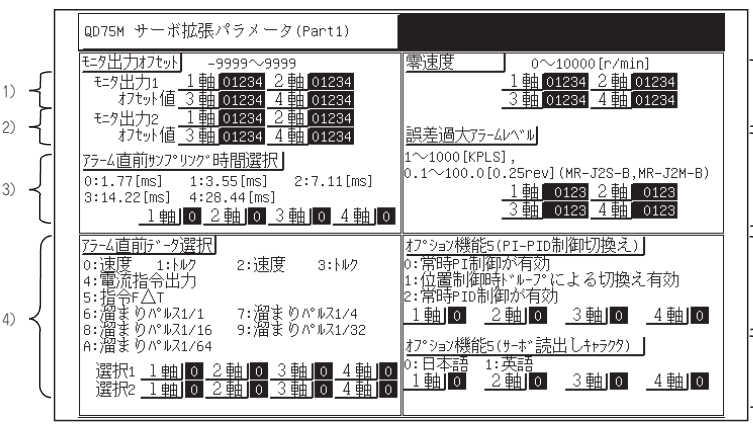
画面例	番号	バッファメモリアドレス	
		10 進数	16 進数
	1)	824 ～ 825	0338 ～ 0339
		924 ～ 925	039C ～ 039D
		1024 ～ 1025	0400 ～ 0401
		1124 ～ 1125	0464 ～ 0465
	2)	826, 926, 1026, 1126	033A, 039E, 0402, 0466
	3) 4) 5)	816, 916, 1016, 1116	0330, 0394, 03F8, 045C
	—	———	———
	1)	814 ～ 815	032E ～ 032F
		914 ～ 915	0392 ～ 0393
		1014 ～ 1015	03F6 ～ 03F7
		1114 ～ 1115	045A ～ 045B
	2)	1526 ～ 1527	05F6 ～ 05F7
		1626 ～ 1627	065A ～ 065B
		1726 ～ 1727	06BE ～ 06BF
		1826 ～ 1827	0722 ～ 0723
	3)	817, 917, 1017, 1117	0331, 0395, 03F9, 045D
	4)	817, 917, 1017, 1117	0331, 0395, 03F9, 045D
	5)	1528, 1628, 1728, 1828	05F8, 065C, 06C0, 0724
	1)	1530 ～ 1531	05FA ～ 05FB
		1630 ～ 1631	065E ～ 065F
		1730 ～ 1731	06C2 ～ 06C3
		1830 ～ 1831	0726 ～ 0727
	2)	817, 917, 1017, 1117	0331, 0395, 03F9, 045D
	3)	817, 917, 1017, 1117	0331, 0395, 03F9, 045D
	4)	1532, 1632, 1732, 1832	05FC, 0660, 06C4, 0728
	—	———	———

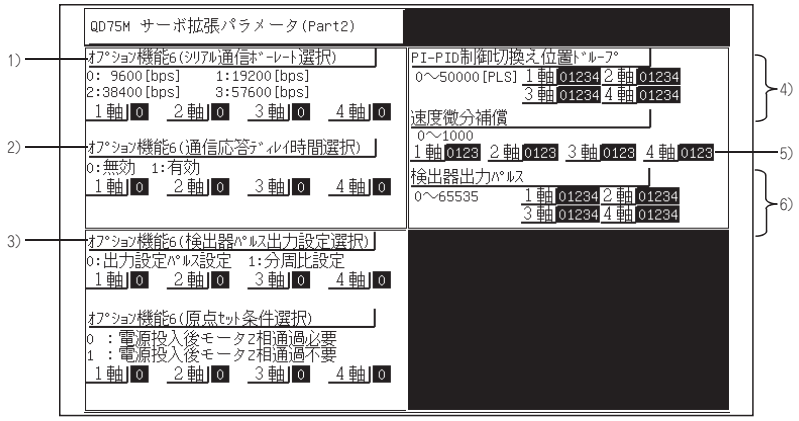
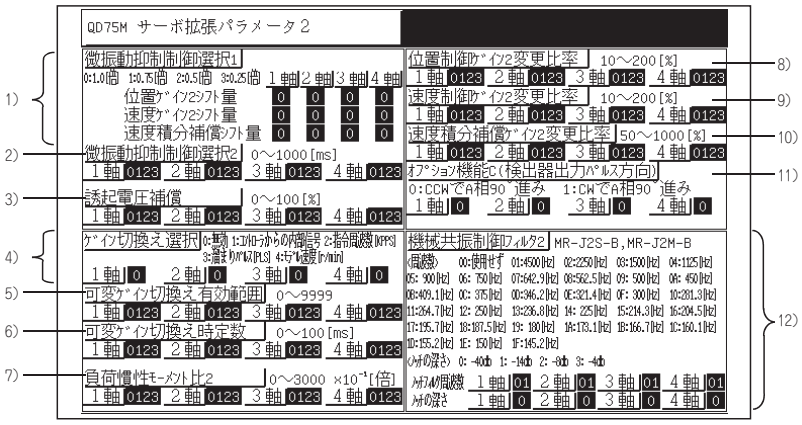
画面例	番号	バッファメモリアドレス	
		10 進数	16 進数
	1)	1506 ～ 1507	05E2 ～ 05E3
		1606 ～ 1607	0646 ～ 0647
		1706 ～ 1707	06AA ～ 06AB
		1806 ～ 1807	070E ～ 070F
	2)	1514 ～ 1515	05EA ～ 05EB
		1614 ～ 1615	064E ～ 064F
		1714 ～ 1715	06B2 ～ 06B3
		1814 ～ 1815	0716 ～ 0717
	3)	1513, 1613, 1713, 1813	05E9, 064D, 06B1, 0715
	4)	1544, 1644, 1744, 1844	0608, 066C, 06D0, 0734
	5)	1545, 1645, 1745, 1845	0609, 066D, 06D1, 0735
	6)	1546, 1646, 1746, 1846	060A, 066E, 06D2, 0736
	7)	1547, 1647, 1747, 1847	060B, 066F, 06D3, 0737
	8)	1505, 1605, 1705, 1805	05E1, 0645, 06A9, 070D

画面例	番号	バッファメモリアドレス	
		10 進数	16 進数
	1)	1500, 1600, 1700, 1800	05DC, 0640, 06A4, 0708
	2)	1501, 1601, 1701, 1801	05DD, 0641, 06A5, 0709
	3)	1502, 1602, 1702, 1802	05DE, 0642, 6A6, 070A
	4)	1503, 1603, 1703, 1803	05DF, 0643, 06A7, 070B
	5)	1504, 1604, 1704, 1804	05E0, 0644, 06A8, 070C
	6)	1512, 1612, 1712, 1812	05E8, 064C, 06B0, 0714
	7)	1516, 1616, 1716, 1816	05EC, 0650, 06B4, 0718
	8)	1508 ～ 1509	05E4 ～ 05E5
		1608 ～ 1609	0648 ～ 0649
		1708 ～ 1709	06AC ～ 06AD
		1808 ～ 1809	0710 ～ 0711
	9)	1510 ～ 1511	05E6 ～ 05E7
		1610 ～ 1611	064A ～ 064B
		1710 ～ 1711	06AE ～ 06AF
		1810 ～ 1811	0712 ～ 0713
	10)	1520, 1620, 1720, 1820	05F0, 0654, 06B8, 071C
	11)	1521, 1621, 1721, 1821	05F1, 0655, 06B9, 071D
	12)	1522 ～ 1523	05F2 ～ 05F3
		1622 ～ 1623	0656 ～ 0657
		1722 ～ 1723	06BA ～ 06BB
		1822 ～ 1823	071E ～ 071F
	13)	1524, 1624, 1724, 1824	05F4, 0658, 06BC, 0720
	14)	1525, 1625, 1725, 1825	05F5, 0659, 06BD, 0721
	1)	1538, 1638, 1738, 1838	0602, 0666, 06CA, 072E
	2)	1548, 1648, 1748, 1848	060C, 0670, 06D4, 0738
	3)	1549, 1649, 1749, 1849	060D, 0671, 06D5, 0739
	4)	1550, 1650, 1750, 1850	060E, 0672, 06D6, 073A
	5)	1540, 1640, 1740, 1840, 1541, 1641, 1741, 1841, 1542, 1642, 1742, 1842, 1543, 1643, 1743, 1843	0604, 0668, 06CC, 0730, 0605, 0669, 06CD, 0731, 0606, 066A, 06CE, 0732, 0607, 066B, 06CF, 0733

画面例	番号	バッファメモリアドレス	
		10 進数	16 進数
	1)	1517, 1617, 1717, 1817	05ED, 0651, 06B5, 0719
	2)	1518 ～ 1519	05EE ～ 05EF
		1618 ～ 1619	0652 ～ 0653
		1718 ～ 1719	06B6 ～ 06B7
		1818 ～ 1819	071A ～ 071B
	3)	1534 ～ 1535	05FE ～ 05FF
		1634 ～ 1635	0662 ～ 0663
		1734 ～ 1735	06C6 ～ 06C7
		1834 ～ 1835	072A ～ 072B
	4)	1536 ～ 1537	0600 ～ 0601
		1636 ～ 1637	0664 ～ 0665
		1736 ～ 1737	06C8 ～ 06C9
		1836 ～ 1837	072C ～ 072D
	1)	1212 ～ 1292	04BC ～ 050C
	—	———	———
	1)	1293 ～ 1356	050D ～ 054C
	2)	1358 ～ 1421	054E ～ 058D
	—	———	———

画面例	番号	バッファメモリアドレス	
		10 進数	16 進数
	1)	2000 ～ 25999	07D0 ～ 658F
	—	———	———
	1)	30100, 30200, 30300, 30400	07594, 075F8 0765C,076C0
	2)	30101, 30201, 30301, 30401	07595, 075F9 0765D, 076C1
	3) 4)	30102, 30202, 30302, 30402	07596, 075FA 0765E, 076C2
	5)	30103, 30203, 30303, 30403	07597, 075FB 0765F, 076C3
	6)	30104, 30204, 30304, 30404	07598, 075FC 07660, 076C4
	7)	30105, 30205, 30305, 30405	07599, 075FD 07661, 076C5
	8)	30106, 30206, 30306, 30406	0759A, 075FE 07662, 076C6
	9)	30107, 30207, 30307, 30407	0759B, 075FF 07663, 076C7
	10)	30108, 30208, 30308, 30408	0759C, 07600 07664, 076C8
	11)	30109, 30209, 30309, 30409	0759D, 07601 07665, 076C9

画面例	番号	バッファメモリアドレス	
		10 進数	16 進数
	1)	30113, 30213, 30313, 30413	075A1, 07605 07669, 076CD
	2)	30114, 30214, 30314, 30414	075A2, 07606 0766A, 076CE
	3)	30115, 30215, 30315, 30415	075A3, 07607 0766B, 076CF
	4)	30116, 30216, 30316, 30416	075A4, 07608 0766C, 076D0
	5)	30112, 30212, 30312, 30412	075A0, 07604 07668, 076CC
	6)	30117, 30217, 30317, 30417	075A5, 07609 0766D, 076D1
	7)	30119, 30219, 30319, 30419	075A7, 0760B 0766F, 076D3
	8)	30120, 30220, 30320, 30420	075A8, 0760C 07670, 076D4
	9)	30121, 30221, 30321, 30421	075A9, 0760D 07671, 076D5
	10)	30118, 30218, 30318, 30418	075A6, 0760A 0766E, 076D2
	11)	30122, 30222, 30322, 30422	075AA, 0760E 07672, 076D6
	1) 2) 3)	30123, 30223, 30323, 30423	075AB, 0760F 07673, 076D7
	4) 5) 6)	30124, 30224, 30324, 30424	075AC, 07610 07674, 076D8
	7) 8) 9)	30125, 30225, 30325, 30425	075AD, 07611 07675, 076D9
	—	———	———
	1)	30127, 30227, 30327, 30427	075AF, 07613 07677, 076DB
	2)	30128, 30228, 30328, 30428	075B0, 07614 07678, 076DC
	3) 4)	30129, 30229, 30329, 30429	075B1, 07615 07679, 076DD
	5)	30130, 30230, 30330, 30430	075B2, 07616 0767A, 076DE
	6)	30131, 30231, 30331, 30431	075B3, 07617 0767B, 076DF
	7) 8)	30132, 30232, 30332, 30432	075B4, 07618 0767C, 076E0

画面例	番号	バッファメモリアドレス	
		10 進数	16 進数
	1) 2) 3)	30133, 30233, 30333, 30433	075B5, 07619 0767D, 076E1
	4)	30134, 30234, 30334, 30434	075B6, 0761A 0767E, 076E2
	5)	30136, 30236, 30336, 30436	075B8, 0761C 07680, 076E4
	6)	30138, 30238, 30338, 30438	075BA, 0761E 07682, 076E6
	—	———	———
	1)	30143, 30243, 30343, 30443	075BF, 07623 07687, 076EB
	2)	30144, 30244, 30344, 30444	075C0, 07624 07688, 076EC
	3)	30145, 30245, 30345, 30445	075C1, 07605 07689, 076ED
	4)	30149, 30249, 30349, 30449	075C5, 07629 0768D, 076F1
	5)	30150, 30250, 30350, 30450	075C6, 0762A 0768E, 076F2
	6)	30151, 30251, 30351, 30451	075C7, 0762B 0768F, 076F3
	7)	30152, 30252, 30352, 30452	075C8, 0762C 07690, 076F4
	8)	30153, 30253, 30353, 30453	075C9, 0762D 07691, 076F5
	9)	30154, 30254, 30354, 30454	075CA, 0762E 07692, 076F5
	10)	30155, 30255, 30355, 30455	075CB, 0762F 07693, 076F6
	11)	30160, 30260, 30360, 30460	075D0, 07634 07698, 076FC
	12)	30161, 30261, 30361, 30461	075D1, 07635 07699, 076FD

13章 入出力ユニットモニタ画面の操作

特殊ユニットモニタ機能で入力ユニットまたは出力ユニットをモニタするときの，各画面操作について説明します。

13.1 モニタユニットの指定操作

任意の入力ユニットまたは出力ユニットに対する特殊ユニットモニタを開始するときの操作について説明します。

[操作手順]

システム構成画面を表示。 ·····12.1.1 項参照

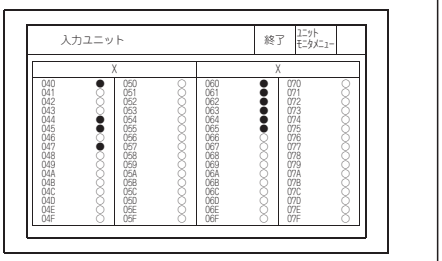
↓

モニタするユニットを指定 （ユニットの表示位置をタッチ）

(1) 各ベースユニットに装着のユニットの中で，
“入力”／“出力”を表示しているユニットを指定する。
特殊機能ユニットの指定は，12.1.3 項により行う。

↓

指定ユニットのモニタ画面を表示



(2) 表示内容の確認，以後の操作については 13.2 節により行う。
＊入力ユニット，出力ユニットに対するテストは不可。

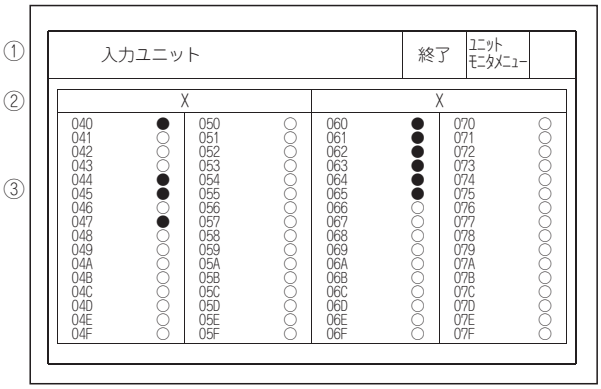
↓

13.2 節へ

13.2 モニタ画面の構成とキー機能

システム構成画面での入力ユニットの指定により表示されるモニタ画面の構成と画面上に表示しているキー機能について説明します。

(1) 表示される内容について（入力ユニットの場合）



①	対象ユニットの種類（入力ユニット／出力ユニット）を表示する。
②	モニタの信号名（X/Y）を表示する。
③	入力信号／出力信号の番号と状態を表示する。
④	(2) に示すモニタ画面での操作で使用するキーを表示する。(タッチ入力)

(2) キー機能について

モニタ画面の操作で使用するキーの機能を示します。

キー	機　能
終了	モニタを終了し，特殊ユニットモニタ機能を起動したときの画面へ戻る。
システム構成	現在のモニタを終了し，システム構成画面へ戻る。

14章 特殊ユニットモニタのエラーメッセージ

特殊ユニットモニタの操作時に表示されるエラー表示と，その処置方法を示します。

エラーメッセージ	エラー内容	処置方法
交信エラー	シーケンサ CPU との交信ができない。	(1) 再度操作を行うときは，再実行をタッチする。 再実行で，エラーメッセージが消去し自動的にモニタが続行するため，処置不要。 ただし，モニタの再開が長時間行われないときは， ① シーケンサ CPU と GOT の接続状態。(コネクタ抜け，ケーブル断線) ② シーケンサ CPU でエラーが発生していないか。 など

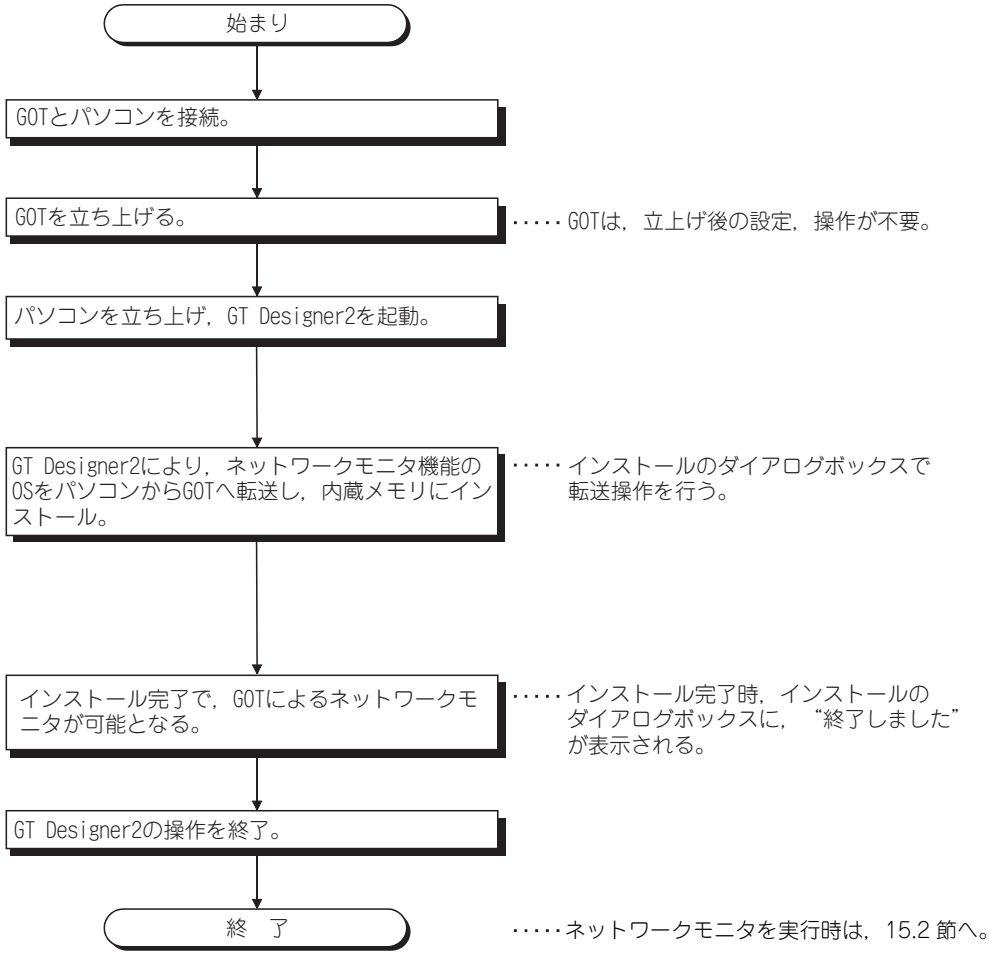
Memo

15章 ネットワークモニタ機能の操作手順

ネットワークモニタ機能を使用するときの操作手順について説明します。

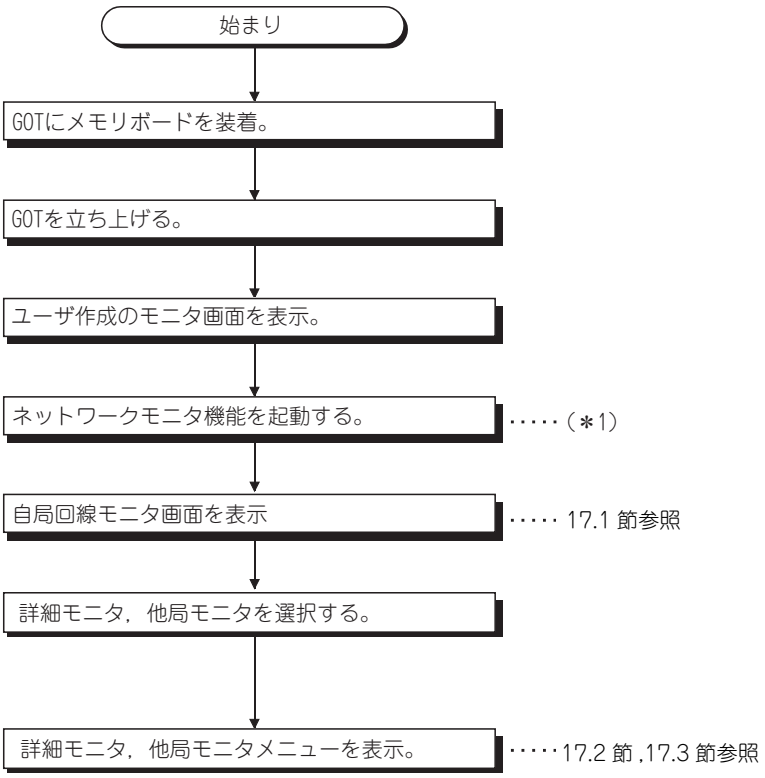
15.1 ネットワークモニタを開始するまでの操作手順

ネットワークモニタ機能のオペレーティングシステム (OS) をパソコンから GOT へ転送し，内蔵メモリにインストールするまでの概略手順を示します。
詳細は，GT Designer2 Version2 オペレーティングマニュアルを参照してください。画面表示，キー操作を含め，詳しく説明しています。



15.2 ユーザ作成モニタ画面表示からネットワークモニタ開始までの操作手順

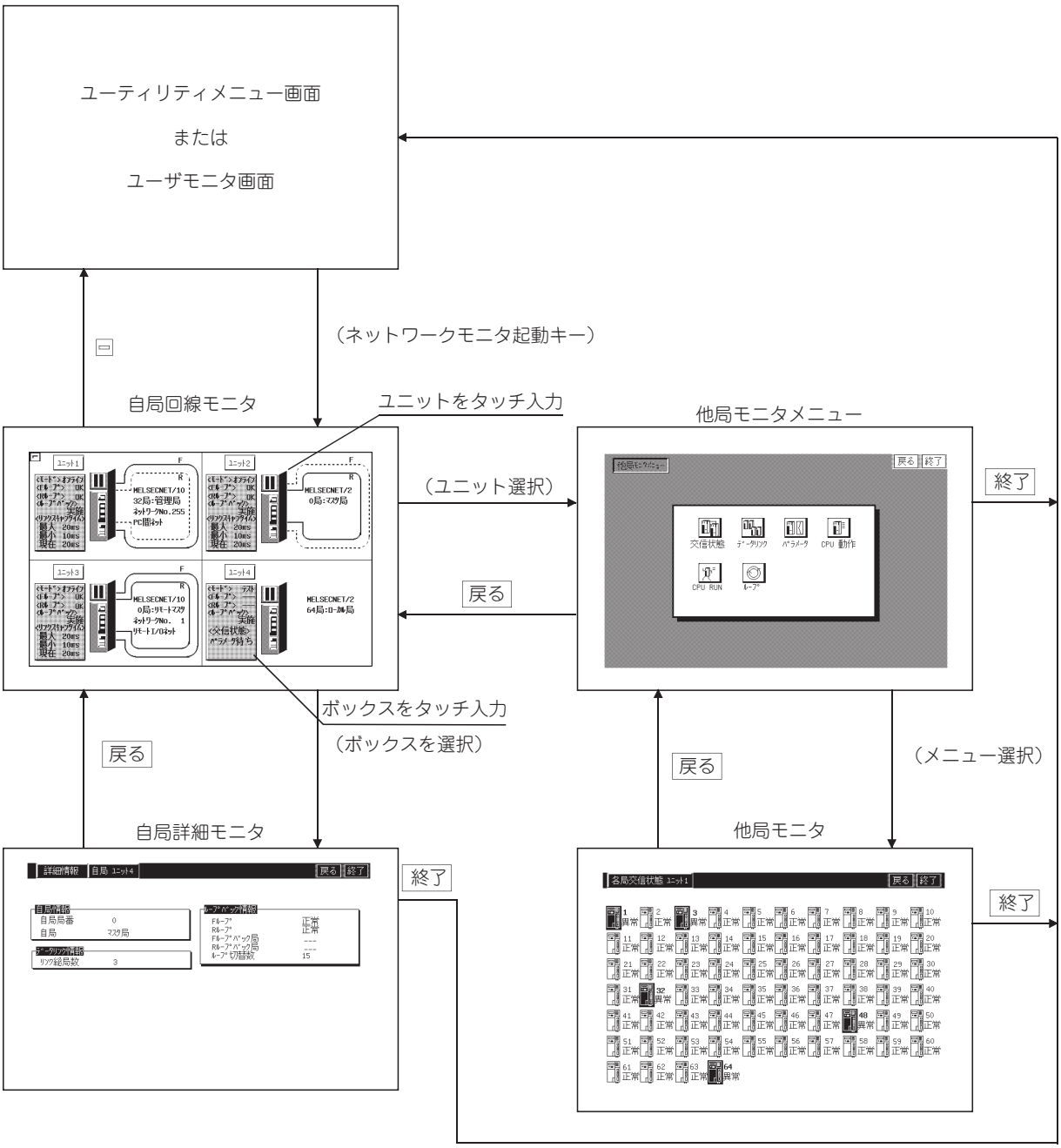
GOT の内蔵メモリにネットワークモニタ機能のオペレーティングシステム (OS) をインストールしてから，ネットワークモニタ機能の各操作を開始するときの，GOT の操作手順を示します。



＊1 GT Designer2でタッチスイッチ（拡張）機能を設定したキーにタッチして，ネットワークモニタ機能を起動します。
ユーティリティメニュー画面を表示したときは，ネットワークモニタ をタッチしてネットワークモニタ機能を起動します。

16章 ネットワークモニタ画面の画面遷移

ネットワークモニタ機能を立ち上げた後の各モニタ画面の遷移を示します。



Memo

17章 各ネットワークモニタ画面の操作

ネットワークモニタ機能を使用するときの，各画面操作について説明します。

17.1 自局回線モニタ

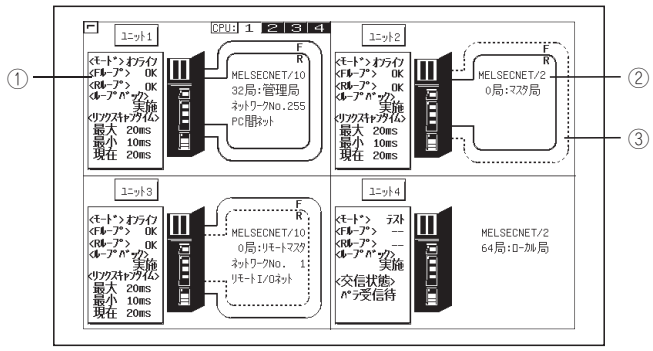
自局回線モニタ実行時の画面構成，共通操作について説明します。

17.1.1 モニタ画面の表示内容とキー機能

ネットワークモニタ機能が起動後に表示される自局回線モニタ画面の構成と，画面上に表示されるキー機能について説明します。

(1) 表示される内容について

A985/97 * /960GOT 使用時

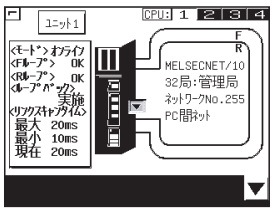


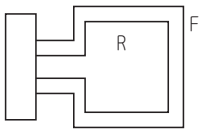
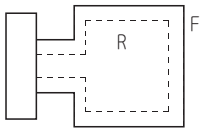
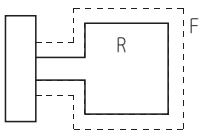
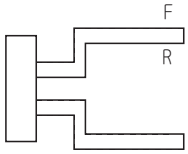
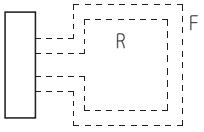
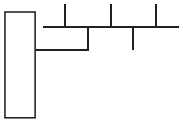
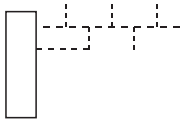
A95 * /956WGOT 使用時

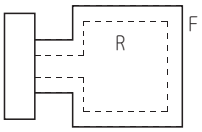
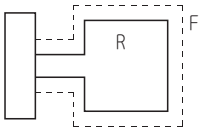
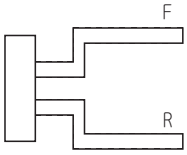
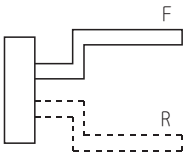
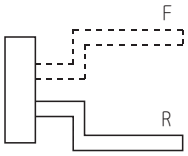
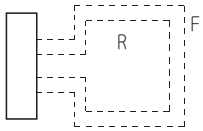
表示内容は A985/97 * /960GOT 使用時と同様です。

▼ボタンをタッチして表示を切り換えます。

（表示例）

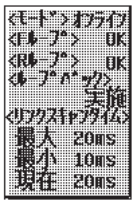


番号	表示内容
①	(1) 自局の動作モードを表示する。: オンライン，オフライン，ループテスト (2) F ループ（正ループ）の状態を表示する。: OK,NG (3) R ループ（副ループ）の状態を表示する。: OK,NG (4) ループバックの実施状況を表示する。: 実施，未実施 (5) 管理局と通常局，リモートマスタ局とリモート I/O 局，マスタ局と全子局のリンクスキャンタイムを表示する。 (a) 最大（リンクスキャンタイムの最大値） (b) 最小（リンクスキャンタイムの最小値） (c) 現在（リンクスキャンタイムの現在値）
②	ネットワークの種別，ネットワーク番号，局番号を表示する。
③	ネットワークシステムの下記のループ状態を表示する。(正ループ：F，副ループ：R) (a) 正ループ：正常 副ループ：正常  (b) 正ループ：正常 副ループ：異常  (c) 正ループ：異常 副ループ：正常  (d) ループバック 実施中  (e) 正ループ：異常 副ループ：異常  (f) MELSECNET/10 同軸バス（正常時）  (g) MELSECNET/10 同軸バス（異常時） 

番号	表示内容
③	データリンクシステムの下記のループ状態を表示する。(正ループ：F，副ループ：R) (a) 正ループで データリンク中  (b) 副ループで データリンク中  (c) 正／副方向で ループバック実施  (d) 正方向のみで ループバック実施  (e) 副方向のみで ループバック実施  (f) データリンク不可 

(2) キー機能について

自局回線モニタ画面の操作で使用するキーの機能を示します。

キー	機　能
	自局回線モニタを終了し，ネットワークモニタ機能を起動したときの画面へ戻る。
	その画面のユニットの詳細モニタに遷移する。 各画面ごとに有効。
	その画面のユニットの詳細モニタに遷移する。 各画面ごとに有効。
	画面の表示内容を切り換えます。 (A95 ＊ GOT 使用時のみ)
	モニタ先の CPU を号機番号により切り換える。 (マルチ CPU システム接続時のみ) 号機番号の表示は，装着されている CPU の数に合わせて表示される。

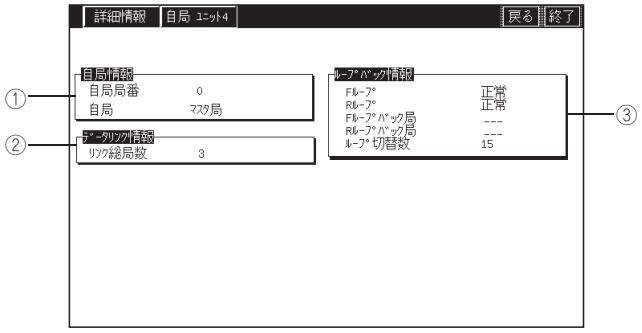
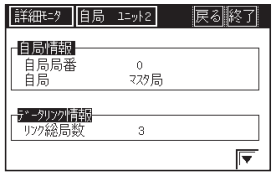
17.2 自局詳細モニタ

自局詳細モニタ実行時の画面構成，共通操作について説明します。

17.2.1 MELSECNET/B，MELSECNET(II) マスタ局時

自局が MELSECNET/B，MELSECNET(II) のマスタ局のときに表示される自局詳細モニタ画面の構成と，画面上に表示されるキー機能について説明します。

(1) 表示される内容について

A985/97 ＊ /960GOT 使用時	A95 ＊ /956WGOT 使用時
	表示内容は A985/97 ＊ /960GOT 使用時と同様です。 ボタンをタッチして表示を切り換えます。 （表示例） 

番号	項　目	表示内容
①	自局情報	・自局局番：自局の局番号を表示する。 ・自局 ：自局の種別を表示する。
②	データリンク情報	・リンク総局数：共通パラメータで設定された最大交信局数を表示する。
③	ループバック情報	・F ループ：自局の正ループ回線の状態を表示する。（正常／異常） ・R ループ：自局の副ループ回線の状態を表示する。（正常／異常） ・F ループバック局 ：正ループのループバックしている局番号を表示する。 ・R ループバック局 ：副ループのループバックしている局番号を表示する。 ・ループ切換え数 ：ループ切換えの行われた累積回数を表示する。

(2) キー機能について

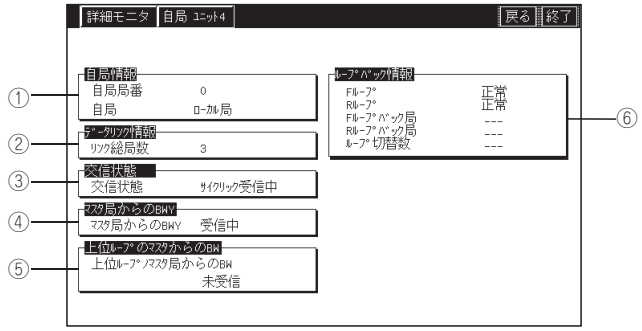
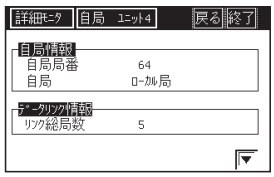
自局詳細モニタ画面の操作で使用するキーの機能を示します。

キー	機　能
戻る	自局回線モニタに戻る。
終了	自局詳細モニタを終了し，ネットワークモニタ機能を起動したときの画面へ戻る。
	画面の表示内容を切り換える。 （A95 ＊ GOT 使用時のみ）

17.2.2 MELSECNET/B，MELSECNET(II) ローカル局時

自局が MELSECNET/B，MELSECNET(II) のローカル局のときに表示される自局詳細モニタ画面の構成と，画面上に表示されるキー機能について説明します。

(1) 表示される内容について

A985/97 ＊ /960GOT 使用時	A95 ＊ /956WGOT 使用時
	表示内容は A985/97 ＊ /960GOT 使用時と同様です。 ボタンをタッチして表示を切り換えます。 （表示例） 

番号	項　　目	表示内容
①	自局情報	・自局局番 ：自局の局番号を表示する。 ・自局 ：自局の種別を表示する。
②	データリンク情報	・リンク総局数：共通パラメータで設定された最大交信局数を表示する。
③	交信状態	・交信状態：自局の交信状態を表示する。 （パラメータ受信待ち，サイクリック交信中，交信中断）
④	マスタ局からの BWY	・マスタ局からのデバイス BWY の受信状態を表示する。 受信中：サイクリック交信により受信しているとき。 未受信：自局が解列などにより受信不可のとき。
⑤	上位ループのマスタ局からの BW	・2 階層システムマスタ局からのデバイス BW の受信状態を表示する。 受信中：サイクリック交信により受信しているとき。 未受信：自局が解列などにより受信不可のとき。
⑥	ループバック情報	・F ループ：自局の正ループ回線の状態を表示する。（正常／異常） ・R ループ：自局の副ループ回線の状態を表示する。（正常／異常）

(2) キー機能について

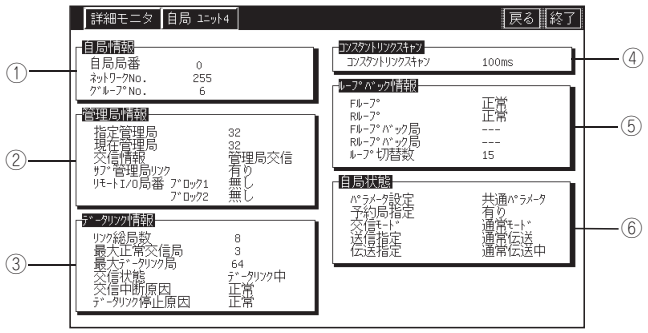
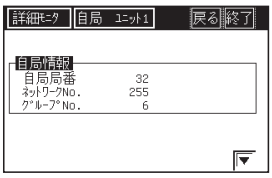
自局詳細モニタ画面の操作で使用するキーの機能を示します。

キー	機　　能
戻る	自局回線モニタに戻る。
終了	自局詳細モニタを終了し，ネットワークモニタ機能を起動したときの画面へ戻る。
	画面の表示内容を切り換える。 （A95 ＊ GOT 使用時のみ）

17.2.3 MELSECNET/10，MELSECNET/H 管理局／通常局時

自局が MELSECNET/10,MELSECNET/H の管理局／通常局のときに表示される自局詳細モニタ画面の構成と，画面上に表示されるキー機能について説明します。

(1) 表示される内容について

A985/97 ＊ /960GOT 使用時	A95 ＊ /956WGOT 使用時
	表示内容は A985/97 ＊ /960GOT 使用時と同様です。 ▼ ボタンをタッチして表示を切り換えます。 （表示例） 

番号	項　　目	表示内容
①	自局情報	・自局局番 ：自局の局番号を表示する。 ・ネットワーク No. ：ネットワーク番号を表示する。 ・グループ No. ：グループ番号を表示する。
②	管理局情報	・指定管理局：管理局に設定されている局番号を表示する。 ・現在管理局：現在，実際に管理局として動作している局番号を表示する。 ・交信情報：管理局と交信しているか，サブ管理局と交信しているかを表示する。 ・サブ管理局リンク ：あり／なしのいずれかを表示する。 ・リモート I/O 局番＊1 ：ブロック 1，ブロック 2 のリモート I/O マスタ局の局番号，またはなしを表示する。
③	データリンク情報	・リンク総局数：共通パラメータで設定された最大交信局数を表示する。 ・最大正常交信局：正常に交信を行っている最大局番号を表示する。 ・最大データリンク局：データリンクを行っている最大局番号を表示する。 ・交信状態：現在の自局の交信状態を表示する。 （データリンク中，データリンク停止（他），データリンク停止（自），パトンパス実施，解列中，テスト実施中，リセット中） ・交信中断原因：交信が中断した原因を表示する。正常時は正常と表示する。 （正常，オフライン，オフラインテスト，その他（エラーコード）） ・データリンク停止原因：データリンクが停止した原因を表示する。正常時は正常と表示する。 （パラメータなし，パラメータ異常，その他）
④	コンスタントリンクスキャン	・コンスタントリンクスキャン：コンスタントリンクスキャンの設定時間を表示する。

＊1　GOT 接続先の CPU タイプが AnNCPU，AnACPU の場合表示されません。

番号	項　　目	表示内容
⑤	ループバック情報	・F ループ：自局の正ループ回線の状態を表示する。 （正常／ループバック伝送／データリンク不可） ・R ループ：自局の副ループ回線の状態を表示する。 （正常／ループバック伝送／データリンク不可） ・F ループバック局 ：正ループのループバックしている局番号を表示する。 ・R ループバック局 ：副ループのループバックしている局番号を表示する。 ・ループ切換え数 ：ループ切換えの行われた累積回数を表示する。 ＊ 同軸バス接続時は，すべて“---”を表示する。
⑥	自局状態	・パラメータ設定：共通パラメータ，共通＋固有，デフォルトパラメータ，デフォルト＋固有のいずれかを表示する。 ・予約局指定：予約局指定のあり／なしを表示する。 ・交信モード：通常モード／コンスタントリンクスキャンのいずれかを表示する。 ・伝送指定：通常伝送／多重伝送のいずれかを表示する。＊ ・伝送状態：通常伝送中／多重伝送中のいずれかを表示する。＊

＊： 同軸バス接続時は，すべて“---”を表示する。

(2) キー機能について

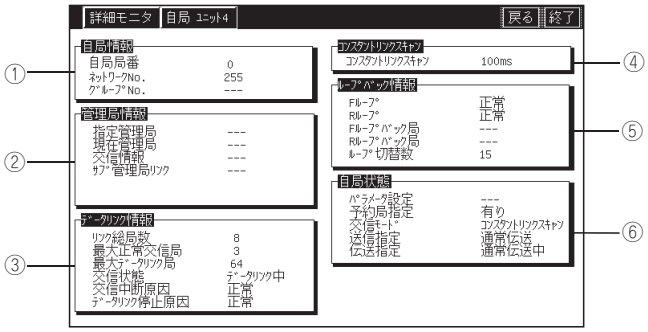
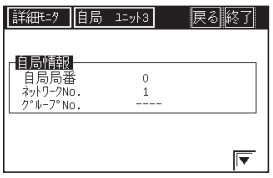
自局詳細モニタ画面の操作で使用するキーの機能を示します。

キー	機　　能
戻る	自局回線モニタに戻る。
終了	自局詳細モニタを終了し，ネットワークモニタ機能を起動したときの画面へ戻る。
	画面の表示内容を切り換える。 （A95 ＊ GOT 使用時のみ）

17.2.4 MELSECNET/10，MELSECNET/H リモートマスタ局時

自局が MELSECNET/10,MELSECNET/H のリモートマスタ局のときに表示される自局詳細モニタ画面の構成と，画面上に表示されるキー機能について説明します。

(1) 表示される内容について

A985/97 ＊ /960GOT 使用時	A95 ＊ /956WGOT 使用時
	表示内容は A985/97 ＊ /960GOT 使用時と同様です。 ▼ ボタンをタッチして表示を切り換えます。 （表示例） 

番号	項　　目	表示内容
①	自局情報	・自局局番 ：自局の局番号を表示する。 ・ネットワーク No. ：ネットワーク番号を表示する。 ・グループ No. ：表示なし。
②	管理局情報	・指定管理局 ：表示なし。 ・現在管理局 ：表示なし。 ・交信情報 ：表示なし。 ・サブ管理局リンク：表示なし。
③	データリンク情報	・リンク総局数：共通パラメータで設定された最大交信局数を表示する。 ・最大正常交信局：正常に交信を行っている最大局番号を表示する。 ・最大データリンク局：データリンクを行っている最大局番号を表示する。 ・交信状態：現在の自局の交信状態を表示する。 （データリンク中，データリンク停止（他），データリンク停止（自），パトンパス実施，解列中，テスト実施中，リセット中） ・交信中断原因：交信が中断した原因を表示する。正常時は正常と表示する。 （正常，オフライン，オフラインテスト，その他（エラーコード）） ・データリンク停止原因：データリンクが停止した原因を表示する。正常時は正常と表示する。 （パラメータなし，パラメータ異常，他局指示（n 局），固有パラメータ整合不正，自局指示，I/O 割付不正，全局指示（n 局），その他（エラーコード））
④	コンスタントリンクスキャン	・コンスタントリンクスキャン：コンスタントリンクスキャンの設定時間を表示する。

番号	項　　目	表示内容
⑤	ループバック情報	・F ループ：自局の正ループ回線の状態を表示する。 （正常／ループバック伝送／データリンク不可） ・R ループ：自局の副ループ回線の状態を表示する。 （正常／ループバック伝送／データリンク不可） ・F ループバック局 ：正ループのループバックしている局番号を表示する。 ・R ループバック局 ：副ループのループバックしている局番号を表示する。 ・ループ切換え数 ：ループ切換えの行われた累積回数を表示する。 ＊ 同軸バス接続時は，すべて“---”を表示する。
⑥	自局状態	・パラメータ設定 ：表示なし。 ・予約局指定 ：予約局指定のあり／なしを表示する。 ・交信モード ：通常モード／コンスタントリンクスキャンのいずれかを表示する。 ・伝送指定 ：通常伝送／多重伝送のいずれかを表示する。* ・伝送状態 ：通常伝送中／多重伝送中のいずれかを表示する。*

＊： 同軸バス接続時は，すべて“---”を表示する。

(2) キー機能について

自局詳細モニタ画面の操作で使用するキーの機能を示します。

キー	機　　能
戻る	自局回線モニタに戻る。
終了	自局詳細モニタを終了し，ネットワークモニタ機能を起動したときの画面へ戻る。
	画面の表示内容を切り換える。 （A95 ＊ GOT 使用時のみ）

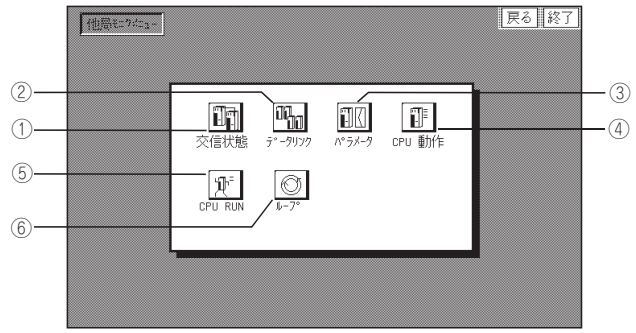
17.3 他局モニタ

他局モニタ実行時の画面構成，共通操作について説明します。

17.3.1 他局モニタメニュー

自局回線モニタ画面でユニットをタッチしたときに表示される他局モニタメニュー画面の構成と，画面上に表示されるキー機能について説明します。
この他局モニタメニュー画面は，各他局モニタを指定します。

(1) 表示される内容について

A985/97 ＊ /960GOT 使用時	A95 ＊ /956WGOT 使用時
	表示内容は A985/97 ＊ /960GOT 使用時と同様です。 （表示例） 

番号	項　　目	表示内容
①	各局交信状態	各局交信状態モニタ画面を遷移するためのタッチキー。*
②	各局データリンク状態	各局データリンク状態画面を遷移するためのタッチキー。*
③	各局パラメータ状態	各局パラメータ状態画面を遷移するためのタッチキー。*
④	各局 CPU 動作状態	各局 CPU 動作状態画面を遷移するためのタッチキー。
⑤	各局 CPU RUN 状態	各局 CPU 動作状態画面を遷移するためのタッチキー。
⑥	各局ループ状態	各局ループ状態画面を遷移するためのタッチキー。

＊： MELSECNET/B,MELSECNET(II) ローカル局に接続時は選択できません。

(2) キー機能について

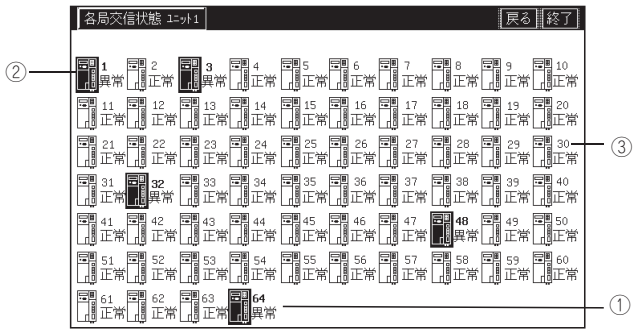
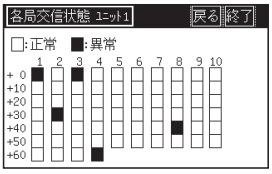
他局モニタ画面の操作で使用するキーの機能を示します。

キー	機　　能
	各他局モニタ画面に遷移する。
戻る	自局回線モニタに戻る。
終了	他局モニタを終了し，ネットワークモニタ機能を起動したときの画面へ戻る。

17.3.2 各局交信状態モニタ

各局交信状態モニタ画面の構成と，画面上に表示されるキー機能について説明します。

(1) 表示される内容について

A985/97 ＊ /960GOT 使用時	A95 ＊ /956WGOT 使用時
	表示内容は A985/97 ＊ /960GOT 使用時と同様です。 （表示例） 

番号	表示内容
①	局番号は，最大交信局まで表示する。
②	交信異常局は，反転表示する。
③	予約局指定された局は，正常局と判断される。

(2) キー機能について

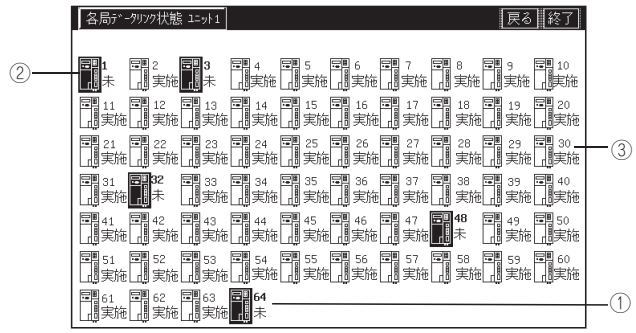
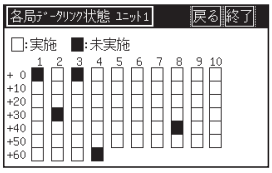
各局交信状態モニタ画面の操作で使用するキーの機能を示します。

キー	機　能
戻る	他局モニタに戻る。
終了	各局交信状態モニタを終了し，ネットワークモニタ機能を起動したときの画面へ戻る。

17.3.3 各局データリンク状態モニタ

各局データリンク状態モニタ画面の構成と，画面上に表示されるキー機能について説明します。

(1) 表示される内容について

A985/97 ＊ /960GOT 使用時	A95 ＊ /956WGOT 使用時
	表示内容は A985/97 ＊ /960GOT 使用時と同様です。 （表示例） 

番号	表示内容
①	局番号は，最大交信局まで表示する。
②	データリンク未実施局は，反転表示する。
③	予約局指定された局は，正常局と判断される。

(2) キー機能について

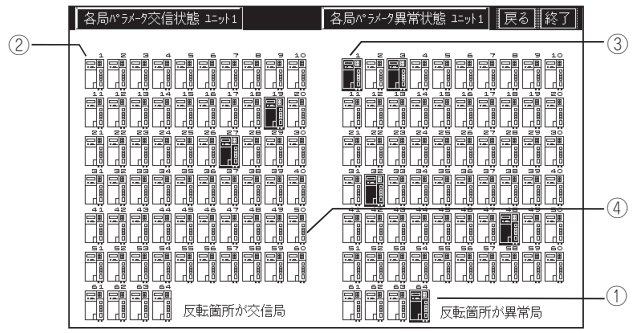
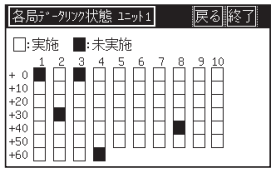
各データリンク状態モニタ画面の操作で使用するキーの機能を示します。

キー	機　能
戻る	他局モニタに戻る。
終了	各データリンク状態モニタを終了し，ネットワークモニタ機能を起動したときの画面へ戻る。

17.3.4 各局パラメータ状態モニタ

各局パラメータ状態モニタ画面の構成と，画面上に表示されるキー機能について説明します。

(1) 表示される内容について

A985/97 ＊ /960GOT 使用時	A95 ＊ /956WGOT 使用時
	表示内容は A985/97 ＊ /960GOT 使用時と同様です。 （表示例） 

番号	表示内容
①	局番号は，最大交信局まで表示する。
②	パラメータ交信局は，反転表示する。*
③	異常局は，反転表示する。
④	予約局指定された局は，正常局と判断される。

＊： MELSECNET/B,MELSECNET(II) マスタ局に接続時は反転表示しません。

(2) キー機能について

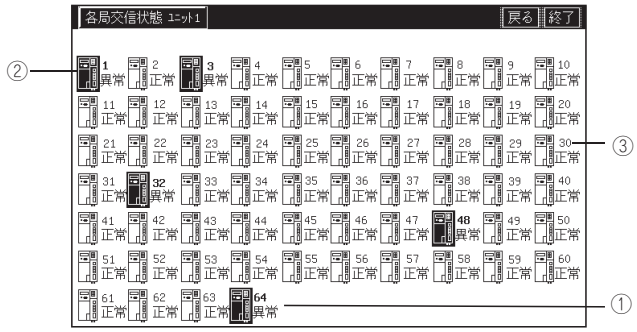
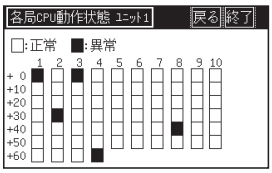
各局パラメータ状態モニタ画面の操作で使用するキーの機能を示します。

キー	機　能
戻る	他局モニタに戻る。
終了	各局パラメータ状態モニタを終了し，ネットワークモニタ機能を起動したときの画面へ戻る。

17.3.5 各局 CPU 動作状態モニタ

各局 CPU 動作状態モニタ画面の構成と，画面上に表示されるキー機能について説明します。
本画面は，リモート I/O ネットワークシステム時は選択できません。

(1) 表示される内容について

A985/97 ＊ /960GOT 使用時	A95 ＊ /956WGOT 使用時
	表示内容は A985/97 ＊ /960GOT 使用時と同様です。 （表示例） 

番号	表示内容
①	局番号は，最大交信局まで表示する。
②	異常局，休止局は，反転表示する。
③	予約局指定された局は，正常局と判断される。

(2) キー機能について

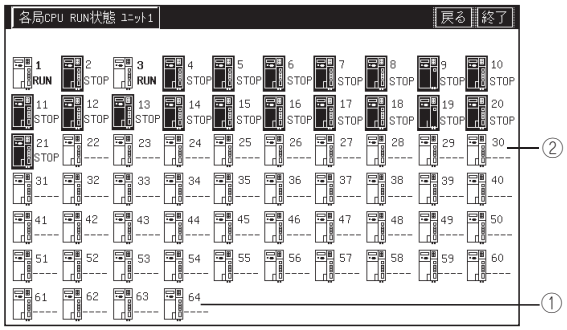
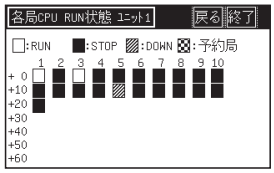
各局 CPU 動作状態モニタ画面の操作で使用するキーの機能を示します。

キー	機　能
戻る	他局モニタに戻る。
終了	各局 CPU 動作状態モニタを終了し，ネットワークモニタ機能を起動したときの画面へ戻る。

17.3.6 各局 CPU RUN 状態モニタ

各局 CPU RUN 状態モニタ画面の構成と，画面上に表示されるキー機能について説明します。
本画面は，リモート I/O ネットワークシステム時は選択できません。

(1) 表示される内容について

A985/97 ＊ /960GOT 使用時	A95 ＊ /956WGOT 使用時
	表示内容は A985/97 ＊ /960GOT 使用時と同様です。 （表示例） 

番号	表示内容
①	局番号は，64 局まで表示する。
②	予約局および最大交信局以降の局番号の状態は --- を表示する。

(2) キー機能について

各局 CPU RUN 状態モニタ画面の操作で使用するキーの機能を示します。

キー	機　能
戻る	他局モニタに戻る。
終了	各局 CPU RUN 状態モニタを終了し，ネットワークモニタ機能を起動したときの画面へ戻る。

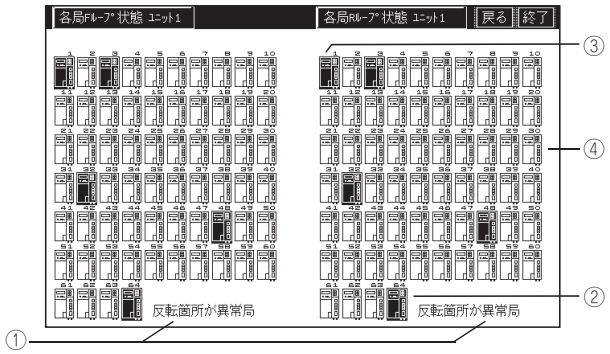
17.3.7 局ループ状態モニタ

各局ループ状態モニタ画面の構成と，画面上に表示されるキー機能について説明します。

＊ MELSECNET/B,MELSECNET(II) ローカル局，MELSECNET/10 同軸バス接続時は選択できません。

(1) 表示される内容について

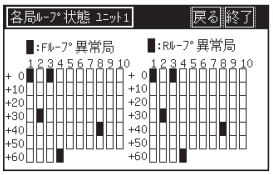
A985/97 ＊ /960GOT 使用時



A95 ＊ /956WGOT 使用時

表示内容は A985/97 ＊ /960GOT 使用時と同様です。

（表示例）



番号	表示内容
①	各ループ状態は，F ループ（正ループ）状態と R ループ（副ループ）状態の両方を表示する。
②	局番号は，最大交信局まで表示する。
③	異常局は，反転表示する。
④	予約局指定された局は，正常局と判断される。

(2) キー機能について

各局ループ状態モニタ画面の操作で使用するキーの機能を示します。

キー	機　能
戻る	他局モニタに戻る。
終了	各局ループ状態モニタを終了し，ネットワークモニタ機能を起動したときの画面へ戻る。

18章 ネットワークモニタのエラーメッセージ

ネットワークモニタの操作時に表示されるエラー表示と，その処置方法を示します。

エラーメッセージ	エラー内容	処置方法
交信エラー	シーケンサ CPU との交信ができない。	・シーケンサ CPU と GOT の接続（コネクタ抜け，ケーブル断線）を確認してください。 ・シーケンサ CPU でエラーが発生していないか確認してください。
キーワードエラー	接続先 CPU が QnA でキーワードが設定されているとき	・キーワードを解除してください。

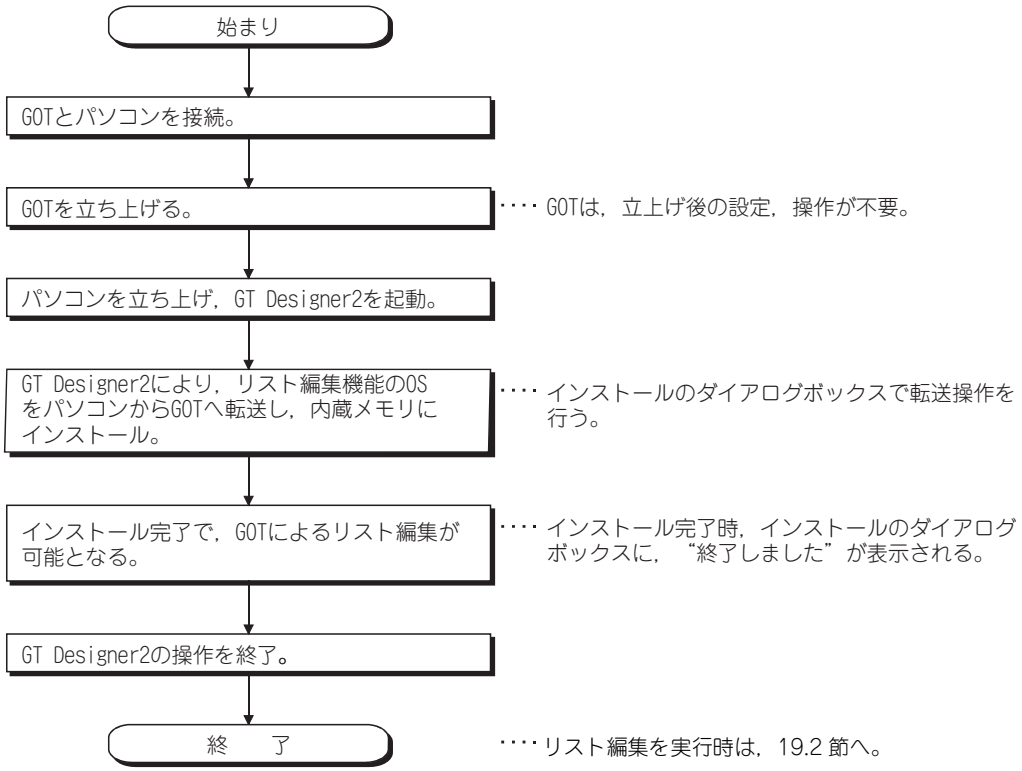
Memo

19章 リスト編集機能の操作手順

リスト編集機能を使用するときの操作手順について説明します。

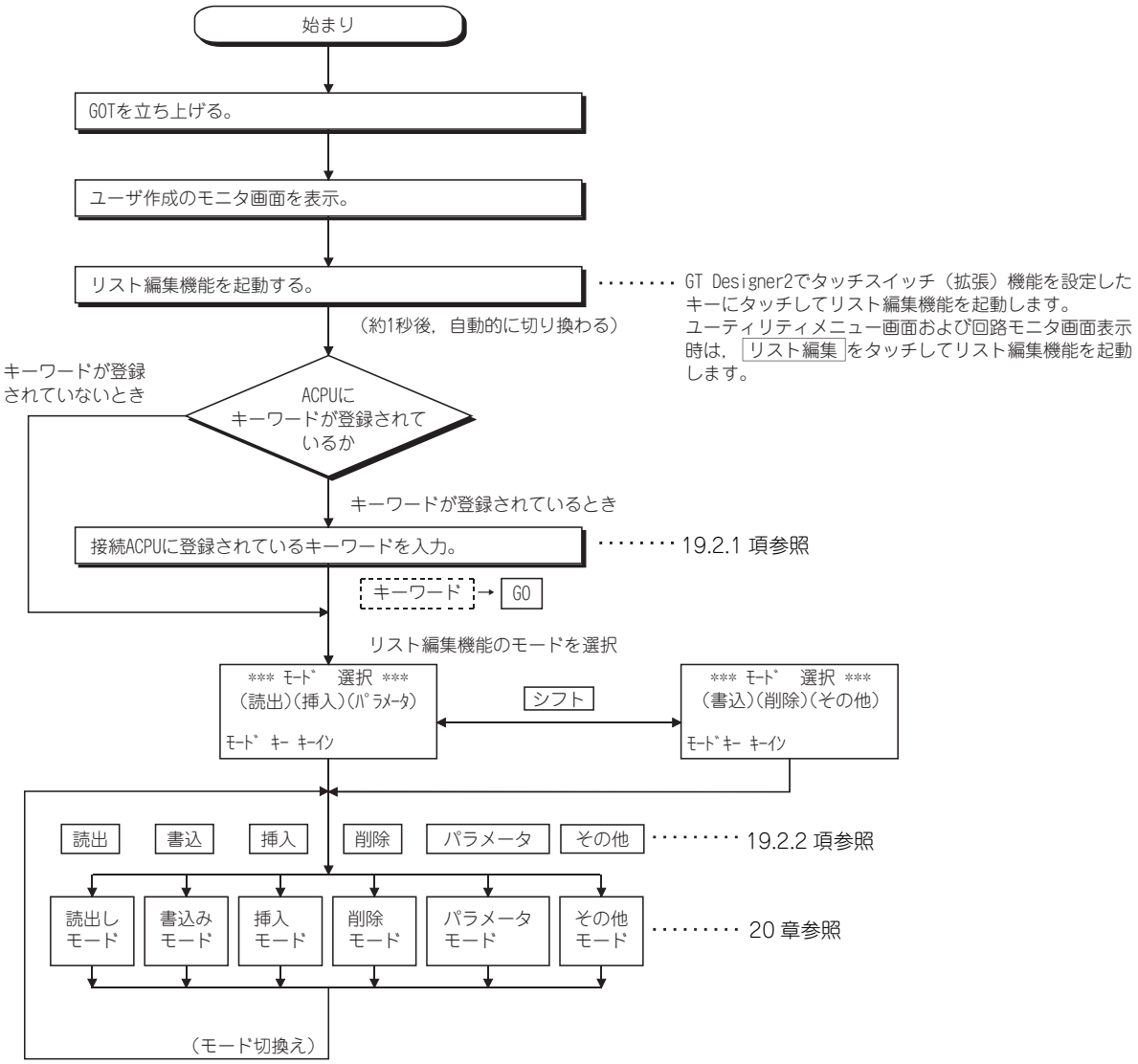
19.1 リスト編集を開始するまでの操作手順

リスト編集機能のオペレーティングシステム (OS) をパソコンから GOT へ転送し，内蔵メモリにインストールするまでの概略手順を示します。
詳細は，GT Designer2 Version2 オペレーティングマニュアルを参照してください。画面表示，キー操作を含め，詳しく説明しています。



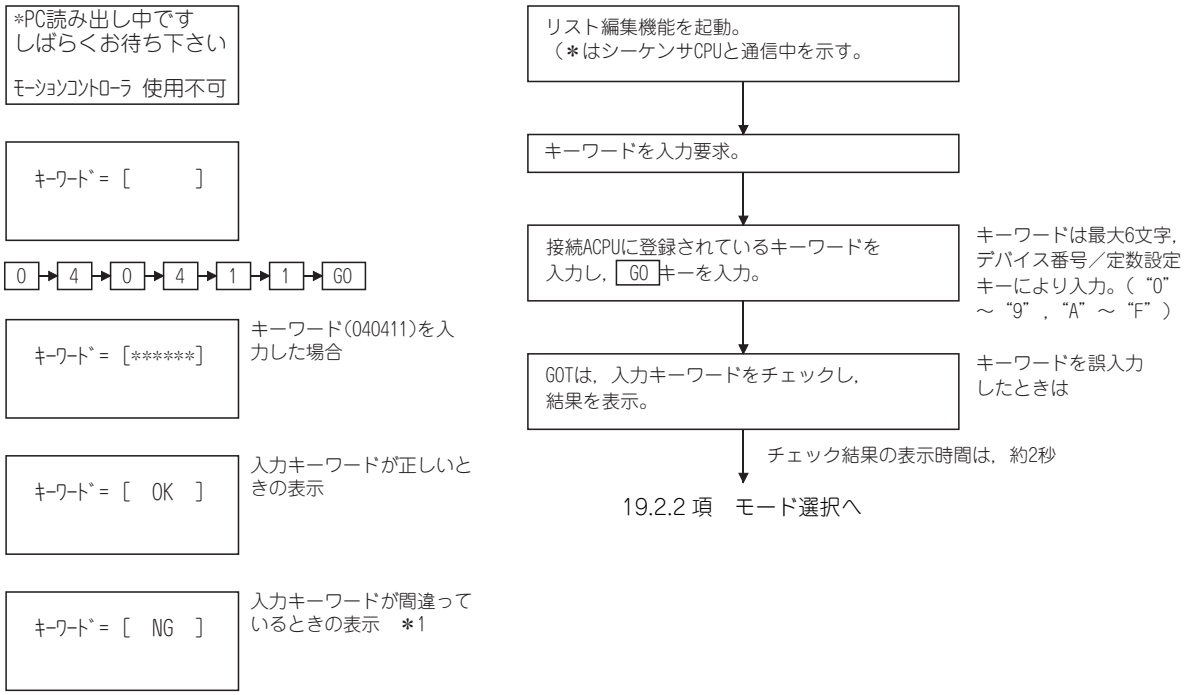
19.2 ユーザ作成モニタ画面表示からリスト編集開始までの操作手順

GOT の内蔵メモリにリスト編集機能のオペレーティングシステム (OS) をインストールしてから，リスト編集機能の各操作を開始するときの，GOT の操作手順を示します。



19.2.1 キーワード入力の操作

接続した ACPU または操作の対象 ACPU PC NO. を切り換えたとき，ACPU にキーワードが登録されている場合，GOT は登録しているキーワードを入力要求します。
ACPU に登録されているキーワードを入力し，[GO] キーを入力してください。
なお，ACPU にキーワードが登録されていないときは，本項の操作はありません。（自動的に，19.2.2 項に示す機能・モードの選択操作に移ります。）



＊1 入力したキーワードが，ACPU に登録されているキーワードと一致しなかったときは，第 20 章に示す操作の中で次の操作のみ行えます。

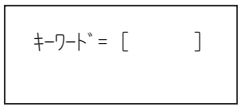
その他モード
- エラーステップ読出し
- バッファメモリ一括モニタ
- 時間モニタ
- PC No.設定
- メイン／サブ切換え

Point

・その他モード以外の操作を行う場合，ACPU に登録されているキーワードを忘れたときは，次ページに示す“PC メモリオールクリア”の操作で，登録しているキーワードをクリア（削除）してください。
なお，“PC メモリオールクリア”を行うと，シーケンスプログラムなどのユーザデータもクリアされます。
・ACPU に登録されているキーワードの変更，キーワードの新規登録は，20 章に示す操作で行えます。

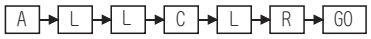
キーワードを入力要求しているとき，次の操作で ACPU に登録しているキーワードと共にパラメータおよびシーケンスプログラムもオールクリアすることが可能です。

（手順 1）キーワード入力要求を表示

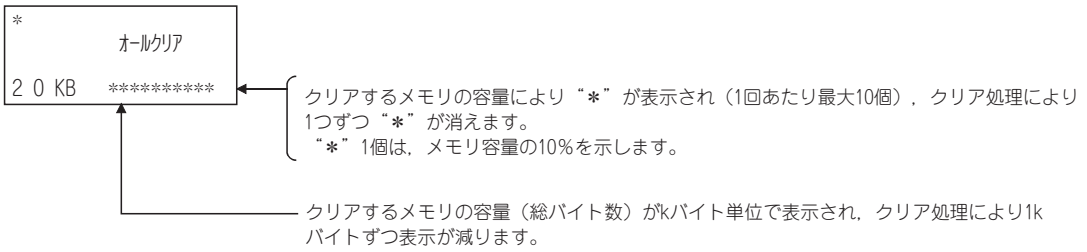


（手順 2）ACPU の STOP 操作
対象 ACPU を STOP 状態にしてください。

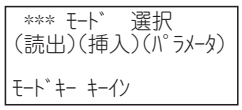
（手順 3）PC メモリオールクリア操作
“ALLCLR”を入力し，GO キーを入力してください。



（手順 4）PC メモリオールクリア処理の表示
GOT によるクリア処理が始まると左図の表示となり，順次“＊”列と総バイト数の表示が変化します。



（手順 5）PC メモリオールクリア処理の完了
GOT によるクリア処置が完了すると，画面は左図の表示となります。(リスト編集機能のモード選択前の状態)



（手順 6）次の操作の開始
19.2.2 項によりモードの選択を行い，次の操作を開始してください。

19.2.2 モードの選択と操作

キーワード入力操作の次に，第 20 章に示す操作を行うためのリスト編集機能のモード選択を行います。

(1) モードキーによるモード選択と変更について

モードはモードキー（3.5.5 項参照）を入力して選択し，第 20 章の対応するモードでの操作を行うことができます。

モードの変更は 20 章に示す操作を行っているときに自由に変えられますので，モードを変更しながら各種操作を続けて行うことができます。＊1

読出 ……読出しモード
書込 ……書込みモード
挿入 ……挿入モード
削除 ……削除モード
パラメータ ……パラメータモード
その他 ……その他モード

＊1 モードキー入力はいつでも有効です。
モードキーの入力により，ステップ番号を除いた入力データがクリアされ，入力されたモードの初期状態に戻ります。

(2) 各モードでの操作について

(1) で選択したモードにより，対応する第 20 章の操作を行うことができます。
第 20 章では，各種モードごとに操作方法を説明していますので，説明内容に従って操作してください。

操作時にエラーメッセージを表示したときは，第 21 章を参照し処置してください。

20章 各リスト編集画面の操作

リスト編集画面の操作方法について説明します。

20.1 キー入力の基本操作

リスト編集機能を起動後の，キー入力の基本操作について説明します。

20.1.1 有効キー（上段／下段）の切換え

リスト編集の操作を開始すると，2 つの目的で使用できるキーの上段と下段のどちらかが有効になっているかを，表示部の 2 行目の左端に表示します。
有効キーの制御と表示は GOT が行いますが，下記キーによりユーザで有効キーの切換えを行うこともできます。

[シフト]* ：上段キーを有効

[設定] ：下段キーを有効

* 下記に示すキー入力は，有効キーが下段側になっていても入力できます。
（ [シフト]キーの入力は不要です。）

・比較演算命令入力時の比較記号キー…… [＞]，[＜]，[＝]

・命令のソースデータ部のマイナスキー… [－]

各モード設定後の有効キーは，下記のように切り換わります。

読出しモード，書込みモード，挿入モード：上段キー

（書込みモードでカーソル位置が設定値，デバイスのステップにある場合は，下段キーを有効）

パラメータモード，その他モード ：通常下段キー

各モードのヘルプ ：通常下段キー

（読出しモードのヘルプで“命令読出”を選択した場合は，上段キーを有効）

[シフト]キーを入力し有効キーを切り換えたときは，モードキーおよびコントロールキーが入力されるまで切り換えた方が有効になります。
各キーの詳細については，3.5.4 項を参照してください。

20.1.2 命令の入力方法

リスト編集機能への命令の入力方法は，次のように分類されます。

① キー上に示す命令を使用するために，その命令キーを入力する。
② 命令の各文字に対応する英数字キーを順次入力する。
③ ヘルプ機能により使用する命令を選択して入力する。

上記①②による命令入力方法を以下に示します。
③のヘルプ機能による命令入力方法は，20.2.5 項を参照してください。

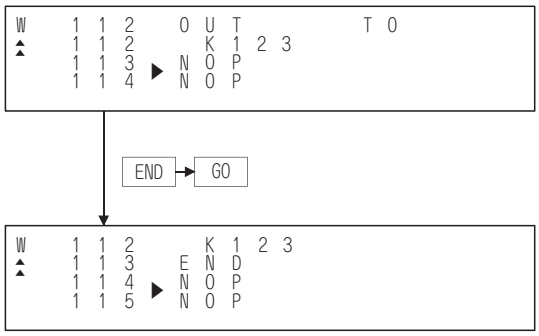
Point 命令を入力しているときは，入力内容を表示部の 4 行目（最下行）に表示します。
以下の説明において，[SP]キーの入力が必要な場合，入力した命令とカーソル位置の間に空白が自動挿入されているときは，[SP]キーの入力を省略できます。
各説明の（例）を参照してください。

(1) 命令コードのみの場合

① キーボード上に存在する命令を入力するとき

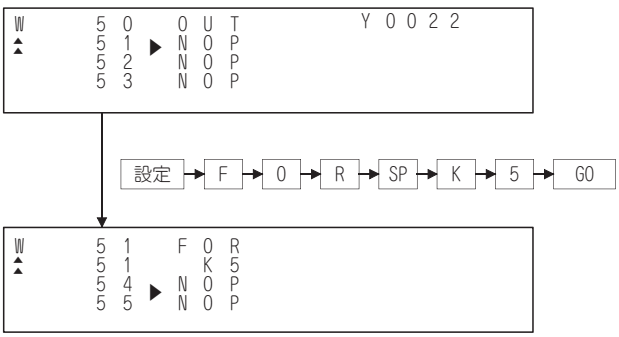
[命令] → [GO]

（例）END を入力する場合



② キーボード上に存在しない命令を入力するとき

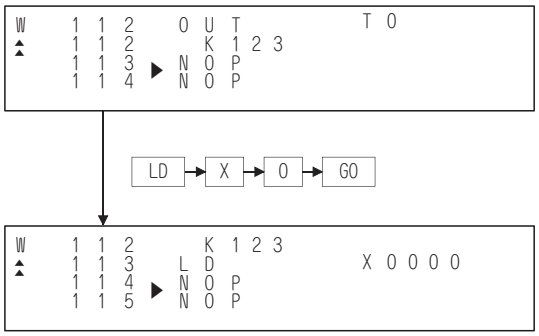
（例）FOR K5 を入力する場合



(2) 命令コードとデバイス (1つ) の場合

命令 → SP → デバイス → デバイス番号 → GO

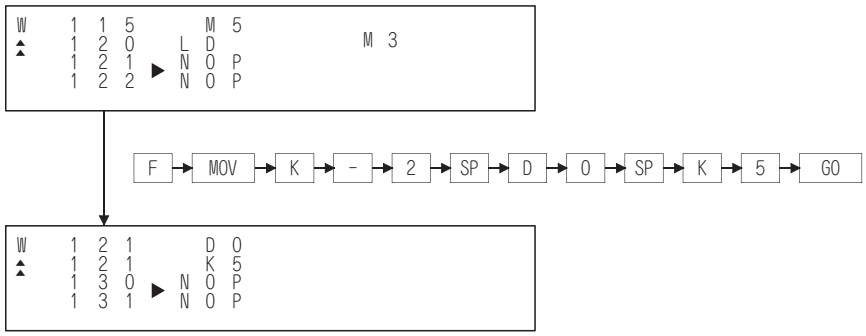
（例）LD X0 を入力する場合



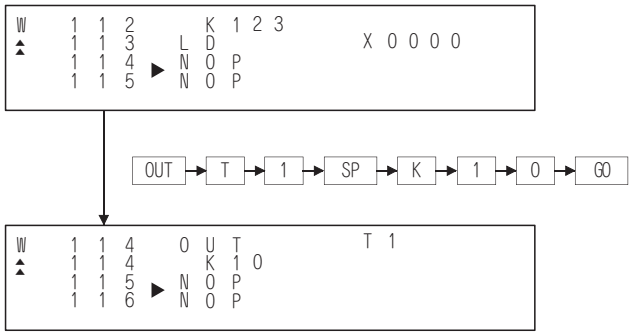
(3) 上記以外の命令の場合

命令とデバイス，ソースデータ，ディストネーションデータの間には，各々 SP キーを入力します。

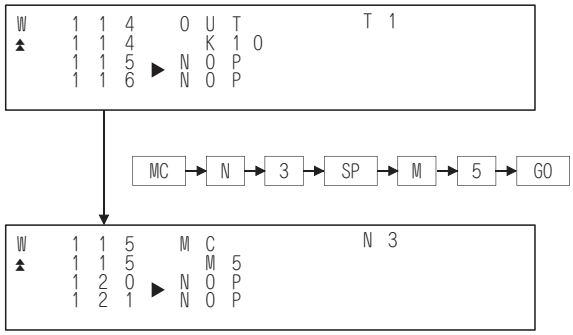
（例 1）FMOV K-2 D0 K5 を入力する場合



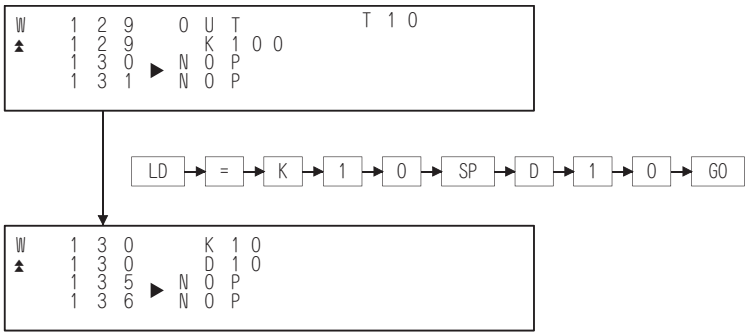
（例 2）OUT T1 K10 を入力する場合



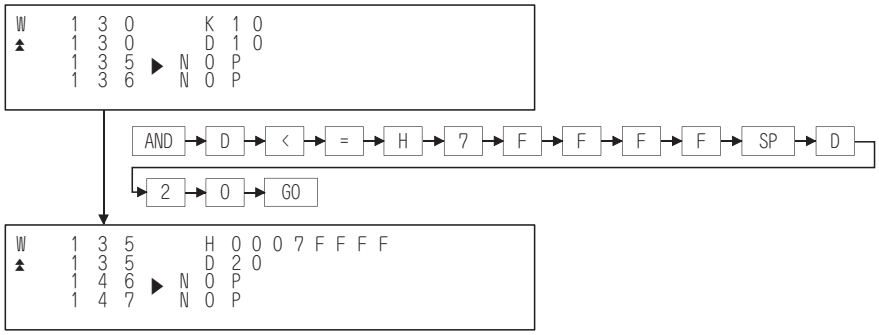
（例 3）MC N3 M5 を入力する場合



（例 4）LD= K10 D10 を入力する場合



（例 5）ANDD<= H7FFFF D20 を入力する場合



(4) デバイス M，L，S の取扱い

テスト，モニタ，書込み，挿入モードでのデバイス M，L，S は，パラメータで設定された内容により表示を変更します。

たとえば，パラメータ設定 M0 ～ 999，L1000 ～ L2047 のときに，LD L0 を入力すると

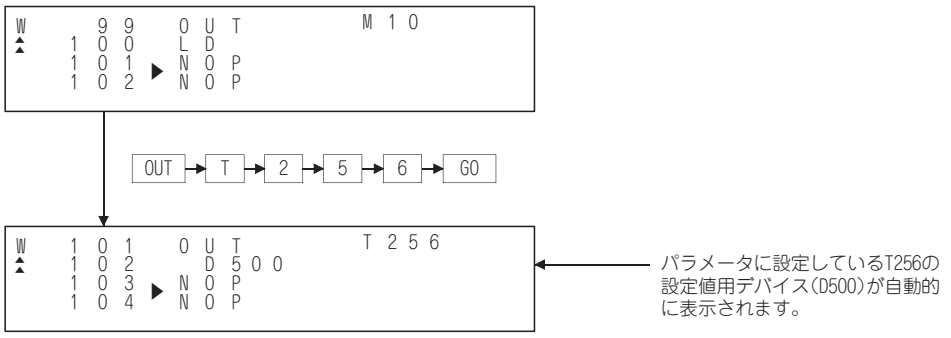
LD M0

となります。

(5) AnA,AnUCPU の拡張タイマ／拡張カウンタの場合

命令の第 1 デバイスとして拡張タイマ (T256 ～ T2047)，拡張カウンタ (C256 ～ C1023) を入力する場合，第 1 デバイス，デバイス番号までを入力してください。

（例）OUT T256 D500 を入力する場合



Point

拡張タイマ，拡張カウンタを使用する場合は，パラメータにタイマ，カウンタ共に 257 点以上の点数と設定値用デバイス (D,W,R) を必ず設定してください。

20.1.3 キー操作をまちがえたときの処置方法

(1) GO キーの入力前に クリア キーを入力し，操作をやり直してください。

クリア キーの入力により，直前に入力していた命令やデバイス番号などがクリアされ，モードを選択したときの状態（書込みモード時は修正前の状態）に戻ります。

(2) GO キーを入力してしまったときは，直前に行おうとしていた操作を再度行ってください。

備　考

パラメータモードのときに，クリア キーを入力したときは，GOT は処理を中断します。

操作を続行するときは，そのままキー入力を続行してください。

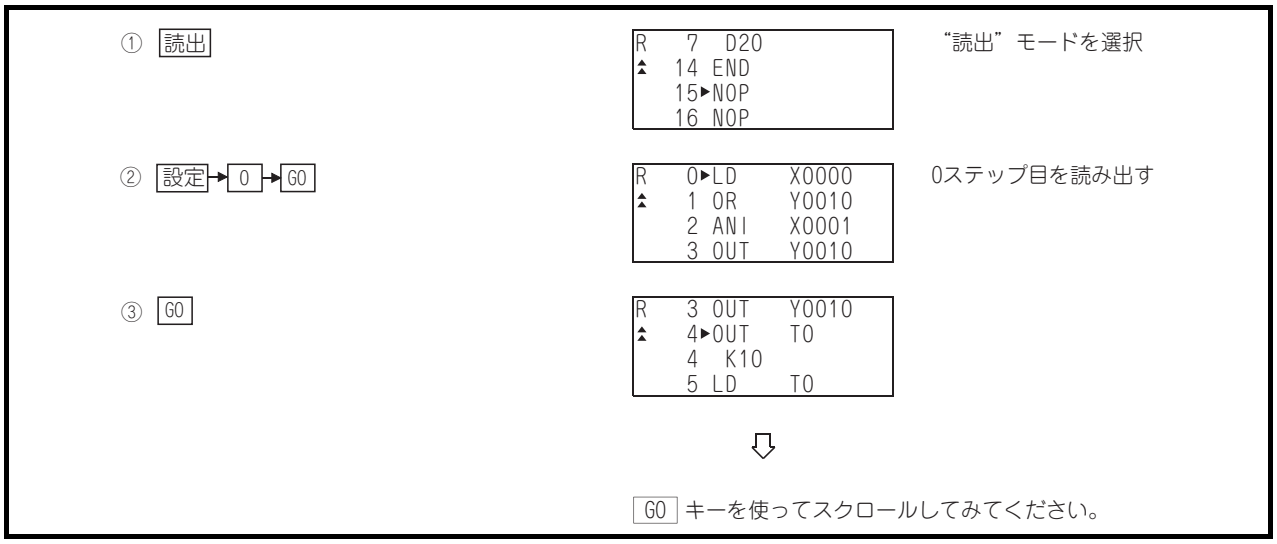
20.2 リスト編集の基本操作

簡単な操作例を用いてリスト編集の基本操作について説明します。

20.2.1 シーケンスプログラムを読み出す

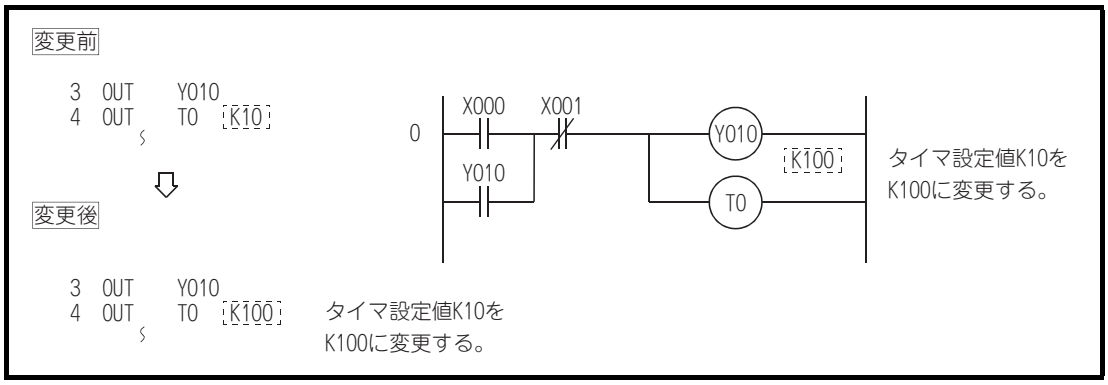
シーケンスプログラムの内容を確認するために読み出します。

[操作例]



20.2.2 命令を変更（上書き）する

シーケンスプログラムの変更方法を下記のような例で説明します。



[操作例]

① シフト → 書込

```
W   7  K80
▲   7▶ K5
    7  D20
   14 END
```

“書込”モードを選択

② 設定 → 4 → GO

```
W   3 OUT   Y0010
▲   4▶OUT   T0
    4  K10
    5 LD    T0
```

設定値を変更する4ステップ目を読み出す

③ ↓ → GO

```
W   3 OUT   Y0010
▼   4 OUT   T0
    4▶ K10
K10
```

T0の設定値“K10”へカーソルを移動させる

④ K → 1 → 0 → 0 → GO

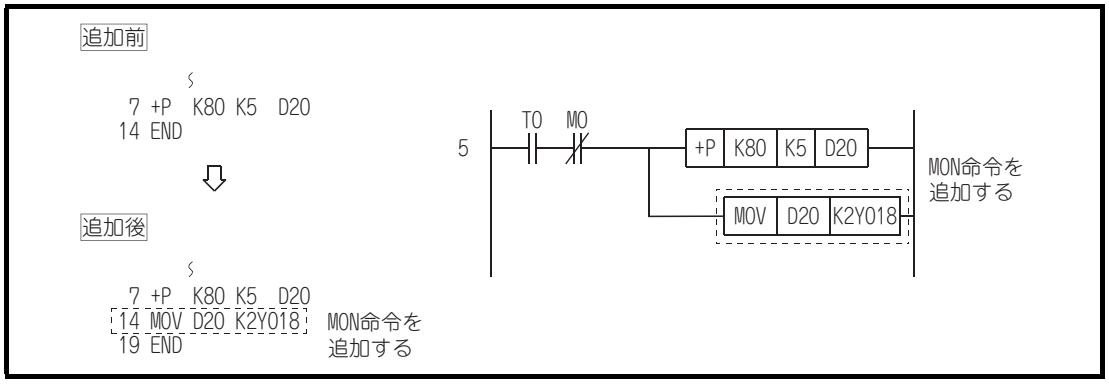
```
W   4 OUT   T0
▲   4  K100
    5▶LD    T0
    6 ANI   M0
```

⇩

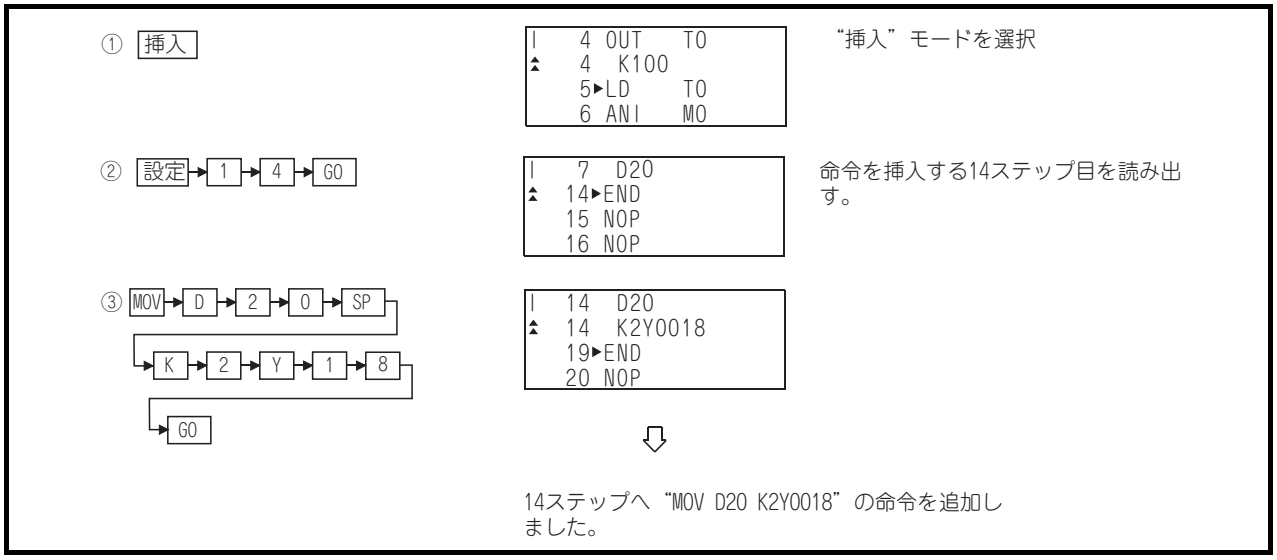
タイマ“T0”の設定値は“K10”から“K100”に書き変わりました。

20.2.3 命令を追加（挿入）する

シーケンスプログラムに命令を追加する方法を下記のような例で説明します。

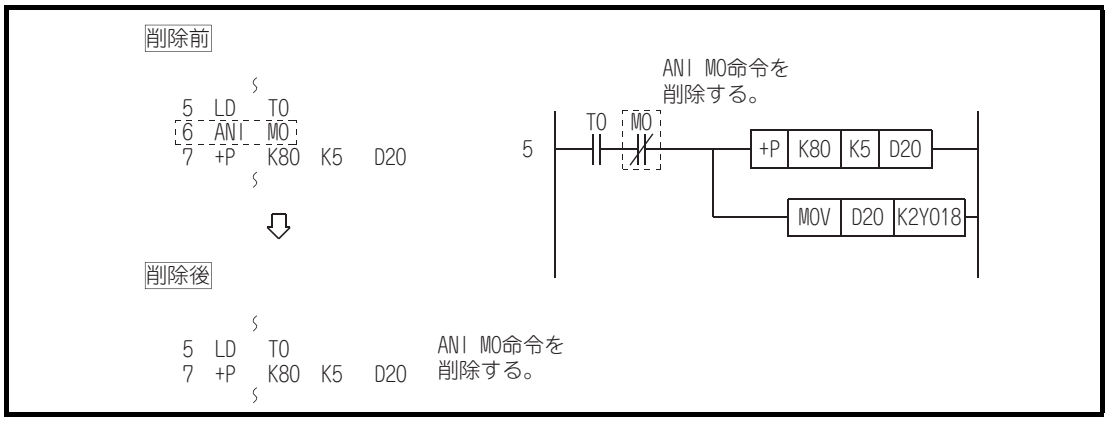


[操作例]



20.2.4 命令を削除する

シーケンスプログラムの命令を削除する方法を下記のような例で説明します。



[操作例]

① シフト → 削除

```
D  14  D20
▲  14  K2Y0018
   19▶END
   20  NOP
```

“削除”モードを選択

② 設定 → 6 → GO

```
D   5 LD    T0
▲   6▶ANI   M0
    7 +P
    7  K80
```

命令を削除する6ステップ目を読み出す

③ GO

```
D   5 LD    T0
▲   6▶+P
    6  K80
    6  K5
```

GOキーによりカーソル位置の命令が削除され，ステップ番号は前詰めされる

⇩

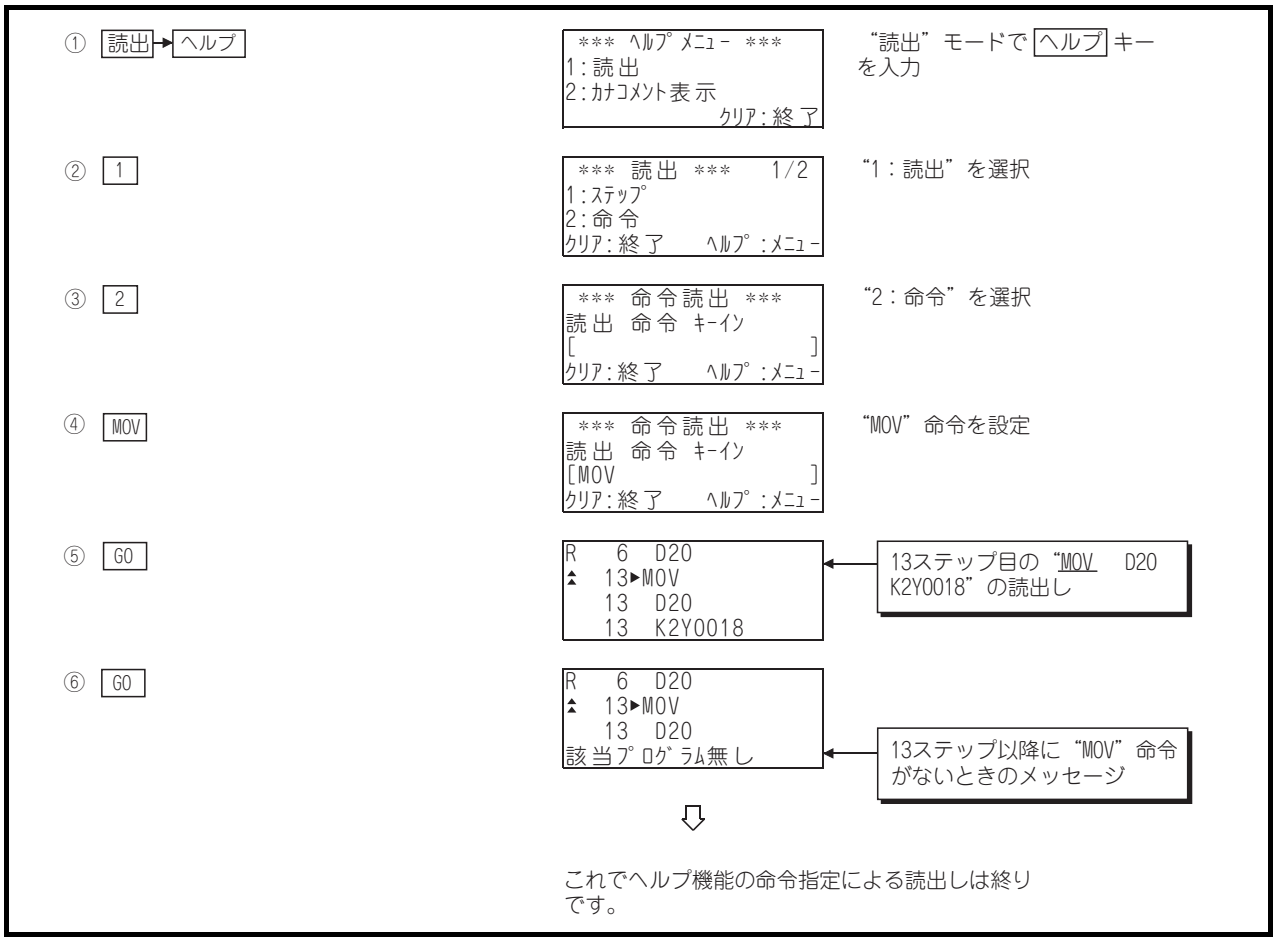
“ANI M0”の命令を削除しました。

20.2.5 ヘルプ機能を使用する

[ヘルプ]は，ヘルプ機能を使用する時に入力するキーです。
[ヘルプ]を入力することにより，各モードのヘルプ機能の項目がメニュー形式で表示されますので，該当する項目を選択して実行することができます。

(1) シーケンスプログラムの中の命令を読み出す
シーケンスプログラムの中の“MOV”命令を使用している箇所を読み出す例で説明します。

[操作例]



(2) カナコメントを表示する

カナコメントの表示方法を，読出モード中にカナコメントを表示する例で説明します。

[操作例]

① ヘルプ

```
 *** ﾍﾙﾌﾟ ﾒﾆｭｰ ***
1:読 出
2:ｶﾅｺﾒﾝﾄ表 示
              ｸﾘｱ:終 了
```

“読出”モード操作中に，ヘルプキーを入力

② 2

```
 *** ｶﾅｺﾒﾝﾄ表示 ***
1:ｶﾅｺﾒﾝﾄ表示 する
2:ｶﾅｺﾒﾝﾄ表示 しない
ｸﾘｱ:終 了    ﾍﾙﾌﾟ:ﾒﾆｭｰ
```

“2：カナコメント表示”を選択

③ 1

```
R    0▶LD     X0000
▲    1 OUT    Y0020
     2 LD     X0000
      ﾓｰﾀ ｷﾄﾞｳ ﾘﾐｯﾄ
```

“1：カナコメント表示 スル”を選択
カーソル位置のデバイスについているカナコメントを表示

④ ↓

```
R    0 LD     X0000
▲    1▶OUT    Y0020
     2 LD     X0000
      ﾓｰﾀ ｷﾄﾞｳ ｶｸﾆﾝ
```

20.3 リスト編集の操作方法一覧

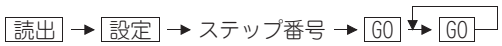
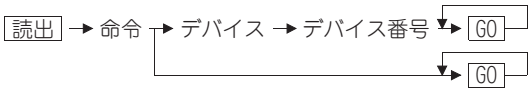
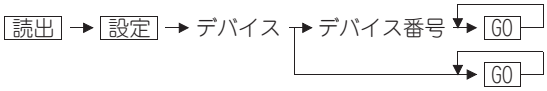
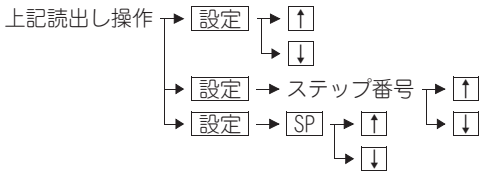
20.3.1 共通操作

操作内容		操作目的	操作方法（キー入力順序）
基本操作	立上げ時のキーワード入力	ACPU にキーワードが登録されている時に入力する。	キーワード → GO
	モード選択	モード選択をする。	モードキー（ 読出 , 挿入 , パラメータ ） シフト → モードキー（ 書込 , 削除 , その他 ）
	有効キーの切換え	有効キー（上段／下段）をユーザで切り換える。	シフト または 設定
	誤入力時の処置	キー操作を間違えた時に行う。	クリア ，モードキーまたは シフト → モードキー
	命令ヘルプ機能の操作	ヘルプ機能の命令指定による操作を行う。	書込・挿入モードでのプログラム表示操作 → ヘルプ → 1 → 1 → 1 → 命令の頭文字を入力 → GO → ↑ / ↓ → 該当する命令の番号を入力 → 該当命令のソース，ディスティネーションを入力 → GO
	カナコメントの表示	ACPU に格納されているコメントを表示する。	書込・読出・挿入・削除モードでのプログラム表示操作 → ヘルプ → 2 → 1 / 2
命令入力操作	命令コードのみ	命令コードのみを入力する。	命令 → GO
	命令コードとデバイス 1 つ	命令コードとデバイス 1 つを入力する。	命令 → SP → デバイス → デバイス番号 → GO
	上記以外（命令キー入力）	上記以外を命令キーを使って入力する。	デバイス，ソースデータ，ディスティネーションの間に各々 SP 入力
	上記以外（デバイスキー入力）	上記以外を命令キーを使わずに入力する。	命令とデバイス，ソースデータ，ディスティネーションの間に各々 SP 入力

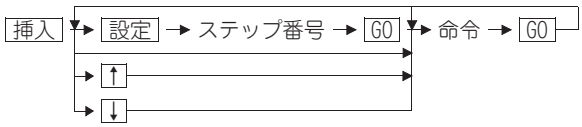
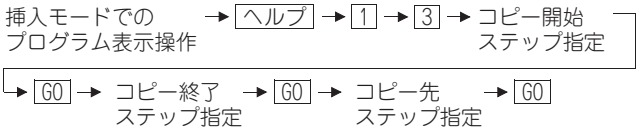
20.3.2 書込みモード (W) での操作

操作内容	操作目的	操作方法（キー入力順序）
NOP の連続書込み	プログラム中の指定範囲を NOP にする。	書込モードでのプログラム表示操作 → ヘルプ → 1 → 2 → 1 → 開始ステップ指定 → GO → 最終ステップ指定 → GO → 2 → 開始ステップ指定 → GO
プログラムの書込み／修正（変更）	プログラムを新規に書き込む／修正（変更）する。	シフト → 書込 → 設定 → ステップ番号 → GO → 命令 → GO ↑ ↓

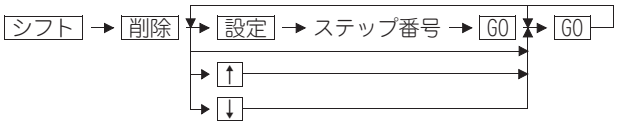
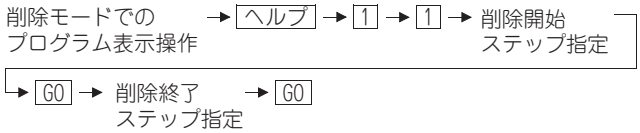
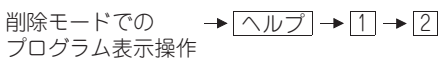
20.3.3 読出しモード (R) での操作

操作内容	操作目的	操作方法（キー入力順序）
ステップ番号指定による命令読出し	プログラム中の指定ステップ番号の命令を読み出す。	
命令指定による命令読出し	プログラム中の指定命令を読み出す。	
デバイス指定による命令読出し	プログラム中の使用デバイスを指定して命令を読み出す。	
自動スクロール	プログラムを自動スクロールしながら表示する。	

20.3.4 挿入モード (I) での操作

操作内容	操作目的	操作方法（キー入力順序）
プログラムの挿入	プログラム中に命令を挿入する。	
プログラムの移動	プログラムを一括移動する。	
プログラムのコピー	プログラムをコピーする。	

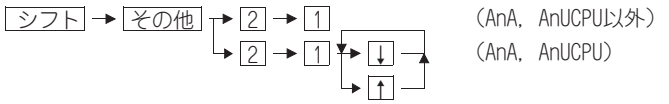
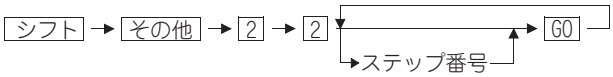
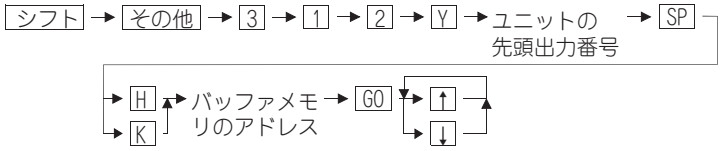
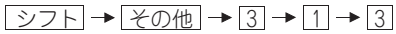
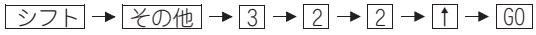
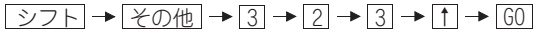
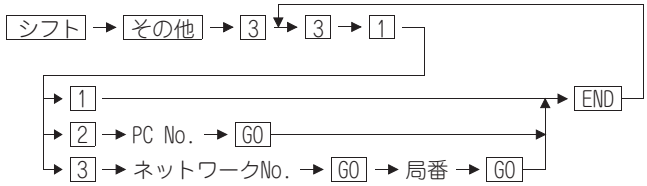
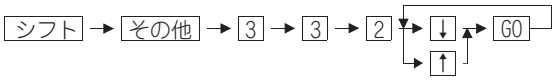
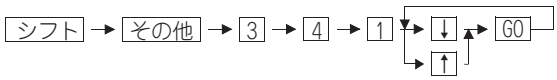
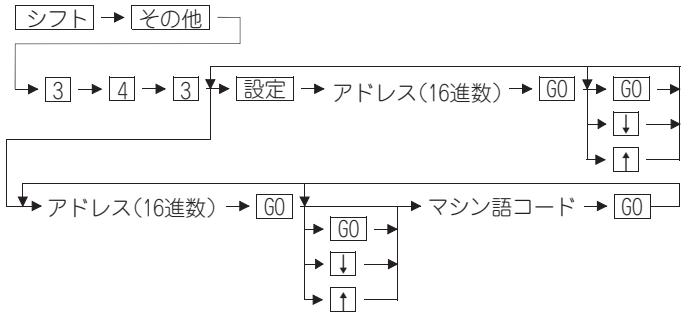
20.3.5 削除モード (D) での操作

操作内容	操作目的	操作方法（キー入力順序）
プログラムの削除	プログラム中の命令を削除する。	
プログラムの範囲指定削除	プログラムを範囲指定して削除する。	
NOP の一括削除	プログラム中の NOP を一括削除する。	

20.3.6 パラメータモード(P)での操作

操作内容	操作目的	操作方法（キー入力順序）
パラメータのオールクリア	パラメータを初期設定の状態に戻す。	パラメータ → 1 → ↑ → GO → END → ↑ → GO
パラメータの設定（A0J2HCPU の場合）	A0J2HCPU のパラメータの設定をする。	パラメータ → 2 → ①
ラッチ範囲設定	ラッチ範囲を「ラッチなし」,「1/2 ラッチ」,「オールラッチ」から選択する。	① → 1 → ↑/↓ → GO → ②
ステップリレー設定	ステップリレーのあり(S1536 ～ 2047)／なしを設定する。	① → 2 → ↑/↓ → GO → ②
設定完了（書込み）	パラメータ設定が完了してシーケンサ CPU に書込みを行う。	② → 複数項目まとめて設定も可。 → クリア → END → ↑ → GO（書込み完了表示）
パラメータの設定（A0J2HCPU 以外の場合）	A0J2HCPU 以外のパラメータの設定をする。	パラメータ → 2 → ①
メモリ容量設定	メインシーケンスプログラム容量，ファイルレジスタ容量を設定する。	① → 1 → 容量 → GO → END → ②（メイン用，入力単位：1Kステップ） ① → 1 → ↓ → 容量 → GO → END → ②（サブ用，入力単位：1Kステップ） ① → 1 → ↓ → 点数 → GO → END → ②（ファイルレジスタ用，入力単位：1K点）
M，L，S 設定（AnA，AnUCPU 以外）	ラッチリレー／ステップリレーで使用する先頭デバイス番号を設定する。	① → 2 → Lの先頭番号 → GO → Sの先頭番号 → GO → ②
M，L，S 設定（AnA，AnUCPU のみ）	ラッチリレー／ステップリレー／内部リレーで使用する先頭デバイス番号を設定する。	① → 2 → Lの先頭番号 → GO → Sの先頭番号 → GO → Mの先頭番号 → GO → ②
タイマ設定（AnACPU 以外）	低速／高速／積算タイマで使用する先頭デバイスを設定する。	① → 3 → タイマの先頭番号 → GO → ②
タイマ設定（AnACPU）	タイマの使用点数，T256 以降の設定値を格納する先頭デバイス番号，低速／高速／積算タイマで使用する先頭デバイスを設定する。	① → 3 → タイマの点数 → GO → 設定値格納用先頭デバイス → GO → タイマの先頭番号 → GO → ②
カウンタ設定（AnACPU のみ）	カウンタの使用点数と，C255 以降の設定値を格納する先頭デバイス番号を設定する。	① → 4 → カウンタの点数 → GO → 設定値格納用先頭デバイス → GO → ②
ラッチ範囲設定	ラッチ設定するデバイスの範囲を設定する。	① → 5 → ↑/↓ → ラッチ先頭番号 → GO → ↑/↓ → GO/END → ② → ラッチ終了番号 → GO
WDT 設定	ウォッチドックタイマの設定値を 10ms 単位で設定する。	① → 6 → WDT値 → GO → ②（入力単位：10ms）
I/O 制御方式の設定（A3H，A3MCPU のみ）	I/O の制御方式を設定する。	① → 7 → ↑/↓ → GO → ②
設定完了（書込み）	パラメータ設定が完了してシーケンサ CPU に書込みを行う。	② → 複数項目まとめて設定も可。 → クリア → END → ↑ → GO（書込み完了表示）

20.3.7 その他のモード(O)での操作

操作内容	操作目的	操作方法（キー入力順序）
エラーチェック	ACPU で発生しているエラーのエラーステップ番号／エラーコードを確認する操作です。	
プログラムチェック	プログラムをチェック（2重コイル，命令コード，END 命令）する。	
バッファメモリ一括モニタ	特殊機能ユニットのバッファメモリ内容をモニタする。	
時計モニタ	ACPU の時計データをモニタする。	
PC メモリオールクリア	ACPU のメモリ内容をすべてクリアする。	
プログラムオールクリア	シーケンスプログラム，マイコンプログラム，T/C 設定値エリアをすべてクリアする。	
デバイスメモリオールクリア	ACPU 内のビットデバイス，ワードデバイスの内容をすべてクリアする。	
PC No. 設定	MELSECNET II(/B) または，MELSECNET/10 上において，アクセスする他局の PC No. を設定する。	
メイン／サブ切換え	リスト編集画面に表示するメインプログラム／サブプログラムを選択する。	
リモート RUN/STOP	GOT から ACPU の RUN/STOP 態を操作する。	
マシン語読出し／書込み	ACPU のメモリアドレス（絶対アドレス）を指定して，メモリ内容の読出し，メモリへマシン語の書込みを行う。	

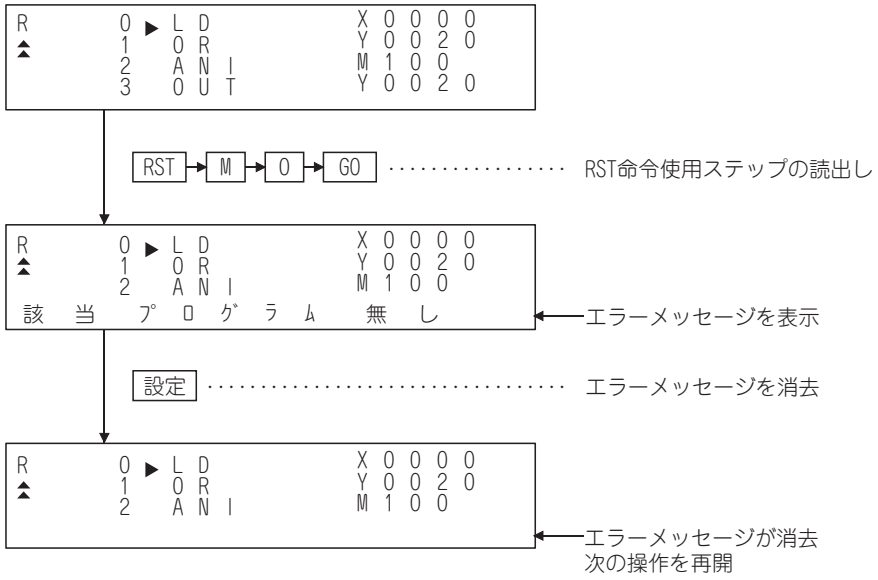
21章 リスト編集のエラーメッセージ

21.1 リスト編集機能が検出するエラー

各モードの操作時に，リスト編集機能がエラーを検出したときは，表示部の 4 行目にエラーメッセージを表示します。
以下に，表示するエラーメッセージ，表示条件および処置方法を示します。
エラーメッセージを表示したときは次のことを行い，操作を再開してください。

① エラーメッセージを確認
② エラー発生原因を取り除く
③ いずれかのキーを入力（エラーメッセージが消去し，エラー発生前の状態に戻ります。）

（例）



エラーメッセージ	表示条件	処　置
アドレスエラー	・マシン語書込みなどの操作で書き込もうとしたアドレスが書込み禁止エリアである。	・正しいアドレスを設定する。
該当プログラム無し	・指定命令をさがしたが見つからない。	・プログラムを確認する。
メモリカセット チェック	・キーワードのクリア，パラメータ書込みでのCPU との交信時，メモリカセット不良または未装着である。	・メモリカセットを正しく装着する。 ・新しいメモリカセットに変更する。
ステップオーバー エラー	・設定したステップ番号が最大ステップ番号より大きい。	・正しいステップ番号を設定する。
設定ミス	・設定している値が正しくない。	・正しい設定を行う。
選択できません	・実行できない機能を選択した。	・別の機能を選択する。
操作ミス	・操作ミスをした。	・正しいキー操作を行う。
デバイスエラー	・設定したデバイス記号が間違っている。 ・デバイス番号が越えている。	・正しいデバイス記号を再設定する。 ・CPU のデバイス範囲で再設定する。
同一コイル有り	・シーケンスプログラム中に同一コイルがある。	・制御上，問題なければ次の操作を行う。 ・制御上，問題あればプログラムを修正する。
命令エラー	・プログラムを読み出したとき，正規の命令に変換できない。	・CPU がエラー検出している場合は，RUN → STOP にし，CPU リセット後，エラー発生ステップの前後の命令を確認し，正しい命令を書き込む。（エラーステップの確認については，20.3.7 項参照）
命令設定ミス	・読出し，書込み，挿入時に，設定した命令が正しくない。	・再設定する。
メモリプロテクト	・書込み，挿入／削除モードなどで書込み時，メモリカセット内のメモリプロテクトスイッチがON になっている。	・メモリカセット内のメモリプロテクトスイッチを OFF にする。
容量オーバー	・パラメータで設定したメモリ割付けが，メモリカセットの容量を越えた。	・メモリカセットの容量以内で，パラメータを再設定する。
END 命令なし	・END 命令がない。	・プログラムの最終ステップに END 命令を書き込む。
PC 交信エラー	・リスト編集機能起動時に CPU と正常に交信できない。	・リスト編集機能を再起動してみる。交信できない場合，下記チェックが必要です。 GOT 本体 ケーブル接続状態 CPU 本体 （エラーが発生していないか）
PC ライトエラー	・書込み，挿入モードなどで CPU に正しく書き込めなかった。	・RAM/ROM の設定を確認する。 ・RAM の装着などを確認する。 ・CPU のメモリプロテクトスイッチの設定を確認する。
PC RUN 中	・CPU が RUN 中に書込み，挿入／削除などをしようとした。	・CPU を STOP にする。
PC No. エラー	・PC No. が自局以外に設定されているとき。	・PC No. 変更でアクセスする対象局を自局に設定し直す。
□□KS オーバー	・プログラム容量設定可能範囲より□□K ステップ分越えた値を設定しようとした。	・プログラム容量を□□K ステップ分減らして設定する。
□□KP オーバー	・ファイルレジスタ容量設定可能範囲より□□K 点分越えた値を設定しようとした。	・ファイルレジスタ容量を□□K 点分減らして設定する。
QnACPU には使えません PCNo. を設定して下さい	・リスト編集先の CPU が QnACPU である。	・PC No. を設定してアクセスする対象局を変更する。
キーワード入力がありません PC No. を設定して下さい	・キーワード入力画面で，キーワード入力をしないで GO キーを押した。	・PC No. を設定してリスト編集する対象局を変更する。または，再度同じ局を選択し，キーワード入力する。

エラーメッセージ	表示条件	処　置
シーケンサのパラメータを変更したため GOT システムを再立ち上げして下さい	・ファイル (R) レジスタ容量以外のシーケンサパラメータ設定を行った。	・必要な時は，GOT システムを再立ち上げする。
シーケンサのパラメータを変更したため回路モニタは再度読出しを行って下さい	・ファイル (R) レジスタ容量設定を行った。	・必要な時は，再度回路モニタの PC 読出しを行う。
シーケンスプログラムを編集したため回路モニタは再度読出しを行って下さい	・シーケンスプログラムの編集を行った。	・必要な時は，再度回路モニタの PC 読出しを行う。

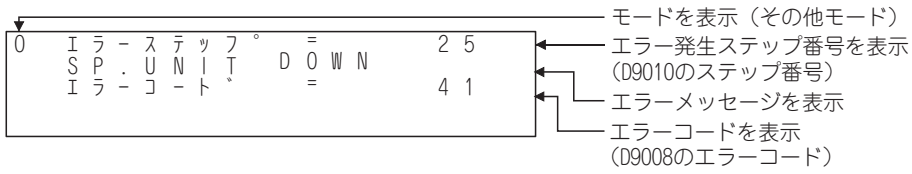
21.2 シーケンサ CPU のエラー

その他モードのエラーステップ読出しを行うと，ACPU で発生しているエラーのエラーメッセージおよびエラーステップなどを表示します。
以下に，エラーメッセージ，異常内容および処置方法を示します。
エラーメッセージを表示したときは次のことを行い，操作を再開してください。

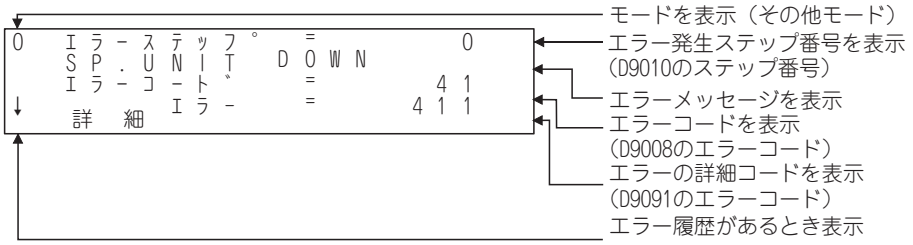
① エラーメッセージを確認
② エラーコードを表示していないときは，システムモニタ機能（8 章参照）により特殊レジスタ D9008 のエラーコードを確認
③ エラー発生原因を取り除く

（表示形式）

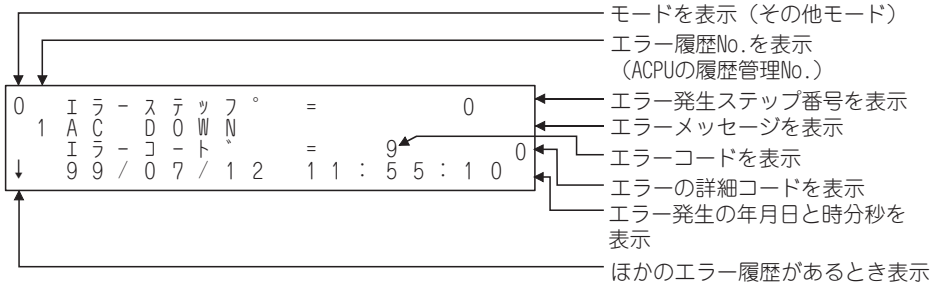
AnA，AnU 以外の CPU でエラーが発生しているときの表示例



AnA，AnUCPU でエラーが発生しているときの表示例



上記“↓”表示時（エラー履歴があるとき）の次の表示例



Point シーケンサ CPU のエラーメッセージを表示したときは，ACPU プログラミングマニュアル（共通命令編），各 CPU のユーザーズマニュアルを参照し処置してください。

21.3 リンクシステム上でリスト編集機能を使用した際のエラー

リンクシステム上でリスト編集機能を使用した場合“PC 交信エラー（ rr ）”が表示されることがあります。そのときはエラー内容と処置を確認してください。

エラー番号	エラー内容	処　置
2	タイムアウトエラー：要求に対する応答がない	ケーブルの配線などをチェックする。
4	処理キャンセル： CPU が処理中にもかかわらずリスト編集機能から新しい処理要求を出したとき。	再度 GOT 側のキー操作を行う。
5	サムチェックエラー： リンク交信のサムチェックエラーが発生している。	ノイズ影響が考えられます。システムを再度チェックしてください。
16	PC No. エラー： 該当 PC 番号局が存在しない。	PC 番号の設定を確認し，正しい番号を設定する。
19	モニタ中に ACPU をリセットした時に発生することがある。	再度モニタ操作を行う。
24	リモートエラー： 計算機リンクユニットなどからリモート STOP/PAUSE を行っているのにリスト編集機能からリモート RUN/STOP を行ったとき。	どちらか一方からリモート RUN/STOP/PAUSE を行う。
32	リンクエラー： 子局から親局のモニタを行っているときに親局をリセットしたとき。	再度モニタ操作を行う。
34	EEPROM 不良： EEPROM 書込み時に EEPROM 不良で書込みができないとき。	新しい EEPROM と交換する。

エラー番号“25”が表示された場合は下記原因と考えられます。内容と処置を確認してください。

(1)　マスタ局（親局）に接続時

デバイス番号	名　称	内　容	
M9210	リンクカード異常（マスタ局用）	OFF：正常 ON ：異常	リンクカードの H/W に異常があるか，ないかにより制御します。CPU リンクユニット内のリンクカードを CPU にて判断します。リンクユニットを交換してください。
M9224	リンク状態	OFF：オンライン ON ：オフライン，または局間テスト，自己折返しテスト	マスタ局自身がオンラインになっているか，オフラインまたは局間テスト，自己折返しテストモードになっているかにより制御を行います。モードスイッチを確認してください。
M9227	ループテスト状態	OFF：未実行 ON ：正ループテスト，副ループテスト実行中	マスタ局自身が正ループテスト，または副ループテストを実行しているかしていないかにより制御します。

(2)　ローカル局に接続時

デバイス番号	名　称	内　容	
M9211	リンクカード異常（ローカル局用）	OFF：正常 ON ：異常	リンクカードの H/W に異常があるか，ないかにより制御します。CPU リンクユニット内のリンクカードを CPU にて判断します。リンクユニットを交換してください。
M9240	リンク状態	OFF：オンライン ON ：オフライン，または局間テスト，自己折返しテスト	ローカル局自身がオンラインになっているか，オフラインまたは局間テスト，自己折返しテストモードになっているかにより制御を行います。モードスイッチを確認してください。
M9257	ループテスト状態	OFF：未実行 ON ：正ループテスト，副ループテスト実行中	ローカル局自身が正ループテスト，または副ループテストを実行しているかしていないかにより制御します。

(3) MELSECNET/10 上の CPU に接続時

MELSECNET/10 上で発生するエラーについては，4 桁（16 進）のエラー No. で表示します。エラー内容と処置については，MELSECNET/10 ネットワークシステムリファレンスマニュアルを参照してください。

Point

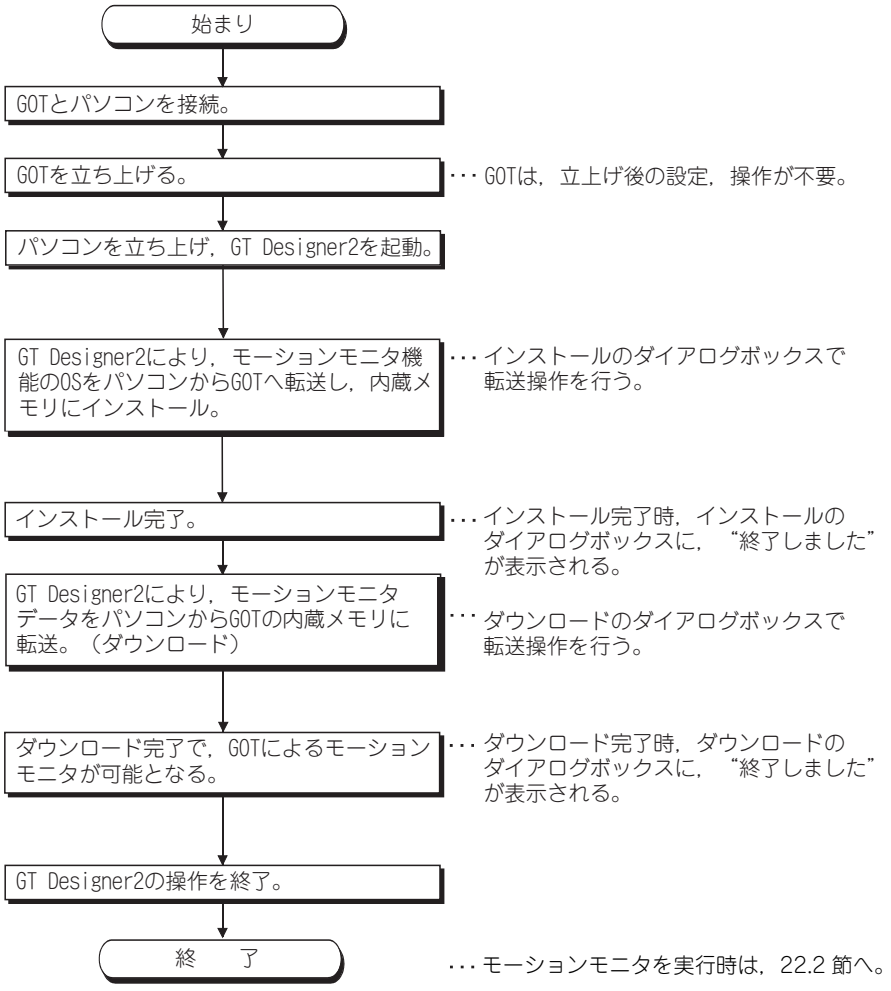
前ページに記載されていないエラー番号を表示することがあります。そのときは恐れいりますが，最寄りのシステムサービス，代理店または支社に連絡ください。

22章 モーションモニタ機能の操作手順

モーションモニタ機能を使用するときの操作手順について説明します。

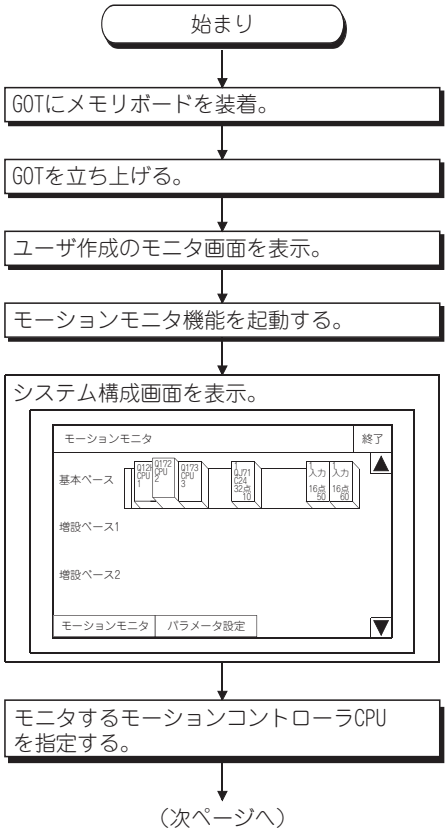
22.1 モーションモニタを開始するまでの操作手順

モーションモニタ機能のオペレーティングシステム (OS) とモーションモニタデータをパソコンから GOT へ転送し，内蔵メモリにインストールするまでの概略手順を示します。
詳細は，GT Designer2 Version2 オペレーティングマニュアルを参照してください。
画面表示，キー操作を含め，詳しく説明しています。



22.2 ユーザ作成モニタ画面表示からモーションモニタ開始までの操作手順

GOT の内蔵メモリにモーションモニタ機能のオペレーティングシステム (OS) のインストール，モーションモニタデータのダウンロードを完了してから，モーションモニタ機能の各操作を開始するときの，GOT の操作手順を示します。



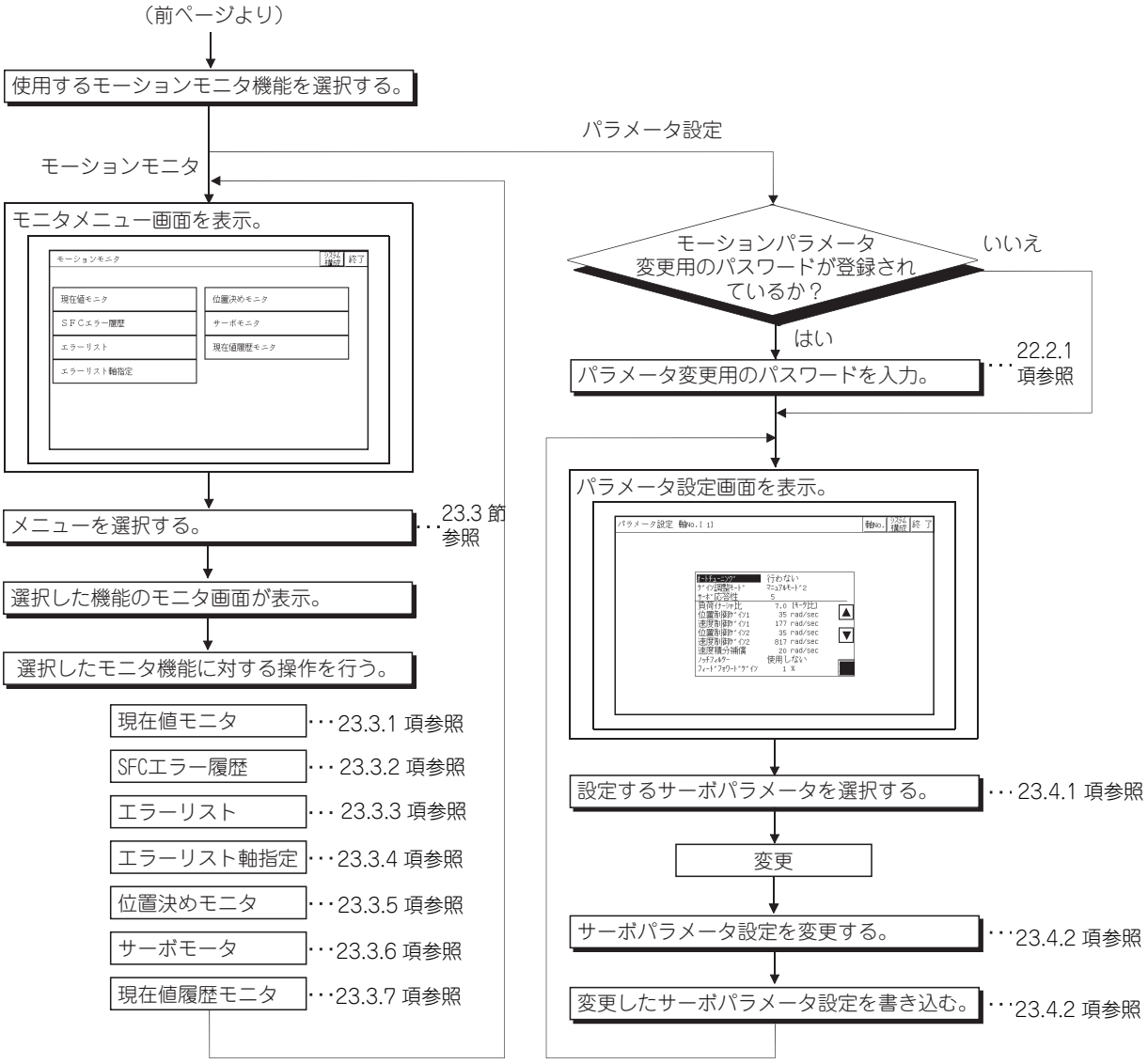
・・・（＊1）

・・・ 起動時，ユニット形名などは表示されない。
シーケンサCPUからユニット情報の読出し完了で，ユニット形名などが表示される。

終了 を選択するとモーションモニタが終了し，モーションモニタ機能の起動元画面へ遷移する。

・・・23.1 節参照

＊1 GT Designer2でタッチスイッチ（拡張）機能を設定したキーにタッチしてモーションモニタ機能を起動します。
ユーティリティメニュー画面を表示したときは，モーションモニタ をタッチしてモーションモニタ機能を起動します。


（前ページより）
使用するモーションモニタ機能を選択する。
モーションモニタ
パラメータ設定
モニタメニュー画面を表示。
モーションモニタ
現在値モニタ
位置決めモニタ
SFCエラー履歴
サーボモニタ
エラーリスト
現在値履歴モニタ
エラーリスト軸指定
メニューを選択する。
23.3 節参照
選択した機能のモニタ画面が表示。
選択したモニタ機能に対する操作を行う。
現在値モニタ ･･･23.3.1 項参照
SFCエラー履歴 ･･･23.3.2 項参照
エラーリスト ･･･23.3.3 項参照
エラーリスト軸指定 ･･･23.3.4 項参照
位置決めモニタ ･･･23.3.5 項参照
サーボモータ ･･･23.3.6 項参照
現在値履歴モニタ ･･･23.3.7 項参照
モーションパラメータ変更用のパスワードが登録されているか？
いいえ
はい
パラメータ変更用のパスワードを入力。
22.2.1 項参照
パラメータ設定画面を表示。
設定するサーボパラメータを選択する。 ･･･23.4.1 項参照
変更
サーボパラメータ設定を変更する。 ･･･23.4.2 項参照
変更したサーボパラメータ設定を書き込む。 ･･･23.4.2 項参照

22.2.1 パスワード入力の操作手順

GT Designer2 で GOT にモーションパラメータ変更用のパスワード設定を書き込んである状態で，モーションモニタのパラメータ設定画面にアクセスしようとすると，パスワード入力画面を表示します。



(1) 機能

・パスワードが一致した場合は，パラメータ設定画面を表示します。

・パスワードが不一致の場合は，エラーメッセージを表示します。▭をタッチするとシステム構成画面に戻ります。

・パスワード設定で使用できる文字は，数字，A ～ F のみです。

・モーションパラメータ変更のパスワードは，GT Designer2 で設定します。
パスワードの設定の詳細については GT Designer2 Version2 リファレンスマニュアルを参照してください。

(2) 操作

(a) パスワードを入力する操作

[0]～[9]，[A]～[F]をタッチして，パスワードを入力します。

入力後，[↵]をタッチして，パスワードを確定します。

入力した文字を修正するときは，[DEL]をタッチして修正する文字を削除して，新しい文字を再入力します。

(b) パスワード入力を中断する操作

▭をタッチすると，モニタ画面に戻ります。

23章 各モーションモニタ画面の操作

モーションモニタ機能を使用するときの，各画面操作について説明します。
モーションモニタ機能の表示画面は使用する GOT により多少異なりますが，本章では主に A975GOT の画面を使用して説明します。

23.1 モニタ時の画面構成，共通操作と画面遷移について

モーションモニタ実行時の画面構成，共通操作について説明します。

23.1.1 システム構成画面の構成とキー機能

モーションモニタ機能の起動後に表示されるシステム構成画面の構成と，画面上に表示しているキー機能について説明します。

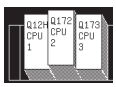
(1) 表示される内容について



①	CPU には号機番号，装着ユニットには管理 CPU No. が表示される。 (A95*GOT/A956WGOT 使用時は，CPU のみ表示されます。) サーボモニタ／サーボパラメータ設定を行うモーションコントローラ CPU の表示位置をタッチして選択する。
②	(2) に示すシステム構成画面での操作で使用するキーを表示する。(タッチ入力)

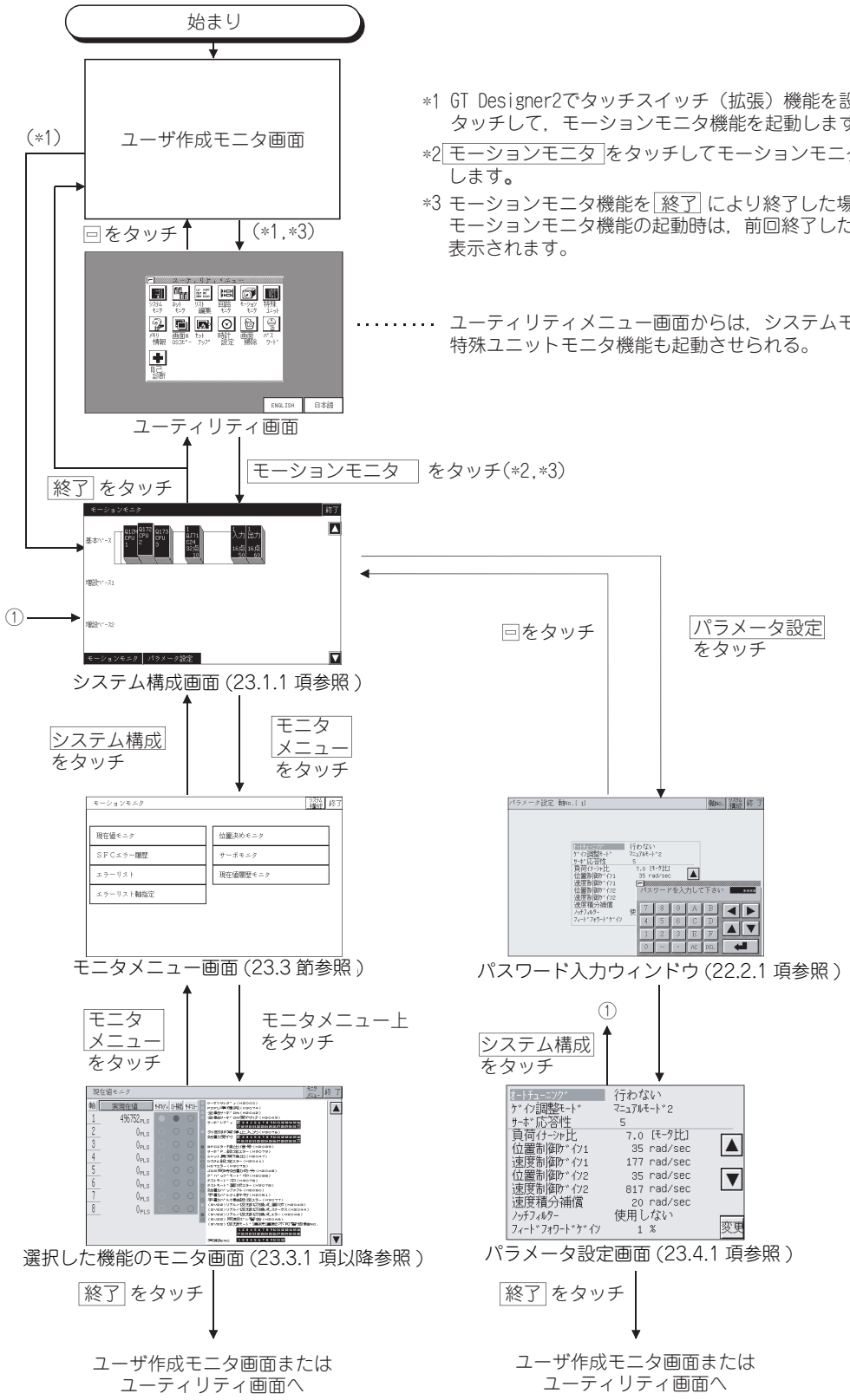
(2) キー機能について

システム構成画面での操作で使用するキーの機能を示します。

キー	機　能
終了	モニタを終了し，モーションモニタ機能を起動したときの画面へ戻る。
	サーボモニタ・サーボパラメータ設定を行うモーションコントローラ CPU を選択する。
モーションモニタ	システム構成画面をモーションモニタメニュー画面に切り換える。 (23.3.3 節参照)
パラメータ設定	システム構成画面をパラメータ設定画面に切り換える。(23.4 節参照)
▲ ▼	表示内容を上／下方向へ 1 段分スクロールし，現在表示されていない直前／直後の段数のシステム構成について表示する。 ▼ : 1 段分，下方向へスクロール。 ▲ : 1 段分，上方向へスクロール。

23.2 画面遷移

ユーザ作成のモニタ画面を表示している状態から，モーションモニタ機能の各画面操作を行うときの画面遷移を示します。



*1 GT Designer2でタッチスイッチ（拡張）機能を設定したキーにタッチして，モーションモニタ機能を起動します。

*2 モーションモニタ をタッチしてモーションモニタ機能を起動します。

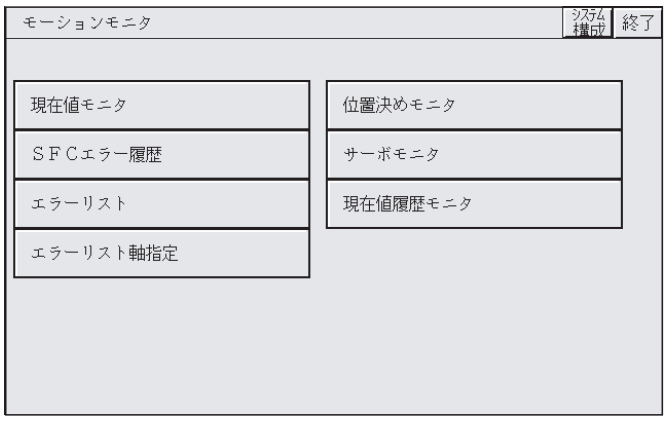
*3 モーションモニタ機能を 終了 により終了した場合，次回のモーションモニタ機能の起動時は，前回終了した画面から表示されます。

…… ユーティリティメニュー画面からは，システムモニタ機能，特殊ユニットモニタ機能も起動させられる。

23.3 モーションモニタ

モーションモニタ機能では，複数のモニタ画面により各種のサーボモニタを行うことができます。
各モニタ画面は，モニタメニュー画面から選択して表示させます。

（モニタメニュー画面）



① 現在値モニタ ..... すべての運転軸に対する送り現在値，実現在値をモニタ表示します。(23.3.1 項参照)

② SFC エラー履歴 ..... モーション CPU の電源投入または，リセットしてからの SFC プログラムで発生したエラー履歴を表示します。(23.3.2 項参照)

③ エラーリスト ..... シーケンサレディ (M2000) の立ち上がりから発生したエラーの履歴（最新 8 個) を表示します。(23.3.3 項参照)

④ エラーリスト軸指定..... 指定した軸に発生している最新のエラーを表示します。(23.3.4 項参照)

⑤ 位置決めモニタ..... 任意の軸に設定されている位置決めデータを詳細にモニタします。(23.3.5 項参照)

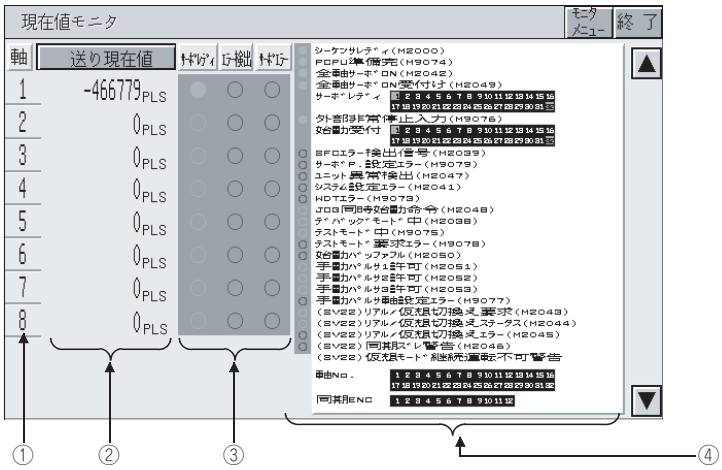
⑥ サーボモニタ ..... サーボモータ・サーボアンプのモニタを行います。(23.3.6 項参照)

⑦ 現在値履歴モニタ..... ABS 軸に対し，サーボアンプ電源 ON・OFF 時，原点復帰時のエンコーダ現在値，サーボ指令値，モニタ現在値の履歴を表示します。(23.3.7 項参照)
（A95*GOT 使用時は表示されません。）

23.3.1 現在値モニタ画面の表示内容とキー機能

現在値モニタ画面の表示内容と，画面上に表示されるキー機能について説明します。

(1) 表示される内容について



番号	項　目	表示内容
①	軸	モニタしている運転軸の軸 No. を表示する。
②	送り現在値 ／実現在値	運転軸の送り現在値，または実現在値を表示する。 モニタ値の表示部分をタッチすると，タッチした軸 No. の位置決めモニタ画面に遷移する。 (23.3.5 項参照)
③	サーボレディ，エラー検出， サーボエラー	サーボレディ信号，重度／軽度エラー，サーボエラー検出信号の ON（点灯）／ OFF（消灯）を表示する。 エラー表示部分“●”をタッチすると，タッチした軸 No. のエラーリスト軸指定画面に遷移する。(23.3.4 項参照)
④	ビットデバイス表示画面＊1	共通ビットデバイスを常にモニタ表示する。 ・エラー検出系ビットデバイス‥‥‥‥‥赤色表示 ・一般ステータス系ビットデバイス‥‥‥‥‥緑色表示

＊1：A95*GOT/A956WGOT 使用時は表示されません。

(2) キー機能について

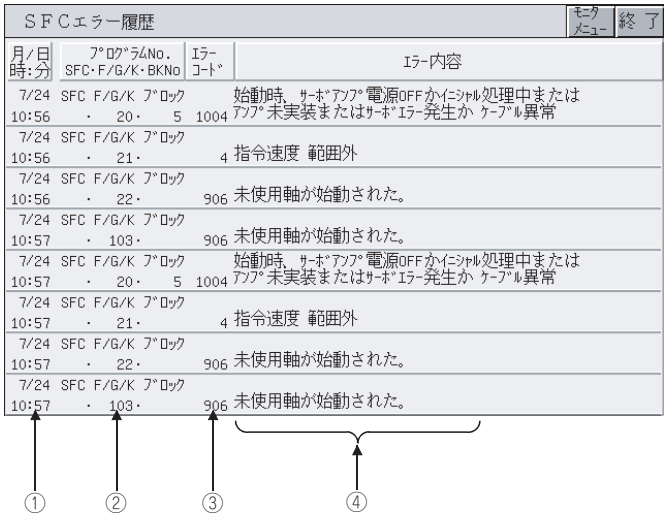
現在値モニタ画面の操作で使用するキーの機能を示します。

キー	機　能
送り現在値 ／ 実現在値	タッチするごとにモニタ項目を「送り現在値」／「実現在値」に切換える。(リアルモード時のみ)
モニタメニュー	モニタメニュー画面に戻る。
終了	現在値モニタを終了し，モーションモニタ機能を起動したときの画面へ戻る。
▲ ▼	表示軸 No. を切り換えます。 (Q173CPU モニタ時のみ表示されます。)

23.3.2 SFC エラー履歴画面の表示内容とキー機能

SFC エラー履歴画面の表示内容と，画面上に表示されるキー機能について説明します。

(1) 表示される内容について



番号	項　　目	表示内容
①	月／日 時：分	SFC エラーが発生した日付・時間を表示する。
②	プログラム No.	SFC エラーが発生した SFC プログラム No. を表示する。
③	エラーコード	発生したエラーのエラーコードを表示する。
④	エラー内容＊1	発生した SFC エラー内容を表示する。

＊1：A95*GOT/A956WGOT 使用時は表示されません。

(2) キー機能について

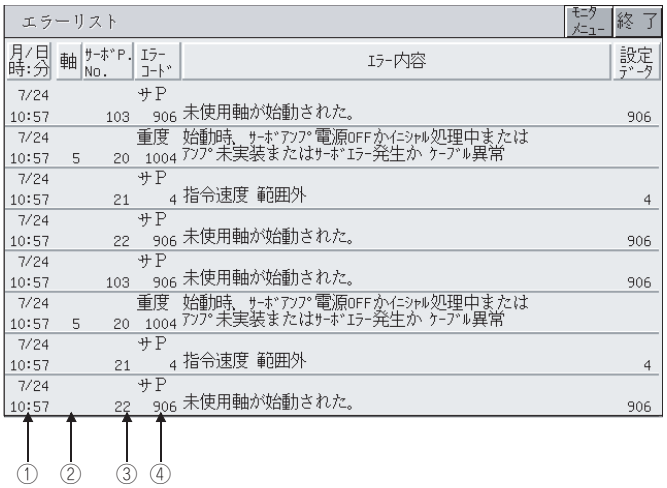
SFC エラー履歴画面の操作で使用するキーの機能を示します。

キー	機　　能
モニタメニュー	モニタメニュー画面に戻る。
終了	SFC エラー履歴を終了し，モーションモニタ機能を起動したときの画面へ戻る。
▲ ▼	SFC エラー履歴表示を 4 履歴分スクロール表示させる。 （ A95*GOT/A956WGOT 使用時のみ表示されます。）

23.3.3 エラーリスト画面の表示内容とキー機能

エラーリスト画面の表示内容と，画面上に表示されるキー機能について説明します。

(1) 表示される内容について



番号	項　　目	表示内容
①	月／日 時：分	エラーが発生した日付，時間を表示する。
②	軸	エラーが発生した軸の軸 No. と軸種類を表示する。 仮想軸　　：仮 同期エンコーダ軸　：同
③	サーボ P No.	エラー発生時に実行されていたサーボプログラム No. を表示する。 エラーが発生したサーボプログラムの実行先は表示されません。 サーボプログラム No. より実行先を参照ください。
④	エラーコード	発生したエラーの種別とエラーコードを表示する。 エラーの種別は下記のように表示する。 ・軽度エラー .....軽度 ・重度エラー .....重度 ・サーボエラー .....サ ・サーボプログラム設定エラー .....サ P ・リアル／仮想切換え.....切換 ・テストモード要求エラー .....テスト ・手動パルサ設定エラー.....手動 ・PCPU ERROR.....P-WDT ・SSCNET ERROR.....通信
⑤	エラー内容＊1	発生エラーのエラー内容を表示する。
⑥	設定データ＊1	設定データにエラーがあった場合，エラーのあったプログラム No. を表示する。

＊1：A95*GOT/A956WGOT 使用時は表示されません。

(2) キー機能について

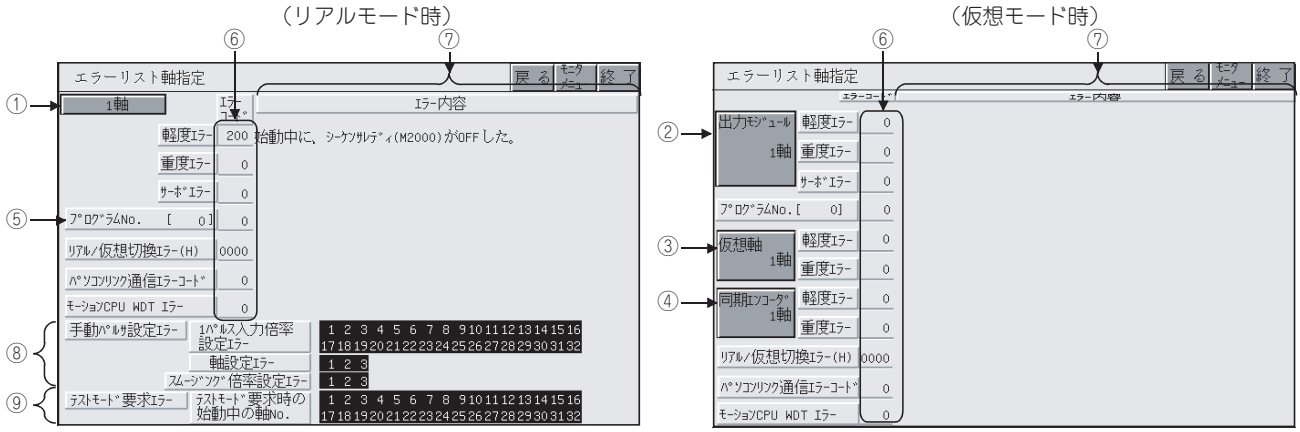
エラーリスト画面の操作で使用するキーの機能を示します。

キー	機　　能
モニタメニュー	モニタメニュー画面に戻る。
終了	エラーリストを終了し，モーションモニタ機能を起動したときの画面へ戻る。

23.3.4 エラーリスト軸指定画面の表示内容とキー機能

エラーリスト軸指定画面の表示内容と，画面上に表示されるキー機能について説明します。

(1) 表示される内容について



番号	項　　目		表示内容
①	軸 No.		現在モニタしている軸 No. を表示する。
②	出力モジュール		現在モニタしている出力モジュール軸 No. を表示する。
③	仮想軸		現在モニタしている仮想軸 No. を表示する。
④	同期エンコーダ		現在モニタしている同期エンコーダ軸 No. を表示する。
⑤	プログラム No.		エラー発生時に実行されていたサーボプログラム No. を表示する。
⑥	エラーコード		現在発生している軽度／重度／サーボエラー，サーボプログラム設定エラー，リアル／仮想切り換えエラー情報（エラーコード：16 進），パソコンリンク通信エラーコード，モーション CPU WDT エラーのエラーコードを表示する。
⑦	エラー内容＊1		発生したエラーの内容を表示する。
⑧	手動パルサ設定エラー＊1	1 パルス入力倍率設定エラー	1 パルス入力倍率設定エラーが発生した軸を表示する。
		軸設定エラー	手動パルサ P1 ～ P3 に設定された軸 No. のエラーを表示する。
		スムージング倍率設定エラー	手動パルサ P1 ～ P3 に設定されたスムージング倍率のエラーを表示する。
⑨	テストモード要求エラー		テストモード要求時に始動中の軸 No. を表示する。

＊1：A95*GOT/A956WGOT 使用時は表示されません。

(2) キー機能について

エラーリスト軸指定画面の操作で使用するキーの機能を示します。

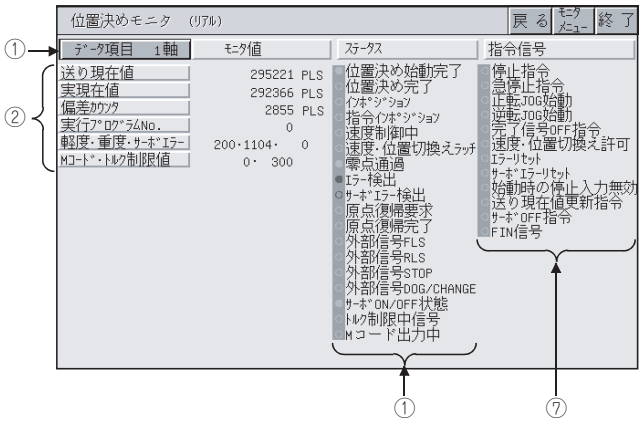
キー	機　　能
データ項目　1軸 （リアルモード時のみ） 出力ﾓｼﾞｭｰﾙ 1軸 ／ 仮想軸 1軸 ／ 同期ｴﾝｺｰﾀﾞ 1軸 （仮想モード時のみ） （表示例：1 軸モニタ時）	モニタする軸を切換える。
戻る	遷移元画面に戻る。
モニタメニュー	モニタメニュー画面に戻る。
終了	エラーリスト軸指定モニタを終了し，モーションモニタ機能を起動したときの画面へ戻る。

23.3.5 位置決めモニタ画面の表示内容とキー機能

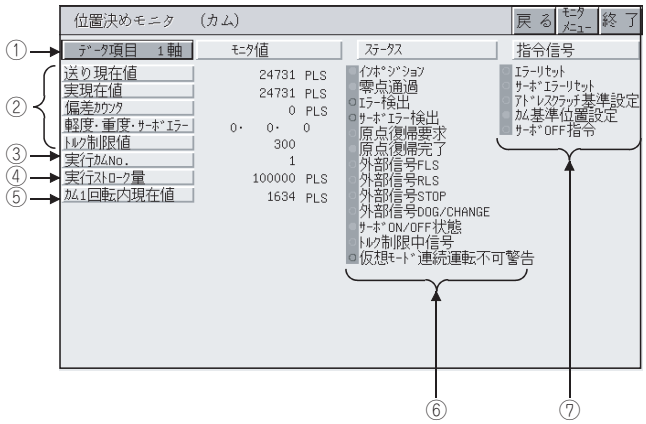
位置決めモニタ画面の表示内容と，画面上に表示されるキー機能について説明します。

(1) 表示される内容について

（リアルモード時）



（仮想モード時）



番号	項　　目	表示内容
①	データ項目	モニタしている運転軸の軸 No. を表示する。 仮想軸の場合軸種別を表示する。 ・ローラ ・ボトルネジ ・回転テーブル ・カム
②	送り現在値	PCPU が位置決め制御中のデータを表示する。 ・送り現在値　：サーボアンプへ出力した目標アドレス（ローラ軸の場合，ローラ周速の値） ・実現在値　：実際に移動した現在値（ローラ軸の場合，何も表示しない） ・偏差カウンタ　：送り現在値と実現在値の差 ・実行プログラム No.　：実行中のサーボプログラム No. ・軽度・重度・サーボエラー　：最新の軽度・重度・サーボエラーのエラコード
③	実行カム No.	現在制御を行っているカム No. を表示する。
④	実行ストローク量	現在制御を行っているストローク量を表示する。
⑤	カム 1 回転内現在値	カム軸 1 回転パルス内の現在値を表示する。
⑥	ステータス*1	軸ごとの制御状態（ステータス）を表す記号の ON/OFF を表示する。 ・ON の状態のときは，緑色で点灯します。 ・エラー検出，サーボエラー検出は，赤色で点灯します。
⑦	指令信号*1	位置決め指令信号 ON/OFF を表示する。 ON の状態のときは，緑色で点灯する。

＊1：A95*GOT/A956WGOT 使用時は表示されません。

(2) キー機能について

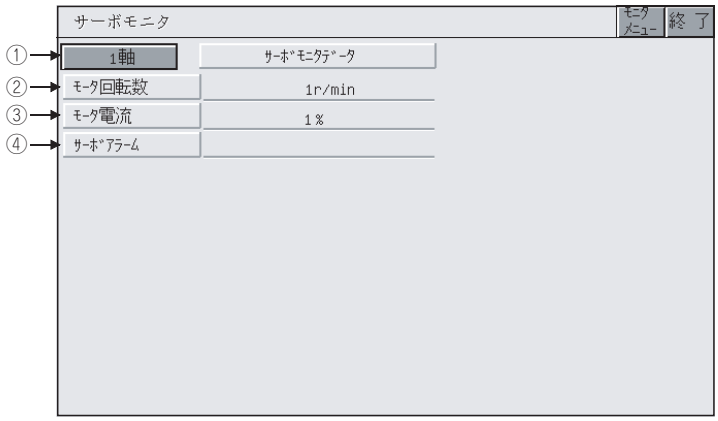
位置決めモニタ画面の操作で使用するキーの機能を示します。

キー	機　　能
データ項目　1軸 （表示例：1 軸モニタ時）	モニタする軸を切換える。
戻る	遷移元画面に戻る。
モニタメニュー	モニタメニュー画面に戻る。
終了	位置決めモニタを終了し，モーションモニタ機能を起動したときの画面へ戻る。

23.3.6 サーボモニタ画面の表示内容とキー機能

サーボモニタ画面の表示内容と，画面上に表示されるキー機能について説明します。

(1) 表示される内容について



番号	項　　目	表示内容
①	軸	現在モニタしている軸 No. を表示する。
②	モータ回転数	サーボモータの実回転数を表示する。
③	モータ電流	定格電流を 100%としたモータ電流値を表示する。
④	サーボアラーム	サーボアンプが検出したアラームを表示する。

(2) キー機能について

サーボモニタ画面の操作で使用するキーの機能を示します。

キー	機　　能
 （表示例：1 軸モニタ時）	モニタする軸を切換える。
	モニタメニュー画面に戻る。
	サーボモニタを終了し，モーションモニタ機能を起動したときの画面へ戻る。

23.3.7 現在値履歴モニタ画面の表示内容とキー機能

現在値履歴モニタ画面の表示内容と，画面上に表示されるキー機能について説明します。

(1) 表示される内容について



番号	項　　目	表示内容
①	軸	現在モニタしている軸の軸 No. を表示する。
②	原点データ	下記の原点復帰時のモニタ値を表示する。 ・原点復帰完了時刻 ・エンコーダ現在値 　絶対位置基準点データの多回転データ 　絶対位置基準点データの 1 回転内位置 ・サーボ指令値 ・モニタ現在値
③	モニタ値	下記の現在のモニタ値を表示する。 ・現在時刻 ・エンコーダ現在値 　現在のエンコーダ現在値の多回転データ 　現在のエンコーダ現在値の 1 回転内位置 ・現在のサーボ指令値 ・現在のモニタ現在値
④	電源 ON ／電源 OFF	ABS 軸に対して，過去 4 回のサーボアンプ電源 ON・OFF 時の現在値を表示する。 [電源 ON 時] ・電源 ON 時刻 ・エンコーダ現在値 　初期エンコーダの多回転データ 　初期エンコーダの 1 回転データ ・復元後のサーボ指令値 ・復元後のモニタ現在値 ・現在値復元時のアラーム発生情報（軽度／重度エラーのエラーコード） [電源 OFF 時] ・サーボアンプ電源断直前時刻 ・エンコーダ現在値 　サーボアンプ電源断前のエンコーダ現在値の多回転データ 　サーボアンプ電源断前のエンコーダ現在値の 1 回転データ ・サーボアンプ電源断直前のサーボ指令 ・サーボアンプ電源断直前のモニタ現在値

(2) キー機能について

現在値履歴モニタ画面の操作で使用するキーの機能を示します。

キー	機　能
 （表示例：1 軸モニタ時）	モニタする軸を切換える。
	モニタメニュー画面に戻る。
	現在値履歴モニタを終了し，モーションモニタ機能を起動したときの画面へ戻る。

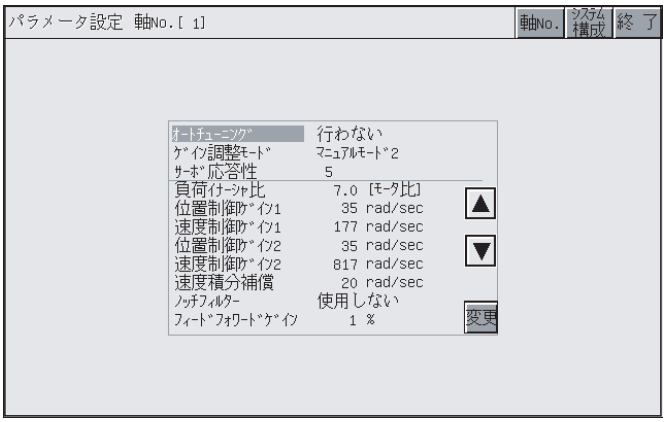
23.4 パラメータ設定

パラメータ設定機能では，接続しているモーションコントローラ CPU（Q172CPU, Q173CPU）に対して，サーボパラメータ設定（基本パラメータ／調整パラメータ）を行うことができます。

23.4.1 パラメータ設定画面の表示内容とキー機能

パラメータ設定画面の表示内容と，画面上に表示されるキー機能について説明します。

(1) 表示画面



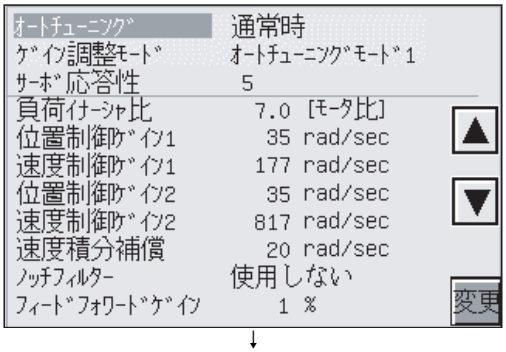
(2) キー機能について

パラメータ設定画面の操作で使用するキーの機能を示します。

キー	機　能
変更	選択された項目のサーボパラメータ設定を変更する。
▲ ▼	サーボパラメータ設定項目を選択する。
軸No.	パラメータ設定を行う軸を切換える。
システム構成	システム構成画面に戻る。
終 了	パラメータ設定を終了し，モーションモニタ機能を起動したときの画面へ戻る。

23.4.2 パラメータ設定操作

以下に，パラメータ設定を行うときの操作について，“オートチューニング”項目の設定を変更した場合の例を説明します。

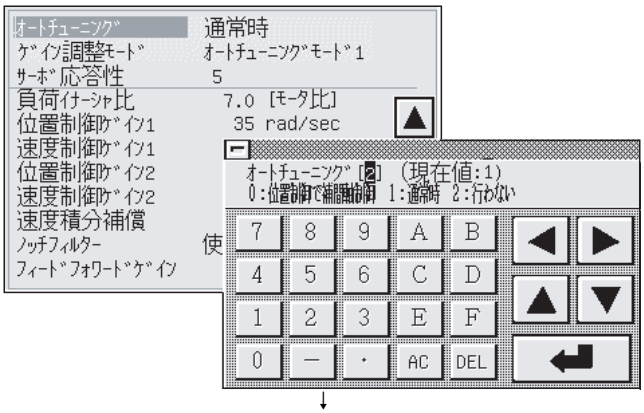


↓

変更(タッチ)

↓

① パラメータ設定を行う項目を ▲, ▼ キーより選択し，変更 キーをタッチします。

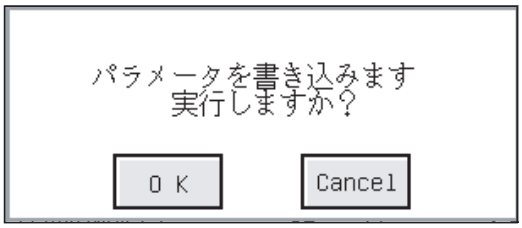


↓

(タッチ)

↓

② パラメータ設定ウィンドウが表示されますので，英数字 により，パラメータ設定内容を入力して，⏎ をタッチして，設定を確定します。
確定しない場合は，▭ をタッチしてパラメータ設定ウィンドウを閉じます。

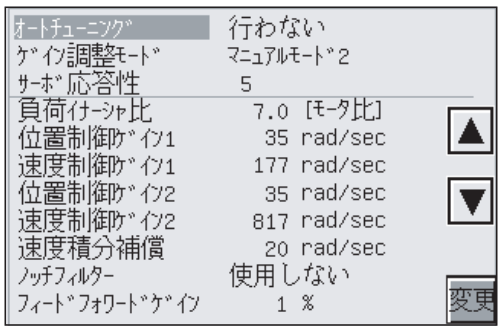


↓

OK(タッチ)

↓

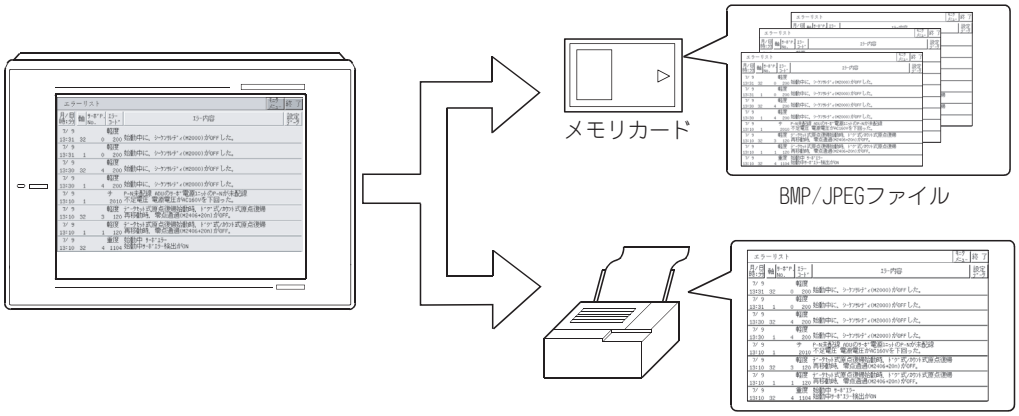
③ 確認用のウィンドウが表示されますので，OK キーをタッチして，パラメータ設定をモーションコントローラ CPU に書き込みます。
パラメータ設定を書き込まない場合は，Cancel キーをタッチします。



④ 書き込み完了後，設定したパラメータ内容に表示を更新したパラメータ設定画面が表示されます。

23.5 ハードコピー出力について

モーションモニタ時にモーションモニタ画面をプリンタで印刷したり，BMP/JPEG ファイル形式にてメモリカードに保存する方法について説明します。



使用する GOT により，それぞれ以下の方法でハードコピー出力を行います。

(1) A985GOT，A97*GOT 使用時

モーションモニタ画面上に表示されている[ハードコピー開始]／[ハードコピー中断]キーにタッチしてハードコピー出力を行います。

(2) A95*GOT，A956WGOT 使用時

GT Designer2 でハードコピー機能の開始／中断トリガ用のデバイスを設定し，その設定デバイスを ON/OFF することによりハードコピー出力を行います。

Point

・ モーションモニタ画面のプリントアウトを行う場合は，必ず GOT にオプションドライバをインストールしてください。
・ ハードコピーの出力先（メモリカード／プリンタ）は，GT Designer2 のハードコピー設定で設定します。
ハードコピー設定の詳細は GT Designer2 Version2 リファレンスマニュアルを参照してください。

24章 モーションモニタのエラーメッセージ

モーションモニタの操作時に表示されるエラー表示と，その処置方法を示します。

エラーメッセージ	エラー内容	処置方法
交信エラー	モニタ先シーケンサ CPU と交信ができない。	・シーケンサ CPU と GOT の接続状態（コネクタ抜け、ケーブル断線）を確認してください。 ・シーケンサ CPU でエラー発生していないか確認してください。
この PLC タイプではモニタできません	システム構成画面で，Q172CPU/Q173CPU 以外の CPU を選択した。	システム構成画面で，Q172CPU/Q173CPU を選択してください。
モーションコントローラの OS タイプが違います	モニタ先のモーションコントローラ CPU（Q172CPU,Q173CPU）に SV13/SV22 以外のモーション本体 OS がインストールされている。	モニタ先のモーションコントローラ CPU（Q172CPU,Q173CPU）に SV13/SV22 のモーション本体 OS をインストールしてください。
GOT 対応のバージョンではありません	モーションモニタ機能に対応していないバージョンのモーション本体 OS がモニタ先のモーションコントローラ CPU にインストールされている。	バージョンが“00E”以降のモーション本体 OS をモーションコントローラ CPU にインストールしてください。
モニタデータがありません	モニタデータがインストールされていない あるいは、モニタデータを削除した。	モーションモニタのモニタデータをダウンロードしてください。
未使用軸です。	設定されていない軸 No. を選択した。	・設定されている軸 No. を選択してください。 ・周辺 S/W で軸を設定してください。
設定できません。	サーボパラメータ設定時，設定できない項目を選択した。	設定可能な項目を選択してください。
設定範囲外です	サーボパラメータ設定時，設定範囲を超える値を設定した。	設定範囲内の値で設定してください。
パスワード不一致	モーションパラメータ変更用パスワード入力時に，不正なパスワードを入力した。	正しいパスワードを入力してください。

Memo

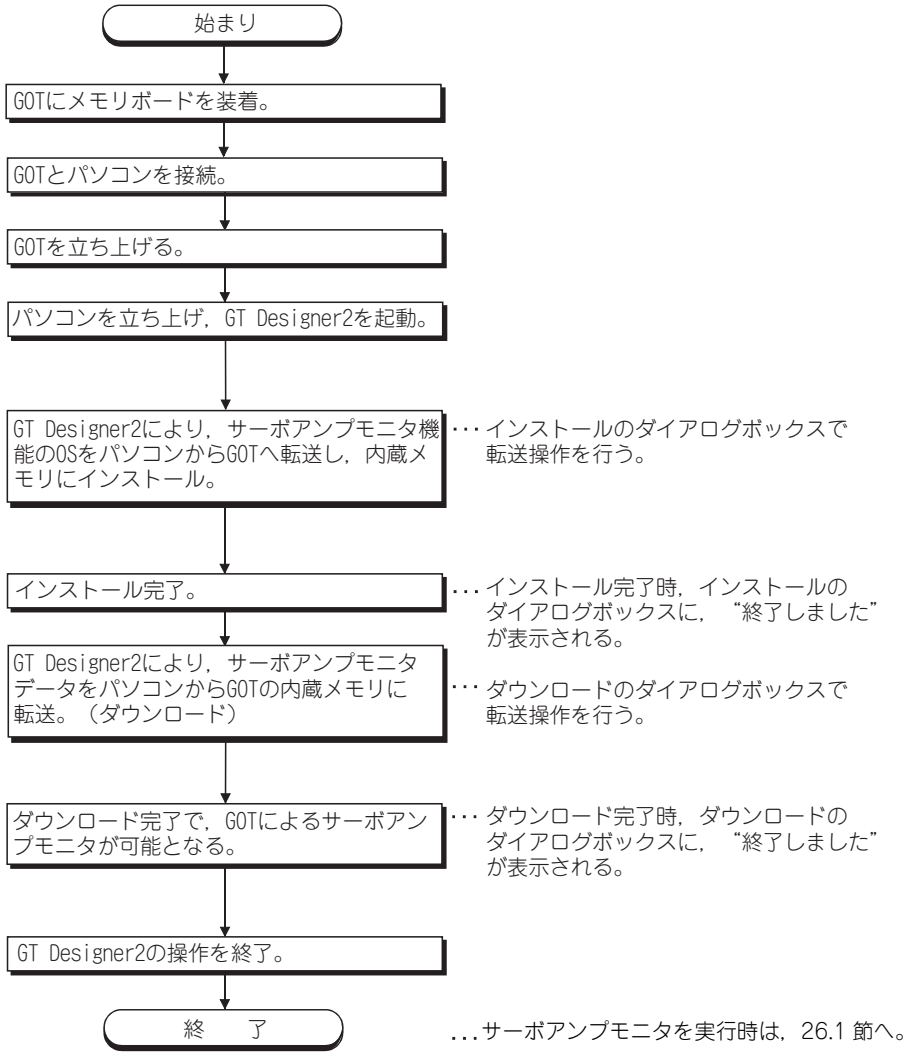
25章 サーボアンプモニタ機能の操作手順

Point サーボアンプモニタを行なう場合，接続するサーボアンプのマニュアルを熟読し，内容を十分理解した上で行なってください。

サーボアンプモニタ機能を使用するまでの操作手順について説明します。

25.1 サーボアンプモニタ機能のインストール

サーボアンプモニタ機能のオペレーティングシステム（OS）とサーボアンプモニタデータをパソコンからGOT へ転送し，内蔵メモリにインストールするまでの概略手順を示します。
詳細は，GT Designer2 Version2 オペレーティングマニュアルを参照してください。
画面表示，キー操作を含め，詳しく説明しています。



25.2 サーボアンプモニタ開始までの操作

“サーボアンプモニタ機能の OS”のインストール完了後，サーボアンプモニタ機能の各操作を開始するときの，GOT の操作手順を示します。

始まり

GOTを立ち上げる。

ユーザ作成のモニタ画面を表示。

サーボアンプモニタ機能を起動する。

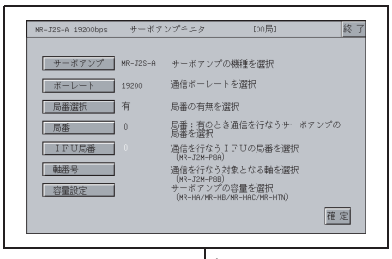
・・・下記のいずれかの方法で起動します。
・GT Designer2でタッチスイッチ（拡張）機能を設定したキーにタッチする。
・ユーティリティメニュー画面を表示し，アンプモニタ をタッチする。

GOT電源投入後，初めてサーボアンプモニタを起動したか？

いいえ

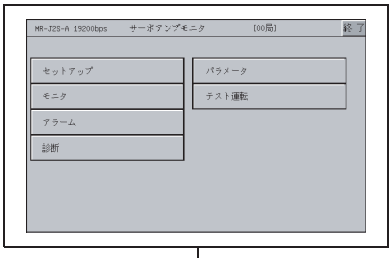
はい

セットアップ画面が表示。



・・・初回起動時のみ表示される。
通信ボーレート，サーボアンプ機種等を設定する。
GOTの電源をOFFすると，セットアップ画面の設定内容は初期状態に戻ります。

機能選択メニュー画面が表示。



使用するサーボアンプモニタ機能を選択する。

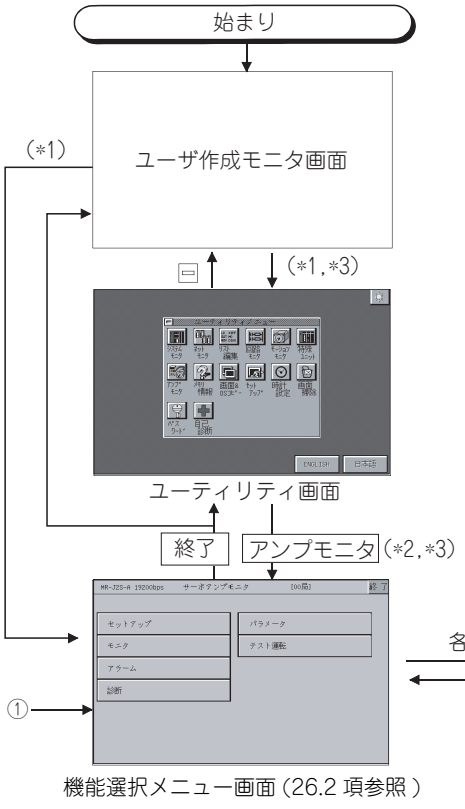
- セットアップ（26.3 節） ・・・モニタする機種、ボーレート、局番の有無を選択します。
- モニタ（26.4 節） ・・・サーボアンプのモニタデータをリアルタイムに表示します。
- アラーム（26.5 節） ・・・現在発生しているアラームの表示／リセットを行います。
- 診断（26.6 節） ・・・モニタしているサーボアンプ／サーボモータの各種診断を行います。
  ・外部入出力信号，入出力機能デバイスのON／OFF状態
  ・サーボアンプのS/W番号，サーボモータの形名，ID，エンコーダの分解能の表示
  ・絶対位置データ，ユニット構成の一覧表示
- パラメータ（26.7 節） ・・・パラメータデータの一覧を表示し、パラメータ設定の変更を行います。
- テスト運転（26.8 節） ・・・各種テスト運転（JOG運転，位置決め運転，モータなし運転，DO強制出力）を行います。

26章 各サーボアンプモニタ画面の操作

サーボアンプモニタ機能を使用するときの，各画面操作について説明します。
サーボアンプモニタ機能の表示画面は使用する GOT により多少異なりますが，本章では主に A975GOT の画面を使用して説明します。

26.1 画面遷移

ユーザ作成のモニタ画面を表示している状態から，サーボアンプモニタ機能の各画面操作を行うときの画面遷移を示します。



*1 GT Designer2でタッチスイッチ（拡張）機能を設定したキーにタッチして，サーボアンプモニタ機能を起動します。

*2 [アンプモニタ] をタッチしてサーボアンプモニタ機能を起動します。

*3 サーボアンプモニタ機能を [終了] により終了した場合，次回のサーボアンプモニタ機能の起動時は，前回終了した画面から表示されます。

各種機能をタッチ

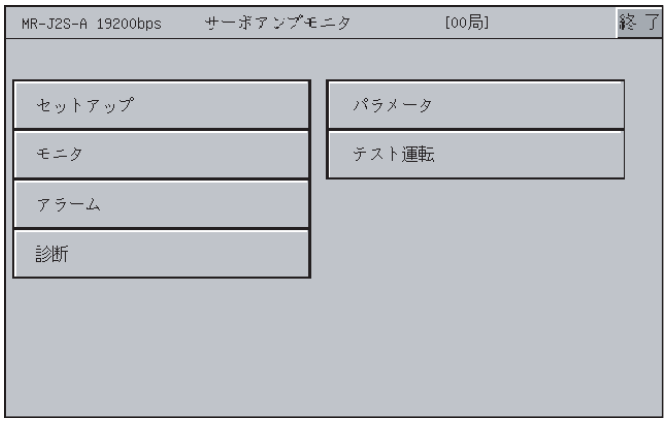
[メニュー]

- [セットアップ] ･･･(26.3 節参照)
- [モニタ] ･･･(26.4 節参照)
- [アラーム] ･･･(26.5 節参照)
- [診断] ･･･(26.6 節参照)
- [パラメータ] ･･･(26.7 節参照)
- [テスト運転] ･･･(26.8 節参照)

26.2 サーボアンプモニタ機能について

サーボアンプモニタ機能では，GOT が接続したサーボアンプに対して各種のモニタ機能・パラメータ変更・テスト運転などができます。
各機能は，機能選択メニュー画面から選択して表示させます。

（機能選択メニュー画面）



① セットアップ ..... サーボアンプ機能でモニタするサーボアンプの機種，通信ボーレート，局番設定（局番の有無，局番選択），IFU 局番を選択します。
（26.3 節参照）

② モニタ ..... サーボアンプの全モニタデータをリアルタイムに表示します。
（26.4 節参照）

③ アラーム..... 現在発生しているアラームの表示や，履歴表示を行います。
（26.5 節参照） また，アラームのリセット／履歴のクリアも行います。

④ 診断 ..... 接続しているサーボアンプに対して，下記のような各種診断を行います。
（26.6 節参照）

・DI/DO 表示
外部入出力信号の ON ／ OFF 状態を表示

・機能デバイス表示
入出力機能デバイスの ON ／ OFF 状態を表示

・アンプ情報表示
サーボアンプに接続されているサーボモータの形名，ID，エンコーダの分解能を表示します。

・ABS データ表示
絶対位置検出システムの絶対位置データを表示

・ユニット構成一覧表示
サーボアンプのユニット構成の一覧を表示

⑤ パラメータ..... パラメータデータの表示やパラメータ設定の変更を行います。
（26.7 節参照）

⑥ テスト運転..... 各種テスト運転（JOG 運転，位置決め運転，モータなし運転，DO 強制出力）を行います。
（26.8 節参照）

26.3 セットアップ

サーボアンプとの通信設定を行います。

Point

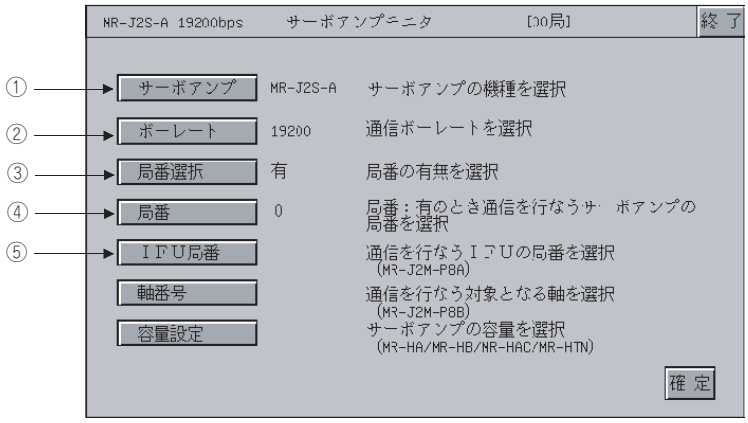
(1) セットアップ画面で設定する内容は，あらかじめサーボアンプ側でも同様の設定を行ってください。
本画面の設定内容とサーボアンプ側の設定内容が異なると，正常に通信できない場合があります。

(2) セットアップ画面の設定内容は，GOT の電源 OFF，またはリセットにより初期状態に戻ります。
GOT の電源投入後，再びセットアップ画面で設定を行ってください。

26.3.1 セットアップ画面

セットアップ画面の表示内容と，画面上に表示されるキー機能について説明します。

(1) 表示される内容について



※「軸番号」,「容量設定」は設定できません。

番号	項　目	表示内容
①	サーボアンプ	接続するサーボアンプ機種を表示する。
②	ボーレート	サーボアンプとの通信ボーレート（38400/19200/9600）を表示する。
③	局番選択	局番の有無を表示する。
④	局番	通信を行うサーボアンプの局番（00 ～ 31）を表示する。
⑤	IFU 局番	IFU（インタフェースユニット）のシリアル通信局番を表示する。

(2) キー機能について

セットアップ画面の操作で使用するキーの機能を示します。

キー	機　能
サーボアンプ	接続するサーボアンプ機種を設定する。
ボーレート	サーボアンプとの通信ボーレート（38400/19200/9600）を設定する。 ・サーボアンプ側の通信ボーレートのパラメータ設定は，38400 以下に設定してください。
局番選択 *1	局番の有無を設定する。
局番	通信を行うサーボアンプの局番（00 ～ 31）を設定する。
IFU局番 *2	IFU（インタフェースユニット）のシリアル通信局番を設定する。
確定	設定したセットアップ内容を確定し，機能選択メニュー画面に戻る。
終了	サーボアンプモニタ機能を終了する。

＊1：MR-J2S-□A, MR-J2S-□CP 接続時のみ有効となります。
＊2：MR-J2M A シリーズ接続時のみ有効となります。

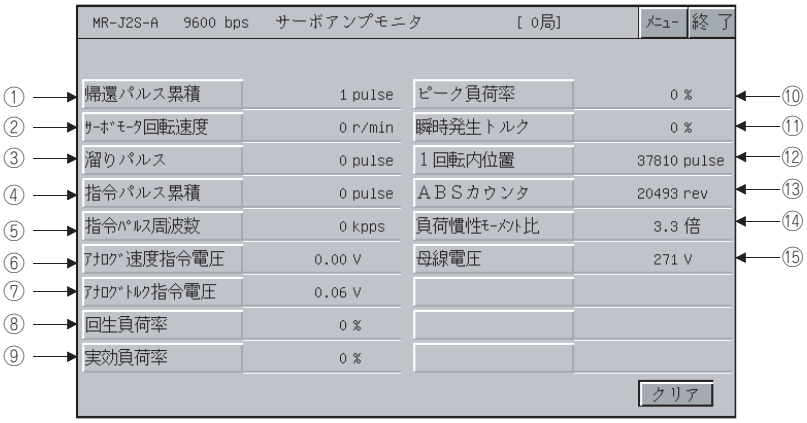
26.4 モニタ機能

サーボアンプの全モニタデータをリアルタイムに表示します。

26.4.1 モニタ画面

モニタ画面の表示内容と，画面上に表示されるキー機能について説明します。

(1) 表示される内容について



番号	項　　目	表示内容
①	帰還パルス累積	サーボモータ検出器からの帰還パルスをカウントして表示する。 ・設定値が 9999999 を超えると 0 から始まります。 ・逆転時には，－符号がつきます。
②	サーボモータ回転速度	サーボモータの回転速度を表示する。 ・0.1r/min 単位を四捨五入して表示する。 ・逆転時は－符号がつきます。
③	溜りパルス	偏差カウンタの溜りパルスを表示する。 ・逆転時には，－符号がつきます。
④	指令パルス累積	位置指令入力パルスをカウントして表示する。 ・電子ギア（CMX/CDV）を乗算する前の値を表示するため，帰還パルス累積の表示と一致しない場合があります。 ・逆転指令時には，－符号がつきます。
⑤	指令パルス周波数	位置指令入力パルスの周波数を表示する。 ・電子ギア（CMX/CDV）を乗算する前の値を表示します。 ・逆転指令時には，－符号がつきます。
⑥	アナログ速度指令 電圧（速度制御モード時）＊1	アナログ速度指令（VC）の入力電圧を表示します。
	アナログ速度制限 電圧（トルク制御モード時）＊1	アナログ速度制限（VLA）の入力電圧を表示します。
⑦	アナログトルク指令 電圧（位置・速度制御モード時）＊1	アナログトルク制限（TLA）の電圧を表示します。
	アナログトルク制限 電圧（トルク制御モード時）＊1	アナログトルク制限（TC）の電圧を表示します。

＊1：MR-J2S-□A 接続時のみ表示されます。

番号	項　　目	表示内容
⑧	回生負荷率	許容回生電力に対する回生電力の割合を％で表示する。 ・許容回生電力は回生オプションの有無により異なります。 回生オプションに応じてパラメータ No.0 を正しく設定してください。(80% 以下を目安としてください。)
⑨	実効負荷率	連続実効負荷トルクを表示する。 ・定格トルクを 100%として実効値を表示します。
⑩	ピーク負荷率	最大発生トルクを表示する。 ・定格トルクを 100%とし，過去 15 秒間の最高値を表示します。
⑪	瞬時発生トルク	瞬時発生トルクを表示する。 ・定格トルクを 100%とし，発生しているトルクの値をリアルタイムに表示します。
⑫	1 回転内位置	サーボモータにおける 1 回転内位置を検出器のパルス単位で表示する。 ・最大パルス数をこえると 0 に戻ります。
⑬	ABS カウンタ	絶対位置検出システムで原点（0）からの移動量を絶対位置検出器の多回転カウンタの値で表示する。
⑭	負荷慣性モーメント比	サーボモータの慣性モーメントに対するサーボモータ軸換算負荷慣性モーメント比の推定値を表示します。
⑮	母線電圧	主回路コンバータの電圧（P - N 間）を表示します。

(2)　キー機能について

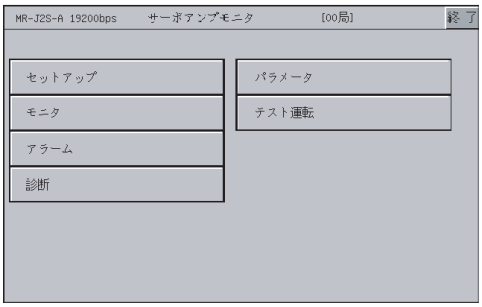
モニタ画面の操作で使用するキーの機能を示します。

キー	機　　能
クリア	「帰還パルス累積」,「指令パルス累積」の値を 0 にクリアする。
ﾒﾆｭｰ	機能選択メニュー画面に戻る。
終了	サーボアンプモニタ機能を終了する。
▲ ▼	モニタ項目を 6 項目単位でスクロール表示させる。 (A95*GOT/A956WGOT 使用時のみ表示されます。)

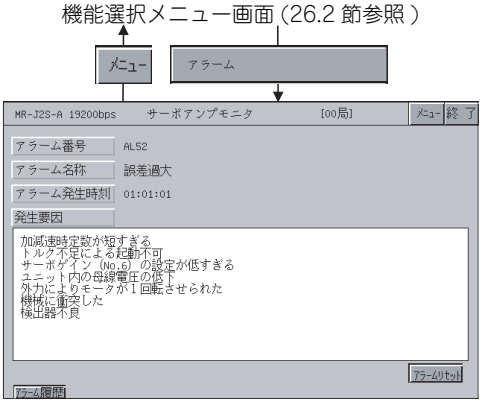
26.5 アラーム機能

下記アラーム内容を表示します。
・アラーム表示：現在発生しているアラームを表示します。
（26.5.1 項参照）
・アラーム履歴：発生したアラーム履歴の表示を行います。
（26.5.2 項参照）

機能選択メニュー画面で，アラームを選択後の画面遷移を下記に示します。



機能選択メニュー画面（26.2 節参照 ）



アラーム表示画面



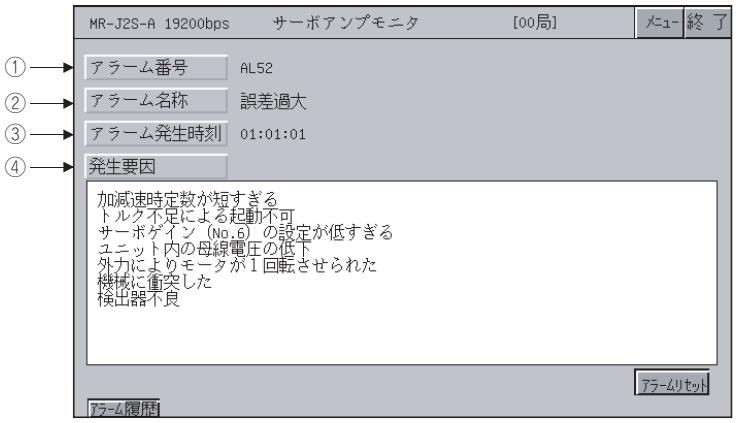
アラーム履歴画面

Point GOT にアラーム表示画面データがダウンロードされていないと，「モニタデータがありません」と表示され，以降の画面は表示されません。

26.5.1 アラーム表示画面

アラーム表示画面の表示内容と，画面上に表示されるキー機能について説明します。

(1) 表示される内容について



番号	項　目	表示内容
①	アラーム番号	発生したアラームの番号を表示する。
②	アラーム名称	発生したアラームの名称を表示する。
③	アラーム発生時刻	アラームが発生した日付，時間を表示する。 ・サーボアラーム発生時間は，GOT が接続されているシーケンサ CPU の時計データを基準として表示します。 ・サーボアンプを GOT につなぐ前にサーボアンプに異常があった場合，GOT との接続時にアラームを表示します。 その場合，GOT とサーボアンプの接続された時刻をアラーム発生時刻として表示します。
④	発生要因	現在発生しているアラームの要因を表示する。

(2) キー機能について

アラーム表示画面の操作で使用するキーの機能を示します。

キー	機　能
アラームリセット	アラームをリセットする。 ・リセットしたアラームは，最新のアラームとして保存されます。
発生要因	アラームの要因をウィンドウ画面で表示する。 （A95*GOT/A956WGOT 使用時のみ表示されます。）
アラーム履歴	アラーム履歴画面（26.5.2 項参照）に遷移する。
メニュー	機能選択メニュー画面に戻る。
終 了	サーボアンプモニタ機能を終了する。

26.5.2 アラーム履歴画面

アラーム履歴画面の表示内容と，画面上に表示されるキー機能について説明します。

(1) 表示される内容について



番号	項　　目	表示内容
①	履歴番号	アラームの履歴を最新アラームから順に表示する。 ・履歴番号が小さいものほど新しいアラームになります。(0 が最新) ・表示されるアラームの履歴数は，6 個になります。
②	アラーム番号	発生したアラームの番号を表示する。
③	アラーム名称	発生したアラームの名称を表示する。 (A95*GOT/A956WGOT 使用時は表示されません。)
④	発生時間（HR）	出荷時を“0”として，アラーム発生までのサーボアンプの通電時間を表示する。
⑤	詳細情報 (h)	アラーム詳細情報のコードを表示します。

(2) キー機能について

アラーム履歴画面の操作で使用するキーの機能を示します。

キー	機　　能
履歴ｸﾘｱ	サーボアンプに記憶されているアラーム履歴をクリアする。
ｱﾗｰﾑ表示	アラーム表示画面（26.5.1 項参照）に遷移する。
ﾒﾆｭｰ	機能選択メニュー画面に戻る。
終 了	サーボアンプモニタ機能を終了する。

26.6 診断機能

接続しているサーボアンプに対しての下記のような各種診断を行います。

・DI/DO 表示　　：外部入出力信号の ON ／ OFF 状態を表示します。
（26.6.1 項参照）

・機能デバイス表示　　：入出力機能デバイスの ON ／ OFF 状態を表示します。
（26.6.2 項参照）

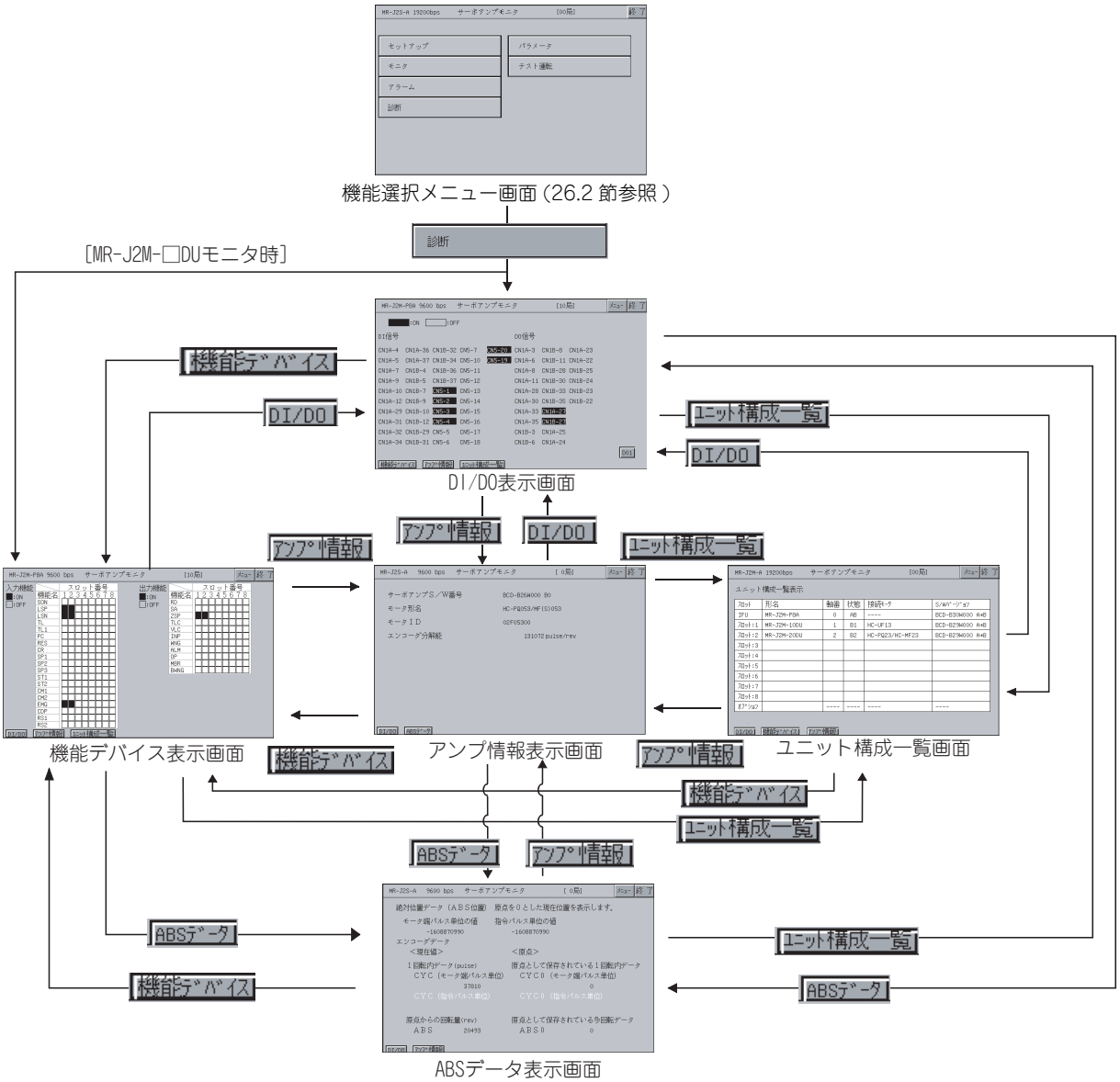
・アンプ情報表示　　：サーボアンプに接続されているサーボモータの形名，ID，エンコーダの分解能を表示します。
（26.6.3 項参照）

・ABS データ表示　　：絶対位置検出システムの絶対位置データを表示します。（26.6.4 項参照）

・ユニット構成一覧表示　　：サーボアンプのユニット構成の一覧を表示します。（26.6.5 項参照）

(1) 画面遷移

機能選択メニュー画面で診断機能選択後の画面遷移を下記に示します。
接続しているサーボアンプの機種により一部表示できない画面があります。
表示できない画面については，(2) を参照してください。



Point

GOT に DI/DO 表示画面データ，または機能デバイス表示画面 (MR-J2M-□DU モニタ時のみ) データがダウンロードされていないと「モニタデータがありません。」と表示され , 以降の画面は表示されません。

(2) 表示画面

表示できる画面をサーボアンプの機種ごとに下記に示します。

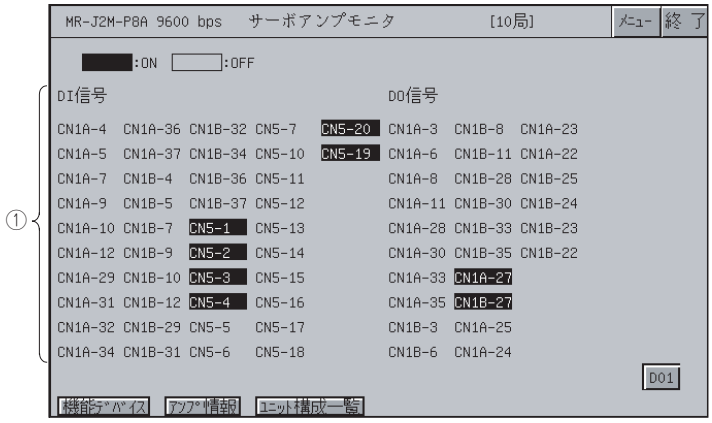
項目	MR-J2S-□A	MR-J2S-□CP	MR-J2M A シリーズ	
			MR-J2M-P8A	MR-J2M-□DU
DI/DO 表示画面	○	○	○	−
機能デバイス表示画面	−	○	○	○
アンプ情報表示画面	○	○	−	○
ABS データ表示画面	○	○	−	○
ユニット構成一覧表示画面	−	−	○	○

○ : 画面あり　− : 画面なし

26.6.1 DI/DO 表示画面

DI/DO 表示画面の表示内容と，画面上に表示されるキー機能について説明します。

(1) 表示される内容について



番号	項　目	表示内容
①	DI/DO 信号	DI/DO 信号の ON（点灯）／ OFF（消灯）を表示する。

(2) キー機能について

DI/DO 表示画面の操作で使用するキーの機能を示します。

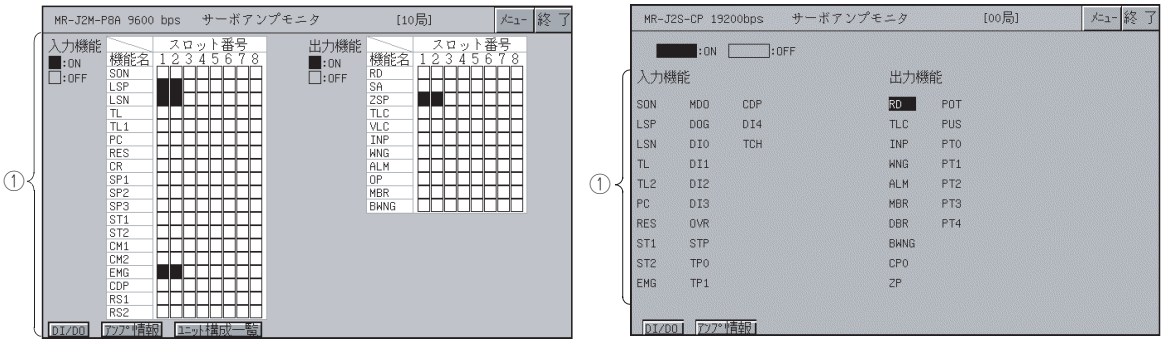
キー	機　能
DO1 ＊1	拡張 IO ユニットの DI/DO 信号を表示する。
機能ﾃﾞﾊﾞｲｽ	機能デバイス画面（26.6.2 項参照）に遷移する。
ｱﾝﾌﾟ情報	アンプ情報画面（26.6.3 項参照）に遷移する。
ﾕﾆｯﾄ構成一覧	ユニット構成一覧画面（26.6.5 項参照）に遷移する。
ABSﾃﾞｰﾀ	ABS データ画面（26.6.4 項参照）に遷移する。
ﾒﾆｭｰ	機能選択メニュー画面に戻る。
終 了	サーボアンプモニタ機能を終了する。

＊1：MR-J2M- A シリーズ接続時のみ表示されます。

26.6.2 機能デバイス表示画面

機能デバイス表示画面の表示内容と，画面上に表示されるキー機能について説明します。

(1) 表示される内容について



[MR-J2S-□C P モニタ時]

番号	項　目	表示内容
①	入力／出力機能	入出力信号ごとの ON（■）/OFF（□）状態を表示する。

(2) キー機能について

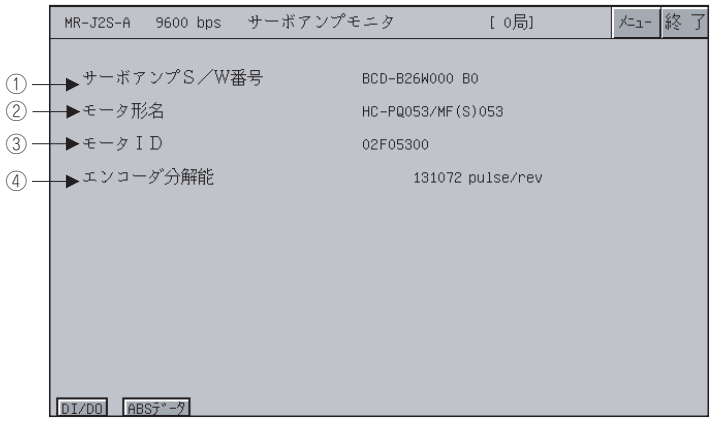
機能デバイス表示画面の操作で使用するキーの機能を示します。

キー	機　能
入力機能	入力信号／出力信号の表示を切り換える。 (A95*GOT/A956WGOT 使用時のみ表示されます。)
DI/DO	DI/DO 表示画面（26.6.1 項参照）に遷移する。
ABSﾃﾞｰﾀ	ABS データ画面（26.6.4 項参照）に遷移する。
ｱﾝﾌﾟ情報	アンプ情報画面（26.6.3 項参照）に遷移する。
ユニット構成一覧	ユニット構成一覧画面（26.6.5 項参照）に遷移する。
ﾒﾆｭｰ	機能選択メニュー画面に戻る。
終了	サーボアンプモニタ機能を終了する。
▲ ▼	入出力信号項目を 10 項目単位でスクロール表示させる。 (A95*GOT/A956WGOT 使用時のみ表示されます。)

26.6.3 アンプ情報表示画面

アンプ情報表示画面の表示内容と，画面上に表示されるキー機能について説明します。

(1) 表示される内容について



番号	項　　目	表示内容
①	サーボアンプ S/W 番号	GOT に接続したサーボアンプのソフトウェア番号を表示する。
②	モータ形名 * 1	サーボアンプに接続されているサーボモータの形名を表示する。
③	モータ ID * 1	サーボアンプに接続されているサーボモータの ID を表示する。
④	エンコーダ分解能 * 1	サーボアンプに接続されているサーボモータのエンコーダ分解能を表示する。

＊ 1 MR-J2M-P8A モニタ時は表示されません。

(2) キー機能について

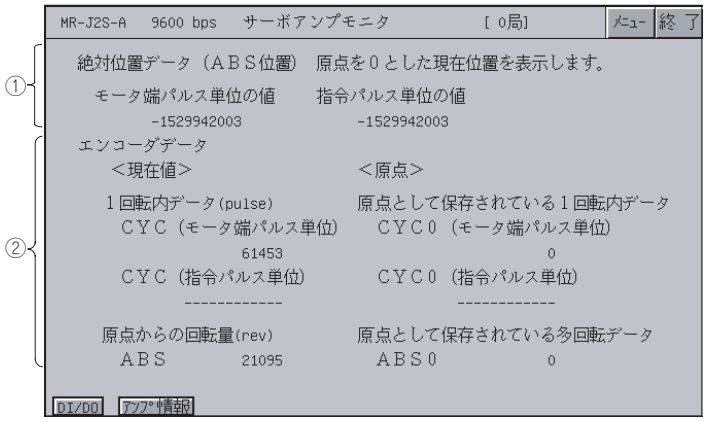
アンプ情報表示画面の操作で使用するキーの機能を示します。

キー	機　　能
DI/DO	DI/DO 表示画面（26.6.1 項参照）に遷移する。
機能ﾃﾞﾊﾞｲｽ	機能デバイス画面（26.6.2 項参照）に遷移する。
ABSﾃﾞｰﾀ	ABS データ画面（26.6.4 項参照）に遷移する。
ユニット構成一覧	ユニット構成一覧画面（26.6.5 項参照）に遷移する。
ﾒﾆｭｰ	機能選択メニュー画面に戻る。
終 了	サーボアンプモニタ機能を終了する。

26.6.4 ABS データ表示画面

ABS データ表示画面の表示内容と，画面上に表示されるキー機能について説明します。

(1) 表示される内容について



番号	項　　目	表示内容
①	絶対位置データ	絶対位置検出システムにおける絶対位置データを下記項目で表示します。 ・モータ端パルス単位の値 ・指令パルス単位の値
②	エンコーダデータ	エンコーダデータを下記項目で表示します。 ＜現在値＞ ・1 回転内データ ・CYC（モータ端パルス単位） ・CYC（指令パルス単位） ・原点からの回転量 ABS ＜原点＞ ・原点として保存されている 1 回転内データ ・CYC0（モータ端パルス単位） ・CYC0（指令パルス単位） ・原点として保存されている多回転データ ABS0

(2) キー機能について

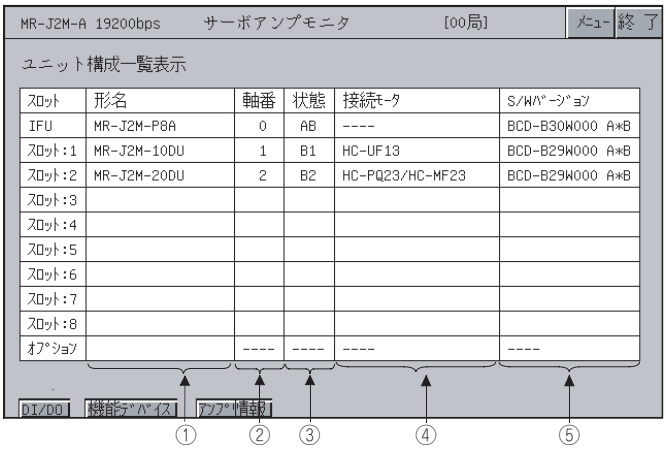
ABS データ表示画面の操作で使用するキーの機能を示します。

キー	機　　能
現在値 / 原点	エンコーダデータの現在値／原点情報の表示を切り換える。 （A95*GOT/A956WGOT 使用時のみ表示されます。）
DI/DO	DI/DO 表示画面（26.6.1 項参照）に遷移する。
機能ﾃﾞﾊﾞｲｽ	機能デバイス画面（26.6.2 項参照）に遷移する。
ユニット構成一覧	ユニット構成一覧画面（26.6.5 項参照）に遷移する。
ｱﾝﾌﾟ情報	アンプ情報画面（26.6.3 項参照）に遷移する。
ﾒﾆｭｰ	機能選択メニュー画面に戻る。
終 了	サーボアンプモニタ機能を終了する。

26.6.5 ユニット構成一覧表示面

ユニット構成一覧表示画面の表示内容と，画面上に表示されるキー機能について説明します。

(1) 表示される内容について



番号	項　目	表示内容
①	形名	各スロットごとに装着されているドライブユニット（DRU），インタフェースユニット（IFU），オプションユニットの形名を表示する。
②	軸番	ドライブユニット（DRU），インタフェースユニット（IFU）の軸番号を表示する。
③	状態	ドライブユニット（DRU），インタフェースユニット（IFU）の状態表示，アラーム・警告番号を表示する。
④	接続モータ	ドライブユニット（DRU）に接続されたモータ形名を表示する。
⑤	S/W バージョン	ドライブユニット（DRU），インタフェースユニット（IFU）のソフトウェア番号を表示する。

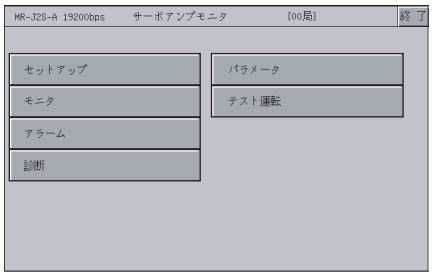
(2) キー機能について

ユニット構成一覧画面の操作で使用するキーの機能を示します。

キー	機　能
DI/DO	DI/DO 表示画面（26.6.1 項参照）に遷移する。
ABSﾃﾞｰﾀ	ABS データ画面（26.6.4 項参照）に遷移する。
ｱﾝﾌﾟ情報	アンプ情報画面（26.6.3 項参照）に遷移する。
機能ﾃﾞﾊﾞｲｽ	機能デバイス画面（26.6.2 項参照）に遷移する。
ﾒﾆｭｰ	機能選択メニュー画面に戻る。
終 了	サーボアンプモニタ機能を終了する。
▲ ▼	一覧表示を 3 項目単位でスクロール表示させる。 (A95*GOT/A956WGOT 使用時のみ表示されます。)

26.7 パラメータ設定

パラメータ設定機能では，接続しているサーボアンプに対して，サーボパラメータ設定（基本パラメータ／拡張パラメータ 1,2）ができます。
GT Designer2 でパスワードを設定すると，サーボアンプモニタのパラメータ設定画面にアクセスしようとすると，パスワード入力画面を表示します。
機能選択メニュー画面で，パラメータ を選択後の画面遷移を下記に示します。



機能選選メニュー画面（26.2 節参照）

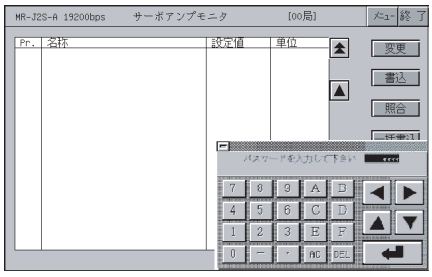
*1

サーボアンプパラメータ変更用のパスワードが登録されているか？

いいえ

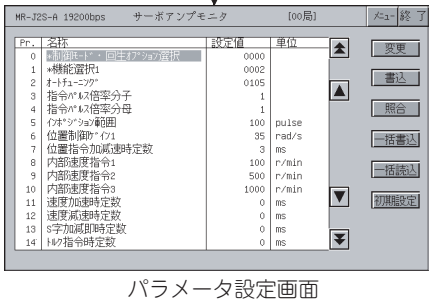
はい

*1 サーボパラメータ変更用のパスワードは，GT Designer2で設定します。
パスワード設定の詳細については，GT Designer2Version2リファレンスマニュアルを参照してください。



パスワード入力画面

パラメータ変更用のパスワードを入力。 ・・・26.7.1 節参照



パラメータ設定画面

26.7.1 パスワード入力の操作手順

サーボパラメータ変更用パスワードの入力操作手順を下記に示します。



(1) 機能

・パスワードが一致した場合は，パラメータ設定画面を表示します。

・パスワードが不一致の場合は，エラーメッセージを表示します。

▭をタッチすると機能選択メニュー画面に戻ります。

・パスワード設定で使用できる文字は，数字，Ａ～Ｆのみです。

(2) 操作

(a) パスワードを入力する操作

0～9, A～F) をタッチして，パスワードを入力します。

入力後, ↵をタッチして，パスワードを確定します。

入力した文字を修正するときは, DEL をタッチして修正する文字を削除して，新しい文字を再入力します。

(b) パスワード入力を中断する操作

▭をタッチすると，モニタ画面に戻ります。

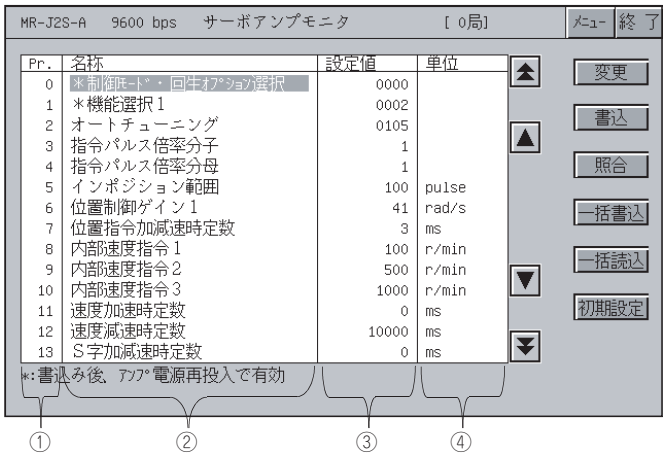
26.7.2 パラメータ設定画面

パラメータ設定画面の表示内容と，画面上に表示されるキー機能について説明します。

Point

名称の前に＊印のあるパラメータは，設定後いったん電源を OFF し再投入すると有効になります。

(1) 表示画面



番号	項　　目	表示内容
①	Pr. ＊1	パラメータ番号を表示する。
②	名称	パラメータ名称を表示する。
③	設定値＊1	パラメータの現在の設定値を表示する。
④	単位＊1	各パラメータの設定単位を表示する。

＊1：A956W/A95＊GOT 使用時は，選択されたパラメータの情報のみが画面下部に表示されます。

(2) キー機能について

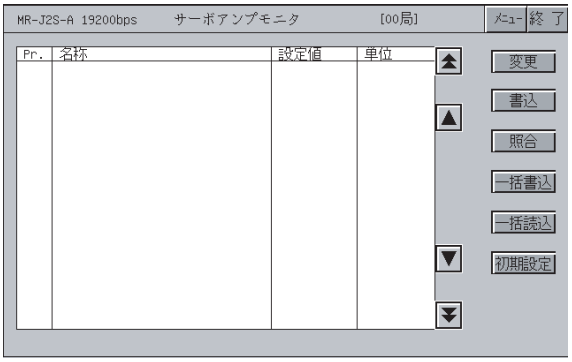
パラメータ設定画面の操作で使用するキーの機能を示します。

キー	機　　能
▲ ▼	サーボパラメータ設定項目を選択する。
⏫ ⏬	パラメータ項目を 1 画面単位でスクロール表示させる。
変更	GOT 内部メモリに読み込まれたサーボパラメータ設定を変更する。
書込	選択された項目のサーボパラメータ設定をサーボアンプに書き込む。
照合	現在 GOT で表示しているパラメータ値とサーボアンプのパラメータ値を全て照合する。
一括書込	現在 GOT で表示している全てのパラメータ値をサーボアンプのパラメータに書き込む。
一括読込	サーボアンプから全てのパラメータ値を GOT に読み込み表示する。
初期設定	全てのパラメータの値を初期値に戻す。
ﾊﾟﾗﾒｰﾀDRU / ﾊﾟﾗﾒｰﾀIFU ＊1	タッチするごとに，ドライブユニット（DRU），インタフェースユニット（IFU）のパラメータ表示を切り換える。
ｽﾛｯﾄ:1 ＊1	ドライブユニット（DRU）のスロット番号を選択する。
Pr. 5	指定したパラメータ番号を，パラメーター覧画面上で表示する。 （A95*GOT/A956WGOT 使用時のみ表示されます。）
ﾒﾆｭｰ	機能選択メニュー画面に戻る。
終 了	サーボアンプモニタ機能を終了する。

＊1：MR-J2M A シリーズ接続時のみ表示されます。

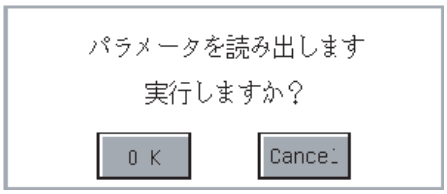
26.7.3 パラメータ設定操作

以下に，パラメータ設定を行うときの操作について，“オートチューニング”項目の設定を変更した場合の例を説明します。



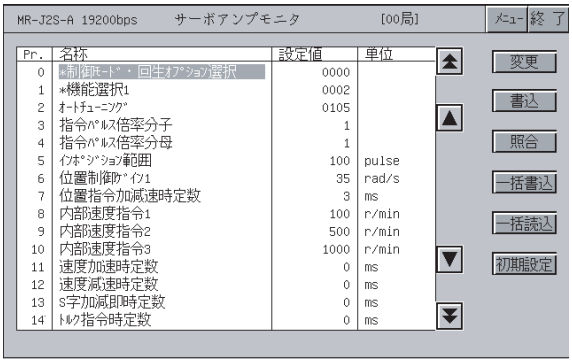
↓

① 一括読込キーをタッチします。
サーボアンプ内部のパラメータ値を読み込み画面に表示されます。



↓

② パラメータ読み込み確認用のウィンドウが表示されます。
OK キーをタッチすると，サーボアンプ内部のパラメータ値を GOT に読み出します。



↓

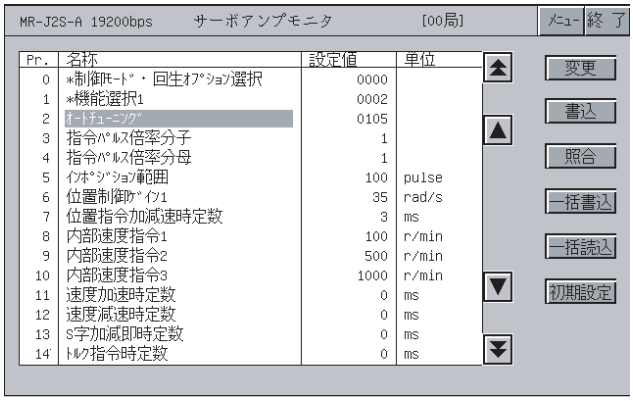
③ 読み込まれたサーボアンプ内部のパラメータ値が画面に表示されます。

書込み／読出し不可のパラメータについては，パラメータ設定画面では，表示されません。

（次ページへ）

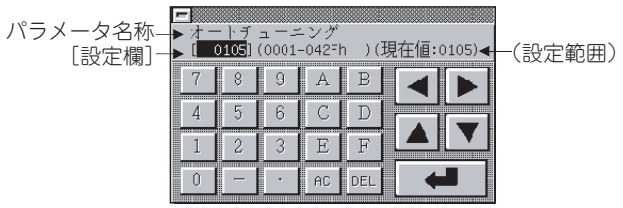
（前ページより）

↓



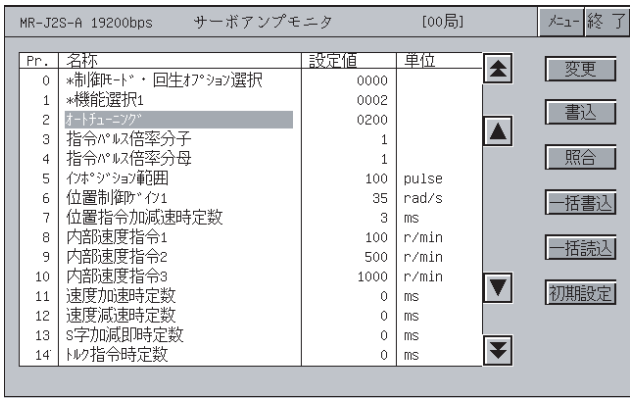
④ パラメータ設定を行う項目を▲，▼キーより選択し，変更キーをタッチします。

↓



⑤ パラメータ設定ウィンドウが表示されますので，英数字により，パラメータ設定内容を入力して，↵をタッチして，設定を確定します。
確定しない場合は，▭をタッチしてパラメータ設定ウィンドウを閉じます。

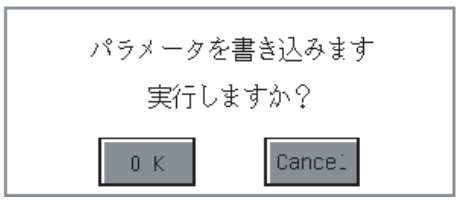
↓



⑥ パラメータ設定画面上でパラメータ内容が変更します。

変更したパラメータ項目を選択し，書込キーをタッチします。
また，設定を変更したパラメータ項目が複数ある場合，一括書込キーをタッチすると，設定変更したパラメータ項目が全て書き込まれます。

↓



⑦ 確認用のウィンドウが表示されます。
OKキーをタッチすると，パラメータ設定をサーボアンプに書き込みます。
パラメータ設定を書き込まない場合は，Cancelキーをタッチします。

これで，パラメータ設定の書き込み操作は完了です。

Point

(1) パラメータ設定の変更内容は，サーボアンプの E2PROM に書き込まれます。
よって，アンプ電源を OFF にしても書き込まれたパラメータ内容は保持されます。

(2) サーボアンプ側で下記のパラメータ設定を変更した場合，GOT のセットアップ画面 (26.3 節) でも同様に設定を変更してください。
セットアップ画面での設定内容とサーボアンプ側の設定内容が一致していないとサーボアンプと正常に交信できません。
・ シリアル通信ボーレート選択
・ プロトコルの局番選択
・ 局番設定

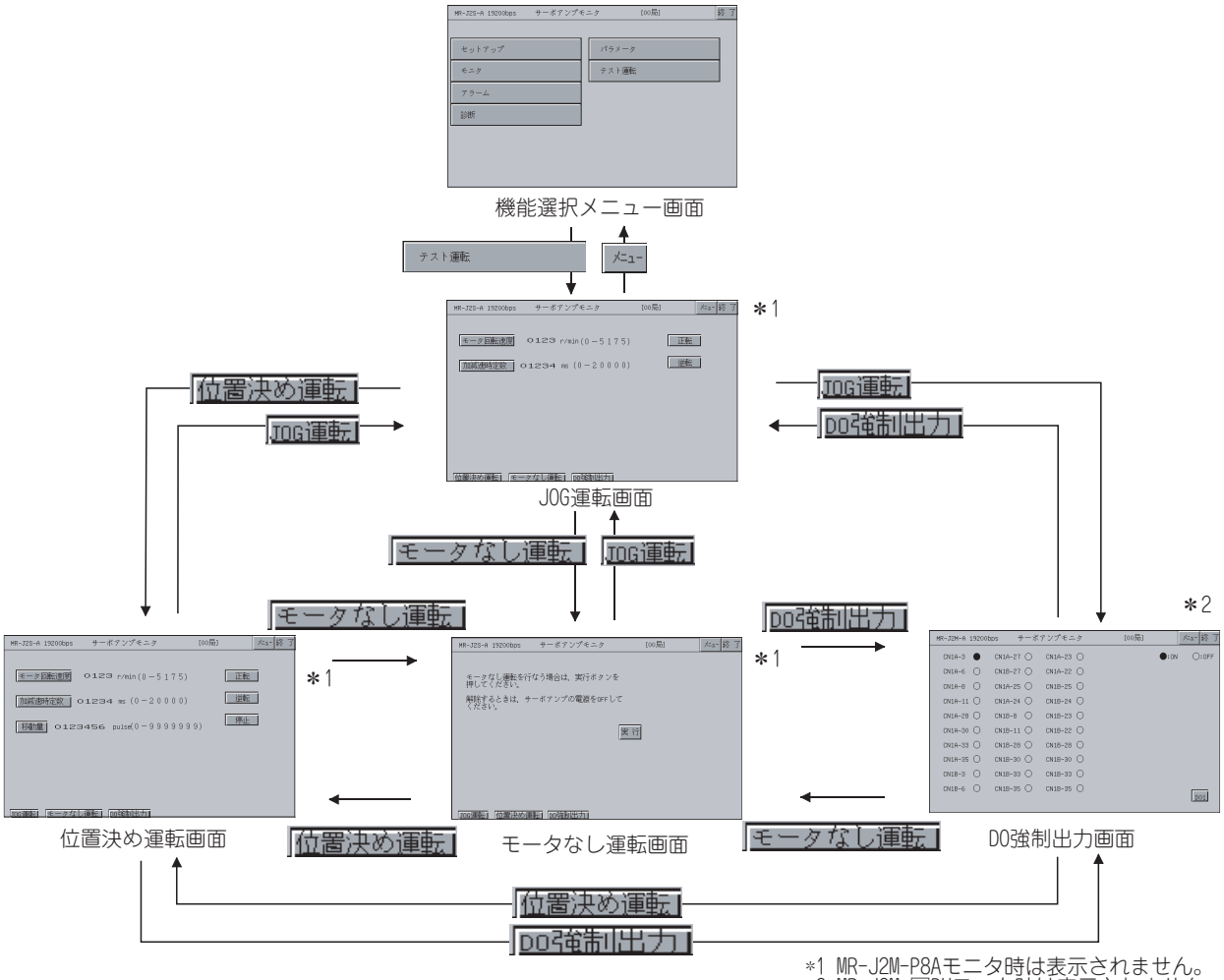
26.8 テスト運転

接続しているサーボアンプに対して下記のテスト運転を行います。

・JOG 運転　　：正転または逆転キーをタッチしている間サーボモータが回転します。(26.8.3 項参照)
・位置決め運転　：正転または逆転キーをタッチすると始動し，設定移動量分サーボ（26.8.4 項参照）
　モータが回転します。
・モータなし運転：サーボモータを接続していなくても，サーボアンプ内部でサーボ（26.8.5 項参照）
　モータの動きをシミュレーションします。
・DO 強制出力　：サーボアンプの出力信号の出力条件にかかわらず，各出力信号を強（26.8.6 項参照）制
　的に ON ／ OFF します。

(1) 画面遷移

機能選択メニュー画面で テスト運転 選択後の画面遷移を下記に示します。
接続しているサーボアンプの機種により一部表示できない画面があります。
表示できない画面については，(2) を参照してください。



＊1 MR-J2M-P8Aモニタ時は表示されません。
＊2 MR-J2M-□DUモニタ時は表示されません。

Point GOT に JOG 運転画面データがダウンロードされていないと，「モニタにデータがありません。」と表示され，以降の画面は表示されません。

(2) 表示画面

表示できる画面をサーボアンプの機種ごとに下記に示します。

項目	MR-J2S-□A	MR-J2S-□CP	MR-J2M A シリーズ	
			MR-J2M-P8A	MR-J2M-□DU
JOG 運転	○	○	−	○
位置決め運転	○	○	−	○
モーターなし運転	○	○	−	○
DO 強制出力画面	○	○	○	−

○ : 画面あり　− : 画面なし

26.8.1 テスト運転における注意事項

サーボアンプモニタ機能のテスト運転使用時の注意事項について説明します。

危険

- 濡れた手でサーボアンプのスイッチを操作しないでください。感電の原因になります。
- サーボアンプの表面カバーを外しての運転は行わないでください。高電圧の端子および充電部が露出していますので感電の原因になります。
- 通電中および運転中はサーボアンプの表面カバーをあけないでください。感電の原因になります。

注意

- テスト運転を行うときは，必ず各サーボアンプのマニュアルでテスト運転における注意点をお読みください。
- 運転前にサーボアンプの各パラメータの確認を行ってください。機械によっては予測しない動きとなる場合があります。
- 通電中や電源遮断後のしばらくのあいだは，サーボアンプの放熱器・回生抵抗器・サーボモータなどが高温になる場合がありますので触れたり，部品（ケーブルなど）を近づけないでください。火傷や部品損傷の原因になります。

(1) サーボオン

JOG 運転・位置決め運転のテスト運転では，サーボアンプのデジタル入力信号の SON 信号の ON/OFF に関係なく，サーボアンプ内部で自動 ON にして運転を行います。
また，テスト運転の画面を終了するまで，外部からの指令パルスや入力信号（非常停止は除く）を受けつけません。
サーボアンプモニタ機能の JOG 運転画面，位置決め運転画面の 正転 , 逆転 キーをタッチすることにより，SON が自動 ON します。

(2) 停止

Point 緊急停止する場合は，サーボアンプの非常停止信号を OFF または，入力電源を遮断してください。

(a) サーボアンプモニタ画面でテスト運転を停止する場合の操作は次のとおりです。
- JOG 運転：正転, 逆転 キーを離します。
- 位置決め運転：停止キーをタッチします。

(b) テスト運転中に次の状態になるとサーボモータが停止します。
- 通信ケーブルが外れた時。
- 他のサーボアンプモニタ画面への移行や , サーボアンプモニタ機能を終了させた時。
  ただし，モニタなし運転時は，サーボアンプの電源を OFF にしないとテストモードは解除されません。

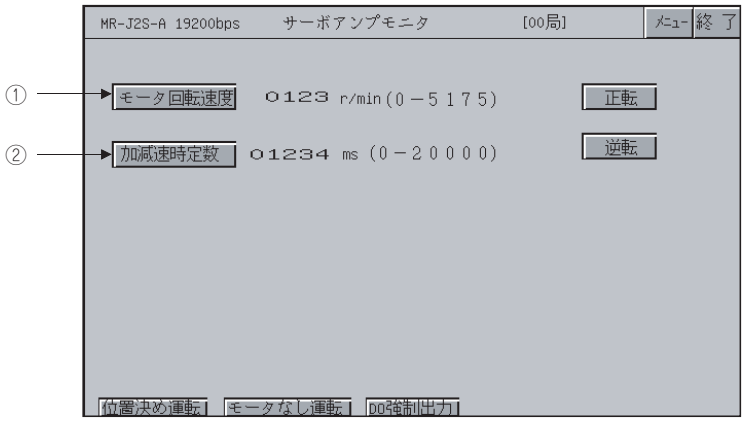
26.8.2 テスト運転を行う前の準備

テスト運転を行う場合，接続しているサーボアンプ本体でテスト運転用の設定を行う必要があります。
テスト運転を行うためのサーボアンプ本体側の設定の詳細については，接続しているサーボアンプのマニュアルを参照してください。

26.8.3 JOG 運転画面

JOG 運転画面の表示内容と，画面上に表示されるキー機能について説明します。

(1) 表示される内容について



番号	項　　目	表示内容
①	モータ回転速度	設定されているサーボモータの回転速度を表示する。
②	加速度時定数	設定されている加速度時定数を表示する。

(2) 運転操作

・運転開始

正転／逆転キーをタッチします。

・運転停止

正転／逆転キーを離します。

(3) キー機能について

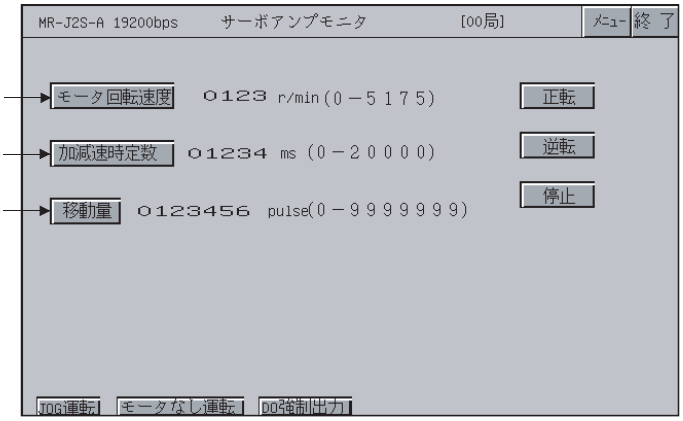
JOG 運転画面の操作で使用するキーの機能を示します。

キー	機　　能
正転	タッチしている間，サーボモータを正転（CCW）方向に回転させる。
逆転	タッチしている間，サーボモータを逆転（CW）方向に回転させる。
モータ回転速度	サーボモータの回転速度を変更する。
加減速時定数	加減速時定数を変更する。
位置決め運転	位置決め運転画面（26.4.1 項参照）に遷移する。
モータなし運転	モータなし運転画面（26.4.1 項参照）に遷移する。
D0強制出力	D0 強制出力画面（26.4.1 項参照）に遷移する。
ﾒﾆｭｰ	機能選択メニュー画面に戻る。
終 了	サーボアンプモニタ機能を終了する。

26.8.4 位置決め運転画面

位置決め運転画面の表示内容と，画面上に表示されるキー機能について説明します。

(1) 表示される内容について



番号	項　目	表示内容
①	モータ回転速度	設定されているサーボモータの回転速度を表示する。
②	加速度時定数	設定されている加速度時定数を表示する。
③	移動量	設定されている移動量を表示する。

(2) 運転操作

・運転開始

正転 ／ 逆転 キーをタッチします。

また，一時停止した運転を再開する場合，正転中は 正転 ボタン，逆転中は 逆転 ボタンを再びタッチして回転を再開してください。

・運転停止

設定された移動量を移動すると停止します。

また，停止 キーをタッチすると運転を一時停止します。

一時停止後，再び 停止 キーをタッチすると，残りの移動量を消去します。

(3) キー機能について

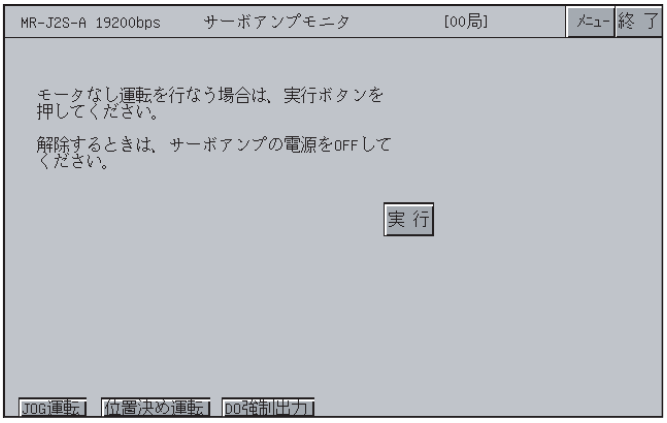
位置決め運転画面の操作で使用するキーの機能を示します。

キー	機　能
正転	サーボモータを正転（CCW）方向に回転させる。
逆転	サーボモータを逆転（CW）方向に回転させる。
停止	サーボモータの回転を一時停止する。
モータ回転速度	サーボモータの回転速度を変更する。
加減速時定数	加減速時定数を変更する。
移動量	移動量を変更する。
JOG運転	JOG 運転画面（26.8.3 項参照）に遷移する。
モータなし運転	モータなし運転画面（26.8.5 項参照）に遷移する。
DO強制出力	D0 強制出力画面（26.8.6 項参照）に遷移する。
ﾒﾆｭｰ	機能選択メニュー画面に戻る。
終 了	サーボアンプモニタ機能を終了する。

26.8.5 モータなし運転画面

モータなし運転画面の表示内容と，画面上に表示されるキー機能について説明します。

(1) 表示される内容について



(2) 運転操作

・運転開始

実行キーをタッチします。

・運転停止

モータなし運転を解除するには，サーボアンプの電源を OFF します。

(3) キー機能について

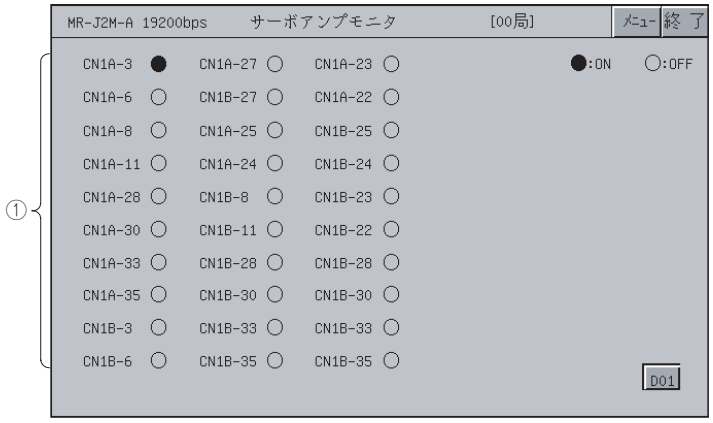
モータなし運転画面の操作で使用するキーの機能を示します。

キー	機　能
実 行	モータなし運転を実行する。
JOG運転	JOG 運転画面（26.8.3 項参照）に遷移する。
位置決め運転	位置決め運転画面（26.8.4 項参照）に遷移する。
DO強制出力	DO 強制出力画面（26.8.6 項参照）に遷移する。
ﾒﾆｭｰ	機能選択メニュー画面に戻る。
終 了	サーボアンプモニタ機能を終了する。

26.8.6 DO 強制出力画面

DO 強制出力画面の表示内容と，画面上に表示されるキー機能について説明します。

(1) 表示される内容について



番号	項　　目	表示内容
①	出力信号の ON／OFF 状態	サーボアンプの各出力信号の ON（●）／ OFF（○）を表示する。 ・本画面遷移後は，全ての外部入出力信号を OFF します。

(2) 運転操作

各出力信号の名称をタッチすると，各信号の ON/OFF 状態を反転して，サーボアンプに書き込みます。

(3) キー機能について

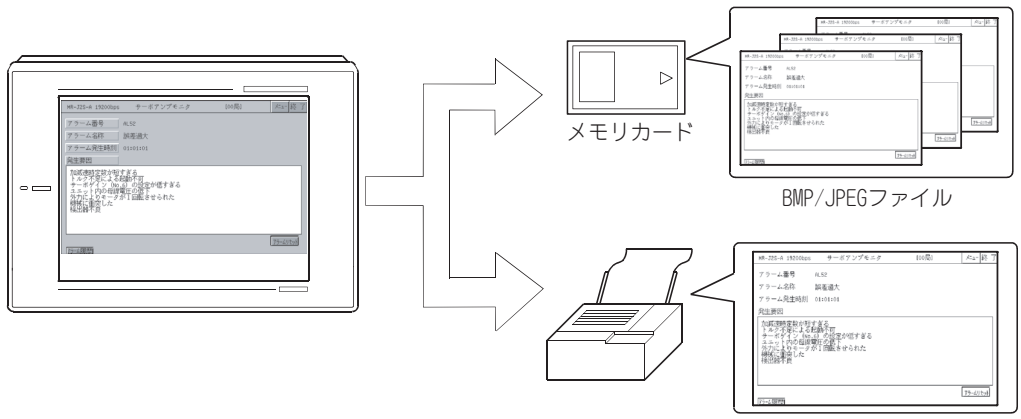
DO 強制出力画面の操作で使用するキーの機能を示します。

キー	機　　能
CN1A-3 （出力信号の信号名称）	各出力信号の信号名称をタッチすることにより，それぞれの信号状態 ON（●：ON，○：OFF）を SET/RESET する。 ・現在の出力信号が ON であれば OFF(RESET) されます。 OFF であれば ON(SET) されます。
DO1 ＊1	拡張 IO ユニットの 外部出力信号を表示する。
JOG運転	JOG 運転画面（26.8.3 項参照）に遷移する。
位置決め運転	位置決め運転画面（26.8.4 項参照）に遷移する。
モータなし運転	モータなし運転画面（26.8.5 項参照）に遷移する。
ﾒﾆｭｰ	機能選択メニュー画面に戻る。
終 了	サーボアンプモニタ機能を終了する。

＊ 1：MR-J2M-P8A 接続時のみ表示されます。

26.9 ハードコピー出力について

サーボアンプモニタ時にサーボアンプモニタ画面をプリンタで印刷したり，BMP/JPEG ファイル形式にてメモリカードに保存する方法について説明します。



使用する GOT により，それぞれ以下の方法でハードコピー出力を行います。

(1) A985GOT，A97*GOT 使用時

サーボアンプモニタ画面上に表示されている ハードコピー開始 ／ ハードコピー中断 キーにタッチしてハードコピー出力を行います。

(2) A95*GOT，A956WGOT 使用時

GT Designer2 でハードコピー機能の開始／中断トリガ用のデバイスを設定し，その設定デバイスを ON/OFF することによりハードコピー出力を行います。

Point

・ サーボアンプモニタ画面のプリントアウトを行う場合は，必ず GOT にオプションドライバをインストールしてください。
・ ハードコピーの出力先 (メモリカード／プリンタ) は，GT Designer2 のハードコピー設定で設定します。
ハードコピー設定の詳細は GT Designer2 Version2 リファレンスマニュアルを参照してください。

27章 サーボアンプモニタのエラーメッセージ

サーボアンプモニタの操作時に表示されるエラー表示と，その処置方法を示します。

エラーメッセージ	エラー内容	処置方法
モニタデータがありません	モニタデータがインストールされていない あるいは，モニタデータを削除した。	サーボアンプモニタのモニタデータをダウンロードしてください。
交信エラー	モニタ先のサーボアンプと交信ができない。	・サーボアンプと GOT の接続状態（コネクタ抜け，ケーブル断線）を確認してください。 ・サーボアンプでエラー発生していないか確認してください。 ・サーボアンプモニタ機能のセットアップ画面とサーボアンプ側のパラメータ設定を同じ内容で設定してください。
他に起動中のテスト運転を終了してください。	他のテスト運転機能が起動している。	他のテスト運転機能を終了してください。
サーボオン信号がオンです。一旦，サーボオフしてから実行してください。	サーボアンプの SON 信号が ON している。	サーボアンプの SON 信号を OFF にしてください。
設定範囲外です	サーボアンプのサーボパラメータ設定時，設定範囲を超える値を設定した。	サーボアンプのパラメータ設定を設定範囲内の値で設定してください。
サーボアラームが発生しました。	接続しているサーボアンプでアラームが発生した。	サーボアンプのアラームをリセットしてください。
ユニット未装着です。	選択されたスロットにドライブユニットが装着されていない。	ドライブユニットが装着されているスロットを選択してください。
パスワード不一致	サーボアンプパラメータ変更用パスワード入力時に，不正なパスワードを入力した。	正しいパスワードを入力してください。
正転ストロークエンド（LSP）または逆転ストロークエンド（LSN）を確認願います	サーボアンプの LSP/LSN 信号が OFF している。	サーボアンプの LSP/LSN 信号を ON にしてください。

Memo

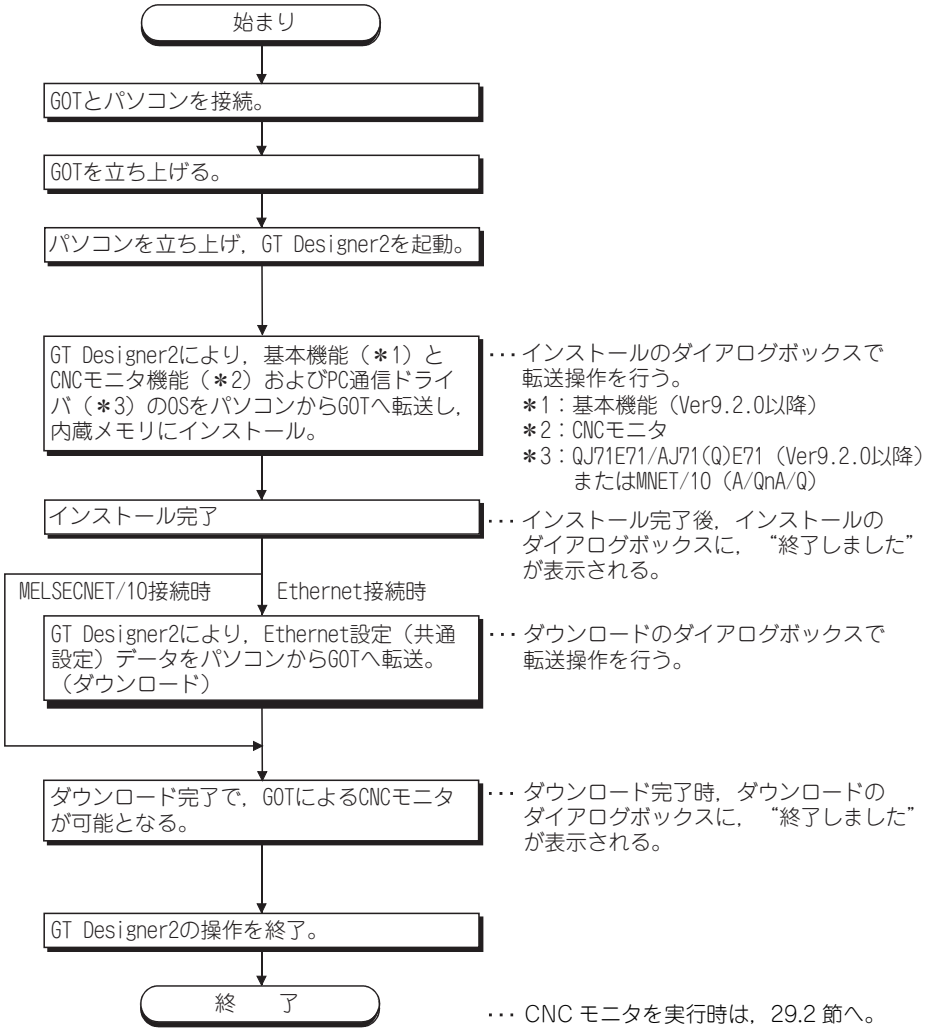
28章 CNCモニタ機能の操作手順

Point CNC モニタ機能を行なう場合，接続する MELDAS C6/C64 のマニュアルを熟読し，内容を十分理解した上で行なってください。

CNC モニタ機能を使用するときの操作手順について説明します。

28.1 CNC モニタを開始するまでの操作手順

CNC モニタ機能のオペレーティングシステム（OS）をパソコンから GOT へ転送し，内蔵メモリにインストールするまでの概略手順を示します。
詳細は，GT Designer2 Version2 オペレーティングマニュアルを参照してください。



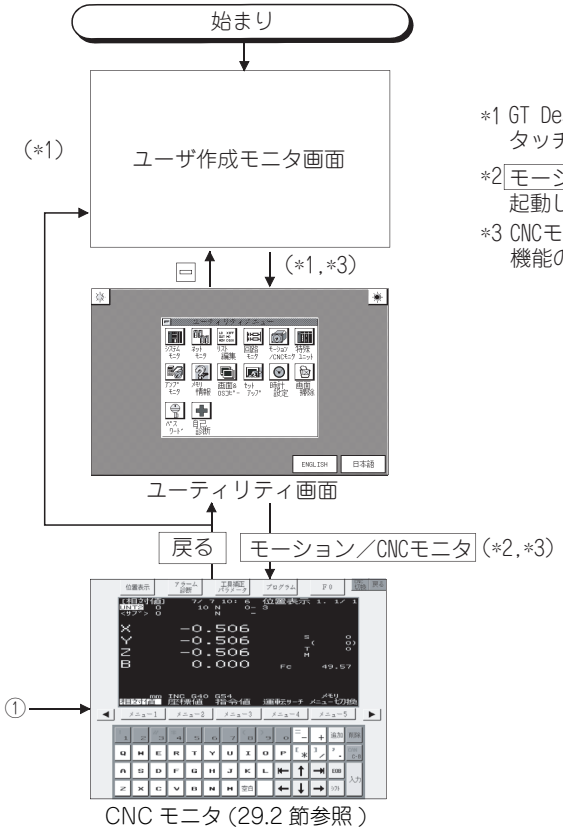
Memo

29章 CNCモニタ画面の操作

CNC モニタ機能を使用するときの，各画面操作について説明します。

29.1 画面遷移

ユーザ作成のモニタ画面から，CNC モニタ画面までの画面遷移を示します。



*1 GT Designer2でタッチスイッチ（拡張）機能を設定したキーにタッチして，CNCモニタ機能を起動します。

*2 モーション／CNCモニタ をタッチしてCNCモニタ機能を起動します。

*3 CNCモニタ機能を 戻る により終了した場合，次回のCNCモニタ機能の起動時は，前回終了した画面から表示されます。

29.2 CNC モニタ機能について

CNC モニタ画面の内容と，画面上に表示されるキー機能について説明します。



番号	項　目	表示内容
①	機能切換え部	表示する機能，CNC モニタの終了を選択します。
	位置表示	モニタ部を位置表示モニタに切り換えます。
	アラーム 診断	モニタ部をアラーム診断モニタに切り換えます。
	工具補正 パラメータ	モニタ部を工具補正パラメータに切り換えます。
	プログラム	モニタ部をプログラムモニタに切り換えます。
	F0	モニタ部を APLC 開放画面に切り換えます。 モニタ先の MELDAS C6/C64 に APLC 開放機能がない場合は，ブランク画面（何も表示されない黒画面）が表示されます。 （ブランク画面が表示される場合は，機能切換え部のキーで，他の機能にモニタを切り換えてください。）
	CNC 切換	・Ethernet 接続時 MELDAS C6/C64 を複数台接続している場合，モニタ先 MELDAS C6/C64 を切り換えます。 GT Designer2 の Ethernet 設定で設定されている順番にモニタ先を切り換えます。 ・MELSECNET/10 接続時 モニタ先は管理局のみ（切換え不要）のため，動作しません。
	戻る	CNC モニタ機能を終了し，GOT のモニタ画面またはユーティリティ画面に戻ります。
②	モニタ部	MELDAS 専用表示器と同等の位置表示，アラーム / 診断，工具補正 / パラメータ，プログラム機能があります。 グラフィック機能，ラダー編集機能はありません。

番号	項　目	表示内容
③	メニュー1 ～ メニュー5	メニュー部の各項目に応じたモニタに切りかわります。 上記画面の場合は，以下のようになります。 メニュー1：相対値　メニュー2：PLC スイッチ　メニュー3：コモン編集 メニュー4：ロカル変数　メニュー5：メニュー切換え MELDAS 専用表示器が有効になっている場合は，「他の表示器操作中」というメッセージと「キー操作権」メニューが表示されます。 GOT でキー操作を行う場合，「キー操作権」メニューを選択してください。
	◀	表示画面に複数のページがあるときに，前のページを表示します。
	▶	表示画面に複数のページがあるときに，次のページを表示します。

番号	項　目	表示内容
④	キーボード	モニタ部へのデータ設定を行います。
	英数字・記号キー	英字 (大文字のみ), 数字 , スペース , 記号を入力します。 グレー表示の記号は [シフト] キーをタッチした後に入力できます。
	↑ ↓ ← →	カーソルを上下左右へ移動します。(リピート機能あり)
	⇤ ⇥	カーソルを前後ブロックへ移動します。(リピート機能あり)
	削除	カーソル位置の一文字を削除します。
	追加	挿入モードを切り替えます。
	CAN C-B	加工プログラム編集中，1 ブロックを消去します。 [シフト] キーをタッチした後に [CAN C-B] キーをタッチすると画面に表示中のすべてのブロックを消去します。
	EOB	加工プログラムへ EOB(;) を入力します。
	入力	入力を確定します。
	ｼﾌﾄ	キー機能の切替をします。

30章 CNCモニタのエラーメッセージ

CNC モニタの操作時に表示されるエラー表示と，その処置方法を示します。
下記のエラーが複数発生している場合は，優先度の高いエラーが表示されます。

優先度	エラーメッセージ	エラー内容	処置方法
高 ↑	動作可能な GOT は A985GOT のみです。（CNC モニタ）	A985GOT 以外の GOT で CNC モニタを起動した場合	A985GOT で CNC モニタを起動してください。
	適応する通信ドライバがインストールされていません。（CNC モニタ）	適応する通信ドライバが GOT にインストールされていない。	適応する通信ドライバを GOT にインストールしてください。 Ethernet 接続時： QJ71E71/AJ71(Q)E71 MELSECNET/10 接続時： MNET/10(Q/QnA/A)
	お使いの E71 通信ドライバは，CNC モニタ機能に対応していません。 E71 通信ドライバ (Ver9.2.0 以降) をインストールしなおしてください。	GOT にインストールされている Ethernet 接続用の通信ドライバ (QJ71E71/AJ71(Q)E71) が CNC モニタに対応していない。	CNC モニタに対応した Ethernet 接続用の通信ドライバ (QJ71E71/AJ71(Q)E71(Ver9.2.0 以降)) を GOT にインストールしてください。
	お使いの MNET10 通信ドライバは，CNC モニタ機能に対応していません。 MNET10(A/QnA/Q) 通信ドライバをインストールしなおしてください。	GOT にインストールされている MELSECNET/10 接続用の通信ドライバ (MNET/10) が CNC モニタに対応していない。	CNC モニタに対応した MELSECNET/10 接続用の通信ドライバ (MNET/10(A/QnA/Q)) を GOT にインストールしてください。
	モニタ先 CNC の IP アドレスが設定されていません（CNC モニタ）	CNC の IP アドレスが設定されていない。	GT Designer2 の Ethernet 設定で，モニタする CNC の IP アドレスと設定後，モニタデータを GOT にダウンロードしてください。
低 ↓	お使いの基本機能は，CNC モニタ機能に対応していません。 基本機能（Ver9.2.0 以降）をインストールしなおしてください。	GOT にインストールされている基本機能 OS が CNC モニタに対応していない。	CNC モニタに対応した基本機能 OS（Ver9.2.0 以降）を GOT にインストールしてください。

Memo

31 章 かな漢字変換機能

31.1 かな漢字変換機能を使用する前に

かな漢字変換機能を使用する前に，必要な機器，ROM_BIOS/OS のバージョン，GOT の設定を確認してください。

31.1.1 必要な機器の確認

かな漢字変換機能を使用時に必要な機器については，2.2 節を参照してください。

31.1.2 ROM_BIOS の確認

かな漢字変換機能を使用するには，下記バージョン以降の ROM_BIOS が GOT にインストールされている必要があります。

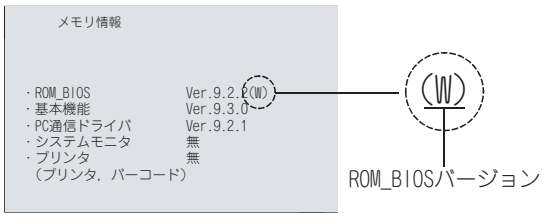
機能名	対応 ROM_BIOS バージョン
かな漢字変換機能	W 版以降

GOT にインストールされている ROM_BIOS のバージョンが古い場合は，再度インストールしてください。
ROM_BIOS のインストール方法については，GT Designer2 Version2 オペレーティングマニュアルを参照してください。

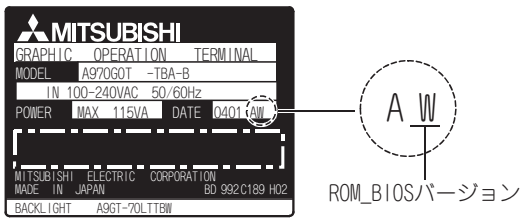
(1) ROM_BIOS バージョンの確認方法

GOT にインストールされている ROM_BIOS のバージョンは，GOT のメモリ情報や定格銘板で確認できます。
ただし，ユーザで ROM_BIOS をバージョンアップしている場合は，メモリ情報で確認するようにしてください。
製品購入直後は，定格銘板で確認しても問題ありません。

メモリ情報

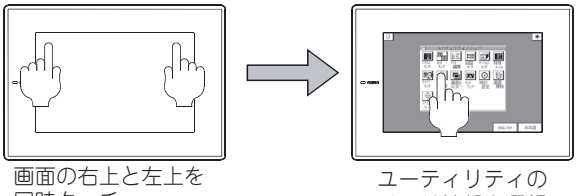


定格銘板



備　考 GOT のメモリ情報はユーティリティで表示します。

<メモリ情報の表示例>



ユーティリティの起動方法，操作方法については，4 章を参照してください。

31.1.3 OS の確認

かな漢字変換機能を使用するには，下記の OS が GOT にインストールされている必要があります。

OS の種類	内　容
基本機能 OS	Ver.9.3.0 以降
拡張機能 OS	かな漢字変換

(1) OS の確認方法

GOT にインストールされている基本機能 OS のバージョンや，拡張機能 OS の情報は GT Designer2 の内蔵メモリ情報で確認できます。
GOT にインストールされている基本機能 OS が古い場合は，再度インストールしてください。
OS のインストール方法，OS の確認方法の詳細については，GT Designer2 Version2 オペレーティングマニュアルを参照してください。

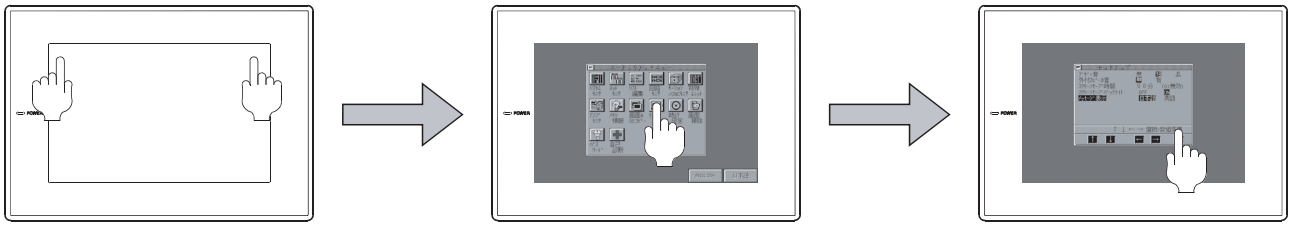
(2) インストールできる拡張機能 OS の組み合わせ

インストールできる拡張機能 OS の組み合わせについては，2.2 節を参照してください。

31.1.4 GOT の設定の確認

かな漢字変換機能を使用するには，ユーティリティ（セットアップ）の「メッセージ表示」が「日本語」に設定されている必要があります。
ユーティリティの起動方法，操作方法については，4 章を参照してください。

<メッセージ表示の表示例>



画面の右上と左上を
同時タッチ

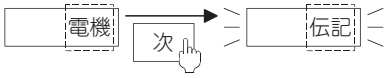
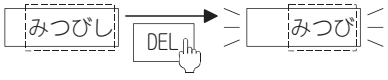
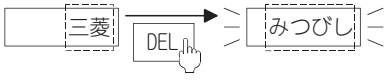
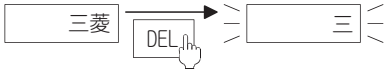
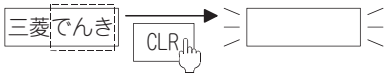
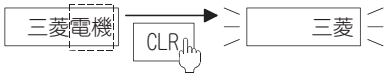
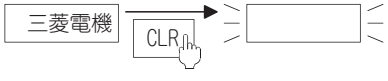
ユーティリティの
セットアップを選択

メッセージ表示を
日本語に設定

31.2 かな漢字変換機能の操作

31.2.1 変換に使用する操作スイッチの動作

変換に使用する操作スイッチの動作例と動作内容を以下に示します。

イメージ (キーコード)	動作内容	動作例＊1
変換 (0084)	タッチすると，文字列を変換します。	
	変換後，再度タッチすると，文字列を変換前の状態に戻します。	
前 (0085)	変換後，タッチすると前の変換候補を表示します。	
次 (0086)	変換後，タッチすると次の変換候補を表示します。	
選択 (0087)	入力した文字列を決定し，次の文字列の入力が可能になります。	
確定 (000D)	入力途中でタッチすると，入力された部分のみデバイスに書き込みます。	
	変換途中でタッチすると，表示されている文字列をデバイスに書き込みます。	
	入力が完了（選択）後にタッチすると，文字列をデバイスに書き込みます。	
DEL (0008)	入力途中でタッチすると，文字列の右端を一文字削除し，右にシフトします。	
	変換途中でタッチすると，文字列を変換前の状態に戻します。	
	入力が完了（選択 / 確定）後にタッチすると，文字列の右端を一文字削除し，右にシフトします。	
CLR (0088)	入力途中でタッチすると，文字列を全削除します。	
	変換途中でタッチすると，変換途中の文字列のみ全削除します。	
	入力が完了（選択 / 確定）後にタッチすると，文字列を全削除します。	

＊1 点線で囲まれた文字列は，入力中または変換途中の状態を示しています。

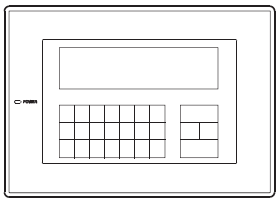
31.2.2 かな漢字変換機能の操作手順

かな漢字変換機能を使用する操作手順を説明します。

(1) かな漢字変換起動デバイスの設定

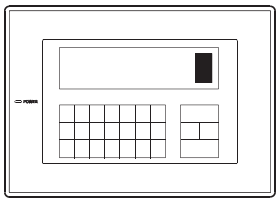
かな漢字変換機能を使用するには，アスキー入力が入力状態になる前に，GOT の内部デバイス（かな漢字変換起動デバイス：GS450.b4）を ON する必要があります。

かな漢字変換起動デバイスの ON/OFF が有効な状態



アスキー入力のカーソルが非表示

かな漢字変換起動デバイスの ON/OFF が無効な状態



アスキー入力のカーソルが表示

かな漢字変換起動デバイスが ON した状態でも，アスキー入力は正常に動作するので，GOT 電源投入後自動的に，かな漢字変換起動デバイスを ON する方法をお薦めします。
以下に状態監視機能を使用して，GOT 電源投入後自動的に，かな漢字変換起動デバイスを ON する例を示します。

＜状態監視機能の設定例＞

状態監視機能で，GOT の内部デバイス（常時 ON のデバイス：GS0.b4）を動作条件にし，動作条件が ON 中の場合に，かな漢字変換起動デバイスを ON する設定をします。
GOT 電源投入後，状態監視機能により，自動的にかな漢字変換起動デバイスが ON します。
状態監視機能の詳細は，GT Designer2 Version2 リファレンスマニュアルを参照してください。

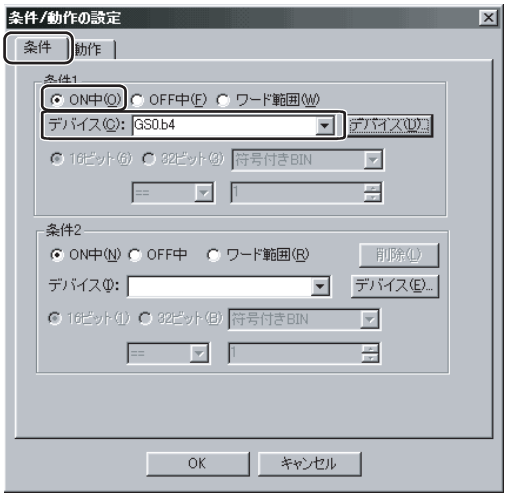


（次ページへ）

① GT Designer2 の【共通設定】→【状態監視】メニューを選択します。
状態監視ダイアログボックスが開くので，プロジェクトタブの 追加 をクリックします。

状態監視機能の 1 行目に，かな漢字変換起動デバイス ON の設定をしてください。
（GOT 電源投入後すぐに，かな漢字変換起動デバイスが ON されます。）

（前ページから）



② 条件 / 動作の設定ダイアログボックスの条件タブをクリックし，下記のように設定します。

条件 1　：ON 中
デバイス：GS0.b4



③ 次に動作タブをクリックし，以下のように設定します。

動作　　：ビット SET
デバイス：GS450.b4

設定後，OK ボタンをクリックします。



④ 状態監視ダイアログボックスに戻り，「状態監視周期」が「常時」になっていることを確認して，
OK ボタンをクリックします。
以上で状態監視の設定は終了です。

(2) GOT での変換手順と注意事項

(a) 変換操作時の注意事項

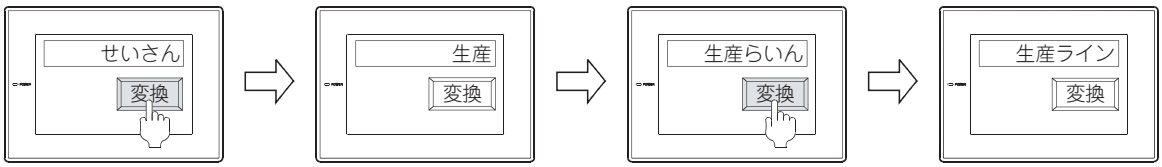
変換操作時の注意事項について説明します。

① 単文節の変換のみ可能

かな漢字変換機能では，連文節は全てカタカナに変換されるので，単文節に区切って変換してください。

・“生産ライン”と入力したい場合

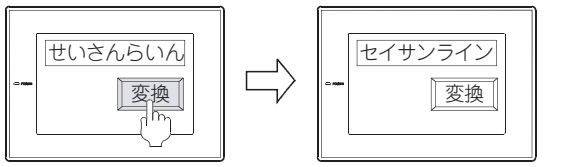
“せいさん”と“らいん”で分けて変換してください。



“せいさん”を入力し 変換 スイッチを押す　漢字に変換する　“らいん”を入力し 変換 スイッチを押す　カタカナに変換する

※“せいさんらいん”と入力した場合

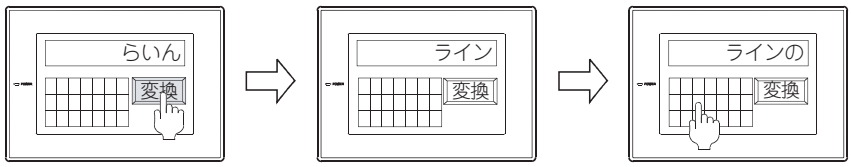
“せいさんらいん”は“せいさん”と“らいん”の 2 語で構成される連文節のため，すべてカタカナで変換されます。



変換 スイッチを押す　すべてカタカナに変換される

・“ラインの”と入力したい場合

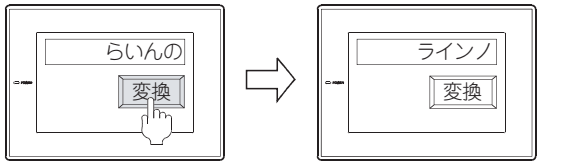
“らいん”と“の”で分けて変換してください。



“らいん”を入力し 変換 スイッチを押す　カタカナに変換する　“の”を入力する

※“らいんの”と入力した場合

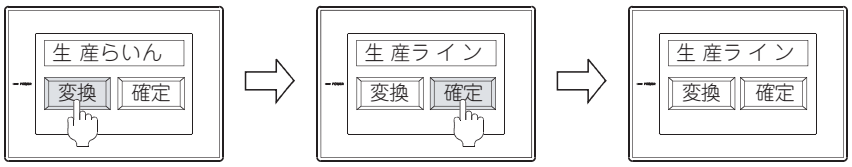
“らいんの”は“らいん”と“の”の 2 語で構成される連文節のため，すべてカタカナで変換されます。



変換 スイッチを押す　すべてカタカナに変換される

② アスキー入力で設定した入力桁数内で入力可能
アスキー入力で設定した入力桁数内で入力してください。

入力桁数：10 バイト（全角 5 文字）の場合



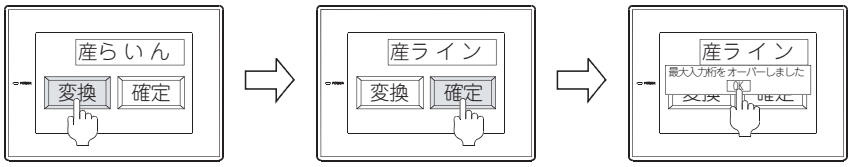
“らいん”を変換する

選択 スイッチ，または
確定 スイッチを押す

文字列の決定，または
デバイスに書き込まれる

※ 入力桁数を超えて入力した場合
アスキー入力で設定した入力桁数を超えて入力した場合，文字列の決定，デバイス書込みができません。

入力桁数：8 バイト（全角 4 文字）

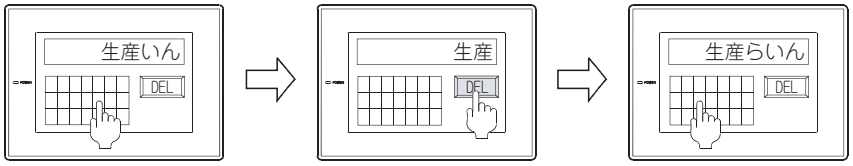


“生産”と入力後に，
“らいん”と入力し，
変換する

入力桁数を超えた状態で
選択 スイッチ，または
確定 スイッチを押す

文字列の決定，デバイス
書込みができない
（エラーダイアログ表示）

③ 文字列の途中で文字の追加／削除は不可
文字入力のカーソルが右端に固定されているので，文字列の右端から追加／削除したい場所まで DEL スイッチで削除してください。



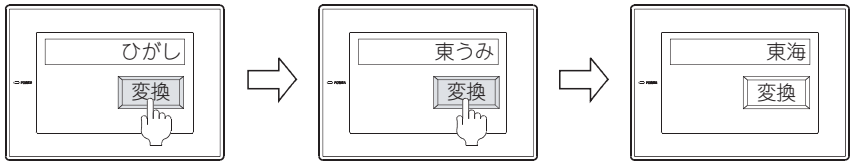
“らいん”を間違えて
“いん”と入力

“いん”を DEL
スイッチで削除

“らいん”を入力する

④ 辞書データにない単語（単文節）は変換不可
辞書データに登録されていない単語は，変換できません。

・“東海”と入力したい場合
“ひがし”と“うみ”の 2 つの単語で分けて変換してください。

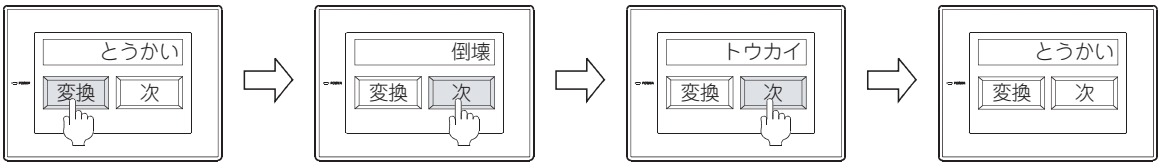


“ひがし”を入力し
変換 スイッチを押す

“うみ”を入力し
変換 スイッチを押す

“東海”と入力される

※“とうかい”と入力した場合
辞書データに“東海”という単語（単文節）が登録されていないので，“とうかい”からは変換できません。



“とうかい”を入力し
変換 スイッチを押す

次 スイッチを押す

次 スイッチを押す

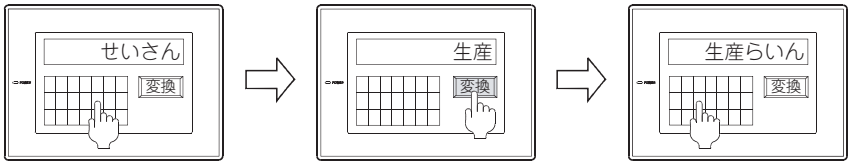
“東海”に変換されない

(b) 連文節“生産ラインの稼動状況”を入力する場合の例
連文節を正しく入力する方法を以下に示します。

①	せいさん	タッチスイッチで“せいさん”と入力します。
②	生産	変換 スイッチで漢字に変換し，選択 スイッチで漢字を決定します。 採用したい漢字が表示されていない場合は，前 スイッチまたは次 スイッチを押すごとに，漢字候補が表示されます。
③	生産らいん	タッチスイッチで“らいん”と入力します。
④	生産ライン	変換 スイッチでカタカナに変換し，選択 スイッチでカタカナを決定します。
⑤	生産ラインの	タッチスイッチで“の”と入力し，選択 スイッチで，ひらがなを決定します。
⑥	生産ラインのかどう	タッチスイッチで“かどう”と入力します。
⑦	生産ラインの稼動	変換 スイッチで漢字に変換し，選択 スイッチで漢字を決定します。
⑧	生産ラインの稼動じょうきょう	タッチスイッチで“じょうきょう”と入力します。
⑨	生産ラインの稼動状況	変換 スイッチで漢字に変換し，選択 スイッチで漢字を決定します。
⑩	生産ラインの稼動状況	確定 スイッチでデバイスに書き込みます。

Point

文字列を変換途中で次の文字を入力すると，自動的に変換途中の文字列が決定され，選択スイッチの操作を省略できます。



“せいさん”と入力する

変換スイッチで変換する

“らいん”を入力すると自動的に“生産”が決定される

32章 文字フォント切換え機能

32.1 文字フォント切換え機能を使用する前に

文字フォント切換え機能を使用する前に，必要な機器，ROM_BIOS/OS バージョン，GOT の設定を確認してください。

32.1.1 必要な機器の確認

文字フォント切換え機能使用時に必要な機器については，2.2 節を参照してください。

32.1.2 ROM_BIOS の確認

文字フォント切換え機能を使用するには，下記バージョン以降の ROM_BIOS が GOT にインストールされている必要があります。

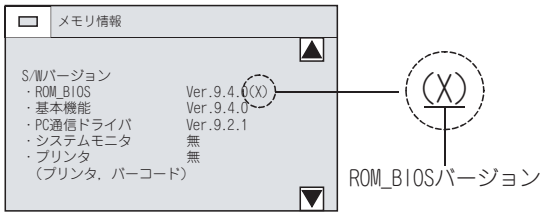
機能名	対応 ROM_BIOS バージョン
文字フォント切換え機能	X 版以降

GOT にインストールされている ROM_BIOS のバージョンが古い場合は，再度インストールしてください。
ROM_BIOS のインストール方法については，GT Designer2 Version2 オペレーティングマニュアルを参照してください。

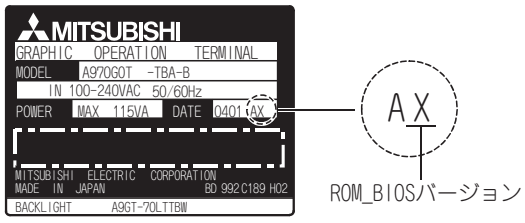
(1) ROM_BIOS バージョンの確認方法

GOT にインストールされている ROM_BIOS のバージョンは，GOT のメモリ情報や定格銘板で確認できます。
ただし，ユーザで ROM_BIOS をバージョンアップしている場合は，メモリ情報で確認するようにしてください。
製品購入直後は，定格銘板で確認しても問題ありません。

メモリ情報

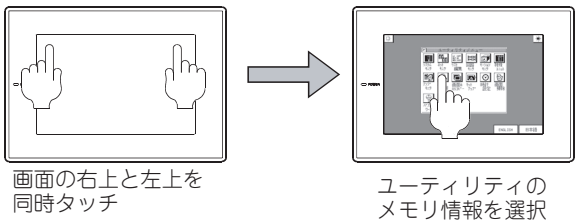


定格銘板



備　考　GOT のメモリ情報はユーティリティで表示します。

＜メモリ情報の表示例＞



ユーティリティの起動方法，操作方法については，4 章を参照してください。

32.1.3 OS の確認

文字フォント切換え機能を使用するには，下記の OS が GOT にインストールされている必要があります。

OS の種類	内　容
基本機能 OS	Ver.9.4.0 以降

(1) OS の確認方法

GOT にインストールされている基本機能 OS のバージョンや，拡張機能 OS の情報は GT Designer2 の内蔵メモリ情報で確認できます。
GOT にインストールされている基本機能 OS が古い場合は，再度インストールしてください。
OS のインストール方法，OS の確認方法の詳細については，GT Designer2 Version2 オペレーティングマニュアルを参照してください。

(2) インストールできる拡張機能 OS の組み合わせ

インストールできる拡張機能 OS の組み合わせについては，2.2 節を参照してください。

32.2 文字フォント切換え機能の操作

32.2.1 文字フォント切換えデバイスの設定

文字フォントの切換えは，GOT の内部デバイス（文字フォント切換えデバイス：GS453(b7 ～ b0)）に，各フォントに対応した値を書き込むことで切り換えます。

GS453 の値		表示するフォント
b15 ～ b8	b7 ～ b0	
システムダイアログ 言語切換えデバイス	文字フォント切換えデバイス	
（33.2.1 項参照）	00H	標準文字フォント
	01H	中国語（簡体字）フォント
	02H 以降	使用禁止（前回のフォントが保持されます。）

以下に状態監視機能を使用して，GOT 電源投入後自動的に，文字フォント切換えデバイスに“1”を格納（中国語（簡体字）フォント）する例を示します。

＜状態監視機能の設定例＞
状態監視機能で，GOT の内部デバイス（常時 ON のデバイス：GS0.b4）を動作条件にし，動作条件が ON 中の場合に，文字フォント切換えデバイスに“1”を格納する設定をします。
GOT 電源投入後，状態監視機能により，文字フォント切換えデバイスに“1”を格納します。
状態監視機能の詳細は，GT Designer2 Version2 リファレンスマニュアルを参照してください。（状態監視の設定操作は，31.2.2 項のかな漢字変換機能にも記載しています。）



・プロジェクトの状態監視で設定してください。

・状態監視機能の 1 行目に設定してください。（GOT 電源 ON 後すぐに，文字フォント切換えデバイスに“1”が格納されます。）＊1

・条件監視周期は「常時」で設定してください。

＊1 GOT 起動時の文字は，中国語（簡体字）フォントに切り換わっていない可能性があります。（画面を切換えると，フォントは切り換わります。）
上記を考慮して，画面設計を行ってください。

32.2.2 GT Designer2 のプレビューで中国語（簡体字）フォントを表示する場合

中国語（簡体字）フォントでプレビューしたい場合，GT Designer2 のフォント環境を中国語（簡体字）に変更する必要があります。
以下に GT Designer2 のフォント環境の変更方法を示します。

(1) 通常の文字（高品位文字以外）を中国語（簡体字）フォントでプレビューする場合

(a) GT Designer2 のフォント環境を中国語（簡体字）に変更する

① GT Designer2 のインストールフォルダ下に存在する「unicode.fnt」を削除します。



② 同フォルダにある「unicode_gb.fnt」をコピーし，ファイル名を「unicode.fnt」に変更します。





(b) GT Designer2 のフォント環境を日本語に戻す

① “(a) GT Designer2 のフォント環境を中国語（簡体字）に変更する”で作成した「unicode.fnt」を削除します。



② 同フォルダにある「unicode_jp.fnt」のファイルをコピーし，ファイル名を「unicode.fnt」に変更します。

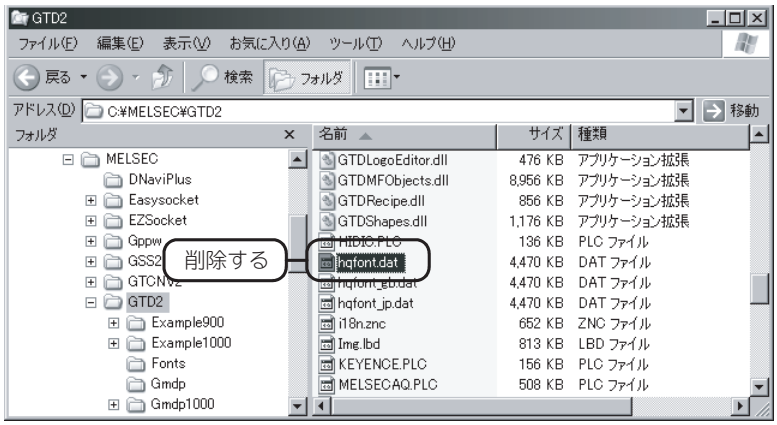




(2) 高品位文字を中国語（簡体字）フォントでプレビューする場合

(a) GT Designer2 のフォント環境を中国語（簡体字）に変更する

① GT Designer2 のインストールフォルダ下に存在する「hqfont.dat」を削除します。



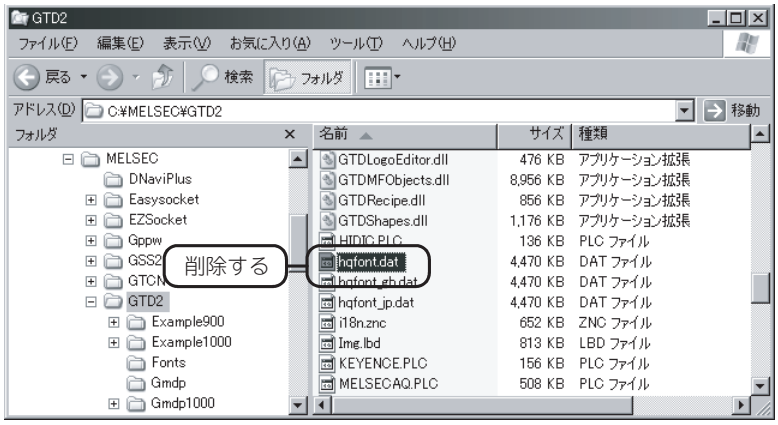
② 同フォルダにある「hqfont_gb.dat」をコピーし，ファイル名を「hqfont.dat」に変更します。





(b) GT Designer2 のフォント環境を日本語に戻す

① “(a) GT Designer2 のフォント環境を中国語（簡体字）に変更する” で作成した「hqfont.dat」を削除します。



② 同フォルダにある「hqfont_jp.dat」のファイルをコピーし，ファイル名を「hqfont.dat」に変更します。



32.2.3 フォントデータのインストール

(1) 通常の文字（高品位文字以外）の中国語（簡体字）を GOT に表示する場合

通常の文字（高品位文字以外）の中国語（簡体字）を GOT に表示するために，通常の文字（高品位文字以外）のフォントデータは，以下の (a) ～ (c) の方法で GOT にインストールしてください。

フォントデータは，OS と一緒に GOT にインストールされるため，フォントデータのみ GOT へ転送することはできません。

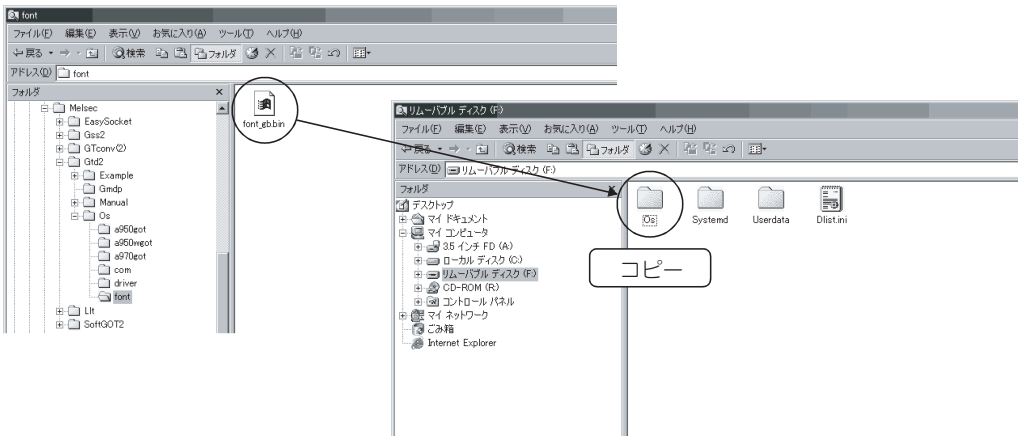
(a) OS（基本機能 OS，PC 通信ドライバ，拡張機能 OS）をメモリカードに書き込む

GT Designer2 を使用して，必要な OS をメモリカードへ書き込みます。
メモリカードへの書込み方法の詳細は，GT Designer2 Version2 オペレーティングマニュアルを参照してください。



(b) フォントデータのコピー

Windows® のエクスプローラなどで，C:\MELSEC\GTD2\OS\font 内に格納されているフォントデータ（font_gb.bin）を (a) のメモリカード内の OS フォルダに，コピーします。



(c) GOT への転送

GOT にメモリカードを装着し，OS をインストールしてください。
（データ転送前に，メモリボードを GOT に装着してください。）
OS と一緒にフォントデータが GOT にインストールされます。
GOT へのインストール方法の詳細は，GT Designer2 Version2 オペレーティングマニュアルを参照してください。

正常にインストールされた場合，GOT に下記メッセージが表示されます。

```
ｾｯﾄｱｯﾌﾟ が完了しました。
本体の電源をﾘｾｯﾄして下さい。
Setup completed
Cycle power on unit.
```

Point

- RS-232C 通信でのデータ転送は対応していません。
- ユーティリティの「画面 &OS コピー」を実施すると，OS データと一緒にフォントデータもメモリカードにコピーされます。
  「画面 &OS コピー」したメモリカードを使用して，別の GOT にフォントデータをインストールすることもできます。

(2) 高品位文字の中国語（簡体字）を GOT に表示する場合

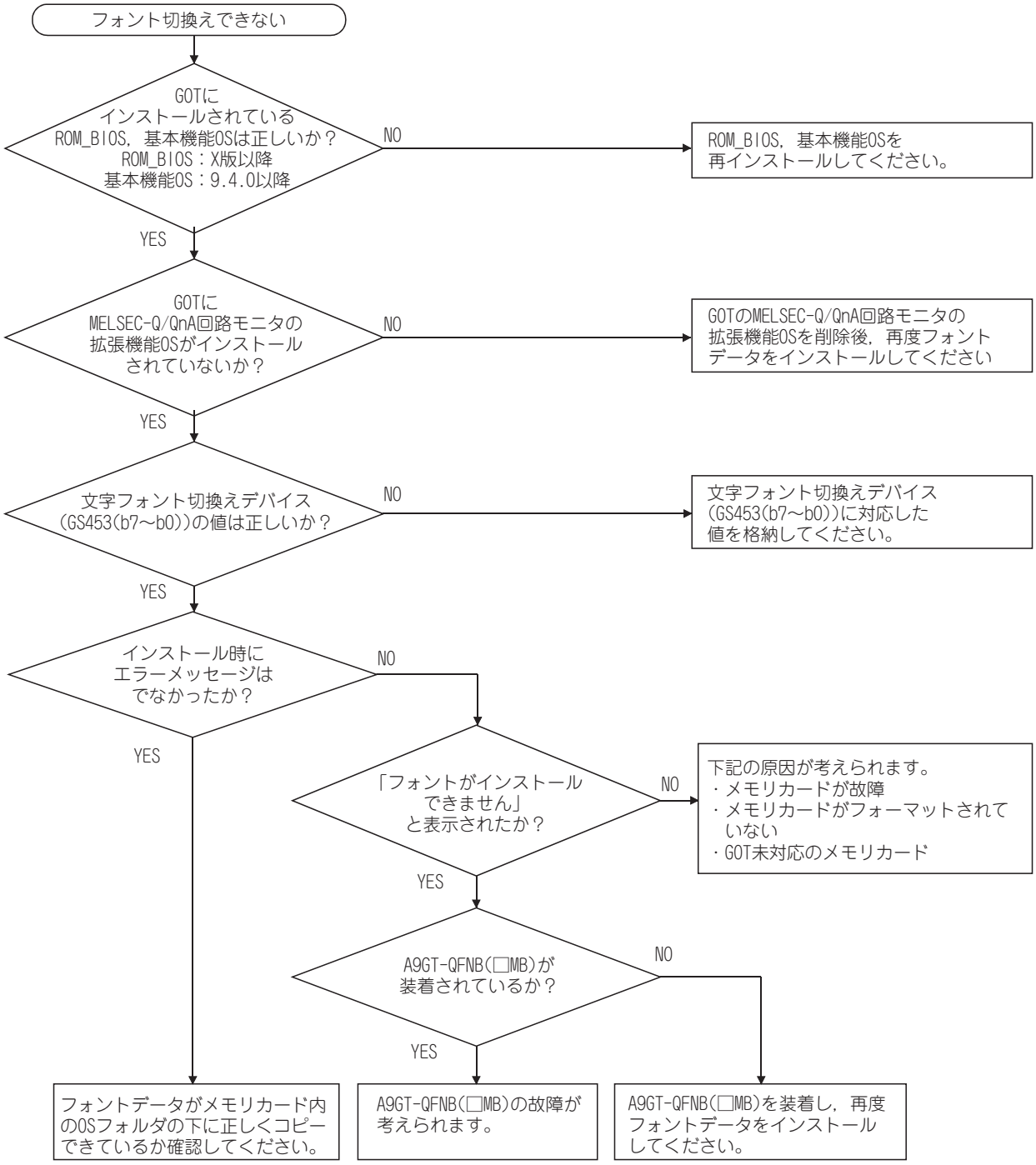
文字やコメントに高品位文字を使用したい場合，GT Designer2 のフォント環境を中国語（簡体字）に変更し，変更した GT Designer2 から GOT にモニタデータをダウンロードする必要があります。
GT Designer2 のフォント環境の変更方法については，32.2.2 項 (2) を参照してください。

Point

モニタデータのダウンロード方法については，GT Designer2 Version2 オペレーティングマニュアルを参照してください。

32.3 フォント切換えできない場合の対処方法

フォント切換えできない場合の対処方法を下記に示します。



33章 システムダイアログ言語切換え機能

33.1 システムダイアログ言語切換え機能を使用する前に

システムダイアログ言語切換え機能を使用する前に，必要な機器，ROM_BIOS/OS バージョン，GOT の設定を確認してください。

33.1.1 必要な機器の確認

システムダイアログ言語切換え機能使用時に必要な機器については，2.2 節を参照してください。

33.1.2 ROM_BIOS の確認

システムダイアログ言語切換え機能を使用する場合，ROM_BIOS のバージョンに制約はありません。

Point

システムダイアログ言語切換え機能を文字フォント切換え機能と組み合わせて使用する場合は，「第 32 章　文字フォント切換え機能」で，必要な機器，ROM_BIOS/OS バージョン，GOT の設定を確認してください。

33.1.3 OS の確認

システムダイアログ言語切換え機能を使用するには，下記の OS が GOT にインストールされている必要があります。

OS の種類	内　容
基本機能 OS	Ver.9.7.6 以降

(1) OS の確認方法

GOT にインストールされている基本機能 OS のバージョンや，拡張機能 OS の情報は GT Designer2 の内蔵メモリ情報で確認できます。
GOT にインストールされている基本機能 OS が古い場合は，再度インストールしてください。
OS のインストール方法，OS の確認方法の詳細については，GT Designer2 Version2 オペレーティングマニュアルを参照してください。

33.2 システムダイアログ言語切換え機能の操作

33.2.1 システムダイアログ言語切換えデバイスの設定

システムダイアログ言語の切換えは，GOT の内部デバイス（システムダイアログ言語切換えデバイス：GS453(b15 ～ b8)）に，各言語に対応した値を書き込むことで切り換えます。

GS453 の値		表示する言語
b15 ～ b8	b7 ～ b0	
システムダイアログ言語切換えデバイス	文字フォント切換えデバイス	
00H	（33.2.1 項参照）	日本語／英語 （表示する言語の切換えはユーティリティによる*1）
01H		中国語（簡体字）
02H		中国語（繁体字）
03H 以降		使用禁止

＊1 表示する言語（日本語／英語）の切換えは，以下の方法で行ってください。
・ユーティリティメニュー画面の「メッセージ表示選択キー」で設定する。(4.3 節参照)
・ユーティリティ機能のセットアップ「メッセージ表示」で設定する。(4.5 節参照)

33.3 システムダイアログ言語の表示例

システムダイアログ言語切換え機能で言語切換えができるシステムダイアログを下記に示します。

発生要因	表示メッセージ	
	言語設定：日本語 （フォント設定：標準文字フォント）	言語設定：英語 （フォント設定：標準文字フォント）
ベース画面の切換えなどの発生時に，タッチパネルを押下しているとき	画面変更(切換え、移動など) または、ｱﾗｰﾑ流れが発生しました。 画面から手をはなしてください。	The screen change (switching screen and moving screen,etc.) or alarm flow was detected. Remove your finger from the display.
ユーティリティメニューやモニタ画面から，拡張機能（回路モニタ機能など）を起動しようとしたときに，対象の拡張機能がインストールされていないなどの実行条件が不成立時	【A985GOT(-V)/A97*GOT/A960GOT 使用時】 現在この機能は使えません	【A985GOT(-V)/A97*GOT/A960GOT 使用時】 This function cannot be used now.
	【A956WGOT/A95*GOT 使用時】 この機能は使えません	【A956WGOT/A95*GOT 使用時】 The func.cannot be used
オブジェクトが重なっているとき	オブジェクトが 重なっています	Coordinates error
数値入力またはアスキー入力時に，最大入力桁をオーバーしたとき	最大入力桁を オーバーしました	Input data error, number too large/small
数値入力時に，整数部が最大入力桁をオーバーしたとき	整数部が最大入力桁を ｵｰﾊﾞｰしました	Input data error, too many integer places
数値入力時に，小数部が最大入力桁をオーバーしたとき	小数部が最大入力桁を ｵｰﾊﾞｰしました	Input data error, too many decimal places
数値入力時に，範囲外のデータを入力したとき	範囲外のデータが 入力されました	Input data error, out of range
数値入力またはアスキー入力時において，オブジェクト選択し，カーソルを表示したときは，条件成立していたが，［確定キー］押下時に条件成立していなかったとき	入力条件が 成立していません	Interlock not set
GOT の内部デバイス GS450.b0=1(ON) 時に，数値入力またはアスキー入力の［確定キー］を押下した後	下記値に変更しますか	Do you want to change?

発生要因	表示メッセージ	
	言語設定：中国語（簡体字） （フォント設定：中国語（簡体字）フォント）	言語設定：中国語（繁体字） （フォント設定：標準文字フォント）
ベース画面の切換えなどの発生時に，タッチパネルを押下しているとき	画面变更了(切换，移动等)， 或是发生了浮动报警。 请不要触摸画面。	畫面變更了(切換，移動等)， 或是發生了浮動報警。 請不要觸摸畫面。
ユーティリティメニューやモニタ画面から，拡張機能（回路モニタ機能など）を起動しようとしたときに，対象の拡張機能がインストールされていないなどの実行条件が不成立時	不能使用此功能	不能使用此功能
オブジェクトが重なっているとき	对象有重叠	對象有重疊
数値入力またはアスキー入力時に，最大入力桁をオーバーしたとき	超过了最大输入位数	超過了最大輸入位數
数値入力時に，整数部が最大入力桁をオーバーしたとき	整数部分 超过了最大输入位数	整數部分 超過了最大輸入位數
数値入力時に，小数部が最大入力桁をオーバーしたとき	小数部分 超过了最大输入位数	小數部分 超過了最大輸入位數
数値入力時に，範囲外のデータを入力したとき	输入了范围外的数据	輸入了範圍外的數據
数値入力またはアスキー入力時において，オブジェクト選択し，カーソルを表示したときは，条件成立していたが，［確定キー］押下時に条件成立していなかったとき	输入条件不成立	輸入條件不成立
GOT の内部デバイス GS450.b0=1(ON) 時に，数値入力またはアスキー入力の［確定キー］を押下した後	更改成下列数值吗	更改成下列數值嗎

索　引

[B]
BM モニタ ·····9-14

[C]
C.C.U モニタ登録 ·····4-11
CNC モニタ機能 ·····1-16

[G]
GOT IP アドレス ·····4-12
GOT NET No. ·····4-12
GOT PC No. ·····4-12
GOT ポート No. ·····4-12

[O]
OS のメモリ容量 ·····2-15

[P]
PC 診断モニタ ·····12-4
PC 読出しの操作 ·····6-3

[Q]
QBUS スロット No. ·····4-10
QBUS 増設段数 ·····4-10
QC24 接続伝送速度 ·····4-10

[R]
RGB 表示終了タッチキー位置 ·····4-13

[T]
TC モニタ ·····9-12

[あ]
アダプタアドレス ·····4-11
一括モニタ ·····9-10
色強度 ·····4-13
エラーメッセージ
　CNC モニタ機能 ·····30-1
　回路モニタ機能 ·····7-1
　サーボアンプモニタ機能 ·····27-1
　システムモニタ機能 ·····10-1
　特殊ユニットモニタ機能 ·····14-1
　ネットワークモニタ機能 ·····18-1
　モーションモニタ機能 ·····24-1
　リスト編集機能 ·····21-1

[か]
回路モニタ機能 ·····1-3
回路読出しの操作 ·····6-9
かな漢字変換機能 ·····1-17
画面掃除 ·····4-18
画面の表示内容とキー機能
　BM モニタ ·····9-15
　SFC エラー履歴モニタ ·····23-5
　TC モニタ ·····9-13
　位置決めモニタ ·····23-8
　一括モニタ ·····9-11
　エラーリスト ·····23-6
　エラーリスト軸指定 ·····23-7
　回路モニタ機能 ·····6-19
　現在値モニタ ·····23-4
　現在値履歴モニタ ·····23-10
　サーボモニタ ·····23-9
　自局詳細モニタ ·····17-3
　システムモニタ機能 ·····9-1
　他局モニタ ·····17-9
　登録モニタ ·····9-8
　特殊ユニットモニタ機能 ·····12-1
画面 &OS コピー ·····4-6
輝度調整／コントラスト調整 ·····4-21
機能一覧 ·····2-1
局番，デバイスの指定 ·····9-4
クイックテスト機能 ·····9-19
グリップスイッチ ·····4-13
グリップスイッチ解除時キー OFF ·····4-13
コントラスト ·····4-13

[さ]
サーボアンプモニタ機能 ·····1-14
サブネットマスク ·····4-12
色調 ·····4-13
自局回線モニタ ·····17-1
自局詳細モニタ ·····17-3
自局 (FF) アドレス ·····4-11
自己診断 ·····4-15
システムダイアログ言語切換え機能 ·····1-18
システムモニタ機能 ·····1-5
仕様
　CNC モニタ機能 ·····3-28
　回路モニタ機能 ·····3-1
　かな漢字変換機能 ·····3-29
　サーボアンプモニタ機能 ·····3-23
　システムダイアログ言語切換え機能 ·····3-34
　システムモニタ機能 ·····3-2
　特殊ユニットモニタ機能 ·····3-4
　ネットワークモニタ機能 ·····3-10
　モーションモニタ機能 ·····3-22
　文字フォント切換え機能 ·····3-32
　リスト編集機能 ·····3-13
白黒反転表示 ·····4-12
人感センサ OFF ディレイ ·····4-12
人感センサ機能 ·····4-14
人感センサ検出感度 ·····4-12
信号 ·····4-13
垂直画面位置 ·····4-13
水平画面位置 ·····4-13
スクリーンセーブ機能 ·····4-14
スクリーンセーブ時間 ·····4-9
スクリーンセーブ人感センサ ·····4-12

スクリーンセーブバックライト ·····4-9
セキュリティパスワード ····· 4-19
接続伝送速度 ····· 4-10,4-11
セットアップ ·····4-8
操作手順
CNC モニタ機能 ····· 28-1
回路モニタ機能 ·····5-1
かな漢字変換機能 ····· 31-4
サーボアンプモニタ機能 ····· 25-1
システムダイアログ言語切換え機能 ····· 33-1
システムモニタ機能 ·····8-1
特殊ユニットモニタ機能 ····· 11-1
ネットワークモニタ機能 ····· 15-1
モーションモニタ機能 ····· 22-1
文字フォント切換え機能 ····· 32-3
リスト編集機能 ····· 19-1
送信ウェイトタイム ····· 4-12
送信タイムアウト ····· 4-12
送信ディレイ ····· 4-10,4-11
外付スピーカ音 ·····4-9

[た]

他局モニタ ····· 17-9
立ち上がり時間 ····· 4-10,4-11,4-12
タッチ検索 ····· 6-16
チャンネル ····· 4-13
テスト機能 ····· 9-16
登録デバイスの削除 ·····9-9
登録モニタ ·····9-7
特殊ユニットに対するテスト ····· 12-8
特殊ユニットモニタ機能 ·····1-7
特殊ユニットモニタデータの容量 ·····3-6
特長
CNC モニタ機能 ····· 1-16
回路モニタ機能 ·····1-3
かな漢字変換機能 ····· 1-17
サーボアンプモニタ機能 ····· 1-14
システムダイアログ言語切換え機能 ····· 1-18
システムモニタ機能 ·····1-5
特殊ユニットモニタ機能 ·····1-7
ネットワークモニタ機能 ·····1-9
モーションモニタ機能 ····· 1-12
文字フォント切換え機能 ····· 1-17
ユーティリティ機能 ·····1-1
リスト編集機能 ····· 1-11
時計設定 ····· 4-17

[な]

ネットワークモニタ機能 ·····1-9

[は]

パスワード ····· 4-20
幅 ····· 4-13
必要な機器 ·····2-1
表示形式切換え ·····9-2
ブザー音 ·····4-9

[ま]

マイコン接続伝送速度 ····· 4-10
マイコン接続プロトコル ····· 4-10
メッセージ表示 ·····4-9
メモリ情報 ····· 4-16
メモリボードが必要な機能 ·····2-1
モーションモニタ機能 ····· 22-1
文字フォント切換え機能 ····· 1-17
モニタ画面の輝度／コントラスト調整 ·····4-4

[や]

ユーティリティ機能 ·····1-1
ユーティリティ機能一覧 ·····4-1
ユーティリティメニューの表示方法 ·····4-3
ユニット詳細情報 ····· 12-5
要因検索の操作 ····· 6-12

[ら]

リスト編集機能 ····· 1-11
ルータアドレス ····· 4-12

Memo

保証について

ご使用に際しましては，以下の製品保証内容をご確認いただきますよう，よろしくお願いいたします。

1．無償保証期間と無償保証範囲

無償保証期間中に，製品に当社側の責任による故障や瑕疵（以下併せて「故障」と呼びます）が発生した場合，当社はお買い上げいただきました販売店または当社サービス会社を通じて，無償で製品を修理させていただきます。
ただし，国内および海外における出張修理が必要な場合は，技術者派遣に要する実費を申し受けます。
また，故障ユニットの取替えに伴う現地再調整，試運転は当社責務外とさせていただきます。

【無償保証期間】

製品の無償保証期間は，お客様にてご購入後またはご指定場所に納入後 1 年間とさせていただきます。
ただし，当社製造出荷後の流通期間を最長 6ヵ月として，製造から 18ヵ月を無償保証期間の上限とさせていただきます。また修理品の無償保証期間は，修理前の無償保証期間を超えて長くなることはありません。

【無償保証範囲】

(1)使用状態，使用方法および使用環境などが，取扱説明書，ユーザーズマニュアル，製品本体注意ラベルなどに記載された条件，注意事項などにしたがった正常な状態で使用されている場合に限定させていただきます。
(2)無償保証期間内であっても，以下の場合には有償修理とさせていただきます。
① お客様における不適切な保管や取扱い，不注意，過失などにより生じた故障およびお客様のハードウェアまたはソフトウェア設計内容に起因した故障。
② お客様にて当社の了解なく製品に改造などの手を加えたことに起因する故障。
③ 当社製品がお客様の機器に組み込まれて使用された場合，お客様の機器が受けている法的規制による安全装置または業界の通念上備えられているべきと判断される機能・構造などを備えていれば回避できたと認められる故障。
④ 取扱説明書などに指定された消耗部品（バッテリ，バックライト，ヒューズなど）が正常に保守・交換されていれば防げたと認められる故障。
⑤ 火災，異常電圧などの不可抗力による外部要因および地震，雷，風水害などの天変地異による故障。
⑥ 当社出荷当時の科学技術の水準では予見できなかった事由による故障。
⑦ その他，当社の責任外の場合またはお客様が当社責任外と認めた故障。

2．生産中止後の有償修理期間

(1)当社が有償にて製品修理を受け付けることができる期間は，その製品の生産中止後 7 年間です。
生産中止に関しましては，当社テクニカルニュースなどにて報じさせていただきます。
(2)生産中止後の製品供給（補用品も含む）はできません。

3．海外でのサービス

海外においては，当社の各地域海外 FA センタで修理受付をさせていただきます。ただし，各 FA センタでの修理条件などが異なる場合がありますのでご了承ください。

4．機会損失，二次損失などへの保証責務の除外

無償保証期間の内外を問わず，当社の責に帰すことができない事由から生じた損害，当社製品の故障に起因するお客様での機会損失，逸失利益，当社の予見の有無を問わず特別の事情から生じた損害，二次損害，事故補償，当社製品以外への損傷および，お客様による交換作業，現地機械設備の再調整，立上げ試運転その他の業務に対する補償については，当社は責任を負いかねます。

5．製品仕様の変更

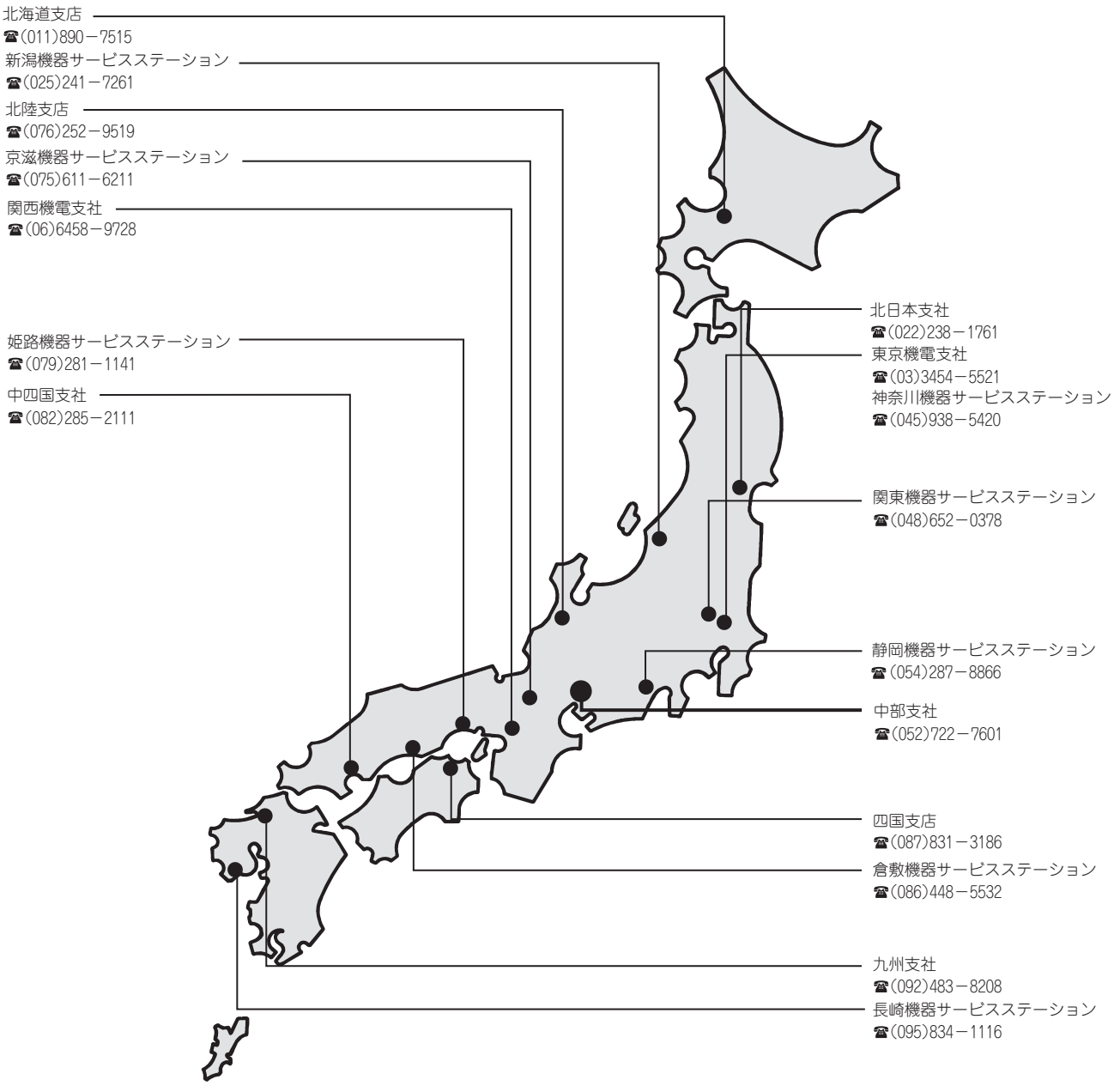
カタログ，マニュアルもしくは技術資料に記載されている仕様は，お断りなしに変更される場合がありますので，あらかじめご承知おきください。

6．製品の適用について

(1)当社 MELSEC 汎用シーケンサをご使用いただくにあたりましては，万一シーケンサ機器に故障・不具合などが発生した場合でも重大な事故にいたらない用途であること，および故障・不具合発生時にはバックアップやフェールセーフ機能が機器外部でシステム的に実施されていることを，ご使用の条件とさせていただきます。
(2)当社汎用シーケンサは，一般工業などへの用途を対象とした汎用品として設計・製作されています。したがいまして，各電力会社殿の原子力発電所およびその他発電所向けなどの公共への影響が大きい用途や，鉄道各社殿および官公庁殿向けの用途などで，特別品質保証体制をご要求になる用途には，シーケンサの適用を除外させていただきます。また，航空，医療，燃焼・燃料装置，有人搬送装置，娯楽機械，安全機械など人命や財産に大きな影響が予測される用途へのご使用についても，当社シーケンサの適用を除外させていただきます。
ただし，これらの用途であっても，事前に当社窓口へご相談いただき，用途を限定して特別な品質をご要求されないことをお客様にご承認いただいた場合には，必要な文書の取り交わしの上，適用可能とさせていただきます。

以　上

サービスネットワーク（三菱電機システムサービス(株)）



Microsoft，Windows，WindowsNT は，米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
Adobe，Acrobat は，Adobe Systems Incorporated の登録商標です。
Pentium，Celeron は，Intel Corporation の米国およびその他の各国における商標および登録商標です。
Ethernet は，米国 Xerox.co.ltd の登録商標です。
PC-9800，PC98-NX は，日本電気株式会社の登録商標です。
その他，本文中における会社名，商品名は，各社の商標または登録商標です。

GOT-A900シリーズオペレーティングマニュアル

(GT Works2 Version2/GT Designer2 Version2 対応 拡張機能・オプション機能編)

三菱電機株式会社 〒100-8310 東京都千代田区丸の内2-7-3(東京ビル)

お問い合わせは下記へどうぞ

本社機器営業部 …… 〒100-8310 東京都千代田区丸の内2-7-3(東京ビル) …… (03)3218-6760
北海道支社 …… 〒060-8693 札幌市中央区北二条西4-1(北海道ビル) …… (011)212-3794
東北支社 …… 〒980-0011 仙台市青葉区上杉1-17-7(仙台上杉ビル) …… (022)216-4546
関越支社 …… 〒330-6034 さいたま市中央区新都心11番地2(明治安田生命さいたま新都心ビル ランド・アクシス・タワー34F) … (048)600-5835
新潟支店 …… 〒950-8504 新潟市東大通2-4-10(日本生命ビル) …… (025)241-7227
神奈川支社 …… 〒220-8118 横浜市西区みなとみらい2-2-1(横浜ランドマークタワー) …… (045)224-2624
北陸支社 …… 〒920-0031 金沢市広岡3-1-1(金沢パークビル) …… (076)233-5502
中部支社 …… 〒450-8522 名古屋市中村区名駅3-28-12(大名古屋ビル) …… (052)565-3314
豊田支店 …… 〒471-0034 豊田市小坂本町1-5-10(矢作豊田ビル) …… (0565)34-4112
関西支社 …… 〒530-8206 大阪市北区堂島2-2-2(近鉄堂島ビル) …… (06)6347-2882
中国支社 …… 〒730-8657 広島市中区中島町3-25(ニッセイ平和公園ビル) …… (082)248-5445
四国支社 …… 〒760-8654 高松市寿町1-1-8(日本生命高松駅前ビル) …… (087)825-0055
九州支社 …… 〒810-8686 福岡市中央区天神2-12-1(天神ビル) …… (092)721-2247

インターネットによる三菱電機FA機器技術情報サービス

MELFANSwebホームページ:http://www.MitsubishiElectric.co.jp/melfansweb
MELFANSwebのFAランドでは、体験版ソフトウェアやソフトウェアアップデートのダウンロードサービス、MELSECシリーズのオンラインマニュアル、Q&Aサービス等がご利用いただけます。FAランドのID登録(無料)が必要です。

電話技術相談窓口

対象機種		電話番号	受付時間※1
GOT表示器	GOT1000/A900シリーズなど	052-712-2417	月曜～金曜 9:00～19:00
	MELSOFT GTシリーズ		
FGOT/DU表示器	GOT-F900シリーズなど	052-725-2271	月曜～木曜 9:00～19:00 金曜 9:00～17:00
MELSEC-FX/F	Fシーケンサ全般		
MELSEC-Q/QnA/A シーケンサ	シーケンサー般(下記以外)	052-711-5111	月曜～金曜 9:00～19:00
	ネットワーク、シリアルコミュニケーションユニット	052-712-2578	
	位置決めユニット ※2	052-712-6607	
	アナログ、温調、温度入力、高速カウンタユニット	052-712-2579	
	C言語コントローラ/MESインタフェースユニット	052-712-2370	月曜～木曜 9:00～19:00 金曜 9:00～17:00
MELSOFTシーケンサプログラミングツール	MELSOFT GXシリーズ	052-711-0037	月曜～金曜 9:00～19:00
	SW□IVD-GPPA/GPPQなど		
MELSOFT通信支援ソフトウェアツール	MELSOFT MXシリーズ	052-712-2370	月曜～木曜 9:00～19:00 金曜 9:00～17:00
	SW□D5F-CSKP/OLEX/XMOPなど		
MELSECパソコンボード	Q80BDシリーズなど		
MELSEC計装/Q二重化	プロセスCPU(Q12/Q25PHCPU)	052-712-2830	
	二重化CPU(Q12/Q25PRHCPU)		
	MELSOFT PXシリーズ		
MELSEC Safety	安全シーケンサ(MELSEC-QSシリーズ)	052-712-3079	
ACサーボ	MELSERVOシリーズ	052-712-6607	月曜～金曜 9:00～19:00
モーションコントローラ	モーションCPU(Q/Aシリーズ)		
	MELSOFT MTシリーズなど		
インバータ	FREQROLシリーズ	052-722-2182	

FAX技術相談窓口

対象機種	FAX番号	受付時間※1
上記対象機種	052-719-6762	9:00～16:00(受信は常時※3)

※1: 土・日・祝祭日、春期・夏期・年末年始の休日を除く通常業務日 ※2: ACサーボ、モーション窓口にて対応します
※3: 春期・夏期・年末年始の休日を除く

形名	SW2-GT900-O(SYS)
形名コード	1D7M20
SH(名)-080516-G(0611)MEE	

本マニュアルは、輸出する場合、経済産業省への役務取引許可申請は不要です。

この印刷物は2006年11月の発行です。なお、お断りなしに仕様を変更することがありますのでご了承ください。 2006年11月作成
この標準価格には消費税は含まれておりません。ご購入の際には消費税が付加されますのでご承知置き願います。 標準価格 3,000円